Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

UNIVERSITY OF MICHIGAN
3 9015 04156 5279
B 1,660,218
THE UNIVERSITY OF MICHIGAN · LIBRARIES ·
THE UNIVERSITY OF MICHIGAN 1817
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

第5巻

第5年1号～5号
昭和2年1月～5月

不二出版

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Asia Library
HX
9
.J3
S85a
v.5
no.1-5
1927

一、復刻に際しては原本を若干拡大、縮小した。

一、文章途中の空白及び文字が判読できない部分があるが、これは検閲によるものである。

（不二出版）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

【収録内容】

第五年第一号　昭和二（一九二七）年一月一日発行
第五年第二号　昭和二（一九二七）年二月一日発行
第五年第三号　昭和二（一九二七）年三月一日発行
第五年第四号　昭和二（一九二七）年四月一日発行
第五年第五号　昭和二（一九二七）年五月一日発行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

無產階級戰鬪雜誌

進め

第五年・一月・第一號

定價十錢

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）
大正十六年一月一日發行　大正十五年十二月二十五日印刷納本

誌代一ヶ年分拂込者にマルクス大寫眞を無代贈呈す

■本號一瞥■

□使命を忘れるな……巻頭言
□時事論評……同人
□無産階級の獨裁……レーニン
□ブルヂョア政治の一側面……神庭仲之介
□團結權及び罷業權の確立……梅津四郎
□（識者回答）社會運動の回顧と希望……學者・社會運動家思想家四十名
□一般民衆の信望するもの……布施辰治

全土戰報

□革命意識の燃燒……西山文策
□滅び行く彼等……好陽生
□建國勞働會を葬れ……大友章
□大牟田より……小松道俊
□御用組合の末路……倉本晃南
□闘爭への第一歩……小栗勇蔵
□佩劍勞働者の叫び……細川滿三
□警鐘亂打……柳田芙美緒
□飢餓・失業……赤木龍
□靑訓を拒め……岡本潤一
□大同團結へ！……春田勝彥
□起て！北陸の同志……島中英
□彦根共産黨事件の眞相……吉田源藏
□（將來の無產政黨）と其の基礎要素……澤井龍之助
□既成藝術の虐殺的批評……深谷進
□殖民政策裏面研究……金熙明
□反動の暴政……中島安太郎
□坑山勞働者の組織的闘爭……菊地帯刀
□英國の勞働運動……淺野研眞

至急一本を備へよ

——注文は振替の利用最も安全 多數又は團體注文は割引す——

第十版

社會思想家寫眞集

内容

サンシモン、フーリエ、オーエン、プルードン、マルクス、バクーニン、エンゲルス、ウヰルヘルム・リーブクネヒト、カール・リーブクネヒト、クロポトキン、ラツサール、レーニン、トロツキーの拾三枚。四六倍版アート紙で極めて美麗。

本社編纂　一部五拾錢　送料四錢

第九版

マルクス寫眞集

内容

マルクスの生家、マルクス夫人、マルクスの原稿、マルクスの博士免狀、マルクスの署名、マルクスの旅行免狀、ロンドン亡命中のマルクス、ロンドンに於けるマルクスの住宅、資本論執筆時代のマルクス、晩年のマルクス、マルクスの墓の十一枚。四六倍版アート紙で極めて美麗。

本社編纂　一部五拾錢　送料四錢

第五版

日本勞働運動小史

淺野研眞述

内容

明治大正を通じての日本に於ける勞働者解放運動の全分野に渉つて、細大洩らさず、僅か百三十餘頁の内に收めた手頃なパンフレットである。尙ほ卷末に附せられたる統計、文獻、年表は、用意周到な貴重なものだ。苟も日本プロレタリア運動の史的背景を知らんとする者は必ず一本を備ふべきだ！

四六版百三十頁　定價五拾錢　送料四錢

進め・メダル

一ヶ實費　金貳拾錢

新裝を凝らせる進め讀者メダルは湧くが如き好評を得て、其の申込日々五拾を下らず爲に再製の必要に追はれつゝある有樣である。銀のイブシで勞農兵團結を表象し戰闘氣分の充滿せるものである。本誌の支局及び讀者諸君は必ず一ヶを其の胸間に吊せ！

マルクス寫眞無代贈呈

第二十五版出來

送料共參拾貳錢

コロタイプ寫眞版丈一尺五寸巾九寸

マルクスは科學的社會主義の鼻祖にして無產階級永遠の恩人である。我社は之れを永久に記念すべく獨逸より原板を取寄せ複寫して廣く讀者に配布してゐる。誌代一ヶ年分前納せし讀者には無代で贈呈するから至急申込まれたし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

吾等の主張

一、資本主義制度を解剖して大衆を啓蒙す、
一、社會思想を解説して非搾取の社會を建設す、
一、解放團體の分裂を防止して全無産階級の團結を企圖す、
一、社會運動を鞭韃して戰鬪精神を振作す、
一、社會運動を攪亂する總ゆるものを討滅す、

第五年■戰鬪■進め■雜誌■第一號

政治運動に沒頭して眞の使命を忘れるな

■由來政治運動は經濟運動の發展を基礎においてのみ發展し、亦經濟運動は政治運動に依存するものである。然るに昨年來我が國の勞働組合首領や幹部等が餘りに政治運動に耽溺して經濟運動をおろそかに附し、其の小野心の衝突は延いて結合の分裂を促し著しく團結の威力を失つて來た。左足の運動の爲めに右足の運動が阻害されつゝあるは眞に嘆かはしい事ではなかつたか。

■政治運動が墮落の可能性を多分に藏してゐる事は各國の社會運動史を見ればよく判る。即ち社會黨代議士や、勞働大臣がその地位に戀々たるの餘り、自らの歷史的使命を忘却せんとしてゐるのを發見する。他山の石以つて磨かねばならぬ。

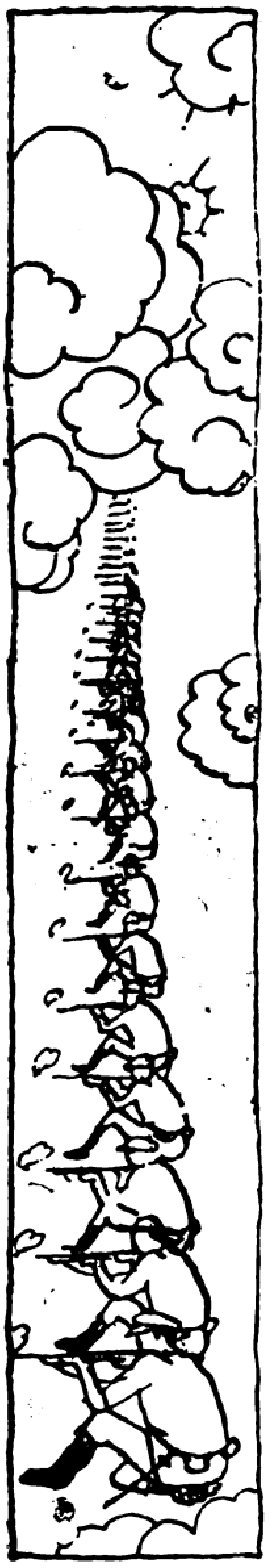
■無産階級の政治運動を虛榮の具に使用する事は禁物である。吾人は現在、政治運動に携はる人々を目して全然それなりと斷ずる者ではないが、他の貴重なる使命を等閑視して、烏合に等しき大衆の結黨に日も是れ足らざる有樣は無産階級解放の大責任を自覺するなきやを疑がはしむる。

■吾等は政治を否認する無政府主義者ではないが、經濟運動を阻害し大衆を顧慮せざる小兒病的政治運動の如きは極度に警戒して可なりと信ずる。

■十六年は更始一新すべき年である。吾々は政治運動に沒頭して眞の使命を忘れてはならぬ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時事評論



同人

陣容成れる社會民衆黨

安部、吉野、堀江氏を始め其他の智識階級によつて久しく準備されてゐた政黨は、十二月五日、社會民衆黨と銘打つて其の第一歩を踏み出した。總同盟を中心勢力として現實的政綱政策を掲げてゐる所を見る時、吾々は之れが前途に對し多大の望みを掛けざるを得ない。

皮相なるジャナリスト又は共產黨の諸君は異口同音筆を揃へて右傾政黨乃至は御用政黨なる冷評を下してゐるが、吾々の見る所に依れば決して右傾でもなければ、勿論日本農民黨の如き御用政黨でもないと思ふ。立看板が少し現實的であると直ちに右傾乃至は御用政黨等の冷評を浴びせる徒輩の其のオッチョコチョイ振りには呆れざるを得ない。

然し黨名を社會民衆黨とした事は餘り感心出來ない。勿論社會民主黨とする事は日本では不可能な事であらうが、何故勞働黨としなかつたのであるか。社會民衆黨と云ふ如きは恰もデパートメントストアの如き觀がある。此の政黨は人物から見ても政綱から見ても日本に於ける無產政黨中最も發展の可能性を與へられてゐると思ふ。幸ひに黨關係者諸君の奮鬪を祈つて止まない。

總同盟再度の分裂

先年共產黨一派を除名し、其後外部的には極めて圓滑に統制されてゐる樣に見られてゐた總同盟は、政黨組織問題から又亦異二ッに分裂するの悲運に遭遇した。

吾々は最近總同盟の幹部派は著しく現實化し必要以上にレベルを低下しつゝあつたことに對して密かに今日のあるを憂へてゐたのであるが遂ひに政黨問題から青年鬪士の不滿を買ひ再び大分裂をした。

麻生、望月、藤岡、今村氏等の氣鋭の青年鬪士を失つたことは總同盟にとつては實に輕からざる傷手である。幹部諸君も政黨問題から斯かる分裂を招來するとは思はなかつたであらう。

今後の幹部諸君は餘程愼重な態度を執つて政治運動をするにあらざれば續いて第三、第四の分裂を招來しないとも限らない。餘り所謂現實主義を振り廻はさず組合運動の本流に立返つて、眞の意味に於ける××的現實主義をとつて運動の進展を計るべきである。

而して大正元年以來壇にした日本最古最大の組合てふ總同盟の誇りをして、より一層光輝あらしめよ。

勞働農民黨の前途

分裂後の勞働農民黨は議會解散請願運動以外に何事もやつてゐない。然しそれすらも當局の禁止に遭つて行ふことが出來なかつた。共產黨の諸君は常に大言壯語して憚らざる大衆的無產政黨も之れでは些か其名に副はないではないか。

殊に最近中心勢力の一ッであつた農民組合の分裂によつて全國的に其の基礎がグラ付いてきた。委員長杉山元二郎氏は過日の大會で遂に辭任したのみならず農民組合の殆んど全部を牽ひ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

て日本勞農黨へ加はらうとしてゐる等は其の前途誠に憂慮すべきものがある。

然し共產黨一派は新聞宣傳は實に上手である。一流の曲筆を弄して黨員不詳の勞農黨を大々的に宣傳したり、評議會、青年同盟、大衆敎育同盟等々の些々たる團體を驚くべき大勢力の如く新聞で宣傳せしめてゐる點などは實に巧妙至極である。

今後の勞働農民黨は純然たる共產黨員のみの城塞となり、彼等が抽象論のオトリたるに止まり、仕事としては曲筆を以てした新聞宣傳位のものであらう。日本最初の無產政黨は斯くして沒落の道程を辿る。

日本勞働組合同盟及び日本勞農黨の出現

近來極度に現實化した總同盟の指導精神に對し、密かに不滿を抱いてゐた麻生、望月氏等の青年闘士は、總同盟は愈々社會民衆黨に加盟することに決したので斷然脫退するに至つた。而して之等の諸君は直ちに日本勞農黨組織を計畫し、基礎工事として、勞農總聯合ともいふべき日本勞働組合同盟を結成した。

彼等は左翼に對して相當の憤りを以つてゐると同時に、右翼に對しても亦相當の不滿を抱いてゐる。所謂左翼に偏せず、右翼に墮せざる中間派的思想の上に立脚して此組合及び政黨を結成せんとしてゐるのである。然り左翼は架空的抽象論を振廻して解放運動を混迷に陥れつゝあり、右翼は徒らなる現實主義を標榜して必要以上にレベルを低下しつゝある時、此の中間派的團體の生まれたるは無產階級にとつて最も喜ぶべきことゝ云はねばならない。

日本勞働組合同盟及び日本勞農黨の出現は各方面へ多大のショックを與へたことは明らかな事實である。日本農民組合の如きは之れによつて將に分裂せんとしてゐる。勞働農民黨亦然りである。日本勞農黨は左翼に對しても甚だしき脅威を與へ、右翼に對しても一服の清凉劑たるの役目を果した。

今後如何に發展して行くかは豫測出來ないが、勞働農民黨、社會民衆黨よりは遙かに洋々たる前途を與へられてゐることは爭へない。殊に此の團體の中堅人物は麻生、望月、藤岡、今村加藤の諸氏を始め何れも氣鋭の青年闘士のみである。

幸ひに之等の諸君は從來各團體が繰返してきた醜ひ內部的闘爭、即ち些々たる感情爭ひの如き小事に拘泥せず、現在掲ぐる中間派的モットーを更らに高く振翳して無產階級團體の統一を期し、解放運動の本流を踏進されんことを望むものである。

分裂に瀕す日本農民組合

日本共產黨に蠶食されて以來內紛の絶えなかつた日本農民組合は總同盟を脫退した麻生、望月氏等の日本勞農黨が出現するや、勃然として起つた反共產黨熱の爲め今や四分五裂に分裂せんとしつゝある。

杉山元二郎氏は早くも、自分の手では如何とも爲す能はざるを知るや、組合長たることを辭任した。共產黨の指示を仰いでゐると、斯かることのあるは最初から明かな所である。

其の前途、何人も豫測することは出來ないが恐らく大部分は日本勞農黨へ走るであらう。共產黨等をウッカリ信じて遂ひに攪亂されたことは今日歷然と表はれてきたのである。

遂ひに假面を剝げる日本農民黨

潜越にも無產政黨の假面を冠して生まれた反動的御用政黨日本農民黨は、時日を經るに從つて愈々其の假面が剝がれて行く

彼等は十一月二十日大阪に於て大日本地主協會の幹部連と懇談會を催した。勿論小作法についてゞあるが平野幹部の語る所に依ると地主と小作人とが隔意なき意見の交換をしたそうである

斯くの如き會合を而かも農民黨から要求して談笑裡に別れたと云ふが如き醜い事實は、彼等は資本の意識的協力者であることを如實に暴露したものと云はねばならぬ。

地主と提携して恥ぢざる日本農民黨の醜行爲、亦憎むべき次第である。全國の同志諸君は起つて之れを撲滅せよ。

無產階級の獨裁

レーニン

序

歐州戰爭の××的影響と社會主義者の非××的態度とは、今日、一見不可解の對照をなしてゐる。×××××は戰爭に依て著しく促進された。而して××は××××××の問題である。階級爭鬪の指揮者を以て任ずる社會主義者が斷乎たる××的手段に出で得ぬのは何故であるか彼等が戰前三十年來のオッポチユニズムに囚はれて××の性質に關して迷信的謬想を抱いてゐるからである。

勞働階級の解放と××××××の好機を眼前に控へてゐる吾々は、それだから此の際先づ彼等の迷信的××觀を打破して××××××純化することに努めねばならぬ。

それには先づ以てマルクス、エンゲルスの×××の本義を明かにする必要がある。それをなすに當つて、特にその世人に忘れられてゐる部分——カウツキー一派のオッポチユニストに依て曲解された部分を摘發せねばならぬ。さうした上で曲解派の主將カウツキー其のもの丶所說を調べてその正體を曝露し、最後に最近露西亞××××××××××無產階級×××××、就中その對××政策を明示するつもりである。

一

あらゆる××は本質的には××××なものであり、現在の×××××××××××無產階級の××に變らねばならぬ。そして後者が前者に取つて代はるのは××××××××××××不可能であり、無產階級××××××ひとり凋萎、自然的消滅の形式に於て可能である。

吾々は先づ××の起源に關するエンゲルスの研究から出發する。エンゲルスに依れば××は社會發達の或る階段の所產である、社會が發達するにつれて、遂には調和す可からざる階級に分裂する。卽ち階級爭鬪が生まれる。相爭ふ階級の實力の發露に委して爭鬪が無制限に生れては兩階級乃至社會自體の生活が不可能となる。そこで爭鬪の形式其他を或る制限內に置き××の衝突を緩和する必要が生ずる其には第三の××を要する。一見社會そのもの丶上に立ち兩階級に超然たるが如き第三××が必要となる。かくして社會から發生し乍ら社會の上に立ち漸次×××××××××××××××××××××××××××××××××××××。

之れがマルキシズムの××の起源觀、本質觀、職能觀の骨子である。これに徵すればマルキシズムの××觀に對して二樣の曲解の行はれてゐることは明らかである。

第一にブルヂョア學者、政治家が、マルクスの×××を說くに當り、その階級的反目爭鬪×××××××××××××××××××××それ故にマルクスは××を仲裁機關と見ると論ずるのはその曲解の一つである何んとなれば××の發生する社會が調和し難き階級的反目爭鬪に分裂したときであると說くのが、エンゲルスの主張である。

二

××の存在すること自體が階級的反目爭鬪の調和すべからざる仲裁すべからざる實證であり階級的反目爭鬪の調和され得る間は××存立の意義もなくその必要も可能もないからである仲裁の機關、調和の機關であり得る筈がないからである。マルキシズムに從へば××は×××××××××でなく階級的×××××である。×××××××て秩序を立てる。しかし其の目的は階級の×××××××××××を緩和して階級的××を合法的のものに依て、以てその永續を計るにある。それは初めから不可能なのである。露西亞の三月革命に際して「××に依て階級爭鬪を仲裁すべし」と說法したソシアル、レボリユーシヨナリ、メンシエヴィキーの一派は社會主義者ではない。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

次ぎにカウツキー一派が理論上には××を階級的××の機關と認め乍ら××××を否認するのはマルキシズムの曲解としては一層老猾なものである。×××の本質であり、×××として社會の上に立ち、漸次に社會から分離する處のものである以上、此の××に依て壓迫されつゝある階級の××はひとり此の×××××××××することに依て可能である。即ち×××××に依てのみ可能である。此の自明の理を否定するのがカウツキー一派である。而かもマルクスが此の自明の理を更らに具體的歷史的に詳しく例證してゐることは後段に記す通りである。

エンゲルスは云ふ「××を形作る社會は之れが地理的構成を有する點に於て古代の氏族的社會と本質的な相違がある。も一つの主要な相違は××的社會にはその構成全員から獨立して武裝された一つの××が存在する一事である。此の××は×××乃至××と呼ばるゝものであつて××、××、××、××等の×××××××の形式に於て發動する。此等は特設の團體であつて氏族的社會に於けるが如き住民全體の自發自動的××××ではない」と。××××を特設する必要の生じたのは言ふまでもなく社會が相爭鬪する階級に分裂した爲めであり、かゝる社會に於て住民の自發的自動的××××を作ることは取りも直さず××による×××を出現せしむることになるからである。特設の××××の生れたのは決して單に社會生活が複雜となり職能が分化したからではない。それ丈けなら××××に技術上編制上の進歩はあつても、それが自發的自動的であつて更らに差支ない。差支あるといふのは當の社會が調和し難き階級爭鬪の社會だからである。階級爭鬪的社會に於ける××××××の本色は××に際して最も顯著となる。即ち××××××××はかゝる團體の使用に依て其の特權の維持回復を計り、被壓迫階級は新たに×××××××××を編制して之れに××××××××。而してかゝる××××××の必要、從つて其の膨張は××××と×××××の激烈と正比例に進むことを三十年前に豫言したエンゲルスは達眼と云はねばならぬ。

現在の×××誅求の機關であるならば被誅求階級の解放は現在の×××××を前提とするを認め、××の本質が××××であるならばそれの××に××××を用ふる必要を認めるのがマルキシズムの理論的歸結であるが、マルキシズムの曲解者はその日和見主義を辯護するに當つて更らにエンゲルスに「××は廢止さるものに非ず、凋萎、(自然的消滅)するものなり」云々の句あるを引ひて××××の無用を説くのが其慣用手段である。

三

エンゲルスが「××は凋萎す」と論ずる際の××××××××××××××××××××××××を指してゐるのである。生産手段の社會化と×××××に出發する無産階級の××は漸次に單なる行政の機關、生産指導の機關と變じ遂ひに完全なデモクラシーを實現し、之れを實現すると共に自然的消滅を遂げる即ち凋み萎れるといふ意に外ならない。アナーキストの唱へるやうに××××××××××に廢止さるゝものではないと論ずるに外ならない。日和見的社會主義者即ち××的マルキシズムの曲解者が「××の自然的消滅」を高唱するのは普通選擧によつて所謂自由民衆××を作り、議會政策に依て社會主義を實現し得ると云ふ彼等の主張の裏書にしやうといふのであるが、エンゲルスは其の自由民衆××なるものはプロパカンダの文句として一時的價値あるものに過ぎず眞に自由な××、眞に民衆的×××は資本主義の存續する限り實現不可能であり、また元來自由民衆××なる言葉そのものが矛盾であると明言してゐる。

資本主義の×××××××××××(無産階級獨裁)への過渡は×××××に依つて行はるべきものではない。必然に××××××××ならぬ。これがマルキシズムである。それは「哲學の貧窮」「共産黨宣言」の末章の諸節及び「ゴータ綱領批判」其他に於てマルクスが反覆聲明した處のものである。此の見解を挑戰的に宣傳しなければならないといふのがマルクスとエンゲルスの教へる處であ。(續く)

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ブルヂョア政治の一側面

神庭仲之介

工場資本家は資本家聯盟にその城砦を固めた。地主階級は地主協會によつて今次の小作立法制定に對して斷然たる攻勢に出でた。彼等は政府ですら顰顔する程の反動的陳情をなした。そして、この四五日來政府の小作法案が氣に喰はぬとあつて大阪の某所で、反動的强意見の作製に浮身を寠してゐる。

元來小作立法は農村無產階級の生活不安に伴つた必然の產物であつて、ブルヂョアの云ひ分によれば所謂「保護立法」の部類に屬してゐる。所が、今次の政府案が彼等の「保護立法」の範圍を脫して、少し農民に有利に見えると云ふので大騷ぎとなつた。

自分の利益が傷いて來るのに農民保護どころの騷ぎでは無いブルヂョアの眼光をもつてすれば、彼等の考へてゐる「保護立法」の本旨に副はない事夥しい地主は小作人の××を前提としてゐるからである。

日本の支配階級は今や、勞働者保護を勞働者に一任すると同時に、この勞働者保護に向つて××をもつて××して來た。

洵に、支配階級の博愛と、勞働者自身の保護的運動とは、相對的關係にあるからだ。前者の博愛は、資本家の利益を損はない事をその前提とするに反し、後者の運動はブルヂョア×××××××××××。

今や資本家階級が無產階級に向つて、自らの博愛的態度を捨てゝ攻勢に出でたと云ふ事は無產階級の力の增大をまざ／＼と見たからである。就中、プロレタリヤの政治的擡頭に驚嘆したからである。資本家が所謂「保護運動」を無產者に一任する時から進展して行く無產者自身の力を基調とする「保護運動」はすでに資本家的「保護」の精神を超越する。換言すれば、無產者自身によるそれが、資本家的生產のよつて立つプロレタリヤの貧困の廢止向上を、むしろ××××××××××を要求するに至るから、資本家階級は全力を擧げて勞働者運動を糺彈する。

それは必然の過程である。

ブルヂョアが無產階級の聲に脅威されて曲りなりにも普選にしてから、プロレタリヤの政治への浸入所謂「蠻族の浸入」が激しくなつた。ブルヂョア政黨は政權に戀々たる限りは、無產階級の地位の向上や、その要求を顧慮しなければならない。しかし、彼等政治家は勿論資本家地主の御用は極度に盡力しなければならぬ。前者を無視する時は政權にありつく事は出來ないそれかと云つて後者を見捨てる時は殊更に自らの墓穴を堀る事となる。彼等は今や甚だ嗤ふべきヂレンマに陷つてゐる。

重盛は「忠ならんと欲すれば孝ならず」と云つたそうだ。

四方から猫に追はれたねずみの苦悶である。ブルヂョア政治家の苦悶は、われ／＼無產階級の眼から見れば一つの喜劇に過ぎない。

政治的デモクラシーと階級制度とが接觸する事から釀されて來た時代相である。ブルヂョア政治家は究極において、その苦悶から逃がれる爲めに、或ひはいさゝか、縋らせる爲めに、プロレタリヤの目を悔ます樣な、僞瞞的政策をもつてするに至るであらう。しかし、從來はともあれ、今日のプロレタリヤはすでにして目覺めてゐる。ブルヂョア政治家の投げつける目つぶしに弊れるには、餘りに敏捷である。巧妙である。こゝに、ブルヂョア政黨は、自らの苦悶を消す事の出來ぬ必然である事を悟るに至るのだ。彼等は或る期間中このヂレンマより生づる苦悶より逃がれ樣と努力して見るだらうが遂に明白な結論を引出すであらう。それは階級的旗印をあざやかにする事である。乃ち彼等は純然たるブルヂョア擁護兵と化し、政治的デモクラシーと階級制度より發生するヂレンマ的苦悶から脫出する。（完）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

團結權の確立と罷業權の確立

梅津四郎

各無產政黨及び無產團體は運動の一つとして、團結權及罷業權の確立を叫んで居る。卽ち團結と罷業の合理性なる事を公認させる事である。何故に團結することが合理的であり又、ストライキすることが合理的であるか？合理的とは道理に適つて居る事を意味する、故に合法的と言ふ事とは意味を異にすると同時に必ず一致するものではない。

然るに往々此の意味の解釋をあやまつてはき違えて居つたり同一視して考へて居る者があるが故に、玆に合理的と合法的との意味の差違をはつきりして置く必要がある。

合法的とは法律にあてはまつた行爲、言ひかへれば法律に觸れない行爲を言ふ。

然るに此の法律なるものは其の時代、言ひ換れば其の時代の經濟組織の上部構造（上層建築）なるが故に其の時代の社會組織に適合する樣に作られたものであり、其の組織を擁護する爲に作られたものである。

故に如何に道理に合つた行爲であつても、又其の組織內に於ては必然的に起る可き運動であつても如何に合理的なるものであつても、其の行動がたゞ單に其の時代の社會組織と相容れざるものであると言ふことに依つて、法律に觸れて罪を構成する不合法的行爲となる事がある。例へば不合理なる社會組織を合理的に改造せんとする合理的社會科學運動であつても、法律に觸れて不合法的となる事は過去に於ける幾多の無產階級解放運動に表はれた事件に依つても明かである。故に道理にあつた事必ず法律に相反しないとは限らないと同時に又道理に相反する行爲必ず法律に相反し罪となるとは限らない。然しながら今玆に述べんとする團結權及罷業權は、現在の資本主義經濟組織のもとに於ては當然合理的なるものであり又合法的なるものとしなければならない……と絕叫せんとするものである。

何となれば今の資本主義經濟組織は英國のアダム・スミスの學說に基きし經濟組組であり其の根本基調とする處は經濟的には自由競爭と私有財產制度を、法律的には自由契約の放任と所有權の擁護である。この自由競爭とは「人間の本態は慾なり」と言ふ見地を原則とし資本の增大をはかる唯一の方法として、商品の取引が如何なる取引のもとに行はれ樣とも之に對して無干涉主義で各當事者間の自由意志に放任することを云ふ。

故に自由契約に於ても資本家と勞働者の雇傭關係が如何なる條件のもとに契約され樣とも法律は之に對して無干涉主義で居ることを意味する。同意味に於て、ストライキは、勞働者が所有する（勞働力）なる商品を××××××資本家に、より有利なる條件のもとに賣買せんとする一ツの賣買行爲に外ならぬ故に自由競爭を放任し自由契約を放任しつゝある現在の資本主義經濟組織の法律下に於ては、當然此の取引行爲たるストライキも合理的なるものであり合法的なるものとして無干涉でなければならない。亦資本家の所有權を擁護しつゝある現在の法律下に於ては、財產及××を把持せざる勞働階級に團結權の自由を與へ、資本家に對して對等の位置に置かなければならぬ。其が亦無產階級に與へられた當然の權利である。然るに現在の司法官憲は此の團結及罷業權に對して將して合理性なるものとして認識して居るであらうか？若し彼等にして合理性視居るならば爭議中資本家の番犬は務めないであらう。罷業に缺ぐべからざる主要事たる組合のビラ撒き示威運動に對して道路防害なる名稱を附して壓迫をしないであらう。かくの如き有樣を世の識者に訴えると同時に團結及罷業の權利を剝奪する治安維持法、爭議調停法及其の他惡法の改廢に努力せねばならない。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

將來の無產政黨と其の基礎要素

澤井龍之助

一

一九二六年は過ぎて今や新らしき一九二七年の曙光は輝き初めた。

惟へば一九二六年の年月は知らぬ間に過ぎ去つた樣でもあつた。然し又、考へれば色々の問題も無いではなかつた。先づ第一、吾等の腦裏に深く刻み附けられてゐる問題は無產政黨問題で無ければならない。而して幾多の事件と折衝は之れから發生されてゐるからである。かくて此の問題は昨年によつて全然解決されたものではなく、現在にまでも持越されてゐるものである。

斯く云へば無產政黨の歷史？は可成り年を經た如く思はれぬでもない。何となれば此の問題が唱へ出されてから、彼れ是れ四五年になるからである。東京の大地震後、漸く唱へ出され、然して即時、無產政黨成立問題等論議され、それから、第一次農民勞働黨の成立に次いで第二次勞働農民黨が成立された。而して是れも勞働總同盟外五六團體の脫黨に據つて分裂の悲運に逢着し、今や生みの苦しみ以上の難關に出喰して居るのである

二

無產政黨の問題も漸く吾等の關心から離れかけて來た樣だ。何となれば吾等は分裂に分裂を以つてし、崩壞に崩壞を重ねて來たる無產政黨問題には最早や食傷氣味となり、嫌氣がさして來たとでも云ひ度い樣な氣分になりつゝある。斯く云へば意志の弱い奴哉！と云はれるかも知れないが、元來、私は無產政黨に全生命力を傾注して迄もやり通す氣がないからである。何となれば現在の無產政黨中に果して鬪爭的政黨の存在してゐるものが有りや否や、吾等は疑はざるを得ないのだ。勞働農民黨は今や私閥共產黨の膝下に其の形骸を橫たへて居る。果して此れが唯一の鬪爭的無產政黨であるや否や？世人は、此の政黨を稱して左傾黨とは云ふけれ共、是又疑問なからざるを得ぬ所のものである。成程彼等の宣言、綱領、政策等に於いては急進的色彩の多分なるもの無きにしもあらざるものである。然し、眞に彼等は內容的に若しくは精神的に鬪爭意識を有してゐるものなるや否や？單なるロシヤブローカーとして露國共產黨の日本出張店として、外交員の如くパンの爲若しくは儲けの爲だけの御役目的仕事であるか何うかを疑ふものである　斯う云へば彼等を甚だしく中傷してゐる如く見えるけれ共、今尙、彼等の行動を監視して觀ると其麼、臭がせぬでもないのだ。而して又、昨年の十二月初旬に成立したる安部、吉野、堀江三氏の提唱になる社會民衆黨は勞働總同盟の後援を得て勤勞階級本位の政黨にするか、若しくはそれが存在條件の一ッにされてゐるものであるが、是も純無產階級の政黨と云ひ得るかどうか。勤勞階級と云ふのは、どうせ月給取階級を指すのであらう。然し其の中には勞働者、農民を含んでゐるかも知れない。彼等の提唱理由にはそう云ふ事が云はれてゐた樣に思ふとは云へ、勞働總同盟が後援すると云ふからには勞働者の地盤があり、其の背景のあるのは事實であらう。彼等の政黨の目的及理想は現今の腐敗せる既成政黨を打破し民衆本位の理想選擧に據りて政界の惡弊を一掃し、資本主義制度の急進的改革を排して、合理的改革を實行するものなりと稱して居るのであるが、然し、何が故に急進的の改革を避けねばならぬか。彼等は、それを以つて「社會進化の過程を無視する」ものなりと云ふ。然し乍ら、穩健着實右翼化、プチ・ブルジョア化するを以つて「社會進化の過程を有視」したものとは云ひ得ないのであらう。然して彼等の存在形式及存在內容を指す所のものには全然、議會主義に據つて行かうと云ふ精神が見え過ぎて居るのである。先づ提唱者の顏觸れを一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

瞥しても、安部磯雄、吉野作造堀江歸一氏等の如き、安部氏は明治時代よりの古い社會主義者若しくは基督教社會主義者であつたが、素より穩健着實の紳士である。又、吉野作造、堀江歸一の兩博士は夙に、ブルジョア・リベラリストとして定評ある人々である。そして二氏共、一度も無産階級運動に加はつた事のない人々であり、今度、ヒョッコリ現れ出て美味い所を吸はふと云ふのだ。吾等は右の理由に據つて三氏の思想を推斷しようとはしない、又それに據つて「社會民衆黨」の將來をもトしやうともしないであらう。けれ共吾等は無産階級の理想的政黨としては以下の諸條件に立脚したる構成要素を以つて構成され又それに據つて發展して貰ひ度い希望を有つものである。

三

無産階級政治運動が唱えられ其の理論的根據として「方向轉換論」が喧傳されるに至つたのは最早や五六年以前に過ぎ去つて居る。而して其の當時、「議會利用？非利用？」に就いて可成り論爭され、其の問題は一先づ一段落が付き、專ら成立運動のみ急ぐに至つたのである。か、て今や、成立運動は最高頂に達し、理想的なる單一無産政黨より多元的無産政黨に轉換され、其の歸趨は何處に落ちて行くか計り知れざる境地に迄進展して居る。是れが究極の歸着點は可成注目に値するものでなければならない。而して若し總選擧の場合各々の組合的地盤に據つて投票を集むるとせば其處に幾多の悲喜劇が演ぜられる事は想像するに難くない。即ち階級的同志打ちに據つて既成政黨に漁夫の利を占められるやも計り知れず且又、政黨の運動條件として黨員各派の交渉の分散離合に據つて既成政黨と野合するやも計り知れないのである。況んや、昨年末成立を見たる「社會民衆黨」の如きは最もブルジョア・デモクラチックであり、既成政黨中のブルジョア・リベラリストさへも入黨に吝ならざる如き非鬪爭的妥協的なる分子の集合であり、且觀念的構成分子の組織の基礎に據つて樹立されたるアヤフヤなる政黨に於ておやである。

故に吾等は總選擧の非常事に於ても且又、普通の狀態に於ても政黨に對する態度は最も愼重に考慮且進退せなければならないのだ。徒らに一無産政黨――二個以上の無産政黨あるものと見做して――の運動にのみ全勢力を費す事は考へねばならぬ。殊に未だ海のものとも山のものともつかぬ觀念的諸無産政黨には專ら第三者的批判的の態度を以つて望む事が必要である。然し乍ら吾等の考へる所に於て、左の諸條件に適合したる無産政黨ならば、大いに後援又は盡力して更に入黨し、更らに亦奔走しても差支へないであらう。

一、無産大衆の現實生活に最も重きを置く事、二、無産大衆の行くべき途を最も明確に顯示し且それに目的及理想を與へ鬪爭的精神を鼓吹する事。三、無産政黨の任務及目的を指示し、それに據つて議會病に感染せざる××××××××の把持者たる事四、無産大衆を欺瞞し、誤まらしむ如き似而非同志の乘取運動――即ち私稱日本共産黨の如き――似而非××××――を行はざる事。五、政黨構成の人物は常に身を無産階級の陣營に挺し、志士の如く××××××××××人物。六、政黨の主義、綱領を嚴守する事。

凡そ、右の六條件に適合してゐる政黨なれば吾等と雖、大いに「議會利用」は應用する。然し乍ら、現今の無産政黨運動を觀るにそれは正しき四五年前まで論議されたる「議會利用」には非ずして「議會効用」に墮落し切つて居るのだ。即ち×××××は議會を「利用する」に非ずして議會に「利用され」かけて居るのである。

遮莫、吾等は此處に一つの希望を發見するであらう。其は燃ゆるが如き正義感と鋼鐵の如き意志を有つ所の若き無産階級の戰士に據つて將に成立の曙光を發見せんとしつゝある所の日本勞農黨の誕生である。是こそは吾等の多年待ちもうけたる理想的無産政黨で無ければならない。何故ならば、吾等が擧げたる前揭無産政黨構成要素の六條件に及ばず乍らも適合して居るからである。吾等は、吾等の主義と精神を同じくする者の爲には何日何時でも生命を貸さうではないか。（一一、一三）

一般民衆の信望するもの

布施辰治

□

誰でも知つてゐるやうに我が國の無產階級解放運動は、其の發生以來、其の政治行動に就て肯定、否定、肯定の方向轉換を三度繰り返して居る。

□

此の間、と云ふよりも、寧ろ其の前から無產階級解放運動の政治行動に就て、終始一貫、變る所のない肯定の態度を執り、而かも、無產階級の政治行動を全然議會主義に墮落させてはならないと信ずる意義と限界とを嚴守して來て居る私は、無產階級政治行動の、共同戰線を標榜して起つた無產政黨運動昨今の四分五裂に對し、轉た感慨に堪へないものがある。と同時に、私の、對無產政黨態度に就て、言つてみたい事も澤山あるが、左に其の最も根本的な一つを掲げてみやう。

□

それは、不信墮落の既成政黨に愛憎を盡かして居る一般民衆の、新たなる信望に添はんとする昨今の無產政黨運動者は、果して、現在の一般民衆が政治的に信望して居るものゝ何であるかを知つて居るか？どうかと云ふ事である。

□

一體、無產階級解放運動としての政治行動は、どんなに其の意義と價値とを高調しても、要するに、代表の運動である。と同時に、政權を通してと云ふ間接の運動である。從つて、無產階級解放運動としての經濟行動で眞の大衆運動であり、且つ、眞の直接運動である點とは甚しく其の意義と限界とを異にするものがある事を忘れてはならない。そして、既成政黨の不信墮落に愛憎を盡かして居る一般民衆は、既成政黨の如何なる點に愛憎を盡かしたのかを考へたら新たなる一般民衆の政治的信望に添はんとする無產政黨運動者の態度用意に缺ぐべからざるものは、一般民衆の前に宣傳し、聲明し、公約した事を死守すべき信望と高潔であらねばならない事が判るであらう。

□

謂ふ所の代表運動に於て、其の代表者たり若しくは、其の代表者たらんとする者が、一度一般民衆の前に、宣傳し、聲明し公約した事の信實を死守せず、又、無產階級解放運動としての間接運動が、例へ、經濟的の利益ではないにもせよ、政權に接近した政治上の位置なり、社會上の名譽なりを、我れ先に利せんとする態度を執るとしたら、其處に、謂ふ所の代表運動と、間接運動とは、全然其の意義と價値とを沒却する。

□

階級戰に參加した小學兒童

岩崎正三郎

階級戰は社會を二ッの陣營に切斷する××するものと、××されるもの。自由人として進歩を要求し人間權を主張するものと、奴隷となつておこぼれを頂戴しながら支配者と共に現狀維持に努力するもの。この對立には男も女も老人も子供も參加せずには居られぬ。×××は斷じて第三者なるもの、存在を許さない。そして社會組織のあらゆる機關に浸入しなければ止まないのだ。

老婆も娘も――彼女等は行商隊となつて遠く山形の方まで出掛る――少年も少女も共に立つて、戰線に參加してゐるのを新潟縣木崎村の小作爭議に見出した。暴虐なる地主に對する反感の爆發と、ブルヂョア教育に對する一大反撥によつて出現した無產農民小學校はこの點に於て、多くの暗示を與へてゐる。

反動化した資本主義が小作人から總ての戰鬪手段を取り上げてしまつた時、戰線は必然にブルヂョア的觀念――滿足と柔順と平靜とを美德とする卑屈な奴隷根性――のみを詰込む學校の中に擴大され、小作人が小作人自身の學校を要求するに至つたのだが、事實、農村の小學兒童が如何に強く地主及びその階級に對して爭鬪心を抱いてゐるか。左に示す兒童の綴り方を見てもその一端を知ることが出來る。

少年の使命

壽五　鈴木壽

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一般民衆が、既成政黨の不信と墮落とに愛惜を盡かして居るのは、當に其の爲である。一般民衆を代表して、一般民衆の爲に努力すると宣傳し、聲明し、公約した事を全然反古にして省みなかつたものは彼等既成政黨では無かつたか。又、間接運動としての政權接近を計つて、政治上の位置に獵官し、社會的の名譽を潜稱し、又、經濟上の利益を漁つて一般民衆を踏み毫にしたのは彼等既成政黨ではなかつたか。

□

之を想ふて、新たなる一般民衆の政治的信望に添はんとする無產階級解放運動としての政治行動は、如何に其の意義と限界とを高調しやうとも、謂ふ所の代表運動たり間接運動たる點に於て、既成政黨の政治的行動と其の危險を同じうする無產階級解放運動としての政治行動に許される意義と限界、死守の信實と高潔とを忘れては爲らない。

□

既成政黨の不信と墮落とに愛惜を盡かした一般民衆は、實に無產階級解放運動としての政治行動に對して、只だ夫れのみの新たなる信望を繫いで居る。

□

夫れは、一度一般民衆の前に宣傳し、聲明し、公約した事は飽く迄之を實行して呉れる信實である。と同時に、萬一にも之を實行し得なかつた場合の努力に死守する献身の犧牲である。然らずんば自らの不明を愧ぢて再び、一般民衆の前に宣傳し、聲明し、公約する所の資格抛失する運動からの謙遜である　一度一般民衆の前に宣傳し、聲明し、公約して事を實行し得ないし、自らの無力か不明かを愧ぢずして、之を反古にし、再び一般民衆の前に變つた宣傳や、聲明や公約をして、一般民衆を迷すやうな無產階級解放運動者は、決して現在無產階級解放運動、一般民衆の信望して居る無產政黨運動者では無い。

□

考へて見るが良い。一度、一般民衆の前に宣傳し、聲明し、公約した事の實行に、自らの無力か不明かを覺知して、再び一般民衆の前に宣傳し、聲明し、公約したものが、どうして再び自らの無力と不明とを覺知して其の宣傳と、聲明とを變へない事を保證し得るか？と同時に所謂無產政黨運動者の左樣した宣傳、聲明、公約の再變三變は既成政黨者流の如き不純が伴つて居ないにしても、其の一般民衆を迷しむる、宣傳、聲明、公約再變三變の不信は同一である。

□

故に、私は無產政黨運動昨今の四分五裂に際して、其の創立と分裂を策動して居る無產政黨運動者に望み度い事は、一度一般民衆に宣傳、聲明、公約した單一無產政黨支持の趣旨である無產階級解放運動共同戰線結成の爲めの政治行動である。それは如何に至難であつても、一旦宣傳、聲明、公約した事を實行する死の努力を捧げさへすれば必ず一般民衆は、之に答へて呉れるであらう。昨今の政治運動の有樣に鑑み、特に此の感を深くする。

私は、おとうさんと一しょに地主をけとばしてこの國を靜にしてみたいとおもう。そしてとりあげられた田をとりかへして、かへつて地主の田の中にふだ（耕作禁止の立札）をたてるやうにしなければなりません。貧乏人でも一しょに心をあわせてやれば、地主なんかは一とばしにとんでしまいます。

地主

尋六　崎川　豐治

眞島（地主の名）やろは非常なあく人で、小作のびんぼう人から田を取上げたり、又は巡査に金をくれて小作人の人々を警察へぶちこんだり、いろ／＼のことをしてゐる。眞島に組してゐる圻組（地主と反動小作との一味）などは非常なぐすめらばかりだ。

かくまで農村は激してゐる。農村の老幼男女は「人類の前史」を閉ぢるための××××に起たんとしてゐる。二百年來辛苦して耕作して來たほどの土地が、地主の一片の所有權の前には一朝にして何の挨拶もなく取上げられてしまふ。この事實に直面して、二千年來×××××に惱み續けて來た日本の小作人は、こゝに初めて眞實の自己の姿を見たのだ。

生產の行はれてゐる所、人間の住み得る所、我等の戰線は如何なる機關の中にでも擴大されて行く。全世界を包む資本主義的生產の網、××××これを引切ることは勞働者と小作人とに負はされた必然の使命である。汝の陣營を守れ！そして我等の陣營が團結そのものであることを忘れるな！

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

端書回答

社會運動の回顧と希望

質問文

一、十五年に於ける社會運動に對する感想
二、十六年に於ける社會運動への希望
右に對し貴下の御回答を祈ります。

■ 長尾桃郎氏

一、分裂當初寧ろ感情に抗爭の中心を置いてゐたかの感さへあつた總評二團體が截然その所信を表明し、大衆に問ふに至つた一事、そこに――勞働代表選出問題に波亂の徴を見せ、而して無產政黨叢生の大混亂に至つた――大正十五年度のあらゆる社會運動の現象は還元出來やう。

右翼が所信のために用ひた手段は巧妙であつた。然し結果に於ては稚拙とさへ考へられる點が決して尠くはなかつた。分裂問題の頻出もそこに由來したやうでもあつた。それらの分裂が「統一のための分裂」であるとしても、その曲折の跡を顧るとき、せつかちな日本人には、スラブ式の「鈍」の缺如を痛感せしめられる。

評議會は、守勢から攻勢に轉じて蹉跌し總同盟は威壓から自惚れに墮して崩れた農民組合は、今、泥濘から這ひ上らうとしてゐる。

二、民衆運動には機會はあつても奇蹟はない。從つて運動の政略化を排して、より地味であつてほしい。少くとも議會へ幾名かの代議士を送らんがために、あれ程まで拂はれた努力の中を、向き返つて民衆の教化のために振替へて貰ひたいと切に思ふ。大きな收穫はたゞよりよく耕された土地にしか期待出來ないのだから。

■ 石川準十郎氏

一、十五年は、大體豫期した通りの分合作用が行はれた。問題はこれからの展開である。總同盟は麻生氏等の脫退で却つてやりよくなつたであらう。がそれと共にその將來を決定する重要な時機に立つて居る。脫退した麻生氏等の日本勞農黨が總同盟一派の進み方の如何に依つては共產黨(勞働農民黨なども含めて)と總同盟派(社會民衆黨)との間に位して、社會的存在の根據を失つて了ふ虞れがあると共に總同盟乃至社會民衆黨は、單なる英國勞働黨模倣化して行つて(その顏觸れから見て)實際の日本の大衆の實在的要求から離れて行く虞れがある。問題は要するに、日本社會には日本社會としての(對內的對外的)共同必要乃至平均必要の糸(絕えず變化しつゝある所の)があるのであつて、結局それを踏み占めて行く者が決定的力となり得るのである。

二、共產黨の諸君が嚴に正教マルキシズム―復歸コンムユニズムを持すること、そして批判的マルキシズム―批判的社會主義のために下地を耕すこと。

■ 西尾末廣氏

一、日本勞働總同盟第十三年度大會の宣言以來、日本の社會運動は「觀念的運動より現實運動へ」の進化過程期である。抽象的理論や觀念的思意に於ては一致を見てゐたものが「我等には實行力が出來た。さて我等は何を如何に爲すべきか」との現實にブツつかつて、現實を把握し得たものと觀念的な殼を脫し切れないものとの間に、その當然の結果として意見の相違が生じて來た。而してこのために、大正十五年は樣々な混亂の渦を捲起した。

二、この雜然、混沌の中から、新らしい統一を產み出したい。そのためには、ブルヂョアの特長であるところの美はしき「觀念」を吾等の中から追ひ出し、頑丈にして手ざわりの惡い「現實」の前に日本の無產階級を立たしめねばならぬ。更らに他を非難することに依つて自己の存在理由を高調せんとするブルジョア政治家的政策を無產階級の陣營內より排斥することに、各團體の協力が必要である。

■ 那須皓氏

一、大正十五年度に於ける無產階級の社會運動は七花八裂、一部の人からは無產階級の結合力を危ぶまるゝに至つたが、之も進化の過程に於ける一現象として已むを得ざることかも知れぬ。思想傾向の異なるものが無理に同じ世帶を張つて夫婦喧嘩に日を暮らすよりも、奇麗に別れて友人となつた方が、時には一緒に仕事も出來ようと云ふものだ。併し私には所謂思想傾向の相違なるものが幹部間に存するのみで無產大衆それ自身の中には存しないのではないかと疑はれる。今少し小異を棄てゝ大同につく事は出來ぬものであらうか。尤も斯く云ふことは無理矢理に單一政黨でなければならぬと云ふ一派の人々に共鳴する次第ではない。

二、分立せる各派間で惡口の云ひ合ひを

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

せず一致する點に就て共同戰線を張つて欲しい。そして一切のマキャーベリズムを排してもらひたい。相互の信頼が協力の根柢だ。

■ 細野三千雄氏

一、紙の運動が十五年度の社會運動の決定であつた。聲明書、決議書の飛び交ひし事降る雪の如し。十二月一日の請願運動に至つては、車數十臺に請願書が積まれるといふから紙の運動の掉尾の勇をふるつたものだ。

二、十六年度は紙から離れた眞正の運動に立ち返つて欲しい。

■ 淺野研眞氏

一、大正十五年に於ける運動は、何と云つても、政黨運動の部門に於て特筆さるべきものがあるだらう。全く中央、地方大小幾多の政黨が、雨後の筍の如く簇出したことは偉觀であつた。然し小黨分立は、何としても遺憾の極みである。手段となるより鷄口となるべしと云ふのなら、吾人また何をか言はんやだ。……

尙ほ辨證法の新輸入と新流行とがあつた教育運動の進展も注目される。

二、甚だ漠然たる言ひ分ではあるが、運動の全戰線の擴大と實力の養成とを希望します。

■ 宮内武郎氏

一、共產派が無產階級に反逆したる年。共產派大衆社が朴烈の怪寫眞を政友會に賣付けた事等は其の一例だ。

二、ロシアブローカーを排して無產階級の大同團結へ進め！

■ 林癸末夫氏

一、理論上の喧嘩と破壞的な戰術にかけては、どうも右翼よりも左翼の方が上手のやうだ。勞農黨の分裂などは全く左翼にしてやられた形だ。

二、右翼は左翼の反間苦肉的な押賣喧嘩の相手になるのを止めて、直接に農民や勞働者の大衆に呼びかけて行く方針を取るべきだ。

■ 春田正氏

一、大正十五年の勞働運動のみに就いて言へば、お先眞暗の闇仕合感情的な同志打ち。我々見物人にはお互に暗い相手が想像つくが、どうも旨く相手を摑つてゐない樣だ。

二、十六年は――もう少し此の仕合に光を導入することは緊要。――つまり目先が見えないではネ――そしたら、自分のヘッピリ腰にも氣がつくだらうし、今少し力の入つた仕合も拜見出來る樣に思ふ。

■ 吉田源藏氏

一、十五年の吾等の運動は、其の殆んどがブルジョアー政治組織なる暗礁に乘り上げて居ります。そして吾々は暗礁に乘り上げて傷手を蒙つたばかりでなく一歩も前進する事が出來ぬような狀態でありました。それはブルジョア政治勢力なるサーチライトが強烈な光度で吾々の陣營を照して居りますので、此奴がどうも眩しくて、屁子垂れ氣味であつたやうな感じが致します。

二、そこで吾々は十六年度においては負はされた傷手を療治することゝ、吾等が何時も××××××××××××××ことゝ敵のサーチライトより強力な光度を有すサーチライトを以つて敵の陣地を隅なく照して吾等の團結丸をハイスピートで敵の要塞へ進めること等に全力を傾注し度いと思ひます。

■ 新居格氏

一、分かれるやうに分かれ、それ〴〵に相當の理由もあることでせうが、日本の運動は事實よりも理論的傾向が著しく先行して理論鬪爭が好きなように見うける。その感特に今年に於いて深かりし。

二、十六年には無產階級のごたくさ（それはなくはならず、あつてもいゝが）からごの立場をもつとずつと資本主義への集注的進出が望めてならない。

■ 北澤新次郎氏

一、社會運動が無產政黨組織に關して攪亂されたるを甚だ遺憾とする。

二、十六年は社會運動に出來得る限り併合作用が行はれ、無產階級の大同團結が實現されて、共同戰線の擴大されんことを希望する。

■ 藤田浪人氏

一、十五年度の社會運動は不景氣と官憲の壓迫との爲め恐しく陰慘なもので、此まゝで進んだら悪い結果になりはしないかと思はれた。

二、十六年度の社會運動は議會が解散になつて普選實施後の總選擧が行はれたり無產階級の代表者が多數議席を占め、正々堂々の陣を張り、總てがモット明るい運動になるだらうと思ふ。

■ 布施辰治氏

一、十五年度の社會運動を回想して感慨に堪えないものに、口には無產階級團結せよと呼んでゐながら、腹には分裂の策動を計る社會運動者の多い事です。

二、十六年の社會運動に對する私の希望は、斯くして右へ、右へと傾むいて行く社會運動者は所謂社會運動者で眞の社會運動者ではない、といふ假面をヒキハイでやりたい事です。

■ 原信行氏

一、吾々の所屬、水平社の差別徹廢運動の沈滯した年であつた。十五年に於いて吾々の同人の一部が政治運動に走るに至つたことも特に感ぜられる。然し吾々の差別徹廢運動は消極的になつたけれども吾々に對する差別事件は全國を通じて實に夥だしい數に上つてゐる。殊に軍隊内に於ける差別事件等は何日になつたら芟除されるかと思はれる位だ。最近では福岡聯隊で問題を惹起したので、今、吾々は聯隊當局糺彈の爲め戰つてゐる。

二、吾々は十六年に於いては十五年に於ける消極的、沈滯的運動をもり返すべく努力しやうと思つてゐる。吾々の行動はより積極的に、より勇敢に、××するものであらねばならぬ。×××××××××××××××××××××××××。

■ 久留弘三氏

一、醜の醜の醜

二、現役勞働運動リーダーの總引退

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

水沼辰夫氏

一、震災以來內訌しつゝあつたアナーキズム運動が漸く擴まり來たこと。所謂無產階級の政治運動が吾々の豫想に違はず四分五裂の醜態を現はした事。無產階級の政治家と擇ぶところなきを暴露しつゝあること。以上十五年の著しい現象でせう。

二、十六年初頭から健康保險法に關して勞資の鬪爭は盛んに開始されるであらう。否吾々は飽くまでも鬪はなければならぬ。新らたに年々二千萬圓づゝ搾取されることは勞働者の堪へ難き負擔である。

小川末明氏

一、單一無產政黨を造りたいと焦慮した時には、そこに、民衆のための利福を考へたからです。今や、其の政黨は分裂した。左翼、右翼、中間派といふやうに。然し理論や、空漠の眞理のための運動でない筈である。私たちは特權階級に、官僚臭味に、獨裁政治になやまされてきた。これを再び新らしい時代に見なければならなかつたら、何と言つていゝだらう。

二、謙讓な、精神的な社會主義的正義感を、唯物的な巧利的な政治行動經濟行動に入れたいと思ふことです。

帆足理一郎氏

一、十五年には無產運動は政治的に展開し初めた。勞働農民黨、日本農民黨、關西民衆黨、社會民衆黨、日本勞農黨といふが如き旗色を明かにした政治的結集が擡頭し初めたことは喜ばしい。一面から見ればそれは國民性の缺陷である大同團結の襟度を缺ぐ小黨のいがみ合ひを意味するものであるが、善意に解釋すれば無產運動が一層自覺的になつたことを意味する。

二、私個人としては斯くして政治的に展開することを急ぐよりは、農民組合として勞働組合としての地盤を固め、之れを階級鬪爭の具とすることなく、獨自の自治的文化機能を發揮するものたらしめんことを願ふ。

永井省司氏

一、十五年度は惡戰苦闘の年であつた。火花を散らす樣な不斷の戰鬪は實に痛快である。併しブルの武器、惡法案が實際積でならなかつた。

二、十六年度も相不變理論的鬪爭に花が咲くだらうが中間派の活躍を祈つて止まない。

荒谷宗治氏

一、左右兩翼の鬪爭激甚を極め、その犧牲として勞働農民黨の大分裂を見るに至つたのは、取返しのつかぬ大失敗。無產階級の大損失だ。然し、その消極的副產物として左、右、中堅の思想的分野が明白になつて來たことは一大進步だ。

二、イ、勞働組合中心主義の徹底
ロ、產業別組合の確立
ハ、勞農戰線の有機的結成
ニ、化石せる小兒病的共產主義の排擊
ホ、御用組合、御用政黨の排擊

前田泰男氏

一、內に左右、擾き亂しはあれど大體に於いて強く眞劍であつた。お蔭で軍敎、文相の訓示、地方青年讀物調査等、等。

二、一層に農村より猛烈なる火の手を擧げ××××××××へ。農村青年の啓蒙運動が必要。

安成二郎氏

一、社會運動が政治運動になつて了つたやうですが、これは社會運動の墮落と思ひます。代議士になり、大臣になりたいものと、我黨內閣で儲けたいものと、その時になつて漸く目の覺める多數の勞働者と、それが政治運動の行きつくところです。英國の坑夫は一體いつになればら●●くになるのでせう。

二、政治運動をやめることです。

山崎今朝彌氏

一、右翼の反動　左翼の進出
中間の奮起　戰線の分裂

二、右翼の安定　左翼の反省
中間の血盟　戰線の統一

倉本晃南氏

一、過ぎ去つた大正十五年度を回顧すると殆んど夢の樣に過ぎたから特記する程の感想もない。元來何物も持たない俺達にはロクな運動の出來ぬが當然だ。否地方同志が團結して奮闘しなければ効果は擧がらぬ。又無產政黨の生れたのも結構だが早速ヒヾが出てゴタ〱は感心せぬと思ふ。

二、次に十六年度になすべき希望は多々あるが先づ能書よりも實行主義が第一だ徒らに言論、文章にのみ主張しただけでは空想同樣だ。要は實行にあるのみ。俺達無產勞働者は今後實際運動に大いに奮闘する覺悟である。

山根積氏

一、十五年の社會運動は隨分』分五裂ゴタ〱大騷ぎの運動であつたが是もよからう。十五年は確かに社會運動陣營內の大掃除の年であつた。

二、十六年の社會運動は未だ〱もつと分裂するがいゝ。そして初めて現實主義と左翼小兒病とが分かれて各々自分の信ずる方に向つて進め。

河村又介氏

一、局外者の知らぬ事情はいろ〱ありませう。けれど、共同の戰線を布くべき同一陣營內に、內訌、分裂、同志討ちの絶え間なかつたことは、昨年の我が解放運動に於いて、何よりも悲しいことでした。

二、今年はさういふことがなるべく少くなるやう心から希望します。殊に總選擧でも行はるれば、必ず〱同志提携、協調して共同の敵にあたつていたゞきたいと思ひます。

水野貝三郎氏

一、無產階級の政治運動も漸く政黨組織の運びに迄進展してきたことは實に喜ばしい次第であるが、其の間左右兩翼の分裂の結果、小黨分立、群雄割據の現象を呈したことはブルにとつては喜ぶべきことであり、無產階級にとつては悲しむべきことである。

二、指導者が自己の野心を捨てゝ大衆を指導されんことを望む。たゞ徒らに陣營內に於ける鬪爭のみに精力を費さないようにして貰ひたい。又、大衆も自己の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

進むべき目標をハッキリみつめて、誤らざらんことを望む。

■ 山本宗一氏

一、共產黨一派が日本の社會運動を攪亂した事は忘るべからざる事である。

二、今年はロシヤ派を撲滅して全無產階級の結束を企圖すべきである。

■ 石川三四郎氏

一、十五年に於て「無產政黨」運動者の醜態に依て、天下のプロレタリヤを覺醒せしめたことを喜んで居ます。

二、十六年に於ても、益々此醜狀を發揮して日本の勞働者全部を政治運動から離れしめ、そして「勞働者の解放は勞働者自身の仕事だ」といふ當然の結論に目覺めしめんことを祈つて居ます。

■ 澤井龍之助氏

一、社會運動をやつてゐると云ふ意識より離れて、換言すれば大衆の意志を離れて各黨派閥の利己的運動に墮落した樣に思ふ。乃ち、××的情熱の著るしき低減だ。吾々は勞働組合運動者側の「小兒病的」抗爭より今や足並揃へて進軍する無產文學運動側により重大なる意義を認●●めだす樣に考へる。何となれば彼等の方がより眞面目に深刻に鬪爭の意志を有して居る如く考ふる故に。即ち眞底より迸り出る正義感に立脚してゐるからだ。抗爭より分裂へ！分裂より自滅の淵へ！今や我日本の社會運動は最重大の危期に直面してゐる。此の原因は云ふ迄もなく私鬪、日本共產黨の破壞的實同志的利己運動に據ること勿論である。

二、總同盟の正義派を應援せよ。即ち、日本勞農黨を極力支持する事だ。正統派××××××、以つて似而非實同志的社會運動を排斥しなければならぬ。それから小作農民運動に盡力すること等。

■ 前田河廣一郎氏

一、運動戰線内の内部整理が主とした現象であり、局部的に擴張された方面と、突角的に進出した方面とがあつた。

二、理論鬪爭のみに沒頭せずして全般の驀進と浸潤とを望みて止ます。研究は學者を作らざる範圍に留められたい。

■ 鈴木楯夫氏

一、十五年中の社會運動は「沈滞」の一語を以つて盡きると思ふ。世界は可なり動いて居るのに日本はごうしたものかとは●が●●●ゆく感ぜられる。その代りでもあるまいが勞働運動方面が、政黨組織で醜い爭ひを續けて、肝心の經濟運動を忘れたかの感があるのは殘念に思はれてならぬ。所謂幹部諸氏の反省を求めずには居られぬ。

二、社會運動の進展はごう考へても、勞働者自身の力によつてより外ない。智識階級などほんのお手傳としか思はれぬ。勞働者が幹部などの醜い爭ひに眼もくれず、一人でも味方の覺醒を促して×××の陣容を立て直し、一齊に進むようにしたいと思ふ。そう希望する。

■ 戶谷白羽氏

一、十五年度の社會運動中特筆す可きは無產政黨への著しい進出であつた。而かゝ積弊が一時に融解したとも見らる可き程の慘しさであつたので隨つて非常な大混亂を見るに至つた事は、何にしても日本社會運動史上に於ける一大新記錄であつた。

二、十六年度に於ける無產政黨は前年度混亂の後を受け且つ興惑されつゝある議會「解散」の爲めに或程度迄の整理された無產政黨の分野が定まる事の爲めに努力す可きである。

■ 尾瀨敬止氏

一、當然起るべかりし社會運動が非常な速度を以つて展開したこと。

二、その社會運動が足元ばかり見ずに大局に目をそゝぐこと。

■ 岡陽之助氏

一、喧嘩がずいぶん面白く見物された。どうせマルクスのいふような階級的結成なんて出來つこはないのだから、せめてせいぐ喧嘩をして、強いものが勝つ事だ。

二、一九二七年に希望する事に、福本和夫君あたりが組合や政黨に入つて、實際運動をやつてみる事。

■ 中澤辨次郎氏

一、餘りにも慌しいものであつたと思ひます。分裂騷ぎが其處此處にあつたので……然し左翼の妄動！それに依つて運動に飛躍のあつた我が國の一般社會運動が軌道を逸さんとした危險が之れに依つて防止出來たとすれば、無產階級運動將來の爲めに決して悲觀すべきではありません。是れから健實に進んで行つたら宜しいと思ひます。

二、十六年度の社會運動は分裂から統合若しくは統一と云ふやうな氣運が向いて來るのではないかと思ひます。それも右翼は右翼、左翼は左翼で……兩者とも之れからは何處かの政黨でやるような泥仕合は愼んでお互に紳士的爭ひにして頂き度いと思ひます。

■ 岡千代彥氏

一、右か左か前か後か集合離散常なき社會運動に對しては愛想が盡き申候。

二、小事に拘泥せず、大衆の眞に活くべき道を指示するよう願度候。

■ 藤井悌氏

一、十五年に於ける社會運動は大局から見れば萎縮、無方針、消極的の焦燥に終始した。資本階級、特に大資本閥の側では著しく階級意識が明確尖鋭となり積極的作戰方針が樹立されかゝつて來た勞働者側は年末近くなつて反撥の勢を示して來たが、それに永續的の根據があるか否かはまだ分らない。とにかく治安維持法の暗默の威力は思ひの外大きかつた。

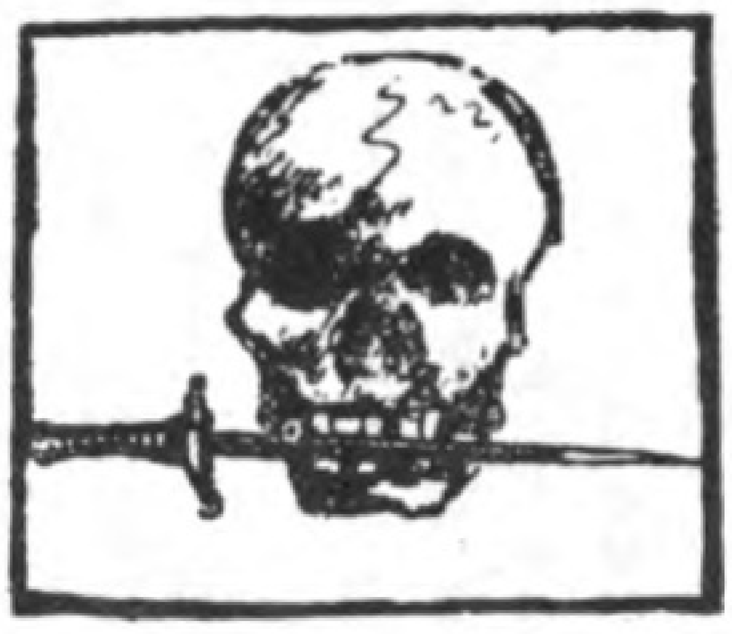
二、三重四重に分裂した無產者側の陣營が客觀的情勢の上から見た必然の動機に從つて、合理的、合目的に整理されんことを何よりも希望する。今日必ずしも單一無產政黨とは言はない。左右二黨だけの對立となつて、一方には理論的鬪爭を繼續しつゝ、眼前の共通目的に就いては全有產階級を向ふに廻して威力ある共同動作をなし得るやうにしたい。

■ 高島米峰氏

一、無產階級の蝸牛角上の小紛爭醜又醜

二、無產階級の諸君、小異を捨てゝ大同に歸し、以つて民福の繁榮に貢獻せよ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



彦根共產黨事件の眞相

―血迷へる官憲の妄動―

吉田源藏

事件の發端

大正十五年十月下旬江洲彦根の新聞紙近江實業新報に彦根警察署在勤警部補井上輝海なる者の發表せる頗る愚論が掲載された。そこで私は同じ彦根で發行せられる湖東日日新聞紙上に於て、其の駁論を試みたのであつた。彼井上警部補と私は程遠からぬ所に居住して居るので何時も風呂屋で、一緒になるのである。此の事があつてから二日程經て例の風呂屋で顔を合せた、其のとき彼井上は私にあの駁論を取り消せと强談した。私は信ずるところがあつて書いたのだから取消さない、文句があるなら公法上の形式を履めと突つ放した。其の時彼は

『ナーニ取消さねば夫で宜いよ僕も司法主任をして居るのだからね、又何かあるよ』と彼井上は何だか意味ありげな事を言つて風呂屋を出て行つたのであつた。

それから數日の後彦根に江洲中央新聞と云ふブルジョアー新聞が發刊された。其の創刊から文學博士渡邊世裕と云ふ大學者が『財產平等制に就いての批判』と題する社會主義攻擊論文が掲載された。そこで私は湖東日日新聞の紙上を拜借に及んで、博士の筆が未だ終らぬ内から駁論を試みたのであつた。ところが私の駁論『吾等の信ずるマルキシズム』は第四日目に不穩だと云ふので發賣頒布禁止を喰つた續いて其翌日も發禁を喰つた

不敬罪

それから三日程の後私は一日の勞働を終へて、疲れ切つた足を引き摺つて家へ戻つた、そして辨當箱の空を放り出して、妹が拵へて置いた夕飯の膳の前へ座つたら、ドカ〳〵と變な風體の野郎が這入つて來た。そして僕等は彦根署の刑事だ、眞ぐ來て呉れと云ふので、何の用だと聞いたら、何でもよいから直ぐ來いと云ふ。私もどうせ此奴等は來いと言つた以上只歸るやうな奴等ではないと思つたから飯を食ふ間待たせて置いて、仕方がないから行く事にした。

一方私は警察へ引つ張られて二階の大廣間で、署長、井上警部補、北村刑事部長等立會ひの上で、皆木と云ふ滋賀縣警察部高等課の警部が主任で取調べの尋問を受けた。皆木警部の言ふところによると私が不敬罪を犯して居ると云ふのだ。皆木警部の云ふところに依れば、私の書いた『吾等の信ずるマルキシズム』の中の伏せ字四字が惡いと云ふのである。そうして此の伏せ字四字は有機體だらうと私に其の自白を强要したのである。

此處に至つて私は彼奴等の惡辣な所謂警察根生に驚いたのであつた、それは彼等は私の原稿を掲げた新聞紙が發禁になつた當日新聞社の編輯室から私の原稿を押收して居るので、其の伏せ字四字が、有機體であるか、又は無機物質であるか、知りぬいて居るのである。それに私に有機體だと白狀せしめやうとしたのは、全く不敬罪と云ふ犯罪を製造しやうとしたのである。恐らく彼等官憲は、私が迂濶に有機體だなんて口を辷らせたら私の原稿は燒き捨てゝ仕舞つたらうと思ふ。

私は檢束せられたまゝ彦根署に一夜を明かした。

十一月十二日の朝なのだ、昨夜來から非常召集を行つて大活動をやつて居る彦根署は、此の日も朝來から何となく悽愴な空氣が漲つて居た、署内を右往左往する刑事巡査共の囁きを、途切れ〳〵に竊み聞くと、今日は大津地方裁判所から判檢事が出張して、私の家を搜索するのだと云ふ事が薄々分つた、そして午後四時半頃一と先づ歸宅を許された。

自宅に戻つて驚いた、固とよりあまり綺麗な家ではないのだが、其の落花狼藉實に目も當てられぬ慘狀に、私は一時は戸惑をして他所の屑部屋へでも飛び

込んだのではないかと怪んだ位であつた。が然しそれは確かに私の家である事に氣が付いた、それに彦根は云ふに及ばず、遠く米原、大津邊の同志等が私の拘引せられたのを知つて逸ち早く駈け付けて居て呉れたからである。大津の太田君、米原の西山君、彦根の馬場君、堀井君等が、湖東日日新聞の主筆小西君と、私の妹を取り卷いて前後策を講じて居て呉れたのであつた斯くして私の不敬罪は全くものにならなかつたのだ。

治安維持法違反

潔癖家の湖東日日社主筆小西君は、私の今回の拘引を法律家だけに承知しない。翌日の新聞に、泰山鳴動して鼠一疋も出ないと毒吐いた。そこで初めから感情で動いて居た警察は又候體面問題を蒸し返し、十二日の家宅搜索で手に入れた、同志西山文策君から、去る十一月七日の進め讀者の顔合せの會合に關係した事で、私に寄せた手紙を唯一ツの引擾りに、再び活動を開始したのであつた。

是より先き彦根警察署の刑事二名は、米原署の刑事一名の應援を得て、米原の同志西山文策君の宅へ至り、同君の母を威嚇して不法な家宅搜索を行つたのである。私は判檢事が出張して行られたが、西山君は全く刑事等が裁判所の命令なしにやつたのである。そして御丁寧にも西山君は米原署に引つ張られて、刑事室で横面迄見舞はれたのである。米原署の刑事の暴虐はこれにて止まらず、今後進めは送付して來たら、封のしたまゝ警察に持つて來いと言ひ渡したそうである。

斯ような事があつて、十一月十二日一先づ釋放された私は、十一月の十五日正午頃、私の働いて居た、彦根町觀音堂筋の若林製瓦工場から、三人の刑事巡査に再び拘引せられた。私の妹はつ子は自宅から彦根署へ、同志太田増美君は大津署へ、同志馬場富三郎君は彦根署へ、同志堀井義一君、同志西山文策君等は米原署へ、何れも此の日拘引せられた。そして翌十一月十六日には全部六名は彦根署に留置せられた。

吾々六名は交代で彦根區裁判所檢事局に引つ張られて、彼等の勝手な調書を作つたのであつた。私が後で立合つた人に聞いたのであるが、其の人の話では或る刑事は、私が常に煙草を喫むのに使用してゐた蝴蝶の竹パイプの穴を頻りに覗いて居たそうであるが、パイプの中に一體何があると思つたのであらうか。實にそれに糠味噌の中と言ひ、吾々の考へ及ばぬ細心の御注意は流石に刑事は偉いものだ。

それから翌十七日は私達六名又々豫審判事の調べを受けた。檢事が强制處分の請求をしたのださうであつた。何でも好きなやうにするが良いと諦らめて居た。諦らめては居たが、豫審判事から檢事の强制處分請求書の主文を示されたときは、不尠驚いた。それには次ぎのやうに書いてあつた。

被疑者吉田源藏は社會主義者福田狂二方に永年門下生として寄寓し同人の感化を受け福田狂二指導の下に今回彦根町に來り滋賀縣下に共產主義を宣傳し且つ之を實行せんとする結社を組織する爲め太田增美、馬場富三郎、吉田はつ、西山文策、堀井義一と語らひ大正十五年十一月一日及び同月七日に滋賀縣彦根町大字平田町の自宅に於て之が結社組織に關し凝議したるものなり云々

と、隨分これだけ嘘が列べられたものではないか、私は實に呆れて仕舞つた、けれども私達が何と言ひ譯したところで豫審判事は承知するものではない。彼れは私達に就いて、事件の眞相を調べるのでなく、警察や、檢事の報告書や、調書を反復すれば事足る役目なのである。遂に私達六名のものは翌日十八日豫審判事の令状を執行せられ、治安維持法違反として膳所監獄に收容せられたのである。そして面白い事には、私達が膳所監獄に押送せられる當日は、東西の進め社から石山驛に多數來る者があるとかで、東海道線石山驛は制私服の警官や、武裝した監守やらで固められた。

私の原稿『吾等の信ずるマルキシズム』を連載した湖東日日新聞の主筆小西政治郎氏も新聞紙法違反に問はれて、檢事局に出頭を命せられた事は聞いたが其の後どうなつたか、私は未だ確報に接して居ないので非常に心配して居る。此の事件で彦根支局は大打擊を蒙つた事は事實だが、お陰で縣下に支局が一つ殖へる事になつた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

全土戰報

革命意識の燃燒

踏みにじられて倒れた小草もいつか花を咲かす苦しい×××××××××××覺醒の聲高く〳〵叫ぶ我等には春も來らず、花も咲かず、又大陽も照らさぬので有らうか？來る年も〳〵敗殘と、屈辱のトロフイーを得て、さうして血涙にて運動史の一頁を埋めて行のか、又悲慘、嗚呼！大なる建築の下には大なる目に見えぬ礎石や木材がある。我々の力も或ひは土臺石として終るか？然し何時かは此礎石木材を根幹とした大建築が完成するであらう。忍苦受難の人間が報ひられず朽ると云ふ法は無いのだ。出でよ麒麟兒！我國より×××××××！思ふに現在の世相は人間味を失はしめて一の機械とした。ブルは少しでも自己の金力にて他のブルに優る事を考へてゐる。此時に當つて我々無產者は男も女も眞からモツト〳〵強い創造意志に燃へ旗色を鮮明にして×××××××。我々は無產者だ。パンと幸福を飽く迄此地上に探求する無產者だ。親愛な鬪士よ！我々は眞に無產者の力の如何に大にして貴ぶ可きかを知る者は卽ち無產者の新時代を造る者と斷言するのである。

我々の力を信じて起て！或は村に或は工場に又浦に、扨ては塵多き町にさうして一歩〳〵と改革して××××××無產者の書を本當に充實せしめつゝある同胞と手を取り團結して凱歌を擧ける日の近からん事を心秘かに念ぜよ！

【滋賀縣　西山文策】

滅び行く彼等

近頃思想が惡化して困ると某警察署の高等係がコボした。私も同感でムすと俺は云つた。彼は『貴下も御承知の通り、茨城縣にも今度農民黨と云ふものが出來て誠に取締上困る』と云ふのであつた。俺は彼の云ふ事を眞面目に聞くだけの寛容性もないから彼に向つて『私が同感だと云つた意味は、君、そんな意味で云つたのぢやないよ。思想の惡化と云ふのは一國の總理大臣が同黨の幹部から饒舌罪で告訴されるなんて事を云ふのだよ。君間違へちやいけないよ』。と云つたら彼は逃げて行つた。

同志諸君よ！×××××××××××××××××××××。所謂秋風落莫といふ字句を彼等の頭上に叩きつけてやる時が來たのである。

此間の事である。茨城縣高濱町で普通選擧法（骨拔きの）により、町會議員の選擧を行つた處、彼の權力と金力に滿々たりしブルジョア連が落選しコンクリート工場の職工や新聞配達夫が當選した。又茨城縣久慈郡依上村でも普選法に依り、村會議員の選擧を行なつた處、村内で一二を爭ふ資本家の候補は見事に皆落選して、馬車挽や日雇人が最高點を以つて當選した。ブル新聞は麗々しく此の事實を書き並べはやし立てゝ居る、何の不思議もない。人間は同じく人間として誰しも同權であるべきだ。平等であるべきだ。たゞ社會の進化が斯くならしめたのである。

【茨城縣　好陽生】

建國勞働會を葬れ

諸君も御承知の如く茨城無煙炭礦問題は上毛の賃金不拂問題と同じく社會の耳目を引いた事である。

此無煙炭礦が財界不景氣の爲と役員等の放縱な政策や、又株喰ひ手段によつて二百萬圓の負債を生じ、勞働者の賃金は三ヶ月も未拂の儘にて勞働階級は、今や餓死に瀕したのである。茲に於て勞働階級は奮然として起つて勞働組合を作り、坑夫組合に加盟し、生存權確保の爲に奮鬪し大倉無煙炭礦會社を相手に我組合は猛烈なる活動をして居るのである。

そこで我組合に對抗すべくブルジョアの手先共が建國勞働自力會なるものを急造して、善良なる勞働者諸君を宙に迷はしめ、×××××とする陰謀を企だてたのである。で其發會式及び經過を御通知する。

㈣我が坑夫組合が隆々たる勢で發展しつゝあるのを見て、會社側は恐れ一部不良分子を集めて建國勞働會なる物を製造させ、會員僅かに五十名（女小供等共）ばかり出來たので發會式擧行となつた。發會式當日會員には、福引や活動の切符（費用會社負擔）等を配布し、封建思想者、軍人村會議員等臨席の下に午前九時開會する事になつた。そこで我々坑夫組合も總動員を行ひ、傍聽すべく堂々と會場に乘込んだ。所が、坑夫組員が來たと云ふので彼等は大狼狽し入場を拒んだのである。其處で我々は君等が發會式に有難い御話を聞かせると宣傳しながら我々坑夫組合員の入場を拒むと云ふ事は不當だと云

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ふ掛聲諸共一同入場、席を占領して終つた。[illegible]幹部連中の右往左往の狼狽振りは一般聽衆笑の的となつた。それから委員長の經過報告に移るや、二三の彌次が飛び、滿足な事も話せず降壇した。それから役員選擧になるや議長及自力會員は烏合の衆なる故、一言半句も出でず四五人の幹部の内輪話の如き珍現象を演出し、其不徹底なる事、あきれざるを得なかつた。到底我々組織訓練の積んだ坑夫組合の前には餘りに貧弱にして問題にならなかつた。午後二時になるや上杉愼吉が自動車を借つて乘込んで來た。そして演説に移るや組合員の彌次が激しく起つた。彼は昂奮し、演説は方向を轉換し、曖昧な事を十分許り喋つて閉會してしまつた。翌日の新聞には上杉博士彌次の爲め演壇に立往生と云ふ記事が載せられた。會員が如何に喘いでも鐵より堅き團結と確乎不拔の信念の下には決して對抗すべきものではない建國勞働自力會なるものは彼等ブル共の一時的純勞働者の麻睡藥的のもので當然彼等(自力會内の純勞働者)も近く自覺し、勞働組合員として奮鬪するも近い事だらう。同時に建國會は會社の補助金を飲んだり、食つたりして遂には近く崩壞するは明らかな事である。

【茨城縣　大友　章】

大牟田より

我が大牟田市に於ける組合運動は着々として成功の緒に就いてゐる。

横暴なる三井炭坑株式會社は工場に於いて負傷した即ち公傷に倒れた者に對して最近其の全治をも待たずして解雇するに至つた。依つて我が組合は斷乎として默許する能はず之れが糺彈を叫んで、本社事務所と醫局とへ毎日の如く抗議に行き悲慘なる同胞の利益獲得に猛進しつゝある。其の抗議の結果、如何なる無道の彼等と雖、幾分反省した如く、解雇職工を再び雇ひ入れるようになつた。地下何千尺の坑に入れられ毎日〳〵カンテラの光を頼りとして營々彼等に搾取されつゝある全國の坑山勞働者の悲慘なる生活狀態は實に想像外である。

我が組合は最近總同盟を脱會して日本坑夫組合に加盟し、日本勞農黨を極力支持することに決定してゐる

【大牟田　小松道俊】

御用組合の末路

本縣邑久、上道二郡の瓦製造同業組合は十數年來、瓦業不振のため、數回、職工の賃金値下を斷行してゐる。其れが爲めにさらでだに生活の窮迫せる職工は今日では最早殆んど食はずに働かねばならない樣な困難に陷つてゐる。之れまで賃金のことについて職工側と工場側とが問題を惹起したこと數回に止まらない。且つ工場主が此の同業組合によつて職工に對して横暴な事のみしてゐたのであるが今回彼等の仲間割れから遂ひに解體するに至つた。實際職工にとつては、斯かる組合は賃金値下の機關でこそあれ職工の味方であつた場合はたゞの一回もない。だから職工からは實に憎くまれてゐたものである。それが今回解散するに至つたので職工側では非常な喜びである。

實に我々は今迄此の組合に依つて隨分苦しめられたものだ。今後と雖かゝる資本家の御用組合とも言ふべき團體が生まれたならば速時にタヽキ潰すべきだ。

【岡山縣　倉本晃南】

闘爭への第一歩

俺は或荷造人夫である。此店は株式會社である。兄弟は八十人許り居る。そうして皆寄宿生活をしてゐる極く古い上の方の奴だけは通勤である。入社した時は十五圓の月給で食事は會社の食堂で了へる。然し米の惡いのを食はせ、寄宿舎と云つたら震災後其儘のバラック建で實にひどい事をしやがる。殊に寄宿舎の監督をして居る古參の奴は傲慢無禮な奴で朝は七時の出勤なのに自分は、六時頃より起きて、少しでも皆んなより遲くれて行くと、直ぐ文句を云ふ夜は五時の終業で十時半迄は外出を許されるが其れ以後は絶對に許さない。會社の規定であるのだ。それにも係らず自分は十二時も一時にもなつて歸つて來やがる。そしてつまらぬ處より外へは行つた事がない。然し、誰も文句を云ふ事が出來ず嫌や〳〵ながら御氣嫌をとつてゐるするとつけあがつて、夜は布團を敷いて呉れだとか、煙草を買つて來て呉れだとか、實際戻い樣に下の者を使やがる。其故、吾々二十人許りが結合して、或組合に加入した、そして、此我儘勝な虐使や待遇を改善すべく努力した。月二回位、研究會、討論會などを開いて、段々氣勢を上げて來た。或日の事である。本部でピクニックをやらうと云ふので俺達兄弟も全部出掛けた。所が途中、某驛前で到々ブルドックに皆んなつかまつて仕舞つた。そうして俺は生れて初めて別莊へ這入つた。恐らく外の兄弟も皆んな初めてゞあらう。皆一時は驚いたが大勢居たので直ぐ皆んな愉快になつて仕舞つた。所が俺だけは剛情を張つた爲二つ許り横面を見舞はれた。口惜しかつた。餘程あばれてやらうかと思つたが、今に見ろと我慢をして居た。其時ヒッパタいた奴の顔もよく覺へて居る。

奴等にタヽかれた事は返す〴〵も殘念であつたが然し、××××××××××××××××。

此の事が店に知れた爲、監督や、支配人は隨分驚いたのでいくらか氣持が良かつた。然し其後は一層目が光り出した。此んな奴等に恐れてたまるか、今に見ろ、俺達の意氣を見せてやる。そうして貴樣等の××××××××××××。全國の兄弟よ奮起して鬪へ。時が來たら宜しく應援を賴むぞ。

【東京　小栗勇蔵】

佩劍勞働者の叫び

僕は昨年迄市外大崎の某工場に職工として勞働してゐたのであるが、冷酷なる資本家の爲め解雇された。約一ヶ月餘職業を求めて彷徨してゐたが遂ひに仕事にありつけず止むを得ず一時の腰掛けとして××署の巡査となつた。

然し俸給は五十圓内外しか貰へない爲め妻に内職をさしてゐる。子供は三人あるので妻も思ふ樣に仕事は出來ない。生活は增々逼迫するばかりだ。

署に出勤すれば警部補、巡査部長署長等の上官から悉く命令されて不快なこと夥しい。奴等は、吾々に命令するに恰も暴君の樣な態度である時々協調會館へ取締りに出勤させられるが民衆諸君の正義を求むる熱烈なる態度に接すると官服を纏つてゐる自分の姿が恥しくてならない。時代に先驅する壇上の辯士は言々句々熱火の迸しるが如き雄辯を續けてゐる時橫暴なる臨監警部の中止は吾々でも憤りを感じる。警部がなんだと思つた刹那ハッとする、身は官服を纏つてゐる。こう云ふ事のある毎に巡査たるの職業に對する嫌厭は益々募る。

吾々は今民衆諸君からは仇敵の樣に思はれてゐる。官服を纏つて××××××××××××××××××。

然しながら或る機會に於いては吾々佩劍勞働者は×××××××××××××××××××。諸君は吾々を仇敵視するであらうが、××××××××××××××××××××××××。劍の力で思想を壓するものではない。が生活難を忘れて解放運動に努力せられてゐる諸君に進めの誌上を借りて、吾々の眞情を愬へんとするものである。

乞ふ吾々の眞情を解せよ。

【東京芝　細川滿三】

警鐘亂打

今年は俺の地方は例年に無い不作年である。二三日前から思ひ惱んで居た父も到々堪へ兼ね、今日一割輕減願ひに出かけて行つた。又ざんな暗い顏をして追ひ返されて來る事やら。あの獅子ッ鼻の權助の奴は又威丈高になつてあの羊の樣に從順な父をボロ糞に怒鳴りつける事だらう。あの病み上りの父の後姿を見送り乍ら、俺は義憤と悲哀の涙に泣き濡れた。噫！我々の腕に來るべき光明の警鐘を打たしめよ！

俺は茲に事實を述べて其非を一般國民に問ふ。去る十一月十一日、靜岡新報の三面に『虐げられし小作人土地は取上げられ、家屋敷の明渡し迄迫らる……………』と。其内容は靜岡縣下小笠郡倉眞村地方は矢張り旱魃の爲め、甚しい不作だつた。それ故、俺の父と同じ樣な從順な人々が一日、二日と思ひ惱んだ末、遂に二割輕減を地主に願ひ出たのだ。然れども血も無い、涙も無い地主岡田金作は無道にも拒絕したのみか、稻立毛の儘、田地の返還を迫り、其翌朝から雇人をして收獲の手を延ばさせ、剩つさへ家屋敷の明渡しを強要したのだ。

此んな事實は吾々の前には幾つも幾つも、見せつけられてゐる。俺達の前には常に是れ以上の虐待は數限り無く橫はつて居る。而も兄弟！よく聞け！此橫暴極り無き地主岡田金作が我々勞働者の前へ灰色の空氣を送る現政府の岡田文相の從弟であるとは！

奮起せよ！兄弟！我々の腕に來るべき光明の警鐘を打たしめよ。

【靜岡縣　柳田芙美緒】

飢餓・失業

失業何んと呪はしい言葉だらうか俺達無產の大衆に此の失業程大凶なヤツは又と無く其の上現在社會では實に恐怖だ。その結果は人道に外れた種々の考へ及び犯罪を犯す××、××、×××。

失業は資本主義社會には附き物でこれが無かつたら資本家は×××××が出來ず奴等の豪奢な生活も出來ないのだ。大昔は×××××××××であつた故に各人が自由意志のもとに平等に平和な社會を組織して生活して一人の貧は全部の貧となり一人の富は全部の富となつて現在の樣な不合理な生活及び階級差別待遇は受けなかつたのだ。

その實證が今尙各所にその跡が殘存してゐる。然るに此の樂天の社會の一部に怠け者や暴力者が出て來て他人の平和な家庭を侵し、生活資料を剝奪して自分一個の安樂を行ふ輩等か出現して來た。即ち××××××××××××××。

抑も此の時からして現在社會に××××××××××××××××××××××××××××××××××××。然し乍ら個人としては如何に×××××××××××、如何に資本家が金力を振り廻しても弱いが、之等を一層強者にする化物が種々の名のもとに現はれる。××××××××××××××××××××。××××××××××××××××××××××××××××××故に今の世の中は化物同志の世界だ

現在の無產大衆は人間が自由に平等に持つべき一切のものを奪はれて人類が何よりも先に慾求する生存權ですら、俺達無產者には與へられてゐない有樣であるのだ。現社會には食料が不足なのではない。仕事が無いのではない。それは實に彼等の算盤の如何に依り、制限するのだ。

俺達は自分等が自由に生きやうと云ふ以外に重大な希望は無い之れが本能である。

俺達兄弟が一足でも發展開發の爲めに前進すると彼等は、干涉と壓迫

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の××××××、かくて無産大衆を種々の名の下に失業させる。斯くして兄弟は日一日と減んで××××××××××。俺達の生存×××××××××××××××××、×××××××××××××××××××××××××××××××。故に之れを排撃して俺達は自由に平和に生存して行ける自由の社會を建設しなければ成らない。

青訓を拒め

【東京　赤木　[illegible]】

軍隊の民衆化!僞なるかな現社會よ!誰か×××××××。迷へるブルジョアーの其斷末魔が如何に無智な狂言を演ずる事ぞ。×××××、即ち青訓は我々プロレタリアを何處へ連れ行かんとするか。我等は正義に生きればならぬ。自滅を計つてはならぬ。我等は自力を信じ、正義の公道を歩むべく、××××××。吾等は働かれば食へぬ、賃金勞働者である。×××××××××如何に吾等は貴重な時間を空費し、自滅を急いだ事だらう。

俺には病弱の母と幼き妹がある。俺が一日休めば吾等親子は餓死せればならぬ。その生存權を脅さるゝ吾等に一週二日間の訓練とは何んと云ふ慘の極であらう。××××××。俺は生きんが爲めに働く、重大なる責任を負ふて働いてゐる。××ならないのであらうか。

俺の通つてゐる、否強制的に通はされてゐる訓練所の教官が吐かすには『食へても食へなくても命令だから仕方がない。訓練を受くることは國家に對する義務である。生活難等は吾々の知つた事ではない。又現代の青年はそんな物質的な事に頭を惱ましてはいけない。現に角教練は厭でも出席だけはしろ』と。馬鹿!何と云ふ冷淡な且つ無智な言葉だ。××××××××××××××××××××。××××××××××××××××××。××××?××。××××××××××××××××亦禍なる[illegible]だ。

【石川縣　岡本清一】

大同團結へ!

今や暗雲低迷其ものゝ社會となれり。敵の陣容亂れしに、我陣容又亂れんとす。此際此時、我等は個々の私心を棄て、團結して、××××××××××。

全國の同志諸君!殊に都會に於いて喧嘩、抗爭、分裂のみを以つて終始してゐる所謂指導者諸君!諸君は自己の義務を忘れて居る。自己の抱負を忘れてゐる。凡ての者が觀念的理論的、小兒病患者となつて居る。須らく小を棄てゝ大に就け、右傾も左傾も皆ブルジョアーに對しては味方である。右は左に向ふ。左は右を歩んで居る。それは必然性のものである。徒らに論ずる勿れ。大衆を迷はす勿れ。右と呼ぶ者は左に向つて猛進しつゝあるではないか。左と自稱する者も現實を離んで居るではないか。一切のものが右とか左とか云はなければならないものゝ樣に考へてゐるではないか。我等は個々の感情的敵觀を棄て、全無産階級の爲め互に握手して、××××××××××××××××。須らくブルジョアを敵とするものは速に團結せよ徒らなる同志討ちのみしてゐたのでは企圖する所の無産者の解放は望まれない。同志討ちを密かに喜こんでゐるのは×××××××××××團結は我等の唯一の武器である。敵を倒して後、我陣營を整理せよ。人間の理想、眞の理想は共通であらればならぬ。我等は正義により、自由を求めて、絶呼し、××××××××××××。××××××××××××××!

【長野縣　春田勝彦】

起て!北陸の同志

十一月十日富山縣福野町山崎旅館にて、日本農民黨富山縣聯合會組織準備委員會が開催された。世に謂ふ純眞なる農民諸君と云ふ人達が集合した。東京本部から北山、石川縣聯合會の大峯榮多等が出掛けて來た。

由來此土地は政友、憲政の二派の地盤であり、更に憲派の別動隊である立憲青年黨政派の自由青年黨の天下であるのだが、此際日本農民黨が成立されると云ふ事は北陸農民史に特筆すべき事である。が其農民黨の内容たるや全く工場勞働者團體や小作人の爲にとつては現在の既成政黨よりも恐ろしいものである事を知らねばならぬ。此會合の中心人物と見らるゝ吉田平治は進め社支局の中島君と學校時代の親友であるため、奔走して盡す所があつたが、當日の會合の樣子から、石川縣の、大峯君の言葉から、實に解放運動を無視したつまらぬものであることが知れた。勿論中島君は加盟してゐるが席上大峯君の態度、殊に刑事や巡査を上席に据へて、御馳走をして、ペコ〳〵頭を下げてゐる有樣等々、それから調査すれば色々な怪事實が潜み、又現はれてゐる事だ。本部員、大峯君曰く『共産黨の如きは問題でない、只恐る可きは既成政黨だ』進め支局中島君曰く『僕は黨中の無産黨を以つて任じます』大峯うそぶいて曰く『日本農民黨は無産黨ではありません』これから見てもよく知る事が出來る。富山縣聯合會は地主本位の農民黨である。

小作人や勞働者は將來、否今より鬪はねばならぬ。因に二十三日金澤市の第六會館で北陸同盟會の結黨式をやる事になつた。これはムッソリニーを支持する黨派である事を知つて無産運動の志士は起つて對抗か、潜入かの策を取られねばならぬ。

北陸の進め讀者諸君、一大活躍せられん事を乞ふ。

【富山縣　島中　英】

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

資本主義國家の殖民政策の研究は同時に帝國主義の研究を意味する。本論は號を逐つて各國の殖民政策を歷史的に考察せんとするものである

殖民政策裏面研究（二）

金熙明

1 政略的殖民

政略的殖民は古代ローマに於てその殖民地に執りたる事を以てその起原となし、その目的たる處は單なる開拓的即ち自國の人口問題調節よりの理由にあらずしてむしろ軍事上の理由に依り×××××他國、他民族を侵略して玆に殖民するものにして一般之が領土的侵略の版圖に墜る時は堅固なる階級制度に依り侵入者と被征服者との間には主従の關係若しくは、少く共上下優劣の區別を形造るものである被征服者が侵入者の武斷的政治の×××××政治的階級の桎梏に縛るのは云ふまでもないが、彼等被征服民族は更に經濟的搾取の對象となり經濟生活の最下級に鐵槌を受けなければならない。中世に於ける西印度に萌芽したる奴隷制度も、亞米利加と亞佛利加との間に行はれた奴隷賣買の制度は共に征略的殖民政策が生んだ罪惡的事實と云はざるを得ない。なほ現在に於ても形式上名稱の上に斯かる虐待こそ無しとは云はれるけれどもその搾取と差別に至つては何等變遷を見ない無數の殖民地が世界の到る處にあることは事實である。

2 商業的殖民

商業的殖民とは通商貿易の計畫を以て興りたるものにして強者の政府より弱民族の間に通商貿易をなさしむる目的を以て派遣したる番人等のその土に占居し續いて商業を以て何時までも繁盛を計り、陸海軍及び資本の力に依りてその地を占領するものにして、蘭領東印度の商業團體の力に依り殖民の發達を見たのはその好例である。

3 農業的殖民

農業的殖民とは農業を目的として殖民する謂にして主として狩獵人民牧畜人民等開化の度未だ幼稚なる民族の居住し且つその人口稀薄なる場所に營むものである。凡てこの種の開拓的殖民事業は初期にありては絶へず種々なる障害を受くるものにしてその効果を遠くに求むる覺悟を要し且つ移殖民は永住を必要として開拓の勞務に服役する勞働者を要すれば可成本國に地理的に接近したる地點たるを要す昔日の亞米利加及現今の濠太剌利亞の如きは此種の政策に屬するがロッシエルは此種の如き殖民地には民主々義を布くを可とすとは、彼のロバート、オーエンの經營にかゝる理想郷もある意味に於て之に屬するものと云ふことができる。しかしながら農業的殖民は、之が過去に於て最も効果的政策であつたに反し近世國家制度に從へば將來に於けるこの政策は、絶對的武力と並行しない限りその効果を納むることは極めて困難なことであらう。

4 栽殖的殖民

栽殖的殖民とは本國に於て氣候風土に適せざるため栽培し難き農産物の培養と、生産品の耕作を目的として他國に土地を得玆に移住して所謂殖民地商品を製作して母國の食糧品と工業的原料の生産地たらしむる目的を有つものである。彼の西印度及び亞弗利加の殖民の如きは此種に屬するが本國と氣候風土を異にするがため移住民の健康を害する事大にして斯かる場合は土人を使役しそのため奴隷を輸入する必要を感ずることになる。

以上述べたるものは殖民事業經營上の實際に就ての考察であり殖民地經營の研究でない。故にこの研究は最も公正なる立場を要し、敬虔な意味に於ける殖民地解放の一研究に始終したい

殖民政策

殖民政策とは侵略者が被征服民族に執る政治的經濟的の本國と相異る諸制度にして、古代に於ける埃及、東方諸國、フィニシヤ、カルセージ、希臘、ローマ中世に於けるアマルフィとピザ、フロレンス、ゼノア、ベニス近世に於ける葡萄牙、西班牙和蘭、佛蘭西、英吉利、日本、其他の諸國がその殖民地に對し

て行つた政策には種々雜多ある即ち前項に於て述べたる征略的商業的、農業的、栽殖的の諸主義は本國との經濟的關係、地理的關係と殖民地原住民族の文化の程度、氣候風土其他の環境に依つて支配されるものであるが今茲に於て論究せんとする處は殖民地の政治的制度及び經濟的制度即ち本國と殖民地に異る立法司法行政財政經濟の差別的政策に就てゞある。

前項に於て已に述べたる如く殖民地に於ける諸主義政策の制度には必らず武力が並行して居る。征略的主義は勿論、農業的殊に殖民地の產業と生產に注力する栽殖的主義に於ては絕對的若くはそれ相應なる武力を必要として來た。即ち古代ローマ帝國の絕對的征服主義及近代英帝國の同化主義的栽殖主義がそれである。故に殖民學者は之を分類して前者を羅馬帝國主義的系統と稱し後者を、英帝國主義的系統と稱して居る。

ヒユベシユライデンは殖民地を分類して狹義の殖民、開拓殖民の二種としたけれども之は技術上の觀察に止るものである更に殖民地を本國との關係上政治上より觀察した分類法に、屬國、聯合殖民地、獨立殖民地の三種に分れる。

屬國とはニユーフオンドランド、アルゼリヤ等の如く屬國として主國より人民の移住するを指す。

聯合殖民地とは自治的殖民地を指すものにして加奈太、濠洲等の如きは之に屬す。

獨立殖民地とはアルゼンチン智利合衆國等の人民の如く殖民なりしも後日獨立を享受したるが如きを指すものであるが、以上の分類は一種の史的觀察に過ぎない嫌を有する。なほ他に英國の印度、アイルランド、アメリカのフイリツピン、日本の朝鮮の如きはその政策に一定の主義を確有せず殖民地の文化開發の程度及び殖民事業施設完備に伴れて最初之が征服的從屬主義であつたのが時代の進化につれ同化政策と變り、次いで自主主義即ち獨立殖民地となりつゝある傾向のものがある。過去に於ける亞米利加の獨立はその好例であり、アイルランドが現今に於てオミニユンとなり自治主義の下に殆んど自由國となつたのもそれである。其他印度は英國にフイリツピンは米國に自由國としての獨立運動を起し、×××××××××××××××××。其他殖民政策は必らずその領土として版圖に入れなく共、租借地の如き、居留地の如き外領にして自國民の政治的、經濟的の海外活動が自由になし得るやうに出來て居る場所であれば實そこにも亦一種の殖民政策は施することが可能である。即ち支那に於ける上海、青島、香港其他の樞要所は、その租借國である、英吉利、亞米利加、佛蘭西、日本諸國の殖民地と何等變異を持つものではない。殊に南滿洲、西伯利亞、南洋群島の如きは之が委任統治區域であらうがなからうが、租借的約束があらうがなからうが、その近隣帝國の資本と、武力のためやがて殖民される運命に約束されてゐる。

更に殖民政策を帝國主義的行政制度に就て論究すれば之また區々たるものあれども茲に於ては前に述べたローマ帝國主義的系統殖民政策乃至英帝國主義的系統殖民政策に就て究明するに古來歐羅巴に於て徹底的大國主義を發揮したのは羅馬帝國であつた。ローマが以前にギリシヤ帝國時代がありその政治上文化上の發達は大なるものであつたけれどもギリシヤ人は元來小國主義にして彼等は國家の本土の廣大な事を以て統治上の禍根となして、寧ろ小國主義的統治術を以て對外經營を好み過剩人口の移殖にのみ努力した。しかしローマはギリシヤとその思想相反して政治家は天下を統一し世界的大羅馬帝國を形成することを理想とした。羅馬帝國隆盛時代其領土の版圖に依つてもそれを知ることが充分である。即ち地中海沿岸の半島及び島嶼を中樞にして、亞弗利加の北部より彼斯國境に及び實に歐洲大陸の大部分を占領し英吉利を支配した如きは古今世界の最大國家であつた。而してローマ人は兵力を持つて國土を征服するとその收めたる總ての土地をローマ帝國の延長となし殖民地其他屬國の別稱を設けず、其帝政權(Imperium)のみを本土に於て司るものとした。之實に帝國主義の

根本思想にして現在の如き屬國殖民地の如き諸政策は此思想を中心として生れた。

英國はローマ帝國の大國主義に相對比すべき國家で羅馬帝國壞滅の上に崩芽した近代に於ける世界最大帝國である。現代に於ける諸强國の取りつゝある殖民地政策は殆んど英國流のものであるけれども最後の勝利の問題に於てローマのそれと評價する斷言は許されない。今茲に之れ等の諸主義政策に就て考察することにする。

1 從屬主義

從屬主義とは云ふまでもなく徹底的征服主義でローマ帝國がその屬國聯邦を直ちに本土の延長なりとして凡ての司法、行政敎育、文化、風俗、習慣、言語を被征服者に强制し若し之に反抗するものゝ如きは直ちに大刑を以て之を制裁し絶對的に從屬を强ひるのである。此制度の結果が生んだ悲慘なる人類の歷史は奴隷制度の發生、黑奴の賣買制度の發生の如きで一五九八年以前西班牙葡萄牙時代より一六七〇年に至る和蘭時代まで此の制度は持續されたものである。

從屬主義は殖民政策中に於て、尤も蠻的行爲である。若し斯る政策に支配される被征服者の境遇を假想するものなら、それは人類の最も悲慘なる罪惡を偲ぶ事實以外のものではなからう。被征服者は先づ祖國を奪はれなければならない。しかして祖國の文化、言語、習慣を捨てゝ憎惡極る征服者のそれに從はなければならない。しかしこの政策に依つて帝國主義の永遠の確實性を保全した帝國を嘗て見受けた歷史はない。之に就ては別項に於て述べることにする。

2 同化主義

同化主義は即ち英國がその殖民地である處の印度、南亞弗利加、濠太剌利亞、加奈陀其他に對して執る政策で日本の朝鮮統治は之に類似するものである。日本は朝鮮統治上に於ける同化主義を文化政策と稱して居る。しかし何れにしてもその精神に異存のある譯では更にない。此の政策の施行上には地理的の接近と人種の類似を最も好都合とし凡て同族主義と共存共榮主義を看板にして演繹的に歷史の校訂に務める。同化主義に於ける殖民地の行政、司法、經濟、敎育、言論、習慣等は從屬主義のそれと何等變るものでなく、殊に兵力及敎育に至つては更に前者に讓るものではない。更に此の主義に基く帝國主義の勝利を未だ見受けない。亞米利加に在住する黑人は、生活形式上に亞米利加人と何等の變異を持つものでない。けれども彼等は常に亞弗利加の祖國を戀慕し、數世紀間流離放浪したユダヤ民族のため今日に於ける祖國の榮光のために盡す目醒しき活動は吾等に何を物語るか。現像の變化を以て、直ちに原型の變化と見るのは早計である。人類の思想上に於ては更にそれが困難である。

3 自主主義

自主主義とは自治殖民地を意味し現在の印度、アイルランド、フイリツピン、アルゼンチン、智利合衆國の如きは之に屬するその自治的形式は各々殖民地の性質に依り異れども印度及びアイルランドの如きは英帝國の生命とも云ふべき領土的、經濟的の大殖民地である。英國は初期に於て之を稍々從屬主義に基て統治したけれども時代の進步と思想の發展は何時までもその確保を許さなかつた。殊に歐洲大戰の結果民族自決的思想は弱民族間に旺盛となり、印度は印度に、アイルランドはアイルランドに自治的自由國の名に歸ることが出來た。しかしながら現在に於ても英國の搾取的手段は過去と異るものでない。(未完)

戰線寸評

ブルジョア政黨すら三舍を避けるやうな女々しい議會解散請願運動に何日迄も騷いでゐる共產黨及び其の末輩、少しは自己を省みる必要がある。解放運動は支配階級に請願したり、哀願したりするやうな生優しい運動ではない。無產階級の恥辱だ、請願などゝいふ女々しい運動は速かに止すべきである。

△　▽

勞農黨大會の席上一代議員昂然と吐いて曰く「吾々は單一政黨の元祖である。故に日本勞農黨への合同問題は、彼等より妥協を申込むにあらざれば吾々は飽迄も之れに反對する」と。重大觀されてゐる日本勞農黨では元祖無產政黨を餘り重大觀してゐない。單一政黨の立看板を誇りとしてゐると、遂には沒落の悲運を見るであらう。

反動の暴政

中島安太郎

一九二〇年十一月の工場解放から、一九二一年八月の社會主義者との休戰妥協の間、一日として、社會主義的勞働運動者の殺戮、政治的意義ある建造物の破壞、社會問題研究の諸集會の暴力的解散等を爲さゞるは無し一九二一年ファシストの新組織から一九二二年十月羅馬進擊に至る迄、屢々伊太利では法を無視して組織的に實際暴力を行使したムッソリニは革命開始宣言演說中に逃べて曰く「吾人は吾人の敵が吾人の實力行使に付て非難の聲を高めるけれども、其の論難の正當ならざるを信ずるものである。何となれば一九一九年及一九二〇年の變災事に際し、吾人の敵が行使した實力に比較し、且二百萬の生靈を屠り更に二百萬の投獄を爲せる、露西亞ボルシェヴーキの暴行と對照すれば吾人の行動は一兒戯に過ぎないものである」と放言して憚らなかつたのである。

云ふまでもなく彼が、伊太利現時の內閣總理大臣として約十倍近くの大多數を以つて其信任を維持して居る所謂國粹黨の首領であるが、それが我國の親分肌の脇差し的のそれではなく青年政治ゴロの私淑する日本式不良兒團的黑シャツ黨でもないことであつて、思想的には優に奇型的反動であり得ることである彼が「歷史は常に少數のもの、內から人間社會を改造する者の出ずることを敎示せり」と云ふ主觀の下に巴里放浪中に學び得たるサンヂカリズムの直接行動論や、近代的哲人を以つて任ずるニイチエの思想を攝取したる漸進的、半社會主義的反動政治家であることである。由來日本人の人眞似性は、和製コンパース、和製レニンを作り得るが如くに早くも霞ケ關あたりの建國新聞などの、半可通的な不健全分子が、和製ムッソリニを氣取つてゐることどもであるが、彼等が最近その紙上で犬の遠吠え式に來年は是が非でもメーデーを廢止させねばならぬなどと就圍まいてゐるなどでも如何に日本ムッソリニのあわたゞしい憔操振りが見えて面白いではないか。だがしかし狂人の投げた爆彈が爆發物であるかぎり爆裂の威力を示すだらう如く溺れんとするものが掴む藁のもがきの中にも個人的に、また團體的に何の危險もないであらうと、多寡をくゝつて安心し過ぎると云ふ事は、蟻の一穴から千里の堤の譬の如く油斷や放心の出來ない所以であつて、相當の注視をファッシオかぶれの靑年や老人達の上へ注ぐことは無意義なことではあるまいと思考せられるのである。

ムッソリニの實力行使の方法に付いて研究するならば左の六種に分類することが出來るのである即ち

1、監視勤務

2、威嚇行動

3、人質（オスタアジオ）

4、報　復

5、處罰的運動

6、政治的兵の出動

であるがこれについて今こゝに詳論するの頁がないから略することにはするが、伊太利王室論に對する彼の日和見主義的意見はたしかに注意する價値のあるものである。一九二二年初期までは共和制の假面の下にファシスト寡頭政治を實現せんことを期したが、一九二二年九月二十日ウデイネに於ては王室擁護論者として躊躇逡巡の色ある共和制論者を鞭つた。これは伊太利皇帝が、ミラノに行幸した際、意思表示階級の總てが皇帝の行幸を、熱狂的に歡迎したから目先の明るい彼が直ちに說を換えたのである。

伊太利は今も尙此の横暴なるムッソリニズムの支配下にある伊太利の失業者十萬は彼の支配に餓えて泣いてゐるのだ。プロレタリア運動進展の途上に横たはる反動主義の怪物中將來日本に於て何等かの型像を具して此のファッシオ的勢力の擡頭が興起せんとする場合無產階級の共同戰線に止まるものは、この怪物に對して何物かを備へよ！

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

既成藝術の虐殺的批評

深谷進

腐敗せる既成藝術は唾棄すべきである。無產階級は眞の藝術即ち社會的、生活意識を基調とせる新しき藝術を創造しなくてはならない。

一

最も正しい意味に於ける社會とは其の原則に於て一つの有機的人格的存在である。

そして其れ故に、此の場合に於ては、常に流動し推移し何等の支障なくして人類生活の正しき創造進化の發展が遂げ得られるのである。

若し或る時代が停滯し若しくは正しき(有機的)創造進化のプロセスを脫するならば、其の時代は最早必然的に、有機的人格的機能が固定し分裂を初めるのである。從がつて其の時代の崩壞が必然的に決定される。

そして更にかゝる停滯脫線の狀態を固持し保有せんとする時は、其處から一切の罪惡が生れて來る。即ち不正、慘虐、壓制僞瞞、狡猾……。

此れ等無くして此の停滯脫線の狀態を支持することは不可能である。何故なら分裂された個々の分子(個人)が再び、必然に創造的意志の力に因つて、有機的結合、創造的完成へ向動しやうとするからである。換言するならば、社會進化の科學的進展を人爲的に抑壓せんとする時其處から起る種々の軋轢に因つて一切の罪惡が成生されると云ふのである。

然らば何故に、誰れが斯かる停滯脫線の狀態を固持し保有せんとするのであるか。それは言ふまでもなく、其の狀態に於てのみ有利なる位置を占め、私利私慾を肥さんとする者達に因つてゞある。即ち或る特殊の位置に置かれたる一部特權階級である。彼等は最も惡い意味に於ける利己主義者である。彼等は彼等の私利私慾のためには×××××××××××××××××。しかも彼等は巧みな言辭と策略とをもつて巧みに民衆を僞瞞し操つて行くのだ。それがため人類文化の途上に於て、其の創造進化の發展が阻止され××××××××××××××××××××××××××××××××××!×××××××××××××××××××××××××××××××××××××!見よ!人類創生以來の幾百萬億の歷史の頁を!これ凡て彼等×××××××××××××××××××××。

二

さて何等かの動機に於て時代の有機的進展が一度脫線し停滯し、其の向動が杜絕されるとせんか、其の時最も有利なる位置に置かれたる、若しくは偶然の機會をもち得た一部特殊者が直ちに其の機會に乘じて×××××××××××。

そして、一度其の×××××××××××××、彼等は死力を盡して其の位置を固持し保有せんと努める。即ちこれを歷史的に徵するならば、古代に於ける封建君主、中世に於ける特權貴族、現今に於ては所謂紳士閥ブルジョア階級の其れである。

彼等は凡ゆる僞瞞と陰謀術策を敢てする。外的には政治や組織を强制すると同時に、內的根本的政策としては、彼等の位置を支持するに最も都合よき人間を創り上げやうと努める 即ち現實に於ける實狀を見るがよい。

敎育は其の本質的精神を失ひブルジョア擁護の機關となり、×××××××××××××××××××××××××。

宗教は專ら諦念的な觀念を民衆に注入し、現實の罪惡を逃避し、天國或ひは五十六億七千万里とやらの遠き西方の彼方に極樂を强制し、道德は自由と正義とを奪ひ、××××××××××××××××これ日も尙は足らざるが如く、更に哲學は有閑階級、インテリゲンチャの觀念的遊戲となり、また其の本質上最も嚴正なる批判の上に立たなければならない科學ですら其の性能を失ひ遂にブルジョア御用の役目を演じて居るではないか

斯くの如きブルジョア治下の社會にあつては、人類文化の正しき發展進化が阻まれ、各個人

の生ける人間としての、創造的眞の生活が奪はれることは蓋し當然と云はなければならない。しかも斯くの如きブルジョア治下の煉獄の範圍内に於て最も從順に、最も屈從的に、飼ひ慣らされたる牧羊群の如く、振り上げられたる鞭の、方向に從がつて右往左往する人間に對して彼等は狡猾にも最高の讃辭を與へるのである。曰く、最も物の解つた最も優れたる人間である、曰く最も正直なる、最も眞面目なる人間であると。

此の僞瞞と狡猾に滿ちた言葉の中からこそ一切の罪惡が生れて來るのだ。即ち彼等の唯一の鐵則である其の言葉それ自身が已に民衆に對して暗默の中に××××××約束して居るのだ

三

斯くして藝術もまた極度に頽廢し、衰微し原始的生命と力と熱情とを失ひ、從つて生活的社會的意義を忘れ中世的精神主義となり、やがては近代デカタンの思潮を生むに至つたのである

これは言ふまでもなく近代資本主義の鐵則の下にあつては寧ろ必然的な現象である。

そして此等の藝術が資本主義文明の×××××××××××××なるが故に彼等ブルジョアの側からするならば、これまた××××××××××××。

併しながらこれを藝術の本質から見るならば恰かも宗教に於ける天國、若しくは極樂の感なき能はざるものである。一體僕はデカタン的な藝術のみならず既成藝術の一切を否定するものである。何故なら其等の一切の藝術が、其處に何等の未來もなく生活理想なく生命の飛躍もないからである。たゞあるものは墓場に等しい窒息するやうな生活があるのみだ。吾々は無限の自由と無限の飛躍とを欲して居るのだ。××××××××××しかも永遠の意志の存在なのである。しかも既成藝術の一切はこれを沒却して居る。僕が既成藝術の一切及び其の觀念を否定するの理由はこゝにあるのだ。有機的科學的正しき社會の存在が極限度まで××され分裂され××されんとする時、其社會的個々の分子(吾々)は、いつまでも無機的機械的存在を忍受して居ることは出來ない。再び奪はれたる生活、有機的人格體への統一に向つて創造進化の正しき生活行動を取るものである

此處に於て凡ゆる既成觀念の(煉獄)は×××、××××××
×××××××××××××。

潑剌たる全的自我の飛躍!×
×××××××!やむなき生命の燃燒!そしてそこにこそ眞の藝術の職能があるのだ。そこからは凡ての惱みが生れ凡ての苦悶が生れ、やがては××××××
×××進展せんとするのだ。勿論現在の如き社會に於て、其の組織と制度の範圍内に於て何等の不滿、何等の不自由をも感ずることの出來ない奴隷的屈從根性が骨髓にまで泌み込んで居る人間に取つては自由も不自由もあつたものではないが、斯かる奴隷的屈從生活の中から眞の藝術が生れる筈がない。

四

さて前述せし如く凡ゆる努力を以て、人間を機械化さうとする若しくは、奴隷化さうとする資本主義の陰謀術策もそれが高壓的であればある程、より必然的に、より正確に、××××
××××××××××××××
し決定せざるべからざるの運命
×××。

試みに革命前に於けるロシアの状態を見るがよい。殊に四十年代に於ける高壓的な獨裁政治と變則なる社會組織のために限り無い×××××××××露國農民が其の生活の全波動に於てしかも其の進展の方向が×××
××××××××××××××
××××××××××××××
×××。

眞の藝術とは强烈な自我の、生活意識の表現である。生活現實に於て完全な自我に生き切らんとする所に於てのみ眞の藝術がある。其處には××××××
×××××××××××。斯くて眞の藝術の完成が遂げ得られるのだ。

吾等の時代は×××××の時代である。×××時代である。

ペン先の藝術は要するに「悲して玩具」を一歩も脱しては居ないのだ。藝術表現とはその本質に於て瞬間的直現的なものである。眞の藝術とは常に×××まで進展しなければ嘘である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

坑山勞働者の組織的闘爭

菊地帯刀

現在日本の全炭産の三分の二を生産する北九州の炭田數千尺の地下には黒きダイヤの光りが充ち滿ちてゐる。それは實にブルジョアジーのためには無限の寶庫であり汲めども盡きざる黄金はその中から掘り出されて彼等の懐ろに流れ込むのだ。

嘗つては歐州大戰に前後の筍の如く數知れず石炭成金がそこから簇出した。北九州一帶に黄金の花が咲いてゐるかの如くに人間の眼を眩惑せしめた。併し乍ら之等の繁榮も光明もそれは賃銀奴隷の生ける屍の上に築かれたる呪はれの成果である。

地下數千尺の底に數知れざる坑山勞働者が資本の鐵鞭に追ひまくられて落盤の蔭に、或ひは炭車の下に憤死して行つた。石炭成金の榮華と誇りは炭山勞働者の血と涙との凝結である。併し眠れる巨獅子は何日かは覺る秋が來る。歐州大戰に伴つて資本主義の發展と共に我が國の勞働運動も猛然と擡頭して來た坑山運動も又必然に生れて來るのは當然だ。

堪へざる苦痛と虐使に對して××××××××××××坑夫組合の旗は各所に掲げられた。坑夫の絶對的奴隷根性を信じてゐたブルジョアジーは驚愕戰慄した。而して×××××××××××××××××を期した。坑山を高柵を以つて圍ひ、外部との交通を遮斷し内部に於ては極端なる暴力によつて組合員を追放し或ひは叩き伏せ、傷けて組合の絶滅を期した。坑山運動の幾多の闘士が棍棒と日本刀との中に生れては闘爭の巻に×××××××××××××××××××××

然し乍ら如何に組織的暴力を以つてしても遂に我等の階級的闘爭意識をにぶらすことは不可能だつた。同志は敗れては起ち××××××××××。

時あたかも大戰後の不況の波動を受けて我が國の資本主義も俄然混亂した。石炭工業はその中でも最も打撃の大いなるものであつた。即ち幾多の資本家はその經營炭鑛を縮少し閉鎖を止むなくされ資本の攻勢は急激に無産階級の陣營に肉迫した。

失業坑夫は毎日群をなして街頭に流れ出された。必然に賃銀の低下、勞働時間の延長、賃銀不拂等の問題が續出した。就業坑夫も一日の勞銀では生活が出來なくなり休養時間までも勞働を余儀なくされて疾病は増へて行つた。

しかもこの時帝國主義的資本家は、筑豊坑山業者トラスト或ひは三井、三菱、安川、鈴木、古河の五社協定などを組織してその利潤の維持に努め、勞働階級の××××××勞働運動の發展を組織的に暴壓して來た。資本の攻勢は愈々堅固なる組織を以つて一層急激に肉迫して來た

こゝに於いて我等の策戰も又轉換せなければならない。我等は過去を卒直に批判し將來の運動方針を確立してより一層猛進しなくてはならぬ。九州の坑山運動は今や重要なる巻に立つてゐる。闘士の任務は重い。過去××××××××××××せしむると共に一面幾多の過つた從來の方針を大膽に改廢すると共に現在に行はれてゐる僞而非運動者、墮落運動者に對して峻烈なる態度に出でなければならぬ。見よ！最近彼等がなしたる大根土、中鶴、山口縣大峯などの炭坑に於ける爭議に際しての彼等の攪亂行爲を！我々眞の坑山運動闘士は斯くの如き徒輩を徹底的に踏躙つて新しき××××××××××××××

過去の九州の坑山運動は××××××××資本の攻勢が激化するに從つて闘爭は×××××××××××××××××××××××××××××××××××××

現在幾多の失敗はあるといへそれは組織大衆の意識潰滅ではない、徹底的な大衆の××××！これこそ××××××××××××をして戰慄屈服せしむる×××××である。

勞働運動講座

英國の勞働運動(二)

淺野研眞

第三節 チャーチスト運動

一、その主張と原因

チャーチスト運動とは、英國に於て、一八三八年から一八四八年にかけて行はれた運動であつた。彼等の思想は即ちチャーチズムと云はれる所のものであつて、それは、次の如き六ケ條のチャーター(憲章、特許狀などの意)を掲げたものである。

(一) 男子にして二十歲に達したものは悉く選擧權を有すること。
(二) 選擧地區の同一なること。
(三) 選擧は投票によること。
(四) 議會は每年開くこと。
(五) 議員たるに財產上の資格を要せざること。
(六) 議員には歲費を支給すること。

而して此の運動に漲ぎる精神は、資本家階級の壓迫に對して勞働者が同等地位に達せんとする鬪爭に外ならなかつた。勞働者がその不利なる經濟狀態から脫して、物質的にその地位を改善せんとするの努力として現はれたる政治行動であつた。故にそれは根本的には所謂『ナイフ及びフォーク問題(A knife and fork question)』であつたのである。此の意味に於てチャーチスト運動は、近世的プロレタリア精神に充ちてゐたと云つて良い。然しその執つた方法は普通選擧權の獲得を第一義的な旗印とさせるものであつて、云はゞ過渡期の政治運動たるに過ぎなかつたものである。

そこで翻つて此の運動の原因を質して見るに、それは次のやうなものであつた。—

(一) 當時の英國には、產業界及び經濟界の不振が打ち續いて居たこと。
(二) 產業革命の結果として、機械の應用が益々盛んとなり、從來の生產者がその職を失はんことを憂へて、機械の採用に反對し、進んでは機械破壞者となつたこと。
(三) 最も直接なる原因は、中產階級の議會改革するの政略として、勞働者階級にも政治上の權利を擴張せしめやうと聲明し乍ら、一八三二年に通過した第一議會改革法案が、勞働者階級を滿足せしむるものでなくて却つて甚だしく激昂せしむるが如きものであつたこと。
(四) 一八三四年の新救貧法が實施せられたこと。

此等の諸原因は、やがてチャーチスト運動を勃發せしめたものである。而して此の運動を起さしめた個人的勢力は、思想的背景としてはロバート・オーウェンがあり、實際運動の方面に於てはジョン・ラッセル卿が利益關係の不等な勞働團體を結合せしめた努力と、フィーアガス・オーコンナーの熱情的指導とに依るところが多い。

二、運動の進展

玆に吾等はチャーチスト運動の史的發展を簡單に眺めて見やう。

先づ、一八三二年に、第一議會改革法案が通過したが、その結果は、勞働者階級に取つては甚だ不滿なるものであつた。かくして運動は開始された。

一八三八年には、更に議院に試みられた改革運動が成功しなかつたので、下院議員六名と、勞働者協會代表六名とが合し、前記六ケ條のチャーターを起草し以て此の運動の大體の方針を決定するに至つた。

かくして此の運動の大會は、全國到るところに於て開かれ、それは多數の民衆によつて參加せられた。またオーコンナー等は機關紙『北の星』を發行し、以て廣く宣傳を行つた。

一八三八年の秋には、運動は更に激烈となり、オーコンナーを初め、指導者は續々投獄の厄に遭つた。

次いで一八三九年、チャーチストの國民大會が、バーミンガム市に於て開催され、種々運動方針が討議された。然るにその大會の開會中に、同市の駐在軍隊との間に衝突を來し、爲めに大會は禁止さるゝに至つた。

次いで同年六月には、運動の

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

主張實行に關する請願を下院に呈出した。然るにその請願に記名したものは、實に百二十八萬の多數に上つたと云はれてゐる然し下院はその請願を議事に附すべき期日を豫告することを拒絕した。茲に於てか、大會は全國の民衆に向つて、その勞働を休止せんことを求め、一種の總同盟罷業を以て之に報ひんとした。然し此の勸誘は遂に用ひらるゝに至らなかつた。

而して益々運動は進展し、十一日にはニューポートル暴動が起つた。この暴動に於ては、多くの死傷者を出し、主導者三名は處刑された。

以上を以てチャーチスト運動の第一期は終る。此の期間に於ける運動の目標は、主として產業的改善にあつた。然しオーコンナー一派の指導の下にあつた部分は、社會主義的色彩を帶びてゐた。

第二期の運動は、一八四〇年から一八四八年までゞあつて、運動方針は產業改革たるに止まらず、社會主義的色彩が益々鮮明となつた時代である。然し其につれ大衆的運動を離れ少數派運動たるの色彩も生じた。

一八四二年、この運動の直接的影響ではなかつたが、間接に影響された大騷動が、主として北部及び中部に起つた。この第二期の運動に於ては、穀物條例の廢止運動と步調を合して進んだ。而して之れが主唱者はコブデン及びブライトであつた。然るにオーコンナーは之を以て製造業者の利益を背景とするものであるとなし、穀物の下落は賃金の下落であるとして猛烈に穀物條例の廢止運動に反對を試みた。然し一八四六年に至り、穀物條例は遂に廢止さるゝに至つた。

一八四八年に巴里を中心として起つた二月革命の餘波は、チャーチスト運動をも其の頂點に達せしめた。即ち三月には、グラスゴーに於て騷亂が起き、同時にスコットランド西部の製造業地方にも、工場勞働者の動搖を見た。然し騷動の中心は、矢張りロンドンであつた。即ち四日に至り、一大示威運動が、ケンニングトン・コンモン公園に於て行はれ、五十萬の大衆が議院改革に關する請願を呈出せんが爲めに參集した。而して其の請願書には實に六百萬の署名者があつたと云はれてゐる。然るに此の時の行列は禁止され、二十萬の巡查が配置されたと云はれてゐる。此の時のオーコンナーの態度は、一般に社會の注目する所であつたが、彼及びアーネスト・ジョンスは、この示威運動の勢に乘じて、會衆を率ひて直ちに議院に向ふことをせずして、劫つて告ぐるに解散の止むなきを以てした。爲めに此の運動の氣勢は甚だしくそがれ、此時以後、この運動は頓みに衰退するに至つた。

また一方に於ては、穀物條例の廢止以來、一般民衆の生活狀態が多少改善されたこと、一般に反動時代がやつて來たこと、及びチャーチストの主張が次第に立法に反映するに至つたことなどが、最早やこの運動其物を必要としなくなつた原因であつた。

要するに、チャーチスト運動は英國に於ける最初の近世的な政治的勞働運動であつた。即ち其は勞働者階級が資本家階級に對して試みたる政治的地位の改造のための議會改革の叫びであつた。其によつて勞働者階級の經濟狀態を改革せんとするの運動でもあつた。

チャーチスト運動は、上述の如く、一八四八年を以て其の跡を斷つたのであるが、然しその精神は後年の幾多の勞働政黨運動の中に達成せしめられてゐるされば、其は、政治的勞働運動の先驅として、英國の勞働運動史上に特筆さるべきものであらねばならぬ。

第四節　自由主義の勞働運動

一、沈潛の時代

オーウィン主義の運動も、チャーチズムの運動も、小規模に行はれた基督教社會主義者の運動も、一八四八年の二月革命の失敗の反動期に於ては、總べてその姿を消したやうにさへ思はれた。然し其は一時的現象であつてプロレタリアの解放運動はやがて自由主義の勞働運動として現はれ、この時代に順應した運動形態は、低調ながら進展して、根强き力を養ふものであつ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

たのである。

而して一八四四年には、消費組合運動の元祖ロッチデール・パイオニアの協同組合が、その活動を開始した。これは『購買額に比例した利益金の分配』の制度を採つた最初のものである。

また一八五〇――一年には、最初の全國的大合同勞働組合である所の合同機械工組合が、熟練機械工の地方組合を殆んど網羅して設立された。その構成と規約とは、他の全國的職業組合に對して、一つの『新型』を作り出したものであつた。其後、是等の職業組合も、次第に同樣な方法に依つて組織されることになつた。

二月革命の直後から、その一八八三年の死に至るまで、倫敦で貧しき生活を續けて居た亡命者マルクスは、英國の實際運動とは何等直接の關係も指導も有たなかつた。一八六四年には、彼れの主唱の下に、ロンドンで第一インタナショナルが創立されたが、これは軈て全歐洲の勞働運動界に偉大なる影響を及ぼすことになつたが、英國の勞働階級は之に進んで參加することを好まなかつたやうであつた。

しかし、かうした沈潜的な運動の時代は、八十年代に至つて破られた。即ちヘンリー・ジョーヂのアイルランドに於ける、土地均分の運動や、倫敦の貧民一揆は、その主なる導火線となつた。かくして次期に於ては、勞働運動は急激に活氣を呈するに至つてゐる。

二、最初の勞働議員

勞働組合運動の進展と共に、他方に於ては、議會に勞働階級の代表者を送らんとする運動が起きた。そして其の目的のために、一八六六年には倫敦勞働者協會が創立され、一八六九年にはもつと直接に、勞働代表同盟が出來た。そして此の勞働代表同盟は、一八七四年の總選擧に十二名の勞働候補を立てた。その中の二名は美事に當選し、英國最初の勞働議員たるの名譽を捷ち得た。

而して此の間、一八六七年には第二議會改革法案が通過し、勞働立法の方面に於ては一八七一年以後勞働組合に關する法律は續々制定された。(續く)

鈴ヶ森だより

正道の確立へ

□分裂、混亂を以つて終始した十五年を送り、玆に更始十六年を迎ふ。陰謀を經とし、術數を緯とせるが如き昨年の社會運動の醜體、誠に唾棄すべきものがある。

□就中共產黨一派の組合攪亂に依る結合の阻害と、無產政黨の假面を冠する反動的御用政黨日本農民黨の生誕等は醜陋の代表的なものたるを失はない。其他政黨組織に關しての各團體の渾合ひ等も醜中の醜と云はざるべからず。其の醜き様、恰も支那に於ける戰爭の如し。

□乾坤一新、十六年を迎へし無產階級は戰線の整理と解放運動の正道の確立に努力せざるべからず。夫れ解放運動に些々たる私心を抱き、他團體の攪亂或ひは乘取りを謀するものあるに對して無產階級は斷乎として之等の醜類に鬪ひを宣言せざるべからず。解放運動は個人の爲めの運動にあらず、幷は實に被××階級として桎梏に喘げる×××××××××××ものたるや論なし。單なる個人の私情、片々たる一團體の消長を意に介して之れを爲すにあらざるなり。

□我が無產階級は騎虎の勢を以つて一切の攪亂者を葬らざるべからず。

□改年と共に益々奮鬪するであらう事を誓ふ我社の意氣、以つて期待せられよ。(福田)

編輯室より

□政治行動へ進出し始めてから日本の解放團體の思想的分野は、愈々劃然と切斷された。即ち左翼は純左翼として正統マルキシズムに立脚し、右翼は純右翼としてソシアル・デモクラットを標傍し、更に中間派は批判的マルキシズムへと今後恐らく、より劃然と區別されるに相違ない。社會運動の進化過程に於ける必然は正に斯くあらればならぬ。

□ロシヤに於けるボルシェヴーキ對メンシエヴーキの如く各國に於ける共產黨對勞働黨の如く、無產階級解放運動の思想的分野の當然區劃されねばならぬことは既定の事實である。

□今後、左翼はより左翼として、右翼はより右翼としての思想的立場を益々鮮明にすると共に其の鬪爭範圍を展開して行くであらう。之れに對して無產大衆は其の何れに就くべきか。無產大衆の重大なる職分は眞の××××を基礎とした嚴正なる批判的立場を固守することである。(松山)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

市電自治會機關誌
月刊
交通勞働
一部税共 二十錢
東京芝區烏森町一番地
日本交通勞働總聯盟
電話銀座四〇四六番

一月特輯號
菊版
解放
特價壹圓 送料四錢
東京芝區新櫻田町一九
解放社
電話銀座二〇七七番
振替東京三六九四四番

左翼文藝思想雜誌
月刊
野獸群
一部二拾錢 送料二錢
東京芝區三田四國町五ノ四
野獸群社

一月特別號
月刊
人間苦
特價二拾五錢 送料二錢
大阪市東淀川區十三南之町七四七
社會問題研究所
振替大阪七九三九四番

今村等編輯
半月刊
勞民新聞
一部五錢 一ヶ月拾錢
長崎市目覺町一八
勞民新聞社

社會民衆黨機關誌
半月刊
民衆新聞
定價一部 金三錢
東京芝區新堀町三一
民衆新聞社
振替東京四八五一二番

關西勞働組合同盟機關誌
月刊
工場生活
一部税共 二拾錢
大阪市西成區長橋通四ノ六九三
工場生活社

中國無産階級言論機關
週刊
中國評論
一部五錢 一ヶ月二拾錢
呉市外天應
中國評論社

農民解放戰鬪雜誌
一月創刊
農民
一部拾錢 送料二錢
長野縣北安曇郡平村傘木幸盛方
農民社

婦人良薬

喜谷實母散

（きだにじつぼさん）

産前、産後、血の道、引風、冷込等に特効有

▲全國到る處に販賣す

本舗

東京京橋區中橋大鋸町

喜谷市郎右衛門

電話京橋五五番 五六番

アサヒビール

歡樂の源

愉悦の泉

Asahi Beer

お客様の高島屋

實質本位の百貨店

高島屋呉服店

大阪長堀橋

大大阪 中心店

大大阪の象徴

大大阪の中心にそゝり立つ弊店は増築開店以来面目を一新し設備の完全と商品の充實にいよ／＼聲價を蒐め其の盛況は殷賑な大大阪を象徴して居ります

夜の奉仕營業

他店に率先して午後九時迄夜間營業をなし夜の大阪に光彩を放つと同時に晝間多忙の方々や心ブラの人々に多大の御便宜を計つて居ります

毎週月曜日休業

大丸呉服店

大阪心斎橋

大黒

粟おこし

福おこし

大阪あみだ池

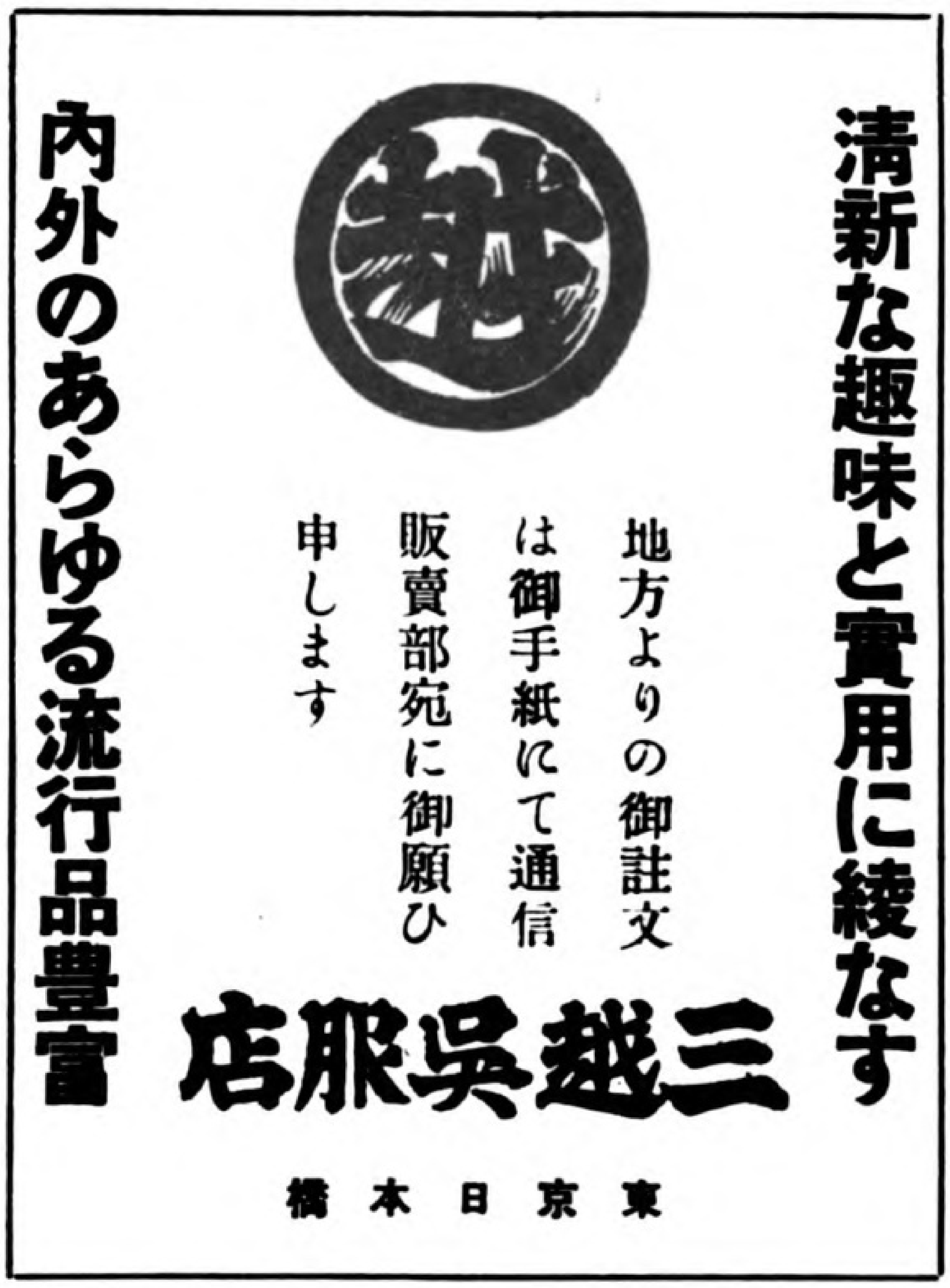
鐘紡絹

鐘ヶ淵紡績株式會社製

Head office: Su-su-me-Sha
1890, Oimachi near Tokyo, Japan

The Su-su-me (The Socialist Monthly) Vol.V No. 1 ianualy 1927

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
大正十六年一月一日發行
第五年第一號 毎月一回一日發行
定價 一部十錢（税五厘） 半年六十錢 一年一圓（税共）
發行所 東京市外大井町鈴ヶ森海岸一八九〇（振替東京六九八四三） 進め社本部
發行編輯兼印刷人 福田狂二 大阪市東淀川區十三南之町 大阪營業所



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無産階級鬪戰雜誌

進め

第五年 二月 第三號

定價十錢

誌代一年分拂込者にマルクス大寫眞を無代贈呈す

■本號一瞥■

□鐵鎖は强し團結せよ……卷頭言
□訓練所の正體……原重喜
□時事論評……同人
□覇氣に燃えよ……浅井岩武
□日本勞働組合聯合の新提唱と其の意圖……長尾桃郎
□吾等の第一戰……太田増美
□勞働組合主義の展開！進出!!……佐藤護郎
□資本主義の罪惡……倉澤生
□日本勞働組合運動の新傾向を論ず……望月源治
□戰線の擴大……加藤一郎
□共産主義運動の『日本的意義』……澤井龍之助
□大・演説會の記……長野支局
□端書回答最近の感想……學者・社會運動家 思想家三十名
□資本の暴虐……好陽生
□健康保險法と黄金萬能思想……布施辰治
□假面を剝げ！……梅本國治
□殖民政策裏面研究……金熙明
□奮然蹶起……小川鐵作
□戯曲理想社會の夢……行村義雄
□着用道德施政……潘踏宇
□英國の勞働運動……浅野研眞

陸離たる光彩を放つ本社出版物

第二十版

マルクス寫眞集

内容

マルクスの生家、マルクス夫人、マルクスの原稿、マルクスの博士免狀、マルクスの署名、マルクスの旅行免狀、ロンドン亡命中のマルクス、ロンドンに於けるマルクスの住宅、資本論執筆時代のマルクス、晩年のマルクス、マルクスの墓の十一枚。四六倍版アート紙、印刷鮮明、極めて美麗。

本社編纂 一部五拾錢 送料四錢

第二十版

社會思想家寫眞集

内容

サンシモン、フーリエ、オーエン、プルードン、マルクス、バクーニン、エンゲルス、ウ井ルヘルム・リープクネヒト、カール・リープクネヒト、クロポトキン、ラツサール、レーニン、トロツキーの拾三枚。四六倍版アート紙印刷鮮明、極めて美麗たり、無産階級の永久に記念すべきものである。

本社編纂 一部五拾錢 送料四錢

第拾版

日本勞働運動小史

内容

明治大正を通じての日本に於ける勞働者解放運動の全分野に渉つて、綱大洩らさず僅か百三十餘頁の内に收めた手頃なパンフレツトである。尚は卷末に附せられたる統計、文献、年表は用意周到な貴重なものだ。苟も日本プロレタリア運動の史的背景を知らんとする者は必ず一本を備ふべきだ！

浅野研眞述 定價五拾錢 送料四錢

二月發行

生きる權利と儲ける權利

内容

生は權利だ、人間として生を享けた以上は何人と雖生きる權利がある、然るに資本主義は不等に與へられたる無産階級の權利を剝奪してゐる。本書は不合理なる現制度を解剖して、人間權の奪還を叫び、無産者の進路を示せる絶好の社會主義入門書である、眞理を掴まんとする無産青年は讀め！

吉田源藏著 定價拾錢 送料二錢

二月發行

農民諸君に與ふ

内容

横暴例ふるにものなき地主の虐殺的搾取に、憤激置く所を知らざる農民諸君！農村の疲弊、田地の荒廢、青年の離村、而して諸君の經濟的窮迫等々の、所謂農村問題に對し、鬱然擡頭せる近代社會思想は何を以つて之を解決せんとするか？農民諸君は擧つて、本書の示す社會主義陣營へ來たれ！

神庭仲之介著 定價拾錢 送料二錢

吾等の主張

一、資本主義制度を解剖して大衆を啓蒙す、

一、社會思想を解説して非搾取の社會を建設す、

一、解放團體の分裂を防止して全無產階級の團結を企圖す、

一、社會運動を鞭韃して戰鬪精神を振作す、

一、無產階級の擡頭を妨害するものを討伐す、

第五年・戰鬪・進め・雜誌・第二號

鐵鎖は強し、團結せよ

■吾等の敵は資本主義であつて同志、朋黨でない。總ての無產者團體は解放の理想に向つて或は正面より、或は側面より突進しつゝある。

■故に右傾も左傾も又小兒病も存在の理由がある。徒に感情や、利害や、又空論の爲め鬪爭を事とするは吾が聖語、萬國の無產者團結を詐るものである。

■團結なくして解放運動は起らない。個々の力、眇たる一團の力、脆弱、焉んぞ克く資本制度を倒すに足らんや。

■吾等は世界を支配すると信ずる所以のものは、無產者が人類の大部分を占有するからである。而して此の結束の力は强固、新社會を建設するに可能である。

■昨年起つた政黨運動は組合の分裂、團體の攪亂を惹起した。而して今尙、吾が無產同志は敵資本主義を前にして互に醜惡な爭を續けつゝあり。

■彼の相嚙む猛獸は其の種族滅少する。相扶くる群居鳥獸は繁殖する。人類界亦然り、爭ふ者は滅び、和する者は榮ゆ、生物學の原理豈吾を詐かんや。

■無產階級の歷史的使命や、團結を俟つて初めて完成する。團結なくして何ぞ解放あらんや、何ぞ新社會あらんや、一黨や一閥や夫れ何する者ぞ、大衆より觀れば一私黨のみ、而して其爭ふは自ら傷ふものに非ずして何ぞ。

■予は吾が無產者が互に排擊の矛を收め、以つて共同戰に出で單一政黨、總聯合を完成せん事を切望して止まず。

■吾が同胞兄弟よ、鐵鎖は強し、結束して敵に當れ、團結して斷て。

時事論評

同人

大衆を裏切る農民黨

―無産者は起つて之を撲滅せよ―

■組合主義的經濟鬪爭より、全面的政治鬪爭へ花々しく進軍しつゝある最近の無産階級運動を巧みに利用し、自らの政治的野心遂行の爲めに、農民大衆を踏臺にせんとする老猾なる策略によつて生まれた日本農民黨は、昨年十月結黨以來、全勞農大衆の峻烈なる攻撃の刄を受けつゝ辛うじて崩滅に近き餘喘を保つてゐる。

■彼等は、嘗つて同愛なる美名に隱れて水平運動を破壞せんとした無産階級の敵、華族有馬賴寧及び、政本黨總裁床次竹二郎の代筆を勤め、常に社會運動を妨害しつゝある反動的ファーシスト高畠素之を幹部に戴き、總裁として、新潟縣會議員で女郎屋を經營し、無産階級子女の膏血を搾取しつゝある須貝快天を戴いてゐる。其他、黨の中心人物は凡て之れ無産階級の敵のみである。彼等は如何に辯解の辭を盡すと雖、我が無産大衆は何ぞ斯くの如き政黨を無産政黨として認むを得んや。

■彼等の掲ぐる『社會的正義の實現』及び『日本民族の發展』なる綱領は、明らかに、國家主義を基調としたる反動主義者の原則的信條と寸毫の差違もないことを示してゐる。

■結黨式當日、彼等は地方の協調的組合の幹部に對し、一切の費用は黨に於て負擔するから東京見物旁々是非出席して慾しいと云ふ勸誘狀を發し、地方の農民に若干の金員を與へ、無理矢理上京せしめたこと等も顯著な事實である。

■彼等の目的は無産農民の解放ではなく、自らの政治的野心の遂行にある。彼等の行動は無産階級的理論を基調としたものではなく、既成ブルジョア政黨の行動其ものゝ踏襲である。

■無産階級の敵を幹部に戴き、大衆への裏切り行爲を公然と演じ、社會運動に一大汚點を殘さんとしつゝある反動的御用政黨日本農民黨に對し、全國の勞農大衆は、より酷烈なる彈劾の矢石を放つべきである。『農民は農民黨へ！』と云ふ皮相淺薄、固陋醜怪なるモットーを掲して恥ずる所なき潜稱無産政黨日本農民黨を葬れ！

■農民諸君は、無産階級を裏切りブルジョアに降服したる彼等詐欺師等の、反動的詭辯に斷じて迷はさるゝ勿れ。

總選擧の對策如何

―無産政黨は準備を急げ―

■昨年連續的に生まれた我が無産諸政黨は、燎原の火の如き勢を以て既成政黨の地盤を蠶食しつゝある。政府及び既成政黨は此の無産諸政黨の發展を見て戰慄した。然し彼等は虛勢を張るべくブルジョア新聞を通じて、無産政黨恐るゝに足らずと壯語してゐるが事實、絕大なる脅怖を感じてゐる事は云ふ迄もない。

■翻つて吾が無産政黨の近狀を顧みるに、各黨互に勢力爭ひに沒頭し、他黨の排擊と罵倒に、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

日も是れ足らざる醜體を演じつゝあるのは、誠に嘆かはしい次第である。

■吾々は勞農黨にせよ、日勞黨にせよ、民衆黨にせよ凡て之れ無産階級の政黨である以上は、共に等しく、其の發展のより大ならんことを望んで可なりと信ずる。勿論各々の持つ所の異つたる指導精神に對しては、無條件に之れを承認すべからざるも無産階級解放運動の一手段としての政治運動と云ふ階級的立場に立つ時、右の諸政黨の何れも充分其の存在理由はあると認める。然し其の行動が無産階級の現實的要求に卽しないものに對しては此れを放任して置く事は出來ない。例へば勞農黨の如く徒らに觀念的理論の羅列のみを以て能事終れり矣としてゐるもの等には、無産階級の立場から其れが行動を攻擊するに躊躇してはならない。

■ブルジョア代辯者を一掃しなければならない總選擧を目前に控へた各無産政黨の選擧對策は未だ充分に備つてゐない。各黨の協議會等に就いて見るに、甲論乙駁、只議論の花を咲かすのみで確固とした政策はない。解散となれば三ケ月位で選擧は執行されるのであるから速かに其れが對策を講ずべきである。

■如何にしてブルジョア代辯者を一蹴するか、保證金を如何にして作るべきか、如何なる方法によつて最大の効果を收むべきか、此れは理屈でなく、實際の問題である。各黨此の對策ありや。此れに對する準備を爲しつゝありや。徒らに排擊運動のみに囚はれ、ブルジョア政黨に立遅れざらん事を望む。

日本勞農黨の職分

■蒋蠟、彗星の如く現れ、蝸牛角上の闘爭に鎬を削つてゐた左右兩翼に、一大センセーションを捲き起した日本勞農黨は、各方面から多大の囑望をかけられてゐる。無産階級の正道を標傍して歩む所は實に正々堂々たるものである。

■既に多くの無産政黨はあるが大衆の眞の要望を背負つてゐるのは、獨り日本勞農黨のみであると斷言しても敢へて過言ではない。苟しくも、無産階級の正道を鼓吹し、解放運動の合理化を主張するものは、擧つて彼等に期待する所あらねばならぬ。

■勞働農民黨は共産黨の專制下にあつて、勞働者農民の政黨で無い事は既に明かな所であるが日本勞働黨は、無産大衆の現實的要求に、最も適合したる勞働者農民の理想的政黨である。

■吾等は、日本勞農黨の諸君は勞働農民黨の如く他黨の排擊をすることなく、各無産政黨を一手に抱擁する樣な大襟度を持ち眞の大衆的勞農黨として、無産階級の解放へ驀進されん事を望んで止まない。之れが卽ち、日本勞農黨の眞の職分である。

勞農黨と其の黨首

―曝露した共産黨の策略―

■共産黨直系勞働農民黨は、他黨の排擊と攪亂とを使命としてゐるが、共産黨の策略により黨首杉山氏を辭職せざらしめ、後釜として大山郁夫氏を据らせた。矢張共産黨の指命によることは云ふ迄もない。共産黨の方針は大山氏が黨首になると必らず他から攻擊される。そして大山氏の聲明を墜して了ふ。それが一年位かゝる。而して大山氏を利用出來る丈け利用して、用が無くなれば放り出して了ふと云ふ方針である。然るに大山氏は政研以來の同志の友情を裏切り、共産黨の甘言に欺滿され黨首となつたのであるが若し同氏が放り出された曉には元の同志は勿論、誰も相手にしないだらうから、恐らく逃避するより他に道はないと思ふ。憐れむべきは同氏である。

■大山氏が放り出された後には無産政黨の黨首は勞働者へと云ふ事になつて、勞働者が委員長になるであらう。此れは共産黨の既定方針である。

■吾等は、吾等の此の豫測が今年の末に事實となつて現はれることを斷言する。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本勞働組合聯合の新提唱とその意圖

長尾桃郎

私はレポーターである。事實を誤らずに報導すれば役目は足りる。理論を書くには他に多士濟々である。だから私は今、生の事實――特種の一つを報じやう。但し特種の生命は、眞夏の豆腐よりも果敢ない。果して本誌が約一ヶ月後に讀者諸彥の眼に入る頃まで、特種としての價値を有するや否やに到つては筆者に自信がない。唯僅かに本事件が或は未然に終るかもしれない懸念の絕無でないところに、筆者は發表の勇氣と、興味との些かを繫ぐものである。何故なら、若し、未然に終るとすれば、それこそ昭和新春、關西勞働運動史上の隱れたる一插話としての價値を留め、從つて勞働運動側面史上の一題材ともなり得る可能性が潛むが故である。

一、

大阪に於て總同盟からの分裂に先鞭をつけ、總、評二團體の對立に至るまで、非總同盟系團體として可成永い歷史を有し、而して總評兩系が白熱的抗爭に終始した大正十五年度に在つては、この拮抗圈外に超然として褒貶を外に、ともかく民衆の糾合に努めつゝあつた日本勞働組合聯合（後藤田正毅氏の率ひる團體）が、今春、全國各勞働團體に對し、一つの警告を發しやうとの意圖を抱藏してゐる事實がある。

その意圖は――無產政黨問題擡頭以來、各勞働團體が全く經濟行動を沒却したものゝやうに、政治行動に溺惑し、徒らに理論的抗爭に淫墮した結果、混亂に混亂のあげく、兎も角、左、右、中間の三政黨鼎立狀態となつて稍小康を得てゐるかの如き現狀となつたが、この小康は見樣によつては、一種の行詰りが生んだ停足狀態とも見受けられる半面を備へてゐないでもない　その際に當つて組合は組合運動本來の使命たる經濟運動を第一義とすべく、政治行動は之を第二義的地位に置くべきであるとして、各勞働團體に呼びかけようとするところにある模樣、謂はゞ往年總同盟がサンヂカリズムを信奉するに勇敢であつた折柄、棚橋小虎氏（現日本勞働組合同盟執行委員長）が、「改造」誌上で「組合主義に還れ」と咆哮した亞流を踏まうといふにあるらしい。

判り切つた理論を殊更に叫ばねばならぬところに、現時我國勞働運動の不健全な足どりの一面を看取し得ると等しく、そこに亦後藤田氏の稚氣愛すべきところを掬み得る。

それは別として、その警告達成の一手段としては、近く大阪勞働組合會議の復活を提唱し、ひいては全國各地に於ける組合會議の組成を慫慂し、更に全國勞農總聯合の蒔直しの前提たらしめやうとの底意と窺はれる。

この推察を導くためには、逆つて大阪勞働組合會議が自然消滅した經緯に一瞥を拂ふ要があらう。

二、大阪組合會議消滅の原因

自らの提唱にかゝる全國勞農總聯合が、十五年六月二十日大阪にて挫折するや、創立以來相當苦難の道程を過程した大阪勞働組合會議は、之を動因として遂に消滅して了つたが、その消滅の原因となつた總聯合の提案は、實に日本勞働組合聯合の提議だつたのである。力の集中といふ共通の原則を何れの組合もが之を承認し、且つその指示する使命に不忠實であつてはならぬ事を知悉し乍ら、主流團體の沈默するまゝに之を拔んで、却つて特殊の立場にあつた組合總聯合によりその發案が爲された謂はゞ負ふた兒に道を敎へられた奇觀こそは、全く當年に於ける總、評二團體共にその提案者たるべく不適當な地位にあつたためでもあるが、之も二團體抗爭の一餘波が生んだ現象であつた。

評議會がこの組合聯合の提議を北叟笑んで迎へたのは言ふまでもない。だがしかし、當時分裂後日淺く、關西に於ける總評二團體の對立は反感そのものに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

、燃え事毎に末梢神經的反撃の態度に出であつてゐた頃はひだつたから、評議會と席を伍するだけでも不快とし兼ねない潔癖の所有者、總同盟を、如何にしてこの計畫に誘引すべきかに就き評議會は心を砕いたに違ひあるまい。殊に當時は尙所謂「進出」の前にあつて寧ろ消極的自重の域を彷徨してゐた評議會だつたからである。だから評議會はこの提案の成果をより全からしめるためには、從來から總同盟と水魚の間柄にあつた官業勞働向上會を抱擁し、對敵總同盟との緩衝地帶とすることによつて、總同盟を牽制する搦手策の妥當なることを考へた。同組合會議の書記として官業向上會の一員を與へたのも、恐らく這般の肚裏に、原因の幾部分を持つてゐたことは事實と見て然るべきであらう。

一方總同盟は組合會議の發祥的會議だつた失業對策協議會「大正十四年十一月創設」が評議會の提唱、策動によつて生れたものであつたゞけに、後輩に名を成さしめた不快も交つてか、組合會議の成立其自身に對してすら、極めて冷膽な態度に終始し、會議の性質上反對の口實が見當らないまゝに追從したに過ぎないやうにさへ見られた。

全國勞農總聯合の提案は、假令、組合聯合からなされたにもせよ、それを以て評議會の腹案であり、凡らくは戰術の一端であると觀じた總同盟が、この計畫に素より好意を寄すべき筈は有り得なかつた。果然、三月十一日（十五年）この提案が組合會議の議題となつた折も、總同盟はつむじを曲げて贊否の態度を保留した。そのあげくにともかく開かれたのが六月二十日の大阪會議であつた。

當日自由組合聯合の參加したことは、內實提唱者（組合會議）側にとつて豫期違ひの一つであつた。この會議に際し提唱者側は總聯合結成を豫想し、規約綱領等の草案を以つて臨んでゐた。しかし提唱者自ら之を會議劈頭に諮るの不遜を避けるべく他團體から腹案を提出せしめ、之と「草案」とを接近妥協させることによつて、一つの成案を得る手順であつた。この手筈によつて議長阪本孝三郎君は議事を進めやうとしたが、忽ちにして會議前に各代表の忌憚なき意見の開陳を求めて止まぬ總同盟の希望によつて、最初の暗礁に乘りあげ、更に小委員會說を固守する評議會案によつて議場は論爭場裡と化し、遂には組合會議內部の不統一を曝露したに留まらず、こゝに口實を求められ、總同盟西尾末廣君の早尙論の一擊の下に、實質的に意義あるべき筈の會議が全く流れて了つたことは、尙讀者の記憶に新しい筈である。

だがこの會議に於て緩衝地帶となりつゝ、豫定の筋書を遵奉すると考へられてゐた向上會が過去の關係に禍され、總同盟と欵を通じてか、關東側の態度に和し、會議成立に對して保留の態度に出で、遂に組合會議の內質に關して散々の醜狀を晒すに至つたことに就き、提唱者側各團體はいたく感情を害した。その爲か向上會辻井書記の辭任となり、その飛沫を喰つて、組合會議は事實上向上會から事務所の撤拒を蜿曲に迫られたのであつた。その後、

一、適當の後任者、及び事務所を得難く、

二、政黨問題の紛糾化は各組合をして等しく他の問題に關して對外的に働く餘力を奪ひ、

三、殊に政黨問題に絡む左右兩翼の白熱的抗爭は、到底左右兩者を含む協議機關設置の不可能なる狀態に導いた、

等の事情のため、この會議を末期として、大阪組合會議は花火線香の如く、消失したのであつた。

三、新提唱者の意圖

既に左右兩翼ともその色彩を明確にし、到底兩者を含む團體協議機關設置が絕望視されつゝある、現在、日本勞働組合聯合が、殊更にその特殊の、從つて左右何れの團體にもさまでさし觸りのない立場を利用して、再び玆に大阪勞働組合會議の復活を提唱せんとする意圖に就いては、その眞意が奈邊に在るのか、一見不可解とも觀ぜられぬでもない。だが、更に考察の斧を深めるならば、

一、前組合會議に對して氣乘薄であつた總同盟大阪聯合會（西

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

尾君に統率される）とても、日本勞働組合同盟との分裂直後のことゝて、その創痍淺からぬ折柄であれば、前會議に對し終始した如き冷淡、且つ嬌慢の態度（例へば上記の如く、或は純向上會の加入を異向から絶體に反對した如き）には出兼ねるのであらうと豫側する、時間の推移が齎した組合勢情の變化。

二、官業勞働も政治行動では一貫統一した態度に出られない破目にあり、殊に總同盟を主體とする社會民衆黨にも接近出來難い立場にある現在の弱身は、以前の如く他團體の不快を購ふてまで總同盟とは緊密なる連衡の下に歩調破壞の助手たり得ないであらうとの豫測。

三、主旨に於て何れの團體とても反對すべき理由のないこの提唱を、假令、從來の經緯に囚はれて拒み得るものがありとすれば、總同盟大阪聯合會と向上會あたりであらうが、その二團體さへが上述の如き立場であるとすれば、少くも之を拒否はしない。總同盟のみが評議會の參加を理由として、唯獨り同意を肯んじないとしても、それは却つて共同戰線の裏切者といふ逆宣傳の材料を、自ら好んで提供する破目になる。從つて不承ながら進まぬ足をでも運ぶであらうとする豫測。

之等の豫測から出發する一方、政治行動に就ては、之を第二義的に看做し、主として經濟行動上に於ける組合合從機關たらしめやうとする組合聯合の態度は、この提案成立のための一種の安全辨でもあり得るわけで組合がその根本意義たる經濟運動に關する限りに於てすら、共同協議をなし得ない程狹量であることは、目醒めた大衆、乃至所屬會員が默許しないであらうとするところに新提案者も樂觀を置いてゐるやうである。だが、この提案の裏を窺へば、組合聯合の裏面には二三團體の策動があると斷じても不可ない事情もあると等しく、組合聯合の過去の立場に想到するとき、此計畫は單に總同盟をヂレンマに陷れることによつて永年の積憤をそこに晴らさうとする目論見とも見受られる可能があるが、更に目前に迫つてゐる勞働代表選出問題に就て・關西側各組合が態度を一にし、以つて總同盟に當らうとする下準備とも察せられないでもない。

遮莫、勞働運動の過去の道程に顧み、かくあるべくしてあり得なかつた多くの障壁の跡を辿るならば、勞働運動が人間を中心とした運動であるといふことを如實に敎へられる上、果してこの提案が各團體に歡迎されて提案者、並にその裏に存在する團體の豫期するが如き收果、乃至芝居が見られるや否やは、蓋し新春勞頭、關西勞働界に於ける見物であらう。

——（一月八日）——

勞働組合主義の展開！進出!!

佐藤護郎

一

山川均氏に依れば「大正十年十一月にいたつて、日本の無産者運動は、いちじるしく『政治的の方向を取つて來た』……」として山川氏に依れば、「この新しい『政治への傾向』の全體としての發展が、すなはち單一無産政黨であつたことである。

二

そこで問題は三つの質問に分れる。

一、「いちじるしく、政治的方向を取つて來た」傾向は、社會運動への無産者階級乃至は勞働者階級の全面的方向を決した現象であつたか、

二、として、その所謂「政治への傾向」が、大正十年十一年以來、現在迄の日本の社會運動に如何なる決定的内容を以つて進展して來たか、更に進展しつゝあるか、

三、大正十年十一年が「いちじるしく政治的方向を取つて來た」ことは何を以つて實證し得るか、

三

不幸にして、三の質問に對しては「政治への方向」は何を辨證したかゞ明確でない。

私は先づ大正十年十一年に於ける日本の社會運動は如何なる情勢をとつて進みあつたかを調査する。

山川氏が及び一派共產黨が極力支持應援をなしたる當時の勞働總同盟が、大正十一年九月三十日大阪に開かれたる「日本勞働組合總聯合」の分裂と共に大會にて發表した決議文は左の如きである。

決議文

一、本大會は東京及び大阪に於ける勞働組合同盟會及び之れに共鳴する諸組合の奉ずる自由聯合論は勞働階級の戰鬪力を分散せしむるものあるを以つて本總同盟の主張たる戰鬪力集中の原則と根本的に相容れざるものと認む、

二、本大會は本總同盟があくまで戰鬪力集中の原則を固持することを宣明す、しかして本總同盟は以上の諸組合が本總同盟の主張に合致し來らざる以上斷じて總聯合組織の交涉をなさす右決議す。

「本總同盟の主張」とは決議文の一項に屬する當時の合同論で、單なる組織上の問題である。

この分裂は大正十一年末期であり、所謂山川氏の「政治への傾向」の最頂上期である。併るにこの分裂の傾向の中には、山川氏の唱ふる傾向は發見出來得ない。されば山川氏は何を以つて「政治への傾向」としたるか分裂した時が「政治への傾向」であつたか、とする山川氏の辨證論が、その點が明確でない。

同時に十一年度總同盟大會の宣言を引用して却つて「勞働組合主義」の傾向にあつた時を實證して置く。

「我等は、勿論、組合幹部の專制獨裁は斷乎として排斥する然しながら、組合最大の使命が堅牢なる資本主義の牙城を屠ることにあることを思へば……」

四

二、の質問、

大正十一年總聯合分裂以來大正十二年九月一日の大震災迄の一期を分解してみれば、所謂いちじるしい「政治への傾向」はなく、大杉氏の無政府主義的サンヂカリズムと、山川氏、堺氏の共產主義の戰ひの時代であつた。此外表面的に表はれた社會運動の傾向はない。しかも無政府主義の勢力に壓倒されて共產黨は手足を延ばせなかつた事も事實、たゞこの間の「政治への傾向」といふ辯證方法に就いて語るものは、無產者同盟と稱する無質なる團體が、過激社會運動取締法案に反對した傾向があつた事だけ、しかもその決議として

一、勞働組合及び勞働組合運動の無條件公認以外、苟も勞働階級の戰鬪機關としての組合の形態と行動とに干渉する一切の立法に對して徹底的に反對する。

とある。これは却つてこの期間の、勞働組合主義の傾向を辨證する參考文ではあるまいか、それ以外の「政治への傾向」は發見出來ない。

* * *

組合主義は、無政府主義、共產主義の表面的戰ひに對して、潜行して堅實に實際にその樹立の過程にあつた事は云ふまでもない。

* * *

大震災以來の傾向、組合主義はこの時代よりいよ／＼樹立の堅實期に入つた。

* * *

共產主義は幾度かの方向轉換をやつて右傾し、左傾し、漸やく社會運動の一隅に餘命を保つて來た。

* * *

最近に至つて、福本和夫氏の辨證論左翼の全線的展開と進出——が、十一月雜誌マルキシズムに發表せられて、漸やく一月今や左翼の全線的崩壞——農民組合の分裂、建設者の分解的傾向、マルクスズムの旗の下にと山川氏の折衷主義との鬪ひ等々々——

五

「二」の質問はかく實證し來つた事に依つて、社會運動として「政治的への傾向」は、共產黨の思惑であつた事が明かになつた。

六

昭和二年度の、社會運動の傾向は「勞働組合主義」の全面的展開を——進出に依つて彩られることを想ふ。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本勞働組合運動の新傾向を論ず

望月源治

第二の分裂を迎へたる總同盟

日本に於ける勞働組合の指導的權威を持して永く其の地位にありしものは總同盟であつた。大正十四年五月十六日現在の組合評議會（二十三組合）を除名するに及び、一般世評は明かに總同盟の地位の沒落を認めた。

特に山川均氏は此の形勢を論じて、總同盟の全勞働組合の抱擁力の衰滅、從つて總同盟は極右翼化の過程をたどるに相違なきことを極論された、爾來日を經ること一年半、今や總同盟は第二次分裂をなし、其の組合員數は僅かに次の如く小數となり其の地域的產業的勢力は見る影もなき狀態になつた。

日本勞働總同盟の實勢力

組合別 ——東京方面——

東京鐵工組合	一、五〇〇人
出版印刷勞働組合	七〇人
日本鐵工組合	四三三人
東京革工組合	七〇〇人
中央合同勞働組合	二三〇人
關東釀造勞働組合	二、五〇〇人
遙友同志會	四〇〇人
計	五、八三三人

（註）
A 東京革工組合は2/3は分離せる組合同盟參加を決定してゐるので、東京方面の實勢力は五二〇〇人弱と見るべきである。
B 右組合中に、自動車勞働組合は消滅し、郡山、桐生は脫退、信州交通は消滅の故に削除す。

——關東地方——

秋田製材勞働組合	一五〇人
埼玉勞働組合	五四人
八王子勞働組合	四〇人
岩手合同勞働組合	七〇人
計	三一四人

——神奈川地方——

神奈川鐵工組合	一、三〇〇人
石油勞働組合	三五〇人
セメント勞働組合	六五〇人
東京電氣從業員組合	二五〇人
橫須賀勞働組合	六五人
計	二、六一五人
關東合計	八、七六二人

——大阪地方——

大阪合同勞働組合	四五〇人
大阪金屬勞働組合	二、九〇〇人
大阪電線工組合	六五〇人
大阪印刷出版勞働組合	一〇〇人
大阪紡織勞働組合	一五〇人
計	四、二五〇人

——兵庫——

尼ケ崎金屬勞働組合	九〇〇人
灘製樽工組合	三〇〇人
計	一、二〇〇人

（註）尼金屬は久保田鐵工所であるが、之は近く脫退の運命にある。

——中國及四國——

因島勞働組合	一五〇人
玉造船勞働組合	八〇人
計	二三〇人

——關西地方——

和歌山製函製材勞働組合	一五〇人
德島勞働組合	二〇人
計	一七〇人
關西合計	五、八五〇人

——獨立組合——

製鋼勞働組合	一、五三〇人

總同盟全組合員數

一萬六千百四十二人

（註）として一應書入れてあるが、總同盟現在の實勢力數字表は以上が最高頂の勢力である。之は現在の安定狀態を示してあるので、今後續々として脫退せんとする形勢にあることを念頭に置く場合は、實に秋風落漠の感なき能はず、嘗て鈴木氏揚言せる如く「總同盟五萬を得るを得ば」の理想は日月を追ふ毎に遠くはなれ去つて行く。

（今後脫退する危險性としては尼ケ崎金屬の九〇〇人、東京革工の五〇〇人、東鐵の數百人、釀造の一部等である。）

更に地域的に配分し來たれば東京は僅かに二千四、五百人、神奈川が製綱を入れて三千三百人位、大阪が四千人、にして昔日の面影は殆どないのである。

僅か一年有半の中に斯くも沒落し終れるは其處に大きな缺陷の潛伏し居るを、誰もが認むる處であらう。

私は今此處に之れ以上總同盟の問題を取扱ふ時間を有しないが次の個條書を以つて其　結論とする。

A、總同盟は評議會を除名するまでは、數的、地域的、產業的に稍々抱擁的であつた。（故に當時の總同盟組織改革案に從つて一大方策を立つることを得たならば壓倒的に一大中心勢力を確立せしなり。）

B、評議會分裂後の總同盟は

四團の關係等も加り、大體に正義派の指導下にあつた之れ其後の分裂を喰止め、政治的一致を見せ、闘爭力の協力を見せて來た理由である。外見的に總同盟發展が認められたる內實である。

C、評議會と分裂してからの總同盟內部の發展性は現在の殘存總同盟に非ず、脫退せる組合同盟の組合である之を以つて見て、明かに評議會分裂後の總同盟の內容が判明するであらう。

D、第二次分裂は、又一方に日本勞働組合同盟を造り、總同盟との對抗勢力を增したこと然も今後發展性ある產業別的勢力は次の表の如き對立になつたことは愈々總同盟の沒落崩壞の急速なるを知る。

■總同盟の產業別的勢力

A、金屬產業　七、四八〇人
B、釀造產業　二、八〇〇人
（强いて言へば）
其他

■日本勞働組合同盟の產業別的勢力

A、鑛山　五、九九〇人
B、紡織產業　八、四八〇人
C、外に地方合同としての强力な組合一つ

之は產業別組合組織內へ參加出來る要素を基礎としてある。即ち

關東合働　二、八〇〇人
九州聯合會　七〇〇人
兵庫聯合會　二、一〇〇人
其他（內金屬產業組織可能を含む）

以上の產業別的整列を更に全般的に配列する場合は次の如くなり、從つて總同盟の日本に於ける實際勢力は地域的にも、產業別的にも、數的にも、殆ど其の實力を失つたと見るべきである

交通產業	（獨立團體）
鑛山產業	（組合同盟）
海員	（獨立團體）
農民	（獨立團體）
紡織產業	（組合同盟）
金屬產業	（總同盟、組合同盟 評議會、總聯合、其他、の混合團體）
出版產業	（評議會、自由聯合、總同盟少し）
木材產業	（評議會、及獨立團體）

組合同盟脫退理由

我が組合同盟が、總同盟より脫退せる理由は、無產政黨組織に當つての、階級的指導精神の相違に存する。即ち總同盟が、總同盟大會又は其他の重要なる機關に於て一度も論戰せられざる、方針に基づき、遂に非階級政黨たる社會民衆黨を組織するに至つたこと、並に總同盟の從來の政治方針たる農民との結合を主とした階級政黨樹立の方針の下に組織されたる日本勞農黨組織に參加したるの故を以つて個人除名をなしたるに存し、之を換言すれば、所謂總同盟の現實主義の大綱中の左翼との戰ひを廻避し、無理矢理に、極右翼化し、少數幹部の專橫と、私慾的關係の存續を確立せんとし從つて總同盟に依つては到底日本の現實闘爭に依りて、階級的結成と正當なる發達を計るの不可能なるに至つた、ことに存するのである。

故に我が組合同盟の脫退は總同盟を復活せしめんとするの希望から脫却せしことを意味し從つて總同盟の階級的立場の完全なる失墜を意味する。

勞働總聯合結成の可能性

日本の最近勞働組合の內情は分裂に分裂を以つてし、內訌に次に內訌を以つてし、到る處、險惡なる混亂狀態を捲き起し、幾多の波亂曲折をなしたにも拘らず、我等は之を悲むものではない。徒らに內訌、分裂の同一階級內の紛爭を喜とするものではないが、必要なりし紛爭を止むなき分裂に眼を掩ふは寧ろ卑怯な態度である。

我々は今日までの徒勞に似たる紛爭を積極的に解剖し而して今後の我が戰列の完成に向はしめねばならぬ。

見よ日本現在の勞働組合の現狀を、其の地域的、產業的の配分狀態を。

大正十一年九月三十日大阪に於て開かれたる全國勞働組合總聯合は、自由聯合、合同、兩意見の疎隔から遂に大破綻をなし爾來全國的結合は成立するの不可能なる狀態のまゝに今日に至つた。

其の不可能の根本的理由は、勿論思想上の不一致にもよるが私の見る處ろに依れば、或る一個の閥體帝國主義の存在が、此の成立を不可能ならしめたるを確信する。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本勞働總同盟の存在即ち之であつた。然らば評議會分裂後の形勢は少なくとも此の帝國主義的可能性を減退せしに（山川氏の腹案は評議會分裂と同時に帝國主義的存在消滅を認め從つて總聯合即時成立の可能を立論せられたと思ふが）何故に總聯合は結成せられたるか、私は之れを更に一個の帝國主義の存在に見出す。即ち評議會の存在之れである。

評議會の其後の狀態は、恰も總同盟を逆にせる如きものであつて、總同盟が經濟的闘爭を理由にして、極右翼化の方向をたどるに反し、評議會は、政治闘爭への轉向を主張して極左翼の方向に走つた。評議會は最初の目標たる産業別合同の提唱は、全く一個の自己利便の道具となし、今は既に忘れたるが如き有樣にして、評議會を擧げて、政治上の指導方針に關する發言の機關にしてしまつた。此の組合運動の必要なる日常闘爭上の組織機關を忘却せる態度、其の整理に邁進するの態度の失はれたるは、明かに今日の評議會の重きをなさぬ一大缺陷を生むに至つたものであつて、今は只政治的發言をなす一個の機關になり下つたのである。之れ私が言ふ總同盟とは別の帝國主義的存在になり、此處に山川氏の腹案たりし、總同盟帝國主義破れて、全國總聯合、産業別整理の必然は評議會によりて爲されずに、寧ろ、評議會の分裂、内訌政策によりて益々評議會は、總同盟と共に其の陰影を沒しつゝあるの所以である。

錯裂熱風

青年の熱意の暴風は
時代の獄卒の
清潔法を執行した
勞働は大地を穿ち
インヂンを廻し
人間を消耗する
全世界のブルジョアが
新思想の颶風に戰いた
××の錯裂だ
世紀は暗黒の泥濘に陷沒し
おゝ血管に漲れるプロの血は
×××雄叫び××××

街頭に轟く××の歌
嚴肅なるデモンストレーション
彈壓の嵐 迫害のうなり
怒濤！叫喚！錯裂！
混亂の修羅場だ
ブルジョアは畏怖した
新興プロレタリアは
平和の創造だ
密林の彼方から
黎明が輝き初めた
偉大なる大衆の行進曲だ

――土屋哲三――

今や總同盟、評議會共に左右兩翼の極端なる方向に走り共に大衆の支持を失つて、徒らに大衆結合の便をさまたぐるの團體となつた。もし今後勞農總聯合が結成せらるとせば、以上二つの帝國主義團體は、僅かなる數を大切に把握せしまゝに、此の大衆結合の外に淋しい月日を送ることであろう。

日本勞農總聯合は今や結成の前夜にある。

然も總同盟評議會の兩極端を放棄して、優に入つの大産業別組織の上に結合されるのである我々は今日の現實を熟視して、我が勞農階級の經濟的結合の必要性を切實に要望する。

資本の攻撃は深刻化し政治的闘爭の新場面は限りなく轉廻し來り、徒らに群雄割據の狀態に我が陣營を放任するは、實に無産階級の歴史的使命を冒瀆するの甚だしきを知る。

左右兩翼の狂激なる闘爭は彼等に一任せよ、我々は産業別的大組合實現と、日本勞農總聯合の完成とに邁進せねばならぬ。

附錄

總同盟より脫退せる日本勞働組合同盟の數的勢力

組合同盟の組織方針（産業別的大組合主義を基礎とす）

日本鑛夫組合	四、九九〇人
關東紡織勞働組合	八、四八〇人
關東合同勞働組合	二、八〇〇人
兵庫縣聯合會	三、一〇〇人
九州聯合會	七〇〇人
織工脫退組	八〇人
計	二〇、一五〇人

日本勞働組合同盟
事務所 芝公園五號四番地
電話 青山 一一五一番

共産主義運動の「日本的意義」

澤井龍之助

はしがき

僕は曩に『社會運動の根本觀念』なる標題に於て所謂『日本社會運動』の反駁文を書いたが之れに對して僕の日本考を述べて見たいと考へてゐた。近來頻りに『日本』『東洋』『亞細亞』なる熟語を發見するにつけても、是れに對する腹藏なき考察を加へたいと思つて再び蕪文をも顧みず筆を取る事にした。然し乍ら是は以前の本旨とは少しく——或は大方——變つてゐるかも知れぬ。即ち、僕の精神は所謂『日本主義』及是れに附隨する所の『日本社會運動』を排撃するのであつて、眞正の日本に立脚したる社會運動を排撃するのではない此の事は豫め斷つて置かねばならぬ。

一

社會運動はそれの精神に於て飽迄、インターナショナリズムに立脚せねばならぬ事は曩に述べた如くである。然し乍ら、こゝに近視眼の人に對して眼鏡を調製するに當つては豫じめ、その人の度を査べて始めて、それに適ふ度を以つて調製せねばならぬ如く、社會運動の方法にも此の當然の方法を行ふ事は至當の事であらねばならない。例へばロシアに於ては突變的手段で以つて革命を斷行したから英國に於ても是非共早く此の方法で行はなければならぬと云ふ等はそれであるが然し、吾々はその方法手段は是とするも丁度、眼鏡を調製する場合の如く、豫め『如何なる』ものを以つてすべきかを査べて置かねばならない。即ち『事實』を確かめてかゝらねばならないのである。

最近、頻りに唱へらるゝ所の『日本主義』及『日本社會運動』は畢竟これに據つて起つて來たものと見做すべきであらう。と云へ、彼等の理論及行動を觀るに其の間に反動的精神の少なからず潛んでゐる事は遺憾である。何故ならば彼等はインターナショナリズムの精神より、漸次『日本』と云ふ特殊な國家觀念を帶びて來たからである。即ちそれは國際的精神より國家的精神の移動であり。從つて遂にはインターナショナリズムの拋棄となり、固牢なる國家主義に移るべきは火を睹るよりも瞭かである。而もそれはインターナショナリズムに基礎を置いた所の方法上の日本主義ではなくて從來の支配階級的資本家的『日本主義』國家主義に外ならないのである。

二

反之してマルキシズムの本流を以つて自任する所の共産主義者の間には、マルキシズムと云ふ一つの原則若しくは公式を持つて來て直に日本と云ふ或る近視眼者に當て嵌めやうとする。彼等は日本と云ふ事實現象を査べて見やうとしないのである。兎に角、マルクスは斯う云つたから、レーニンの書には斯く斯く云ふ事が載つてゐたから是非共然らしめなければならぬと云ふのだ。

マルクスは共産主義の理論を構成する前に先づ資本主義が何者であるかを檢討した。即ち十八世紀後半の資本主義醞釀期に於ける社會のからくりと其の推移に眼を向けたのである。そして資本主義生産樣式の解剖と其の發展——飛躍——推移の諸相を科學的に檢覈し、それに據つて共産社會の自由の王國へ入込むものである事を觀た。而もそれは資本主義制度に潜む矛盾と鬪爭により必然の勢力に據つて其の過程を過程しつゝあるものであるとしたのである。即ちマルクスにあつてはマルクス自身の理論が先行して出來上つたものではなく、先づ社會の現實を觀察し、檢覈し解剖してから完成したものである。而してそれは或る特定國だけの觀察ではなしに資本主義社會の一般性を論じたものである。且又それは資本主義社會其のものゝ批判であり、

解剖であつて傳說、歷史、風土慣性、人情及生活樣式の異なつた特定國—或は各國—に據つて其の狀態—即ち社會の現實又は社會進化の過程—に變化を來す事は當然の成行でなければならない。要するにマルクスに於ては理論は從であり、『事實』（現實）が主であつたのだ。

然るに日本に於けるマルキシストの間には是と逆の見方で以つて、事實より理論を無理矢理に押し嵌めやうと焦つて居る者がある。彼等にあつては日本と云ふ社會事實は如何でもいゝのである。兎に角マルクスは斯う云つたから、レーニンはあゝ仰云つたから斯うしなければならぬと云ふのだ。それが假令、或る特定國のそれであつてもそうしなければならぬと云ふ。而してそれに反對する者は誰であらうが—社會主義者であらうが—反動になるのだ。『論語讀の論語知らず』と云ふ諺があるが彼等はその方らしい。マルクスを讀んでマルクスの精神が讀めないのは彼等の事を云ふのであらう。

三

『抑左傾家の極端な者は日本を一個の白紙的な文化實現の素材だと考へて居る。そこで彼等は彼等が西洋から學び來つた色々の社會的機制を之の日本と云ふ白紙的材料の上に無遠慮に實現せんとする。』（古谷榮一氏「左傾右傾の日本的意義を掴め」雜誌「原始」十二月號所載）

洵に日本の或る一部のマルキシストと自稱する一派には此の如き輩が無い樣でもない、彼等は眞の日本を理解し得ない。即ち日本的と云へば直に反動的と曲解し、甚だしきに至つては昨日迄、同志として共同戰線に起てるものをも中傷讒誣して憚からないのである。

然し乍ら、彼等は果して眞底から日本の民衆を愛してゐるであらうか何うか。そこで『彼等の民衆愛を實現する方法や理想が民衆愛のみでなくて、それが西洋偏癖、西洋的道樂の手段でもあるかの如き感じを與へる。彼等は民衆を救ふよりも彼等の兩洋的性格を滿足させやうとする。或は物質的精神的に西洋の背景や西洋的な力で民衆を解放させやうとする。』のである。

『かくて日本に於ける一切のもの、民衆解放には何等關係のない一切のものを只連想的に嫌惡して之れを破壞しやうとするのである。而して彼等は『何等必然的でない處の敵を作つてはその敵と惡戰し乍ら戰かつて行かうとするものである。』（前掲誌、七、八頁參照）

四

そこで、彼等にあつては全く日本の民衆なんてものは眼中になさそうである。只もうマルキシズム一點張で理論と公式より割り出して日本の民衆を形に當嵌めやうとするのだ。丁度それは度の違つた眼鏡をかけさす樣に、否、形ではなく、全く無理矢理に、唯物史觀的公式の樂籠中のものにしやうと焦つてゐるのだ。しかもそれは彼等の常套語であり、唯一の武器である所の唯物的辨證法に據つてゝある。然し乍ら彼等の辨證法たるや、現實の何者かをも洞察せず徒らに辨證法的屁理窟を並べて獨りマルクス辨證法ならぬマスターベーションを行つて居るに過ぎない。

日本の歷史と其の政治的、經濟的推移を理解する者は彼等の如き憑かれた知識は振り廻さないであらう。兎もあれ、彼等にあつては『日本と云ふ大きな事實の自覺』に迄到達し得ないのは殘念である。

日本は今や一方には右傾的社會運動を實行しつゝあるものあり、又徒らにロシア流の共產主義運動を以つて直に『日本を一個の白紙的な素材だと考へて居る』者もある。更に又他方に於ては所謂『日本主義』に立籠つて純『日本的社會運動』を行はんとしつゝある者もある。かくて日本の思想界は、蜂の巢をツツイタ如く其指導精神に於て全く大混亂に陷入らんとしつゝあるのだ。

吾々は敢てこゝにインターナショナリストである事を再び斷言する。吾々は『日本主義』に據つて『日本擁護運動』『東洋保全運動』を行はんとする一派を戒め度い。それは延いては『亞細亞主義』となり從つて既成ブルジョアジー共との野合を招來するものでなければならない。『日本』を愛する事に據つ

て全世界の人類、兄弟達を忘れる事は出來ない、且又、吾々は徒らに西洋的昂奮に驅つて『日本』の民衆を忘れ度くはない。亦、『西洋カブレ』のした融通の効かないマルキシストも排濟しなければならぬ。彼等こそは大衆を忘れた思想中毒の患者に他ならないのである。而して彼等の叫ぶインターナショナリズムとはロシアより出た合言葉であつて、而かも其の中には多分にロシア臭味のある事は否まれない。而して此のロシアイズムに迎合せない者を指して彼等は反動運動であるとするのだ。(これは强ちロシアから金を貰つて飯を喰つてゐる者ばかりを指して云つてゐるのではない)。

然し乍ら、ロシアに於ける共産主義は只ロシアだけの共産主義であつて―それはマルキシズムの普通性の一部分卽ち特殊性とでも呼ばふか―斷じて各國の眞似るべきものではない。就中農村問題等に於ける政策の如きは最も惡むべきものである。卽ちそれは農民あつての農村政策ではなく、農村政策あつての農民の感ありである。權力に眩惑せる彼等の醜體は資本家のそれよりも惡むべきものがある。

五

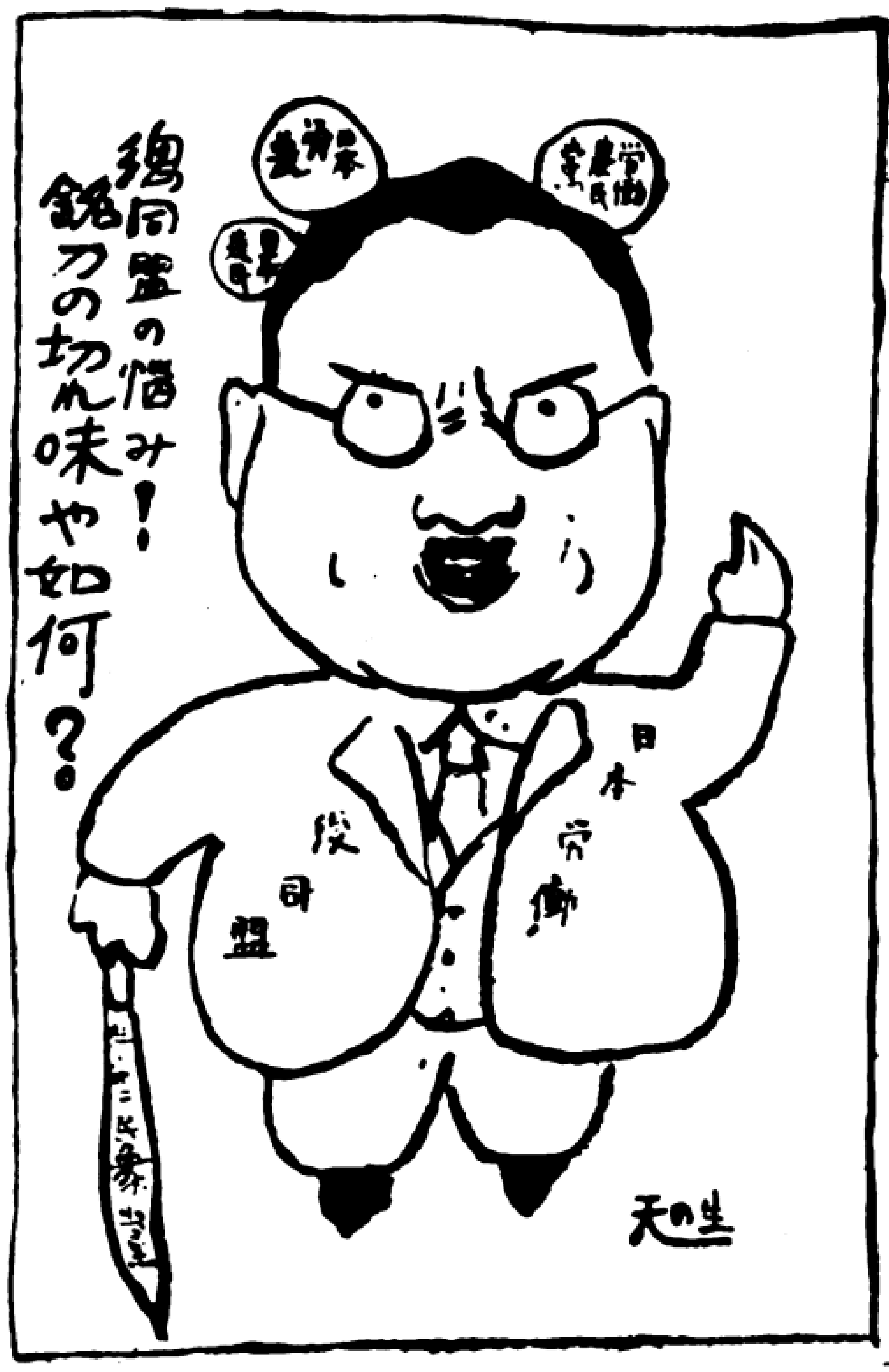
以上に據つて吾々は『日本』を忘れた共産主義運動の何であるかを見た。彼等の運動には骨が無い。肉が無い。血がない。

×××敢てロシアのそればかりを眞似る必要はない。

今や日本の社會運動には極右と極左の對立が際立つて眼に付いて來た。無産政黨に於いても社會民衆黨は右翼を標榜して穩健なる政治運動を行はんとし、又勞働農民黨は極めて直譯的な只腦味噌だけの共産運動を行つてゐるに過ぎない。而もそれが共産主義運動の本流を以つて任じて居るのだ。吾々より見れば甚だしく反日本的で、而も××の正道を過る反動運動であると考へられるのである。

吾々は××××××××××る議會運動に臨まんとして居る。

而して此の間、兩者に嫌たらずとして新たに日本勞農黨が眞に無産大衆の意志を理解し、右翼に偏せず極左―直譯的ロシア的西洋的―に片倚らず眞正なる日本の社會的現實、社會進化の過程を洞察して新たに其の旗幟を掲げて誕生した。



吾々は從來の支配階級的ブルジョア的日本主義―國家主義―に反抗して創造的なる自由なる眞の日本に卽したる社會運動の黎明を告げなければならない。

徒にロシア流の直譯的共産主義運動を止めよ。而して眞の日本に卽したる×××××××××××××××。且又、『日本』的なる故を以つて既成支配階級的及びブルジョア的國家主義に墮せんとしつゝある右翼の態度をも監視せねばならぬ。

吾々は最後に云ふ『日本』を忘れて日本の社會運動はあり得ない。又、世界の同胞を忘れては勞働運動はあり得ないであらう。洵に吾々の任務は重且大である。吾々は常に日本の社會の現實と過程とそして日本の大衆の意志と感情を洞察し理解して始めて眞正なる日本の×××××××発達し遂に新らしく創造され完成されるものなる事を斷言して憚からないものである。（完）

終りに是れは古谷榮一氏の『左傾右傾の日本的意義』（『原始』十二月號所載）に被含したものである事を斷つて置く併せ精讀され度い。

最近の感想

質問文の要旨

茲に諸氏百家の感想を集めます。社會運動に關する感想又は短時文等。我が『進め』は一黨一閥の機關でなく全無產階級の戰鬪機關である。故に苟しくも、社會運動に關するものならば何人のものと雖、之れを登載致しますから遠慮なくお送り下さい。

◙ 新居格氏

□一人の知友がしたのを人の思想的立場からはそうあるべきでないと信じてゐた人が、突如として或無產政黨に這入つた。一寸寂しく思つたが、吾等の立場からはその人を拘束する事が出來ない事を知つてゐるので、私は何とも云はずにたゞ寂しく思つた。

□社會運動の各派が内部的整理をするのはいゝが、又しなくてはならぬが、同じ立場のものを理論上の事なら極めて結構だが、他をせめる事が急で、自分に儉嚴でない行き方が往々あるのを見て憂鬱に感じます。

□社會運動が雷同的な[illegible]で動くのを見るのは、いやだ。又個人的勢力の消耗が氣になつてゐるのではないかと思はれることにもいやな點があり、模倣性、福本君が同君一流の文章を書くと之れを模擬する連中の多いのも妙な感じがする。

——一月二日——

◙ 島上善五郎氏

□『進め』が全無產階級の戰鬪誌たりとの意氣は誠に結構だ。現今、猫も杓子も「全無產階級云々」潛稱が流行する折、營業政策的な乃至は誇大妄想的な「意氣」に墮せざらんことを切望する。お仰せに從つて最近の感想を二三簡單に述べることにする。

□最近支配階級が急激に反動化しつゝあることは爭ふべからざる事實である。(一面鼻糞程の社會政策を施してゐることも事實だが)

それと同時に無產階級陣營内に派遣された支配階級の代理人も又急速に、露骨にその本性をあらはして反動化して來た。かくして無產階級陣營内に猛烈なる對立鬪爭が開始された。この對立鬪爭は必然であり、不可避であり、この鬪爭を鬪爭することによつてのみ無產階級の陣營は擴大され、目的意識的鬪爭——歷史的使命遂行の鬪爭へと進出し得る。

□然るに最近「平和」な氣持で支配階級と鬪爭せんとする一派が、この對立鬪爭の本質、歷史的意義を理解し得ずして、左も右も共に小兒病的だ、俺のみが階級的正道だと言ひ出して來た。そして勞農大衆の意識の高まることを阻んで、無產階級運動を永久に狹隘なる組合主義の埒内に止めて置かうと企だてゝゐる。だが今やわが無產階級運動に於いて組合主義はもはや一個の骨董となり終つた。

□無產階級運動は昨年も、又た今年も執拗なる對立鬪爭を繰返すであらふ。否繰返さればならぬ。支配階級の代理人の假面をヒンむき、完膚なき迄にその正體を大衆の面前に曝露し、これを克服し終へるまで鬪はればならぬ。現在のわが無產階級はよくこれを爲し遂げ得るであらふ。——一月十日——

◙ 麻生久氏

昨年は其初頭に於て、勞働農民黨が生れましたが、年末に至つてそれが含む無理が破綻して、日本の無產階級運動はその必然に從つて分離を遂げ、結合すべきものは結合すべき運びに至りました。もとより、今後と雖も又幾度か變遷をくり返へすでせう。併し一と通り分離を遂げそれぞれ結合すべきものが結合する方向が定まりました。今年は此分離と結合の行きがゝりに依つて取り殘された部分が漸次に其必然に從つて分離結合し、整理され、日本無產階級運動にも筋道がはつきりたつて來るでせう。

——一月一日——

◙ 石川準十郎氏

此頃時々「社會運動に於ける野心」と云ふ事を考へて見る。個人的な慾望乃至野心が、どの程度にまで社會運動に影響し得るものであらうか？又影響させて宜いものであらうか？人間活動の凡てが慾望に基づくものである以上、一種の野心の絶滅は期す可くもない。それは人間に人間の中止を要する樣なものである。だが個人的な慾望乃至野心の勝手な實現は、階級的な乃至社會的な必要と接觸する限り許さる可きでない。それは何等かの社會的作用に依つて、牽制乃至解消されなければならない。かくて私の心の中には矢張り、かの正教マルキシズムが科學的の名の下に排棄した所の倫理感念(觀念に非ず)强調の必要が嚴然として生きる。それはカントに於て「至上命令」の形態で表はれたものであり、クロポトキンに於ては實證的論證を試みられたものであり、從來カント的マルキシズムの强調する所のものであつた。

——一月九日——

◎原　信行氏

最近無産者啓蒙運動としての雑誌と云ふことについて考へて見たが其の殆んど全部が喧嘩の機關であるやうに思はれる。唯、一ツ吾々の最も敬服して止まないものがある。それは貴『進め』である。無産者の雑誌は擧げて醜い爭ひにのみ沒頭してゐる中を勇敢に、無産階級戰鬪雑誌として公平なる嚴正中立的立場を持して邁進してゐる所は實に堂々たるものである。私は左の諸雑誌は代表的な喧嘩雑誌であると思ふ。

一、無産者新聞
二、大　衆
三、民衆新聞
四、無産農民
五、マルクス主義

私は右の諸雑誌をズツト見てゐるが、就中、無産者新聞と民衆新聞は喧嘩記事ばかりで餘り醜いから止めました。吾々無産者の頭腦にピツタリと來る良い雑誌は何んと云つても、矢張り『進め』より他にない。進め社同人諸兄！　愈々健鬪されん事を祈ります。——一月六日——

◎吉田源藏氏

舊冬中歳末に私の住んで居ります町で例年の通り『同情週間』と云ふのが行はれました。それで校長さんや、婦人會の幹事さんや、扨ては保導委員様と云ふお偉い方々が、貧乏人の家へお餅やら、小遣ひやらを配つて歩いたのです。ところが、大分方々で突き返へされたと云ふ事です。中にはどえらい劍幕で『馬鹿にするない、欲しけりや手前にやら——』と貪つて掛つた貧乏人があつたそうです。押賣り好意に對する從來の感謝が敵意に取つて變へらるゝ時代が來たのです。それに未だ彼等は無産者をして、慈善や救濟、憐愍等の目的物にして居るのですから全く可愛想ではありませんか。其の内に彼等の『同情週間』は吾々プロレタリアートのやる『同情週間』になるでせう。兎に角眞實の階級意識と云ふやつは、阿片や鬼の涙位では去勢出來ないものと見へます。——一月二日——

◎金　熙明氏

無産政黨が勝利を得、勞働黨が天下を取つた國が世界に於ける最大帝國主義の國家で殖民地問題が解決されないとは云ふまでもなく勞働者自身は愚に迷ふてゐると云ふ政治倫理の一分眞實さは私には疑問である。日本無産政黨それ自身が已に殖民地問題を閑却し、正道に外れた不眞實な態度を取ることは私だけが杞憂する命題だらうか。ブルジョアー國家のプロレタリアの唱へるインタナショナルは嘘ではないが嘘に歸結する。弱小民族としての殖民地プロレタリア階級が解放されるまではさうしたインタナショナルを唱へるのは止して呉れ！　プロレタリア階級が眞に帝國主義と鬪ふなら、先づその×××××××××××××××!!　それ以外に純粹な道を私は知らない。——一月一日——

◎佐藤護郎氏

年號も改まつて昭和となつたが、而かも早二年目、この年に當つての社會運動は、益々潛行的な陰險な手段で共産黨の進出喰込み運動が流行するであらう。たゞ福本和夫があまり有頂天になり過ぎて失敗し、山川等の方が却つてよくなりはしまいか。文藝運動の上にも變つた論陣を張つて名を賣る人々が數多くなるであらう。——一月四日——

◎大山時雄氏

朝鮮の社會運動は今政治派、非政治派の論戰で注目されてゐます。東亞日報は元旦の社説に『中國革命の極東に及ぼす政變により日本の對朝鮮統治の必然的局面打開を豫想し、吾人はこれに處する準備を怠つてはならない』と云ふ意味の政治的進展を表明しました。朝鮮共産黨事件が大赦の恩典に浴すれば百二三十名出獄する事になります。メーデー頃までには隨分賑ふ事と思ひます。——一月三日——

◎友實孫四郎氏

今や吾が解放運動の情勢を一小穴より望見すれば、左右中の三派に分裂して自己階級内部に於て見苦しい鬪爭を續けてゐる。私共として誠に遺憾の極みである。その原因はと質問されなば

（一）一部幹部の獨斷的支配下に置かれた無自覺なる民衆の罪。
（二）現幹部は大半インテリゲンチヤやブルジョア階級にて、頭の理解者にして腹の底よりの自覺者にあらざる爲めであると思ふ。

故に總て運動が遊戯的である、丁度農民歌を歌ふ價値のない、土を耕さゞる有閑階級の勝手極まる寢言に過ぎない。爲めに初期の運動時代には必要なりし現幹部も『經濟を助けた政治が、今は政治の爲めに、經濟は桎梏されてゐる』樣に彼等に依つて私達の運動は害せられ、毒せられてゐる。茲に於て全無産階級諸君に一言したいのは、彼等遊戯的幹部の言に乘ぜられず、速に彼等墮落幹部を其組織外へ投出して、完全なる階級鬪爭の本質へ立返らずば我等の眞の運動は到底覺束ないのである。——一月五日——

◎淺野研眞氏

批判の原理に就ての一斷想——批判は何處迄も猛烈に試みるを要する。但し單に他者をけなして以つて自己獨り潔よしとするならば排する。苟もプロレタリア的批判は、批判であると同時に教訓であらねばならぬ。何等かな貢獻せんとする者に於てのみ、犯さるべき誤謬の可能性があるのだ。徒に『日和見』呼ばゝりしたり、又『小兒病』呼ばゝりする所の獨斷的批判、それこそ水鳥の羽音におびへたる場合が多い——は吾々の愼しまねばならぬものだ。プロレタリア運動の人的結合は、其處で望まれ得やう。——一月一日——

◎鈴木栢夫氏

社會民衆黨をブルの御用黨だと勞働農民黨が笑へば、その勞働農民黨を無政府主義者が、無益な政治運動を行ふて無産階級の戰線を亂す者と笑ふ。これを局外者が無政府主義者の立場に立つて見ると、勞農黨が民衆黨を笑ふのは、丁度目糞が鼻糞を笑ふのと同一である。勞農黨の諸

君は顧みて己れを笑ふ者あるを見て、前方の民衆黨を笑ふのを氣はずかしく思はぬか、人は各々考へがあつて、そのよしとする所に働くものだ。同一無産階級の爲めに働くものだと思はゞ、餘り口きたなく他を罵しらぬものであるまいか。余は勞農黨が餘りに口きたなく他を罵るのを不快に思ふ者だ。――一月六日――

◙ 北澤新次郎氏

無産政黨が四つも出來て互に攻撃し合つてゐる事は實に醜惡である。他黨の爲す事は表面に表はれたる丈けでなく、眞意を能く捕へて批判すべきもので、皮相的論撃は控へるべきものであると痛感します。感情をなるべく純化して。――一月四日――

津田光造氏

最近著しく目につくのは、社會運動の政治運動化と云ふ事である。單一無産政黨と云ふ事が專ら主張されて居たが、事實は群雄割據的政黨が出現するよりどうにも仕方が無い樣な體たらくである。斯うなれば、また無産階級解放の陣營內で勢力の爭奪戰が行はれて、ブルジョアー政黨から今迄見せつけられて來た樣なケチな忌はしい內訌を見ない譯には行かぬであらう。――一月二日――

◙ 梅田忍氏

凡そ事業の成就するもせざるも人によるのであります。如何に其の事業が有望でも、それに當る人を得なければ到底出來るものではありません。特に社會運動の如きは其人を得なければ成功しません

私は最初に無産者運動に多大の望みを囑してゐたものであります。然るに彼等其の局に當つてゐるものは、大敵を目の前に控へながら、醜い內輪喧嘩ばかりしてゐます。私は近來彼等に殆んど愛想をつかしてゐます。犬猿啻ならざる薩長さへも幕府を倒す爲めには一身同體となりました。要するに今日の無産者を標傍するものゝ中に本當に眞劍に振つて民衆の爲に戰ふ人が少いやうであります。然し社會運動は必ず最後の勝利を得るものであります。私は只其人を得るを望みます。――一月六日――

◙ 今村等氏

新しい新を迎へて新しい社會運動が起るのを切望するものである。大正十五年は吾等にとつては劃時代的であつた總同盟脫退より日本勞働組合同盟の結成、引續き勞農總聯合の組織から、日本勞農黨の結黨と一瀉千里で出來上るまでに曲折を經て來た。然しお互に分れ、お互に集り、そして人間的氣持がピッタリ合ふてこれからが勇敢に進め、進めで進んで行かふ。――一月五日――

◙ 水野貝三郎氏

吾が國の勞働運動も經濟運動より政治鬪爭に轉化し、今や新興階級を代表すと自誇し結成なした、左翼、右翼、中間派と稱する、各政黨は已に勝手な熱を吹き廻し、無智なる一般大衆を釣り込み踏臺にし、自己の地位を築き上げんと、全く必死狂狀を呈しつゝある。一般大衆は過日結成せられし諸政黨の何れの政派が眞に我等無産階級の利益と幸福を求むべく鬪ふや斷言する事が出來ない。無産階級の解放と紛爭をスローガンとする野心家よ！來るべき普選に堂々と敵と戰ひ、無産階級的大收穫を得よ、然らば大衆は急いで旗下に投ぜん。――一月五日――

◙ 岡　氏

中部日本農民組合の共産黨一派を除名した事は中部に於ける農民運動史上に特筆すべき事である。然し乍ら未だ完全とは言ひ兼ねる。此の次にはゴミ幹を除名し、然して代議士を夢見て居る幹部を除名する事だと思ふ。斯くなつた時こそ完全なる陣營を立て得らるゝ事と考へられる。又近々共産黨一派の策動によりて農民組合が生れ樣として居る。然し乍ら農民が躍るか否か頗る疑問である。――一月四日――

◙ 小川未明氏

個人によらず、階級によらず、又團體にかまはず、特權を信じ支配せんとする行動に出た時は必ず反抗を覺悟しなければならぬ。社會主義的精神は、即ちこの反抗の精神に外ならぬ、謙讓と良心の伴はない社會主義運動について、私はそれを本物と考へる事が出來ない。眞の社會主義運動はこれからではないか。――十二月三十一日――

◙ 村田信氏

都會の檜舞臺を只々新聞紙上にて知る吾等地方運動に從事する者は、より以上の苦痛に辛捧しなければならぬ。所謂三十年來の因襲は、都會に於ては近代文明と理性の發達の爲めに次第に其影をひそめつゝあるに際して、地方は未だく長い眠りから覺やうともしない。それに今一つ厄介なのはムッソリニー直輸入の親分、子分連中が都會を追はれて次第々々に地方に出て來て跳梁する事である。此の觀が特に九州地方に著しい。近年僅かの間の生命ではあるが、此等と正氣で爭ふ事も餘り無邪氣である事に氣がつくと苦笑せざるを得ない。――一月八日――

◙ 大和久雄氏

何處迄も苦しめられるものは農民である。眞劍に農民の苦衷を察して與れる人は少い。小作人は無智であるかも知れんが、純情である農民の解放運動も小作人の啓蒙にあるでせうが、物質文化の惡弊は美しい田園を瓦礫の樣にして終ひました。未だ若い芽生へは農村に萠えてゐません。多くの農村青年はめしいであるのです。農民文藝運動の烽火は大なる使命を負つて居ると思ひます。――一月一日――

◙ 春田勝彦氏

此頃の所謂政治運動には全く愛想がつきた。やれ左翼だ、やれ右翼だ、やれ中間だ、一體何と云ふ醜惡だ。たとへ日本人は感情的に走り易い民族だとは云ふものゝ同じく無産階級を標傍して立つ以上其處に何等の差異もない譯だ。理論はどうでもつく。それが左であらうと、右であらうと、現實に即さない運動は現在の此の日本の社會に於ては用ひられて居ない。それにも拘らず、徒に覺めんとする全無産者をそれ左だ、それ右だ、行くな

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

来いと騒ぎ立てる。組合員が丁度浮草の様に幹部の水の流れる儘に動いてゐる。

現在の日本にはもつと〳〵啓蒙運動が必要だ。無暗に政治運動に深入したつて御先真闇では何等の意味もなさない、最後失敗するに決つて居る。現社會に於ては政治運動より先づ無産階級の覺醒運動が必要だ。何も判らない小羊に、毛を刈り取つた上、なほこれをやれ、あれをやれと云つたつてそれは無理な注文だ。無暗に政治運動〳〵と騒ぐ奴は、よく頭を冷水で洗つて御一考を願ふ。都會は未だよいが、一歩農村に足を入れて見ればよく判る。●全く此頃の政治運動者は盲目で狂人だ。俺は此改年初頭に健全なる完全な、真の無産階級を知り、真に無産階級の為め努力し、指導する人の一人でも多く出る事を望むと同時に、今迄民衆を攪亂した狂人共の引退を望む。

―一月七日―

岡千代彦氏

畳と女房とは新らしいが宜しいと云ふ。日本人には一致しまいが、私は古く永く其事業を繼續して行く人に多大の敬意を表します。人の毀誉褒貶は別として『進め』が兎に角悪戰苦闘なして居るのは何よりも喜ばしい事です、新年業務の為め旅行の車中から遥かに此の一文を送つて進めの前途を祝福いたします。

―一月二日―

吉川守邦氏

△桐の葉に秋雨聞くや獄の底
△彼等や己れは満期で今日出るぞ
△ブラ〳〵と獄門出るや年の暮
△獄を出て熱になやむ年の暮
△正月も昨日の儘の身なりかな

―獄中にて―

宮城三次氏

私は最近監獄へ入つたが本の差入れを許されないので閉口した。入つた當初は許されてゐたが、朴烈優遇問題とやらで今迄見てゐた本を皆取り上げられて、それからと云ふものは、監獄備付の抹香臭いお教の本ばかり見せられて實に無聊で困りました。數日前出てから聞いて見ると、共産黨系の者が怪寫眞を政友會に賣り付けたから、あゝなつたのだと云ふ事だ。彼等は朴烈を賣つて金儲けをするゴロツキの様な奴等だと云ふ事を知つた。政友會の手先、●●●●●●●堺利彦君は共産黨の大御所だから共産系が政友會と結ぶのも亦已むを得ない事だ。堺老の如きは一般に禁じられてゐる差入物を特に許されてゐたのはどうした譯だ。吾々勞働者は既成政黨に何の恩恵もないから差入れ物は許されず、遂々本を見る事が出來なかつたのは實際辛かつた。(豊多摩監獄出獄者)

―一月七日―

倉本晃南氏

近來社會運動と稱して各種の運動に關係する者の中にお體裁主義者のある事を僕は再度見受ける。彼等は表面何々組合運動と稱して口に唱へ、大衆運動又は會議等に向つては、彼等は殊更に粗末なる着衣をなし、粗食を執り、口には俺達は身にボロを着し、辛じて生命を繋いで居る等と體裁を作り、彼等は無産團體や組合の或幹部でありながら真の吾等無産勞働者を詐り、彼等は家にあつては美食美衣を用ひ、甚だしきに至つては×××××××正月早々から藝妓を同伴して旅行に出掛ける者すらある。料理屋遊びする呑氣者のあるには全く愛想が盡きる。最も彼等は自分の金を使ふのだから吾々は文句を言ふのではないが斯様な状態では地方同志が一致團結して奮闘する事は駄目だ。吾々無産勞働者は今後絶對的に彼等體裁主義者に對しては排斥行動を執る決心で進まねばならぬ。

―一月五日―

匿名生

私は共産黨の一員として最近監獄から出てきました。『進め』は相變らず御健闘されてゐるのは喜ばしい。私は大正十二年に誤つて共産黨員となつてゐたが其内部に立入つて見ると、流言蜚語を飛ばしてゐる友人でも陥れると云ふ事ばかりしてゐるので厭になつた。昨年來監獄に入つてツク〳〵考へて見ると、大衆運動たるべき社會運動に閥を造つて、悪辣な事をやる奴等のやり口が厭になつてきた。そして進め社の人達が高潔で戰闘的であると云ふ事を追慕してゐました。今後私は諸氏の御指導を受けたいと思つて居ます。

―一月二日―

布施辰治氏

社會運動は誰にも出來ぬ
犠牲拂はぬ人には出來ぬ
どんな犠牲も生命にかゝる
生命惜しくて運動は出來ぬ
社會運動は誰にも出來ぬ

―十二月三十日―

高島米峰氏

社會運動に從事する人は必らず宗教の信仰を根本基調とする事、聖徳太子の如くなるべし。それは真の和衷協同は宗教信仰の力に依つてのみ可能なりと信ずるが故なり。

―十二月三十日―

澤井龍之助氏

(一)僕の近所の青年團、某商工實修學校では今頻りに『青年訓練』とやらをやつてゐるが、其の中からポツ〳〵社會主義者が胎れつゝある。これは云ふ迄も無く胎れさすべく『運動』をやつてゐるものゝある證左だが、それにしても訓練の教官共がそれとも知らずに銅羅聲張り上げて無暗に吠えついてゐるのは噴笑するよりも、寧ろ悲壯な感じがしてならぬ。

(二)日本の社會運動界では今や頻りに辨證法的發展だの、いや蜂の頭だの、提灯だのと睨み合つてゐる様だが何れも真實の『日本』と云ふ事實より掛離れた觀念論？に終つてゐる様だ、マルキシズムを批判化、有用化せずに、頭から『日本』へ持つて來る事は取も直さず西洋歴史を日本歴史に置き換へる様なものだ。日本には日本の傳統あり風土あり習慣あり性格がある。それを其儘そつと植木でも置き換へる様にしやうと云ふのは反動屋がムツソリニーを崇拜する様に西洋の幽靈にとり憑れた化物である。そして又、日本的などゝ云ふ手合にこんな化物が居る『國情』をたてに『反動』の御用を勤め、西洋的が『左翼』で、日本的が『右翼』化されてゐる、こゝらをとくと考へる必要がある。

―十二月三十一日―

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

健康保險法と黃金萬能思想

布施辰治

△

社會政策と云ふもの丶正體が一種のゴマ化しである事は今更之れを解剖批判するまでもあるまい。

從つて、社會政策的立場と稱するものにも碌なもの丶あり得ない事は、寧ろ、當然である。

△

社會政策的立法だの、勞働者保護法律だのと云ふ鳴物入りで愈々本年一月一日から實施せらる丶事になつた、健康保險法の内容を解剖して見ると、其のあまりに非道いゴマ化し方が露骨過ぎるので、其の欺瞞に驚かざるものはない。

夫れ故、從來、社會政策と云ふ僅かばかりの好餌に釣れた、共濟組合等にゴマ化されて居た勞働者諸君も、今度の健康保險法のあまりに非道いゴマ化しを憤つて、爭議亦爭議の保險爭議を惹起して居るのは、素より當然である。

△

私は、今此の稿で、問題の健康保險法が、如何に欺瞞的なもので、其の被保險者たる事を強制せらる丶二百萬勞働者の猛烈な反對を受けなければならないものであるかは云はない。

△

私の此の稿で云ふて見たいのは、左樣した健康保險法實施反對の爭議を通じて聽く、黃金萬能思想の魅惑が、如何に恐ろしくも、現代人心の骨の髓まで浸透して居るかと云ふ事である。

どんなに恐ろしい苦しい災害でも、金さへあれば、之を救ふ事が出來ると云ふ保險思想即ち黃金萬能思想の魅惑である。

△

生命あつての人生であらればならない、其の人生の絕對存在を象徵支柱する貴い人間の生命さへも、金に代へて、之を償ふもの丶如くに思つて居る保險思想は、其の最も著明なるもの丶一つである。

斯うした保險思想、即ち、黃金萬能思想に魅惑せられて居る者の、健康保險法實施反對の論議は、保險思想其のものに對する反對では無いので、其の組織さへにも良ければ、保險其のものは、必ずしも悪いものではないといふ自殺論法に陷ち、既其の根底がグラッイて居る。

△

從つて、問題の健康保險法から觀た其の内容さへにも改善せらるれば、矢張り、勞働者一切の災害が救濟保護せらる丶事が出來るもの丶如くに論議せらる丶事は、寔に驚くべき黃金萬能思想の魅惑である。

赤影黑影

共產黨の大[illegible]者[illegible]!日[illegible]議に對する[illegible]排、排[illegible]の二說[illegible]の門なり。[illegible]師山川均氏[illegible]下、忽ち支持說を唱へし者[illegible]分になる、亦偉なる哉[illegible]の一聲!

* * *

[illegible]師の[illegible]命により無產者新聞全紙[illegible]排撃の二字を以つて埋む、命に忠實なること[illegible]者に對する奴隷に似たり、嗤ふべし若き自稱コンミユニストの醜態!

* * *

俺達にパンを與へよと號叫しつゝ自由勞働者多数、[illegible]、パンの略[illegible]の直接行動として新たな勞働[illegible]痛快[illegible]。

* * *

建國[illegible]赤化[illegible]、昔日志に改心の勸告狀を發す、汝等知らざる者に同志扱ひされて[illegible]、[illegible]!

* * *

最近[illegible]十八[illegible]間[illegible]議文を發行せざること無[illegible]い如し、紙の運動[illegible]如何?

* * *

文士の[illegible]人[illegible]せざるなし、[illegible]に乘り過ぎて[illegible]けすんば[illegible]。

* * *

無產黨の假面を冠れる日本農民黨遂に馬脚を現す、全國の農民諸君は手練手管の女郎[illegible]に斷じて[illegible]さるゝべからず。

△

苟くも、今度の健康保険法の實施に反對して居るものは、階級差別の觀念から觀た社會政策其のものにも反對な筈である。と同時に、今日の資本主義政府と制定さる法律で、表看板通りの偽りのない勞働者保護救濟の實を舉げ得よう筈のない事は、之を承知して居るに相違ない。

△

又、之を純感情的に考へても政府と資本家と、勞働者が折り合つて、仲好く對等の立場で勞働者の保護立法を講策し得やう筈の無い事も、判り切つて居る更らに、今日の政府と、資本家の勞働者處遇に關する對策の實際から見ても、所詮、社會政策の胡麿化しものであつて、勞働者の保護を期するものでない態度ひから胡麿化しに憤慨し切つて居る筈である。にも拘らず矢張り、保険そのものは、本質的に惡るいものでないと云ふ黄金萬能思想、即ち、保険思想の魅惑を受けて居る爲に、健康保険法の實施に對する爭議非難の鉾を鋭からしめ得ないのは甚だ遺憾である。

私は、人間生活實際の所要を何でも金に替へられるもの、如くに考へて居る、黄金萬能思想の魅惑をモー一歩突き破つて、保険と云ふもの、正體を解剖して呉れたら、どんなに良い組織を以て實施せらる、保険でも、私共人間生活實際の幸福を希はれた何ものをも、金錢に依つて救濟保護する事が出來るものだと云ふ思想に出發して居る保険の本質的に惡るいものだと云ふ事に氣付くであらう。

△

そして、今度の健康保険法は、どんなに其の内容を改善して見た所で、眞に勞働者を人間的に保護救濟する制度たり得ないと云ふ事を悟るだらうと、同時に健康保険法がどんなに十二分の内容改善を期した規定を設けて見た處で、疾病なり、怪我なり分娩なり、失業乃至、死亡等一切の人間的災害を金錢で救濟せられ、保護せらるゝものゝ如く考へる思想は、矢張り、資本主義經濟の黄金萬能思想だと云ふ事が判るに相違ない。

△

果して、そうとしたら、私共現實の人間生活に必要なものゝ總てを金錢で充足する金錢經濟が、資本主義經濟の餘剰價値搾取を蓄積して、之が資本とする事に、どれ丈け便宜を與へて居たかと云ふ事をも考へずには居られない。そして、私共現實の人間生活に必要なもの、總てを充足するに、金錢を以てせんとする保険思想は、又、必然の黄金萬能思想を醸生するものである、と同時に、左様した黄金萬能思想は、又、必然のプルヂョア思想を胚胎する事に爲る危険をも豫知し得よう。

△

故に、私は、今度の健康保険法に對する反對運動の機會に、斯ふした黄金萬能思想に對する一般勞働者の、如何なる災害をも、金錢で救濟せられたり、保護せられたりして、尊い生命さへも金錢で充足せらるゝものと思ふてゐる黄金萬能思想の一掃を期し度い。（二、一、一〇記）

* * *

中間派愈々功を奏し氣概當るべからざるものあり、今後のジャンプを望むや切なり。

* * *

寒風凛烈、路上盗を願つて喜捨を求むる乞食淤擴、嗚！資本主義治下なる哉！

* * *

嬉々として正月を樂しむブルジョアあり、一片の餅すら口にする能はざるプロレタリアあり、何ぞ其の差甚しき。誰か又憤激せざるものあらんや。

* * *

雜誌「勞働者」號を重ぬれど未だ一つとして見るべきもののなきは如何？ スクラップ・ナブ・ペーパーに等しき雜誌は出さゞるに如かず。

* * *

大生臭坊主權力と結んで教權を一致せしむるの怨状に對し、小生臭坊主の偏激宗教法案反對運動起こる、何れにしても民衆の搾取を前提としたる狢と鼬の爭ひ、共に排すべきや論なし。

* * *

勞農黨委員長に大山郁夫を擔ぎ上ぐ、恥ずべし、自由主義者たることすら疑はしき大山氏を無産黨の總裁たらしむるを。

* * *

彼れ大山は教授に適材たるの人なり、何ぞ能く無産階級を指導するに足らんや、教授職の角の擂鉢、憤死に値すべし。

* * *

例の第二乃潮本一夫、近來一手販賣の辯證法稍切れとなり、理論的材料の行詰りに甚だ困憊、流石の辯證法も遂に小便法となつて終る乎。

全土戰報

訓練所の正體

青年訓練所令第一條に曰く「青年訓練所は青年の心身を鍛錬して國民たるの素質を向上せしむるを以つて目的とす」。成程、お役人は頭が良いブルジョアの政策には恐入つたものだ。私の村は一小寒村である、不景氣風に荒されて、ヒヨロ〱になつて喘いで居る。此悲境の村では六百圓も豫算を計上して、僅か五十人足らずの生徒に主事以下五名の指導者に美味い汁を吸はして居る。教練とか何とか言つて小銃を肩に走り廻つたり　或は上官には絶對服從すべしなど〻、全然農村青年に不必要なる事ばかり強教する。此の如き訓練はブルジョアに取つては極く都合がよいだらう。然し純眞な農村青年が清く伸びんとする秋に際してか〻る壓制的な教練が果して完全なる生育をなし遂け得るであらうか。不必要な教練よりも、何故此の困憊疲弊せる農村に向つて、何故プロレタリアを救濟すべく努力せんか、ブルジョアの工場に勞力を×××××××××××は不必要なものだらう。要するに俺は訓練所が以つてブルジョアの好個たらしめんが爲に外ならぬ事と斷言して憚らぬ。お〻今に見よ！必らず近き將來に於て豺狼の如きブルジョアに攻撃の矢を與へずんば止まず。悲憤の涙は必らずや×××××××ブルジョアに降り注ぐぞ。如何に黄金の扉を高く築くとも我々は××××××××××××。俺はブルジョアの社會を逆に歩む。

【高知縣　原　重喜】

覇氣に燃へよ

俺は社會から毒々しい言葉や餓死の悲鳴を聽かされたり、毎日いやな思ひをして、少しも正義も自由もなく、眞の正義が我利盗賊盲者に背かなれたり、搾り取られて居る不正な現資本主義社會に生れ出た。そして倒れ行く無産階級の兄弟を長い長い微笑を以つて流し目に見る横暴な搾取者を見て來た。俺は×××××ならなかつた。俺は社會に現社會制度に××××××。俺は正義の爲め自由を求めて×××××。それを無智な者は危險人物だと云ふ。自已の滅亡を強られ、生存權を掠奪されても知らずに眠つて居る我鄕土の人、否全日本の民衆よ。

先づ自己に鞭打つて他を笑へ。諸君はすべてを「仕方ない」の一句を以つて何もかも棄て〻居る。諸君は凡てあきらめの言葉を吐いてゐる。諸君!!諸君は青年である。覇氣に燃えよ。諸君は目覺めればならぬ。生あるものはきつと生きられるだけ生きやうとする。

倒れる迄鬪はふとする。行ける處迄行く。それが我々人間の凡ての慾である。又眞理であらう。此の眞理を忘れてはいかぬ。事は未然に防ぐべきだ。俺の××は美しい人類愛からだ。×××××、掠奪の無い新社會創造への叫である。起て！農民！××せよ!!

【愛知縣　淺井岩武】

吾等の第一戰

忘れもしない去る十一月の七日だ滋賀縣同志の第一回集合を彦根支局なる吉田兄宅で行つた。それが因で遂に六名の投獄者を見たのだ。狂犬の如き血迷へる官憲は無法極まる手段を持つて吾等同志を拷問に掛けやがつたのだ。空腹でヘト〱になつて居る者を豚箱同樣の留置場に投込み蹴つたり蹴つたりして遂に失神せしめ、深夜より未明に掛けて各々引摺出して數名の犬共が取卷き脅迫したり　誘導訊問を試みたり、實に其の暴虐極に達し、唯吾等は外部よりの救援を待つより外なかつたのである。十一月十八日斯くして彼奴等は僞證的な豫審調書を作製し、治安維持法違反として、遂に吾等六名は湖東彦根警察署より嚴重な警戒裡に湖東二十里余離れた膳所刑務所に送致投獄されたのだ。各々淋しき獨房に冷たき獄窓にもたれてつく〱省みた。彼奴等は飽迄執念深く吾々を苦しめるのみだつた。卑怯な手段や暴力を以つて壓迫しやがつた。

憤然として×××××××××××××。××××××。不服だ、殘念だ。慘酷だ。無念骨髓に徹す。思はず獄扉を蹴上げた。ドスン……　……

……　……

＊　＊　＊

ひろでも夜でも牢屋は暗い
いつでも鬼奴が窓から窺く
窺かふとまゝよ扉は越されず
自由にこがれても鎖は切れず
あゝ此の重たい鐵の鎖よ
あゝ見よすた〱に引裂き千切れ
いくらわめいたつて籠の鳥よ

＊　＊　＊

泣いたとて笑つたとて世はさまざまよ
陸の果にや海がある白帆が行くよ
渚を枕に一人寝の旅でも
日も射し、月も照る風めがなでる
自ら飢ない自ら飽る
業は業て事して行きやれ
自由の足かせ鐵の鎖よ

おゝ地の底遙かに歌つて居る。そうだ吾々は荊棘の道を踏んで居るのだ。どうせ業には死れないのだ。戦死だ、獄死だ、絞首臺の斷末魔なんだ。そして×××××××××××。

吾等は今回の彦根事件に依つて全く多くの生きた學問をした。特に官憲の間際政略や牢獄心理は體驗した事に依つて層一層吾等の運動を可能ならしめる。人間萬事塞翁の馬とは良く言つてゐる。御蔭で、滋賀縣に膳所支局が一つ殖へたのだ。

斯くして吾等の第一戦が大効を奏して終り、愈々新陣容を整へて第二戦線へと向ふのだ。

進め同志諸君よ、共に健闘せられん事を祈る。

資本主義の罪悪

【滋賀縣　太田増美】

朴陋と無智の地方農民の父兄を甘言をもつて勧誘し、まだ幼い子女を強奪的に連れて來て、不衛生と亂淫の眞只中に無責任にも放任して粗食(この事は後日書いて見たいと思つてはゐるが)と十二時間又はそれ以上の勞働を強ひておく資本主義の犠牲化のやうな製糸工場に於て青ぶくれた病人が出るのは必然的なものである。

然もその病氣に堪へられず歸郷するものゝ七十パーセントは恐るべき肺結核患者である、と云ふに至つては、全く人道的大問題で、この根本原因は資本主義の恐怖すべき魔手が搾取に疲弊し切つた農村に及んで生んだ確然たる事實だ。

無産大衆の闘ふべき時だ。否、一刻も早く我等人類の幸福な平和な理想境を建設する爲に資本家主義制度××××××××時だ。

戦線の擴大

【東京　倉澤生】

最近、わが名古屋に於ける社會運動は著しく進展し、官憲の防壓を他に陣容を整へ、内容の組織化したことは顯著な傾向である。隨分今迄、怪しげな運動屋等に眞面目な同志がアヤマられて千辛萬苦を經て、漸く明るみの曙光を向へた。今試みに一瞥すると、日本製陶勞働同盟、官業勞働總同盟名古屋向上會、日本交通勞働總聯盟、中部交通勞働組合、名古屋市電互助會、同親友會等が中堅をなして、勞働運動の戦線に巨大を轟してゐる。また、借家運動では名古屋借家人同盟會、その他二三が幾多の波瀾曲折を經つゝ、結局はゆくべきところに到達した。

兎も角今迄の微弱な運動家は自然淘汰されて、人類の聖戦に高價の涸血をそゝぐ正義の同志が、戦線を固めたことは慶賀に堪へない大事である。

名古屋の社會運動は戦線を擴大して堅實に富んだスタートをきつたことを喜んで天下の同志に告ぐ。

大演説會の記

【名古屋　加藤一郎】

去る一月三日、吾が支局では、先に當所にて創立せられた農民社主催本部後援の下に我長野縣の思想的中心地大町に於て、「社會問題 大演説會」を開催した。不景氣と寒氣に沈滞せる此雪國の大町に「社會問題大演説會」の赤いビラがはられたのは一月元旦午前二時の未だ暗き眞夜中である。

無智に眠れる世人への一大警鐘は早くも元旦の曉と共に鳴響いた。淋しい、暗い元旦の暗も漸くして我等の警鐘に愁眉を開いた。陽が遙か鉢山に入らんとする時、北安、南安の二郡へ宣傳隊が走つて居た、寂しかりし此の雪國も今や活氣付き、×××××××××。一

番犬共の狼狽振と來たら、全く見る人をして噴笑せしめた。全く其狼狽振りを見たゞけで少しは心が晴れ〜する。

我等は斯うした官憲の狼狽を他に見て着々と其歩を進めて行つた。時は來た。期日の三日の正午である。吾農民社の宣傳隊は自動車を一臺かつてメガホンを手に最後の宣傳に出掛けた。時々路傍演説もやつた。

番犬共は此我等の破竹の勢を見て恐れてか、たゞ唖然として自動車の後に從つて居た。赤いビラは無數に撒布された。午后五時、早くも會場には聽衆が黒山の様に押掛けて來た。午后六時半、大演説會は司會者の開會の辭と共に其口火に點火された。

先づ同町出身の本部の工藤氏が壇上に立つた、五百の聽衆は一齊に高鳴る心臓の響きを靜めた。十分後突然「注意」の第一壓迫砲が發砲された。續いて「中止」「中止」の殺氣砲が署長直立と共に發砲せられた。

次に赤地君が立つた。君は辛うじて「注意」を受けて其難を免れた。次いで農民社の傘木修君が出た。續いて本部の松山氏が壇上に現はれた。深山、靜寂其ものゝ様な會場に震さ正義、眼は焔の如く炎え上がつた。氏の雄姿は戦捷せる猛將に似たり二十數分にして「注意」の命が降つた時に、氏の烱々輝たる眼光は署長始め番犬を睥睨せん許りであつた。更らに辯ずる事數分にして又亦「中止」の暴壓砲が飛んだ。此時、氏は泰然自若として、コップに水を注ぎグイと一杯喉を潤した。果然!!「治安警察法第十條により中止を命ず」

の署長　警部は怒氣を含んで邊りに散つた。番犬は總起立し早くも壇上には四五匹の犬が飛び出した。其時氏は悠々と足音高く壇を下つた。假

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

絡、口惜しい、鐵だ 畜生！ 場内の空氣は××××××。何たる暴逆だ。彼奴等も與に勞働者だ。無産者だ。馬鹿！ ××× ×× ××××！ 畜生！ 次いで淺野氏が出た。或は低く、或は高く、或は右に、或は左に、或は内に、或は外に續く〳〵堂々二時間の大熱辯、中にして何等の迫害もなく、其の意を盡した。

出席すべき辯士未着の爲め、再び赤尾君が壇上に現れた。其鋭い辯鋒は番犬退治に始終した。如何なる番犬も君の辯には赤面を感ぜしめた。無慮六十名の番犬全く笑止の至りであつた。來るべき辯士不着の爲め遂に閉會の餘儀なくされた。當夜は會場の内外を二重三重に、殺氣な番犬の山が築かれた。當地方否長野縣下に於ては斯かる大演説會を催した事は吾等が其の嚆矢である。其反響否效果の偉大なる事は言を俟たずだ。未だ書く事が山程あるが次號にゆずり玆にペンを止める事にする。願はくば全國の同志諸兄！ 玆に雄々しく生聲を揚げし『農民』をして眞に其目的を貫徹せしめよ。

【長野縣 第一支局】

資本の暴虐

我が茨城縣大宮町に資本金三十萬圓を有する常陸酒造株式會社がある。社長は古市某と云ふ元郡長をしてゐた奴である。が創立後僅か何もなく、會社の内容は目も當てられぬ慘状を呈したので、十三年十一月風前村の書記をしてゐた川又久次郎と云ふ男を無理矢理に書記を止めさせて支配人にした。川又支配人は紊亂した會社を整理して、今日では相當の配當をする様に迄こぎつけた。然るに飽迄も横暴な古市社長は、會社の秘密を全部知つてゐる川又を恐れ、重役と謀つて、十月下旬川又を解雇して了つた。そしてその後へ古市社長の股巾着の中村某と云ふ元警視廳の刑事をしてゐた奴を雇入れた。突然解雇された川又は衣食に窮し、妻子を抱へて路頭に迷つてゐる。全國の兄弟！ 斯くの如き冷酷な資本家を罪れ!!

【茨城縣 好尚生】

日本人への不平

殖民地として支配されつゝある我々朝鮮人に對する日本人の態度は、今尚、爆彈や短刀のみを持つてゐる不逞鮮人のみだと思つてゐるやうだ。そして我々鮮人勞働者は失業して、內地へ職を求めて來ても、何處の工場も、何處の商店も雇つてくれない。先達て漸く職を得て一ヶ月ばかりはどうやら飯も食へ生活に脅威を感じなかつた。處がだ、冷酷な工場主は朝鮮人は危いからと云つて私を追出して了やがつた。理由を聞くべく在日本朝鮮勞働總同盟の人々の應援を得て會社へ談判をしに行つた。處が早くも穩かならぬ形勢を知つた工場長は平蜘蛛の樣に手を突いて謝つたので許してやつた。在日本の朝鮮人諸君よ、朝鮮總同盟の下に集れ。

【千葉縣 鄭然秀】

假面を剝げ！

中越鑛物株式會社の重役として資本主義神經王として有名な柴田茂兵衞、柴田東作等の狠を助けて同會社を解散せしめ、設立金三十萬圓餘を横領し會社の固定資本金を全部自己の掌中に收めんとせる不徳漢中にあつて一方の旗頭となり重役會議株主會議に面をならべて厚釜しくも横着口を利く者の中に小野田春次郎と云ふ奴がある。こいつはなかなかの悪黨で資本主義的小ブル黨、立憲青年黨の小町支部長をやつてゐたことがあるのだが黨議を無視して、悪事をはたらき、追ひ出された程の者である。が財産は何十萬か不明らない程あると云ふ代物。

こいつに目を付けたのが同じく一派の横暴者と云はれてゐる越後の國の女郎屋の亭主、紅貝快夫に師事してゐる日本農民黨石川縣聯合會とかの大將株多と云ふ、小新聞を月に二回出して廣告を取つて飯を食つてゐる野郎だ。古人の言の蛇の道やへびだ、悪狐ならず、必ず隙ありと云つたことは矢張り眞理と見えて、早速放逐された前青年黨支部長の小野田の所へ行つて米つきばつたか平蜘蛛のやうになつて農民黨へおはへりくだはれと云つて頼んだものだところが、また小野田の奴如才がないから、面に喜色を現はして、とにかく應對してはいつてもよいと云つた調子の返事をした。そこで正直な農村の小ブルの息子どもはほんとうに彼れがはいれば運動費に不足しない、よい鳥を見付けたものだと喜び合つたが、第一回の總會には出て來なかつた。

あとで小野田はある人に語つてあんな奴等に何が出來るものか、阿呆ざもめ うふふと嘲笑してゐたと云ふことである。政治運動もこうなれば何が何やら理由が解らなくなる。田舍では政治運動などは金持のなぐさめにしか考へてゐないのだ。永井柳太郎が大臣になつたとて、篠岡が縣會議員になつたとて、女學校の卒業式に生徒總代が式場で屁をたれた程も農民の生活には勿論感情にもひゞかんわいとある青年は高らかに笑つてゐた。

こんな奴等が無産政黨だとか社會運動だとか云つて馬鹿騒ぎをやるので純眞な無産政黨の組織運動が阻害されることが夥しいのだ。殊に小野田春次郎や柴田東作などのやうな人間の關係してゐる富山紡績や中越紡績の女工さん迄一千六百名の虐げられ振りを脫する必要があると、あるマルキシストが先日私宅へ來て話してゐたが、彼等も人間である以上、そんな不都合もあるまいと私は云つて置いたが何をやるか解つたものではない。それから正義の爲にとて立つた北陸朝日新聞は結局小ブルの機關に過ぎないことがわかり、礪波ホテルの黒川由次郎と云ふ淫賣屋業

博徒だと云ふ、等々。

そんなことはどうでもよいが日本農民黨は無產黨ではないと公言し小野田金持に頭をさげ草苅持を幹部に推し無產青年に難ぐせつけて黨から追ひ出すやうな政策をとる日農黨富山聯合のばけの皮をひんむけ!!

【富山縣　梅本國治】

蹶然起

我が親愛なる進め社同人及各支部同志諸兄よ!! 私は十六歳の少年である。そして我が無產階級戰鬪誌の愛讀者です。一號々々と發展し且無產者の永久に敵對せねばならぬブルジョアーと戰ひつゝあるのは何と雄々しい快事ではないか。私は眞の無產者だ。私は某地方官廳のボロ屑である。そして世の中は皮肉にも私の大家主たる某氏は縣屬として威張つてゐる。金で學校を卒へた輩は相當の地位を得てブルジョア的色彩を發現してゐる。俺は此大官廳の一屑人として、勞働者として無產者として發奮せずには居られなかつた。俺にも體がある。一身を犧牲にして無產者解放に盡すべく、ブルジョアーに宣戰を布告したのは今だ。此のペンを取つた時だ。官僚的先輩はつまらぬ說教をやる、そして馬鹿々々しいブルジョアー教育を奬める。然し現社會に於ては吾々無產者にはブルジョアー教育は絕對的に排斥すべきである。惜しむらくは此の吾地に吾等の運動に盡すべき機關が餘りに少ない事です。私は玆に斷然起つて、『進め』に投じたのも亦、必然的の奮起と思ふ。

然し此小さな運動者にもあらゆる迫害があります。私の先輩は勞働運動無產者運動から遠ざからせる樣に努力してゐる。然し私には有難迷惑で害あつて功なしです。私は生くべく戰はねばならぬと思ふ。失業せぬ範圍に於て、否奪はれても去る事は出來ません。同志諸兄よ!! 此小さき無產者は諸兄と共に『進め』誌上に活躍し、又無產者、同志の爲に努力する事を玆に誓ひます。私は前にも云つた通り階級的差別の甚だしい官廳に於て常に虐められ、虐待されて居る十六のボロ屑です。

此後はよろしくたのむ。

【愛知縣　小川倒作】

着用道德施政

憶第一代文官總督田閣下。於大正九年十月一日。施行自治制度於我臺島。區改爲街庄。廳變爲郡州。外設內臺人男女共學制度。其他種々。可謂治臺以來。施政方針面目一新矣。當時臺人之民心。宛然如天披落月之歡喜。總督之訓示宣佈一到。臺島大小官吏。無不自覺時勢之變遷。其責任深重。要指導同化臺島之百姓。官以是臺之民。民以是臺之官。官民相望。無非欲實現自治之成績。以顯時勢之要求矣。惜日月如梭光陰如矢。不料總督已更迭四次。制度改正以來已閱六年有餘星霜之今日。其實績未甚卓著。而遲々不進。空々取其名而已。爲何故哉。當局者努力不足。兼缺陷眞自治施行。而所以一進一退之前途。亦是莫快。俗語云『畫虎不成而成狗』矣。誠哉實言。亦好笑。恰……恰……恰……。

如此而觀。若非眞自治有道德之本義現在自治制。前途可慮。不啻是不用獨有取笑而已。而且難以實行之中。當局指導不滿。而反本年來。臺島惹起種々問題。問題中最爲顯著者。即退官者拂下土地之件。臺島其人所知開者無不憂心。同情幷戚。破口奪者獨有大放悲聲。叫天下苦。叫地無門單々屈從在下。一家一族一地方。位民一片淚涌々而下。慘遇之事。聞之而已。不知不覺。情淚已先奪眶矣。臺島將來爲何慘狀未知。獨是入々臺當局者大々同情於水底百姓。相互親愛用德爲本。共存共榮之主義。不偏於左。不偏左右。緊々講究善後策。救民之苦。誠哉是言。萬臺爲官爲吏者。以保護人民爲職責。即以教育人民。答報國家蘇養吾身之本意焉。

【臺灣臺中　潘錦宇】

理論より實行へ

今日は昭和二年一月元旦だ。我が津山に於ける百姓は今、●●●●る正月を迎へたのだ。此處には一寸した温泉がある。關西邊のブルジョアの穀潰し連中、ドラ息子、さては七三耳隱しのドラ娘迄、朝早くから汽車から飛り出して町をゾロ〳〵手拭を下げて歩いてゐる。

彼等ブルジョアには眞に賀し奉る正月に相違ない。斯うして正月中温泉に浸つて居れば、成程正月は有難いものだらう。だが俺等無產の百姓には正月等はなんの有難味をも感じない。見よ!!意外な!!世は正月だと云つて樂しみ遊んでゐるのに、而もヒューヒューと吹く寒風に曝され乍ら桑畑に手入れしてゐるではないか。斯うも云ふ俺も其の一人だ。手は凍つて感覺を失つて居る。耳は千切れさうだ。俺達は斯うして暮らさなければ、桑何の果は地主に全部採られて了ふんだ。

資本主義の社會の不合理なる事は今更喋々する迄もない。俺達は何日迄も〳〵理屈ばかり云つてゐられないんだ。理屈より實行へ!實行より進出へ!俺達は突進すべきだ。

こんな事を云へば同志諸君に嘲笑されるかも知れない、然し俺は思ふのだ。理屈は既に充分說されてゐる。そして組織研究もつまれてゐる。然るに何日迄も、資本主義末期に於ける內容は沒落期に於ける帝國主義は最後の何とか、かとか云ふ事は實驗になつてきた。そんな事は誰だつて知つてゐるんだ。今更事新らしくいふには及ばないんだ。全國の同志諸君!俺達は何日迄も下らない理屈のみ述べて得意になつてゐる奴を放り出さうではないか。そして實行へ進まうではないか。

【岡山縣　徳田英文】

殖民政策裏面研究（三）

金熙明

殖民政策史的概觀

以上述べたる處の殖民事業を一層詳かに知るには各國の執れる殖民政策の史的觀察を必要とする。即ち歴史は我々に殖民政策を如何なる方法を以て提示し、如何なる狀態に於て殖民地民族が虐待されたかは、各時代と國土に依つて異る形式となり意義を持つことは必然であるからである。以下順を追ふて古代に於ける埃及、東方諸國、フィニシヤ、カルセージ、希臘、ローマ中世に於けるアマルフイとピサ・フロレンス、ゼノア、ベニス及び近世に於ける葡萄牙、西班牙、和蘭、佛蘭西、英吉利の諸時代に於ける殖民政策に就て小史を述べ比較の便に供せんとする。

一、古代

1 埃及

埃及人は外國を征服しても慢に苛酷な制度を設けず新版圖に對しては極めて寛大なる放任主義を採用し只僅かに其國君酋長等に納貢を命じたものである。なほ希臘地方に散在したる殖民地は別に國家の權力を以て創始したる即ち征服したものにあらず、本國民の政事上宗教上の迫害を避けて若くは生活上の必要に迫られて自ら移住した處の人民の集團所謂私人的殖民地の一例であつた。

2 東方諸國

(A) アッシリヤ

アッシリヤ人のその征服したる土地及人民に施した政策は一顧に値するものがある。即ち彼等は土地を以て附近政府の所營となし時として自治制度を許し又之を州縣に分ち行政官を置き駐屯兵を派し以て之れを治めた。被征服人民は只アッシリヤの法令に遵ひ租税を納め兵役に服するの三大義務を有した。特に之に向つて慘忍なる行爲を取らなかつたのは蓋し後世の批判に價するものであるが且又アッシリヤの政府の人民換置政策も一考に價するものである。

アッシリヤ人は四方を兵力を以つて侵略し其土地の人民は直ちに之を本國に送り本土内に居住せしめ、之と同時に本土の人民を征服地に送置して此處に新らたなるアッシリヤ王國の一部を作らしめたのも一種の殖民政策と云はざるを得ない。

(B) メジヤ

メジヤは其屬領地を支配するに當り本國に接近せる地方のみを中央政府に屬せしめ又其地方の政府をしてその地方に接壤せる地方を統治せしめ漸次延て其關係の濃淡を區別し關係の密なる者をして其薄き者を治めしむるやうな政策を採り租税を取る上に於て距離の遠近は難易問題に係るものに付き近距離にして租税の納入多く且つ簡易なる地方を優遇したものであるが此政策は遠近の間に統治の公平と不完全を缺ぎ遠距離の人民をして不平を抱かしめ且つ之に對して威信完全に行はれず終に禍根茲に發して其朝廷の轉覆を見るに至つた。

(C) 波斯

波斯は徹底的武勇を以て誇りとなしたる國にして屬國の水兵を以て編成したる艦隊を所有したが之は通商貿易の先驅を意味するものでなく、保護者としての威信のためでもなく只劫掠の器械に過ぎなかつた。商工業は之を蔑視し詐欺的行爲として宗教上の信念を破るものとして其首都に於ては之を禁止し只地方の市邑に於てのみ之を赦し且つ本國と屬領地の富源を開放することを許さなかつた。

(D) アンカルチヤ

カルチヤ人は古代の人民中最も文明の域に進みたる民族にして建築、彫刻、科學、哲學等も多くはその根源を此處より發し

ギリシヤ、ローマに入りて大成したと云つてゐる。けれどもその屬領地統治上には別に新機軸としての政策を失はず單にアッシリヤ人の人民換置法を襲用したやうである。且つ被征服者の利害をあまりに眼中に置かず單に本國の首都の富强と美飾を計るを根本の目的として收劍誅求殆んど到らざる處なく都府以外の他の都市は凡て之が荒廢に歸し遂に國勢の衰弱を誘致した。

凡そ埃及を始めとし是等の東方諸國は互ひに覇を爭ひし時代に於ては今日の所謂殖民とか、殖民地の區別がなかつた。彼等が兵を擧げて他國を侵略するものは是れ殖民地として移民を奬勵し商工業を普及して利を得んとしたものにあらず只武力を以て敵を威嚇し之を占領して領土を擴張し人民を増加支配せんとする英雄的野心を滿足せしむる動機に外ならない。

若し之が經濟思想に基く殖民思想的動機の侵略なるときは武器のみを擧げず經濟的に商工農業に、之が競爭を試みるであらう。この經濟的思想に基き殖民的勢力を扶植し永く史蹟を止めたものはフィニシヤ國民である。

3 フィニシヤ

フィニシヤ殖民地及其屬領地に對する政策は今明かに之を知ることが出來ない。たゞその本國との關係は單に商業上の利害を同一にするがために自然に平和に持續せられ殖民地及屬領地は多少の納貢をした。本國は二人の知事と元老院議官とを自國民中より選出し終生其地方の統治者たらしめたるの外別に行政上の干渉を施さず極めて散漫たる關係たりし事を知ることが出來る。

4 カルセージ

カルセージは殖民地開拓最始に於て移民政策に依る方法を取つた。即ちカルセージに於ける浮浪階級其他の本國に於て持あましてゐる連中をかり集めて之を將に開拓せんとする新殖民地に送りて、現住民と雜婚を盛んに奬勵し、財産事業を保護して專ら土着の人民として永住することに務めた。之は當時に於ける一種の同化政策とも見ることが可能である。

5 希臘

希臘に於ける殖民政策を研究することは甚だ困難なことである。私は茲に於て先づ希臘人の殖民の原因を尋ねなければならない。即ち希臘は如何なる理由に依りて殖民を奬勵しなければならなかつたか。

（イ）山間谿谷多きがため増加しつゝある人口問題解決のため。

（ロ）陸路嶮峻なる故生産品の販賣とその運搬に困難なるため。

（ハ）武力を養成し權力を國外に振ふため

以上に依ると希臘の殖民は埃及、東方諸國時代に比しその面目を一新し稍々近代的政策に類似點を以つてゐる。即ち（イ）の人口問題の解決の如き（ロ）の經濟的産業問題解決の如き、（ハ）の帝國主義保持のため必要とする軍國主義を發揮するための諸點は近世殖民政策とその方法上に差異はあれど原則としては一致的なものである。

希臘は武斷政治を尊ぶ政治的傾向を持つてはゐたけれどもその殖民地政策に限つては極めて平和穩健な手段を取つた事實は特筆すべき點である。

即ち彼等は武力を以て先取者を討伐し之を占領するが如き手段を取らず未だ先人の手の届かざる地を選びそこに人口を繁殖せしめ、文化を創造し、資本を豐かにして生産業を營ませるに依つて漸次新らしき殖民地を開拓するに至つた。土地の如きも掠奪の如き不法行爲に出です土民より之を買收することを常とし歴史上に見るが如き殖民戰爭は只自國の領土を保持防禦せんとする意志に止り征服的戰爭ではなかつた。

なほ希臘に於ける殖民地とその統治關係は前章に於て已に述べたる如く所謂アパイキア制度であつて、アゼンスを除いた諸

社告

吾社講演部は一時活動を停止してゐたが、本年一月より復活し、既に去る一月三日長野縣大町に於ける支局主催の演說會を應援し信州の天地を席捲した。地方の同志諸君は運動の一舞臺としての講演會を是非開催せられん事を望む吾社は飛檄一度降らば何日でも五、六人の辯士を派遣する

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

殖民地は之を總て本國の統治區域より除外して一種の獨立國として、殖民地は本國の干渉を受けず各々思ひ〳〵の政治組織を有する社會狀態であつた。即ち殖民地はアゼンスは羅馬のクレルチースの方法と反對に殖民地が本國の屬領地としてのそれに非らずして、殖民地自らの獨立的なものであり故に殖民地の集合を聯合殖民地と謂ふた。

こゝに忘れてはならぬことはその殖民地中の一つであるアゼンスである。アゼンスは諸殖民地をアパイキア制度にしたに反し之を本國に從屬せしめその住民は本國の支配を受けせしめたその故かギリシャ殖民地の中最も隆盛を極めたものはアゼンスである。

6 羅馬

羅馬は前項に於て述べたるギリシャがその殖民地に取りたるアパイキアにあらずしてそれに全然反するクレルチースの方法であつた。即ち前者の殖民は單に民族の散布であるのに反し後者は權力の統一即ち本國と屬領の統合主義である。希臘に於てはその本國に於て發生した凡ゆる文化が却てその諸殖民地に於て實を結び花を咲かせて美術、哲學、音樂、文學、詩人、が殖民地の住民中に多かりしが、羅馬は凡ての富と知識を之を都會中心主義的に集中したるためローマの文化は之が總て都會に於て發生した。そこで羅馬の取れる殖民政策も勢ひ統治の目的を本國擁護にのみ用ひ、殖民地に於ける被支配階級及びその生活文化には苛酷なものがあつた。

政府は殖民地移住に適合する人民の部隊とその住むべき土地を選擇して之に本國と相異る特殊の法令を布き本國の擁護と利益になるべき事業を作業せしめなほ武力を以て永久にローマ帝國に反逆し得ざるやう嚴酷なる制度を規定した。元老院は當時政府の武力に依りて掠奪したる即ち侵略した征服地を沒收してそこに本國の人民を嚴選して移任せしめ凡ゆる設備を與へて作業に從事せしめその領與を受けたる移民をローマ帝國としての市民權を與ふものと制定した。即ち之は市政上貧民統御の困難を少くし外に於ては善良なる農業品供給者と勇敢なる兵士とを得る結果を呈した。

ローマの移民は殖民地に向つて出發する當時に於ては一個の軍事上の意味に於ける軍隊であるけれども一度彼地方に到着したる以上は、武器を捨て武具を脫いで鋤と鍬を手に取りて之に換へることにした。なほローマの殖民史上に於て三つの階級を發見することが可能であるが即ち之は殖民條件の地方的變異を物語るもので羅馬殖民地、ラテン殖民地、イタリック殖民地の如きもので之等は要するに殖民地統治上の本國との法制の階級を物語るものではあるが民族的人種的感情意識及び本國の利害關係より發生したものである。

以上の要言より綜合してもローマの大帝國は劍を以て與り鋤を以て支持したことが窺はれるが殖民政策の結論は誠に武力によるよりも農業的殖民及び裁殖的殖民の方法の方が遙かに恐怖すべき歷史的運命を所持してゐるものではないかと感じられる茲に於てローマ帝國主義を大國主義的統合殖民政策と稱ぶ所謂であらう。（未完）

◇新刊紹介◇

フェリー實證派犯罪學（淺野研眞氏譯）

石川五右衞門は、濱の眞砂と世に盜人は絶えない、と喝破して刑死した。果して犯罪は不滅であるか？

今日、我國の犯罪は年と共に益々增加しつゝある。そして其の九割九分は、所謂『貧の盜み』であることを忘れてはならない。即ち犯罪の多くは、社會組織の缺陷が製造するものであることは明かだ。

犯罪學は嘗つて支配階級の擁護をその任務とした。然るに本書の著者フェリーは、奮然起つて、云はゞ『プロレタリア犯罪學』を建設したのである。彼れは、伊太利ローマ大學の教授にして、また同時に伊太利社會黨の中心人物である。本書は彼の犯罪社會學の根本原理を簡明に敍述せる絶好のもの飜譯は親切にして、また明快、プロレタリアートも、今や社會科學の一部門として、この犯罪學の教へを叩かればならぬ時に際會してゐるのではなからうか。敢へて一讀をすゝむ。（定價壹圓、四六判一五〇頁、上製函入、東京市神田區表猿樂町二三、文精社）

戲曲

理想社會の夢（一幕）

行村義雄

人物

彼………資本主義時代の無產階級鬪士。
第一の男……同、軍人。
第二の男……同、工場主。
第三の男……同、代議士。
第四の男……同、無產階級鬪士。
第五の男……同、警官。

舞臺

工場の裏門。（朝。）
彼が門番をしてゐる。
第一の男出勤する。破れかゝつた、油じみた軍服を着てゐる。

第一の男。やあ、お早う。
彼。あゝ貴下は、以前の伯爵陸軍大將閣下ですね。どうです。こたやしませんか。
第一の男。こたえるどころか、每日愉快に働らいてゐますよ。實際、こうした社會へ生きながらへられた事は幸福だと思ひますね。
彼。もう殺人用のサーベルも、虛榮の勳章も不必要になりましたね。身體が輕くてさつぱりしたでせう。
第一の男。ほんとうですとも。人類のお互が殺し合ひをするなんて……よくもあんな殺風景な商賣が、この僕に出來たもんだとつくづく思ふ事がありますよ。
彼。社會の經濟組織がよくなれば、戰爭等と云ふ事は、藥にしたくも始まりませんからね。
第一の男。實際人殺しをする事ほど、世の中にこんな罪惡はありませんからね。
（第一の男入る。第二の男出勤する。肥滿した赤ら顏の男。）
第二の男。やあ、お早う。
彼。お早う。今度は、以前の鐵工所の社長君ですか。どうです、今度こそストライキも起らないし、どこかの銀行家の樣に、暗殺される心配もなし、實に安心したものぢやありませんか。
第二の男。尤もですよ。じつさいあんな社會では、晝も夜も、生きた心持ちやありませんよ。生き甲斐のある生活を、始めて味ふと云ふものです。
彼。お互のうちに、搾取する人間もなく、搾取されるものもなくなると、みんなが、はじめておもしろく働けるものですね。根本の社會組織がわるいうちは、二ッの階級は、いつまでも妥協する事は出來ませんからね。
第二の男。いや、資本家同志が早く目覺めればよかつたのです。
彼。然し、今では誰もあなた方を憎んではゐませんよ。それよりも、搾ぼりあげて、食つてよく肥えたあなたの格構がおかしいばかりです。所謂、身から出た銹ですかね、ハハハツ。
第二の男。いやあなたの皮肉は仲々辛辣ですねハハハツ。
（第二の男入る。第三の男出勤する。へいシヤげたシルクハットを冠つてゐる。）
彼。おや、シルクハットが破れてゐますよ。
第三の男。廢物利用ですよ。格構は感心したもんぢやありませんが。
彼。そのシルクハットについては、僕にも思ひ出がありますよ。僕が子供の頃には、そのシルクハットと云ふものが、ながく胸についてはなれなかつたものです。僕は、今もそうですが、生來、へんくつで、友達はみんな軍人になると云ふのに、僕だけは、いつも代議士になるんだと、云つて威張つてやつたものです。けれ共、だんだん大きくなつて、社會的に目覺めてくると……無論、僕は生れ乍ら貧乏人でしたから、いつか、自然のう

ちに、あの社會の不合理な經濟組織に對して、大いに憤怒を抱いたもんです、遂々、代議士熱なんかいつのまにか消えてしまつて、結局共産主義者になつて了いました。

第三の男。それでは共産主義社會が出現しておそらく代議士になつた時よりも嬉しかつたでせう。

彼。あなたの云はれる通りです。ほんとにね。だが、あなたは、そんな柔らかい手にハンマーは重すぎやしませんか。

第三の男。ハヽハツ。お安く見ましたね。これでも一人前の男ですよ。それに、一人の幸福でなしに、萬人が、不安のない生活に生き得られるためには、元より望ましい事ですからね。

（第四の男入る。第五の男急いで登場。）

第四の男。おい兄弟。今のはかつての喧嘩代議士君ぢやないか。議會で喧嘩ばかりしてゐたあいつだらう。ばかに早くやつてくるんだなあ。

彼。代議士君ばかりじやない。陸軍大將も、それから君達をしばつてゐた工場主も、すでにやつて來てゐるよ。

第四の男。おや、そうかい、おどろくね、こうなつて見ると、この社會改造運動の實際にたづさわつてゐた僕なんか、氣になつて顔は合はされない。

彼。俺達の理想の世界を、あいつらの手から取り戻したと云つても、ちつともあいつらの生命を縮めた譯ぢやなし、それどころか、却つてあいつらは、その生活が完全に保證されたちやないか。誰が、どこに不平の云ひどころがあるものか。

第四の男。俺は始めて、眞の勞働の喜びを感じる。俺達はもう飢えなくてもすむのだ。もう人類の凡てが、働けば働くほど、お互に幸福たり得るのだ。働らかう。壓迫のない自由な社會に、力いつぱい働く事は、生のよろこびだ！

（第五の男出てくる）

第五の男。おや、路傍演說でもなさそうですね。

彼。あゝ、警官ですか。さすがは職業柄だ。

第四の男。まさか檢束するんぢやありますまい。

第五の男。ハヽハツ。刑務所が紡績工場に變つちまつちや、引つぱつて行きどころがありませんよ。なら、僕が引つぱらない證據に、握手をしませう。（第四の男と、握手をする。）

第四の男。ハヽハツ。あんまり油がのりすぎてね。

第五の男。かつての勞働運動の鬪士たる氣分が、まだ殘つてゐると見えますね。

第四の男。そうかね。だが、こんどこそ、どなたも完全に失業しましたね。

第五の男。全くですよ。罪人と云ふものが世の中になくちやね。ほんとに僕はね。たとへこんな社會が出現しても、人間に罪と云ふものがなくなるとは夢想だにしませんでしたよ。今更、その頃の自分が、ばか〳〵しくなつて仕樣がありません。

彼。ハヽハツ。そうすると、あなたも隨分、資本家の味方だつたらしいですな。

第五の男。いや、僕だつて、元來は貧乏人なんですよ。最初食ふに困つて、まあ、その當座の生活しのぎに警官になつたんですが、わるい事に、遂ほんとうの警官としての資格を備えてしまいました。いや、むりやりにそうされたんです。資本家の手先にね。元々、警官が好きでやつた譯ぢやなかつたんです。

第四の男。ハヽハツ。あなたは仲々辯解がうまい。

（一同哄笑する。）

彼。おつと、もう六時だ。追つゝけ押しかけるだらう。

第四の男。モーターへ油を注いでおこう。

第五の男。材料倉庫をあけておこう。

彼。あゝ皆が樂しそうに働らいてゐる。何といふ喜ばしい事だ。見るもの聞くものゝ凡てが美くしい。

（第四の男。第五の男入る。折から、あたり騷がしくなる。人々が出動しはじめたのだ。彼は改つて、歩哨の樣に立ち續ける。）

—幕—

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働運動講座

英國の勞働運動（三）

淺野研眞

第五節 政黨運動の勃興

一、社會民主同盟

一八八一年一月に至り、ハインドマン等によつて『民主同盟』なるものが組織された。これは一八八四年に至つて、『社會民主同盟』と改稱した。そしてマルクス主義を以て其の主張となし、以後しばらくの間、英國に於ける勞働階級の政治運動の中心となつた。

此の同盟は、その原理に於いても、また其の活動に於ても、大體に於て、大陸風の、特に獨逸風の社會民主黨の其と同じであつた。しかし、此のマルクス主義的政黨運動は、英國に於てその地盤を作ることが、少くとも其の當時に於ては不得策であつたやうである。即ち社會民主同盟の活躍は相當見るべきものがあつたにも拘らず、選擧に於ける其の投票數は、大なるものではなかつた。

二、社會主義聯盟

一八八五年には此の社會民主同盟よりの脫退者の一團によつて『社會主義聯盟』なるものが組織された。主として、ウイリアム・モーリスが、その運動を代表した。然し此れは長續きをしなかつた。

三、フェビアン協會

フェビアン協會は、一八八四年、即ち社會民主同盟の創立と同年に、組織された。これは進化的社會主義の遂行、並に其を英國の政治に滲透せしむることを以て目的とした。

初め、この協會の會員は甚だ少數ではあつたが、極めて有爲な青年思想家を集めてゐた。即ちバーナード・ショウ、シドニー・ウエッブ、サーシドニー・オリバー、グラハム・ワーラスなどは、其の代表的な人物であつた。

一八八九年、この協會は『フェビアン論文集』を出版した。そして英國社會主義に基礎を與へた。即ちマルクス主義の英國的修正が現はれた。

この協會の運動は、速かに全英國に響いたが、それが概して知識階級の運動であつた爲め、むしロンドン以外の地方では、むしろ後出の獨立勞働黨の方が優勢であつた。

會員の活動方面としては、勞働者クラブに於ける連續講座や多數のトラクトやパンフレットを出版することによる大衆敎育の方面であつた。また實際的進步黨を作つて、一八八九年から一九〇六年まで、ロンドン州會を支配して居た。

フェビアン協會の主張は、自由黨の政見に、また時には保守黨の政策にさへ、多くの響きを與へたと云はれてゐる。今、彼等の取つた態度を見るに次のモットーが良く其を示してゐる。

曰く「丁度よい時が來るのを諸君は待ち給へ、丁度、フェビウスが、ハンニバルと對戰しつゝあつた時、多くの人が彼の遲滯を非難したにも拘らず、非常に心棒強く待つて居たやうに、然し、いざその時が來た時には、諸君は猛烈に攻擊せねばならない。丁度、フェビウスがさうしたやうに。然らざれば、諸君の待つたことは、無益になり、且つ無駄になるだらう。」

即ち、會名のフェビアン協會も、此の古代の英雄フェビウスから取り來られたものである。

一八八七年七月――十月の會議に於て、協會は『フェビアン協會の基礎』なるものを決定した。これはフェビアン主義の要點を闡明してゐるものとして、屢々引用されるものである。即ち次の如くである。

フェビアン協會の基礎

フェビアン協會は、社會主義者から成る。

それ故に、それは土地及び產業資本を個人的並に階級的所有から解放し、以て其等を一般的利益のために社會に歸屬せしむることによる社會改造を目的とする。この方法に於てのみ國土

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の自然的及び既得的利益が全民衆によつて公平に配當され得るのである。

從つて本協會は、土地の私有財産と此に伴ふての地代、土地の使用の許容に對して、並に優秀の土壤及び場所の利便に對して支拂はれる代價の消滅のために働く。

本協會は更に、社會的に都合よく處理することの出來るやうな産業資本の管理を社會に轉移するために働く。と云ふのは、過去に於ける生産手段の獨占に依つて、産業的發明及び資本への剩餘收入の轉化が、主として所有階級を富まし勞働者は今日生活費を稼ぐことの許可のために此の階級に從屬してゐるからである。

若し此等の方法が、代價なくして―剝奪された個人に對し社會に適當なりと思はれる斯る救濟がなくても―行なはれるとすれば、地代と利子とは勞働の報酬に加へられ、今日他人の勞働によつて生活しつゝある怠惰階級は、必然的に消滅し、そして機會の實際的平等が今日の制度の結果してゐるよりも個人的自由に干渉すること遙かに少き經濟力の自發的行動によつて維持されるであらう。

此等の目的を達するために、フエビアン協會は、社會主義思想の普及と、そして其の上に、その結果としての男女に對する平等の市民權の樹立を含んでの社會的及び政治的變化に注意する。それは經濟的、倫理的、及び政治的局面に於ける個人と社會との間に於ける關係に關する知識の一般的普及によつて此等の目的を達することを要求する。

フエビアン協會の事業は、差し當り次の諸形態を取る――

（一）社會主義に關する諸問題の討論のための諸會合。

（二）經濟問題の進んだ調査と、それの說明の寄與する諸事實の蒐集。

（三）社會問題に關する報告書、及び社會主義に關する論證の刊行。

（四）他の協會及び倶樂部に於ける社會主義講演及び討論の奬勵。

（五）社會問題に關する公開會議及び討論に於ける本協會の提議。

以上が、その全文であるが、これによつても、協會の大體の輪廓は、之を知ることが出來るであらう。（カーカツプ「社會主義史」四六六―七頁參照）

青年教員に檄す

希望滿々たるべき青年教育者は何故に意氣消沈して氣概の見るべきものなきか、何故に浮標の如く漂々として不平煩悶に憂愁の眉をひそむるや、兒童に「いろは」を教ゆれば能事畢れりとなし、全力を形式の方面にのみ傾注し、果ては社會より一種の機械視さるゝ所以のものは卽ち自ら招くの罪たらずんばあらず。夫れ教育者たるもの奮起すべし、教育者は社會の不合理を去り、不正を戒め兒童を之れに誘導し、以つて靄々たる樂園を地上に設くべき使命を帶ぶるものなり。世には宗教家なる者あり、改過遷善を說くと雖、其は一部有産階級の利用する所となり、權力と結びて我が貧民の膏血を吸ひ盡さんとする惡鬼たり、宗教を信ぜざれば安全立命の期なし來たり道を聽けと叫べど科學の前に覺醒せる民衆の來たらざるを如何せん、武士道鼓吹者あるも二宮尊德堂あるも儒教者あるも其の化を及ぼす所は何ぞ大海の一滴にも價せんや。快なる哉青年教育者は實に他人の企及すべからざる特典を與へらる、卽ち圓角柔剛意の如くなる兒童を悉く掌中に握れるなり、人生を享け誰か一度小學校の門を潛らざるものありや、偉なり青年教育者は天眞花の如き幼童の尊敬を一身に集むる特典を有す、滿天下の青年教育者たるもの何ぞ汝の使命の大なるを知らざるを得んや。然るに何ぞ、社會改造の大使命を帶ぶる青年教育者は今や昏醉の境に惰眠を貪りつゝあり、吾人不佞なりと雖近代資本主義の罪惡、不正、慘虐、壓制、腐敗を倒し、自由平等、友愛、悅樂の××××××建設の爲に盡さんとして、玆に××××軍の一兵卒たらんとして、玆に傑友數名と語らひ、改造聯盟を設置せんとす。近代社會思想の趨く所に靡かんとする青年教育者諸君!!悄然たる汝の意氣を奮然として××軍の勇士たるの意氣に躍進せしめよ!!再び云はん、吾人は何人も企及し能はざる特典を與へられたるなり、圓角柔剛何れにも傾くを得る兒童を掌中に與へられたるなり、何ぞ青年教員たるもの此の特典を利せずして可ならんや。吾人は全國の青年教員諸君と結んで牢固たる一大團結を結成し××××無産階級の理想××××××××。希くば誠意あり、正邪善惡を知る全國の青年教育者諸君よ!!來りて吾人と步武を共にせよ!!

――白村義一――

四、獨立勞働黨

獨立勞働黨（I・L・P）は一八九三年一月、主として代議士ケーア・ハーディーによつて創立されたものである。これは純然たる社會主義團體であつたが、マルクス主義的ではなく、むしろ勞働組合主義の色彩が、濃厚であつた。

獨立勞働黨の主たる目的は、勞働組合會議（T・U・C）を自由黨から切り離して、勞働階級自體の黨派を作ることにあつた。彼等は主張した――

『勞働者は工場に於ては、自由主義の雇主に向つてストライキをするが、議員の選擧に於ては、其の雇主に投票し、そして彼等をして罷業に干渉する所の法律を制定させたり、運用させたりする事は、馬鹿げたことだ。勞働組合は、經濟的に獨立の活動を續けて、資本家階級と戰つてゐる今日、政治的にも勞働者の獨立の政黨を組織するの必要がある。』

と。而して此の切離し政策は、一八九九年に至つて遂に成就された。

第六節　勞働黨

一、創立と發展

一八九七年及び一八九八年のタッフ・ベール事件は、議會運動の必要を、急に痛感するに至らしめた。かくて一八九九年九月、プリマウスに於て勞働組合大會が開かれた時、『勞働代表委員會』の設立の基礎を据えるべき決議を採擇された。

かくて、一九〇〇年二月に至り『勞働組合會議議會委員會』（T・U・C・P・C）と、前出の三つの社會主義團體によつて召集された大會に於て、勞働黨は、創立さることになつた。そして初めは『勞働代表委員會』（T・R・C）と稱して居た。

此の委員會は盛んに活躍を試み、一九〇〇年十月の總選擧には、十五名の候補者を立て、リチャード・ベル及びケーア・ハーディーの二氏が當選した。

次いで補缺選擧に於て三名が議會に送られ、勞働議員は、一九〇四年に於て五名を算した。

越えて一九〇六年一月の總選擧には、五十名の候補者を立てて戰ひ、二十九名の議員を議會に送つた。この成功に刺激されて、同年二月に開かれた第六回大會に於て、勞働代表委員會は遂に『勞働黨』と改稱するに至つた。

この黨の政策は、常に社會主義の實行にあつた。委員長には最初にハーディーが就任し、二年を經てヘンダーソンが擧げられ、一九一〇年に至つて、バーンズが之に代り、一九一二年には後に内閣を組織するに至つたラムゼー・マクドナルドが擧げられた。

今、勞働黨の最近までの發展を、選擧に於て見るならば、即ち次の如くである。（ハッチソン『勞働政治論』一九二五年刊、一一五頁による）

總選擧の年次	立候補數	當選數	投票數
一九〇〇	一五	二	六二、六九八
一九〇六	五〇	二九	三二三、一九五
一九一〇（一月）	七八	四〇	五〇五、六九〇
一九一〇（十二月）	五六	四二	三七〇、八〇二
一九一八	三六一	五七	二、二四四、九四五
一九二二	四一四	一四二	四、二三六、七三三
一九二三	四二七	一九一	四、三四八、三七九
一九二四	五一四	一五一	五、四八七、六二〇

即ち年と共に、勞働黨が進展し來つたことは、此等の數字が明瞭に物語つてゐる。と云はねばならない。（次號完結）

鈴ヶ森だより

全國の同志諸君に

■吾誌は既に五年の齡を重ねた、此の間發賣禁止を食ふ事、實に二十數回日本に於ける發禁のレコード破りだ。

■今日、無産者を標傍する新聞雜誌は盡く閥や組合の機關紙である、然し吾等は一黨、一閥の如き眼中にない。吾等の味方は全無産大衆のみ。進め社の同人は不偏不黨である。小我を捨て大我なる無産大衆全體の利害の下に身命を獻ぐ。

■全國の同志諸君、吾等と行動を共にせよ。戰線破壞のニセ者を葬れ！（平八郎）

雪中の奮戰

■元旦早朝、都の不景氣風に追はれて來た所は、俺の田舍である北の長野縣だ。寒い懷を抱へて寒い國へ出掛けたのは遊ぶ爲めぢやない。演說會の應援の爲めだ、それは去る一月三日に開かれた本社支局農民社主催の社會問題大演說會だ。俺の外に、淺野氏と松山氏とが一寸遲れて會場へ到着した。

■盛會なる事、未曾有と云ふ。聽衆五百、番犬六十有餘匹を以つて警戒した。癪でならなかつたのは譯も解らない田舍警部に中止を喰つた事だ。一時はムッとしたが、騷いでも詰らないと思つて素直に引込んだが、實際癪だつた。全國の支局及び同志諸君よ！大いに演說會を開かれたい、何日でも飛んで行く。（工藤）

爭ふ者を擊て

■内輪喧嘩の元祖は堺利彥だ、彼は陰險、德川家康の如し、山川均も又彼の惡い所を眞似て居る、彼等の爲め葬られた者は幾百人あるか數へ切れぬ。

■共産黨や評議會には小堺小山川が居て社會運動を離して居るのは周知の事實だ、彼等の日課は流言蜚語製造と離間中傷のみだ、ロシア帝國から金を貰つて晝は社會運動を攪亂し、夜はカフエー廻りばかりして居る。一刀兩斷の價値は充分ある。

■全國の同志よ、こんなドロ幹、ゴマの蠅を擊て！（福田稻夫）

躍進する吾社

■吾々は依然として終始一貫、思想を背景とした嚴正中立の立場にある。徒らに一組合、一政黨を擔ぐものではない。近來、無産階級の諸團體は、各々自らの手前味噌を並べるに汲々としてゐる。吾々は之等のものに對して、眞正マルキシズムの立場から、更らに嚴正なる批判を試みるであらう。

■福田氏は近日中に日刊新聞を發行する。無産階級唯一の日刊新聞として大勢力たらしむべく、目下準備に忙殺されてゐる。近日中に於ける吾が社の大飛躍。乞ふ刮目せよ！（松山）

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

絶えず品質を精選し、價格は低廉に趣味と實用を標語として、常に社會の趨勢に鑑み、時世に適應して改善に改善を加へつゝ、不斷の努力を續けてをります當店は店内の諸施設、店員のサービスに於ても萬全を期し、只管華客各位の御滿足と御愉快を以て直ちに當店の喜びと致して居ます。

地方よりの御註文は通信販賣部宛に願ひます、尚その御手引として御便利なる當店發行の「三越カレンダー」は御申込次第御送付申し上げます。

大阪市
三越呉服店
高麗橋

婦人良藥
喜谷實母散
産前、産後、血の道、冷込、引風、等に特効有
▲全國到る處に販賣す
本舖
東京京橋區中橋大鋸町
喜谷市郎右衛門
電話京橋五五番 五六番

金 銀
白 金
東京市神田區松田町
德力本店

労農總聯合の旗幟
半月刊 日本
労働新聞
一部五錢 一年一圓
東京市芝區新櫻田町一九
日本労働新聞社

左翼文藝思想雜誌
月刊
野獸群
一部二拾錢 送料二錢
東京麴町區麴町九丁目九
野獸群社

二月無產政黨批判號
菊版
解放
定價五拾錢 送價二錢
東京市芝區新櫻田町一九
解放社
電話銀座二〇七七番
振替東京三六九四四番

今村等編輯
半月刊
労民新聞
一部五錢 一ケ月拾錢
長崎市目覺町一八
労民新聞社

中國無產階級言論機關
週刊
中國評論
一部五錢 一ケ月廿錢
呉市外天應
中國評論社

關西労働組合機關誌
月刊
労働大衆
（工場生活改題）
一部五錢 一年五拾錢
大阪市東成區鶴橋木野町二四〇
労働大衆社

明日と云はず
今直ぐに

大同生命
大阪土佐堀

窓硝子
曹達灰
重曹
鹽化石灰
炭酸石灰
炭酸苦土
耐火煉瓦
補助肥料 促肥素

資本金 壹千貳百五拾萬圓
窓硝子年産額 壹百四拾萬凾
曹達灰年産額 壹萬五千噸

旭硝子株式會社

本社……東京市丸之内
工場……尼崎、戸畑、鶴見
出張所……東京、大阪、門司、名古屋、小樽
試驗所……東京

日本勞農黨機關新聞

半月刊
日本勞農新聞

一部五錢
一年一圓

發行所
東京市芝公園五號地四番
日本勞農黨本部

勞農大衆は日勞黨へ集れ！

創刊號
農民

農民は讀め！勞働者も讀め!!!

一部拾五錢
送料二錢

農民解放の戰闘的行動へ突進!!!

發行所
長野縣北安曇郡平村傘木幸壓方
農民社

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
昭和二年二月一日發行
年一月廿八日印刷納本

第五年第二號
毎月一回一日發行

定價 一部十錢（税五厘）半年六十錢 一年一圓（税共）
廣告料 一行一圓 一頁三百圓

發行所 東京市外大井町鈴ヶ森海岸一八九〇 振替東京六九八三 進め社本部
發行編輯兼印刷人 福田狂二 大阪市東淀川區十三南之町 大阪營業所

社會問題パンフレットを備へよ!!

マルクス 哲學の貧困

マルクスの初期の名著『哲學の貧困』の要領よき抄譯。一讀その大要を知悉し得る便利なもの。

定價送料共 一部三十錢

社會文献 何を讀むべきか

社會問題に關する主要な日本の文献を網羅したもので、初心者にも學徒にも極めて必要なもの。

定價送料共 一部三十錢

發行所 東京市外平塚町上蛇窪五三二 社會問題研究會

清新な趣味と實用に綾なす

地方よりの御註文は御手紙にて通信販賣部宛に御願ひ致します

三越呉服店

東京日本橋

内外のあらゆる流行品豊富

森永ミルク

ミルクは撰び方一つです
母乳の代用に保健上の榮養に特に需要品の喜ばれる今日『森永』は當然！森永ミルクに限られてをります

森永製菓株式會社

ユニオンビール

日本麥酒鑛泉株式會社大阪支店
大阪市西區立賣堀

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無産階級戰闘雜誌

進め

福田狂二編輯

第五年 三月 第三號

定價一部拾錢

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

誌代一年分拂込者にマルクス大寫眞を無代で贈呈する

■本號一瞥■

□闘爭原理の把握……卷頭言
□時事論評……同人
□社會行動に於ける二つの方向……本莊可宗
□除名成金……細野三千雄
□借家人運動の本質及び方針確立と組織の完成……布施辰治
□政治運動の二樣相……澤井龍之助
□軍隊は資本家の番犬に非らず……吉田正之

全土戰報

□壓迫の爆發……戸野元
□地主を葬れ……島根英
□革命の第一歩……三木田善太郎
□ドロ幹の惡辣……道田久
□戰ふ吾等……大野信明
□水電と農村疲弊……野原篤之
□必勝を期す爭議……東京中野支局
□新聞不買同盟……加藤一郎
□咄！罪人製造……中山學堂
□田吾作の辨……前田泰夫
□大牟田雜信……大牟田支局
□勞農黨を排せ……矢口生

□一勞働者の人生觀……上田一雄
□税金不納同盟を起せ！……吉田源藏
□日本進化の過現末……工藤勝市
□組合運動の新陣列……皆川利吉
□殖民政策裏面研究……金熙明
□自作農創定と社會主義……神庭仲之介
□英國の勞働運動……淺野研眞
□[illegible] 殺されに行つた娘達……行村義雄

陸離たる光彩を放つ本社出版物

第二十版
マルクス寫眞集
内容
マルクスの生家、マルクス夫人、マルクスの原稿、ルクスの博の免狀、マルクスの署名、マルクスの旅行免狀、ロンドン亡命中のマルクス、ロンドンに於けるマルクスの住宅、資本論執筆時代のマルクス、晩年のマルクス、マルクスの墓の十一枚。四六倍版アート紙、印刷鮮明、極めて美麗。
本社編纂　一部五拾錢　送料四錢

第二十版
社會思想家寫眞集
内容
サンシモン、フーリエ、オーエン、プルードン、マルクス、エンゲルス、ウヰルヘルム・リープクネヒト、カール・リープクネヒト、クロポトキン、ラッサール、レーニン、トロツキーの拾三枚。四六倍版アート紙印刷鮮明、極めて美麗たり、無產階級の永久に記念すべきものである。
本社編纂　一部五拾錢　送料四錢

第拾版
日本勞働運動小史
内容
明治　正をじての日本に於ける勞働者解放運動の全分野に涉つて、細大漏らさず僅か百三十餘頁の内に收めた手頃なパンフレットである。尚ほ卷末に附せられたる統計、文献、年表は用意周到な懵重なものだ。苟も日本プロレタリア運動の史的背景を知らんとする者は必ず一本を備ふべきだ！
淺野研眞述　定價五拾錢　送料四錢

再版
生きる權利と儲ける權利
内容
生け權利だ、人間として生を享けた以上は何人と雖生きる權利がある、然るに資本主義は不等に與へられたる無產階級の權利を剝奪してゐる、本書は不合理なる現制度を解剖して、人間權の奪還を叫び、無產者の進路を示せる絕好の社會主義入門書である、眞理を掴まんとする無產青年は讀め！
吉田源藏著　定價拾錢　送料二錢

再版
農民諸君に與ふ
内容
横暴例ふるにものなき地主の虐殺的搾取に、憤激近く所を知らざる農民諸君！農村の疲弊、田地の荒廢、青年の離村、而して諸君の經濟的窮迫等々の、所謂農村問題に對し、鬱然擡頭せる近代社會思想は何を以つて之を解決せんとするか？農民諸君は挙つて、本書の示す社會主義陣營へ來たれ！
神庭仲之介著　定價拾錢　送料二錢

吾等の主張

一、資本主義制度を解剖して大衆を啓蒙す、

一、社會思想を解說して非搾取の社會を建設す、

一、解放團體の分裂を防止して全無產階級の團結を企圖す、

一、社會運動を鞭韃して戰闘精神を振作す、

一、無產階級の擡頭を妨害するものを討滅す、

第五年■戰闘■進め■雜誌■第三號

闘爭原理の把握

■現下、日本無產階級運動は、組合主義的經濟闘爭より、全面的政治闘爭への飛躍的進展によつて、人類歴史の車輛を急速に回轉しつゝある、されば、日本無產階級當面の闘爭標的は全階級的進軍による、既成政治勢力の倒滅であらねばならぬ。然れども、無產階級の政治闘爭は、其れが解放行程に於ける、一方法論としての役割りを演ずるのみであつて、政治闘爭による既成勢力への肉迫は無產階級の原則的な、最高標的にあらざることは云ふ迄もない。無產階級の原則的な、最高標的は、×××を基調とする眞正マルキシズムによる資本主義の倒壞にあつて、單なる一方法論以上に出ない政治闘爭に、其れが解放の全的要素を繋ぐべくもない。無產階級解放運動の根本基調は終始一貫眞正マルキシズムの上に發展せしめねばならぬ事は、敢えて呶々を要しない所である。

■然るに輓近、日本無產政黨の凡ては無產階級解放の根本基調たるべき、眞正マルキシズムの精神より遠ざからんとせる事實を見る。即ち勞働農民黨はレーニニズムの變態的實踐派であり、社會民衆黨は極右翼リベツ化の危機を胎むものであり、日本勞農黨亦眞正マルキシズム的精神を有するや否やを決定し難い。叙上の如く、無產階級の政黨が、其の原則的根本基調たるべき、眞正マルキシズムの精神より、相隔たることの甚だしきを知る。

■吾等は、×××な眞正マルキシズムを除外して、無產階級の解放はあり得ないと信ずる」從つて、無產階級の政治闘爭も、此の精神の上に展開せしめずして、發展を期する事は不可能であると斷言する。此の精神を、無產階級の政治闘爭上に、如何にして展開せしむべきかゞ今日の吾等に與へられたる、最大の問題であらねばならぬ、無產階級の政治闘爭の基本的精神を眞正マルキシズムの上に發展せしめよ！無產階級の解放に之れを措いて他に、成立すべき何ものもない。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時事評論

同人

普選の脅威

――醜悪を曝露した妥協政治――

今期議會は夙に解散の豫想を以つて、一般民衆は嘱望しつゝあつた折柄、案の定洞ケ峠に形勢觀望しつゝ日和見に吸々たりし政友本黨床次竹次郎は、從來の憲本妥協の精神を裏切り、急潮其の態度を豹變して「朴烈怪寫眞事件」及び「松島僞證事件」を戰爭好餌として、政友會總裁田中義一と提携し、直路、府政倒壞の總攻撃に轉向した。

吾等は右の持説等は全然問題にしなかつたのであるが「議會解散」の結果を招來する手段として暗に此の行動を待つてゐたのだ。ところが、豈圖らんや、議會一月二十一日より二十二日にかけて停會するか、しないかの矢先、突如「三黨首妥協」が成立した。是を目の當りに見せ付けられた國民は振り上げた鐵拳のやり場に困つた樣なものであつた。徹底せる馬鹿らしさに腹も立たないと云ふ事は斯かる場合に始めて妥當である。

吾等は既成ブルジョア政黨の醜惡陰構なる事は今更此處に數々を要しなくとも判かり切つた事ではあるが此の度の「三黨首妥協」程又馬鹿々々しくも鮮かに此のブルジョア議會のからくりを見せて呉れたのも稀である。

然も此の「三黨首妥協」は大臣室の密室内に私議されて成立したものである。憲政會總裁若槻禮次郎は政敵田中義一と次竹次郎のフンダクリ合ひを天下白晝公然と行つてゐる。床次はどちらへも秋波を送り乍ら大臣室に於ける會合によつて所謂「三黨首妥協」が成立したのである。此の會合によつて胎れた所謂「深甚なる考慮」は三黨首のヤケタ頭の中に、色とりどりに映つてゐる事であらう。果して此の「深甚なる考慮」の正體が何ものであるかは蓋し、興味の有する所である。

此の「妥協」に出喰して今更乍ら「國民の選良」であると自惚れつゝある所の「代議士」にも御禮を云はねばならぬ。即ち今回、日本議會の初にして最後?であらう所の、此の密會政治を見せつけられし「議員を戒飭」せんと訓命された所の此の「選良」達は、今や特に議會解散を懼へ乍らも覺悟してゐた矢先、停會即「妥協」と來たものだからホット溜息の洩しと來たものだから涙に咽んだのも強ち無理もないではないか。

此處に遺憾なく、流石ブルジョア選良の代議士共であると、吾々無産大衆は今やハッキリと認識せずには居られない。惟ふに之れ正に、無産大衆の政治行動への驀進に依つて既成ブルジョアジー共が「普選」のドタン場に於ける其の斷末魔の苦悶からでも、偸安を貪らんが爲、齊しく「解散」の爆彈を恐怖して餘りある所の證據であると云はねばならぬ。

農民組合の分裂

――輿論の無視は遂に大衆を失ふ――

共産黨一派の「如何にして闘ひとるべきか」の小兒病的乃至は衒學的左翼進出論に煽動され、勞働農民黨を唯一の階級的政黨と過信せる日本農民組合の幹部等は、彼等の所謂日本勞農大衆を裏切る反動政黨たる日本勞農黨に加盟した淺沼、三宅、須永其他の諸氏を、組合の統制を紊す者との理由の下に之れを除名した。

然しながら、單に日本勞農黨へ加盟したからと云ふ丈では斷じて除名の理由になり得ない。

何故かなれば、山川均氏の口吻ではないが、政治戰線の混亂せる今日如何なる組合にある者と雖、自ら是と信ずる政黨――無産政黨である以上は！――加入するの自由があらねばならぬ。然るに幹部は、同氏等の日勞黨加入を以つて直ちに、組合の統制を紊すものとして、除名するが如きは、少なく共、階級的精神を有するものゝ爲すべからざることでなければならぬ。

惟ふに、彼等の除名理由とする所の「統制を紊す」と云ふのは、表面の理由であつて、除名しなければならない眞の理由は、明かに、日勞黨の有する大衆獲得性を怖れて、將來

に於ける分解の危險を未然に妨がんとする杞憂の現はれに外ならない。

今回の分裂によつて日本農民組合の、數的勢力の著しく減殺されたことは蔽ふべからざる事實である。加ふるに、將來更らに同勞黨へ加盟せんとの意志を有する者の多數あると云ふ事實は、農民組合をして、漸次、崩滅の淵へ導きつゝあるやうなものである。現幹部等は將來に於いても依然勞農黨を支持するであらうが、其れに對して吾等は次の如く斷言する。即ち農民組合は共產黨の餌食――既に今日では爼上に載せられ解剖の第一メスは下されてゐる――となり、遂には農民大衆の信頼を失ふに至るであらう事を。

全國の農民諸君！諸君は共產黨の爼上に載せられたる日本農民組合を救へ！農民組合を大衆の手に奪還せよ！

最後に、現幹部等は、淺沼氏等を除名するに當つて、同氏等を、農民組合の攪亂者又は大衆を裏切る反動主義者日勞黨幹部と云ふが如き極端なる罵言を以つて攻撃してゐるがそれは寧ろ、汝自身に與へらるべき代名詞であることを知るべきである。

大學教授と政治

――坊ちやん教授の醜態――

資本主義の下に於ては、凡ては資本家の手中にあるのだ。たとへ、其れが教育機關であらうと、今更ら何等驚くべき事實ではない。然るに何事だ、此のあひだの大山事件は！

大山氏の如きは、全く吾々はお坊ちやん教授だと云ひたい。深窓に育つた先生さまが、ごこまで世の濁波を横切ることが出來るかは見物だ。

大學教授が、その象牙の塔の中から政治批判をする時には、時には仲々味なことを云ふものだ。然し彼が一度び街頭に立つた時は、もう一度イロハから初める覺悟が必要だ。

大山、安部、北澤などの諸氏は共に早大教授にして、共々色彩は異にするも、いはゆる無產政黨の指導的地位にゐる連中だ。大山氏が未練さを殘して追はれたことは、賣名には可なり役立つたかも知れぬが、片腹いたいことだ。次に安部氏はその狸翁父式な老巧さを以て、片足をかけて、講師としての地位を保留して置くと云ふ。それも良からう。そうして見ると、大學はいざと云ふときのかくれ場所でもあるらしい。

然し北澤氏に至つてはどうだ。學校の理事者に對して、伺ひ書を出して、農民黨ならば共れにも及ばずとの、お宣託をいただいたと云ふではないか。はらわた迄もリベツ化し、走狗化したる北澤氏の如きは、今後は社會問題を論ずる資格をさへ疑はれねばならぬ。

氏には殉教者態度は、もはや、全然之を見ることが出來なくはないか、吾々は走狗は之をたほさねばならぬ！

銀行の合同化

――金融資本の集積――

資本主義の末路は、資本主義自身の内にある。資本主義の發展段階は金融資本主義を伴ひ來つてゐる。現代日本の資本主義は、今や此の路を一心に走りつゝあると云つて良い。

最近の新聞紙の報ずる所によれば第一銀行と東海銀行は合同をした。大藏省では震災手形の整理に關連して、二流、三流どころの銀行を整理し合同する方針をとりつゝある。これなどは露骨な資本主義的政策の然らしむるところであるが、然し事態如何ともすることは出來ないのだ。

小企業は次第に大企業に併呑されて行くより外に仕方が無いのだ。これ資本主義の特性であり、資本主義凋落の必然性である。

尚は政府は本議會に震災手形兩法律案を提出してゐるが、これも大體議會通過確實となつてゐるので、大藏省は震災手形補償令の滿期たる本年九月末日を滿たずして、大體二流三流銀行の整理合同を實現すべく最近關係者に其々意向を傳ふるところがあつたと云ふ。而して其の具體的方法は、まづ各銀行個別に對し、適當と認むる條件をもつて其他の一流銀行に併合せしむるにある。かくて九月以前には、殆ど二三流銀行の整理合同が完結せられるであらうと。

吾々は此のことを、單にブルジョアジーのことと他所見してゐてはならない。斯る企業集中の實現と、金融資本の擡頭政治の進展とは、そが軈て猛烈なる資本の攻勢を準備するものであるからだ。最近に至つては日本のブルジョアも、所謂「資本家武裝論」を提唱し初めて居るではないか！

吾々は常にブルジョアジーの動靜を觀察し、此に對抗するの戰術を用ひねばならぬ。日本の資本主義は、今や國際的に金融資本主義時代を進みつゝあることは、全く事實となつてゐる。備へよ、同志諸君！

× ×

× ×

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

社會行動に於ける二つの方向

本莊可宗

一

社會運動に於て、根底的な差異を持つてゐながら表面は同じやうな主張を掲げて行動する二群がある。

一方は勞働者の生活に解放せしめ向上せしめて、共働共産の社會を作りあげやうと意圖する一群であつて他方は現在の社會組織そのものに對する否認を發點として實動する一群である。共に資本家的財産—資本が利益を中心として動いて居り、生産手段が一般人の手にあることを否認して行動してゐるのではあるが、その根本的態度に至つてはかなりの相違を以て動いてゐるのである。

ここに或る社會運動家がゐる。彼は斯ういふことを言つてゐる。「資本の増殖が若し勞働力の搾取のみに依るものならば勞働者は永久に天日を見ることは出來ないだろう。「中略」併し幸にも私は資本は生産設備の改良と整頓とから生ずるものであることを深く主張仕様とする者である—そして彼は「主人の居ない」社會を組織しやうと宣傳する。消費者組合の資本増殖の理法をし例へば、英國のロチデール町の消費者の共働組織運動なぞを引例して—說明し主張する。一大政治組織を結成して各人がその社會組織の細胞になるやうなことは、前門の虎を避けて後門の狼に身をやるやうなものだといふ。彼は「政治は如何なる意味に於ても支配だから反對であるといふ

二

他方の社會行動者は、之れとは益々別な條件に立つ。第一に、前者のいふ資本の増殖は勞働力の搾取以外に、あるないと思ふとは大間違ひである生産設備の改良と整頓とによつて(勞働力の搾取なしに)資本が増殖出來るなぞといふのは、資本家側の常套的な僞瞞的議論であつて、眞の資本増殖と勞働者解放は、たゞ組織の變更によつてのみ可能であると信ずる、である。之れなしには如何なる生産設備の改良を整頓も無駄である。たゞ資本家的搾取の冠面を變えて、新しい僞瞞の下に、永久に勞働者をして束縛の下に置くものであると考へるのである。何よりも勞働者は新しい組織を實欲せねばならぬ。たゞ眼前の甘い餌(多くの改良案や協調策)にかゝつて—それは右の肩に負はされた重荷を左の肩に轉ずる位のところに留まる術策である。之れに乘つてはならない。現在の組織そのものが永久に勞働者を搾取するやうに出來てゐるのだから、と斯く論ずる。そして「政治は支配であると言つたところが、勞働者に善き支配ならば擧手せねばならない。抑も組織(社會)といふものそのものが何等かの意味で強制である從て支配であるのだから、之を否認するならば人間は社會を否認せねばならない。各人が細胞でないやうな組合か社會が何處にある?「——そして勞働階級の政治的出動を根本的企圖とする。見よ、ロチデールの消費組合だつて、遂にスタンダード石油會社のトラスト組織と覇を爭ふ大資本主義組織ではないかデモクラシイの米國の帝國主義化と同じことである。フオード會社は内部で社會主義政策るやるのと同じである。消費組合主義とは言はゞ資本主義的社會主義とでも稱すべきものに過ぎない。吾々は企業が資本が絶對に必要であることは知る者であるが、その爲めには資本主義的經營が必要であることを認める者ではない。消費組合的團結とは。資本主義的經營を、集團的に(之れまでのは個人的であつたか)やつてゆくといふだけである。それでは本質が資本主義的意識から脱却するのではない。社會主義的意識に到達したのではない。所詮資本主義的形式は變らない、たゞ内容を變へただけである。それでは、國家社會主義否國家資本主義の少さいもの、小さい任意團結の組合資本主義に留まるものではないか!勞働者を解放するものは、そして全人類の世界を形成するものは、「人類歴史の前史」を葬るものは、消費組合的運動ではなく、人類愛や人道主義の倫理でもなく、社會正義や社會連帶の觀念でもなく、全く別な一角、階級意識の發生と、政治的行動への進展と新組織への目的意識とである

三

私は二群の社會行動者の見地を隙間見た。そのいづれを取るかは諸君の注意である。

現在、地方の農民は、心中本當に政黨なぞに關しては無關心であつて、たゞ立法禁止の撤廢とか耕作權の確立とかを與へてくれるならば何の政黨でも宜いといふ有樣である。即ち政治的自覺にまで未だ生産してゐない。現在の政治組織では彼等の生活の眞個の打開、は百年河清を待つやうなものであるとの(現在組織内の)絶望に來てゐない。それを自覺してゐない。都會勞働者でも爾うである。目前の飯が食へるか如何かの問題の方が緊急である。その點で經濟的利益を中心にして活動してゐる消費組合、または賃金問題を主にして闘結する勞働組合、の運動の方が有力である。然しそれはたゞ現狀である。勞働階級運動の最後の行動目標がそこに留まるといふ義ではない。

「除名成金」

細野三千雄

昨年十二月初旬日本勞働總同盟は麻生藤岡望月加藤石山其他計十二名の幹部を除名し、二ケ月を距てて今年二月初旬日本農民組合は淺沼三宅須永行政吉田其他計十二名の幹部を敢然除名した。共にその理由とする處は統制を紊亂すると云ふに在るが、その規約を無視した擧であること、組合の大分裂を結果したことは兩者共に同じである。異なる處は被除名者が前者總同盟に於ては、極左系共產黨と呼ばれ、後者農民組合に於ては、極右反動ダラ幹と貶せられたことだけである。惟ふに此れ等の批評は夫々その立場にあるものとして蓋し當然の言ひ分ではあらうが、これを彼等の所謂極左共產分子と極藥反動分子との水火二分子が何等の思想的矛盾不統一なくして日本勞農黨に渾然統合されてゐる儼然たる事實の前に照らす時、それは最早批評ではなくして單なる得手勝手な自己辯護の爲めの妄言であるに過ぎない事が判るのである。私は然し彼等總同盟の老衰病者の老ひの繰り言や、彼等農民組合の小兒病者の鼻たれ小僧のにくまれ口にも比すべき惡口雜言を一々取り上げてゐる暇はない。

總て多衆が集團を構成せる場合、其構成員の行動がその團體の規制を紊す時、これに臨むに「除名」といふ制裁を以てする事は多くの團體に見る所である。誠に或る團體員の行動がその團體の名譽を毀損するとか、その團體の面を汚損するとか、その團體の利益を阻害損傷するとか、云ふ樣な場合には必要なる當然の制裁方法であらう。即ちその被除名者の我執の行動と、その他の大多數の團體員の意思行動との間に、截然たる差異あるに至つた場合に、これを外部的に、形式的に宣示する方法である。從つて、除名の行はるるには既に内部的に實質的に少數者の我執の行動が大多數の組合員の意思行動と明白に相背反せし事を必要な前提條件とする。これなくして行はるる處の除名は形式的に、又對外的には「除名」の名を冠するとも、實質的には、内部的には、一部少數の我執者を大衆より隔離する所の眞の除名ではなくして、大衆と大衆とを眞二つに絶縁せしむる「分裂」であると云はねばならぬ。

日本勞働總同盟は麻生望月以下十二名の幹部を除名するに際し此等一部の異端者を組合大衆より隔離する爲めと稱し、日本農民組合も須永三宅其他十二人を除名するに際し少數の此等反動幹部を農民大衆より排擊するが爲めに企てられたと云ふ。もし此等十數氏の意思行動が組合大衆の意思行動と背反せりとするならば、その除名は正に名實相伴ふものと云ふことが出來るであらう。然るに日本勞働總同盟は除名によつてその大半の組合員を失ふことを予知し、又日本農民組合は「量に於て減少するであらう」昭和二年二月四日除名理由書）これこれ又豫定してゐるのである。即ち此等被除名者十數氏の意思行動が組合大衆の夫れと背反する處か、反つて組合大衆の支持を得つつある事を除名者自身が誰よりも先づ判然と自覺認識してゐた事である。即ち此の除名たる、形式的に（除名）の假面を冠するも、その實、少數の被除名者を組合大衆から隔離することを得ず、反つて實質的には組合の（分裂）を策したものと云ふことが出來るのである。かくして先づ第一段に於て實質的にこの除名は不當である。

今回の除名が實質上不當なる事前述の如くであるが、然らば形式上何等缺くる所がなかつたといひ得るであらうか。否々

麻生望月氏等の日本勞農黨計畫の發表さるゝや、總同盟關東同盟は急遽幹部會を開催して日勞黨關係者中の總同盟中央委員二三氏に對しその中央委員たることを解任し、尚後任中央委員を選任したと云ふ。而して總同盟規約によれば中央委員の選任解任は總同盟年次大會にのみ委ねられた事項であり、一關東同盟には何等の權限がないと聞いてゐる。麻生望月氏等の除名はかゝる變則な中央委員會によつて決定されたものである。

日本農民組合中央常任委員會は、組合大會を目捷の前に控へながら、三宅須永氏等を規約第三十六條によつて除名した。然るに規約同條によれば除名は大會又は中央委員會にのみ任せられてゐる。除名の權限なき常任委員會が三宅須永等を規約第三十六條によつて除名したといふ通告は結局意味をなさない無效のものとなるのである。

尤も緊急の場合臨機に勝手な處置をとり得るであらうが變則は變則である。そしてかかる變則手版を執らねばならなかつたところに除名者側の狼狽さ加減もうかがはれるのである。組合の規約は組合の憲法であり組合大衆の意思によつて定められたものである此規約にして無視されんか、その組合は最早民主的立憲的自治は失はれ。少數幹部の偏執的獨裁が跋扈することとなり、其組合は其少數者に（乘つ取られた）と云はねばならぬ。今回の除名は斯くして形式的にも違法であつたのである。

日本農民組合のなしたる除名は尚其除名理由の中に―それは、彼等の一たび口を開けば、（今や世界の資本主義は……）と云つた樣な例の文調で書かれたものではあるが

——除名者と被除名者とは運動方針が根本的に異なれることを掲げてゐる。そして被除名者側の運動方針は大衆の自然成長性追に從するが故に不可なりと云ふのである。思ふに總同盟のしたる除名も日本農民組合のなしたる除名もその根本的理由は運動方針の差異あるによるのであつて、此眞相を躊躇なく公表した點に於て日本農民組合の方が、かの眞相を糊塗して單に泥の投げ付けに終始してゐる總同盟の除名理由の發表ぶりよりも男らしくもあり、正直でもあり、それだけ若くもある。然し除名手續が實質的にも形式的にも不當なること上述の如くであつて、然かもかかる情勢に在つて除名といふが如き一の懲戒手段をとつた事は、他を傷付けることによつて自から非を蔽はんとする奸策の現はれであることは兩者相同じきものである。だが大衆は何日までも此奸策の前に盲目ではない。大衆は反つて除名者側少數幹部の非を見破り猛然立つて此等少數專制者を排撃するの擧に出づるのである。

他を傷付けんために投げた槍は反つて自己の頭上に落下するのである。形式的に除名した者は反つて實質的には大衆から除名されるといふ結果に歸着するのである。近來獨り總同盟と云はず農民組合と云はず、隨處に天に向つて唾する此種の「除名」の頻々として行はるるを見、且彼等除名者側少數の幹部の得々たる現狀と、やがて大衆に遺棄さるであらう結末の醜係さを想ふて此れを比照する時宛かも成金の道樂息子が得意の絶頂より失意のドン底に落魄して其の短かき人生を終る悲劇一卷物のキネマを見るが如く、一掬同情の涙を注ぐと共に彼等少數獨裁幹部によつて死期を早められた日本の代表的勞農大團體の短かくも華かなりしその生涯を記念するため、その死后の墓誌銘として(除名成金)の名を掲げして此稿を終らう。

×　×　×　×　×

獄中隨筆

蔦生

今日も金さんはなぐられたのだ、

金さんは泣いてゐた、先刻も金さんは、土工部屋の隅でしみゞと話したつけ、

「朝鮮人は、何故にくいかな——、」

俺は金さんのもらした言葉が今も思ひ出されてならぬ、

「朝鮮人は何故にくひのかな」

此の一言を俺は何度くりかへしたことであらう、

仕事のやり方が悪いと云つてあの監督からなぐられたのは金さんだけではない俺ばかりでもなかつた、

然し同じなぐられるにしてもなぐられる金さんの心には其がどんな意味に解釋されたであらう、

資本家共が鮮人と云へば不逞鮮人のやうに解釋するが其程まで彼等の恐れる鮮人の思想を惡化せしめたのは誰の罪だらうか、

俺はあの純眞な若い金さんが鬼のやうな非道な監督になぐられる度毎に、恐るべき暗い結果を豫想せずにはゐられなかつた、

金さんは良い人だ、俺は金さんなる人格を通じて、朝鮮人なる人を思ふ時一種のなつかしささへ感じる、然るに其の純なるべき金さんさへ、心の中は既に恐しい復讐心にみたされてゐるのだ、今日も金さんはあの監督と奴のあとを、つるばしをもつて追はうとした、其をからくもおれいとめたのだ、

あの鬼のやうな監督を俺は彼を何度さし殺してやらうと思つたことだらう、勿論——俺は其の次に當然俺にせまつてくる革命をも覺悟したことさへあつた、

然し俺は毛頭くらひ影を恐れたことはなかつた、否むしろ俺は喜んだのだ、何故ならば、俺は用するに長短の如何によらず俺の人生なるものを有意義にさへ費し得れば、其で俺の、現實に於ける、義務は、はたし得らるゝわけだ、

俺が此の現實から葬り去らるゝとしても其のあとに生れ出てらるるものは俺達よわき者の一歩進んだ幸福ではないか

然らば小さき俺一人の代償として得らるゝものは多人數の喜ではないか、

不平にみちて犬共に頭をさげてゐて其處に何の俺等の人生の意義があるか自己の自由を無視して横暴なる奴等に服從するとは其は恥ずべきものだ其で平々として人生を終るとも其で我々の人生は有意義に送り得たとは云へない、

●

然し俺達の本能として、俺達は食はなければならぬ、食ふ爲には彼等犬にも頭をさげなければならぬのだ、何と云ふ弱い俺等だらう、然し俺達はあくまで弱くはないのだ

●

水道工事で掘さけられた穴を前にして、夜業は特別急しかつた金さんは何かの失策で又も文句を云はれた、

日曾不平にみちてゐる金さんは默してはゐなかつた、

口論は戰はされた、

然し金さんは、到底老獪な彼鬼監督の敵ではなかつた、

「馬鹿野郎」、彼は、たちまち金さんを、地にたたきつけた、

「朝鮮人のくせに生意氣だ」、彼は動きも得ない金さんを見下して、あざけつた、

(四谷にて)

借家人運動の本質及　方針確立と組織の完成

布施辰治

□無産階級解放運動を政治的經濟的の日常闘爭に進出すべき借家人運動は、消費經濟方面の資本主義的搾取に抗爭する無産階級借家人に依りて、其の陣容を構成しなければならない、正々堂々たる解放運動戦線の團體だと信んじます

□左様した思想信念の下に私の大正九年以來主唱提撕した東京中心の借家人運動は、今や、漸く、我國全無産階級運動の一潮流を形成し、昨年夏以來、私の處に全國各地に無産階級借家人運動の團體結成と聯絡統一を交渉相談して來る向きの甚だ多い事は、斯ふした借家人運動の主唱提撕を私に決意せしめた老社會主義者にして借家人運動の先行の闘士たりし亡き大阪の逸見直造君に感謝しなければなります

□尚ほ、私は此の頃或る人から既に三十年の昔老社會主義者片山潜氏は亡き逸見君よりも早く借家人運動に手を染めた事があると云ふ話を聞きました。

私は、敢へて片山氏が三十年の昔、左様した見解で借家人運動に手を染めた事があるからと云ふ譯では無く、亦、其の事を初めから知つて居たのでも無く、私は我國無産階級解放運動戦線として、深く心に痛感する所ある借家人運動に就て、大正九年以來主唱提撕の努力を献身して居るのであります。

□一般無産階級借家人大衆の理解を辨じ易いように、左に事例を擧げて、私の進展更生を努力せんとする借家人運動は、消費經濟方面の資本主義的搾取に抗爭する借家人運動の必要を説述し、無産階級解放運動戦線の正々堂々たる無産階級借家人團體を結成しなければ爲らない所以を解説します。

生産經濟方面の資本主義的掠奪に抗爭する無産階級解放運動としての勞働運動で、賃銀値上げの勞働爭議に成功し一日二圓の日給が二圓五十錢と爲り六十圓の月給が七十五圓に爲つても、消費經濟の方面で、勞働賃銀が高くなつた丈け物價が高くなり、之まで六十圓の月收で一杯一杯の生活をして居た勞働者が、食ふ物も着る物も、住む家も從來通りで、些かの改善も向上も見ず、依然の生活に月收七十五圓を右から左へ消費しなければならないと云ふ事でしたら、六十圓の月收を、生産經濟方面の資本主義的掠奪に抗爭して改善せられた七十五圓の月收は、只だ徒らに勞働者の懐中を通過する丈けで、世俗に云ふ、網の目の勞働運動だと云ふ事に爲りませう。

□以上の簡單な設例の解説を味つて見た丈けでも、無産階級解放運動は、畢り、生産經濟方面の勞働組合ばかりで無く、消費經濟方面の資本主義的搾取に抗爭する借家人運動の重大任務を有する無産階級借家人團體の陣營と結成しなければ爲らない必要のある事は、何人でも理解すると、同時に、之を承諾して與れるでせう

□其處で、私は、無産階級の實際生活中、其の消費經濟方面に於て、資本主義的搾取を受くる最大の消費は何であるかと云ふとそれは家賃であります當局其の他で調査した勞働者の生活費中收入の一割五分乃至四割を固定消費するものは家賃であります。然かも、其の家賃を資本主義的經濟關係の生産消費兩方面から解剖して見ると、こんな不合理な生産方面からの掠奪も無ければ、消費方面から見た搾取もありません。

□茲に、一個の事實的設例を借りて來ます、私の最近接濟した事件で、間口四間、奥行五間半、瓦葺二階家一棟、階下二十二坪、階上十八坪合計四十坪の家屋建築を請負ふた大工さんの請負時代が、坪六十圓の二千四百圓でした。然るに建築完成早々賣買せられた家屋時價は三千八百圓でした、故に、此の建築請負代金と、賣買時價とは差額千四百圓は其の家屋を建築生産した大工等勞働者の勞力を、生産經濟の分配に於て掠奪したものだと云ふて良いでせう。

□處が、其の家屋を賃貸するに當つての消費經濟方面に於ける搾取がどうなつて居るかと云ふに、三千八百圓で買ひ取つた家屋を借家人に賃貸した借家條件は、權利金が二千圓で、敷金が五百圓です、もうこれ丈けで三千八百圓を投資した元金の過半が回收せられて來た回收の元金投資は僅かに一千三百圓だけしか殘つて居りません、然るに、其の家賃は實に驚くべく、坪三圓五十錢當りの月百四十圓で年に積算すると一千六百八十圓でした、私から言はせれば、搾取せらるゝ借家人も借家人ですが、搾取せらるゝ借家人は其の家賃の生産價格も、賣買價格も知らずに搾取せられるのだから仕方がないとした、一切の事情經過を知り盡して居ながら之を搾取した家主の貪婪我慾は眞に憎むべき消費經濟方面に於ける無産階級借

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家人からの資本主義的搾取であります。

□

何故なら、此の家屋を借り受けて居住商賣する家屋の價格は、前來解說した生産方面から見て二千四百圓丈けのものであります、從つて、之を借家居住する無産階級借家人は夫れに相當した丈けの家賃を拂ふのが消費經濟方面から見た家賃の限度でなければ爲りません、にも拘らず、家屋の建築者は、既に其の賣買で高價な商品として一千四百圓を不當に利得し、更らに其の賣得者たる家主は前當な取引で投資せられた買取代金の過半の權利金敷金の名目で回收した上に、未回收の投資一千三百圓に對して一年一千六百八十圓と云ふ家賃を取り上げるようとする事は、餘りに非道い搾取だからであります。そして、前當高價な其の家賃は無産階級借家人の日日夜夜孜々營々の勞作に收入した血と汗との結晶だと云ふ事を考へたら、資本主義的經濟下に苦しむ無産階級は、生産經濟方面に於ては其の大部分を掠奪せられて尠く分配せられ、消費經濟の方面では尠なく、分配せられたものの大部分を搾取せられて多く消費せしめらるゝ事に爲るのであります

□

斯ふした私共無産階級の實際生活上消費經濟方面の資本主義的搾取に抗爭する借家人運動か無産階級解放運動の重大任務を有する事は何人も理解し、且つ承認せらるゝ所であると同時に、無産階級借家人團體を結成して、正々堂々の陣容を解放運動の戰線に進出すべきものである事も亦、何人も之を理解し、且つ之を承認するでせう。

然かも、左樣した借家人運動は、何故に今日迄容易に起らなかつたか、起つても、ほんとうの無産階級解放運動の一陣容として容易に認められなかつたかと、云ふに、其處には重大な一つの原因があつた事を見逃しても不可なければ、又、之を押し隱すべきものでもないと信じます。

□

私はほんとうに、正直に過去前後六年間に於ける借家人運動其のまゝの事實と感慨とを告白します。夫れは、理論上や本質上から考察した借家人運動が如何に正々堂々たる無産階級解放運動の一陣容を結成すべきものであつても。其の運動指標は爭議と名付くるよりも、事件と名付くる方が相應はしい。個々の家主對借家人間に折衝する個々の借家爭議を以て大部分の內容として居ります

從つて、借家人運動に參加するものの概容外見は、運動者だか、事件屋だかを疑議せられますと、同時に、內部的に云ふても、亦、事件屋に墮落する危險が餘りに多くあり過ぎます。

斯ふした概略外見の事件屋疑議と、內部的事件屋墮落の危險は何人と云へども餘り好んで近寄り度くない借家人運動だつたのであります。

□

之れ蓋し、借家人運動は、既に、疾く、正々堂々たる無産階級解放運動の一陣容を結成すべきものであり乍ら、容易に何人も之を結定せず、亦之に健鬪せざりし所以でせうが

しかし乍ら、概容外見或種の疑議と內容的に見た墮落の危險を愼戒しなければならないものは、無産階級解放運動のとの陣容にも鬪爭にもあると信んじます。

之れ私共が、假令、どのように概容外見の疑議と內部的墮落の危險を戒愼すべきものにらせよ、消費經濟方面の資本主義的搾取に抗爭する、無産階級解放運動としての陣容を結成しなければ、必要を愼思信念して、戒愼と省とに依ら及はずながらの微力を、借家人運動に獻身して來た所以であります。

處が、矢張り何人が見ても特に解放運動精神弛緩の危險味を大いに戒愼しなければならない、借家人運動に參加するものの中には、餘程運動精神の堅實確固たるものでも、動もすれば、眞の運動精神を弛緩して、純然たる事件屋に爲つて仕舞ふ恐れがあります、況んや、運動精神の餘りに堅固ならずして、一時の生活の爲めや一時の人氣のためのみに來り投じたものに至つては素より沙汰の限りであります

□

玆で、私は、借家人運動方針確立の爲めに、簡單にでも事件屋とは何ぞや！と云ふ事を解說して置きますが、無產階級借家人の借家爭議は現に其の搾取に泣く者は勿論、假りに相當の費用を負擔し得る借家人であつても、前に解說した通り、資本主義的の掠奪と搾取とに苦しめられて居るのであるから、苟くも、運動精神の銳敏な解放運動者の借家人の運動としては、成るべく左樣した借家人の費用負擔を重からしめないようにして借家爭議個々の鬪爭に努力して全無產階級借家人の福祉を推展するのが當然であります

然るに、事件屋と云ふのは借家爭議其のものゝ鬪爭解決よりも、相當に費用を負擔し得る借家人は勿論、どんなに悲慘な借家人であらうか、金の工夫調達し得る限りはイクラでも多くの費用を負擔させて金の取れる限り、イクラでも多くの手數報酬などを取り上げようとして居るものを指すのであります

□

尙、念の爲めに一言斷つて置きますが、と云ふて、私は眞の借家人運動者は借家人が自ら進んで苦しくなくとも出した金をも取つて不可ないと云ふのではありません、亦、眞に理解ある寄附の意味で出した金を取つてはならないと云ふ潔癖を強ふるものでもありません、自ら進んで少とも苦しくなく借家人の出した金や、眞に理解ある寄附の意味で出された金は之を取つても構はないと思ひます。

□

　が、しかし乍ら、假令、借家人の自ら進んで、少しく苦しくなし出した金を、眞に理解ある寄附の意味で出した金を取つたのでも、其の取つた金に就て、之は自分の手腕に感謝して出した金だから自分が使ふに何の仔細があるものか？ と云ふて、飲んだり、遊んだりする事は、眞の借家人運動者の斷じて爲す可からざる戒愼の禁忌であります。

□

　何故なら、金を取る點に無理が無くとも、其の取つた金を解放運動の進展に役立たせないで、自分の爲めに飲んだり、遊んだりするものは、眞の借家人運動精神を弛緩した一種の事件屋だからであります。

□

　ですから、眞の借家人運動者として、眞の清純を保有しようとするには、なるべく金を取らずに、個々、借家爭議の闘爭に努力して、全無産階級借家人の爲に働く事を心掛けなければなりません、特に借家爭議本來の特質としては借家爭議に苦しむ全借家人の爲めに、イクラ澤山の金を取り得た好解決と喜んでも、それは、決して家屋の懐から出るのでは無くして後の借家人の懐から搾取せらるゝ事になる場合が多い——例へば、甲前借家人の借家爭議に就て、一ケ月の立退料を取つて解決した家屋を、乙後人が借入れる時には必ず千五百圓の權利金を取られることに爲るのだから——先づ食はずには働けず、自由に活動するには、飛んで歩かなければならない、と云ふ限度の生活費と、運動費以上の費用を取らない方針を以て、家主から立退料を取る事より以上に、全無産階級借家人に有利有効な闘爭の好解決を期さなければならないものです。

　が、それでも、墮落し易いものは借家人運動です、個々の家主と、個々借家人の借家爭議を解決する所の折衝は、事實上の事件屋的なものですから、自然、運動精神が事件屋に墮落し掛けるのも致方のない事でせう、と云ふて、全無産階級解放運動の消費經濟方面から、資本主義的搾取に抗爭する、無産階級借家人の團體を組織して、正々堂々の一陣容と進出すべき借家人運動を拋棄閑却すべきもので無い事は言ふまでもありません。

□

　其處に、私の愼思した、借家人運動新陳容の構成は眞の大衆的自治運動として、此の運動に參加する者の運動精神と弛緩墮落する危險の無い方針の確立であります。

　極めて簡單に其の理由から解說しますが、之迄の借家人運動に、運動精神と弛緩させる頽落の危險が多かつたのは、借家人自身が借家爭議の解決に自任自治しないで、他人に依頼したから起つたのであります、故に、私は、今後の借家人運動を顧問本位も其の運動方針と解決方法とを指示して爭議干係し借家人の自任自治本位にして行き度いと思ふ、斯樣する事に依りて消費經濟方面の資本主義的搾取に抗爭する借家爭議を、大衆的自治運動に進出せしむる階級闘爭の運動方針を確立したい、と同時に借家爭議當事者のみで闘爭解決を自任自治し得ないものは、同番地、同丁目、同町內、同區內と云ふ順序に組織せられた委員の大衆的自治運動とする組織を完成して、所謂、事件屋的爭議解決擔當の專門家を作らない樣に、且つ、之に頼らない樣にしたいと思ふ。

□

　でも、尙ほ且つ、借家爭議の闘爭解決を自任自治し得ない借家人があつて、どうしても借家爭議解決の交涉を引き受けても良いと云ふ借家人運動者に依頼しようと云ふ事であり、又、之を引き受けようとする借家人運動者があつたら、夫れは、眞の自治的大衆の運動方針を確立して居る借家人運動とは異つた別個獨立の組織として措く事にしたい、そして、其の方の組織、借家人運動者が幸に、堅實強固に運動に依りて、其の精神を操守弛緩頽落せず、最も、嚴肅眞摯に正々堂々と進出し得れば、夫れに越した慶事は無く、亦假りに不幸其の方の借家人運動者が萬一の運動精神を弛緩墮落するやうな事があつても、眞の自治大衆的借家人運動は斷じて眞の運動精神を弛緩落せず正々堂々と無産階級解放運動の戰線を進出する事は出來ると信じます。

□

　依つて、私は、此處に從來の借家爭議事件を本位に置いた、借家人同盟を以上解說した趣意の借家人運動に更生進展せしめる爲めに、私は、從來の借家人同盟とは今後一切つ同人關係を斷絕して、消費經濟方面の資本主義的搾取を抗爭する借家人運動を主唱提撕した、私の責任を完ふする事に可能の全力を傾盡します。

□

　最後に、辯護士としての私は、今後の借家人運動に對して如何なる態度を執るかを一言して置きます。

　私は、現に辯護士として、隨分數多き民刑事件を日本全國の內地は勿論、遠く朝鮮臺灣の法廷に取扱つて居りますが、事件の依頼に依りて、自ら其の取扱態度に、二種の峻

社告

吾が『進め』は、大正十二年創刊以來、既に五年の齡を重ねた。無產階級雜誌にして五年の歷史を有するものゝ多くあるを見ない。依つて吾が社は、大號の四月號を第五周年記念號として、頁數を倍の六十四頁にし、堂々たる雄姿を以つて諸君に見えんとする。全國の同志諸君は、論文、創作、詩歌、全土戰報等の闘爭意識に燃ゆる、活氣潑溂たる原稿を投ぜよ。締切日、三月八日。

別を誤らない。即ち、其の一に、無産階級解放運動の途上の民刑事件として、飽迄闘争しなければ爲らないものは、無産階級解放運動の闘争として、現行の法律が之を認めなくとも、亦、現在の裁判が之を許さなくとも、社會的正義を強調する階級闘争の爲に之を取扱ひ、そして、不合理の法律を糺彈する、と同時に、不當な現在の裁判を彈劾する法廷に最も勇敢な闘争を期して居るのであります。が、借家人運動同種の法廷事件に就ては、今後も、亦、私の活動の許す限り、同様の態度を執つて之を取扱ひ度いと思ふて居ります、其の二は、直接無産階級解放運動途上の闘争に干係の遠い民刑法廷事件をどうしても、依頼したいと云ふものの取扱は、現行の法律で之を認め、且つ、現在の裁判でも之を許すと確信する事件のみに限り、辯護士として之を取扱ふことを從前よりもハッキリする事にします。

□

但し、此の際特に聲明して置きますが、私か、現に一方辯護士として、時に、直接無産階級解放運動に干係の遠い法廷民刑事件を取扱ふのは甚だ心苦しとする所ではありますけれども、私が、本来の使命の解放運動戦線の參加に任ずる態度は、断じて之を誤らず如何に現行の法律が之を認め且つ、現在の裁判が之を許すと確信した事件でも、有産者から無産者に係る弱い者苛め事件は、絶對に之を取扱ひません、殊に小作争議に就ては小作人の地主と抗争する事件借家争議に就ては、借家人の家主と抗争する事件は素より之を取扱ひますが、地主から小作人に係る事件や、家主から借家人に係る事件は、決して、是を取扱はない、解放運動戦線の闘卒を任ずる階級闘争の使命を厳守して、解放運動の戦線を法廷に張る辯護士の使命を期して居るのであります、故に、私か、直接無産階級解放運動途上の闘争に干係の遠い民刑法廷事件を取扱ふからと云ふても、断じて、解放運動戦線參加の闘争厳守を誤らない事は從來の通りであります。

□

以上、借家人運動の本質と運動方針の確立及組織の完成とに就て、一般無産階級借家人の自覚と奮起とを切望して茲に本論を結びます。(二、八記)

> 借地、借家問題に關する戦術、又は法律等を知らんとするものに對し、本論の筆者布施氏は懇切に應答して下さる筈である。横暴なる家主に苦しめられつゝある諸君は、手紙で、東京市四谷區荒木町八番地借家人同盟本部布施辰治氏宛に照會されん事を望む。—(編輯子)—

闘争

村山富美雄

闘争—
闘争—
闘争—
オ、—天空の動亂
黄金の光は「自由」への放射
—流雲—朝
—赤道に公訴する獄囚は
すばらしい速さで太陽を嚙る
今日迄—俺達の肉體は
暗闇の中に閉されてゐた
—水門
ひからびた涙の舞踏
血の湖流は俄かに躍動だ
友達よ—
雙手を擧けて高らかに叫べ
虚憧山の噴火が足許に展開すれば
—塵埃に宇宙に飛沫—絶滅だ
季節の縊死體—
腸をつんざく喇叭の唸り
大道にかぢり付くハンマ勞働者
スピリット農民は
果しなき〱原野街路に
連撃
連撃
連撃
目的地に急ぐ—實現—理想—永遠—永遠—
荷車に滿載されて爆彈
オ、—輪車にからまる—
文明
廻轉
廻轉—
廻轉—
刹那—螺旋風と一緒に
地底に喰ひ入る既成文明
矛盾を唱へる人道主義中風患者
落陽に吼える叛逆大臣
理想歡喜に醉ふプロ大衆は
金字塔を打ち壞す
彈から彈へ
苦痛と忍從滿載の三等列車
亂風—
亂風—
亂風—に揚ぐる黒旗
吐き出す—黒煙—マスト
の頂上
一齊に叫ぶ—
汽笛—
汽笛—
オ、—出航前の暗號機—
暗—闘
暗—闘
暗—闘
脱線—顛覆
坐礁—破壞
悲叫—
悲叫—
悲叫—悲涙
動亂—
動亂—
動亂—又—黒風
オ、—地球は煮え
沸る—
沸る—
闘争—
闘争—
闘争—

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

軍隊は資本家の番犬に非らず

吉田正之

軍隊は國家を守護する任務の爲めに設けられて居る。則ち國家全體の利福安寧を守護する爲めに存在するである。故に一個人たる資本家の利益を擁護する爲めに動かさるゝ事は斷じてない筈である。然るに彼の米騷動以後一富豪を守らんが爲め、軍隊を出動した事が數囘ある。勞働者が資本家の搾取に反抗して罷業に出でし時、內務大臣の命令に依つて軍隊は鎭壓に出動しなければならぬ、最近軍隊內に於て軍隊は富豪を護る番犬に非らずと主張する者がある。又陸軍大學學生間に於ても、命令權、統率權等に就いて議論か起つて居る。社會運動者からは「軍人などは古い頭の持主で資本家の犬だ」と云ふ者があるが老將官はいざ知らず、佐官以下の者は軍隊と國家の關係、軍隊と社會組織・社會改造に於ける軍隊の任務等の事を研究しつゝある、昨年長野市の暴動に於て、×××此の聯隊長なぞは軍隊の任務をよく知つて居るものと謂はねばならぬ。彼こそ眞に國家を守護する軍人の典型である。命令なら何でも服從するものなら肩章と指揮刀を携帶する土偶である。眞に國家の前途考へる近代的軍人でない。たゞ俸給や勲章を目當に軍人となつた月給取に過ぎない。斯ふ云ふ者が居るから軍人が世間から輕侮されるのである。かくの如き軍人は機密費を胡魔化して政友會を買ひ取る人である、一大杉を殺して國家の爲めに働いたと信じて居る馬鹿者である。世の中の動きを知らない憐むべき人である。前者に到しては言語同斷で、正に公盜である。かくの如き徒輩は吾々軍人が徹底的制裁を加へなければならぬ此種の人でまだ〳〵多數ある何れ是等の犯罪が暴露されるであらう。

吾等は正義の士であらねばならぬ。國家の爲め生命を捨てゝ顧みぬ。昔から武士は金錢を卑しみこれを度外した。今の大將連は頭だけチョン髷的だが精神は町人ブルヂョア的金錢家である。近代の軍人で正義觀念のあつたのは乃木大將位なものであらう。彼は中將の時其上官野心家桂大將と衝突して豫備となつたのだ彼は正義そのものゝ樣な偉人であつた故に後世の吾人をして敬慕せしめる。

軍隊は國家社會の安寧秩序を維持する者である。故に軍人は國家の柱石である（本來軍人許りでなく、主として勞働者が國家の生存を司つて居るが、治安維持上最も大な任務に就いてゐるから敢て自任する）國家の安泰は軍人が握つて居る。故に軍人は國家の先驅者であらねばならぬ。幕末の武士は德川を倒した。國家改革の爲め身を鴻毛の輕きに比しこれを行敢して維新の革命を成就した。

明治になつてから上官の命令に是非を問はず服從しなければならぬ、政治に關係してはならぬと當局者は規定して居るのは將官連が其位置を維持する爲めである。これが爲め田中義一の公盜事件も公に批判する事が出來なかつた。將來軍人は不正に與みしない樣になり、上官の行動を批判する事が出來、又選擧權が行使出來る樣になるであらう。

或る人が今の軍人は正義を知らぬ人道を知らぬ、道理を知らぬと冷笑された、私は憤とした、そして、其の夜靜か考へた、實は其當時私は士官學務を出た計りであつて震災の際は人民を壓迫する任務に就いて居つて人民は吾々軍人が控へて居ると思ふ位な幼稚な考へで丁度幕府時代の侍の如ふな氣分であつたが私は此人の冷笑されるのも又止むを得ないと思つた、其後大杉事件、龜戸虐殺事件等が軍人間に問題となるや、靑年將校は寄ると必ず此問題に付て議論をする、又昨秋起つた機密費問題は吾々に極度の憤慨を起させた、則ち軍隊社會の支配階級たる大將連は勝手な事をすると、保守的なものは軍隊の名譽の爲め軍人精神上由々しき問題であると憤慨し、急進的なものは軍政改革を叫び軍隊組織の根本的改選を主張し、更らに軍人は如何にして國家社會に奉仕する事が出來るかと頭を、惱まじ最後の結論に到着したのである、其結論とは何ぞ則ち軍人は正義に殉ずる事である。

吾等はかう考へ而してこれに向つて進まんとして居る、正義とは、何ぞ最大數の最大幸福である。

私は最近の軍隊內に於ける思想の動きを多少の例を擧げて說明する事を知つて居たが頭迷なる上官の爲め、其人が馘首されるのを避ける。

思想は縛する事は出ない。軍服で包むでも精神は反つて諸君より自由である。軍裝の爲め欝勃たる思想が包まれて世間から反つて注目されぬ。それ故他以上に自由である。

吾等は日常の練兵や行軍中獨り將來を想ふて微笑する。

吾等少壯軍人の間には貴社は注目されて居る。囑目されて居る事を茲に斷片的に禿筆を弄し貴社の健鬪を祈ると共に附記して居きます

政治運動の二樣相

澤井龍之助

一

政治は力である。是は一般人の常識の樣だ、政治家は「政治は權力である」とも云つて居る。然し乍ら何れにしても政治と、云ふものが一個の力の具體的發現である事は否み難き事實である。

力と云ふものは是れを個人の個有的單純な力と見るを得べきであらう此の個人的單純な力に數に依據して一個の組織的集團的な力の具現化を見た時、それは單なる個人的個有性の單純な力を脫出して此處に外部を威嚇し征服する物理力の脅威を生ぜしむるに至る事は古來の歷史を繰つて見るも宛然たる所である。

古代の群生活に據つて見るも、一個の氏族が他の種族を脅威し、此の集團體の力の凝集したる物理力に據つて其の中にも最も偉力ある種族が他の群小種族を征服し、而して一つの國家を發生せしめた事は征服國家說に據る迄もなく吾等の信ずる所でなければならぬ。

政治と云ふ事實が只單なる（國を治める（政を行ふと）云ふ至極、民衆を欺き安い名詞の裏面には其の（政を行ふ）何者かの意志と欲望の存在する事を見逃す譯には行かない。即ち、政治を行ふ、所の支配階級に何等かの思惑がなければならないのである。

國家と云ふ名稱は表面上は美々しく聞えるが其の實內容を解剖して見ると、其れは一つの階級が即ち、支配階級が他の階級を搾取する機關に外ならないと云ふ說がある。然らば、國家機能の具體的表現とする所の政治と云ふ事實は此の支配階級の意慾を忠實に果す所の施設以外の何者でもないと云ふ事になる。

此の前提―若しくは命題の下に吾等は現代の資本主義的諸政治を科學の顯微鏡を通じて分析して見やうではないか。

二

個人の力が單なる其一個人の力である場合に於ては人を壓し脅威せしめ、又は征服する事は至難である從つて其處に何等問題は生じない。即ち、單なる個人對個人の喧嘩に過ぎないのだ。吾等は斯麼事には大して關心する必要を見ない、然し、是れが或る一つの集團を爲した場合、此の力の凝結は懼るべき結果を招來する豫想に打たれなければならぬ。

徳川時代の江戸に於ては、時の權力的集團たる旗本と云ふ直參があつた

是れは、徳川家康麾下に於て常に千軍萬馬を主君と共に身命を、倶にしたと云ふ所から、將軍からも重任され、我儘も許されてゐた所のものである。而も祿ではあるが、位階に於ては群小大名よりも遙かに、重い所の彼等は、大名いじめに憚らず、無法に、町人共へも其の魔手を延し、剰さへ酒と女と喧嘩の三拍子を以つて江戸八百八里を横行闊歩したものである。

此の暴狀に奮起した所のものは他ではない。諸君も知らるゝ所の（江戸の華）町奴、即ち俠客でなければならなかつた。是れは時の制度に於ける最下層の階級ではあつたが、旗本の亂暴狼藉に堪忍袋の尾を剪つて猛然、起つたものである。

而して、町奴なる一つの集團的力は旗本の暴狀に對抗する町民の自衞武器又は反抗機關として町人階級からも始めの中は歡迎されて居た樣てあつた而して、此の力の働きが、擴大するに連れて、旗本對町奴の鬪爭は勢を增大せしむるに充分であつた彼等の謂ふ弱きを扶け強きを挫く）合言葉は是れを代に持つて來るも敢て其の內容的價値には何等變化は

福本和夫は社會主義者か

兒玉生

福本和夫、彗星の如く現れ、共産黨評議會の內部を攪亂し、先輩山川均を陥れ、學佐野を葬り、幾多の同志を壓倒し遂に共産黨系の總ゆる團體を乘取つた。而して如何に流言を放ち、無産團體を鬪ひ取るべきかを、泥・一派に統合しつゝある。彼福本の如きは、共産黨の傳統的泥幹精神の結成、傑作的人物である。彼の「如何にして鬪ひとるべきか」は戰鬪的スローガンであるが、レーニンの種本によるのであつて、彼は一昨年獨逸に留學し、獨逸の反動主義者の論說を、社ヵ主義學說へ應用し、十人斬りの賞讃を試みて巧に評議會系の無智なダラ幹を煽動したに過ぎない。吾等が彼の所論を點檢すれば實に多くの笑ふべき誤謬を發見する。公孫龍子の白馬非馬論法を以つて僭越にも多年苦鬪せる社ヵ運動家を攻擊して居る事は、吾等の夙に喝破する所であるが、彼の愚論に惑はされて居る學生や勞働者の多い事は、諺にある盲千人と云ふべきである。

私は彼れの論文は、桑田熊三の明治三十四五年頃の著書と同樣であることを發見する。彼の文章は小學生にも劣りて居る。文法などは少しも知らない、恰も法律家の論文の如く、而して論旨全く不徹底である。たゞ低腦兒がこれを讀むと、複雜なるが如く見えるから驚愕して、其の意味を把握するに惑ふ。故に福本の議

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

無い筈だ。

さればと云つて現代に於ける侠客？と自稱する所の、國粹會なんかを持つて來られては甚だ迷惑千萬である。彼等は弱きを扶け強きを挫く、所のものではなく、時の支配階級に阿諛迎合する所の、强きを扶け、弱きを挫く、蒟蒻魂の恐客とでも云ふのであらう。

「個」が重なつて凝集した場台それは恰度十本の矢を一本宛折る時には易々たるものであつたのが數本を重ねる時には不可能になるが如く、町人たる時には意氣地無しの彼等も團結して起つた時には最大の權力的集團たる所の旗本を向ふに廻して勝負をする事も出來る樣になるものだ。而して是れが一個の社會的必然に據つて動く時、其の力は侮るべからざる權力を獲得するに至るであらう。即ち、伊太利に於けるファーシスト一派に徴して見るも、高々二萬そこ〳〵の烏合の衆を蒐めて而もあれだけの政治革命を斷行したではないか。

　此處に於て、吾等は政治運動の具體的表現として、力の慾望に基づく集團力に眼を向けなければならない。

三

　現代の資本主義的經濟組織下に於ける議會政治なるものが果して、眞の民衆政治の代議政體であるか。何うか、議會政治下に於ける權力は何れの國を見ても總て是れ資本家階級の獨裁的地位に置かれて居る

即ち是れを我國に於て見るも、我國程、歴々然とブルジョアジー共が議會制度の下に事實上、文字通りの權力を獨裁して居る國は一寸珍らしいと云わねばならぬ。而して「普通選擧」なる法案が漸く昨年の議會を通過したばかりであるに徴しても如何に我國が民衆に對して政治の解放を恐怖して居る事が推察出來るものである。

　彼等の政治のやり、くり、を觀る時、如何に矛盾に矛盾を重ね、權謀術數に日も是れ足らぬと云ふ悲慘なる滑稽事を見せつけられて居ることか。」「普通選擧」と「治安維持法」の同時制定及び「小法案」制定前に於ける「小作調停法」又「勞働組合法案」制定の掛聲姦すしい先より「勞働爭議調停法」の制定等に、彼等の爲す事、總て是れ矛盾と反噬以外の何者でもあり得ないではないか。

　是れを以つて是を觀るも、現在のブルジョア議會政治なるものが、如何に大衆の意志を無視し反デモクラチックであるや、事が知れるのである。

　吾等は今や、普通選擧に於ける選擧權を與へられては居るもの丶果して、是れのみに據つて吾等の理想が達せられるか何うか。

　如何に吾等が、議會に多數の代表者を送る共、亦假令、絕對多數に據つて議會を左右され得たとしても、果して、[illegible]るか何うかは大いに疑問無からざる所である。

　吾々の政治運動が只單なる議會運動若しくは大衆の何十萬分の一かを算する所の代議士運動であるとするならば社會主義政治は愚か、英國に於ける自由主義的政策の焦點迄をも踏み得るか何うかも疑問としなければならない。

此處に於て、吾等は曰ふ、政治運動はそれが、唯議會運動否代議士運動のみであつてはならない。即ち、吾々は個々に於ける力の慾望を主體とする所の（集團の力）に其の關心を置かなければならないのである、と。

　翻つて顧みるに、今や現在の勞働組合間に於ける政治運動なるものは只管政黨問題のみに其の關心を奪われて居る樣である。吾等は其れが無用であるとは云わない。然し乍らそれにのみ行動する事は、徒らに、政權の幽靈を掴むに急にして肝心の大處それ自身を忘れ去る危險性を生む原因とはなりはせぬか。

　試みに思へ。彼の英國勞働黨及獨逸、佛蘭西、伊太利等の勞働黨の從來迄の過程と推移、及現在の狀態を。

　吾々は政治運動が（眞の力の實際として認識され得る時に吾々の××は意外に早く速進しないであらうか。即ちそれは政治運動ではない。社會的必然の勢力に順應して赫々の熱慾と何物をも破壞せずには置かぬ所の迫撃力を有する[illegible]の「集團の力」に據つて吾々は資本主義の牙城を突き破らねばならない。

解不徹底なるを深遠なる思想と迷信するに過ぎない。

　私は嘗つて、評議會の集會を傍聽した所一勞働者曰く「其れは辯證法的でない」と云ふ。一座の者皆之れに和す。彼等は辯證法の何物たるを知らず、辯證法を一つの思想と思つて居る輩である。私は之を見て苦笑した。彼等は自己に解し難きを尊び、自己の知れるものは眞理なるも之れを悟らない。

　如斯人達の間に、彼の難解、荒唐な思論が流行したのも無理はない。未だ資本論を讀まざるもマルキストと稱する評議會の幹部の、福本に最大の敬意を表する、又知るべき而已。斯くの如き徒輩が社會運動に從ふのは、最も危險性の多量なるを恐れざるべからず。吾等は此の自稱マルキストの左右是非論議を探つたく思ふ。福本も未だ資本論を讀んでゐない。其れは彼の言說中に明かに知る事が出來る。私は彼和夫が果して社會主義者なるや否やを疑ふ。何となれば、彼が日本の社會運動を攪亂した結果が辯證法的結論に到着する、彼の正體、抑々何者ぞや、吾人は暫く彼を見やう。

　端なくも彼は二月上旬、婦女誘拐の犯罪によつて檢擧された。都下の新聞は肉の巡禮と稱し、彼が四人の妻を代へ、二十六人の女に肉の洗禮を與へた事を報じた。彼れの迷信者はブル新聞の惡宣傳と辯護するかも知れないが此の一事は如何に小便法を弄しても、社會運動を冒瀆した事と斷定せねばならぬ。彼れ和夫果して大衆を指導する社會主義者か、將又、如何にして女を闘ひとるべきかの島清の徒か、敢て評議會員の鬪士に問ふ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

一勞働者の人生觀

上田一雄

私は曾つてある哲學者から次のやうなことを聞かされた

「勞働者階級を指導するものは理論や科學ではなく、崇高なる人格者である。而して彼れの一言一句は、眞に勞働者階級を指導し得るのである。此處には最早や理窟はない。唯だ宗敎的信仰があるばかりだ。」

と。尙ほ彼れは指導者の實例を內外古今に亘り、右の論法を以つて、豐富な言葉を竝べた。

我等勞働者は常に、あいまいな言葉を其のまゝ偉大とか崇高とか言つて、奉つておくことは絕對にゆるし得ないのだ。

指導者と言ふ考へを、もう一歩ハッキリと我等の解放の爲めの、我等自からの理論と運動の中に、重大なる參考書の役割を演じて居る我等同志が決して我等同志をはなれて我等の指導者はないのだ、と頭裡にキザミ込んでおくのだ。

我等は、我等の現實生活が生んだ我等自からの理論を基礎とした運動に於てこそ、共々に手を握つて我等自からの解放の步を力強く續け得るのだ。

此のやうに、全てのことを最後まで冷やゝかなメスに掛けねばやまない我等を見る時、彼等は、次の如く常に言ふのだ。

『それでは諸君の人生は實に乾き切つたうるおいのない生涯ではないか。人間はそうしたことのみに依つて、滿足の出來得るものではない、必ず宗敎的信仰に因つてこそ滿されるのではないか』

彼等が常に我等に强要する宗敎は、如何なるものか考へて見る。

私は、佛敎とかキリスト敎とか、又多數の種類や分派のある宗敎の眞髓を批判するのでない。そんなことは、死んだ子供の年をかぞへるに似たことであるからだ。只だ現在社會における此れ等の宗敎が如何なる組織の上に置かれ、如何なる機能をもち、而して如何なる結果を生みつゝあるかに付いてだ。

酷使と、疲勞と、寒さと、病氣に不具に加ふるに若死によりなき、社會的經濟的弱者の位置にある我等勞働者の、其の弱點を付け込んで、あきらめ主義な未來觀を極度に吹き込み、有りもしない極樂淨土の麗かさを想像せしめるのだ。そして如何にも天來の言葉であるが如く、

『汝等が現世において神に使へる道は、唯だ忍從と報恩の念だ不平不滿を言ふな、全ての喜び悲しみ共に感激して受げよ、其れは神が汝等を愛するがゆえに天國へ導く爲の試練なのだ』

と。全てに渴望しておる勞働者をして美しき言葉に醉はしむるのだ。

◇

生產と分配の公平に行れておる社會にあつては、不平不滿も大したこともなく、美しき報恩の念も共々に幸福なことであるのだが、搾取階級のブルヂョアーと、大多數の被搾取階級のプロレタリヤとより構成されて居る現代社會に於ては、益々勞働者をして奴隷化せしめプロレタリヤ文化の建設もついに夢想となるのだ。そして永久にブルヂョアー階級の搾取は保證せられ、彼等にとつて非常な好都合となるのだ。

其れは決して、彼ブルヂョアー階級にとつては、偶然の幸福ではなかつたのだ。

常に彼等は、寺院や敎會の黑幕となつて、彼等の不勞利得を增進せしめるやうな機能を行こなわしめており、すでに完全なる資本家の走狗となつておるのだ。

ブルヂョアー經濟組織の上に建設された今日のあらゆる宗敎は、其の當初より美しき自由主義の名により、資本主義產業を發展せしむべき使命を帶て居たのだ。

だから最早今日、寺院や敎會其れ自體がすでに完全な勞働者の血を吸ひ、肉を喰らう周旋屋であり、營利會社であり、純然たる搾取階級なのだ。下ッ端の宗敎屋は此のやうな事を意識して居ないだらうが、猿智惠の廻る最高幹部の坊主共の意識しておる事は、ブルヂョアー新聞の三面記事でさへ報じて居るのだ。やがて我等正義の戰が來るのだ。其時先づ第一戰の血祭に彼等を上げるのだ。

◇

釋迦やキリストの敎へは斷じて其のやうなものではなかつたと、彼等は云うであらうが、其んなことは百も承知して居る。今日となつては其の敎理が眞であり、善であり、美であればある程、我等にとつては危險なのだ。

それはどうしてか、其の眞善美が深ければ深い程、純眞な勞働者の引込れる率が大いからだ。

何時の時代でも寺院とか敎會は、其の時代の權力階級の意志を代表して來たことは、歷史的事實である以上、現在ブルヂョアー社會に保護を受けて居る敎會や寺院は、引込まれて來る勞働者の弱身を、ブルヂョアー道德に神佛の假面を蔽せて、ブルヂョアー道德を植付けるのである。

だから、すでに寺院とか敎會とか其の他今日國家に依つてゆるされて居る宗敎は、我等勞働者にとつては灼熱の地獄なのだ。

我々勞働者は、我等の現實生活の中より、我等の人生觀を生み出した。其れは我等の宗敎からも知れたいが、今や醜いすがたとなつた宗敎と言ふ言葉は、純眞な我等の生活の

中には用ひられないのである

◇先づ現實の我等の進むべき問題は、プロレタリヤ文化建設への歩みである。其處に向ふ時、我等の人生觀は光りを放つておる。其處に進むのが我等の全生涯なのだ。

彼等に云わしむれば、餘りにも限られたる生涯であらうが、我等勞働者は、無限の美しく見ゆる空想よりも、我々にとつて極て重大な此の一つの實現を愛するのだ。其れはやがて、すべての理想の實現の第一步であるにおいておやである。

最後に吾々は聲高々と、かう云ふであらう。唯だ我等勞働者の人生觀を基礎とした科學が、理論が、運動がキリストも釋迦も空想のみで出來なかつた天國が、極樂が。來世でなく此の地上に、然も磐石の上に建設されることは、社會進化の歷史的必然であると

（完）

◇ ◇ ◇

[illegible]

（一）

[illegible]

（二）

[illegible]

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

[illegible]

既成政黨を倒せ

春田勝彥

今や資本主義政治は吾々プロレタリアと全然相敵視する樣になつた、ブルジョア政治屋によつて提出される議案のすべてが吾々プロレタリアに取つて最も不利にして又壓迫的で、搾取的である。「壁に向つて強く投げられたゴムマリは必らず或強さを持つてはねかへる」と同意義に於いて、ブルジョア政治家によつて露骨になつたゴムマリ式政治が何時迄も民衆を欺瞞し搾取する事は到底不可能な事となつた。然るに飽く迄も挑戰せんとするが如きは、反つて吾々プロレタリアの反抗心を激昂させ、遂には憂ふべき一大事をも惹起するに至るであらう。

吾々は既成政治の醜陋にして、今日のプロレタリアの斷じて信頼すべきものにあらざることを、今回の妥協政治にまざ／＼と見せ付けられた。

彼の憲政會が、野黨側が政府不信任案を提出せば、斷乎解散を以つて、彼等の不信任案を蹴散らして了ふと云ふことを宣言して、野黨側を暗に威嚇して居た。此れに對する野黨は、眞向より、朴烈問題を引提げ、松島事件を振り翳して、一擧、政府不信任、憲政會彈劾を叫んで、政權の爭奪をあせつてゐた。然るに政界の雲行き、愈々急を告げんとする時、果然、若槻、田中、床次の三黨首の數回の會合によつて、遂に威嚇もなく不信任もなく、彈劾もなき所謂三派妥協と云ふ、既成ブルジョア政治家の本音を遺憾なき迄、露骨に表はした。

妥協の成立する迄、解散は必然だと信じてゐた國民こそ誠に、鮮かな背負投げを喰はされた樣なものである。

斯くの如く、既成ブル政治家の手中にある、墮落政治は到底、國民の要求する樣な正しい政治を行ふ事は出來ない吾々は此のブルジョアの政治勢力を速かに倒さねばならぬ

日本進化の過現末(二)

工藤勝市

四　資本主義時代

大政奉還と共に武士階級は崩解した。そして浮浪無產者が益々其の數を增して行つた。從來手工業を營める者の中の手腕者は、其增加せる無產者や農奴を使驅して、自己の利益を計つた。之れと同時に狡猾な商人は其手腕を發揮して浮浪無產者を集め、從來の蓄財を資本として自ら幼稚ながらも物品の集團的生產を始めた。そして彼等は段々分業的に働かす事によつて以上の利益を得るやうになつた。此所謂手腕家こそ現代ブルジョアーの卵である此當時から一般の手工業者は漸次其の生產手段を失つてそして、單なる勞働力の賣手と化して行くのであつた。

大政奉還直後の日本は所謂貴族、華族階級と無產階級とに區分する事が出來る。公卿や諸大名は華族階級に、武士農、工商人は無產階級に、分割出來やう。然れども、此無產階級はたゞ單に名目のみにして、其實は社會の支配者たるべき多くの卵が潛在して居た。當時の商工業の所謂手腕家こそ現今の資本主義制度の建設者である。此卵が完全に成長する迄には多くの悲慘な掠奪が行はれた。そして此建設者こそ其掠奪者である。今なほ其掠奪は高等な手段方法によつて繼續されて居る。而して此に多くの慘事を殘した掠奪時代は、我日本歷史上に大書すべき、專制的國家組織から立憲民主國家組織への一大社會變革である。所謂明治維新である、此暗闘中に西洋の文明は押氣なく流れて來た。黑船の襲來は如何に我祖先等を驚愕せしめた事だらう、間もなく西洋の文明は鎖國の日本へ侵入した。科學の進步につれて種々な機械、發明されて居た。そして新大陸も多く發見され、又日本の航路迄が開始されて居た。眠れる日本も異常なる新環境によつて、益々社會的小變革が行はれた。そして從來の小さな商業資本は次第に工業資本と變化して行つた。今迄の小規模な生產は急激なる需用と相俟つて增々大規模なる生產の方法へと進んだ。此れ皆機械の發明によるものである。此時こそ所謂日本に於ける產業革命であつた、此產業革命に於ける工業資本の所有者こそ一切の生產の支配者となり、惹いては社會全體の支配者となつた、益々科學が進步するにつれてより一層巧妙緻密な機械が發明されたと同時に生產の支配者は增加した。所謂ブルジョアーの絕大の勢力を得る所となつた。然し一方榮ゆると同時に他方には無產者の群が日に日に膨脹して行つた。そして此に支配する者と支配される者の兩者が生じた。支配者とは小數にして搾取者である。被支配者は多數にして被搾取者である。そして此搾取者は總ての生產機關の所有者であり、被搾取者は非所有者である。斯くして此に全く利害相反する二つの階級が生じた所謂小數のブルジョア階級と多數のプロレタリヤ階級である。而して此二階級の間には嚴密なる意味に於て所謂中產階級なるものが必然的に存在して居る。そして此階級は農民(小作人にあらず、自作農なり)や俸給取を含むものである。然れども其利害關係は同じく、直接間接の被搾取者である斯くして、此に利害相反する二つの階級が互に闘爭する現社會と推移されて來たのである。一方よりは多く搾取せんとするに反し、他方は生くべくこれと闘ふのである。

先に產業革命によつて小數ブルジョアー階級は社會の權力及び從來の幕府に代つて政治上の權力を自己の手中に獲得した。其結果、現代に於けるすべてのものが其制度を以つて最も自然的な永遠的なものであるかの樣に感ずるに至つたのである、然れども此確立された資本主義制度は果して永遠不滅の制度であらうかすべての生產は營利を目的とし、社會的必要の有無を問はず、萬人の幸、不幸を顧みず其正、不正を論ぜず、飽く迄我慾の滿足に供して居る。實に現今の社會は商品賣買の社會である。生產は我等の應ずる生產でなく、たゞ單に買賣を目標とする生產となつた。今や全無產階級は自己の勞働力(肉體的、精神的)を商品としてブルジョアーに賣るより外に生活方法がなくなつたのである。生存權は奪取されて終つたのである。

而して前時代の手工業に於ては生產者(勞働者)は其生產機械の一部を、自己の生產に必要なる程度に於て所有して居た。(例へば道具、原料勞力等)然し現今の如く大工場に於て、大規模な機械により、生產を營む樣になつては到底自己の生產に必要なるものなりとも所有する事は不可能である。たゞ賃傭勞働者となつて自己の勞働力を賣る事を餘儀なくされたのである。然るに此勞働者は常に自己の生活に必要以上に勞力を費してある一定の剩餘を生產して居る。此剩餘の總計こそブルジョアーの娛樂費、生活費、奢侈費等に充たされてる。即ち現在社會に於いては組織的搾取が行はれてるのである。

さて以上の如き現今の社會制度、果して永遠に持續せられるであらうか、それとも一定の時期に於て變革されるであらうか此問題は紙面の都合上次號に讓る。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

組合運動の新陳列

菅川利吉

最近勞働運動の全線的展開進出等政黨派の政治運動に對立もしくは平行して經濟戰線に於ける勞働運動の全線的進展が除たつて目立つて來た。こと、勞働總聯合の結成はこの經濟的全線的進出を明確に彩つて居る問題であるのだ。全勞農總聯を結成せよ！、これは久しく全無産階級の標語であつてあらゆる無産團によつて幾度も提唱され、不斷これが、實現に對しての努力が拂はれつゝあつた。まことにそれは資本階級への痛激を要求する無産大衆の貧窮なる叫であつて更らに支配階級への脅威であることは言ふまでもない。しかも大正十一年の組合總聯合運動が決裂して以來、純眞なる階級的運動は内部に於いて一部の策士に依る跳梁のためにしば〳〵その要望は阻止せられつゝあつたそこには組合帝國主義の上に起つて己れ自らの殼を守る一部で人々の躍動を多分にふくむで居た時はめぐる。

無産政黨樹立の問題は依然その時を得て擡頭し來た。階級戰の鬪士達はこの方面にこそ單一政黨の戰線を結ばせんとし狂奔が試みられた。論陣は等しく單一階級的を異口同音に大衆の上に強論する。兎も角も無産政黨は生まれた。が直ぐそれは禁止解散の運命に落ちて第二次の政黨も亦幾多の紛鬪重疊する策を[illegible]めて多くの團體があひついで脫退した。無産政黨に於ける單一運動の夢はかくして跡かたもなく消へ失せて各々の主張へと支裂したのである。危機は再び無産階級の政治的陣營にもおそい來つた。且つては勞働階級の經濟的戰線に於いて、その、實現を期待され乍ら組合總聯合の運動が分裂した如くいま無産政治の戰線は單一階級的の會議か鳴り物入りで吹奏されたにもかゝはらず、遂に四裂するの除儀なきに當面し、勞働者の前には日和見主義者と言ひ、左翼小兒病者と呼ぶ、其他樣々な惡罵の喧較たる聲が殘されたのみであつた。然し乍らこの如き勞働階級の陣營の裡にある左右兩翼の觀[illegible]鬪は必ずしも一方が秀でゝ居る理由を、認め得ないのみならず、極端に蟠居する組合帝國主義者等が互に對立して大衆の熱烈なる要求を阻止する有樣を結果したのみである。しかも今日に於ける日本資本主義の諸狀勢は世界を一貫する資本家階級の攻勢と同じく近時著しく意識的にか資本家階級は共同の戰線を支持して一般勞働者に對し積極的な對策を起つて進んで來た。我々は是れを「賃金の低下」「一時間の延長」「各種偽瞞政策」「暴壓法令の出現」等々の事實につよて觀破する。そしてそのことは勞働階級の陣營が當然に積極的な進展へと進出すべき情勢にまで當面する。こゝに勞働組合の運動は必然的に經濟的戰線を結成しての飛躍を絶對に必要として展開する。單一階級的なる政黨派の標語が一たまりもなく多くの權謀策動の殘骸を曝露して四分裂したる今日の情勢は更らに經濟

ハガキ回答

最近の感想

■ 本可莊宗氏

一、日本の現實狀勢を觀察する程度、從つて、無産政黨、三つに分れたのは止むを得ません。日本はまだ自由主義に毛の生えた位の所と見るか。或は無産階級意識を自覺させて共同一致[illegible]ればならぬと見るか、この間を取つて進むべしと見るか、要するに現實の認識と可能の信仰との差です。

一、日勞黨、勞農黨との提携を望みます。民衆黨は既成黨の中の進步的代議士達の集りと同じだと考へてゐます。

■ 江口渙氏

日本の無産政黨（特に秘密結社日本共産黨を中に入れます）のどれかが議會主義によると、又は革命主義に依るとその手段の如何にかゝはらず、若し一度權力を把握した時、平生主張してゐる、インタナショナリズムの徹底のために、臺灣、朝鮮、樺太、關東州等の殖民地を無條件でそれぞれの民族の手へかへすでせうか。それとも自分達が權力を握つた時には平生、主張な蹴飛して相からず殖民地からの搾取を續けるでせうか。大いに興味のある問題です。

■ 吉田源藏氏

何と言つてもブルジョアーに血迷つて來ました常選反動と情燥してゐます、「神道會」とか「巡心倶樂部」とか自稱するガラクタ共が退去の勸告にやつて來ます。家主は國粹會員から私を放り出せと迫られたさうです。社會主義を信奉するものには鼻の下のゲンコツの往復では何の感もしませんね

──二月七──

■ 中西伊之氏

ロシア、イタリイ、スペイン、支那農民勞働者の自治力ない國々の獨裁政治に日本の自覺ある農民勞働者が學ぶ必要などこにある。新生々の自覺ある日本農民勞働者よ智識階級の獨裁政治を排斥して農民勞働者の政治へ！

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

的戰線に於ける勞農大衆の眞實なる階級的結合こそ、無産階級の解放運動へ新らしい運動精神を復活せしめたのだ。

かくてこの經濟戰線の確立と共に平行する政治運動も亦有力に擡頭することは言ふまでもない。

勞働組合の結成！それは最近の勞働組合の經濟的戰線への全面的な展開を濃厚に彩つて居る（一月十日）

支那に於ける帝國主義を葬れ

陽 憲 渉

由來、支那は列強資本主義國家の帝國主義的侵略の餌食となつてゐる。國際資本の爪手は軍事行動による武力的侵略を以つて、支那に於ける樞要の地を占領し、之れを租借地として、或は支那民族の搾取、或は政治的干渉等の暴威を擅つて、支那を脅威しつゝる。

近者、國民革命軍たる北伐軍が支那民族解放を旗幟として、長驅し、漢口他に於ける英國の奪還地を奪還したことに端を發し、英國政府は彼等と戰ひを交へ、再び侵略慾を充足せんとして、本國より兵を送り、正に戰端を開かんとしてゐる。

若し此の戰ひが開始されたなれば、列強資本主義國家の利害の衝突を來たし、或ひは帝國主義的世界戰爭を生むに至るやも知れない。而して、英國政府は日本政府に[illegible]して應援的出兵を慫慂したるが如き、國際的資本主義の共同戰線を曝露したものであると云はねばならぬ。

支那の租界を列強の支配下に置くことは、獨り支那民族の損害に止まらない。それは實に全世界のプロレタリアーの損害を意味するものである。吾等は英國の武的侵略の犧牲を無産階級全部の利害に關するものとして、徹底的に葬り去らねばならぬ。

全世界のプロレタリアー、北伐軍を應援して、支那全土より列強資本主義の搾取を驅逐せよ、支那民族の解放は、列強の搾取を取り除く事を除いて他に道は無い。全世界のプロレタリアーは、東洋に於ける最大の被壓迫國家たる支那を國際資本の侵略より引き離せ！

支那民族を列國の手より救ふことは、全世界のプロレタリアの勝利を意味する。吾等は全世界のプロレタリア同志諸君の、絶大なる聲援を望んでゐるものである。殊に東洋に於ける、被搾取階級として、同志である日本のプロレタリア諸君！諸君も來て吾が支那を、國際資本の搾取より、取り戻さん事を望む。

支那民族を列強の搾取より解放した時は、世界プロレタリアの勝利であると云ふのは、即ち、支那は今や、正に國を擧げて社會主義國家になる事を望んでゐる爲である。然り支那は世界に於ける第二の共産主義國家になるであらう事を吾等は信ずる。國民革命軍の奮鬪は、實に此の事を證明して餘りあるだらう。確信してゐる。國民革命軍、北伐軍は、實に支那に於いて第二の××××を斷行し、プロレタリアの勝利を望んで進むものであることを、全世界の同志諸君に宣言する。北伐軍を應援せよ！

一月號追補

社會運動の回顧と希望

■土田杏村氏

一、經濟運動と政治運動が混淆した結果種々の團體に合離散があり、其の團體員の間に感情的齟齬を生じた事を遺憾とします併しこれも已むを得ない過程でせう。

一、政治運動の意味を輕じ過ぎて經濟運動を忽せにすると云ふ事、無樣にしたいです。消極組、運動起る事を望む。

ではなかつたらうか？

二、十六年度の劈頭にあたつて社會運動への希望　ロシア同胞とゴマのハイ並にダラ幹共産黨、奴等を日本から驅逐して終つて實なる解放戰線の共同結成を企圖し一大結成のもとに勞農者の問題を勞農者自身の行動によつてのみ解放さる標を持つて一路進みたい、否進まれん事を希望するその爲には「進め」は全輪の力を傾注して欲しいものだ。

■山内房吉氏

一、大正十五年の社會運動は統整前の分裂時代であつたと思ひます。

二、十六年に於ては分離すべきものとははつきり離れ、統一出來る限り統一して全國的運動形態を確立して欲しいと思ひます。

■中伊之助氏

一、十五年は政治狂の狂踏亂舞で日本のプロレタリアは危機に臨んだ。

二、十六年はその迷夢から覺めん事を祈るのみ。

■平野小劍氏

一、他の社會運動團體に對する感想は措いて、干係してゐる我が水平運動は日本共産黨の策謀に惑つた者の爲めに戰線を攪亂され、亂を重ねしめられ非常な戰線の縮少を見た。然し半期以後に於ける狀はダラ幹共産派の凋落となり、稍々落し、概して十五年度の運動は沈滞であつた、他の社會運動團體も大同小異の結果

■松岡駒吉氏

一、感慨無量

二、誰もが好い兒になりたい、心持をすてゝ、所信に忠實である事です。

■梅川又次郎氏

一、私の期待に背いて非常に失望しました。大敵を前に控へてゐて、仲間喧嘩をするは何事でありませう。私は目的を遂ぐるまで何事も後廻はしにしたかつたのであります。併し今となつては是非もありません。

二、總選擧に當つて鬪いになつたものか、一致の行動が取るやうにしたいものです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全土戰報

壓迫の爆發

予盾した事が山程ある現今社會に於いて、政府當局の頑迷固陋無智は最も、その顯著なるものである、度々俺達が本屋を訪れる時（まだ○○は出ぬかい）と問ふと（又發賣禁止でせう）と無關心に答へやがる。此言葉を聞く度に俺達の心はまたか！）と憤怒に燃へざるを得ない。

斯く禁止するブルジョアーの走狗の心底が判らない。同じ無産階級の内に籍を置く奴が同じ仲間を壓迫迫害するなんて、實に憎むべき××××彼奴等裏切者がブルジョアーの手先に使はれた、眞に無智かそれとも明つてゐてか知らぬが社會秩序維持上、面白くないとして發賣禁止を喰はせられても、決してそんな事で正義の叫びを中止する様な事は夢にも出來ない。吾々にはたとへ、其前衛軍がやられても、それに代つて突撃なる後備隊が永遠に續いてゐる。吾等の進行は永遠不屈の進化の進行である。最後に馬鹿な裏切者に一言申して置くきつく叩き突けたボールは一層強くはねかへると云ふ事を。

【東京 戸野元】

革命の第一戰

我等は我が上之町青年團の官制的壓迫の改革を期す爲に去る一月二十五日青年雄辯會を開催した。中には未だ眼醒めない青年が危險思想を排斥せよとか忠君愛國がどうとか、と論じてゐた様だつたが僕等は大いに反對した。我が村當局が政治問題社會問題を論究する事を非常に嚴禁してゐる。それに對して僕は激烈なる駁論を試みたのであつた。中にも同志の一人は無産青年同盟が昨秋ピクニックを決行した際に、何等の理由なしに檢束をしたと云ふかどで、警察をばドシ〳〵攻撃したのであるに實に痛快であつた。又最後に登壇された關西大學生某君は曰く（社會主義共産主義は危險思想ではない、吾等人類を幸福に導いてくれるものである。併し之等思想の危險を高唱する者があるが之は畢竟反對の思想家の命名せる形容詞に過ぎないと云々然り〳〵同感、痛快を感ぜざるを得ん。閉會後ブル公は青年が政治問題社會問題をやつては不可ないではないかと、不平ダラダラこぼして居た様であつたがそんな事にピクツともする様な吾々ではないのだ。斯くして昭和青年の意氣を大いに鼓吹したのであつた。

今後毎月一回宛舉行する豫定であるから益々激しくキャッ等を糾彈挑發してやる意志である。

因に當日は開會時刻には、既に聽衆は潮の如く押し寄せ、せまき會場は立錐の餘地なく、登壇する辯士は悉く拍手喝采裡に、而して論旨は穩健着實を以て終始した。尚ほ××××××××××××××××。斯くの如き盛況を呈して、無事散會した事は實に祝福すべき事である。吾等青年諸君！終りに望んで一大奮起せられん事を切望して已まない次第である。

【大阪 三木田晉太郎】

地主を葬れ

農は國本だ。農民は國寶だと餘り持上げるない。みんな欺瞞と侮辱の方便ではないか、働いても〳〵ても食ふ事も出來ないのは我々百姓ではないか。野獸の如く働き廻されて汗と油の結晶たる所得迄され、野良犬の様に骨と皮ばかりに絞り取られ、生き過ぎぬ様、死なぬ様に取扱はれるなんて、何んと情ない人間となつて終つたんだらう。さうだ！勇氣を奮つて起たなければならぬ全國の農民起て兄弟

現社會の制度は冷血鬼地主共に暴君の專橫を公許し、一方吸血鬼地虫共を擁護する法律と我々を壓迫する官憲を設置してゐる。こんな制度下に於て、農は國本だ農民は國寶だなんて、云つた

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つて何時迄奴隷の様に屈從して居られやう。地主の財とは我々農民の肉を取り血を搾つて作つたのである。斯くの如き人間の生存を害して貯藏せる財産は道徳的にも法律的にも斷じて許されない一大罪惡の結晶である。

ドロ幹の惡辣

【茨城 島根英】

本縣に於ける、讀者の數は、非常に多くなりました。二月で四百部を、實査す様になりました。

農民組合の支部が邪魔をして困ることがあるが、それは幹部の五六人である。此の人達は組合の金を胡麻化して、家を建てたり等するドロ幹である。過日農民組合の幹部で、組合の金で藝妓買ひをして、監獄に入つたものがある組合員は雜誌を讀んではいけないと云つた幹部は、勞農黨中央幹部である松本、大山佐々木某等である、彼等は不徳な事ばかりしてゐるから組合員は段々減つて行く

戰ふ吾等

【鳥取縣 道田久】

北海道は今、雪に埋もれてゐます。凡ての人間は皆、鶴の巣籠の様になつてゐます。けれど吾々の同志は、此の雪を征服する様な意氣込みで解放戰の第一線で奮鬪してゐます。札幌に於ける社會運動も、此頃に至つて漸やく、前途に光明を認めるやうになりました。何日の運動でも吾が支局同人が第一線に起つて力戰してゐます近日演説會を開らくつもりですから、本部の諸氏の應援あらんことを御願ひします、北海道に於ける社會運動は愈々これからが、本當になります。

【札幌 大野信明】

水電と農村疲弊

永い間紛爭中の富山縣黒部川用水合口による冷水被害問題は黒部電力會社の強慾から遂に血を見るに至り小作人團から數名の下獄人さへ出して越年したがこれによつて小作團の結束はいよ／＼固くなり會社側に對する反抗を強めてきた矢先、地主側から冷水被害として持込んでおいた年貢米二割減の要求を五分にせよと應酬してきたので、非常に驚き言下にこれを拒絶したこれが爲調停全く破裂し更に會社地主に、對する小作の形で睨み合となり形勢逆轉して險惡な雲行は一層深刻化してきた、調停に當つてゐた縣小作官補も一先づ手を引きその成行を傍觀するのやむなきに至つたが舟川新の小作團五十餘名は飽くまで地主や小作が、相讓らねば斷然耕地進運の上地へ共同で勞働に出稼ぎすることに申合せた。なほ地主らが小作團と協力しあくまで會社側に對抗して冷水被害になる賠償問題を圓滿に解決するの態度に出でないのは一部の地主が會社側に乘ぜられてゐるためだと云はれてゐる。

とは資本主義新聞大阪朝日石川富山版の報ずる處である。が日農黨は此機を利用して黨勢擴張の爲に奔走しつゝあるが、如く同黨中央委員吉田平治君等が運動中。名のみの電氣王國富山縣に過る世界金融資本の恐ろしい搾取はかくして農村を荒廢に導きつゝある。

今期の富山縣會席上に於て「櫻正宗」「人氣盗」等と云ふ粗惡なる酒を製して農民に賣り付け莫大なる利益を得つゝある、[illegible]砂土居某は、[illegible]町は兩[illegible]の中心地で富山紡績始め工場多く犯罪事實も再三あるが警察力が手薄いので充分に檢擧することが出來ぬ、取締上不便なり、[illegible]を設置せられたし、農民黨などのやうな過激主義のものも、それであるから出來ると納相應と云へばそれまでだが、阿呆なことをホずいたので船野町民及日農黨中の有志は近く此の酒屋の親父から聲明書を取ることにしたと云ふことが巷間に流布されてゐるが自己を選擧した郡民を犯罪者視しそして刑罰主義的な僞商秩主義を抱く馬鹿者を今秋の縣議選擧にまくり落してやる可しと有志會議で決定した。

それから南野尻村の草備持大門宗郎と云ふ人は、天候不良で善良なる米の出來ないに、かてゝ加へて米檢と商人との結託して米の檢査の程度を今秋から甲乙丙丁不の五級に分け、乙米は殆んど何程もなく、甲米は勿論零の時、丙米で年貢を取る事が出來ぬ、乙を寄越せと吐かしたので部落民は泣く子と地頭には勝てぬと云つて泣き寢入りの次第だが地主が取らうとするのが當然で、小作が出すまいと云ふのが自然で、其處に戰ひが、要るのだが、はつきりと階級意識を掴むことの出來ぬ小ブル的農民出の小作は洞ケ峠か日和見的な須只快大流の百姓は困つたものだと。某進め讀者が語つた。

必勝を期す爭議

【富山縣 野原爲之】

去る一月二十四日突然市外中

野町の淺田屋醸造工場主は職工十八名を解雇した、復職を要求したが容れられなかつたので茲に斷然ストライキを決議し、頑迷横暴なる資本家に戰鬪を宣言した。彼等は暴力團を頼んで職工を威嚇した。吾等は所屬組合の關東合同勞働組合の闘士と演説會を開催した。彼等との闘爭は激化した。爭議團員木村氏は苦闘の後、遂に惡政を呪ひつゝ自殺した。尊き解放戰の戰死者を出した吾が爭議團は今尚、惡戰苦闘を續けつゝある。全國の同志諸君!惡鬼淺田工場主を葬れ吾等は必勝を期して。猛烈たる總攻撃を開始した。

【東京 中野支局】

新聞不買同盟

我々無産者の最も不快なものは、ブル新聞の横暴である。資本家の走狗であるブル新聞を購讀するのは我々無産者の大なる使命だ。名古屋に於ける吾等の同志は一團となり。ブル新聞の不買同盟を組織した。

勞働爭議の時などは大なる虚報を掲げて恬然たる大新聞が紙面に於いて、乞食すら愧ずる様な醜行爲を演じてゐるのは實に憎みても尚、餘りある事である。無産階級は無産階級の手になる新聞を讀め!ブル新聞を不買同盟によつて倒滅せよ!ブル新聞不買同盟の、なるも、ならぬも、無産者の自覺一つである

咄!罪人製造

【名古屋 加藤一郎】

私は小學校而かも義務教育たる六ケ年を修ぎつゝ漸くにして修めたのみの低級淺學なる一無産の自由勞働者である。今私は此に天に代つて惡者腐敗の極に達せる現代の司法警察當局に對し熱血を注いで、以つて一言述べんと欲す。

今茲に身の毛もよだつ、人も厭む可き、極惡非道の殺人罪と云ふ罪名の下に十年の懲役の苦役に服しつゝある時、眞正銘の犯人が出でた。が、當局は周章狼狽し、之れを極秘に葬らんとせしが、天なる哉、裁によい無實の罪を受けて前犯人の苦悶や又家族並に親戚知友の誠心の叫ふての我法曹の知る所となり帝都は勿論全國一般の問題となり遂に忍び得ずして、法曹界はり委員を選び司法當局に向つて銘術を打込める。當局の辯解の御挨拶たるや實に面白い。「世上一般の想像するやうな譯にも行き兼る」何故ならば神ならぬ裁判官の裁く以上偶に誤判の例も止むを得ぬ事と思ふ」と。然らば司法當局は眞犯人の出でし時、如何にする。有邪無邪に葬り去らんとするが如きは立法の根本義に逆る一大不詳事である。

而して只證據の不分、無罪の二字により、身は青天白日になりたりとはいへ、長年月鐵窓に繫がれし時精神的に經濟的に非常なる大打撃を蒙り終生取返しのつかぬ極地に陥り、妻は狂ひ子は三人の子、狂人の子と東西不明の三歳の幼兒に迫られ遂に又は妻子を思ひ、官憲の壓迫に憤慨せる餘り病を起し、母は世に忍びず入水して他界の人となり、弟妹は互に一生の浮沈とも云ふ婚期を失ひ、實に一家の悲慘其の極に達し、到底無能なる吾人の筆舌には書く能はざる所なり。

斯かゝる不人道的行爲は斷じて許すべからざるものなり。吾人は斷然一身を犠牲に供して飽迄當局の誤裁を正し、法令の改正を叫び、倍償の進請せん。願くは諸兄の御援助を乞ふ。筆者は伊勢の海岸に面した片田舍に生を受けし無智のである事を附記して筆を止む。

【東京 中山蝶堂】

◇　◇　◇

田吾作の辯

ソロソロ百姓も忙しくなつて來る。春風駘蕩櫻花爛漫と酒に浮かれる時、身を粉にして働く百姓程馬鹿なものは無い。――ベラボーめ!なんだ愚痴を云ふな、そりや相場なとの昔から決つて居らあ。馬鹿者作の牛入でもしろ――くそ精、そばでチット考へた時、短い生を煩いて〳〵皮膚は荒れ、手足は節くれそして、貧窮に追ひ立てられるとは何と考へても、諦め、様か無い、――又始めた百姓奴、貴様等の様な馬鹿者が無くちや俺等は、生きて行けないわい。

俺等は米を作り麥を作る。苗から收穫まで汗を嫌はず糞にまみれて働いてゐるのだ。虫を除き草を刈り、肥料を施すそして、實は再び大きな穗、俺達の勞力の報酬として重さうに垂れる。そして豊年豊年と賑やかしく喜ぶかそれも束の間、其豊年によつての、賑ひは無智な景氣のよい俺達農民の勞力の賑ひに過ぎないのだ。いくら豊年でも亡年でも胃袋がはらちや生きちや、行かれぬ。米を作つて米が喰へないなんてそんな、矛盾した事が何處の世界にあらう。苗の中を除けるより先づ俺達は社會の

虫を驅除すべきである。

【高知縣　前田乘夫】

大牟田雜信

去る一月三十日麻生久、今村等氏を迎へて、第二公會堂で大■田一般勞働組合主催の演説を開いた。先づ組合長の小松道俊氏の開會の辭に始まり、諸氏交々起つて、三井王國の牙城へ勞働運動の[illegible]が叫ひつゝある事實や、既成政黨の頼むに足らざることを叫んだ來會者千餘人實に盛會であつた。處が此處に滑稽な事は、共産黨の下役、某か今村氏の演説を野次り、立會演説を申込んだ。今村氏は早速應ずると、奴さんオヂケついたものか中途で止めて、逃げ出したこれでは、流石の共産黨の面目も丸潰れである。

續いて翌三十一日市外三ツ町中勧座で再び演説會を開催した之れ亦聽衆七百餘人。大盛會であつた。

大牟田、日勞黨委員長には元と三井炭坑の技師、谷氏を推戴した。別に武藤久太郎氏が大牟田坑夫組合を作り、自ら組合長になり、顧問に小松道俊氏を推し日本勞働組合同盟に入いる事になつた。

大牟田に於ける。勞働運動は愈々之れからである。三井王國をして戰慄せしむる、勞働階級の叫喚は、愈々物凄くなつてきつゝある。

大牟田の勞働者は殆んや全部日本勞農黨員である。前此のやうな共産黨の下役も二、三ゐることは、ゐるが何の影響もなく勞働者から御相手にされてゐない。憐れむべきは共産黨である。

【大牟田　第一支局】

勞農黨を排せ

俺、は廣く現在勞農黨を支持してゐる組合、支持せんとする組合、及組合員、一般無産者に向つて警告するものである。しそれ現今支持しつゝあるものは速かに脱退せよ、入らんとするものは退却せよ、知らざるものは知つて、轉ばぬ先の杖に備へよ、それ、勞働農民黨は一口に云へばロシアの國家社會主義を奉ずる日本共産黨と云ふ操り師の使ふ操り人形に外ならぬものである。此操り師は常に人形を應用して無智な民衆を集め會費を捲上げ、[illegible]揚り攪亂して次の豫定地に引揚げて行く、横暴極まる民衆攪亂者である、過日行はれた日本農民組合の分裂、東京市政自治會の乘取計畫等はその攪亂事實の一つである。彼等は常に口に總聯合、單一政黨を叫びながら、或は反動と協を握り或はブルジョアーと妥して常に組合をして窮地に陷入れつゝある。先づ日本勞農黨組長にして黨首たりし杉山元次郎の辭任大山郁夫先生の就任幹部の除名等を見ても一目瞭然如何に共産黨が陰謀にたけて居るかを知る事が出來、我等は斯かる危險物には絶對に近寄つてはならぬ。

眞に無産階級を愛へ誠實たる政治運動を欲する者は之れを排せ

長野縣　【谷口生】

軍隊爆破？

先達、僕等の町に例の[illegible]聯隊爆破？と云ふ極めて穏かならぬ事件があつたと云ふ[illegible]國の各新聞へ仰々しく、所謂犯人？の寫眞迄入れて書きたてられた。所が當の本人である松本治一郎氏等は今度の事件は、自分でも何が何だか、薩張り判らないと云つてゐる。私は同氏始め、其の諸君を良く知つてゐるが、兎に角、物騒[illegible]事を企てたものである。[illegible]軍隊破壞計畫？は少なくとも、日本軍隊始まつて以來、今日迄一度もあつたことを聞かない。

私は數年前、聯隊にゐて、水平社同人が同僚から虐げられてゐる[illegible]を見聞した。そして[illegible]りに軍隊に於ける差別待遇の甚だしいのを見せ、獨り義憤の焰を燃やしてゐた。殊に將校等の無理解ときては、全く御話にならぬ位であつた。今、[illegible]は、[illegible]つてゐるが、[illegible]軍隊に反感を持つのは當然[illegible]と思ふ。とは云へ、必ずしも軍隊に反感を持つてゐるからとて、[illegible]を破壞しやうと思つて、やつた事では無からうと思はれる。

今日、資本家及び[illegible]する[illegible]當局も、[illegible]運動に對しては極度に神經を尖らしてゐるから、少しの會合でもやつてゐると、それ秘密結社だの、[illegible]だのと云つて騒ぐ。[illegible]社會主義者が[illegible]爆彈包[illegible]でも持つてゐると、アッ！と云ふやうな、[illegible]迫害に[illegible]等は[illegible]極まる、[illegible]てゐる。

今度の軍隊爆破？事件を云ふではないが、何日でも奴等は[illegible]騒ぎをして[illegible]した後は極[illegible]、先年の共産黨事件然り、其他[illegible]々あるが、餘り長くなるから、此の邊で止めることにする。

【福岡縣　龜井新一】

殖民政策裏面研究（四）

金熙明

帝國主義の殖民政策は經濟的、政治的の搾取並びに武斷的殺戮が並行するものである。

二、中世史

中世は殖民史中暗黒の時代であると云つてもいひ位騷亂の時代であつて歐洲全土は殆んど常に侵畧の戰爭が絶へず群雄諸國に割據して虎視耽々として只權勢を振り撒くことに餘念がなかつた。因に藝術にしろ文學にしろ科學の方面に至つても實際不振の状態で商工業も僅かに地中海の一部に行はれたのみであつた。文化を誇りし希臘ローマの文明は蕩然地を掃ふて世界は將に混亂腐敗の深淵に沈淪せんとしつゝあつた時代で當時の地中海沿域は白晝百鬼が出没したるか如き状態であるがその中にも商工業を立國の基礎となし植民史上に一目を與へしはたゞ伊太利半島の諸都市があつたのみである。伊太利はローマ帝國滅亡後やはり領土が崩壊され數多の小邦となり。小邦は各自相競ふて地勢、歴史、文化の度に從ひてそれ〴〵發達をなしたがその中最も著名なるものは今私の論じやうとするフローレンス、ゼーア、ベニスの三にして之れ等の發達を進就せしめその前驅者と云ふべきアマルフイ及びピザに就て小考を盡すことにする。

一、アマルフイ及ピザ

A、アマルフイ

アマルフイはローマ帝政時代の殖民地の遺跡であつたが中世紀に這入つて再び勃興した邦であつた。九世紀頃にはネープルス王國第五の都市で共和政治を布き十二世紀頃には人口五萬人を有し其屬領地には五十餘萬の人民が棲息した。海軍の強きを以て知られ土耳古人を撃破しノルマン人の十字軍を護衞して歸りたること等の功績あるが殖民地は多く東方に散在しコンスタンチノーブル、アレサンドキリヤ、チュニス、バグダツド、サイプラス、ゼルサレム等より商業上及び、工業上の利權を取得したるものと觀ることが出來、近世帝國主義の殖民政策に比較研究すれば、保護國として諸都市（邦）より經濟上及び政治上の搾取を行敢したものと云へる。

B、ピザ

ピザは紀元前一八〇年前頃羅馬人が殖民したるにより始まり漸次發達の一一〇〇年頃に及んだが當時アラビヤ人がサルチユニヤに侵入する厄運に遭ひその難を避けてピザに來た基督教徒がピザ人を激勵して終りにピザ、西班牙、の聯合軍を以て亞剌比亞人を攻めサルチユヤを、回復し之を兩者が分配して、而してピザ人は度々十字軍に從ひて東方諸邦に往來しコンスタンチノーブル、アンチヤツク、シリア島に殖民しルコシカ、エルバレアリツク等の諸島にも殖民を行つて、當時二百年の間ピザは商工業の隆盛を見海軍の勢力之に匹敵するものはたゞゼノア人を除いては他になかつた故に諸富者は互に資を投じて遠征隊を各地に派遣し海外弱小領地及び民族より物貨を掠奪したるが如きは後世に於ける英國が地中海に於ける海賊船を以て各國の物貨を強奪したるが如きに、この方法はほゞ似てゐると云ひ得る。なほかゝる、横暴な侵畧振りに憤慨して當時ピザの競爭者でありしゼノアの奮起したに依り一二八四年いまゝでの小競合より俄然戰端を開き七十二艘のピザ軍艦と五十八艘のゼノア艦隊がメロリヤ島海岸に於て衝突し忽ち大激戰を見るに至つたがその結果ピザ人大敗し一萬六千人の人を失ひ一萬一千人が捕へられ沈没を免れたる二十九艘の軍艦は悉くゼノアに押收せられたるによりピザは獨立、を失つたのは勿論諸殖民地も自然瓦解するに至つた。

二、フロレンス

フロレンスがその殖民地に取つた諸政策中殊に商業政策は一顧を要するほどの巧妙さを有してゐるが元より國際的の經濟學が普及されず貿易盛衰の仕方を知らざりし彼等が後世に於ける所謂保護貿易主義を採用してその殖民地に臨みしは驚かざるを得ないものがある、いま彼等の取りし、商業政策を述ぶれば即ち左の如くである。

一、獨占を以て貿易の第一義として競爭者の其間に入るを許さず不和の手段を以て其競爭者を壓倒するを得ざれば干渉に訴へて之を討滅せんとしたりされば當時歴々行はれたる戰爭は大低商業保護のための戰爭なりしのである。

一、輸出品は課税した。

一、外國に於て其國の商人と同一の權利を得んことを欲し其目的を達せんがためには種々の手段を採ることを辭せずしかしてその代表者を派遣して自國商人の保護に任ぜしめた。

一、他國の粗製原料を輸入し之を精製して更に他國に輸出するを收利の第一義とした。

右のやうなものでこの政策は近世の重商主義的殖民政策に似たものであるがこの主義によりフロレンスは多大なる國富を作り大成功を博したものである。

三、ゼノア

ゼノアは殖民史上の殊な地位を占める立場にある國であるが結果的に論じて殖民史上ゼノアは不遇な立場にある國であつた。ゼノアは海上に於ける當時の大勢力を掌握し之に依りて前項に述べをる如くピザ人を多數殺傷し物貨車用品を押收したるに依りサルチユヤの一部を領しコルシカカプラジヤを侵略し一〇三八年頃には其勢力を亞佛利加の南岸にまで伸張した。ゼノアはピザと爭ひをるのみならずフンダースと戰ひ一二六一年

にコンスタンチノープルを攻掠し掠奪品をゼノア市民に分配し又スミルナ港を占領してカフハ港を開き黒海の主權を握りまたベニスとも爭鬪が斷へなかつたがゼノアは遂ひにベニスのため、滅亡の悲運に失かなければならなかつた。かくしてゼノアは戰爭に依る海上權の獲得商工業の隆盛、貿易上の頻繁を以て殖民政策の裏面を探ぐることが可能である。がゼノアの盛時を囘想すればフロレンス、ピザ、ベニス、等に對し遜色なく、小亞細亞に於ては印度其他の亞細亞人と交通し亞弗利加の海岸西班牙地海中諸島にも數多の殖民地を有しての商船は遠く佛蘭西、英吉利和蘭等々にまで通商貿易を交はしたものであつた一度ベニスのために敗られて其殖民地も多くを失ひその勢力も全く沈淪し十五世紀終までは兎角その餘喘を保つたが遂ひに諸外國の權力の下にその獨立を失ひ自ら他國の殖民地に領屬したるが如きは殖民地政策研究者に取つて最も皮肉な興味ある事實である。

四、ベニス

黒海の商權を掌握し通商貿易を國際的に攫めたゼノアを侵略した當時のベニスは之まで壯觀を呈した勢力を海外に伸張しつゝあつたけれども、第四十字軍の起りたる頃は、ビザンチン朝廷の綱紀紊亂しコンスタンノープルの都は常に暗雲濛々として逆殺謀叛相次で起りその騷亂が極度に達した有樣であつた。ベニスの大統領(ドージ)ダンドロは此間に乘じフランダースのボルトウイン一世を助けて王位に登らめし其報酬としてコンスタンチノープルの八分の三及ルーマニヤ、ラジス、ニコポリス、ヘラクリヤ、ドストー、ニコメチヤ、ガリボリー、アデリアノープル、エポニヤ、希臘、ペロポンネサス半島の一部ダルマチヤの海岸アイオニヤ海の諸島等を其領有に歸せしめなほクリート島を買收して其勢力を擴張し兵力を重加して延長せる諸殖民地を守衛した。如斯うにしてベニスがその領土に占領した諸殖民地に對する諸政策中重なる商業政策はやはり極端なる、保護政策を以つて獨占を以て諸競爭者を壓倒せんことに務めた即ち

一、斷へず軍艦をして海上を巡邏せしめ外國人が貨物を輸出せんとするを見れば之に二倍の運賃を支拂はしめた。

一、ベニス國の港灣に於ては船舶の建造及船の賣買を禁じた。

一、庶物の聲價を保つことに熱心したために其技術の外國に傳はるを恐み職工の移轉を禁じた

しかして內國に於ては製鹽鑛業漁業・硝子製造等を始めとし武具、皮革、布綿、蠟、砂糖酒類貴金細工等の製造業が非常に盛大となり、その首府は人口凡廿萬人民が悉皆富裕の生活をなし十五世紀の末葉其富力はローマを除ては比類を見なかつたしかしながら十六世紀が世界の大勢に大變動を起さめたことは今更いふまでもなく新大陸の發見と共に覺醒し勃興したる歐州各國の太平洋上の大活動は世界の歷史に於て最も目ざましき地位を占むるであらうしかしてベニスは此時を以て漸く衰運に向ひ僅かに其名のみを十八世紀まで保つたがその實は已に史上より葬られて行く運命の道にあつたのもゼノアを始め諸殖民地の興亡史に較べて面白くはないか。

五、古中代の比較研究

以上述べたる、古代及び中世に於ける殖民政策小史は甚だ不徹底に亘り筆者自らの參考の便にさへ役立たないものであることに氣着・差る次第であるが筆者は各國に於ける殖民史の歷史的及び地理的の研究をなしたるものにあらず、單にその政策のみに就て從斷的觀察したものに過ぎないことを斷つてをくと同時に本書の性質よりしてもそれ以上の研究を要とせざるものと思つて特に斷つてをく。

殖民政策を古代及び中世に亘つて史的に概觀したる處に依りて我等は一層能く殖民地問題の世界歷史に與へる重要性と戰爭の[illegible]內帝國の旺盛滅亡の幻影の如き人類權勢を知ることが出來た。そこで茲に我等が氣付かなければならない點を一層詳かに比較すれば古代殖民政策が如何に無鐵砲無考慮な英雄主義を根底にしたる權力鬪爭上の侵略方法であるかを知りしかも、中世の商業策主義に比して開墾的業方面を政策として取り入れた點である。しかして中世に於ける諸政策は古代のそれに比し稍々國家的政治的有賦を主とし之がために武力を振廻したのは前者の意味と異る點がある。なほ前者の農業政策主義に比し後者の商業政策主義は自然陶汰と人爲的の農業振興の結果人智の發達交通の開發等に依る自然の進化の法則と見ることが出來る。

殖民政策が近世帝國主義の諸政策に見る如く軍國主義政治的資本主義經濟的に依る帝國主義の搾取の手段を以てするやうになつたのは中世の末葉即ち十六世紀に於ける産業革命を始め新大陸の發見等に刺戟されたのは古代並に中世のそれに比し同一なる法則に依つたものとは云ふものゝその間に於ける殺戮と搾取の虐遇　遭過したる諸民族のその數は果して何千萬の數を以て算するであらうか。私は此の章を了るに際し再び云はん。あらゆる殖民政策は經濟的政治的の搾取並に武斷的殺戮が並行したものであることを。

―（續く）―

飢

あゝ
飢えは俺を！倒さんとしてゐる
街頭に溢れる同僚即ち我等と
共に飢に戰くる

×　×　×

飢え！俺は飢えの社會に投げ出
されてより既に半歳
今尚飢えて戰く
あゝ俺の飢餓解決の日や何日
ぞ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

自作農創定と社會主義

――「マルクス主義」の舟橋氏に――

神庭仲之介

一

私はマルクス主義一月號に發表された舟橋雄氏の「吾々は今自作農創定案を如何にして曝露すべきか？」を批判して行つゝ私の所論を展開しやう。即ち此の舟橋氏等の論說は、昨年十月號の北浦千太郎氏の「マルクス主義」に書かれた「地價政策の批判」から源を發してゐるものゝ如くであつて、すでに十一月十二月號と和田氏對北浦氏の論戰辯駁があつたものゝ如くである。ところが「マルクス主義」一月號に於いて、突如舟橋氏出でられて和田氏と個人共同戰線に立たれたと觀取された。吾人は不幸にして、同誌十一十二兩號を讀む機會を失つてゐる爲めに、論戰の展開過程をつまびらかに見る事は出來なかつたけれども、舟橋氏等の今回の發表を讀みて、正に救ふべからざる愚論を、「マルクス主義」一流の「問題は進展する」「全體的把握」「政治的曝露」等の模倣熟語をもつて粉飾し、自らマルクス主義者なりと得々としてゐられるのを見て噴飯に堪へざるものに思はしめた、それ程、舟橋氏及び和田氏の論策が觀念的捏造の範圍を脱してをらない架空の辯である。私は氏等の理論の何たるやを解剖して見やうと思ふ。しかし、かく云へばとて吾人は決して北浦氏を辯護するにあらざる事は勿論だ。

二

「進め」誌の限られた紙面をもつて批判せねばならないから、絶對的に簡單なるを要する。しかし、簡單にとは云へ讀者にして「マルクス主義」を讀まざる人もあるだらうから、この點も酌量して一見明瞭に展開させねばならない。

三

此の論戰の劈頭は、自作農創定案制立の社會的根據に關する見解の相異による火花を見る。即ち北浦千太郎氏は該案成立の社會的根據を、小作爭議による土地價格の下落と見られ、土地價格の下落によつて完き經濟的打擊を受くる地主等の、自ら進んで土地を賣却して、他へ資本を投ぜんとする、最も陰險な搾取の一手段であるとされる。

これに對して舟橋氏は、「北浦氏の如く、單純に地價の下落と云ふ經濟現象にのみその社會的根據を見出す事は餘りにも狹い、そして片面的な見解であると云はざるを得ない」とされ、「吾々は和田氏と共にその社會的根據を、沒落過程、切迫せる形勢に當面せる支配階級の地位に見出す者である。だがしかし吾々は和田氏よりも吾國支配階級の現在、地位を更に明確にしなければならない」即ち論者によれば、自作農創定案制立の社會的根據をして吾國支配階級の崩壞期に切迫せる地位となし、彼等は自作農創定及び小作法及び小作組合法等の經濟的讓步を爲し、民衆を政治的に欺瞞せんとすると說く。

氏は、

「政府は現在の搾取制度を維持し發展さす爲めに、農民階級に若干の經濟的讓步をする事によつて農民を政治的に欺瞞し、獲得せんとしてゐる」と說いて、自作農創定案をもつて、無產階級に對する「經濟的讓步」と見做す。即ち支配階級の自發的意志によつて無產階級への攻勢を靜止し、若しくは其の退却なりと斷づる。果して然りであらうか。吾人は自作農創定をもつて、決して「經濟的讓步」であるとは見ないのである。むしろ搾取の爲めの露骨なる挑戰であると見る。亦無產階級が社會主義へ向はんとするのを阻止せんが爲めの挑戰であると見る。なぜなら、この自作農創定案なるものは、小作法とか小作組合法とかに反して、其の本質が社會主義的理想に全然背馳するものだからである。小作法とか小作組合法とかは、先きに見たるが如く其の完成すればするだけ社會主義に近づくものであるが、自作農創定案は、それに反して完成に近づけば近づくだけ社會主義に背馳する。かゝる案は支配階級の讓步ではなく、徹底的搾取を意味すると思ふ。この點においては「然し實際においては自作農創定は經濟的讓步ではなく、搾取の增大の一手段である事は、既に十月號で僕は論破したる所である」とする北浦氏に共鳴する。

洵に自作農創定案は土地への愛着を深く有する農民の弱點を摑んで、搾取の增大を圖る企圖の上に立てられてゐる。即ち、聲を大にして土地價格の釣上げを策し、文字通り農民に摑ませて、自らは他の有利なる事業に參加せんとするのだ。これが搾取で無くて何であらう。而して彼等は農民をして社會主義より永念離別させんと企圖しつゝある。

四

舟橋氏は極力自作農創定案をもつて搾取ではなく讓步であると云はれる。何故か。吾人は檢討せねばならぬ。讀み行くにつれて舟橋氏の皮相の見解に至る所に突留る事が出來る。舟橋氏は北浦氏の小作人が資金を政府から借入れて自作農になれば、償還期間の二十四年間はその土地を抵當に入れる事も、亦手離す事も出來ないから、金利三步でさへ引合はない經營を、三步五厘で二十四年間苦しい經營を續けて二進も三進も行かなくなる許りである」と論じだ事を難じて、皮相の見解の高潮

に逹しられつゝある。即ち、氏によればどうせ農業は引合はないから低利資金を借りたから、或ひは借らないで小作してゐるからといふので異つて來る問題ではなからう。と

「小作人にとつての問題は、小作料を納めるよりも、三五厘の利子を支拂ふ方が經的に利益が多いか少ないかといふ事によつて決定されるではなからうか。假りに一石三十五圓の小作料を納めてゐる田を、千圓で買つて三歩五厘の利子を支拂ふとすれば經濟的には損得なしである。それだから自作農創定が搾取增大の一手段たり得るのは、千圓以上で田が買れた時である」

と

笑ふべし。この見解
舟橋氏によれば、自作創定が搾取增大の一手段たり得るのは千圓以上で田が買れた時だけで千圓以下で買つてゐるなら、搾取されてゐない。損德なしである。千圓以下で賣つたなら、民は損をしないし、支配階級は讓步したとの論旨は一體どうしてであらうか。成程、千圓で田を買ひ年に三歩五厘の利子を支拂ふとして、從來の小作料が三十五圓であるならば表面上、農民は損德は無い樣に見へる。小作人も一躍して地持ちとなれる譯だ。しかし、問題は償還期間の二十四年間にやつて行けるかに就いてである。小作人時代より思はざる費用、例へば交際費が入費になつて來る事は少なくとも、村の事情を知つてゐる村の人なら十分うなづけるである。自作農が減亡して行く事、自ら實にしても前途は悲觀にとざされてゐる。假之、地主は今迄充分な程土地によつて儲けておいて、一旦景氣が惡くなると高い値段で小作人に賣りつけて、自分は商工業に投資する。商工業が農村を搾取するといふ事はすでにして議論の餘地は無い。農民は土地を高く賣りつけられ、地主をして赤い舌を出させ、その地主によつて今度は商工業の方面から搾取されては全く立つ瀬がないではないか。吾人はあくまで自作農創定案をもつて搾取增大の一手段と見、一經濟的讓步なる見解は全然皮相の、亦はいちじるしくかけ離れたものである事を信ずる。もし「自作農創定案が搾取增大の一手段であるなら、償な三百萬圓の金より二億も三億も出したらいゝでは無いか」と、舟橋氏は疑問を抱かれる。

吾人はこの疑問に就いて少し說明しよう。即ち自作農案が搾取の增大を圖るものであるから、支配階級は其の完全を望んでゐる事實である。しかし支配階級と雖も、近時擡頭せる無産階級の自覺を緩和すべくは見ないため、なる欺瞞政策も効を奏しないを知つてゐる。自作農創定は今の所小手調べに無産階級の中に這入り込んで行つたと見られるべきである。もし自作農創定の小手調べが良効果をおさめたなら、支配階級は今後濟へとして全力をそゝぐに至るであらう。

五

著しき自然的影響を受けつゝある村は資本主義の、都市資本主義に比較しての擴大、な及び事變の前夜に起るほんやりした不安な氣分をともなひつゝ、地價の下落を促しつゝある。かゝる事情が自作農創定の社會的根據である。元案、地價そのものは、階級對立と共にこの世に現れたものである。それ以前においては決して地價の如きは存在しなかつた。即ち、地價それ自身がすでにして一階級社會の産物であることを知らねばならぬ。吾々マルクス主義者は、地價の如き存在無き社會へ進み行くものであるから、舟橋氏の如く、地價の下落を無意識的に防ぐ、自作農案を「經濟的讓步」なりと斷つ如き、即ち、自作農創定案が地價の騰貴を策し、一方農民をして地價以上に賣却を強制する事によつて搾取せんとしてゐるものを「經濟的讓步」なりと思はるゝは、地價の下落を無意識的に妨げられ、引いて、農民が千圓以上で土地を買つた時でなければ搾取されないなどゝ論じられるに於いては、氏の頭腦の健康をうたがはざるを得ない。

八

舟橋氏は「經濟的讓步」と「政治的讓步」に就いて左の如き不可解なる見をもたれる。

「搾取の增大──これは支配階級の根本目的であらう。然し、搾取を可能ならしむるものは政治的力である。搾取が多いか少いかと云ふ問題は、政治的な力に較ぶれば、第二義的問題でしかあり得ない。政治的力を強固にする爲めに、搾取を犧牲にされるといふ事にはそんなに首肯し難い事であるだらうか(中略)經濟的欺瞞を行ふ爲めに、經濟的讓步をするのだ──」と。

氏によれば、政治的力を強固にさへすれば、搾取を犧牲にしてもブルジョア社會は存續する。吾々は政治的欺瞞は經濟的搾取と密接不離な關係にありと信ずるが故に、氏の如く搾取を犧牲にする事は出來ない。ブルジョア社會は搾取關係を前提とするが故に、それを統成する政治も搾取關係と共に移動すべきものと思ふ。

七

私は小作法や小作法と、自作農創定案とは支配階級的立法であり、後者は一時的讓步──前者は搾取關係を前提とする政治的欺瞞の一手段であると思ふ。何故なら、後者は搾取關係の一段階であり、地主の見地からすれば、前者は一時的讓步を後ろにするから、共に支配階級の如きは、經濟的讓步であるとなすも、後者の見地に反すると云はざるを得ない。もし、氏の如く小作法と共に自作農創定案が「經濟的讓步」であると爲すならば次の如くなる。

鈴ケ森だより

死を恐るゝ勿れ

同人吉田凞藏君は二月上旬同氏の令妹が反動主義者に暴行されんとするや、格鬪してこれを緊縛した、此勇敢こそやがて大事を決行するに見る、反動を鬪ひ取れ 反動を潰せ、更らに□□を奪ひ取れ戰士の使命は戰のみだ、[illegible]恐るゝ勿れ、卑怯なる者は語るに非らず、戰士よ、勇敢なれ、健鬪よ、（平田）

斷想

■今日程、無產階級陣營内に於いて、同志打ちの激烈な時は恐らくなからう。やれ右傾だ。やれ、左傾だやれ中間だ、加ふるに、文士―文士―の政治運動、社會運動云々と醜の醜の醜を操返して居る。一體同じ陣營内で、而かも大敵を眼前に控へながら徒らに蝸牛角上の爭をなすなんて眞に吾無產階級を思ふ奴の所爲だらうか。天下を取つて終つたなら兎も角これから總攻擊しやうと云ふ先天、何と云ふ盲目的行爲であらう、殊に何にも明らない文士迄か文句を云ふなんて全く癪だ、正しい吾々の運動が彼等の爲めに非常に多くの誤解を招いて居る。然し全國の讀者諸君！吾等の進路は常に一定して居る。理想に向つて一直線に進まねばならぬ其處には何の濁りの無い何の混合物をも含まない終始一貫した、淸い正しい思想の流があるのみだ。■赫々たる光は吾等の正しき理想である。燃々たる焰の如き熱は吾等の堅固な意志である、天馬空を行くが如き氣概は吾等の潑溂たる戰鬪力である。諸君は正しき道を踏んで理想に猛進せよ。一切の害毒を排除し先づ自己の戰線より整理して進め、吾等の理想はたゞ一つのみである。■次に全國の讀者諸君殊に農民諸君に一言呈す今や諸君は幸にして其右手を拾ひ得た。然し未だ左手の拾ふ事を忘れて居る何故なれば諸君は普通勞働者に關する問題にのみ沒頭して、窮迫せる今日の農民に關しては何等の思慮を與へて居らぬ今や農村は、危急存亡の秋である。若し夫れ一度諸君は都會と農村とを對照したる時如何に其懸隔の甚しきかを發見するであらう先づ現今の農村が余りに保守的で、非資本主義的である事を見出す次に現代の農民が甚だしく農業を忌避して居る事を知るであらう然して農民の生活が如何に切迫せるか、不安な狀態に置かれて居る事を發見するであらう此に於てか諸君は農民の離村轉職、土地の荒廢農村の不振等の原因は明らかに現社會制度の、缺陷、矛盾不合理とにある事を知るであらう而して鯉が水に於けるが如く吾等にとつて農は寶である故に諸君は必らずや農村問題に對しても十分の研究と努力をせねばならぬ。（工藤）

政治の醜陋

■既成ブルジョア政黨に依つて行はれつゝある、政治の醜劣なることを、今度程露骨に見せつけられた事はない。所謂三派妥協とかの奥の手の鮮かなるには開いた口が塞がらない。盛んに口角泡を飛ばしてゐた與黨も野黨も共に口を拭つてケロリとしてゐる、醜劣さには、流石の善良なる國民も愛想を盡かすだらうぢやないか　（藤　井）

戰鬪精神に燃へよ

■再び春訪れて來た、暖國は梅の盛りであるとか、やがて北國の空も暖かになる事であらう、北國の人はよく見るであらう白雪を拔いて畑へ出づる靑い草の芽、やはらかな芽の草にすら、この勇氣、この戰鬪精神がある　萌え出でん爲には雪の寒さと鬪ふのである無產階級が幸福を求むるは生きんが爲めである。全國にあまねき雲霞の如き進めの同志諸君、奮鬪の春は來れり。―支那國民軍の奮鬪は近來の快事だ行く所なびかざるなし。その勇氣で支那の利權にむらがる帝國主義者を追放すべし世界地圖の上に次第〳〵に自覺の旗のなびく範圍が擴大するのも嬉しい。日本の若き青年の工場に、農村に、山岳に、大海の孤島に、互に持場を守り進め！進め！■敵は資本主義であつて味方には無い筈だ、味方の陣營に陰謀は禁物。もしかゝる禁斷の謀みをもつ者あらば先づ軍門の血祭とせよ　（大阪　紳庭）

行動

■僕等の意志は飽くも戰はんとする。今日の社會主義者は凡て理屈さへ云つて居れば良い樣に思つてゐる。即ち辨證法的發展だとか、理論鬪爭だとかの、一般勞働階級には何のことやら、薩張り判らないやうなことばかり並べて得意になつてゐる勿論理論鬪爭もしなければいけないだらう、辨證法的斷察も下さなければならないだらう。が然しだ、一般勞働階級を相手にすべき、又それの機關紙とすべき無產者新聞等に辨證法的理論を麗々しく並べるには[illegible]ばんではないか。■僕等は勞働階級に判らないやうな六ケ敷い理論を並べて得意になつてゐるやうな者の愚かさを斷じて繰り返してはいけない。「進め」は此の點に於いて正に日本に於ける唯一の而かも完全なる勞働階級の機關誌を以つて自任する■勞働階級は、常に燃ゆるが如き意志の下に行動しなくてはならない。徒らなる理論鬪爭のみに耳を藉すべきではない。僕等は行動をモツトーとして第一線に邁進することを、全國の同志諸君に告げる全國の同志諸君が彼の辨證法的理論を弄んで得々としてゐる福本一派を吾が解放戰の爲に葬れ―　（上　村）

勞働運動講座

英國の勞働運動（完）

淺野研眞

第六節 勞働黨（續き）

二、大戰の影響

かくする間に一九一四年七月世界大戰は勃發した。英國は獨逸の白耳義侵略を名として之に參加した、勞働黨は然し非戰論の立場を取つた。されど一般勞働大衆はむしろ「擧國一致」とか「歐洲の危機」とか「獨逸打つべし」の言葉の方に醉はされてゐた。茲に於てか、勞働黨も遂に同年八月七日、政府の戰費採決に何等抗議を試みざるに至つた。且つ八月二十四日に至り、勞働黨及び勞働組合の代表者の會合に於て、次の如き「産業上の休戰條約」の決議が通過した。曰く――

「すべての現在の勞働爭議を止めさせる爲めに直ちに適當なる措置を取り、且つ新たなる爭議が戰時中に發生した時には、何時にても、すべての關係者は協力仲裁和解の方法を講じ、之をしてストライキ又は工場閉鎖手段に出でしめざることを要する」

と。而して實際に斯る休戰狀態は一九一七年まで續けられた。

一方、參戰後の英國は一九一五年五月、アスキスを首相とする「所謂擧國一致」の聯合內閣が組織された。この內閣に勞働黨側からは時の勞働黨總理アーサー・ヘンダーソンが文部大臣として抗夫聯合代表のウイリアム・ブレースが內務大臣として、また植字工組合代表のロバーツが大藏大臣として、其々入閣した。次いで翌一九一六年十二月のロイドジョージを首相とする軍事內閣にはヘンダーソンが軍需大臣として、また鑄鋼工組合代表のジョンホッヂが同年新設の勞働者に最初の勞働大臣として其々就任した。また一九一七年の夏にはヘンダーソンが英國大使としてロシアに赴任し、次いで機械工組合代表のバーンスが之に代つて渡露した。又一九一八年七月には、瓦斯工組合代表のクラインズが、食糧管理長官に就任した。

かうして大戰中の英國勞働運動は、大體に於て妥協政策の下に過ごされた。然し幾分勞働政策の實現は之を企てた。

三、勞働內閣の出現

次に勞働黨の上述の如き發達は遂に勞働內閣の出現にまで至つたのである。即ち、一九二四年一月に至り、ラムゼー・マクドナルドを首相とする英國最初の勞働內閣が組織された。そして閣員にはそれ〴〵勞働黨の幹部とも云ふべき人々が連なることになつた。即ち鐵道從業員組合のトーマスは殖民大臣に、抗夫聯合會のウオルシュは陸軍大臣に、獨立勞働黨のスノーデンは大藏大臣に、一般勞働者組合のロバート・クラインズ（紡織工）は國璽大臣に、鑄物工のアーサー・ヘンダーソンは、內務大臣に、紡織工組合のトーマス・ショウは勞働大臣に、フエビアン協會のシドニー・ウエッブは商務大臣に、抗夫聯合會のハートションは遞信大臣に、獨立勞働黨のジョン・ホイツトリーは保健大臣に、抗夫聯合會のウイリアム・アダムソンは蘇格蘭大臣に、獨立勞働黨トレヴエリアンは文部大臣に、地方勞働黨のバクストンは農務大臣に、獨立勞働黨のジョサイア・ウエッジウッドはランカスター公領大臣に其々就任した。尚ほマーガレット・ボンドフイールド嬢が、勞働次官に擧げられ、最初の婦人次官となつた。

この勞働內閣は所謂「平和なる革命として、相當の刺激を世界のプロレタリア運動に與へたものであつた。勞働黨政府は先づ最初にソビエットロシアを承認し、次いでシンガポール軍港の建造を中止し、更にアフガニスタンに對する攻擊準備を、撤廢し進んで印度に於けるガンディー一派の獨立運動に對して極めて寬大なる態度に出でた。

然るに一九二四年八月、勞働內閣がロシア代表ラコウスキーと締結した十八ヶ條の一般條約なるものが、保守黨、自由黨及び商業會議所などの猛烈なる反對を受けた。おまけに「勞働者週報」記者キヤベルの、朝憲紊亂の嫌疑が起り、勞働內閣は一層攻擊の的となつた。かくて十月に至つたがジノビエフ書翰事件のために、勞働內閣は益々不利の立場に陷り、解散後の總選擧に於ては、保守黨の大勝となつた。かくて同年十一月四日、勞働內閣は辭表を呈出し、次いで保守黨の組閣を見るに至つた。

第七節 最近の狀勢

一、英國社會黨

また一九一一年には英國社會黨が生れた。此は一九〇八年に社會民主黨と改稱した社會民主同盟、及び獨立勞働黨其他の急進分子によつて組織されたものであつて、その綱領は、半ば社會民主主義的で半ば革命的勞働組合主義的であつた。一九一七年には、勞働黨に加盟した。然し一九一七年十一月のロシア革命には盛んに之を讚嘆し、次いで一九一九年の大會に於ては、第二インタナショナルを脫退して第三インタナショナルに加盟することが決議された。

二、其他の政黨

また一九〇三年に社會民主同盟から脫黨した格爾の黨員によつて、社會主義勞働黨が組織された。これは初め米國のI・W・Wの流れを汲んだが後ちにはボルシエビズムを奉ずるに至つた。

また一九〇五年には、大社會黨なるものが、社會民主同盟から分離したロンドン派によつて組織された此はマルクス主義を奉じた。

此外、特筆すべきものに、國ギルド聯盟なるものがあるこれはフエビアン協會から脫退せる左翼によつて組織されたものであつて、その主唱者はコールメローなどである

三、英國共產黨

一九二〇年には、英國共產黨が組織された。この組織の中心となつたものは、英國社會黨であつてこれに社會民主黨、獨立勞働黨、全國ギルド聯盟、社會主義勞働黨、大英社會黨などの左派の有志が參加した。この黨は英國に於ける左翼を代表する小數派運動である。

四、總同盟罷業

一九二六年五月四日は英國全土に亘る未曾有の總同盟罷業が勃發したその原因は炭抗夫と炭抗主との爭議であつたが、之に勞働組合會議が同情的罷業を決議したので、全國的な大罷業となつたのである。

即ち、爭議に參加した組合は炭抗夫聯合會を初め、鐵道從業員、運輸勞働、機械工、製鋼工、印刷工、建築工、造船勞働組合などで、その全人員は、實に三百八十萬の多數を以つて稱せられた。

この爭議は政府の調停のために一時妥協が成立したが、その依つて來る深き此の炭抗爭議は、いはゆる英國社會の癌であつて、一朝一夕に解決さるべきものではない。まして勞働組合が、今や「國家內の一國家」として發展しつゝある今日に於てである。

世界最大の資本主義國家たる英國は、今や正に自分自身の崩壞に瀕し來たつてゐる。尨大なる殖民地はその母體を離脫せんとしつゝある。大英國は何處へ行くか？ それは只、社會進化の歷史的必然の法則のみが、その針路を指示し得るものであらう。

吾々は以上を以て、甚だ簡單乍ら、英國の勞働運動の史的管見を終る。專門的細說に至つては之を別の機會にゆづることとする。

（次は佛蘭西の勞働運動を述べる）

（二十七頁より續く）

即ち、小作法と自作農創定案とは、共に經濟的讓歩であるから、共にはつきりした階級意識をもつて其の不完全乍らもブルジョアーの讓歩を領有してもいゝ譯である。而して農民の自覺によつて小作法も自作農案も完全になつたとする。小作法は完成すれば社會主義に近づき、自作農創定は依然として個人主義的社會へ近寄る。それは進歩でなくして退歩である。無產階級を解放へ導くのは××××××××××。

自作農創定案と小作法とは目的本質を異にし、事實においても反撥する。吾人はかくして、自作農創定案を曝露する事が出來た。支配階級が澁々出しかける小作法と、積極的に出す自作農創定案とを見分ける事も出來ない程の低能振りには流石は辯證法の徒よと感心せざるを得ない（完）

會計係より

二月號は本社に一部もなくなる程、賣り盡して了つた。然し地方の讀者で誌代を拂込まない者は、可なりある。誌代切れになつてゐる讀者に對しては、本月號切りで、發送を停止する。支局の諸君も成るべく、每月誠實に拂込んで貰ひたい。

會計に關する注意條項を左に揭ぐる。

一、誌代に關する問合せ及び、雜誌、パンフレット等の注文書には必ず會計係と明記する事。

二、本社は集金郵便を一切取扱はない事。

三、住所、氏名を明瞭に書く事。

四、見本の申込に對しては、一部だけ希望に應ずる。

五、誌代の拂込は成可く振替によられたし、振替の都合惡しき場合、若しくは僻地の者は五厘又は二錢切手を用ふる事。

六、振替用紙の記事記載欄には、注文のものを明瞭に書く事。

新刊紹介

農民（農民解放戰鬪雜誌）

三月號、農民解放の第一線に猛進する、勇敢なる階級戰士の手によつて生み出されつゝあるものである。農民は勿論勞働者も一讀するの必要がある。（價拾五錢）東京府下大井町南濱川一八九〇農民社）

マルクスの階級鬪爭理論

（原著ハインリツヒクノー、平野義太郞譯）マルクスの國家理論及び民族論等を收めてある。社會問題を論じマルクスを知らんとする者の讀まざるべからざる書である。（價六拾錢）東京神田區駿河臺西紅梅町一二、同人社振替東京二七〇六五）

帝國主義の經濟的基礎

（原著ミハエルパブロキツチ、上田茂樹譯）帝國主義に關するマルクス派及ヒルフアーデイング、カウツキー、レーニンの學說を系統的に紹介したものである（價壹圓、東京牛込早稻田大學前通、叢文社振替東京六〇六九三）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

殺されに行つた娘達（一幕）

——資本主義は殺人罪を犯してゐる——

行村義雄

父。
兄。
靜江。（登場せざる松子の姉）

——靜江、病床に臥たはる。その側に默念と、兄座してゐる。

——父。慌て、登場する。

父。おい、靜江、喜こんでくれ。工場からお前へ見舞が來た。五圓の爲替が入れてある。

靜江。…………。

兄。馬鹿にしてやがるたつた五圓で、人殺しの責任を逃れ樣と思つてるんだ。

父。…………馬鹿なこと云ふな折角靜江を喜こばしてやつたのに……

兄。ふん、五圓……たつた五圓で、こつちが文句を言はないからとおもつて、うやむやにし樣としてるんだ。靜江既に元の體になれないから、これでも仕方なしに、法律の網をくゞる必要上、よこして來たんだ。

父。お前のはいつもそれだ。馬鹿！どこに工場を恨む理由があるのだ。俺はお前を、そんな判らずやにするために、汽車賃の十圓もかゝる遠い東京へわざ／＼行かしたんぢやないのだぞ……

兄。搾つて／＼搾り拔いて、自分の懐さへ溫もれば、たとへ死んで了つても知らん顔をしてる資本家が憎いからだ。

父。工場がどこが惡い。工場は吾々貧乏人の救ひの神樣ぢやないか。こんな貧乏してても靜江や松子を使つて下さるから生きて行かれるのだ。靜江が病氣になつたのは、靜江が弱いからなのだ。

兄。だい一、根本の社會組織が惡いのだ。現在では、あんたの言ふ通りそうでもしなければ貧乏人は生きて行かれない。たとへ殺されても資本家へしがみついてゐなければならない。然し、いつまでもこんな社會が續くものだと思つておればあて、がはづれるんだ。近い將來に於て、きつと資本主義は滅亡するんだ。吾々が信ずる理想社會の出現は直ぐ近い將來にあるんだ

父。おい、お前は恐ろしい人間になつたなあ。

兄。ふん。何が恐ろしい。當り前ぢやないか。俺は正義の味方なんだ。俺は現在の樣な不當な社會組織には大反對なのだ。

父。…………。

兄。この工場だつて、そうぢやないか。搾り取つた揚句たとへ病氣になろうが、死んで了はうが、それはどうでもいゝんだ。たゞ自分さへ都合がよければ……それが現在の不合理な資本主義社會なのだ。あまり人を馬鹿しすぎる。永い間知らん顔をして、今やつと見舞をよこす。それに、直接訪問するのなら未だしも、郵便で、しかも、見舞狀だつて活版ぢやないか。

父。もう止めてくれ。お前がまさか、そんな方面へ成功してゐるのだとは思はなかつた。もう何も云ふまい。みんな俺が惡かつたからだ。お前をそんな人間にする心算ぢやなかつたのだが……

兄。ふん、そんな事を云ふ樣だから、いつまでも、同じ階級であり乍ら吾々の主張をさまたげるのだ。だから、いつまでも貧乏人として苦しまなければならないのだ。少し自覺しなくちや駄目だ。不幸な貧乏人をなくするために、貧乏人自身が、解放の戰線に立たなくちや、いつまでたつても、苦しみつゞけるのだ。

——靜江、苦しさうに寢返りする——

父。…………おい、靜江が惡いらしい。

兄。…………うん。あまり興奮したのでこたえたんだな。

——沈默——

父。そりやそうと、松子に電報を打たうぢやないか。

兄　電報なら、とうに打つてあるんだ。あんたゞから、姉が死ぬる生きるなどゝ云つても、些とでも餘計に働らかせよう。搾つて貰つて資本家を肥してやろう…………で、いつまでたつても電報を打つ樣子ぢやないから、僕一人で、今朝打つておいたんだ

父。そうか。

父　松子も戻りたがつてゐたゞろう。こんなに惡いのに、少しも惡い樣には言つてやらないんだからさぞ驚ろいたゞろう。然し、松子も、たとへ一寸の間でも、工場から解放されるのは嬉しい事に違ひない

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

父。松子が早く歸つてくればいゝ。

兄。僕にだつてもう少し早く電報を打つてくれゝば、或ひは靜江をこんなに惡くはさせなかつたゞらう。

父。お前は勉强中だからな、なるべく心配をかけまいと思つてな。

兄。そりや變なお體載だ。僕なんか、搾られてるたんぢやないのだぜ！

父。そうか…………しかし、この俺もよく子供に馬鹿にされる人間だ。

兄。判らない事を云ふからだ貧乏人だと云つて資本家へさいげんなく、ペン／＼頭を下げる必要はすでになくなつたのだ。貧乏人が、同じ人間である貧乏人が、こんな不幸な目にあはなくてもすむ社會にやがてなろうと云ふ時だ。[illegible]から、[illegible]……理想社會健設の戰線へ、自ら立たうとする元氣がなくちや、いつまで立つても、人類お互の幸福は求められないのだ…………。

父。おや

——父、耳をかしげる、沈默。聲——

聲。電報、電報！

父。電報が來た樣だ

——兄出で行く——

父。松子が戻ると云ふんだな…………

——兄戻つてくる——

兄。ヤツ……（驚愕、讀む、身震する——）

——少時沈默——

父。何だ。松子が戻ると云ふ電報ぢやないのか？

兄。おい、松子が死んでしまつた！。松子が死んだと云ふ電報だ！

父。エッ！。ど、どうした、松子が死んだ？

兄。あゝ。俺はどうすればいゝのか。機械に卷き込まれて了つたんだ。

（歩き廻る）

父。おい、何かの間違ひぢやないのか。電報が違つてゐるのぢやないのか。

兄。駄目だ……松子は死んだのだ。殺されたのだ…………

父。馬鹿！郵便局が間違えたのだ。松子が死んだとは信ぜられ樣がない

兄。電報が違ふものか。こんな事はあり得る事だ。いや、工場が人を殺す事ば珍らしい事ぢやないのだ。病氣にさして、間接に殺したり、機械に卷かして、直接殺したりする事は、工場では當り前なのだ。松子も遂々その犧牲者の一人になつたんだ。殺されたんだ！

父。…………。

兄。然し、これも、現在の不當な社會組織ぢや仕方のない事だ。現在の法律では、これでも殺人罪にはならないのだ。殺人罪どころか、工場の設備の惡い事は棚にあげて。本人の注意が足りない等と云つて却つて笑はれるんだ。工場の仕事の設備はどうでもいゝ、それでも工場の立場は立派なんだ。

父。（尙、自信を持つ樣に）松子が死ぬるものか。その電報をかせ！郵便局へ行つてくる。

兄。どこが間違つてゐるんだ。松子が戻ると云ふ電報なら、松子自身が打つ筈だ。それに、この電報は、工場の名儀で打つてあるぢやないか、ヤマダマツコゴゼン八ジキカイニマカレソクシス、スグコイ、××コウバ…………××コウバ…………

些とも間違つちやいない、おそらく松子は、旣に、この世の人間ぢやないのだ。

父。…………（顏を蒼白にして身震ひする）

兄。今頃冷たい松子の死かばねが、あの工場のかたすみの、塵埃の中で待つてるだらう可哀さうな短かい人生だつたけれども、ふん、何と云ふ恐ろしい世やの中だことか…………

——兄、無理に平然として電報を操り返して讀む。然し、だん／＼內心の恐怖に堪え切れない樣に、其の聲を震へ、顏面は蒼白となつてくる。やがて、頭をかきむしり、室內を歩き廻る。

父、卒倒する。

靜江、驚ろいて起き上つたが、支える力に堪えないですぐ、がくりと倒れる

兄。あッ、靜江も死んだのぢやないか

——兄、かけよる。伺ふ。兄の吐息。怖ろしい重い沈默——

幕。

× × × × × × × × ×

消化素 口香料

仁丹

四博士責任剤

ポケット必携

金銀 白金

東京市神田區松田町

徳力本店

婦人良薬

喜谷實母散

産前、産後、血の道、引風、冷込等に特効有

▲全國到る處に販賣す

本舗 東京京橋區中橋大鋸町

喜谷市郎右衛門

電話京橋五五五、五六番

明日と云はれず今直ぐに

大同生命

大阪土佐堀

◇精工舎時計◇

歐米時計類

眼鏡双眼鏡

測量諸器械

プラチナ地金

ダイヤモンド

記念盃徽章

寶石指環類

各種裝身具

服部時計店

東京銀座二丁目

日本勞農黨機關新聞

半月刊

日本勞農新聞

一部五錢 一年一圓

東京芝公園五號地四番

日本勞農黨本部

農民解放戰鬪雜誌

月刊

農民

一部拾五錢 送料二錢

東京市外大井町

南濱川一八九〇

農民社

在日本鮮人機關

月刊

新朝鮮

一部拾錢 一年一圓

東京麹町區麹町九の九

新朝鮮社

振替東京四〇五九九番

プロ文藝號

三月創刊

展望

一部二拾錢 送料二錢

藝術と政治の混同（鈴木厚）

婦人と文藝の問題（神近市子）

階級藝術類別の要件（鈴木厚）

屋根裏の感想（神近市子）

或る漁村のスケッチ（富永義一郎）

東京市外駒澤町上馬五八九

展望社

左翼文藝思想雜誌

月刊

文藝闘爭

一部二拾錢 送料二錢

（野獣群改題）

東京麹町區麹町九ノ九

文藝闘爭社

中國無産階級言論機關

週刊

中國評論

一部五錢 一ケ月廿錢

呉市外天應

中國評論社

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
昭和二年三月一日發行
同年二月廿五日印刷納本
第五年第三號
毎月一回一日發行
定價一部十錢（税五厘）半年六十錢 一年一圓（税共）
發行所 東京市外大井町鈴ヶ森海岸一八九〇（振替東京六九〇五三）進め社本部
發行編輯兼印刷人 福田狂二
大阪市東淀川十三南之町 大阪營業所

大阪市

三越呉服店

高麗橋

絶えず品質を精選し、價格は低廉に趣味と實用を標語として、常に社會の趨勢に鑑み、時勢に適應して改善に改善を加へつゝ、不斷の努力を續けてをります。當店は店内の諸施設、店員のサービスに於ても萬全を期し、只管華客各位の御満足と御愉快を以て直ちに當店の喜びと致して居ます。

地方よりの御注文は通信販賣部宛に願ひます。尚その御手引として御便利なる當店發行の「三越カレンダー」は御申込次第御送付申し上げます。

大阪日本橋……實用百貨……名古屋

松坂屋呉服店

東京銀座……良品廉賣……上野

幸福と平和の殿堂

日清生命

御申越次第保險案内進呈

本社 東京丸之内
社長 沖田龍一

代表電話牛込五千百〇六番
振替口座東京九千三百六十番

支社 東京・關東・大阪・京都・福岡・名古屋
仙臺・廣島・金澤・札幌・京城・臺北

日本麥酒礦泉株式會社

無産階級戦闘雑誌

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）
昭和二年四月一日發行 昭和二年三月二十五日印刷納本

福田狂二編輯

第五年 五周年記念 第四號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

贈答品は
これに遊ばせ

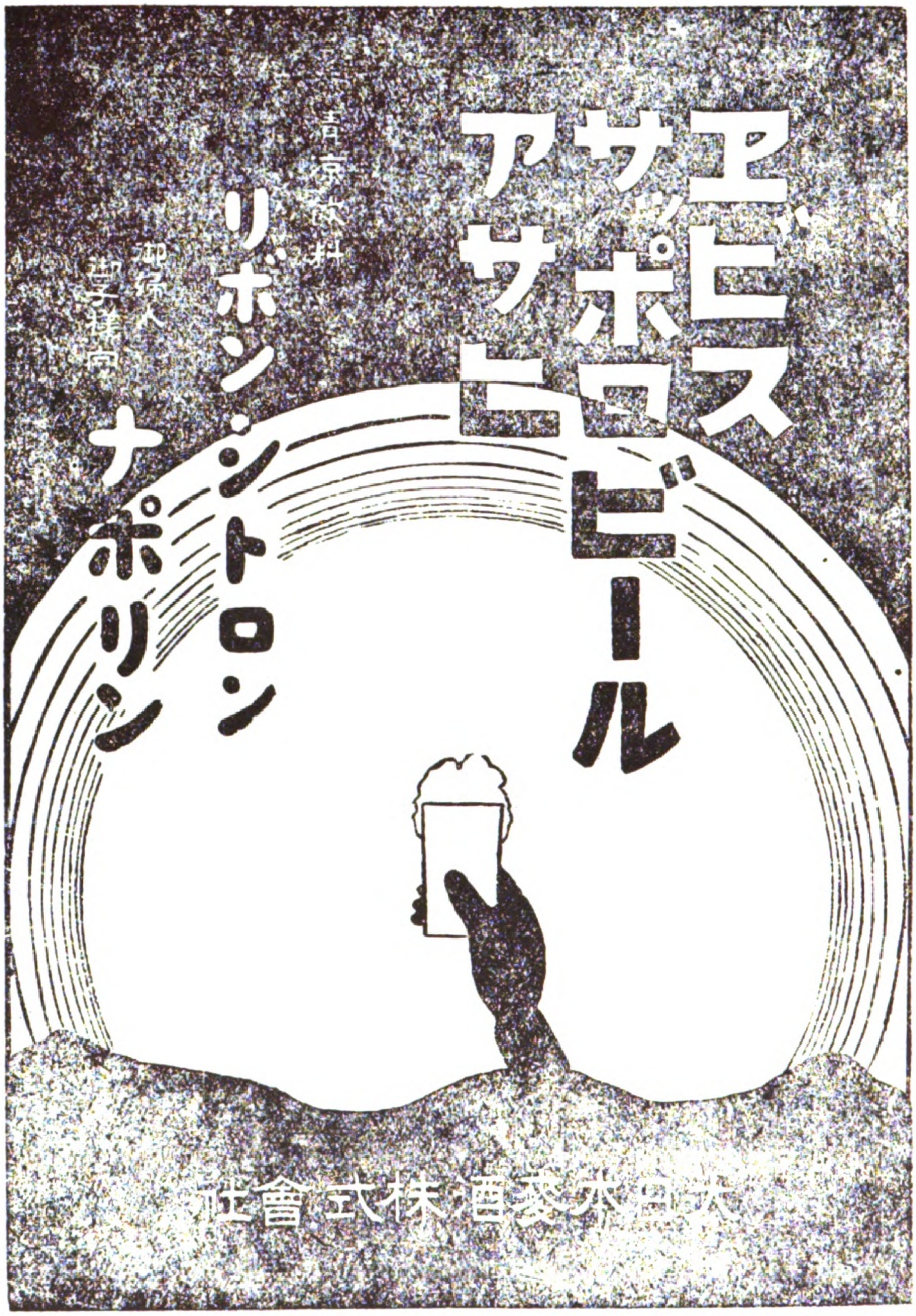
森永の菓子はいづかたの御家庭でも常に必要を感じられてをります。從つて是れが中元暑中の贈答に最も好適の逸品であることは例年旺盛な實行が語る事實であります。

森永の菓子

キャラメル（各種）
チョコレート（同）
ビスケット（同）
ドロップス（同）
ウェファース（大小）

森永製菓株式會社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN


ヱビス
サッポロ
アサヒ
ビール
清涼飲料
リボン・シトロン
御婦人御子様向
ナポリン
大日本麥酒株式會社

進め・第五年第四號・目次

□五年を迎ふ……卷頭言（五）
□闘争の語……阪本勝（六）
□「指導精神」及「指導意識」を抹殺せよ……澤井龍之助（八）
□戴天仇氏に寄す……土田杏村（一一）
□奇怪な運動……佐藤護郎（一二）
□時評……同人（一六）
□福田博士と高畠君に御答へする……向軍治（二一）
□勞働者の要求（漫畫）……（二七）
□カール・マルクス……カーハン・コアテス（二六）
□佛蘭西の勞働運動……淺野研眞（三四）
□擲彈……（四一）
□殖民政策裏面研究……金熙明（四二）

ハガキ批評
感想
挑戰
辨駁
回答

福田徳三 中澤辨次郎 澤井龍之助 細迫兼光 奥平生 今村等 津田光造 奥田貫太郎 原信行 佐根泰夫

尾崎敬止 久米萬平 須藤三郎平 淺野研眞 張龍俊 春田勝彦 加藤勘十 森本信一 大谷久治 山崎一雄

金熙明 島津一郎 加藤今二郎 山內房吉 村松信太郎 行村義雄 傘木幸盛 北野秋鳥 今村サノ 戸野元

高島米峰 茅野琢也 北澤新次郎 倉本晃南 鈴木楯夫 吉田源藏 澁川國雄 大和久雄 三和一男 倉澤康男

藤松義雄 岡部龍英 永島德次 濱口文美 室伏高信 水島三郎 柴野吉三郎 笹川健治 坪井正己 杉山元次郎

（四八）

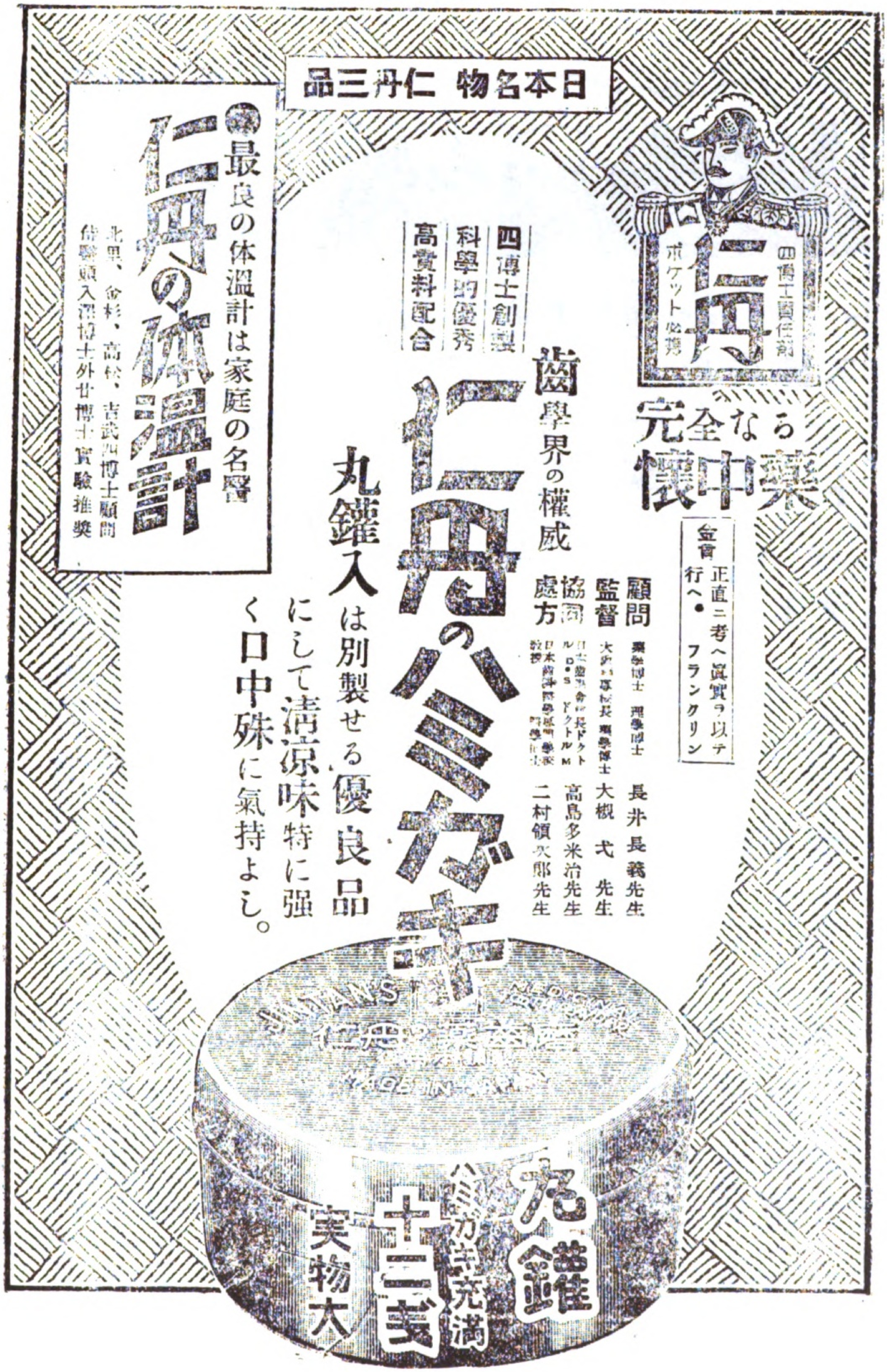
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□本年勞働代表隨員問題紛糾の內實……長尾桃郎（六〇）
□無產階級法律問答……布施辰治（六五）
□生存權の主張……星村龍（六八）
□最後の手段を採れ……北野秋鳥（七一）
□敎訓歌の變遷……鈴木楯夫（七三）
□左翼妄動者の流言に對する聲明書……中部日本農民組合（七五）
□大山郁夫氏の泣言……鈴川二郎（七六）
□根を絕つて葉を枯らせ……吉田源藏（七七）
□ゴシツプ
—或る幹部と一黨員……中村高一
—革命家の卵……藤原政二（七九）

全土戰報（八〇）

△目覺めた青年……倉本晃南
△過卷く戰塵……T・S生
△反動思想を葬れ……三木田善太郎
△斯かる輩を倒せ……北村陽之助
△吾作の辨（續）……前田泰郎
△鬪爭の戰線へ……北野秋鳥
△彼等の彈壓を見よ……木下正
△官憲糺彈の叫び……伊藤誠一
△戰線雜報……村山銀次郎
△月給取の本懷……淺井正美
△電球の爆彈……秋葉一大
△番犬征伐……川田紅葉
△此の慘虐……島野國造
△小百姓に與ふ……梅本國治
△地主を煮て食へ……伊藤己人
△鐵道從業員の活躍……岡地雅孝

□隨筆 忘れられた日記……吉田金重（九二）
□創作 失業者の熟睡……吉田婦美（九五）
□戲曲 斷末魔……行村義雄（九八）
□戲曲 ストライキ……下山利基智（一〇一）



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

第五年 ■ 進め ■ 第四號

五年を迎ふ

玆に五周年を迎ふ。顧みて吾が力の足らざりしを思ふ。而して益々奮闘せん事を誓ふ。

吾等は九千萬大衆に組織と鬪爭を促せり。以て勝利の凱歌を揚げん事を期せり。然るに、當初の豫期に反して、五年の長日月を經過せり。吾等の努力足らざりしならん。然れども幾十萬の無產階級を啓蒙指導せしことや窃かに微笑せざるを得ざるなり。

一雜誌の發行は、新社會を建設する能はざる勿論なりと雖、大衆を啓發する運動機關として、第一に雜誌を揚げざるべからず。

實に雜誌は、組織と鬪爭を敎へ、勝利へ導き、以て瀕死の無產階級をして永遠に蘇生せしむべき原動力なり。

方今、無產雜誌と稱するもの多しと雖、悉く一黨一閥の機關となり、眞に無產階級總體の指導に努むる甚だ寥々たり。而して之等皆、理論鬪爭に野心鬪爭に汲々たり。其の結果や、多年苦鬪せる同志は爭ひ傷き、結束は破れ、戰線は亂れ今日の小黨分立を生ぜり。

然るに吾等は、目標を資本主義倒壞に定め、全無產階級の結合を大聲叱呼せしことは、所謂無產階級の正道を誤らざりし所以なり。

今や、我國は反動の爛熟期に屬す。故に吾等は專ら、啓蒙運動と組織運動に全力を擧げざるべからず。

惟ふに將來の戰ひは、內外共に紛糾するならん。吾等は、敵の强大、內線の紊亂を見て益々奮はざるべからず。此の受難期を豫想して意氣愈々旺なり。

吾等は百折苦鬪、遂に勝たざるべからず、先づ握手せざるべからず、共に戰はざるべからず。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

鬪巷の語

阪本勝

細胞よいづこへ行く

昔學者は有機體が細胞から成つてゐることを發見した、人間を造る細胞の中で、頭の三角細胞が一番高貴な働きを司るものださうだ。最高最左の原理はいはゞ三角細胞である。スターソン流にいへば參謀本部だ。貯水池だ。しかしあはてゝはならぬ、三角細胞も亦、身體全部の中での一特殊細胞なのである。土臺である身體から離れた細胞は想像することは出來ぬ。

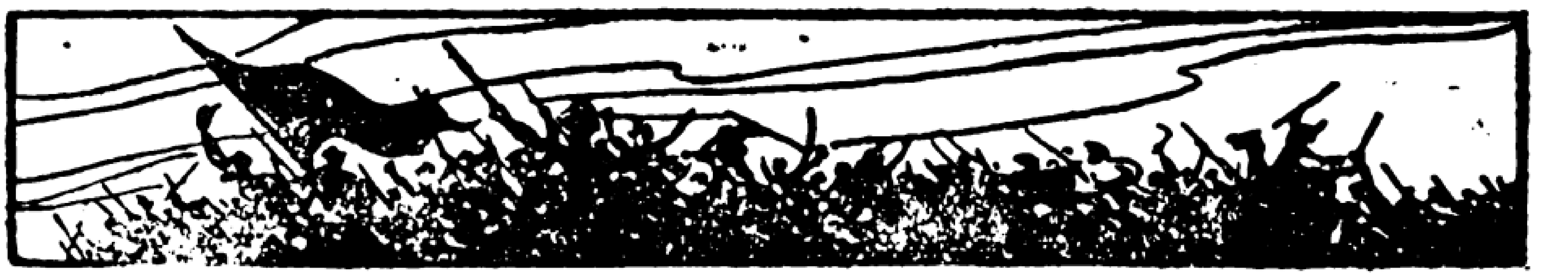
最高解放原理も亦土臺あつての原理だ。細胞だけが空中高く遊離して、大衆を「引き上げる」べき本來の立場を忘れて、自分だけが「吊り上つて」しまふ悲喜劇がそのあたりにザラにありはしまいか。細胞よいづこへ行くとは誰が言葉ぞ。

薩長聯合

日本勞農黨を薩州にたとへ、勞働農民黨を長州に比する人があるならば、なるほどと思ふ人がないでもあるまい。人の關係からいつてもいはゆる西郷好みの肌合ひの人物が日勞黨に比較的多い。奸計秘策を弄することはあまり得意ではなささうだ、全體として人物に重味がある。勞農黨には身の輕い、燒刄のにほひのデリケイトな人々が多いと見るのは僻目か。維新當時京都を輕快に走り廻つて、公卿をその手中にあやつつた桂小五郎をおもひ出す。大村益次郎、山縣狂介、井上聞多、伊藤俊輔などには勞農黨の策士の芳ひがたしかにする。幕府に致命傷を負はしたのは薩長聯合である、この聯合を完成したのは、おそらく阪本龍馬、中岡愼太郎だらう。

龍馬、愼太郎が出ないものか。日本の政治鬪爭は薩長合同によつてのみ達成せられる。色々と曲りくねりが

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



あるだらうが、日勞黨、勞農黨が結局合同するに非ずんばとても駄目だ。唯今が適當な時期ではないといふだけのことである。おもへ、この兩黨合同後の、解放戰線のすばらしい力を。

社會民衆黨をもつて何藩となす。曰く桑名二藩!

どぜう地獄

一平畫伯のお得意の話題に、どぜう地獄なるものがある。鍋に豆腐と生きたどぜうを入れて煮出すと、熱さに苦しむどぜうは、冷たい豆腐の中にもぐり込む。最後に煮上つた豆腐をあざやかに切ると、どぜうの胴切り姿が模様となる、このオペレツトをどぜう地獄といふ。

階級鬪爭が激しくなると、『自由批評』の舞臺は次第に狹少となる。批評は必らず、來る主張を持つ流派を背景としなければ不可能となつた。これは批評壇の進歩だ。然るになほ自由で氣樂な豆腐の安住地を求めて、そこへ逃げ込まうとするいはゆる文明批評家の多きことよ。

詩人晩翠頃日歌つて曰く、『世界戰ただにノルマン、エンゼルの名をなしゝのみ歐洲の秋』と。自由批評家ノルマン、エルゼルあたりが名をなした時代はすむだ。正に殺陣時代だ。然るにノルマン、エンゼルを今頃かつぐ人もある。（社會科學研究創刊號）大正八年頃だつたか、田中王堂氏は中央公論卷頭の大論文で人類解放の三大使徒としてサンタヤナあたりを隨分かついだものだ。救世主のサンタヤナは今頃どうしてござることか。とにかく世の中もかはつたものだ。ついでながらスペングラリズムなども、本氣になつて豆腐の中へまだもぐり込むつもりか。たちの惡いカリカチユアではある。

美學者の幸福

或る人が人類の中で美學者ほど幸福な人間はないといつた。色彩と線との抽象によつて來る不變の美學的原理を確定し、それをかざして、あらゆる美的作品を批評する、その美的美學論にかかつては、どんな展覧會も數分の間に片づけられてしまふ。しかしその唯一のほこりは、自分の手で作品を造らぬといふことにある。

美的に出來上つた樣な理論をかざす人々は、結局人類の中で最も幸福な人々なんだらう。曰く、あの色が惡い！この線がいけない、あの線がいけない、この色が惡い！樂な仕事ではある。定めし愉快であらうと思はれる。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「指導精神」及「指導意識」を抹殺せよ

澤井龍之助

一

現今、社會運動家及勞働組合運動家の間に頻りに『指導精神』及び『指導意識』の言葉を發見する。『指導精神』若しくは『指導意識』と云ふ『精神』又は『意識』はそれ自身既に或る支配的若しくは優越的觀念の所産である。最近、無産階級的諸雜誌を見ても凡そ此の熟語を發見しない事は稀である。

吾々は現在の資本主義經濟組織下に於て對立する所の社會階級に資本家階級と無産階級を發見する。而して其の中間階級と自惚れ、若しくは自任する所の階級に知識階級なるものを發見するのである。此の知識階級なるものは資本家社會の包藏する矛盾と錯誤に據り必然的に兩階級に分裂差別せられ行くものである事は既に自然の事實であり、現在に於ても知識階級の苦悶と焦燥の情態が益々、高調せられ行くのを見る事が出來る。

而して、此の知識階級が左する？右する？に據ると否とに拘わらず歴史的必然の勢力は知識階級なるものを無産階級に蹴落しつゝある事は否む事が出來ない。而かも既に知識階級と稱する所の人々は無産階級の社會的水草に投入して新らしく續々と社會主義的世界觀を抱持して共に社會運動を實行しつゝあるのである。

然し乍ら、知識階級なるものは、それ自らの觀念、又は意識の中に如何しても拔け切らない或るものを持つて居る。それは何であるかと云ふに知識階級特有の優越觀と云ふ奴だ。そしてそれは何處の時と場所とを問わず出て來る厄介な代物なのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二

今や吾國に於ては無産政黨運動と云ふ問題が喧ましく云われて居る。而して無産政黨の黨首又は幹部とか指導者の間に『指導精神』若しくは『指導意識』と云ふ様な言葉が頻りに出て來るのである。吾々が社會主義的世界觀と精神を持つて無産階級と共に仇敵ブルジョアジーに向ふ時、其處には何等の水くさい觀念又は感情は拂拭せられてゐなければならない筈である。然るに何ぞや、現今の無産政黨運動に當つて居る人々は何日の間にか此の、無産階級同志の麗はしい精神を拋棄し忘却して『指導原理』だの『指導精神』だのと寧ろ無産階級よりも遙かに掛け離れた階級？若しくは群に身を措く所のものである如き口吻を漏らして居るのだ？此の『意識』は無産階級それ自からの階級に身を措く所の人々から見れば明らかに一個の支配的に映發する。此の事實は先頃、新聞に報じてあつた所の『露西亞官吏の官僚化を惧る』？なる標題の下に勞農露國の最高幹部たる所の人々が變へて居るのに徴しても判り得る事である。而かも此の勞農露西亞の最高幹部なる人々が今更に云ふ迄もなく、彼等自身、最早明らかに官僚化して居るものと云はなければならない。即ち、勞農露西亞の巨頭若しくは指導者達は既に官僚ボルセヰズムの信奉者となり切つて居るのだ。それが比較的個人主義的自由主義國である露西亞に於て既に然りとせば、況んや吾國の如き形式的官僚主義國であるに於ては尚更酷いと云はねばならぬ。否、既にして無産政黨運動を行つて居る者の間にさへ『俺は何々部長である』とか『未來は日本の文部大臣である』とかの如き口吻を聞くに於ては寧ろ其の心情のさもしさ、憫まずには居られない。此の心情の所有者に最も多い連中は私稱日本共産黨の手合である。近頃、『賣出し中』とかで——最早やスタりかけては居るが——福本某とかの一派の連中に『如何に大衆を獲得すべきか？』の如き愚劣にして而かもマルクス辨證法の盲拜者流に聞くが如き言語を發して居るが斯くの如きは最早や到底、助かる見込のない『指導意識』の傳染患者である。コンナ連中に無産大衆が彼等の思ふ樣に『獲得』されては堪らない。彼等は其の精神に於て最早やプロレタリア的精神の何者をも所持して居らない事を證明して居るに過ぎないのだ。而かも、それ自身は左翼悲壯感に據つて『右傾』の『反動』のとセンチメンタルな悲鳴を昂げて居るのだ。

三

今を去る七八年前、思へば年號革まりうたた昔日の如き感じがせぬでもないが、一時『指導者排斥』の聲が昂り、知識階級出の社會勞働運動家を戰慄せしめた時代があつた。それも今はうたかたの夢の如き問題にされて了つたが、吾々は是れ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

を以つて直ちに此の問題の終局と見る事が出來ない。今や、日本無産階級は經濟的にも政治的にも資本家階級に向つて總攻擊に轉じつゝある。而して政黨運動家等は「如何にして大衆を獲得すべきか」に吸々たる有樣である。更に又「大衆を如何に指導すべきか」が問題にされて居る。吾々は斯くの如きブルジョア、イデオロギーの所產たる「精神」と「意識」を拋棄しなければならない。何故なれば吾々自身既に大衆の一人でなければならない。然るに何ぞや、「大衆」をば一個の革命の道具の如き觀念を持して已の文化的野心の支配下に置こうとするが如き意識若しくは、事實があれば吾等は斷乎として排擊しなければならぬ。

是を文藝方面に於て見る時「大衆の自然發生的表現より目的意識の把持」とか云ふ如き評論を見る事があるが、是も文學を同樣に「指導精神」の下に一律に置こうとするものであらねばならぬ。要するに文藝戰線一派の唱へる文藝運動とは文藝の分野に於ける指導運動と云ふ事になるのだ。

然して、是を要するに現在の政治運動なる鬪爭過程は只だ單に「大衆の指導」云々が問題となつて居るに過ぎない。吾々は此處に一昔以前の精神に歸る必要を痛感する。それは誰か震災以前の「無產階級の政治運動へ」の方向轉換が叫ばれだした頃であつた。現在の政黨運動否、代議士病にかゝつて居る輩は苦笑するかも知れないが、其の當時の政治運動の實行者即ち代議士なるものは單なる「無產階級の代表者―若しくは小使―に過ぎない」ものであると述べて居た人があつた。否それは寧ろ、政治運動を高唱する指導者の連中に於てであつた樣に考へられる。然るに何ぞや、現在の政治運動を行つて居る人々を見るに最早や、一かどの代議士――もいゝが其の背廣意識が癪だ――にでもなつた心算で居る先生方があるではないか。彼等の「精神」及「意識」を分析解剖すると「實は社會主義社會は如何でもいゝ、自分の寫眞と名前さへ新聞に出て吳れればいゝ」てな「意識」が見へ透いて居る樣だ。是れが無產階級の「指導精神」であり、「指導意識」でなければ幸ひであるが如何やらソノ邊のものらしいではないだらうか。

乃ち吾等は一切の「指導精神」と「指導意識」を排斥し抹殺せしめなければならぬ。從つて指導者なんて勞働階級中の特權階級をも一掃しなければならない。此處に於て吾等は社會主義的世界觀共產主義的信念を把持する前に不屈不拔のプロレタリア精神を確くしつかと把持しなければならないのである。是れ無くして如何に社會運動を行ふ共、如何に資本家社會を崩壞さす共、又若し、共產主義社會を實現する事が出來得たとしても遂にそれは官僚ボルセキズムの先蹤を追ふものに終る事は明瞭である。

「プロレタリア精神の把持」これは何を意味するか。吾等は知る一切の殘滓的ブルジョア觀念の絕滅であると。（完）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

戴天仇氏に寄す

土田杏村

戴天仇足下

貴下が支那革命の現勢を報告し其れに對する日本朝野の諒解を得んが爲め、我國へ來られた事を私は歡迎します。私は日本に居て支那の革命を傍觀して居るに過ぎませんが、支那革命の進行に對しては甚大の同情を持ち、其れの達成を切願して居るものです。蓋し支那は、今日の狀勢として、如何にしても革命側の勝利の歸結に達しないではならないものだと私は信じて居るからです。支那に就いて革命の勝利を切願するといへば日本では其の見方を直ちに危險視して、然らば日本に就いても同樣の革命を力說するものかと見るのが常でありますが、私の考へでは支那革命の成功は日本の資本主義者に對しても等しく利益となる事であるから、日本の革命とは全く無關係に、日本人は支那の革命の成功を祈つてよいと思ふのです私は貴下が崇敬せられて居る孫中山先生を等しく崇敬いたします、其の學說は折衷的であり、獨創的な統一を缺いで居るとは思ひますが中山先生の革命に對するあの一貫した情熱と至誠とは、永遠に我々によい模範を示してくれたものだと思ひます。『中山叢書』を讀んで私は常に感激せしめられるものです。私はなほ昨秋『日本支那現代思想研究』なる一書を公刊し、其中で支那最近の思想界を論述し、併せて支那の將來に就いての私の意見を開陳して置きました。本年新年號の『大阪時事新報』では、日本と支那との提携する方法に就いて私說の幾分を公表しました。支那に對して私の懷抱して居る思想は其中で大畧述べて居りますから其れで御承知を願ひます。なほ右論文揭載の『大阪時事』紙は廣東政府の中心的活動者にお送りしようと思つて數部を手許に殘してあります。當時支那の友人に問合せましたら、諸氏は皆多忙で住所も一定しないといふ事でしたから、お送りするのを一時取り止めて居た次第です。

貴下が門司へお着きになられた事を聞いた時に、私は早速貴下に幾分の助言を呈したいと思つて居ました。京都を通過せ

られる時に、此の助言を貴下へ致すのが最も適當だと思つて居ましたが、當時停車場での警戒が嚴重だといふ事を聞いて居たので、其の機會を後に讓り、貴下をお迎へ致しませんでした。今此の書信を以て私の意のある處を貴下にお傳へしたいと思ひます。

此の助言は、先きに中山先生が神戸へ來られた時に私の痛切に感じて居た處でありました。其時私は直ちに其事を新聞紙上で書かうと思つて居たのでしたが、中山先生は直ちに北京へ去られたので、其の意を果さずに終りました。今其の時の感想を其儘述べようと思ふのです。其れは、「折角日本へ來られた中山先生が、何故日本の新興階級、新思想家、新社會運動者に其の最後の御意見を開陳せられなかつたか」といふ事です。今私は貴下に對して其と同樣の助言を致したいと思ひます。中山先生が病篤きを自覺せられ、最後に日本を訪問せられたものとしては、あの神戸での數日間は誠に感銘の薄かつたものだと思ひます。私は中山先生があの危篤の病軀を以て最後に日本を訪問せられたお心を察し今なほ悲痛の感じを持ちます。北京へ行かれる間も無くにとう〳〵病死せられたといふ電報を見た時、私の心は暗然たるものでありました。其れにしては感銘の薄い神戸の數日間ではありませんか。中山先生は、あの時相變らず日本の所謂支那浪人や官界の有力者と會談せられ其等の人達に支那の將來を依賴して行かれましたが、あの時中山先生は何故日本の新思想家、新社會運動者を招致せられませんでしたか。其時新聞の報道する處によれば、日本の所謂支那浪人の一巨頭は、中山先生に問ふに、革命支那は何故過激主義と提携するかを以てし、中山先生は其れに對し詳密に說明せられたといふ事でありました。遺憾ながら中山先生の既知であつた日本の有力者は、概ね日本に於ける反動思想家であるのです。其の人達に對して、今支那革命の新らしい進路を說明する事は徒勞といふものでせう。

中山先生を始め貴下は、支那に就いては新狀勢を取らうとしながら、日本へ來られては、日本の舊勢力と結合せられようとするのは何といふ矛盾でありませうか。貴下等は其點で餘りにも日本の現勢に就き無識では無いでせうか。今や革命支那は日本の所謂支那浪人に依賴すべきものでもなければ、舊勢力が代表する政治家實業家に諒解を求むべきものでもありません。貴下等は專ら日本の新興階級と提携すべきであります。そして何よりも先きに、今日の日本は、舊勢力に愛想をつかして了ひ新興階級に非常な信望の置かれて居る時である事を知らるべきであります。支那革命の進行に對して貴下等が近視的であつてならないと同樣に、日本の現狀に對する貴下等の觀測も亦近視的であつてはなりません。もう直きに普選が實施せられますが、其の結果は議會にも勢力の大いなる變動となつて現はれませう。貴下等は今後益々日本の新興階級と提携すべき狀勢を迎へる事となるのであります。私は中山先生があの最後の日本訪問に於いて何故日本の新興階級に呼びかけなかつ

たかを今日なほ深い遺憾とします。随つてせめては貴下が此失敗を再びしない事を切望するものです。

ここに貴下に一策を献じますならば、貴下は個人的に各方面の諒解を求められるだけでは無く、東京及び大阪に於いて一夕我國の新思想家、新文藝家、新社會運動者を招致せられ、其の席上に於いて支那革命の意義を詳密に披瀝せられ、更に其等の人達の忌憚無き質問と批評とを受けられるが、足下の使命を果される上に於いて最も有力では無いかと思ふのです。勿論此れは一策に過ぎません。日本朝野の諒解を得るために貴下の處せられる一般方針は、前に述べた如くである事を、私は革命支那の爲めに、また新興日本のために貴下に切望致します。ここに取りあへず「進め」誌上に於いて此の書信を公開致し此の書信を直接に貴下へ發送する事に換へたいと思ひます。

奇怪な運動

——共産黨を評す——

佐藤護郎

今手許に三枚の宣傳ビラがある。内二枚は市電自治會の名を以て發行された京濱電鐵爭議に關するもの、今一枚は評議會を脫退した聲明書で、東京北部勞働聯合會の名を以てされてゐる。

市電自治會は最近になつて、殆んどこうした文書は共産黨の手に依つて作成されてゐる情報を傳へきくのであるが、今との二枚のビラの内容をのぞき見るに、その噂さは確實なものであると思ふ裏書をなしてゐる。先づその「郊外電鐵のゼネラル怠業に就いて一般居住民諸君に訴ふ」といふビラの一端をのぞけば「即ち居住民に對して乘車賃銀の高いこと、車體が皆ボロ電車であること、軌道の不完全、少數の車體運轉による收入增加の政策はラツシユアワーの滿員、從つて各種事故の續發、日夜停留場の雜沓による時間の遲延、かく市民諸君の受ける危險不便、不快は諸君の日常痛切に體驗せられてゐることであらう」「こゝに於てか沿線住民の蒙る損害、壓迫には單に沿線一個の會社の問題とし、對立としての決して解決し得るものではない、それは實に各郊外電鐵トラストの獨占的經營これを操る金融寡頭政治、專制的支配に對する一般的搾取、被壓迫階級の反抗として取扱はなければならぬ」「今後諸君と共に不斷になすべき幾多の問題が殘されてゐる——失業

反對運動は、反動ブルジョアに對する抗爭に……」といふ事である。

このビラの文句を通じて、先づ最初に氣づくのは、爭議中、しかも、直接利害關係を持たない沿線一般の人の同情を求め樣とするに適してゐるかといふ點である。この點では殆んどゼロである。そして次に疑問とする點は、何故にこんなむづかしい事を言はねばならぬか、といふ點である。はたして沿線住民の中にこの一枚のビラに書かれた字句の意味を眞に理解する人は幾人あると思ふか。更に沿線住民は常識的にこの內容を受入るや否や、恐らくは氣狂じみた革命患者として取扱ふに終るであらう。却つて反感を買はせる以外の效力はない。すべて、爭議に對する同情は、常識的感情の中からのみ湧き出でるものである。況んや資本主義社會の中に住む一般の人々に「被壓迫階級の反抗として取扱はなければならぬ」等と言ふが如きは、目前の重大なる爭議といふ問題を一切忘れたところの、氣狂共の盲言としか思はれぬ。

同じく、市電自治會發行の休戰宣言に曰く。

「今日にせる鬪爭は明日なすであらう所の、鬪爭のよりよい訓練、成熟發展となるのでなければならぬ」

然らば彼等は、問題の目的として起つた爭議の問題はどうあつてもよいといふのか。「我々の鬪爭は殘されてゐる。全無產階級的政治鬪爭への躍進、これこそ我々の眞に鬪ひ取るべきものがある。この戰の爲にその試練、執拗なる日常鬪爭こそこの準備の故に我等は今こゝに休戰する」。

といふのが一貫した休戰理由である。この理由の中には、恐らくは如何にして今回の爭議が起されたか、如何なる經濟利害の重要問題があるか、を一切說明なしに、たゞ如何に爭議を利用すべきかの、革命患者の狂語が露骨に出されてある。而して爭議を眞實に知り、これに參加する勞働者の利益を如何に擁護し、如何に獲得しやうか、を思へば淋しき彼等の革命病政策を罵らずにゐられない。

最後に殘された評議會脫退のビラはよくこの危險な點を指摘してゐる。

「昨年末幹部(評議會幹部——共產黨は)專橫にも獨斷で、評議會に加入してゐる全國の工場分會に對して保險料の全額負擔を要求して直ちに罷工に移れ、若しその要求が直ちに入れられた場合は要求を追加しても、なほ罷工に移れといふ命令書を發したり、或は人を派して命令を傳へたのである。この時に於ける幹部の考へは、勞働者の當面の利害はどうでもよい。只だ罷工を起しさへすればよい。それが第一段の策であつて第二段の策は、罷工者を全般的に動員して大大民衆運動化せしめんとすることがあつた。この氣狂ひじみた輕率な幹部の命令に從つた數ケ所の工場分會は、殆んど慘敗し一般會員は歲の暮を控へて貧のドン底に泣き、幾十人かの組合員は投獄された、反對に保險料の問題で勞働者側に有利な條件を貫徹したとこ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ろは、凡て、幹部の命令に服せずして適當な行動をとつたところであつた」。これは、當時評議會の中にあつて、その統制に動員した人口の眞の告白である。これで彼等の爭議政策が明かになつた事と思ふ。

次にこのビラの中には、彼等の生活費のことを言つてゐる。「評議會の幹部の中で、工場に働いてゐないし、組合の有給でもない者や、或は少額の有給者等が、工場に働いてゐる者の及びもつかない生活旅行をしてゐる連中が多數ゐる」。こうした連中の生活費旅行費等はいつも、親兄弟からせびるのではあるまい。然しその金の出所はいづれにもせよ「金」を一つの鎖りとして、政黨を結んでゐることは明かである。「金」の鎖りに依て結ばれたところには必ず墮落がある。醜事がある。資本家の金で結合する總同盟のダラク幹部と理論や政策を異にしてゐても、金の點に於ては、同じくダラク幹部の名を逃れることは出來ない。彼等はレニンの謂ふ職業的革命家と自惚れてゐるが、それはむしろ、賤しき商賣的革命家の類である。社會的發展の過程に於て、無産勞働者階級は如何なる生活過程を經なければならぬか?、がむしろ重大なる問題である。社會主義發展過程に於ける、勞働運動者乃至社會運動者はこの點を無視して、健實なる社會の進展を劃することは出來得ない。この問題は單なる常識的問題のみではなく、實に、無産階級的社會政策に依存するものである。

社會の發展に關する、無産階級の役割をみる時、更にその役割を演ずる無産者の發展內的勢力傾向は、常に無産者相互の常識と、無産者相互の藝術的素養が第一次決定條件として、みなければならぬ。そしてこれ等の交互內的勢力の中にあつて、理論はよくその中心を握つてこそ、理論の實際的價値が評價せられて行くものである。過去の歷史に於てアナキズム、サンヂカリズム、ギルドソシアリズム、キリスト敎ソシアリズム、コンミュニズム、國家ソシアリズム等々の、理論的鬪爭が盛んに演ぜられ來つたが、嘗つてこれ等の理論が、實際運動を征服し終つた事實はない。併しこれ等の理論が相當實際の社會發展傾向を吸引して來たことはある。それは理論が社會の發展傾向を吸引して來たのではなく、よく、當時の無産階級の常識的藝術的勢力に投合し來つたものである。從つて常識的、藝術的勢力を決定する生活關係を、社會發展の過程に於て無視することは出來ない。

共産黨革命狂患者の矛盾はこゝにある。福本和夫の理論鬪爭を以つて鬪取獲得すべしとする彼等の所書は、憐むべきであるが、それより、彼等の犧牲となつて飢えに泣く一般勞働者は更に慘めなものである。組合を信じ、組合の力を是として生活を維持、保護仕樣とする勞働者は、あたら彼等の革命狂患者の理論に葬られて泣寢入るのである。この筆法で社會××をものしやう等はあまり虫のよすぎる考へ方である。隨つてこの無理をつなぎ行くものは、きたなき「出所不明の黃金」となつて現はれ來るのである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全日本農民組合の結成

日本農民組合分裂後、堅實同盟なる名の下に其の基礎工事を急ぎつゝあつた三宅、須永、淺沼の諸氏は、全日本農民組合なる名を以つて去る三月一日大阪に於いて華々しく其の第一聲を擧げた。

此の組合の幹部諸氏は、嘗つて、日本農民組合より除名された時、反動幹部又は、解放運動の攪亂者なる名稱を附せられたが、吾々は斷じて此の言葉の當つてゐない事を明言する。日本農民組合のオツチヨコチヨイ共、即ち若手の農民運動者が他に對して、反動だとか、攪亂者だとかの社會運動家にとつて、致命的な罵言を發する等と云ふ事は潛越、自らを知らざる甚だしきものであると云はねばならない。一組合を死守する事が、解放運動に忠實なることであるか、土を離れ、紊亂の極に達せる組合を脱退して新たに組合を組織することが、運動に忠實なるものであるか、そは問はずして明かな所である。日本農民組合は其の指導者の無智、陰險、悪辣なる内部的矛盾に依つて、今や正に崩壞の過程を辿りつゝある。此の崩壞の危險を先見して、同組合を勇退した前記の諸氏こそ寧ろ社會運動家として、最も烱眼の士であると云はねばならぬ。

吾々は昨年來、杉山元二郎氏が日本農民組合長たりし時氏が共産黨一派に禍されんとしつゝある事を警しめた。然るに氏は、本年三月に至つて漸やく其の眞實なる事を悟り、翻然として日本農民組合を脱退し、前途洋々たる全日本農民組合へ來り參じた事は氏の爲め、多大の祝意を表したい。杉山氏は全日本農民組合へ加盟した事に依つて、蘇生した樣なものである。氏よ、健在なれ、而して今後全日本農民組合の爲め、曩の日本農民組合長時代に於けるが如き努力を惜しまれざらん事を望む。斯くする事は氏が蘇生への

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

道を辿る事を意味する。日本農民組合は杉山氏を失つた事に依つて、大動揺を來すであらう。既に今日氏の人格を慕つて全日本へ加盟を申込む組合の相踵ぎつゝある事は日本農民組合の大打撃である。共産黨一派に攪亂されたる日本農民組合は斯くして自ら最後の弔鐘をつくであらう。

それに引き換へ、全日本農民組合の前途は曉の如き輝かしきものである。幸ひにして、組合長杉山氏を始め、其他の幹部諸氏の健闘あらん事を祈る。

既成政黨の醜體

昨日迄、兩虎相搏つと云ふ樣な猛烈な爭ひを續けてゐた憲政會と政友本黨とが、俄然提携して憲本合同と云ふものが出來上がつた。吾々が今茲に、腐敗墮落の極に達せる既成政黨者流の醜陋を摘發して、今更らの樣に彼等を嘲笑せんとするものではない。要は、彼等に依つて支配されつゝある國民に、既成黨政の斷じて賴むに足らざる事を訴へたいのである。

彼等の爭ひたるや、主義主張の爭ではなく、政治を一種の、玩具視して、之れに親しみ、あはよくば、政權を掌握して、自らの優越を誇らんが爲めの爭ひである。而して彼等の心中を支配してゐる所のものは、實にブルジョア階級の利益擁護であり、プロレタリア階級搾取の方法如何である。それは敢えて憲政會たると政友本黨たるとを問はない。政友會然り！實業同志會然り！其他一切の既成ブルジョア政黨の凡てが無産階級に取つて、何等の利益にもならない事は、言はずもがなである。

吾等は、今年こそは解散となつて普選による選擧が行はれるであらうと信じてゐた。然るに彼等は、擡頭せる無産階級の政治的萠芽を恐れて、遂に三派妥協なるものに依つて解散を回避し、自らの生命を一年延ばしたではないか。即ち彼等は無産階級をして、政治に參與せしめたくないと云ふ心底を明かに曝露したのである。即ち國民は知る。彼等の代表するものは、斷じて無産階級にあらざる事を。

今回の憲本合同は、一に目前の利益を獲得せんが爲めにした合同であることは勿論である。彼等自らの欲する法案を多數決に依つて可決せしめる爲めの合同である事は明かだ。目前の利益獲得の爲めに易々として合同する、これ政權慾盲者の野合でなくて何である。

民衆は、最早何日迄も、腐敗せる彼等既成政黨者派に凡てを依屬すべきではない。無産階級は無産階級の政黨に依つて自らの利益の保護、獲得に向つて進出すべきである。

出版法案を葬れ

言論の壓迫、自由の抑壓を以つて世界に冠たる東洋の法

治國は今期議會に、又亦言論彈壓令たる出版法を提出した。今日の新聞紙法及び出版法に依つてすら既に、恐るべき壓迫振りを示しつゝある現政府にして此の新法案を適用せんか、そこには實に怖るべき言論の封鎖時代を現出するであらう。

法案の骨子たる、保證金、名義人、屆出等々其の內容を仔細に分析すれば、是れ悉く言論の封鎖法令にあらずして何ぞ。此の法案は既にブルジョア新聞、雜誌社に於いてすら、一齊に非難、反對しつゝあるのを見ても如何に其の內容の苛酷なものであるかは明瞭である。況んや、吾々無產階級に取つては、實に、緘口令であると見るも斷じて誤りのないものである。

全國の無產階級は、言論の封鎖緘口令、出版法案を一蹴せよ。

日本共產黨の滅裂

組合の撹亂、團體の乘取りを以つて、澎湃たる天下の指彈を受けつゝある日本共產黨は彼の唯物的辨證法福本和夫の出現に依つて正に四分五裂に滅裂しつゝある。

福本が例の辨證的論法で以つて盛んに山川をコキ下ろし始めたので、今迄山川を唯一無二の指導理論家と思つてゐた共產黨、評議會の無智蒙昧なる誤連中は、據に福本を崇拜し出した。而して山川を省みやうともせず、福本の方へ馳せ參ずる者は續々出てきた。彼れ福本は、山川の多年、苦心獲得せる地盤を蠶食し山川を完膚なき迄に蹴散し、自ら、日本に於ける社會運動の代表的指導理論家を以つて任じ、雜誌マルクス主義を橫領して、怪しけな、堂々？たる論陣を張つてゐる。

加ふるに、佐野學が無產者新聞を體よく福本一派に橫領され、今では社員中殆んど、佐野を省みる者がなくなつてゐる。田所輝明の如き、今日では既に勞農黨から日本勞農黨へ鞍替して、日勞の爲めに奮戰しつゝある。

其の組織の曖昧、出所不明の黃金、連絡の不統一なる日本共產黨の今日あるは、何人も期してゐた所である。今後尚分裂するであらう事は確かである。評議會は早くも一部より崩壞し始めた。その證據は過日の金屬勞働の評議會脫退によつて證明される。評議會に屬してゐた金屬勞働は猛烈なる、共產黨攻擊を開始して斷然評議會を脫退したのである。

四分五裂に瀕せる日本共產黨！汝そも何する者ぞ！社會運動の撹亂者！速かに去れ！

日本農民總同盟生る

日本勞働總同盟が社會民衆黨を全階級的なものたらしめ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

やうとして、農民をも加盟せしめやうと日本農民總同盟を組織した。社會民衆黨に其の持つ所の自由主義的色彩をブルジョア政治勢力の上へ彩らんとしてゐるのであるが、眞に鬪爭意識を持つた無産階級は、果して社會民衆黨に滿足するであらうか。否斷じて否と云ふの外ない。が幸ひに農民を糾合して、社會民衆黨を勞農相團結した大政黨たらしめられん事を望む。

而して他の團體から同じ名稱を用ひるのは階級道徳を無視するものであると云ふが如き抗議を申込まるゝ樣な拙劣な事は、注意せらるべきである。

無産雜誌の使命

無産階級の鬪爭は日常目前の問題凡てを摑まへて鬪ふものである。而して實際運動に、言論に、其他一切の機會及び機關に依つてブルジョア階級と抗爭せなければならない。

近時、無産階級の雜誌、新聞は著るしく増加した。運動の進展を表象する意味に於いて最も喜ぶべき事でなければならぬ。然るに、之等の新聞、雜誌は、悉く評論的なもののみを登載し、一般無産階級啓蒙運動に殆んど役立たないものばかりであると云つても誤りではなからう。勿論、一團體の機關紙は其の團體たけの用を達すれば足りるだらうが、一般無産階級を相手にすべき新聞、雜誌は、今日殆んどない。一部の智識階級相手の雜誌はあるが、一般無産大衆に讀ますべきものゝないといふ事は、日本の社會運動界に於ける大なる缺點である。而して此の事は、從來、何人も痛感してゐる所である。痛感しながらも其れが實現の出來なかつたのは、果して何に原因するであらうか。吾々は云ふ、從來の社會運動家は、少し自分の名前が知られ出すと直ちに名士振つて、判らない樣な理屈を振り廻して得意になつてゐた爲であると。即ち今日迄、凡ゆる新聞、雜誌には、隨分多くの迷論卓説が發表されたが、其の殆んど全部が書いた當人ですら充分判つてゐない樣な、六ツカ敷い理屈のみ書き並らねてある。

吾々は無産大衆を啓蒙する理論を、新聞、雜誌に載せんことを、全國の無産雜誌社に從慂する。新聞、雜誌の使命は、第一、啓蒙にあるのだ。理論鬪爭は第二乃至は第三の任務に屬してゐるのだ。

戴天仇來

北伐軍から日本の諒解を得るが爲に、天仇戴傳賢が來た。そして各方面に、奔走してゐる。が未だ吾が無産階級には、何の交渉もない。彼は無産階級を以つて結成する支那北伐軍の使節であらうか。

吾等は嘗つて、上海に於て、彼に面會した時、トルスト

イを以て社會主義者と云つた位であるから階級的觀念や、社會思想は毫もないものだと思はれる。

第一革命、第二革命に於ても、支那浪人と稱する腰拔け無頼漢と酒色に耽溺してゐた位であるから、革命家的素質を少しも持つてゐない。日本の新聞記者は彼を以つて國民黨の右傾派だと云つてゐるが、吾々の見る所によれば、右傾でも何でもなく、憲政會邊りの小策士に過ぎない。日本に來て、今回の行動を見ると、官邊に出入し、又支那浪人と稱する遊蕩兒と會合してゐる位では、吾々は啞然たらざるを得ない。彼抑々何の爲に日本に來りしや。中國無産階級の青血の結晶たる黄金を、日本に於いて酒色に費さんが爲に來るものにあらずして何ぞや。吾人は、支那北伐軍の爲に惜しむ。

目的意識の錯亂性

文藝戰線社同人に依つて高唱され出した、所謂目的意識とは何ぞや。吾々は、彼等文士連中の潜越と無智、錯亂と蒙昧を玆に剔抉し、以つて彼等に頂門の一針を與へんとする。

彼等の所謂、「自然生長と目的意識」とは要するに無産階級の實際の生活と恐ろしく、掛け離れた天上より無産階級解放の眞理を無産階級の頭上に叩きつけんとする。如何に無産派と雖、文學である以上は、無産階級解放運動上、絶對的に何等の役目をも演じない事を斷言する。文學者とは何ぞ！ 夫れ、自らの作品を眺めて自らの發表心を滿足せしめ、自らの名前が活字になるのを意識して喜こんでゐる至極單純な輩のみである。而して、時には、淫蕩的な作品に依つて人間の好奇心を惹き寄せ、下らない三文文學に陶醉してゐる徒輩のみである。極言すれば男女の戀愛事件のみに留意してゐる一種の不良老年乃至は中、青年のみである。

然るに斯る輩が、所謂、文學を以つて無産階級運動の一舞臺とせよの、文學は政治鬪爭へ進展する一ッの道程をつくらねばならぬだのと云ひ出されては、鼻持ちならぬ程、擽つたい感じがする。

彼等は云ふ、既成文學は、ブルジョア階級の弄さみ物であつて、プロレタリア文學は、プロレタリア階級の意志發表の道具であると。大いに然り！たゞそれだけである。プロレタリア文學に限らず、それは何の文學にした所で、文學は一ッの道樂乃至は、閑つぶしに弄んで良い所のものである。それが、文學に依つて無産階級を啓蒙するの、鬪爭へ導くのと言ふに至つては、彼等の無智蒙昧振りに啞然として口が塞がらない次第である。

而して彼等は云ふ、プロ文學者は、社會主義的作品を作くる前に、先づ、社會主義者でなければならないと。如何にも御尤もの様に聞こえる。然し、社會主義者にして、文學を志ざす様な者は、假令あつたとしても、それは極めて

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

稀れである。若しありとすれば、それは、社會主義者ではなく、社會主義を弄んで、乃至は道具や看板にして、自己の作品を天下に發表せんとする野心家か、破廉恥漢である。眞の社會主義者に文學等を志ざす樣な不心得者はゐない筈だ。眞の社會主義者は文學よりも、もつと重大な職分を與へられてゐる筈であるからだ。即ち實際運動の眞ツ唯中へ突入して與る筈である。文壇等と云ふ象爪の塔へ引込んで下らない小說のみを作つて、悅こんでゐる筈はないではないか。

彼等は巧に云ふ。レーニンは大衆の自然生長性には一定の局限があると信じてゐる。大衆の自然生長性は、文學運動による社會主義的目的意識を注入することに依つて行はると。咄！此の低頭兒！無產大衆は文學に依つて社會主義を知らうとするものではない。文學運動の、社會主義的目的意識の、大衆の自然成長性のと、潛越極まる世迷ひ言を並べて獨り、悅こんでゐる低頭兒！速かに影を沒せよ！文學何ぞ社會××の用を爲さんや。錯亂した目的意識の盲者を葬れ！

不平等條約破棄

支那に於ける各國帝國主義の侵略は、最も露骨を極め、支那の無產階級は、經濟的に、法律的に、又社會的に、人道的に各國人に虐待されつゝある。中國の有產階級は、黃金の力に依つて、之を避くることが出來るが、無產階級は奴隸以上に、酷使されてゐるのである。

吾等は、中國の土を踏むや、最初に、之れを見て、帝國主義の、暴虐を憤慨せざる事はなかつた。

昨年、國民軍の南方を取るに及んで、漢口に於て、兵力を以つて之れを恢復したのは、近來にない痛快事と思つた。

吾が日本に於ても、維新前より不平等條約を締結せられて居つて、漸く明治二十七年に至つて、外國恐怖病者大隅重信に爆彈を投じて漸く、之れを破つた位で、今支那國民が、國を擧げて此の破棄に努むるのは、強ち、社會主義者に非ずとも、日本人は了解の出來る事である。

英國が出兵しても北伐軍の前に戰ふ勇氣がない。唯諸外國に對して、體面を維持するが爲めに止まり、其の効力はない。英の帝國主義や、支那に於ては、何の力も無くなつた。中國民は尚も英國に對すると同樣に、上海、天津、靑島、香港等を恢復して政治的に、確保するであらう。

國民軍の目標は、租借地の恢復等は其の烽火に止まつて無產階級の樂園を目がけて突進しつゝあるのである。

中國の無產階級の擡頭は、暫て印度無產階級の蹶起となり、政治的、經濟的、社會的に自己を解放し、進んで世界××の前提となるであらう。

故に我が日本の無產階級は、中國無產階級の爲め、多大の援助をしなくてはならぬ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

研究

福田博士と高畠君とに御答へする

向　軍治

今日迄、日本の社會運動家の殆んど全部は高畠素之氏の飜譯にかゝるマルクス資本論は、原文と大差ない程の完全に近いものと信頼し切つてゐた。而して同志の全部は、高畠氏の偉大なる苦心と努力とに對し多大の敬意を拂つてゐた。然るに、日本に於ける語學の泰斗、慶大教授向軍治氏に依つて、吾々の信頼は根底より覆へされた。即ち氏は、高畠氏の飜譯には甚だしき誤謬のあることを本論に於いて指摘されてゐる。本論は正しく日本の社會運動外に、轟々たる輿論を捲き起こさねば止まぬであらう。御本稿は、氏の御多忙中、特に御執筆を御願ひしたものであるが、來月號にも續稿を御寄せ下さる筈である。

——(編輯子)——

文部省は教育の行政事務を取扱ふべき處で教育全體を掌るべき者ではない。其文部省が教育宗教の事に全部容喙しやうとするのは大變な間違ひである。然るに無智な國民は文部省の此の言語道斷の態度を少しも怪まない。全く世が手になつたのである。無學な俗吏が學問の上にまで勢力を擅る樣になつたから我國の學問が恐ろしく退歩した。博士だとか大學教授だとか謂へばエラ相に聞こえるが、其實殆んど皆テンプラ式である。今日の低級の學者皮相の學問は皆文部省主宰の惡教育の結果である。

例へば此說の文士と稱する人で本當の文章の書ける者は殆んど一人もない。是れ文部省が一知半解の智識を根據にして國語教育を誤つたからである。漢字は廢すべきものである。併し漢學に依て養成した文章に關する智識と道義的觀念とは取替のない寶物であつた。此兩者の滅亡は國家の滅亡であることを我輩四十年來論じて居る。言文一致を唱導しローマ字を鼓吹すると同時に、和漢文の大事なことを盛んに論じたのである。愚昧な文部省は覺醒しなかつた。世間が今日の如く文章の上に於て道義の上に於て支離滅裂

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

救ふべからざる狀態に陷ることを明治二十四年ト明治三十年代とに盛んに論じた。今日は予の豫言が盡く適中して居る。

此頃放送でも流行して居る童話と云ふ者がある。例外が無いとは謂はないが童話を受持つ文士大低は國語も知らなければ話の術も心得て居ない。惡教育に依て低級になつた讀人聽人と云ふのが話人の上手下手の區別が出來ない。諧謔でも混ぜさへすれば上手な話人と云ふ事になつて居る。聽く耳を持つた人が聽いて居ると其諧謔が話の打壞になるのを大低の聽衆が其諧謔を歡迎して居る。十年計り前に某講談師（本職の講談師）にローマ字會で講談を頼んだ事がある。予が先づ其講談師に其會合の目的が聽衆に話の筋を聽かせるのでなくて講談師の巧妙な言葉遣を味はせる處に在ることを注意して置いた。すると其講談師先生固くなつて了つて、中途で口を辷らし損なつた、沐浴の形容に「垢を墜し身を淨め」と言ふべきを「垢を淨め身を」と言つて行詰つた事がある。聽衆の中には大學生も學校の先生もあつたが誰一人之に氣の付いた人は無かつた。講話が終ると予が演壇に出て「今の講談の中に言葉遣の間違があつたが誰か氣が付いたか」と問糺して見たが誰にも判つて居なかつた。予は講談の最中會場の後方で直に手帳を出して其文句を記して置いたのを流石講談師は見て取つて居て予が演壇から降りると「先生に氣付かれたなと思ひました」と苦笑した事がある。聽衆が全部文章の心得のなかつた事の明な證據である。今日の日本人は何が名文だか何が惡文だか判斷が付かなくなつて居る。文部省が漢文を廢して之に代る教育を施さないからである。

嘗て現代一流の役者に尋ねたことがある。「此節の飜譯芝居が貴君方に能く演ぜられますね。文章が下手だから、臺詞と所作とが一致しなくて演じ難い筈だ」と謂つたら「御說の通り。あれは飜譯家と先づ半年位前から善く研究して下らない文句を省いて頂かなくては芝居になりません」と其役者が答へた事がある。役者は「入れる必要のある文句は入れて」とは決して言はない「下らない文句は省いて」とのみ謂ふ。如何に文士の文章が冗漫であるかの確證である。其時「併し其文句を省いては……………と仰しやるものですからね」と其役者は苦笑して居た。其結果原作で忍耐強い男が飜譯芝居では氣狂の樣になつて居て殆ど原作の俤もないものを老若男女喜んで觀て居るのを目擊した事がある。惡教育の結果畏るべきものである。

予が本年一月三十日の東京日々新聞で「誤譯だらけの資本論が世間に流布したらマルクスが地下で泣きます。これ皆文部省の責任です、惡教育の結果です」と發表したのは前述の意味である。簡單な文章であるから高畠氏が誤解したのも無理はないが、之に對する返事の積りらしい「小生は學費が無くて、教育と云ふ程の教育を受けなかつたから文部省の惡教育といふ者は殆んど知らない」と云ふ高畠氏の言は少し的が外れて居る。「惡教育の結果です」は「惡

教育の結果誤譯をした」と云ふ意味ではなくて「惡教育の結果誤譯が歡迎せられる」と云ふ意味である。

高畠氏に對へる前に福田君に一本參りたい。

福田君に「先づ常識はあるか」と尋ねたい。學問の問題ではない、常識の問題である。「其個所の明示を高畠氏が促したに拘らず向君は一向之に答へないのはフエーヤでありません」又「證據なしに誤譯呼はりは決して爲すべきことでありません」とは何たる非常識な筆法だらう。予は明瞭に「譯本第一卷三七一ペイチから三七八ペイチの處は每ペイチ皆違つて居ます又六七九ペイチ六八三ペイチと手當り次第に開いて見ると皆間違つて居ます」と發表して居る。何の「證據なし」とは何の口で言へる。中學五年生が見れば直に判然する間違が歷々と載つて居るペイチを指摘して即ち事實を明示して置いたものを「證據なし」とは何から割出した議論だ。予が「誤譯の標本と命名した方が早い本」と斷言した後に「誤譯なしとは思ひませんが」と云ふ福田君の言分は常識ある人の耳には滑稽に響く。

福田君が「成程向君の指摘したペイチには誤譯がある併しあれは云々」と謂ふのなら聞こえて居る。「誤譯なしとは思はない」の「證據なし」だのと能くも恥かしくないことである。畢竟高畠氏も福田君も予の指摘したペイチは讀んで見たに違ひない。讀んでも何處が誤譯だか判然しないのに違ひない。厄介な連中である。高畠氏も謂つて居る「誤譯があれば何時でも改める」と。高畠氏はまだ何處が誤譯だか判らないものと見える。「此處の意味は判然しない」と斷言する人は其個所丈が讀めないので、書物は讀める人である。高畠氏や福田君の樣に指摘せられても分らない人。間違を間違でないと平氣で思つて居る不得要領の人は自分では讀める積りでも、其實讀めない人である。自分が了解し得たか了解し得ないかの區別を自分でなし得ない人は書物の讀めない人である。中學生程度の人である。高畠氏の「若しまた、それが單なる漫罵に過ぎなかつたとすればたゞでは濟まされない」は滑稽ではあるまいか。何ペイチと明瞭に指摘して置いたので、其の誤譯が中學生程度なのであるから、高畠氏が本當に書物の讀める人なら「畏れ入つた成程間違つて居た」と答ふべき場合ではあるまいか。「誤譯があれば」だの「漫罵に過ぎなかつたとすれば」だのと謂ふ高畠氏は日本語を知らないのではあるまいか。

福田君は立腹するに違ない。「向の奴けしからん奴だ乃公を非常識と譏り乃公の讀書力を中學生程度だと謂ふ」屹度福田君が此言葉を僕に向けるに違ない。僕は本來福田君とは喧嘩したくないのである。福田君が挑戰する以上應ぜざるを得ない。友人の面の皮を剝ぐのは眞に心苦しいが、福田君が「輕微な問題として一蹴する譯に行かない」と公言する以上一本眞向から參らざるを得ない。此喧嘩が濟んだら復仲直しにしたいことを前以て斷つて置く。

嘗て慶應大學でフックスの經濟原論の講讀を受持たされた。小泉信三君杯の組であつた。大に閉口した。フックスが

讀めないのではない。フックスの文章は平易な文章で意味の取れない心配はない。文字面の意味は取れても經濟學の智識のない者には文字の奥に潜んで居る思想は判然しない早速圖書館へ閉籠つてブュツヘルだのフキリボウキチだの手當り次第讀んだ。意味は判然して來た。譯語を知らない。何か好參考書もがなと探して居る内に見當つたのが福田君の著述である。好い拾物有難いと思つて讀んで見て喜び且つ驚いた。自ら嘆息した。「福田君はエライ男だ。こんなに飜譯が上手だとは知らなかつたフックスの燒直しもこんなに上手に出來るのなら成程福田德三著でも差支ない譯だ」と。爾來福田君は獨逸語は達者だと思つて居た。すると昨年予の教へて居る慶應大學生が「先生此本を御存知ですか」と一冊の新著を見せた。開いて見て第一ペイチの誤譯に驚いた。處が其誤譯の種が福田君の誤譯である事が後に判然した。「オヤ、福田君は此んなに常識のない男か、此んな讀書力か。丸で中學生程度だ」と云ふ嘆聲を思はず發した。福田君は外の本は讀めるか知らないが經濟書は讀めないね。併し我國の經濟學者の中には福田君程本を讀んで居る人は恐らくあるまい否ないと斷言しても宜しいと思ふ。福田君が讀んで居る事は事實だ。併し讀めない事も事實だ。「證據なしだ」、「フェーヤでない」、「其個所を明示しろ」と謂はれ玆に身を切る思で友人の面を剝ぐ事にする。此材料は昨年偶然得たのである。相手が福田君であるから發表しない積であつた。今は背に腹は代へられない

福田君御免！

福田君は誤譯問題に彼是言ふ資格はない。他人の事を彼是言ふ前に自分で下らない誤譯を遣らない樣にする方が遙に急ぐではあるまいか「ボルシェヴヰズム研究」七三ペイチの誤譯が福田君が獨逸語も佛蘭西語も出來ない人で且つ常識のない男と云ふ事を證明して餘りある。福田君は七三ペイチ五行目から七四ペイチに亘つて左の通に述べて居る。

試に其文を邦譯して見れば「マルクスがインターナショナル中甚だ有用の人物たるは疑のない所である。今日迄彼の爲した所は彼の黨に對して善き影響を與へて居る。而して彼は社會主義の最堅固な支柱であり、プルチョア的思想や傾向に對抗するに最堅固の鐵壁である。だから唯自己の私怨を報ずる爲めに、彼の善き影響を一掃し又は之を弱めることを予が企てるならば予自らを決して予を宥さぬであらう。然し乍ら予が彼と鬪爭を始めることは來るであらう而も短き月日の間に、然し其れは決して彼を個人的に攻擊する戰ではなく一の主義の問題に就てであることは諒として貰ひたい。即ち予は彼が其率ゆる英獨の共黨派と共に最も輝ける主張者たる彼の國家共產主義と戰ふ爲めである。此戰は死生を賭する戰であらう。乍去凡ての事には時機がある、此戰を始むべき時期は今未だ到來して居ない」と云ふのである云々。

(一)

福田君ともあらう者が「今日まで彼の爲した所は彼の黨

に對して善き影響を與へて居る」なんて、丸で中學生の繙譯其儘だ。マルクスがインターナショナルの首悩者になつて活動した結果が僅に「善き影響を與へて居る」位な程度だと思つたとすれば福田君は經濟史を知らない男だ黨の首領株は其の黨に對して「勢力」こそ振へ「影響」位で滿足する者ではない。マルクスが其んな男だつたと思へば福田君は常識がない。「インフリユエンス」は何時でも「影響」だと思ふのは中學生だ。「勢力を振ふ」と「影響を與へる」との差が判然しない樣な男は學者ではない。假に原文に「影響」と云ふ文字があつても其れを黨派の首悩者の事だからと云ふ意味で「勢力」と誤譯するのが常識ある人の陷り易い過だ。處が福田君に取て御氣の毒な事には英佛獨共「勢力」も「影響」も同字だ。常識があれば直に判斷の出來る事をボンヤリして居るのは此節の中學生に限ると思ひの外世界に名の響いた博士も同じ樣な不得要領を遣る。學問が低級になつた事の確證でなくて何だ。

（二）

「闘爭を始めることは來るであらう」は「來るかも知れない」の誤譯だ。日本語を善く知らない外國人なら「あるだらう」と「あるかも知れない」との區別が判然しないかも知れない。此場台に予が假に「判然しないだらう」と謂つたとして御覽。隨分變な斷言になるだらう。此場合に福田君は「斷言になるかも知れない」で差支ないと思つて居るだらうか。原文では佛語にも獨語にも「來る可能性がある」となつてゐる。福田君に謂はせると此んな事は何らでも「善いかも知れない」でなくて「善いだらう」。

（三）

「凡ての事に時がある、此戰を始める時間の鐘はまだ鳴らない」と原文にクライマクスが使つてある。「時計がまだ時間を打たない」とは「機が熟しない」と云ふ意味。前の「時」と云ふ字に對して意味を強めたのである。福田君がまさか「時期」と「時機」との區別を知らないとは謂へまい。皆「時」にして了ふ程にボンヤリして居なかつたのはエラ相だが、實は唯原文が違つた字になつて居るから、區別のある字を用いたと云ふ丈で、原文の區別の深い意味は了解して居ないのである。原文の意味が判然して居れば日本一の博士ともあらう者が「時期」と「時機」とを使ひ誤る筈はあるまい。

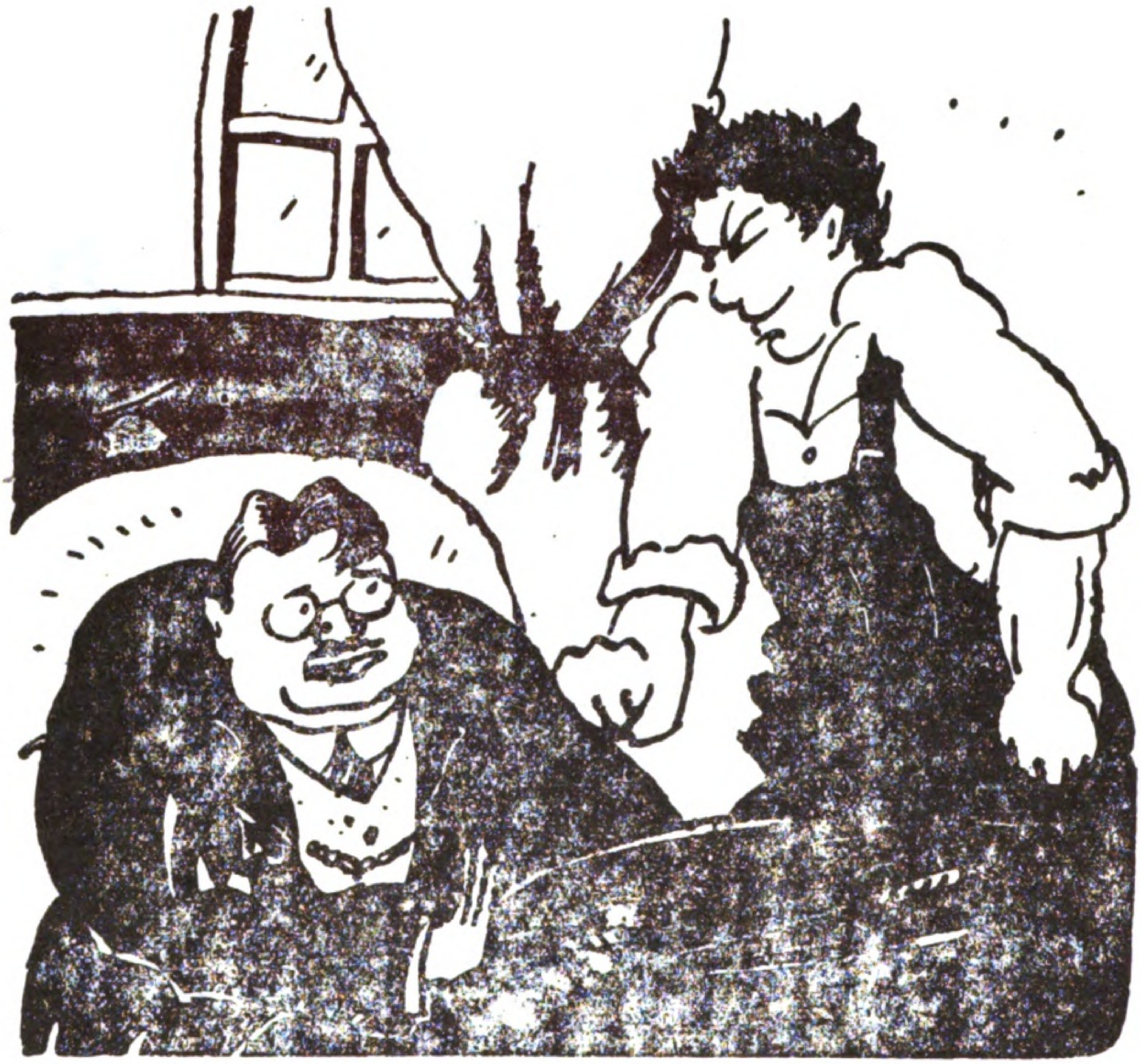
（四）

發音なんか何うでも宜しいがブルヂョアではなくてブルジョアである。

僅か五六行の原文を飜譯するに此んな誤譯がある樣では「經濟書は讀めない」と謂はれても仕方はあるまい。福田君「卑見」があれば伺ひたい。

高畠氏には次號で反問する。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



勞働者の要求

資本家の虐殺的搾取に奮然として起つた勞働者は、今や全世界のブルジョアを恐怖せしめつゝある。突撃の聲轟々と肉迫した勞働者の要求は、彼等をして戰慄せしめつゝある。勞働者の要求は、人間として生存して行く權利の要求である。彼等に奪ひ取られた生産の奪還である。今や此の生存權の要求は全世界に充ち／＼てゐる。全世界の勞働者は、資本の國際的團結を望んで、之れと抗爭すべく、勞働者のインターナショナルへ進出し、萬國の勞働者の解放は、萬國の勞働者の團結にあることを知つた。國際的資本の團結と國際的勞働者の團結とが今や、白刃閃めく肉彈戰を演ぜんとしてゐる。隆々たる勞働者の鐵腕は、搾取にアブラ切つた資本家の便々たる腹を突破らんとしてゐる。而して十重二十重に束縛されてゐた資本の鐵鎖を斷ち切らんとしてゐる。勞働者の鐵鎖よりの解放、手枷足枷の破壞、それ勞働者の團結に依つてのみ果される。勞働者の要求は單なる賃金値上、時間の短縮ではない。人類を黄金に依つて支配せんとする資本主義制度の××である。勞働者を束縛する賃金奴隷の鐵鎖の切斷である。萬國の勞働者は、鐵鎖を斷ち切る國際的團結へ進め！

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

カール・マルクス

——その生涯と學說——

カハン・コーテス

はしがき

一、プロレタリア解放運動の大恩人カール・マルクスに就ては、餘りにも多くが書かれてゐる。從つて今更ら本誌上に之を載する必要なきが如くであるが、而も尙ほマルクスが單に喰物にされてゐる今日、之が直截簡明な評傳は、今一度必要とされやう。二、以下は一九一八年五月五日、マルクスの生誕百年祭の紀念さして、英國社會主義黨から、國際社會主義叢書の第六編として出版されたる、ゼルダ・カハン・コーテスの『カール・マルクス、その生涯と學說』(Zefda Kahan - Coates, Karl Marx; His Libe and Teaching, London, 1918.)なる手頃な小冊子の全譯である。三、尙ほところ〴〵譯註をつけた。より良き理解へのための故にてある。

一、生ひ立ち

カール・マルクスは一八一八年五月五日、獨逸のトリエールに生れた。父はユダヤ人系の人で、有名な辯護士であつた。此の父は優秀なる才能を持ち、高等敎育を受けまた第十八世紀のフランスの自由急進思想に甚だ心醉してゐた一八二四年、プロシア政府は、總てのユダヤ人に向つて、基督敎に改宗するにあらざれば、その官職を剝奪する旨を布告した。自由思想家にしてボルテールに私淑してゐたが父マルクスは、官職を棄てるに忍びずして、遂に改宗の命令に服した。母はハンガリア系の和蘭生れのユダヤ人で、その祖先は講師であつた。

カールは幼にして早くも恐るべき將來の聰明さを顯はした。そして幸にも彼の兩親は、彼に敎養のための總ゆる激勵と機會とを與へることが出來た。彼の父はラシーヌやボルテールを彼に讀んで聞かして、

早くからフランスの古典に親しませた。また當時、彼はその將來の妻の父ルドヰッヒ・フォン・ウェストファーレンの家でホーマーや、沙翁を愛讀する樣になつた。カール・マルクスの勞働階級に對する深き同情や革命的熱情は、純眞なる識見及び研究の上に基礎づけられたものであつた。それは最初から單純なる感情、階級的差別、若しくは自己の苦境から出たものでは決してなかつた。尚ほ彼は冷かな哲學者でもなく人間味なき科學者でもなく、また歴史の派生的剖解者でも亦決してなかつた。彼の總ての親しき友達及び全生涯の觀はれから見ると、彼は彼の同時代八たるダーウインの如く、單なる科學者ではなかつた。然し天才であつたにも拘らず、人間の總ゆる愛情や、欲望や、情慾や、弱さを持つた多面的な人間であつた。彼の最初の文筆上の努力が詩であつたことは、興味あることだ。

彼の娘エリナーによれば、

『彼は常にその學友から愛せられ、また威敬せられてもゐた。愛せられてゐたと云ふのは、彼が常に子供らしい惡戲をしたからであり、威敬せられてゐたと云ふのは、彼が痛烈なる諷刺的な文章を書いて敵を嘲弄したからであつた。』

と云ふことである。全生涯を通じて彼は、詩、藝術、音樂を熱愛してゐた。彼の好んで讀んだ著書は、ホーマー、ダンテ、シュクスピア、セルバンタス、バルザック、シェドリン、及びプーシュキンなどであつた。彼はハイネ、フライリグラート及びウェールトなど、その時代の獨逸革命詩人の總てと交遊してゐた。そして彼等の多くの革命的な詩を愛したのみならず、また彼等が共に巴里に居た時分には詩構を練磨するために、屢々ハイネを助け、詩の中の一語一語が總て滑かになるまで推敲し合つたものだつた。マルクスは、約六ケ國の國語を話すことが出來たし、フランス語と英語とは本國人の如く良く書くことが出來た。それのみならず、科學の發達にも深く興味を持つてゐた。リープクネヒトは一八五〇年の七月に初めて電氣機關が展覽された時にマルクスが、如何に驚いたかを述べてゐる。エンゲルスも、亦理論科學の總ゆる方面で新しい發見が爲された時に、マルクスが常に感じた喜びに就て大いに述べてゐるる。然しエンゲルスは附け加へて、この喜びは、さうした發見が直ちに産業に適用され得て、それが爲めに社會の發展に貢献することが出來た時に、マルクスの感じた喜びとは同じものではなかつたと云つてゐる。一八五九年にダーウインの『種の起源』が出版された時、それ以前に於てさへ認めてはゐたが、マルクスはダーウインの業蹟の劃期的な重要性を直ちに認めた。そして獨逸の亡命者の集りの中では、數ケ月間と云ふものはダーウインの話で持ち切りだつた。

吾々はマルクスの普遍性を示さんが爲に、またマルクスを單なる『干からびた』經濟學者であつたと一般に考へられてゐるのを否定せんが爲に、以上のことを述べたのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

吾々は次第にマルクスの後年の業蹟に就て、語るであらうが然し、茲で、吾々の示さんとすることは、マルクスですら經濟學を十分に明確にすることが出來なかつたと云ふこと——然し決してこの主題のより形式的な概念すら彼れ以前の經濟學者の樣に漠ぼんやりとは彼の業蹟には取扱はれてゐないのだが——また『資本論』の歷史的部分が、人間的同情と理解とに非常に滿ちて居り、說明が適切であり、諷刺が自然的であり、且つ的中してゐると云ふこと、ために如何なる勞働者も他の有り觸れた理論には耳を藉さなかつたと云ふこと、また一般の初等教育は、彼が教育上にある一種の集中力と決定力とを持つと云ふことを立證する彼の諸著作を摑むことを恐るゝの要がある等々のことである。

二、最初の政治的活動

十六才にしてマルクスは、ボンの大學に入學し、一八三六年には伯林大學に移つた。これは父の希望により、法律學を研究するためであつた。然し彼がその研究に多くの注意を拂つたとは思はれない。哲學はより深く彼の興味を引いた。そして彼の兩親の望みを失望せしめたにも拘らず、青年マルクスは熱烈なる哲學の學徒となり伯林の青年ヘーゲル派の團體に加はることになつた。其處でマルクスは多くの先輩の知己を得た。ブルノー・バウエルや・エフ・ケッペンス等が其れだ。彼等は間もなく此の年若き學徒の天才を認めた。（然し後にはマルクスと彼等とはその意見に於て甚だしく相違して來た）。既に當時に於て、彼の知識に對する渴望は盡きざるものであり、また彼の活動力や、自己批判や、哲學的又は歷史的問題を明確にするを得る所の精細なる注意力等は驚くべきものであつた。一八四一年に彼は博士號を得、哲學の講師として大學に於て身を立てんとした。然し大學の私講師をし乍ら官憲に壓迫せられてゐた所の友人バウエルの經驗によつて、その樣な地位は取るに足らぬものであると云ふことを、マルクスは間もなく知つた。然るに同年、ライン地方の自由主義的ブルジョアジーは『ライン新聞』なる一新反對新聞を起して、マルクスは當時僅かに二十四歲であつたのに、彼はその新聞の主筆とされた。彼の編輯振りは、檢閱との一つの連續的鬪爭であつた。エンゲルスも云つてゐるやうに、『然し、檢閱は『ライン新聞』を倒す譯には行かなかつた。』マルクスの人に勝ち、人を支配する偉大なる力は、既に茲に於て現はされた。檢閱官が不問に附した多くの箇所も、伯林の官憲は恐れを爲した。檢閱官は譴責を喰はされ又どし／＼更迭された。然し何の効果もなかつた。そこで政府は遂に此の邪魔者を除去するに最も良い、また最も確實な方法を採つた。即ち『ライン新聞』を斷然禁止したのであつた。この當時に於て、森林盜伐、自由貿易保護貿易などに關する論爭、即ち所謂物質的利害に關する論爭に從事することが必要となつた時に彼が感じた當惑が、やがて彼れマルクス

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

に經濟問題を研究するの最初の刺激を與へたのであつた。

三、結　婚

この頃、マルクスは彼の少年及び青年時代の遊び友達であつたエンニー・フオン・ウエストフアーレンと結婚した。彼女は秀れた智力と、深き教育のある婦人であつた。マルクスは、その一生の內助役として、これ以上の婦人を得ることは出來なかつたであらう。その結婚の日から、死の日まで、彼女は其の夫マルクスと、總ての喜びと悲しみとを、又總ての希望と抱負とを、共に分ち合ふたのであつた。彼等は互に身を捧げ合つてゐた。彼等の娘エリナーは、彼女の母が一八八〇年の秋に、重病のために、病床より起き上ることさへ殆んど出來ず父も亦肋膜炎を病みて次の室に寢てゐた時の狀態を次の如く述べてゐる。即ち曰く、

「モール（これはマルクスの綽名で、彼の頭髮や髭が眞黑でモザヤ／＼してゐたから、家族の者や友人達がかう呼んでゐた）は、この時その病から癒えた。私は、父が愛する母の室に行ける程に丈夫になつた朝のことを決して忘るることは出來ない。兩親はもう一度若返つた樣だつた。母は初々しい少女となり、父は愛らしい若者となつて、共に新しい生活に入つた樣だつた、病氣のために身體を壞してゐる老父でもなく、お互に永遠の別れを告げて死んで行きかけてゐる老母でもなかつた。」

また此の極端な無神論者且つ、共產主義者に對してもこの結婚だけは如何なる敵と雖も天國に於て成就されたものであると云はずには居られまいと、メーリングは述べてゐる。

四、エンゲルスとの會見

「ライン新聞禁止後、マルクスはその新妻を携さへて巴里に行つた。巴里で彼は暫時「獨佛年誌」のために働いた。また後ちには巴里の「進め」に寄稿した。前者に働いた當時マルクスは、フリードリヒ・エンゲルスと知り合ひになり、それ以後この兩人は、私的にも、政治的にも、また文筆的にも、最も親密な間柄となつた。この時分マルクスは既にその唯物史觀の基礎の第一步に到達してゐた。彼は其に主として哲學的方面から到達した。之に反してエンゲルスは、近世產業の搖籃地たる英國に長らく生活してゐて英國に於ける產業生活の實際狀態の研究の結果から、同一の結論に到達してゐたのであつた。かくして彼等は相互に補充し合つて、唯一人では完成するに決して不可能ではなかつたにしても非常に困難であつたであらう所のものを共同で仕上げることが出來たのであつた。この時以來彼等は殆んど毎日の樣に、直接に又は手紙によつて、交際をなした。そして如何に彼等の文筆上の關係が、興味あり、且つ、親密なものであつたかは、數年前、獨逸に於てベーベル及びベルンシユタインに依つて出版された彼等の相互に取交した四卷から成る書簡集によつて見ることが出來る。主としてマルクスは、彼等の業績の、より深き理論的方面の研究と調査とに沒頭した、そしてエンゲルスは、主として彼

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

等の理論的演繹の實際的適用に勢力を費し、反對者との論爭に努めた。然し、書いた所の一つの言葉も、宣言した所の一つの政策も、最初には彼等二人の間で論じられたものに外ならなかつたと云ふことは、エンゲルス自身の權威のために一言して置かねばならない所である。

五、唯物論的辯證法

彼等兩人の最初の科學的業蹟は、獨逸哲學の當時の學派を完全に打破することであつた。マルクスが、未だ伯林に學んでゐた當時に、彼が靑年ヘーゲル派に加入してゐたことは、既に之を述べた。然し、盲目的な模倣者、若くは末派にはならなかつた。彼は歷史の研究と解釋との爲に、革命的であり又有益であるもの丶總てを其中から引出した。ヘーゲル哲學は、進化の法則として、現狀の不斷の變化と倒壞、及び新しき反對物の生長、並に現狀の崩壞とを提案してゐることの法則に依れば、古いもの丶中に新しきものが發生し、そして此の新しきもの丶發芽が生長するにつれて、最初は此の二つのもの丶間の相違は單に量的であるが、然し此の量的相違がある一定の段階に達すると、二つの間に分裂が行はれ、その差異は質的になるものだ。此の法則は有機體にも無機體にも通ずる眞理である。されば其れを若干の例を以て說明するために、暫くの間、止るだけの價値はあらう。

化學に於ては、炭素及び水素の原子を含有してゐる數によつてのみ他の物から區別される所の炭素含有物の數種がある。そこで若し沼氣を例に取るならば吾々は其をCH_4と表はすだらう。若し吾々が此に勝手な條件の下に炭素(C)又は炭素(H)を加へるならば、吾々は唯だ沼氣と炭素若しくは水素の混合物を得るのみだ。これが續けられて、遂に吾々は炭素の一原子と水素の二原子との割合で量を增加するやうにまでなる。すると其の物質の全性質は變化し、かくて吾々は新しい性質を帶びた新しい瓦斯、アセチリン(C_2H_2)を得るのである。即ち量が質へと變化したのである。

さて次には、物理學から簡單なる一例を取つて見やう。水に熱が加へられると、次第に溫度を增すが、然し或る一定の點に達する迄は、水の變化は單に溫度の相違である。即ち根本的には冷水と熱湯とは、同じ液體である。然るに加へられた熱が一定の量、即ち攝氏の百度(100°C)、又は華氏の二百十二度(212°F)、に達すると、水は俄然として新しい物質、即ち水とは全く異つた性質を帶びた一つの瓦斯、即ち蒸氣となるのだ。即ち量が變じて質となつたのだ。

さて歷史からも一例を取らう。勞働者が土地に縛りつけられてゐた間は、所謂農奴制度なる社會形態が存續した。併し生產及び商業が發達するにつれて、勞働者即ち勞働の見付かる所へと浮浪して行く移動勞働者を解放する事によつてのみ達せられる所の一定の土地に於ては、自由に働くことの出來る權利を與へることが、次第々々に必要となつて來た。同じ農業の古い方法と形態とが、何れも土地所有者

に取つて不便なものとなり、又さほど有利なものでもなくなつて來たにつれて、土地所有者は農奴に依り以上の行動の自由を與へるか、又は強制勞働を賃金勞働か又は小作勞働に變更する樣になつた。かくて次第に社會の中に奴隷制度の廢止のための凡ゆる條件が發達し、此の發達が或る一定の段階に達した時に、奴隷制度は自由な私的生産に道をゆづつたのだ。そして或る場合には、此の變化はより多くの強力な、而して他の場合には、より少しの強力を待つて遂行される。又、或る場合には、その變化は急激であり、他の場合には緩慢である。然し何れの場合に於ても、その變化は革命的なものだ。即ち、新しい形態の社會が、古いのと取つて代つたのだと云ふのは、新しい状態か、此の變化を必要としたからだ。

生活に於ける總ゆる經驗及び總ゆる科學から證明され樣からして、かうした例を、これ以上に重複して述べる餘裕を我々は持たない。かうした法則や、かうした研究方法をば、マルクス及びエンゲルスは、ヘーゲルの哲學から取り來つた。然し彼等はヘーゲルの辯證法を強く主張したにも拘らず、その獨斷的にして唯心的なる構想には反對した。ヘーゲル哲學は、總ゆる他の唯心派の哲學と同樣に、思想は現實の形態の投影ではない、獨立して存在するのであり、且つその發達は事物の發達の基礎をなすものであると云ふことを認めてゐる。然しマルクス及びエンゲルスはこれを否定した。彼等は唯物論を基礎となし、イデオロギイ、即ち事物から離れて發達する獨立の思想の代りに、現實の事物と、目的と、及び歴史との世界を基礎となした。彼等は此の新しい辯證法的唯物論を發揚すると共に、一八四五年に出版された『神聖家族』なる一書に於て小ブルジヨア的ヘーゲル派がヘーゲル哲學に植えつけた所の用法を打破した。後に彼等は此の同一問題に關して今一つの著書を共に書いた。そして此は出版さるゝには至らなかつたが彼等自身の觀念を、はつきりするに役立ち、又彼等が唯物論的觀念を完全に把握するに役立つたものである。

この當時マルクスは巴里に於て經濟學を研究してゐた。而して又プロシア政府に對して猛烈なる攻撃を加へてゐた。而して此の攻撃は、彼を巴里から追放することに依つてその復讐をなした。かくてマルクスはブルッセルに行きそこで時々『獨逸ブルッセル新聞』のために筆を執つた。一八四六年の自由貿易會議に於て、マルクスは自由貿易に關する一演説を試みた。(譯註此の會議ではブルジョアに敬遠された實際にはブルッセル民主協會で試みた。)此の演説は後にパンフレットの形で發行された。また一八四七年には、彼はフランス語で『哲學の貧困』を書いてプルードンの『貧困の哲學』なる著作に抗辯した。此の著作に於て、マルクスは、彼自身及びエンゲルスに依つて採用されたる唯物論的革命的形態でもつて、ヘーゲル式の辯證法を用ひ、飾りなく社會法則を構へ、以て近世科學的社會主義の基礎を發展せしめてゐる。(未完)

勞働運動講座

佛蘭西の勞働運動

淺野研眞

第一節　序説

近世的な洗禮を最も早く受けたものは、正しく佛蘭西であつた。從つてフランスの諸事物は、多かれ少かれ、諸外國に影響を與へた。その首都パリーは、一時は全く革命の都として、全世界の革命家たちの訪問を受けたものであつた。

フランスの近世的社會變革は、云ふまでもなくフランス大革命にその端を發してゐる。この大革命は一七八九年八月二十六日の人權宣言によつて、その最高潮に達した。フランスは此の大革命によつて、中世期的な封建制度を脱却し、所謂『古制』（アンシャン・レザーム）を去つて、ブルジョアジーの社會を建設した。

然るに反動的勢力は、一時ナポレオン一世なるものゝ功名を可能ならしめたが、既にして彼れも沒落し、次に所謂王政復古の時代（一八一四年四月十四日——一八三〇年七月二十九日）が來るのである。此の時代は、初めにルイ十八世があり、後ちに王帝チャールス十世が即位した。然るにチャールス十世は極端なる保守主義を執り、恣に憲法を更め、言論・出版の自由を妨ぐる等、壓制甚だしきものがあつた。かくて一八三〇年の七月革命は勃發したのである。

この七月革命の結果は、王家の支族ルイ・フィリップが、迎へられて王位に即いた。（その治世は一八三〇年八月七日より一八四八年二月二十四日まで）。

ルイ・フィリップは、その位に上るや、善政を行はんことを約したにも拘らず、却て人民の自由を束縛し、何等革

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

命前に變る所がなかつた。かくて一八四八年の二月革命は勃發し、王は英國に脫れ、民衆は假政府を立てゝ、共和政治の建設を宣言した。（此の第二共和制時代は、一八四八年——一八五二年十二月二日まで續く。）

此の共和制フランスは、新憲法を制定し、ナポレナン一世の甥ルイ・ナポレオンは國民の公選により大統領となつた。彼は功みに善處し、一八五 年に至り、遂に國民大多數の投票によつて皇帝になり、ナポレオン三世と稱した。かくて共和政は一轉して帝政となつた。（此の帝政は一八五二年——一八七〇年九月四日）

然るに一八七〇年七月に至り、ナポレオン三世は、帝國主義的野心よりしてプロシヤと開戰するに至つたが、次年一月を以て獨逸に降を乞ふた。これ有名なる普佛戰争であるが、この結果帝政は再び沒落し、共和政は三たび開かれた。この時のプロレタリアーとの活躍は、有名なる巴里コムミユーンの其に現はれた。而して此の共和政は、今日にまで持續して居るが、然し其は決してプロレタリアートの其ではない。反動的ブルジョアジーの共和政たるに過ぎないことは云ふまでもない。即ち其は、ブルジョア革命たりしフランス大革命の精神を未だに基調とするものであつて、プロレタリアの革命は今世紀に入つて、遠く飛んでロシアの地にいち早く花を開いた。さあれ、前世紀に於ては、フランスの諸事物は、多くの影響を國際的に及ぼしたものであることは、否定され得ない。

我々は以下簡單に、フランスの勞働運動の史的發達を記述しやう。

第二節　巴里コムミュンまで

一、革命の遺產

全く近世的ブルジョアジーの共和國を最初に生み出したのは、正しくフランスであつた。一七八九年を以て其の最高調に達したるフランス大革命は、ブルジョアジーをして支配階級の地位に座せしめたものであつた。近世的な勞働運動は、經濟的には英國の產業革命が父であるが、政治的には佛蘭西大革命が母である。

然し大革命は、結局はブルジョアジーのためのものであつて、それに參加した一般民衆は、やがて純然たるプロレタリアートへと階級化して行つた。

かくしてブルジョアジーに對するプロレタリアートの反逆が勃發し初めた。

その最初のものは、一八三〇年の七月革命であつたが、これはプロレタリアートに取つて大なる出來事ではなかつた。然し一八四八年の二月革命は、その餘波が全歐洲に及び、プロレタリアの革命と經驗に於て、重大なる意義を持つ最初のものであるとされる。マルクスには、この二月革命を論評した『フランスの階級鬪爭』なる著作がある。レニンもその著『國家と革命』中、この革命を最初に論評してる。

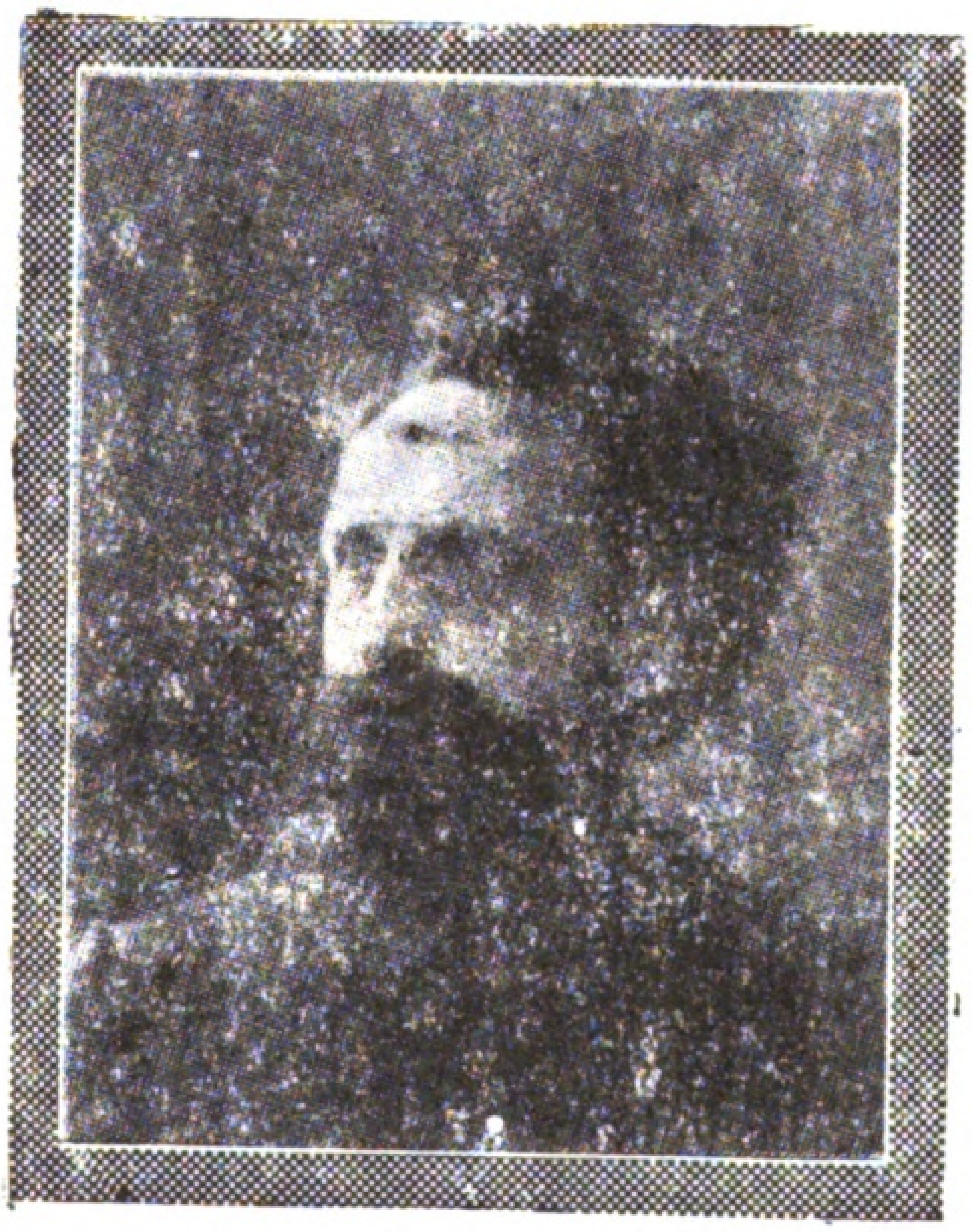
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

然し此の二月革命は、結局は失敗した。前述の如く、一八五二年十二月には、ナポレオン三世のクーデターが行はれて、帝政を見るに至つた。この事件に就いては、マルクスは『ルイ・ボナパルトの霧月十八日』なる一書を著はして、之を論評してゐる。

更に、一八七〇年に至つては、普佛戰爭を機緣として、かの有名な『巴里コムミユン』革命運動が勃發した。これは『近世プロレタリアの解放運動史上の一大事件であつて、後年のロシア革命は、此から多くの教訓を學んだとさへ云はれてゐる。(レニン『國家と革命』參照)。

マルクスは此の事件に就て、『フランスの內亂』(別名『巴里コムミユン』)——阿部浩氏の譯あり——を著はし、之が論評を試み、『勞働者階級は單に出來合ひの國家機關を掌握し、そして其を自己の目的のために運用するを得ない』(一九二〇年、フオルベルツ版、八六頁)と述べてゐる。

而して之の後の反動政治は、ナポレオンをこそ生まなかつたが、今日に至るまでのブルジョア共和國を建設せしめた。然し此の時代のフランスの運動は、全くその一擧一動が、全歐洲へ、否な全世界へと影響を及ぼし、國際的に視聽を集めたものであつた。マルクスの如きも、常にフランスに起つた諸事件に對して、之が批評を續けたのも、正に故ある哉であつたのである。



チユール・ゲード

二、思想界の推移

此の間、思想界は、フランス大革命の原動力たりし、ルソーの民約論を既に早く飛躍した。そしてアブリーや、モレリーの萌芽期をも過ぎ去つて、サン・シモンや、シャルル・フーリエーなどが盛んに一家の言を爲しつゝあつた時代であり、次いでカベーや、ルイ・ブランが現はれ、ブルードンの思想の風靡した時代であつた。また此の時代の巴里は、歐洲の革命家の凡てを育てた所であつた。即ちラッサールと云はず、マルクス、エンゲルスと云はず、バクーニン、クロポトキンと云はず、此等總ての近世社會思想史上の偉人は、巴里生活の間より精錬され來つたものゝ如くであつた。

三、結社と斷壓

而して此等の社會思想家の直接、間接の影響は、當時、勃發しつゝあつた勞働大衆及び、勞働者の結社は、全國至る所に出來初めた。かくて政府は、之が斷壓のために、既に早く、一七九一年に、ル・シャプリエー法を發布して居る。この法律は一八八四年に勞働組合法が制定さるゝまで約一世紀間も存續し、勞働組合運動を壓迫したこと大なるものがあつた。ためにサンヂカリズムの如き、直接行動論が生れたのであつた。

一八七〇年の普佛戰爭の勃發は前述の如く、之に相次いで巴里コムミュンの革命運動を見た。これは近世的プロレタリア解放運動史上の、一大重要事件であつて、プロレタリア階級のために大なるショックを與へたが、一八七一年のその失敗以來、却つて反動勢力に乘ぜられたる觀がないでもなかつたのである。

第三節　勞働政黨の擡頭と進展

巴里コムミュンの失敗後は、暫らくは反動時代が續いた。然し一八七九年に至り、勞働勢力は再び頭を擡げかけて來た。即ち此の年、マルセイユに於て、勞働組合會議が催され、ヂュール・ゲードのマルクス主義的綱領が採用さるゝに至つた。そして『社會勞働黨』なる名稱が用ひられた。然し同黨は、一八八一年の選擧には、不成功であつた。一八八二年の選擧では、ポール・ブルッスが可能派なる新團體を作つて、ゲード及びポール・ラファルグの率ゆるマルクス派を逐ひ出した。

アルマーヌ

フランスの勞働政黨は、一八九〇年代まで、大略五派があつた。その中の二派は上述したものである。後の三派はアルマーヌの率ゆる第二可能派と、ブランキー（一八〇五—一八八一）の古い革命的傳統を固執するブランキー黨と、及びミルランや、ジャン・ジョーレス（一八五九—一九一四）等の獨立黨が其れであつた。

さて、一八九三年の選擧には、四十名の代議士が、總計五十萬餘の投票數を以て、選出せられた。ジャン・ジョーレスは、先きに急進黨として、一八八五年に選擧されたが、一八八九年には早くも其の席を失つてゐた。然るに一八九三年には、一社會主義者として立候補し勿

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論當選した。それ以來彼はフランスの最も重要なる首領として活躍したが、世界大戰の勃發と共に、巴里の或るカフエーで暗殺された。彼は元來、哲學教授であつたが、後ち長らく社會黨の日刊新聞「リユマニテー」の主筆をしてゐた。兎に角彼の死は甚だ悼まれた。（彼の死後、一九二四年十一月二十三日に至り、彼の遺骨はパンテオンに祭らるゝに至つた。）

一八九八年には、有名なドレフエーズ事件が起つた。當時ジョーレスは、彼自身、特殊的な氣力を以て事件の渦中に飛び込むに及び社會黨員の多くは、軍國主義に抗して彼の指揮に從つた。然しゲード一派の人々は、社會主義以外の事件に社會主義者が關係することを駁撃した。

然しミルランが、ワルデック・ルツソーの招きに應じて入閣し、ヂョーレスが其の行爲に贊同した時には、諸團體間の共力は、これを最後として遂に終りを告ぐることになつた。

一九〇四年のアムステルダムに開催されたインタナショナルの會議は、主としてミルランの活動の政策を商量するために用ひられた。ジョーレスは、その同國人を率ひ、等しく獨逸のベーベルは他方を占め、彼と共に會議を運ばしめた。インタナショナルの會議の決議は、大陸の社會主義者によつて、殆んど教書の如く考へられてゐた。かくてジョーレスは裁決を受納した。かくて一九〇六年には「統一社會黨」なるものが組織された。然し各團體の固有精神は仲々に失せずして、名實共に統一黨たることは難かつた。然し此の統一黨から、一九〇六年の選擧には五四名が選出され、八七七、九九九票が投ぜられた。また一九一〇年には七六名、一、一二五、八七七票に增加した。

ジヤン・ジヨーレス

此等は、歐洲大戰前のフランスの狀態であつた。社會主義は確かに一種の原動力であつた。それは一面はサンヂカリズムやアナルキズムにほかし、他面は急進主義及び共和主義に隱れてゐた。而してブリアンの如き大政治家にして社會主義者たるものがあるかと思へば、アナトール・フランスの如き文學者にして社會主義者たるものがあつた。從つて社會主義運動は、フランスの全社會面に浸潤してゐて、單に投票數のみによつて、其を測量することは出來なかつた。（カーカツプ『社會主義史』三二六—三三〇頁參照）。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第四節　C・G・TとC・G・T・U

一、C・G・T

フランスに於ては、勞働議員は、勞働大衆を裏切つた。ために組合は、勞働政黨及び其の議員に對して不信任を抱くに至つた。そして其の結果、組合の中には、政黨より全く離れ、政爭に係はることなく、勞働者を經濟的に結束せんとする欲求が次第に强くなつた。既に一八八六年の勞働組合大會には、組合の「政治的中立」を主張する者があつたが、未だ大會を制するに至らなかつた。所が一八八八年の大會では勞働者の革命的武器の善良なるものとして、總同盟罷業を推賞する決議をなした。之が當時勃興せるサンヂカリズムの反映であり、政治運動に對する大なる不信任の表はれであつたが、更に一八九三年の大會に於て組織された「總同盟罷業調査委員會」は、その決議中に、從來の議會が何等見るに足るべき事を爲さなかつたのに顧みて、立法による闘爭を信用せざることを述べ、「勞働者の唯一の革命的武器は、只だ總同盟罷業あるのみ。」と云つてゐる。而して此を熱心に主張したのはアルマーヌ派と、ブランキー派の組合であつて、ゲード派のものは之に反對した。

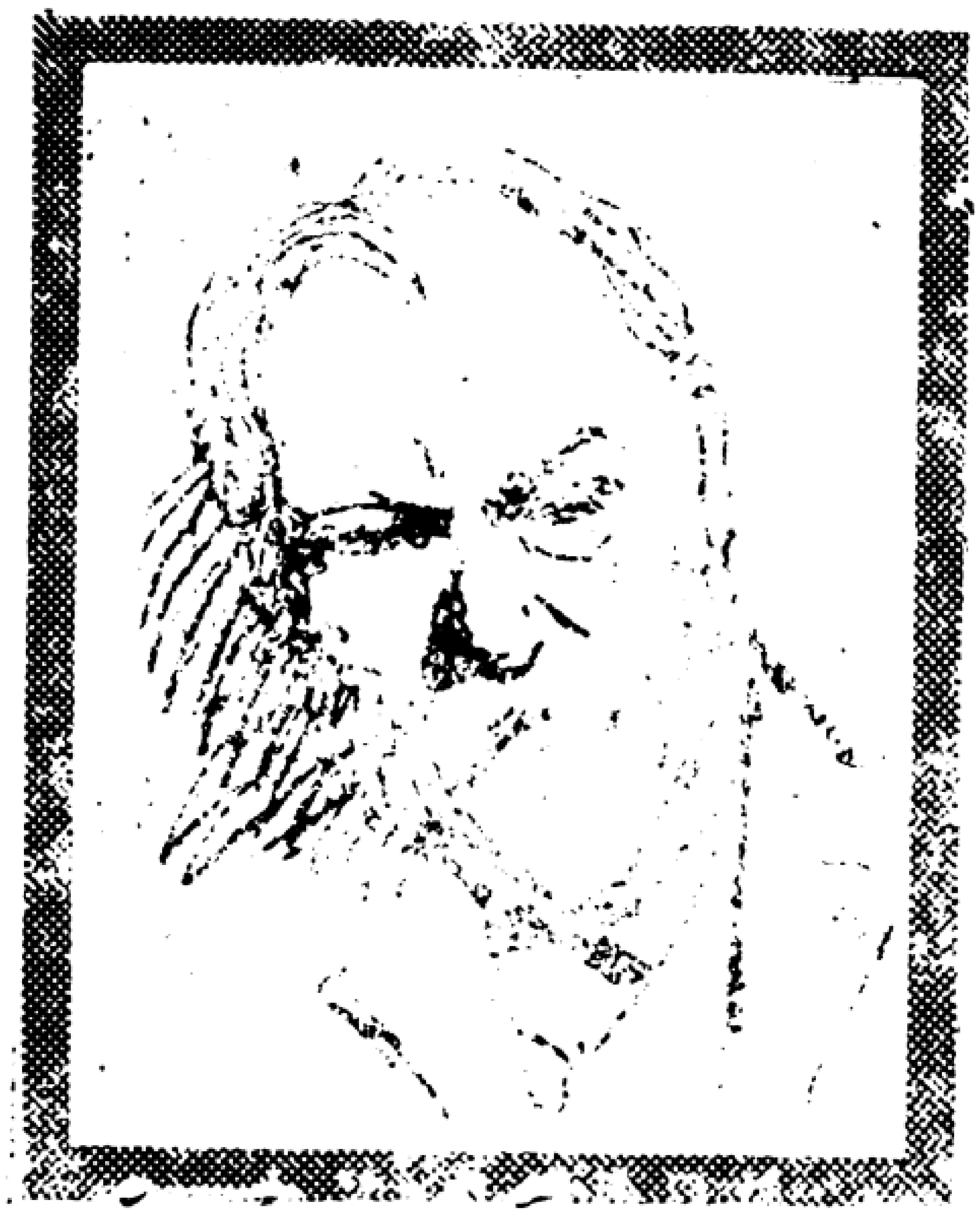
次いで、一八九四年の大會では、前述の調査委員會の決議を採用すべきか否かに就て議論が分れたが、結局、大多數を以て此の原則を認めることになつた。而して少數反對者は、此時大會を脫退した。そこで多數派は、翌一八九五年九月、勞働總同盟（C・G・T）を組織した。此のC・G・Tの最初の定款は、此の問題に就て次の如く定めた。

「C・G・Tの構成分子は、何れの政黨にも關係を持つてはならぬ。但し個人としては、如何なる政黨に加入しても自由である。……」

而して爾來、C・G・Tは、終始一貫して、此の政治運動否認の原則を採用し來つてゐる。

C・G・Tは、又、一九〇二年に至り、勞働取引所聯盟(Federation des Bourses du Travail)と提携し、大いにその勢力を加へ、佛國勞働運動の、中心勢力をなして進んだ。

而して當時サンヂカリズムは、此の運動の指導精神であり、ジヨルジユ・ソレルはその理論的代表者であつた。



ジヨルジユ・ソレル

一九〇六年の九月、C・G・Tはアミアンに於て大會を開き、この時、有名な『アミアン憲章』なるものを決議した。この決議は、傳統的サンヂカリストの呼んで以て組合運動の聖書の如くしてゐるものである。即ち當時のフランスの政治運動の狀況に鑑み、「C・G・Tは賃金制度の撤廢のために行ふ鬪爭を自覺した總ての勞働者を、一切の政派の外に立つて結束する」と云ふC・G・Tの規約第二條を確認した決議を通過し、所謂「政治上の中立主義」を決議し、尙ほ一切の改良主義、協調主義を排して、階級鬪爭主義、革命主義を高調した。即ちアミアン大會は、次の如き綱領を決議した。

「勞働組合運動は勞働時間の短縮、賃金の値上等直接の改善を施す事によつて勞働者の地位を向上せしめる目的を以て、勞働者の努力を糾合することを日々の鬪爭に於て努めてゐるものである。然し乍ら、この努力は、勞働組合運動の使命の單に一面を示してゐるに過ぎない。勞働組合運動と云ふものは、資本家なるものを絶滅することによつてのみ實現せられ得る所の完全なる解放の準備をするものである」

然るに、やがてC・G・Tの內部にも、左右兩派が發生し來り、歐洲大戰後に至つて、大きな分裂が行はるゝに至つた。

二、C・G・T・U

大戰後、C・G・Tの左翼の一派は、ロシア革命の影響を受けて、分裂して統一勞働總同盟（C・G・T・U）なる新團體を創立した。これは共産主義を奉じ、赤色勞働組合インタナショナルにも加盟して、共産黨と密接なる關係を保持した。

元來、大戰前の佛蘭西勞働組合運動は、C・G・Tの獨舞臺であつて、その標榜せる非政治的のサンヂカリズムは、各國の勞働運動に多大の影響を與へたのであつたが、ロシア革命以來、その左翼に屬する各團體は、獨立して此のC・G・T・Uを組織したのであつた。即ち一九二一年、リールの大會に於てC・G・Tは分裂し、一九二二年、サン・エチエンヌの大會に於てC・G・T・Uは組織された。そして當時約一千百六十五團體が之に參加してゐたが、その大部分は共産主義に傾き、その少數派は、無政府主義者とサンヂカリストであつた。而して共産派と無政府派の鬪爭が續き、終には再び分裂を見るに至つた。共産派の云ふ所によれば、サン・エチエンヌ大會に於て、無政府サンヂカリスト派は、C・G・T・Uを以て當時伯林に創立された無政府主義インタナショナルのフランス支部ならしめんと試みたのであつたが、共産派に多勢を制せられた爲め、その目的を遂せず、其後も絶えず無政府サンヂカリスト派は、C・G・T・U內の小數反對派として內訌紛爭に努力しつゝあつたとのことである。

前記サン・エチエンヌ大會に於て、C・G・T・Uは既に第三インタナショナルを承認し、赤色勞働組合インタナシ

ョナルに加盟した純然たる共産主義の勞働團體であつたので、無政府サンヂカリストの一派は、當初より不滿を抱いて居て、やがては分裂を見るに至つた。

而して此の小數派も亦、これを二派に區分することが出來た。

即ち一は、純然たる無政府主義者の一派で、勞働組合を以て一の宣傳機關に過ぎずとなし、共産主義の社會化乃至無産者の獨裁を絶對に認めず、總同盟罷業によつて一擧に未來社會の實現を期せんとするものであつた。

また他の一派は、自由聯合主義的のサンヂカリストであつて、之は無政府主義、共産主義とを折衷した如きもので無産者の獨裁と社會主義國家とを絶對に否認してゐるが、而かも飽まで、自由聯合主義の組合運動を支持するものである。

即ち兩派の共通點は、反政治的なることゝ、ソビエット幹部の獨裁に反對せる點である。

かくC・G・T・Uの内部では、共産派と無政府派とは、絶えず衝突し來つたが、遂に一九二四年十一月に至り、愈々無政府サンヂカリストの一派は、獨立して統一勞働總同盟を脫退した。

然し此の一派は、大なる發展を來さないであらう。

擲散彈

六大都市青年團第四回役員會議が、過ぐる四日、横濱國立生絲検査所に開かれた。其の重要議案たる「全國青年團員の精神的結合を一層旺んならしむる件」(東京提案)が上提され六名の委員附託にされたところ。

此の「精神的團結力を一層旺んならしむる」事は愈々益々、支配階級的ブルジョア奴隷思想の陣播に外ならぬ。しかして此の議案の決議せ(十ケ條)見る時、吾々は彼等の頭の如何に三四の紀を遅れて居る事に驚かざるを得ない。即ち其の一項には、「一、全國青年團員の服膺すべき信條を速かに制定し、これが實行を期すること。五、標準團服を制定し、これが統一をはかること。七、青年團禮式を制定してれが統一をはかること」等であるが、皆是れ形式一點張りの封建時代殘骸物である。即ち是れ等は全國的青年團の統一に非ずして一律平等に同じ衿を穿せんとする劃一主義の餘弊である事は云ふ迄も無い。かくて、漸次、活動期に於ける情熱的青年の思想を[illegible]し、加ふるに青年團に於ける軍國主義化を企圖するものに非ずして何であらう。六大都市の無産青年は云ふに及はず、小都市、農村等全國の先驅青年は一齊に起つて既成、官製青年團を彼等反動ブルジョアーの手先より奪還しなければならぬ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、緒　論
一、緒論　二、殖民地の定義と統治の關係　三、殖民地の意義　四、殖民の種類――A、政略的殖民　B、商業的殖民　C、農業的殖民　D、救殖的殖民
二、殖　民　政　策
一、從屬主義　二、同化主義　三、自主主義
三、殖民政策史的槪觀
一、古代――1、埃及　2、東方諸國　3、フイニシヤ　4、カルセージ　5、希臘及羅馬　二、中世史――1、アマルフイ及ビザ　2、フロレンス　3、ゼノア　4、ベニス　5、中古時代の比較研究　三、近代――1、英國　2、佛蘭西　3、和蘭　、其他の諸國
四、殖民地に於ける諸問題
一、經濟問題――1、マーカンチリシステム　2、開拓會社　3、勞働問題　4、政治問題　二、政治問題――1、法制　2、行政　3、司法　4、其他一般　三、文化問題――1、歷史敎育　2、宗敎　3、藝術　4、風俗習慣　四、思想問題――1、民族思想、2、社會思想
五、結　論
1、帝國主義批判　2　殖民地問題、歸趨　3、結論

殖民政策裏面研究（五）

――弱少民族は斯くして滅ぶ――

金　熙　明

近世史

歐洲文明の世界的發展は之を十五世紀の始に於ける諸活動の結果と見て差支ない。即ち歐洲の諸民族は當時英雄主義を尊重し冒險を好んで海洋を航破し、新大陸を發見し、もしくは遠隔の地方と通商交易をなし又は之を征服して殖民政策による國家の發展を期してゐたもので、勢ひ中世の暗黑時代は漸く終を告けて、そこに起る反動的社會の風潮は、人類の文化の起源を捲き起した。いまその尤も直接的にこの氣運に影響を與へた發明を擧ぐれば、羅針盤の發明彈藥の發明、印刷術の發明等で、之等の發明が當時の國家發展のため弱少民族を殺戮迫害し侵略强制した最大要素となつたのはいふまでもなく一八九七年の七月バスコデガマが喜望岬を廻り一四九二年コロンブスの新大陸の發見並びに十八世紀に於ける産業革命等は遂ひに近世資本主義國家の帝國主義を胚胎する途程となつたのである。斯くの如くにして近世殖民史を詳論することは全く容易ならざる仕事である。故に私は玆に於ては簡易を主旨として特に英國殖民史のみに就て比較的詳論を試みんとする。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

英吉利

英國は近世殖民史の中、特に大書すべき諸要件を具備してゐる大帝國である。故に私は本章に於て可及的詳論を試みんとする。前章に於て已に殖民學上の分類をローマ的帝國主義系統並に英國的帝國主義系統の二種に分類して論究したが、更に英帝國の殖民制度に關する思想を觀察すれば殖民地は廣義の殖民思想及び狹義の殖民思想の見解を自ら異にし、殖民地を單に香港、新嘉坡の如きものなりと概論しあるひは單に王領殖民地と自治殖民地の二種となすものもあり、また隨處に形體方式を異にして共通の形式的原則法度がなきものと唱へる者もある。しかし玆に於ては私は廣義の殖民制度思想を採用して間接内接に英國の國際上の帝國主義發展に手段化される諸領土を包含して論じやうとする。即ち英國皇帝がその王位を兼攝する印度をも殖民地となし、保護國若しくはアイランドの如きドミニオンの位置にあるものも國際上經濟上の方面に於ては一種の殖民地に見做すべきは勿論、特許會社の領地其他のデペンテンシーの全部に就て論及せんとするものである。この見地より英國殖民地制度を觀察するにその形體は歴史的發達の順序に依りて劃一的なものにあらず、大凡三四十の形式があると雖も、その間また一定の通則の聯絡をみるものでそれに從ふと英帝國の殖民形式は七種の分類と見る事は可能である。即ち特許會社殖民地、王領殖民地、自治殖民地、半自治殖民地保護國從屬殖民地、特別殖民地の如きもの之である。因にいま之を項別に詳論せんとする。

一、特許會社殖民地

英國がアメリカを拓殖し、印度を開發したのは、この方法に依るもので其他の諸殖民地も多くこの制度により獲得したものである。即ち東部亞弗利加を千八百八十八年に獲得し、南亞弗利加ロデシヤ地方を千八百八十九年にこの分方法を用ひて獲得したるに依り以後殆んどこの制度を採用するのは勿論獨逸、葡萄牙の如きも競つてこの制度を採り佛國もまたこの制度を各殖民地に模倣しつゝある

二、特許會社の權利其他

英王が北米の新領地を開拓するに當り、その土地を分割してその諸臣若しくは重臣に與へて一土地を有する者は其土地に附着する人民をも支配する權ありといふ土地と人民を兼ねて與へたため自然一個の專制侯を生じるやうになつたが、後にこの特權は同業者等の組織したる會社に移り、政府は更に特許状を該會社に與へて法律を制定し、租税を徴收し、人民に制令する權力を許可したが、遂ひにそれが今日の制度に及んだものである。その當初にあつて會社は貿易專有の權があつたけれども、現今はたゞある程度の禁制權を與へてゐるなほ會社によつて相違はあるけれども、大要軍務警察の名の下に歐洲士官をして土人を鬼集訓練せしめて、一種の軍隊を起こす權限、貨幣を發行し、河川用砲艦を有し、法律を作り、租税を徴收する權及びそ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の選擧したる會社の社長に、政府は直ちに之を總督若しくは太守の權を行はしめ、或ひは別に駐在官もしくはコムミシヨナアを派遣して相幇助せしめたことがあるけれども會社の社員其他の官吏として會社自身が選定することが出來その會計係は大藏大臣、社員取締掛は即ち拓殖總監を以て任命することから推察してもこの會社が殖民省もしくは拓殖省の直接手先でなければならぬ。朝鮮に於ける東洋拓殖會社はほゞ之に類似したるものである。現今この種の著名なる殖民地はボルネオにして、ナイヂヤア會社及び東亞弗利加會社は數年前、その期限盡きて權利を政府に賣却して終りを告げ、其他は南亞弗利加會社がロデシヤにある。

三、王領殖民地

王領殖民地はまた直轄殖民地とも稱ふ。その名の示す如くその權限が王室に屬し英國の政治樣式たる議會の發言權若しくは民選議員の制度を廢し、全然王權の發動によるものである。太守若しくは總督、直接王權を代表する獨裁官にして、本國政府の他何人も之を動かすことの出來ないのが原則である。初め英國がその殖民地を開くや殖民地の太守に重權を與へるのは一つの國家の中、更に一國家を置く危險がある杞憂を以てなるべくこの權力による制度を削減し諸官僚をして互ひに相嫉妬妨害せしめんことを主とし、加奈佗の如きは法文上太守に重權を與ふるにかゝはらず、別に監察官を置き暗に太守を牽制し、且つ私かにその擧動心事を偵察して本國に密報せしむる制度をとつたが現今は何れの殖民地も全然之を廢止して太守若しくは總督に之を一任し任務を掌るやうな新しい制度をとつてゐる。

英國は千八百八十九年の解釋法によりては英佛海峽諸島アイル・ヲブ・マン及び印度を除く以外の領有地を以て殖民地なりと稱することに決定し、此の定義によると英國の殖民地はほゞ四十三にもなるべく、その中王領殖民地と稱せられるものはフキジー、ジヤマイカ、ツリニダツド、レーラレオン、ガミヤ、ゴールド、コースト、ラゴス、フアークランド島、ホンドラス、ジブラルタル(陸軍管轄)、セント・ヘレナ、アツセツシヨン(海軍管轄)、セーロン、マウリシヤス、海峽殖民地、香港、ラバン及びトランズバアルの十九である。

四、自治殖民地

自治殖民地はまた責任内閣制度の殖民地ともいふべきものにして政府がその土地を占領するに先だちて、英人已に茲に居住し、英人固有の風俗習慣を樹立し、人文産業の進歩著るしく、その自治を認めなければならぬものにして、その人民は殖民地議會の代議士を選擧して立法行政を解決し、その殖民地の大臣は、またこの議會に對して責任を負ふて進退するものである。

選擧權

此種の殖民地に於て選擧權は一定の年齡に達する男子は悉く之を有し、ニウジランドの如きは婦人の參政權まで許してある狀態であるが、ケープ殖地民の如きはなるべく多

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

くの英人に選擧權を與へ土人に選擧權を與へざるがため一ヶ年五十磅の所得を生ずる財產、もしくは之に該當する俸給賃銀を得るものを以て資格者となし、僅かに八萬六千人の選擧者を作るのみであつた。もし丁年普通選擧權によれば二十五萬人の選擧者を生じ、多くの黑色選擧人をみるべき筈であるけれども、この制限があるため土人の選擧者は極めて少數に止り從つて被選擧者の少數なるは理の當然である。

こゝに殖民地自治の重要性並びに効果は、土着民族よりも侵略民族の方に遙かに多い結論を見ることが可能である。

五、半自治殖民地

半自治殖民地はまた半責任內閣制度とも見ることが出來る。この制度は多く例を見ないものであるが王領殖民地より自治殖民地に達する途程になるものに對する所謂腰掛政策で先章に於て已に述べた日本の朝鮮統治の如きはあるひはこの制度の中に包含されるかも知らない。但し之は進化上の形式のみの同一なるを意味し朝鮮に未だ參政權なきを以て本質的に相異點を持つものと云はざるを得ない。

殖民地が人文產業の進步發達によりある一定の時日を經過すれば必らず參政權を唱へるに至るもので英國は斯かる場合巧妙な制度を構成して土人に政權を與へず、成るべく英人にのみ與へんとするも、土人の數非常に多數なるを以て如何ともなし得ざる場合英人と土人との選擧の標準を同一にせず即ち英人と土人の選擧方法を同一にせず被選擧者の數のみ英人に優勢ならしめんとする不法的選擧權のある自治制の殖民地である。この制度に基ける殖民地はバルバドウスの外、バハマス、リーワード島、ウヰンド、ワード島、英領ギヤナ、ベルムダ、及びナタル等の殖民地がある。

六、保護國

前章に於て述べたる如く保護國はやはり一種の殖民地である。現今この制度を用ひてゐるのは亞弗利加のナイジヤア、ニウギネヤ、ヤレー半島のイシヨウル等の諸洲南洋のサラワク、亞弗利加のビシヨウナランド、ザンジバル、ソマリ・コースト等にしてその內部の制度は紛糾して同一でないマレー諸洲はシンガポール直隷殖民地に隷屬しニウギネヤは濠洲聯邦に從屬し每年二萬磅の補助金を濠洲政府より受け、ソマリ・コーストは始めは印度政府に從屬したけれども、今は外務省の直轄となり、そのコムミツショナルも中央政府より簡派し、サラワクは英人ブルツクが自立して王となりしものにして、此處にはコムミツショナルもなく僅かに、英國領事があるのみであつた。英國政府の殖民政策の不文憲法として特許會社の殖民地は當然保護國として其年期の盡きたるとき、若くは之を廢能したるときは、之を直隷殖民地としなければ即ち暫時太守治下の保護國とするのを常としたものである。

七、從屬殖民地

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

從屬殖民地とはその政治的產業的文化的の地位甚だ重要ならざるものにして、之を他の重要なる殖民地に從屬せしめるものを云ふのである。即ち、ラブラドールがニウ・フヲンドウンドは、タークス島がジャマイカに、トバゴーがツリニダッドに屬するが如きを言ふ。此種の殖民地は以上數へしものゝ外サヲス・ジョールジャ、アデン、ペリム、ソコトラ、ロドリグス島、セエーシュル及びアミラント島チャゴ、ヲイル島があるその中ペリムアデンは印度政府に從屬し、其駐在官は、直ちに軍隊指揮官にしてその制度極めて簡易なものである。

八、特別殖民地

特別殖民地は以上の範疇內に這入らないものを言ふ。即ち印度、サイプラス、エジフト、ザンジバル等之である。印度は政治上より見れば殖民地なれども、法律上より見れば嚴然たる一大帝國の形式を有し、英國皇帝は印度皇帝の位を兼攝するもので殖民地と云ふよりは、むしろ領有地と云ふべきものである。故に之が管轄するために印度事務大臣を置き內閣に列せしめてゐる。印度を統治する者は印度副王で總督が之を兼ね文武の重權を握る。印度事務大臣はその下に一種の評議會を置きその會員は曾て十年以上印度に在任し印度を出でてより十年以上に達せざる英國紳士より之を任命し、その任期やはり十年とし、上下院には勿論席を有する能はざるものにしてある。如斯にして一見印度は殖民地として他のそれに較べて最も優遇されてゐるやうなものゝその實、政治上經濟上壓迫と搾取の程度は他と變りのないことは當然で近年印度に於ける民族的反逆運動は悉皆斯る不合理な英國の專斷的政治に基けるものと見ることが可能である。

佛蘭西

一、シムテム・ド・ラッタシユマン

佛蘭西殖民史を研究するに際し、革命以前の殖民政策は同時代の英國其他の諸國と事情を同一にし、形式を同じくしたものであるから玆に於ては之をしばらくをいて革命以後のそれについて研究せんとするものであるが研究行程中に於て之が暗示的にでも表示され得れば幸甚である。

佛蘭西は國內の紛爭が彼の大革命により一掃され自由、博愛平等の思想國內に充滿し、天下の人類を抑壓より救はんとする大願望炎として佛蘭西人の胸中に燃え從つて其壓制下に虐げられつゝある殖民地にもこの理想が展開され佛蘭西の殖民政策は一新方向を轉じて南蠻西戎を制止し一切の殖民地に佛國と同一の制度法令を布き以て文化の程度を同一域に達せしめんと努力し。之が即ちシュマンである。之は云ふまでもなく同化劃一主義で、それより先き、佛蘭西はその殖民中マルチニーク、グアドルウブ、ギヤナ、ワウニオン等は英國の王領殖民地の如く、政府より總督を任命し總督は自ら行政評議會員を任命して之に政務を諮問しまた時々不規則に殖民地軍議を召集して大事を評決せしめ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

たこともある。當時の殖民地議會の議員を選擧する資格を有するものは十二人以上の奴隷を有するものに限ぎられたことより察してもその狀態の如何に幼稚にして、革命前の之に關すること等がほゞ窺はれるものである。しかしその結果は良好な成績を擧げ遂ひに殖民地人民に對し佛蘭西國民議會に列席すべき代議員、元老院の議員を選出する權限と、有力なる殖民地議會を組織する權利を附與するに、至つたのは、英國の自治殖民地よりも一層有力な權利の讓渡であつたため當時佛國は政治上に一大變態を生ぜずにはゐられなかつたものである。

かくの如くしてこの同化劃一主義は佛國全體の運命を左右するまでの政治上の大問題となり遂ひにこの憲法は一七九九年廢棄するに至り、凡ての殖民地は特別制度の下にをき、殖民地の代議員を國民議會に列席することを禁止したミステム・ド、ラッタシーマンはかくして失敗の經驗とならざるを得なかつたのである。

いまその後に於ける佛國の殖民地制度、即ち近時の殖民制度を見るに郡縣殖民地、保護國、總督獨裁殖民地の三つに分類することが出來る。

二、郡縣殖民地

郡縣殖民地といふのはその地理的狀態に於て殖民地であるけれども、政治上には之を佛國本國の郡縣と何等、異る處のなき制度を云ふ憲法の同一保障は勿論、選擧權國會議員選出等に於ても本國と何等變りのなきものでその主管局省も拓殖局、殖民省の如きものでなく內務省が之を直管するものである。屢々云盡された通りこの主義はやはり本國と殖民地との地理的狀況を第一條件とし、佛國に於けるアルゼリヤの如きは即ちその好例である。

三、保護國

保護國は前項イギリスの項に於けるそれと原則的に共通性を有つものである。即ちその殖民地の政治組織はその原形のまゝ存在せしめてこれに佛本國の改革を加へずたゞその外交權のみを綜攬し而して、佛國の勢力を內政に加ふるものであるけれども、たゞ舊來の組織中にその勢力を注入するに止るものである。即ちチュニジヤの如きはその舊王朝は依前存在し、其豪族は政治的社會的の榮譽を有すれども、その外交權は佛本國が之を把握して巴里政府が之を代表すると共に其內閣大臣の九人中、七人は佛人に規定したることに依つて保護國はすべて佛國の掌中に委屬するものである。

四、總督獨裁殖民地

總督獨裁殖民地は殖民地として獲得せし時期極めて近時に屬するもので佛蘭西がその國會議員選擧の權と民選地方議會選擧の權を殖民地に與へて之を治めた、同化劃一主義失敗の經驗より之を改革せしものと、その住民の狀態極めて、蒙昧にして、土地また僻遠のため佛本國人の少數なる地とがある。即ち之は從屬殖民政策に基づけるものにして日本の朝鮮臺灣にとられる政策と變りがない。（續く）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

批評感想、挑戰、辨駁

日本の無產階級運動も、政治戰線へ進出し始めてから、運動の進展に伴ふ必然性が、今日見るが如き紛糾、混亂、分裂を生むに至つた。即ち、昨日迄同志であり、朋黨であつた者が今日は主義主張乃至は、政策の相異から互に、論難し合はなければならない樣な、連絡されてゐない不統一振りを示しつゝある。此の未曾有の混亂期にある我が社會運動に關する批評、感想、挑戰、辨駁の蒐集は最も、意義あることゝ信ずる。殊に多忙なる實際運動家、學者、思想家等は事々に、長文の論説をなしてゐることを許されない。即ち左に收むるが如き、ハガキ通信として寸言を記すことは、執筆者は勿論、讀者も之れを歡迎するであらう事を信ずる。

――(編輯子)――

◙ 福田德三

高畠素之氏のマルクス資本論全譯に對し、向軍治氏が誤譯だらけとの非難を日々新聞に寄せられたに對し、其の箇所の明示を高畠氏が促したに拘らず向君は一向之れに答へないのは Fair でありません、日刊新聞では迷惑でせうが、貴誌なら、其位の紙面割愛出來るでせうから、向君に誤譯の箇所の列擧を促がされては如何、向君の列擧を拜見したら私も、卑見を貴誌へ寄稿しませう。高畠君に誤譯なしとは思ひませんが、アレ丈け苦心したものを穿鑿なしに、誤謬呼はりは、決して爲す可き事でありません。向君が答へないなら、同君より漫學の謗を免れないでせうから。此れは輕微な問題として一擲さる可きと思ひまん。

◙ 中澤辨次郎

(一)此頃私共の遺憾に存じますことは主義思想が異ると云ふ單なる事情の下に徒らに中傷せんが爲めの中傷、非難せんが爲めの非難をやる、所謂農民運動者――勞働運動者の中にもあると思ひます――が多くなつたのにはアキれて物が言へない。反對なら反對で正々堂々と正面から正大の論陣を張らず裏面に廻つて、緒のない所へ緒をつけた中傷や、讒謗で最も陰險なる穽を穿つ事が流行してゐる。ソレ丈けなら未だよいがアラヌ流言蜚語迄飛ばして相手方を脅威し、アハよくば暗打ちでもしかねまじき言を弄して相手を威迫せんとする者まで生じて來たと云ふ事を聞きましたが、お互に解放運動の戰士として進む者は、其間に今少し「相見互ひ」の寛度を持したならば何うかと思ひます。

無產階級解放の貴い使命を荷なふて進む者は、間違つても亂成黨の泥仕合は、重ねたくないと思ひます。

(二)近頃私共の組合で組合の指導精神

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を破り、組合の月給に衣食して居乍ら他の組合他の黨の仕事に狂奔して居つたと云ふので組合員から袂を分たれたものがありました。私共はさうした人々でも組合の立場からは兎も角個人としては洵に立派な人であると思ふて居たのでありますが、その人達が組合を去つて後執つた言動を顧みますと、實に其人達の爲に惜しみても餘りある所行許りを敢へてしたのには驚き入りました。今迄斯した人達の口ぢや斯く云ふことは「裏切者」の非難攻撃であり「分裂を策爲する者」に對する論難でありましたが、今度は自分達が進むで分裂を策さうとしたり、裏切り行爲も盛んに行ひ初めまして、其の行爲を扮飾しやうとする爲に種々の中傷や讒謗を而も無署名でやり出した行爲には實にアキレもし、亦其「人の爲」に遺憾に思ひます。私共は自己に多少でも非のあつた時は、首をたれてその非を問はれる丈けの虚心な、而して謙讓の態度を持し度いと思ひます。尠くとも自分等の言動は常に自己の人格の反映であることに顧み、目的の爲に手段を選ばぬ樣な事は避け度いと思ひます。

▣ 澤井龍之助

吾々の運動は恒に大衆を目標としてのみ運動し、且それ故許さるべきものである。然るに最近、福本某とか云ふ一派が頻りと、社會運動の内面に向つて彼等一流の理論と屁理屈を以つて毒づいてゐるが、彼等は肝心の大衆それ自身を度外視し只己れ自身の理論性癖を滿足せしめ、而も社會運動其ものにもケチを附けて得々としてゐる。而して判りもしない實際運動をば「マルクス主義」とか何とかで攪亂してゐるのだ。此の一派の機關紙に「マルクス主義」てな雜誌があるが、これは社會主義宣傳雜誌よりも彼等の私慾的な賣名的な賣名雜誌の觀を呈してゐる。

彼等は口に共産主義の理をば堂々と吐いて居る樣であるが、其實は大衆を道具に使ふ彼等の憑かれた文化的野心を滿足せしめんとする手段に過ぎない而して、イヤ、意識的組合主義だの、又は追隨的だのと、ホザキ廻つてゐるが、彼等は總て自己のセンチメンタルな利己的な文化的野心を飽喫するエゴイストの辯に過ぎないのだ。コンナ連中に限つて、イザ革命となると眞先に逃げる手合だ。兎も角同志の運動を攪亂し、中傷して賣名の手段とする、此の職業的理論屋を先づ革命の前の血祭としなければならぬ。全國の同志よ起つて職業的理論屋を葬れ！彼れ福本一派の所謂福本イズムは、ドイツの反動學者の學說から割出した、反無産階級的なものであるのだ。

▣ 細迫兼光

あまた出來た眞僞とりまぜの無産政黨の眞物か僞物かを識別するには其の綱領政策を檢討するよりも尚ほ手取り早い方法は相手方の態度を見るのが一番だ。政府は、ブルジヨアにとつて最も恐ろしい物に最も激しい彈壓を加へるからだ。而してブルジヨアの最も恐れる物は無産階級にとつては最も親しむべく最も信賴すべき物であるからだ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◙ 奥平生

A「問題は現在の日本農民の特殊性と云ふものに對する考へ方にかゝつてるんだ」

B「特殊性なんてものは、今日ではありませんよ又あつてはならぬ。」

A「じや、何故――例へばだね――杉山氏に今日迄喰ひ下つて來る樣なことをやつたのだ。今更ら（杉山氏の日本農民組合ぢやない）もなからうぢやないか。」

B「それは本部乘つ取りの準備期間中はその必要があつたまでさ。」

A「又しても「利用」沙汰かい――だが、特殊性が、なくなつたと云ふことは少くとも農民のイニシエチーヴがなくなつたといふことぢやないだらう。」

B「全日本農民組合はどうだ？」

A「分裂したアトの農民組合はどうだと問ふ方が自然な出方だよ、」

B「すると、君は「特殊性」をイニシエチーヴに、置きかえやうつてわけだね」

A「それでもいゝ。」

――三月一日――

◙ 今村等

最近の九州の無産階級運動は北から南に移つ來つゝある然かも九州が八幡を中心としてゐたのであるが共産黨の手先どもが、福岡縣に大いに力を入れて策動して如何に社會運動は共産黨の專賣かの如くやつて見たが九州では共産黨の手先共の如き青色無力、口先ばかりの腰抜共では暴力團にかゝつては、ピク／＼して逃げ出すから、勞働者も一般無産大衆も相手にせぬ樣になつて看板だけプラさげて幹部と稱する連中が、住所がなくて西へ東へと飛び歩いて、人樣の家に厄介になつてるそれも普通の人樣の内なら兎角、反動團の親方とやらの家なんかで小使などして社會運動共産派なんて、威張つてゐるから共産黨も大分下落すればするものである。共産黨の大王堺とか山川などと云ふ連中は大いに指令を出し共産派の體面を維持する事に努めるのが急務である。然し、九州にはもう少し社會運動者らしい奴を派遣せぬと駄目だ。先頃日本大衆黨の九州宣傳で麻生始め僕達か、大牟田の公會堂で演説會を開く事になつてゐたので全部の共産派がやつて來て立會演説を申込んで來たので應じたら逃げて行つた。そして手を合せて御斷り申上ますと。この共産黨のへコたれと苦笑せざるを得なかつた。

◙ 津田光造

現在、内地在住の朝鮮人、支那人、及印度人等被征服者的立場にある東洋人に對して、日本人は特に實生活上の便宜を圖り、友誼を厚くし、親交を旨とする事、就中、資本主義社會における無産階級は、同じく被征服者の立場からして、宜しく他の被征服者的東洋民族との協同親善を圖り、東洋の大資源を資本主義白色人種の蹂躙から解放すべきである。是れ日本無産階級解放の一大要件也。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

▣ 奥田貴太郎

天下周知の事であつても一般的に知らないのは軍隊内の事だらう。私は公用が私用當番に早變りしてゐる事を一言したい、今日の當番は將校の下男下女の二役を八九分まで勤めてゐる。週に一、二回より宅に出向ふ必要はないと思ふに毎日（休日）でも出て二、三時間は獄！夏なれば汗にせめられ、冬は寒氣に虐げられ乍ら靴、劍は申すに及ばず、風呂の水汲みから風呂沸・買物の小使から野菜物作りの作男から子守等、少尉等の御妻帶者ときては米洗ひ、飯たき、洗濯の下女仕事迄するものもあるとの事、これが七八十圓からの月給を取る軍人商賣が一年十ヶ月もお國の爲と辛い中を小遣まで持つて行つてゐる兵卒に要求してゐる事だ。是は一小部分だが矛盾の點は、山程あるのに一考もせず、隊內の風紀の紊れんとするのを嘆いてゐる將校連は、先づ第一に自分達の事から、反省して兵卒にも要求すべきだ。現在の儘では迚も横暴過ぎて話にもならぬ位である。

▣ 原信行

日本農民黨は其後相かはらず無產階級を詐る樣なことばかりしてゐるが、過日新潟に於いて開いた演說會には、御大平野力三を始め其他の取まき連中數名來て、農民を丸で生佛の樣に崇め、日本農民黨を唯一無二の農民の代表政黨だと云ふ樣な事を並べてゐたのは、全く呆れて物が云へない位であつた。平野を始め其他の所謂委員だとか幹部だとか書記だとかの奴等は、凡べて、ブルジョアの道樂息子の樣な服裝をしてゐるのを見ても、如何に彼等が曖昧な金を××から引出して運動をやつてゐるかゞわかる。試に、彼の黨の本部へ行つて見ると、正面に日本農民黨と云ふ商店の廣告看板見た樣なデカイ立看板をしてある。あの看板で農民を釣ろうなどゝは、彼等は餘程低級な頭を持つてゐると見える。過日行つた時は日の丸の國旗を立てゝゐた。要するに彼等は農民を如何にして詐りドル箱××より如何にして金を貰ふべきかゞ彼等の苦心してゐる所である。農民の解放などは、何處を吹く風かとばかり空うそぶいてゐる。須貝快天等と云ふ下らない爺を擔ぎ上げて、厚顏しくも農民運動等と云ふ破廉恥漢！日本農民黨を葬れ！

▣ 佐根泰夫

帝國主義が山間僻地の隅々まで行き渡るにつれて、又都會思想も伴つて浸潤して行きます、都會に搾取文化が華かに咲き亂れて、その半面に社會運動が熾烈である樣に、特權階級が横暴を逞うする處に、又それ丈、反抗する正義の熱血は渦まいて居ます。現に我等の故鄕四國山脈の雄を見せて海拔四千尺の高地に汗を流してゐる慘めな農村に迄、魔の手は伸びて來ました。用捨なくブル文化は襲つて來てもうどうにもこうにもやりくりが取れなくなつて來た。青年は村を離れ、土地は荒れ、家は空き都會の誘惑に會つて居る。此の

不景氣では益々烈しくなるばかりです。養蠶家の破產は製絲家の破產より一層恐ろしい結果となります。これは吾等に「勤儉力行」を說く當局爲政者達には判らない相です。農村が疲弊する其下から燃へ上る者を！僕達は靜かに一人より一人へと英氣を養つて行つて居ます。

——二月二十日——

◎ 尾崎敬止

先頃某社が何とか全集を刊行する砌文士と云ふ文士が（但し相當に名を賣つてゐる）がいゝ氣になつてその全集のチョーチン持をしたのは滑稽を通り越して全く悲慘の極であると云はざるを得ない。

◎ 久米萬平

小生大正十五年六月、警官番犬の盲動に遇ひ新聞紙法違反として罰金七十圓に處せられ、勞役場へ留置中大赦の恩典に浴し出獄、今又治安警察法によりて三ケ月下獄す、ブルの番犬の罪狀、言語同斷。下獄に當り同人諸氏及び全國の支局同志諸君の健鬪を遙かの別莊より祈る。

◎ 須藤三郎平

右だ左だと騒いで居る中に世の中はごん〱進む、右も惡いだらう。左も惡いだらう、中立は尙惡い。皆んな同じ道を同じ足並をもつて行く可き人達ではないでせうか。右もなく左もなく唯私達の行く可き道を堂々と進むべきではないでせうか。

◎ 淺野研眞

一、『進め』が五周年を迎へるに至つたかと感慨無量なものがあります。

二、最近の理論鬪爭の進展により、所謂『福本式』の大家（？）が次第に押込められて行くのも、感慨無用です。

三、此頃敎壇の人が、プロレタリア戰線の各方面に入り込んで行く傾向の增へたのは、誠に喜ばしいことです。但し、共中何人が果して最後まで踏止まり得るかを懸念せざるを得ません。淺き感激は、空想家的である！

◎ 張龍俊

俺は何時迄も考へてをられぬ。
俺は敵を撲滅せねばならぬ。
奴等の爲めに癪でならない。
番犬の撲殺時期は迫つた。
番犬殺しに出掛けよ。
□□□□□

◎ 春田勝彥

私は此頃の無產政黨の幹部連中は、なつて居ないと思ひます、同じ無產階級の爲めに生れた政黨が自己陣營内に於て互に爭ひをすることは、一つは無產大衆を攪亂し、一つはブルジョアの苦笑を買ふものであります。私は少なくとも無產政黨として無產階級を標榜して生れて來た以上は必らずその創立精神に向つて猛進すべきものであつて決して相互の鬪爭が創立精神ではないと思ひます。現今の日本無產階級に取つて不幸も此上ない社會と云へませう私は、茲に、各無產政黨の眞實なる、純正な幹部諸氏に鬪爭の矛を納めて全無產階級の爲め、社會改造の爲め、互

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の感情的病患より癒へて一大同盟を組織せられん事を望みます。

◙ 加藤勘十

貴社同人諸君の御健闘に對し心から敬意を表します。私は次から次へと展開される鑛山の爭議に沒頭いたしてゐまして殆んど暇なきを憾みと致します。唯何處に行つても痛切に感ぜられることは、資本の積極的攻勢を前にして我が無産階級陣營の分裂策を定義的――觀念的獨斷に基く――に迷動しつゝある一派を整理せなければならないと云ふことであります。終りに再び貴社同人諸氏の健闘を切望して止みません。

◙ 森本信一

四月倍大號に批評、感想、挑戰、辯駁等を書けとの事ですが、私の樣な者には分りませんが、現在の無産階級運動には、餘りに多士濟々であるためか戰線の如何を考へず、自己の野心を充すのみを目的とでもしてゐる樣に[illegible]中傷分裂等、悉く吾等陣營の不利な行動して居る人が多いのを悲しみます。もつと眞實に社會主義者としての行動を望ハます、尚農村にも主義の宣傳が必要であると思ひます、都會に比べると非常に懸隔があります、貴社に於かれても此の點に留意せられて今後努力せられん事を望む。

◙ 大谷久治

日に月に「進め」が大發展しつゝある事は我社會運動の爲、賀すべき事と喜んで居ります。私は半歳餘りも病魔との戰で一進一退の有樣でありますから現時の問題は解り兼ねますが社會運動家の多數が、獨りよがりのドロ合戰に夢中らしい、それを止めてほしい。

「寒月や盲人の行く霜の道」

◙ 山崎一雄

無産階級運動には無限の曠野が目前に展開されてゐる。泥合戰に時間を空費しては居れぬ、爲すべき事は餘りに多いのだ。

◙ 金熙明

民族自決、國家分立の自由權獲得運動、即ち殖民地解放運動のため決戰すべきはプロレタリアの最大の任務と思ひます、プルードンの樣な自由共産主義を捨てゝ、マルクス主義に基けるそれでなければならないと思ひます。カウツキーのとつた殖民地政策論はプロレタリアを欺瞞するに帝國主義より以上の害毒を流したではありませんか。プロレタリア(ブルジョア國家の)の自重を祈ります。被壓迫民族自決、國家分立の自由權獲得運動のため。

◙ 島津一郎

勞働組合が政黨運動に加はることは、有害無益だと常に主張し來た吾々は、最近無産政黨の續出によつて之に參加し、若くは支持した勞働組合間の內部混亂分裂等の事實を見せつけられて殊更に吾等の主張の確實なる事を認めたそれは單に戰術上の問題でなく、勞働組合と政黨との本質が全く相容れない

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

からだ。自由聯合主義の主張が如何に労働者階級の正しき味方であり、切実な要求であるかは我が全国労働組合自由聯合会の劃時代的発展ぶりが之を裏書してゐる。モットー、スローガン等の羊頭を掲げて、廻れ右から堕落への狗肉を売る職業的運動家や野心的指導者共の如何に多い事か。今迄永い間ダマされてゐた労働者は自己の解放を他人に頼もうとしない、自分自身で解決する組織自主自治の精神に基いた労働組合を欲してゐる。「笛吹けども民衆躍らず」の現象は労働者階級の個人的自覚を示す悦ぶべき現象であると思ひます。

——三月三日——

◙ 加藤今一郎

党人生活を始めた吾輩は、新しく無産階級の政治戦線に馳駆せねばならぬのだが、解放運動に於ける凡ての行動を透して男性的である。往年自由民権論者か一死以て進めば何ものか生まるとの惑念は吾輩の心頭を支配する。矢張り新しき運動は宗教的信念を以て終

始すべきだと吾輩は確信して止まぬものである。

◙ 山内房吉

日本の資本主義は既に帝国主義の段階に到達した。と云ふことが全く議論の余地もないやうに断定されて、今では、一つの常識のやうになつてゐる。ところが最近高橋亀吉氏はその該博な実際的知識と統計とを示して、日本の資本主義はまだ帝国主義まで行つてゐないと、いふことを論証したそうである。これは一つの異論であるが、理論は常に実際を基礎とし実際と一致するものが最も正しくなければならぬ。此意味に於て高橋氏の論証は観念論者への警鐘である。

◙ 村松信太郎

現在日本の無産階級が資本主義社会への対峙は経済的にも政治的にも成可進出してゐるけれども一たび無産大衆の陣営を見るとき其処には思想的に彩られたる分野がある。力の分散してゐる事を知る。従つて如斯、情勢は未組織の大衆を組織づけるに困難であるばかりでなく、大衆を反動化せしめる怖れがある。無産階級の解放は観念的理論病者の主張で達成さるものでない事を知る必要があり、現実を取入れるだけの大人気がなければならぬ。

◙ 行村義雄

馬の糞と一緒くたにへしがれてもへ
しがれても。
春が来るとのびて行く芽。
娘達が××××にならずに都へ行く
と喧しく言ふ。
出て行くやうに誰がするのか。

□

××の代償へ黴毒のお土産をもらひ
にいくにん娘達が行つてゐることか

□

どろまみれになつて鍬を握る百姓は
目覚めた。
頁の塗りかへだ、あぶない地主よ。

□

きれいな女と紅い酒を呑む人よ、足

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

元がぐらついてゐる。「最後のボンペイ」の序幕があいた。

◎ 傘木幸盛

我が「進め」の五周年記念の倍大號に何か書かうと思つたが水呑百姓には一寸書けない。何時も虐げられて居る者は農民です。殊に民衆の爲め、農民の爲めを思つてくれるなら左、右、中も何もかもないはずです。唯團結行るのみではないでせうか。左、右、中、此んな事は皆んな幹部連の暇潰し策ではないでせうか。終りに「進め」の發展を祈ります。

——三月三日——

◎ 北野秋鳥

何處迄も苦しめられて苦しめられて紅涙を呑んで唖默つて居る農民の苦衷は享樂主義の多くの都會の奴等には夫れが解らないだらうと思ふ。若し此儘にして現在の農村を救はなかつたならば窮ては我日本の農村にも××××××××××××××××××亦當然の歸趨であると云はねばならぬ。如何に日本人は名聞の民とは云ひ乍ら飢餓と困窮の線上に立つて生活に惡戰苦鬪せなければならない運命が來れば、恥だの外聞だの、恩だの義理だの、其麼事を辨へ考へる暇もなく醜い鬪爭心を抱くやうになることは無理ならぬ當然行くべき所であると云はねばなりません。

——三月五日——

◎ 今村サノ

「進め」が益々發展して九州でも大分縣讀者が增加して來まして結構であると思ひます。私も夫の今村等が社會運動をやつてるので幾分の助けにでもなると思つて進め社の支局を長崎でやつてゐます。主人は元炭坑の納屋頭であつた關係で暴力的な人でした、否九州に現存して居る暴力團の仲間に屬する人でしたが社會運動をやる様になつてから人間ががらりと變りまして喜んでゐます、それも一番の友人である麻生久、加藤勘十、山名義鶴、棚橋小虎氏等の指導が與つて力あると思ひます元は鈴木文治氏とは非常に心安くしてゐましたが現在では分裂して對立鬪爭であるのです。進め社の同人も御指導と御鞭撻を御願ひします。

◎ 戸野元

一、社會主義の觀念程、色々間違つて鵜呑みにされてゐるものはありません。しかも智識階級に案外多い様です。私の知つてゐる某女學校長は社會主義を一種の空想的理論としそれを捧持する者は體のよいユートピアンだと申してゐます。それも色々研究思考の結果ならいざ知らず、一寸話して見たら、社會主義の概念さへ摑んでゐない事がわかりました。尤も彼は純ブルジョアーの代表的教育者なのですが。

二、こうしたド偉い味方を持つてゐる方が新聞や雜誌へ（唯物史觀の片鱗だに觸れてゐない輩に）「社會主義なんてとんでもない謬論です、あれはもの好きの變態人がいぢくる事です」などゝ堂々と發表されると無智な（或い無智になつて）善男善女が「ご尤も」と呑信して了ふので最初に述べた様な變

な矛盾を來たす事が往々あります。

――三月七日――

■ 高島米峰

國民の精神生活に重大なる關係を有する宗教法案を國民の大多數の意向に問ふ事なくして決定せんとするは不都合なり。

■ 茅野琢也

水平社が遂に四分した。一はアナキズムな・解放聯盟、二は純部落解放の青年運動・三はロシア共産黨の出店たる日本共産黨の下に働きをなしつゝあるダラ幹、泥棒、臨機應變主義者とその一味、四は一月五日旗上げした、日本水平社總本部の下阪梅吉氏一派である。此の内「一」と「二」に或程度迄共通點を有して盛に活躍してゐる。三と四は、犬猿も只ならざる狀態。ところで三のダラ幹共と臨機應變主義者等の(それは青年水平社無産者同盟勞農黨支持聯盟)今日迄の横暴・跳上り的獨裁病患者・小兒病共の空宣傳も部落大

衆からその正體を看板されて漸次苦境に陥りつゝある。やがて一網打盡的に閉塞せしめられ、大衆から見離されて終ふのも近い事であらう。それに代るのは一、二であり四の最的活躍運動の華々しい時機が來るであらう。

■ 北澤新次郎

近頃自分が最も不快とする處は我國に於ける無産政黨が相互に個人攻撃的な泥試合をやつて居る事です。こんな愚劣な事をやつて居る間は資本家は安心して居られます。

■ 倉本見南

「進め」誌も愈々茲に五周年を迎へることを得たのは此の上もない喜びであります。過去の感想としては内容と云ひ、編輯と云ひ只管敬服して居ますが年數と發賣禁止と來ては如何に官憲の壓迫とは云へ感心しませんから今後は發賣禁止をせられん樣に願ひ度いと思ひます。尚「進め」を益々大にして縱横無盡に、戰鬪氣分を横溢せしめて、

進め社を社會運動の中心にして貰ひ度いと吾等同志は希望して居る。

■ 鈴木楯夫

名古屋に於ける主要なる勞働團體たる名古屋向上會と製陶同盟が、中部日本の、最大な農民組合である中部日本農民組合と相談して、東京の無產政黨のいづれにも關係せず地方政黨である勞農民衆黨を組織したのは第一、東京の幹部諸君とは御付合で喧嘩をするのみがいやだのと、第二に經濟的の組合關係から別々の政治行動をとるとすると勢力を二分して資本階級へ對抗する力を、弱からしむるがためである。しかるに、向見ずの勞農黨名古屋支部の諸君、地方政黨を攻撃するのは、實情を顧みぬ、愚だと思ふ。彼れが本當に單一の政黨を希望するならば、先づ多數を占むる我黨に參加すべきでないか。徒に他を攻撃して獨り快を味つてはならぬ。地方のことだが進め誌上を借用して一言かくの如し。

――三月八日――

進め

吉田源藏

此頃共産主義の本家本元で「吾々グループを稱して極左派とか、共産黨とか謂ふから、今後保護色を被せる必要がある」てな事が論議せられて居るそうだが、此の間の請願運動は、此保護色の被り初めらしい。あまり二度も三度も出直して居ると、肝心の行き先きを忘れはせぬか。共産主義者は、其主義を政見を隱蔽する事を恥とし、ブルジョアをして共産主義の前に戰慄せしむるものではなかつたか。そんじよ其處らの一手販賣の共産屋諸君、一體全體何時頃から大衆の中へ戻つて來るつもりですかね。

—三月六日—

澁川國雄

■資本家共の足並は揃つた彼等は攻勢的態度を以つて一歩一歩と勞働大衆へと肉薄して來た。然るに顧みて我無産運動を見るに其處には自己滿足の爲或は一組合の爲に醜惡なる闘爭のみを續けて居る。我等は此等に對し痛切に嫌惡を感ずる。

■同志よ最早現在の相互闘爭は止め一致團結して戰線を張り、ブルに對し無産大衆の切實なる要求の下に行動せよ。自己組合や小感情に捉はれず、大衆の爲め鬪爭を開始せよ。

■今後は地方に於ける悲慘な狀態にある勞働者幾百萬の未組織者をして組織せしめる事が現下の最も急務なりと思ふ。

大和久雄

近來、地方青年の間に雄辯熱が澎湃として漲つて來ました。之は善い傾向と思ひますが、然し官僚的の臭味と亦國主義的の奉仕禮讃は餘り感心しません。青年訓練所はいろ/\な意味に於てカラキシ評判が惡く・當局は辯明に努めて居りますが效果は一階から目藥の態[illegible]んです。地方青年の自覺は除々として階級的に自己を知りつゝあるは嬉しい氣持です。壓迫はなか/\激しく購讀い雜誌や新聞を調査して何かタネにする積なのでせう。

三和一男

農民團結の力の偉大なことは今更ら申すまでもありません。が旣に農業經營の參與權を拋棄せる地主階級は、案外農民組合の威力の前に脆いものです。次の表は爭議の前と前後の地主の所得(一反に對する)の變遷を示したもので、約九〇、七〇激減、剩す所幾何もありません。(山梨縣常永村組合調査)

年度	小作料收入	公租公課	差引純收入
大正九年爭議前	二八、[illegible]〇円	九、〇〇円	一九、五〇円
大正十三年	二四、六四	一二、〇〇	一二、六四
大正十四年	二四、一〇	一三、〇〇	一一、一〇
大正十五年	一五、四〇	一二、四二	二、九八

倉澤康男

不景氣の底に蠢いてゐる地方農民に對して、全國二千有餘の肥料工場は我劣らじと不良な安物を製造中だそうです一番大切な土の養分を粗製濫造する惡商の不正手段も、農民に味方した取

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

縮法と農民の多少では科學的智識により培かれてゐたなら完全に防止出來ると信じます、然し現在の屈從精神養成のブルジョア教育型に鑄込まれて其日の衣食に營々くたる農民の少なく無い農村と民衆を離れた醜黨政治の社會では出て來さうも無い相談です。それを改造して農村生活が平等な經濟的不安の無いものに迄高めて行くべき責務の重大さを感じてゐます。

―二月二十六日―

▣ 藤松義雄

親一人、子一人の私の母は今胃癌で僅かに靜脈注射と牛乳灌腸によつて生命を繋いでゐる。私は此重病人を看護人に依賴して僅かの賃金を得る爲め、工場に働きに出てゐる。恩愛――愛着――貧乏――工場――賃銀勞働者――社會組織――と私の頭の中はガン〱鳴る。此事實！此事實だ。私の頭を支配してゐるのは涙も出ぬこの慘虐事あるもつと人間味溢るゝ世の中はないか。

二月二十四日午前一時半のかすかなる呼吸を伺ひつゝ

▣ 國部龍英

福本和夫は例の辨證的論法を振り廻して盛んに社會運動界を攪拌してゐるが、彼は去る日、甚だ芳ばしからぬ事を某新聞に摘發された。爾來如何なつてゐるか判らぬが、マルクス主義二月號には氏の弟子、水野某の名前が消滅してゐる。氏もマルクス主義を退いたのであるか。あれ程猛烈に內面的に曝露されては、流石の辨證法の徒も些か手應がしただらう。第二島清は少し非道いが、實際は、人格者ではないそうである。

▣ 永島德次

支那の革命騷ぎを見てゐると、全く往年の戰國時代にホウフツたるものがある。然し、今度の國民革命軍は、無產階級解放を旗幟としてゐると云ふから、今迄の戰爭と些か異つてゐる所がある。蔣介石は盛んに氣焰を擧げてゐるが、吾々は彼に今一段の社會主義的色彩を與へたい。彼若し眞の社會主義者たらば、支那の將來――を論ずる事は痴人の夢かも知れないが――誠に刮目すべきものがあらう。戴天仇は日本へ來て、ブルジョア政治家と交遊してゐるが、氏の爲め惜しまざるを得ないものである。

▣ 濱口文美

改造は十萬部增刷したと宣傳してゐるが、どうやら宣傳だけではなく、眞物らしい。が假りに二十萬刷つてゐるとした所で今の定價で恐らく損であらう。改造社は何を感じて損までして斯くするのであらうか。些か諒解に苦しむが、安くなつて一般プロレタリアにも讀める樣になつたのは有難い。面喰つたのは中央公論、解放あたりであらう。然し三月號等見ると內容は大したものではない。所謂安原稿のみ集めてゐる。

▣ 室伏高信

無產政黨の大合同を望む。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◙ 池田久

政府が又亦勞働組合法案を議會に提出した。今期議會も多分通過はしないであらうが、然し斯くも毎年々々提出してゐると來年邊りは通過するかも知れない。吾々勞働階級は此の惡法案粉碎の爲めに全國的運動を起こさねばならぬ。全國の組合は惡法反對同盟を組織して猛烈なる彈劾の矢を放て!

◙ 水島三郎

近頃豫約出版物の續出することには驚く。第一に日本文學、第二に世界文學、第三に世界思想家、第四に戲曲等々々。よくも此れ丈け出すものと思はれる。何れも民衆には一寸手の出せない程の高價なものばかりである。此の現狀を見ても日本の出版界は未だ〱ブルジョア相手の仕事ばかりしてゐる。尤もプロレタリアを相手にした所で、儲かりツこはないのだが。プロレタリアの全集も最近少し出た事は出たが、矢張り彼等ブルジョア出版屋のやつてゐる事とは、同一に話す譯には行かない。彼等は一つの原稿を雜誌へ載せて單行本として、全集として、その又全集として同じ原稿を四回も五回も別な體裁によつて行つてゐるのだ。日本の無産者よ!彼等に欺さるる勿れ。

◙ 柴野吉次郎

社會運動をする者は常に大衆の模範とならねばならぬ。大衆を自らの人格によつて引張つて行かねばならぬものである、私は最近社會運動家にこうした人格を尊ずる人の稀になつた事を嘆かはしく思ふ。××××は人格では出來ないと云へばそれ迄だが或る程度迄は人格を重じなくてはならぬ。

◙ 笹川健治

「進め」は第五周年記念號を發行すると聞いて我輩は我が事の樣に喜ばしい從來、社會主義の雜誌で五年以上も繼續してゐるのは今では一つとしてない。社會思想は少し古いが此れは以前は一部の人達の同人雜誌であつたのだから、先づ五年續いた雜誌は「進め」を置いて他に無からう。

◙ 坪井正巳

早稻田大學の最近に於ける學生壓迫事件は、實に悛然である。吾々は過日大山氏の留任運動を行つた處、何を血迷つたか學校當局は數名の者を退校處分にした。幸か不幸か僕は辛うじて退學だけは免がれたが、頑迷なる學校當局に依つて、血淚を揮つて學校を去らざるを得ざるに至つた友人に對して衷心より同情する。然し、友よ!人類の聖戰への良き門出をさして吳れたと思つて學園を諦めて吳れ。而して在校當時より以上、勇敢に、より積極的に、愈々解放運動の本舞臺へ上つて吳れ給へ!僕は其れを諸君への餞として諸君と別れる。僕等は學校に留つて、學問の自由の爲めに戰ふ。

◙ 杉山元次郎

沈默を守つて自己の信ずる處へ邁進致しませう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本年勞働代表
隨員問題紛糾の內實

長尾桃郎

海軍聯盟呉海工會が在來の慣例を破つて對外的には右翼友誼團體の、對內的には海聯加盟各組合間の、各々諒解を求めるのを怠り、昨年十二月十五日の委員會に於て、突如海工會會長久能寅夫氏を勞働代表候補に推薦したといふ手續上の缺陷（尤も同委員會が表面健康保險問題對策を中心として召集されたものであつたに拘らず、動議として久能氏の推薦問題が提出されたに就ては、是が仕組まれた腹案であり、所謂『自薦推擧』の理由ある點でもあるが、暫くこの海工會自體の焦點とする對內的問題に關しては、玆に觸れない。）が、はしなくも、問題の導火線となつて、海聯各加盟組合內に於ける自薦顧問、乃至隨員病者の思惑運動から生れる相互利害の衝突と、錯綜せる關係を有つ右翼各團體間の、自派の有利なる地步に展開せしめんとする一種の獵員運動と、糅て加へて右翼連衡の堅壘を衝かんとする中間派の策動との交錯等、內部的暗鬪と外部的攻略とに終始し、而して僅かに『海軍聯盟の統制と、組合信義を尊重せざる可らざる結果』として、久能氏の本意なき引退と交換に、總同盟會長鈴木文治氏が三度の當選を見た本年の勞働代表選出問題程、從來その比を見ざる程の醜き組合野心を露骨に表白したものは蓋し稀であつた。筆者は、この問題のぎこちなき解決を以つて、將來必ずや、一　海軍聯盟加盟各組合間に於ける融和、一、海聯と他右翼團體間に於ける友誼等に、一抹の暗影を投じたものであらうとの觀測を、主宰する『社會時事通信』に發表したのは、既に一月下旬であつた。二月末日社會局から、國際勞働會議に出席すべき本年度勞資代表の正式發表を見て僅かに一週日、早くも內に潛在したこの暗雲は、隨員問題を端緒として外部に曝露するに至つた。

即ち三月六日大朝紙は、呉電話を以つて『隨員問題に端を發し總同盟の不信を憤る』の見出しの下に、總同盟が勞働代表

投票の際に於ける内約を蹂躙して、當然海聯工僚木下志津雄氏に振宛てらるべき筈の随員を、總同盟大阪聯合會主事山内鐵吉氏に與へやうとしてゐる不道義に就き、海聯としての限りなき忿懣の意を傳へた。

筆者は事茲に至つた内部事情に就き、解剖のメスを掘り下げて見やうと思ふ。

○　○　○

一月二十日、佐世保に於ける海聯大會は、表面久能氏を勞代第一候補に、鈴木文治氏を第二候補に推したのは、一つには久能氏を推擧した呉海工會の立場を守ると共に、海聯の體面を保持せんがため、一つにはこの問題が焦點として内紛を重ねた海聯内體の彌縫的統制のため、世間體を繕つたものであつた。

何故なら海聯中央委員會の申合せたる「この決議の交渉に就て、他友誼團體中、一團體にもせよ、之に同を表せざる團體の存在する限り、久能氏は引退すべきもの」との一札に、各加盟組合長は恐く署名し、以つて決議尊重を誓つてゐたからである。言ふまでもなく、當時久能氏を勞代たらしむるに就て、總同盟、海聯組合、海員協會、官業勞働各友誼團體は、何れも當問題に對する直接的利害、影響に於てこそ差異あれ、久能氏を斷念せしめ、鈴木氏を推擧せざる可らざる立場に於ては全く軌を一にしてゐた。從つて上記海聯中央委員會の申合せは、單に久能氏の氣休めのため爲された空手形に過ぎなかつたことは、署名者自らが觀取してゐたところだつたでもあらう。

されはこそ海聯の投票權行使の委任者にして選ばれた島田（舞鶴）、柏原（横須賀）兩氏は、他友誼團體との交渉の結果海聯の所有する四十三票を總同盟に投じたのであつた。

だが、その投票に先ち、海聯内部に於いて海工會説伏の代償として、古賀徳一氏（佐世保勞愛會）を顧問に、木下志津雄氏（廣廠工僚會を）随員たらしめることを條件として海聯の内部事情から、上記兩氏は、大阪に於ける總同盟政治部長西尾末廣氏との交渉に際してこの條件の完全なる履行を求め、西尾氏も亦之を諾つた。しかし冷透にして明敏寸毫も間隙を許さないとの定評ある氏は、氏並に氏を通じての總同盟の立場を顧慮し、その條件の成否共に有利なる地歩の拓かるべき餘地を殘すのを忘れなかつた。氏の言ふところは斯うである。

「随員の選出は前例上代表の採量に一任さるべき性質のものである。但し本年度に於ける海聯、並に總同盟の立場に深甚の考慮を拂ひ、海聯の意志を生かすべく、總同盟内部の意嚮を纏めるであらう。然し斷じて代表と随員とを交換問題とするのではない。」と

●　●　●

諾否何れとも解し得べき内容を持つこの返答を、海聯代表者が、自身に好都合なる解釋を施し、以つて海聯に復命したで――もあらうことは、前後の事情から推して、容易に想像されることである。

從つて當然隨員の椅子が天降るべく豫期した木下氏が、二月中旬、柏原氏を通じて鈴木氏に逢ひ、更に松岡駒吉（總同盟關東代表）から「内諾」を確め、外遊――正しく外遊である――の準備にも忙殺されつゝあつたので、亦自然であらう。（此說にして眞なりとすれば、氏は既に、送別會を催し、胸裡に溢るゝ歡喜を、秘かに同志と共に頒つたところである。）

。　。　。

前例を破つて代表選出團體以外に之を求めやうとする隨員問題の交渉は、しかし、西尾氏にとつても苦手だつたに違ひない。さればこそ氏は直ちに官業川村氏と共に、神戸の海員組合代表米窪氏と會見、海員組合の意嚮を訊した。鈴木氏を勞代たらしむまでには、氏を勞代たらしむべく慫慂した發頭人たる責任感もあり、更に他の經緯もあつた海員組合ではあつたにもせよ、既に勞代の決定を見た以上、而して本年勞代問題は直接的利害關係を有たぬだけに、その態度は極めて月並であり寧ろこの問題に就き、更に深き交渉を避けんと欲するものゝやうであつた。即ち「隨員は代表の採量に在るもの、從つて總同盟の對内的事情を考察して、海聯と折衝さるべきであらう」と。

。　。　。

勞代問題擡頭以來、鈴木氏が久能氏を破つ「當選するに於ては、前年松岡氏を送つた總同盟として、本年の隨員は當然總同盟大阪聯合會に一任さるべきことは、他友誼團體とも既に諒解濟みの獻立案であつた。故に大阪聯合會が秘かに隨員の物色に色めき立つてゐたのも無理からぬ。

この大阪聯合會の期待を海聯との上記の交渉の故に、直ちに無碍に見殺し兼ねた苦境に立つ西尾氏は、其後同聯合會委員會席上に於て、海聯の申出でが恰も官業勞働を通じて爲されたものゝ如く裝ふべく、その役目を川村保太郎（官業主事）氏に振當て、川村氏も亦完全にその振役を果した。正直な、而して西尾氏を支持するに切な大阪聯合會は、据膳された御馳走の、香ばしき匂を匂がされたゞけで終らうとした。それだのに――

。　。　。

「吾等は一度久能會長を推薦するや、四團體（總同盟、海員組合、海員協會、官業勞働）を除く他の全組合は、期せずして吾等の趣旨に共鳴し全國的にこれが支持を受け、勝算明かなりしも、聯盟の統制と、組合信義を尊重せざる可らざる結果、誠意と理解ある全國的支持に副ふ能はず、斷然辭退する。」（海工會の久能氏勞代辭退に關する聲明書の一節）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

當選可能の確信を自誇し、自らを清く飾るに可成勇敢にして、而も右翼諸團體に對し滿腔の憤怨の不平を注ぎ、言外に一種の抗議を抱藏するとさへ見え兼ねないこの聲明に對し、最先きに激怒したのは大阪聯合會である。時恰も、關西の牛耳者西尾氏が、社會民衆黨の擴張運動に忙殺され、不在勝ちだつた虛を利用してか、同聯合會は金正米吉氏を急據獨斷で上京せしめ、本部を脅すに「同聯合會の總同盟脫退」を以つてし、飽くまで隨從振りての妥當性を固守せしめた。

尤も同聯合會の忿懣をして、しかく料峭せしめた原因の一つは、本問題を中心として總同盟と海聯の一部との間に內訌した機微――例へば鈴木文治氏の勞代當選が一時危殆に瀕したと思惟された當時相共に利害相一致する胸裏から、總同盟は昨年の勞代問題以降特に、緊密な關係を結ぶに至つた橫濱工友會（會長川島不二男氏、松岡氏と共に前にセネバの地を踏んだ。）を切に動して久能氏を斷念に導くべく、搦手から牽制を試みさせた事情――や、後述するが如き內交涉に就いて、知るところの薄かつた點、換言すれば海聯の內部構成に就き、十二分の理解を有しなかつた點にもあつたやうであるが、更に他の一つは、總同盟の會員と、阪本孝三郎氏の率ゐる組合總聯合關西聯合會の會員とが交在する大阪某工場內に於て「總同盟は代表を得んがために顧問を買つた」との宣傳が流布されつゝあつた一事が、甚しく大阪聯合會の自尊心を傷け、神經を焦慮させるに役立つたといふ感情問題の存在をも見逃してはならぬ。

◦　◦　◦

總同盟關東側は關西側の所望を無視して、鈴木氏を守るがために、既に海聯に內諾を與へた。然るに總同盟の米櫃の一である關西側からは如上の如き逆襲を喰つた。茲に總同盟本部は、隨員問題で全く暗礁に乘り上げて了つた。

二月中旬、鈴木、松岡、西尾の三主腦者は橫須賀に駕を枉げ、柏原氏を訪問、更に木下氏の隨員斷念を懇望した。橫濱はしかし穩かに頭を縱には振るべくもなかつた。「曰くそいつあ約束が違ふ。」と。

工友會が、總同盟の可成虫のいゝ要望を拒んだ理由は、勿論破約に對する不滿の故でもあるが、先には吳海工會の占斷的處置に就きそゞろの反感も交つて、久能氏の勞代斷念運動の急先鋒となり、そのため海聯の內部に感情の塹壕を築いてまで海工會屈伏を牢固として主張した工友會であつたゞけに、さなくとも總同盟との因果關係が、對內的に累を及ぼさうとしつゝあるに際し、而も勞代投票委任者の一人としての重責を持つ身として、總同盟の希望を容れるに於ては、それこそ海工會から總同盟の傀儡視されるの惧れが十二分にあつたのみならず、その重責を汚すを虞れるが爲だつたでもあらう。

柏原氏は、しかし、この急變を島田氏に齎し、一應は木下氏說伏の役目にも立つた。この報を得て內心穩かならぬ氏は、兩氏と共に三月四日海員組合を訪れた。同組合を此際せめても自派の援護者たらしめ、以て所謂「總同盟の不信」をなぢる

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

べく、強靱性を増さんが意圖だつたことは、苦しまずして考へられるところである。

以下事實の展開の跡を辿り、素材の儘に報じて、讀者の自由なる判斷に委せやう。

三月五日、島田、木下、柏原、赤崎、米窪、川村、都竹（海員協會）、西尾、金正の七氏大阪に會合、大阪聯合會の慰撫に努めた。然るに六日の大朝紙上記の記事は、いたく大阪聯合會の態度を硬化させ、形勢は逆轉した。『山内鐵吉氏を隨員たらしめるか、然らずんば、鈴木會長自ら辭任すべきである。』と云ふのが大阪聯合會の主張となつた。

同七日、木下氏の上京に促されて來阪した鈴木、松岡兩氏が、憤激する家の子を慰撫すべく、殆ど徹宵を必要とした。この一事によつても大聯合の態度の強硬さを推知することが出來る。

同八日、仲裁役の海員組合は、米窪氏を大阪に派し「鈴木氏の勞代は單に總同盟の勞代たるに非ずして少くとも推薦團體の代表たる以上、濫りに辭退さるべき筋合のものたらざること、既に松岡、西尾兩氏によつて、海聯に内諾が與へられた限り、總同盟内部事情は、之を犧牲に供するの妥當なること」等を説いて大阪聯合會の同意を求めたに對し、納り兼ねた大聯からは、「代表と隨員とは交換されたるものに非ざる」旨の聲明を海聯に要望したものゝ、かくては中間派並に左翼に對し、却つて逆宣傳の材料を提供する迂愚なる結果を招來するでもあらう、と說く海員組合の慎重說に、大阪聯合會もその要望を撤回したと傳へられる。

隨員問題は、かくて茲にとゞめを刺されたものゝ如く、從がつて隨員は、恐らく、大阪聯合會の白眼裡にあつて海聯木下氏が起ち、代表等に共にゼネバの地を踏むに至るであらう。

海軍聯盟を中心として、右翼對中間派の爭覇戰裡に進展した本年の勞働代表選出問題は、隨員問題の一波亂を『後曲』として、ともかく結着を見るものゝやうである。しかし、いつも乍ら組合界に繋爭の禍根を胎す本問題の、本年右翼諸團體間に植え付けた種子が、必しも是を以てその發芽を絶つたものとは、斷言の限りではない。

一、海聯海工會内部に於けるアンチ久能、山本氏の、同問題に對する四百圓の運動費（會費消費問題）

二、海工會對海聯加盟各組合、別けても横廠工友會との關係

なども、同問題が新に生んだ派生問題たる可能性を潛在せしめてゐるのみならず、大阪聯合會が總同盟本部を威嚇した態度は、必しも微笑を殊更に鬼面に覆ふ技巧的夫婦喧嘩とのみ、單純に觀過するには、稍々深刻な内實の存在を思はせるものある時『不肖文治が責任を以つて解決に當る』といふ鈴木會長の常套語の中に、將して今後永久にこの問題を解決する秘鑰が含まれてゐるや否やに至つては、殘された問題であらねばならぬ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

無產階級法律問答

布施辰治

□

「進め」は、過去九ケ年の歳月に、社會運動を進出した丈け、其の間の惡戰苦闘、動揺、混亂、分裂、抗爭に、一進一退、夫れ夫れの異見批評もあらう。

が、しかしながら、彼れ丈けに、動揺、混亂、分裂、闘爭を騒がれた、「進め」が、發禁に次ぐ發禁の彈壓を突破して、ここに、五周年を迎へる事は、夫れ自らの運動進展であり、闘爭の白熱である、此の間、微力ながらの論陣に一ト筆の參加を任じて來た私は、「進め」二萬の讀者と、同人とに滿腔の祝意を表明する。

□

私は、其の祝意を一文に綴つて寄せるつもりで居たが、いつもの多忙よりも、特に多忙を加へた、臺灣行準備の爲に、其の意を果し得ない、が、私は、此の際、私の目に見へる平生の多忙の外に、目に見へない多忙を努力する無產階級の法律問答を、私の處へ全國諸方面から相談して來る問題に對し、常に、如何なる解答をして居るかの實例を公開し、私の平生が、如何に多忙だかといふ事と、私が、無產階級運動にどんな態度を執つて居るかを諒として貰ひ度い

鑛山勞働者の納税組合問題

（問）私の方の炭山で、納税本金組合と云ふものを作り、事務所で、各鑛山勞働者から、一ケ月一圓乃至一圓四十錢位づゝを、即ち、一年十二圓乃至、十七八圓を積立させて居ります、所で、事務所の納める納税は、一人分に付き一ケ年八圓位から十一二圓位ですから五六圓宛は餘るのですが一向返して呉れません依つて伺ひますが

（一）之れはどうしても積立なければならんものでせうか

（二）餘つた金は返して貰ふ事は出來ないでせうか

（三）組合を退けて他に轉住する爲めに組合を退けたいと思ふものは退けられんでせうか

（答）御手紙の中越丈けでは、あなたの炭山で納税基本金組合を作つて居る其の納税名目や、種類の何であるかゞ判りません、從つて納税の名目や種類及其の徴收に關する縣令其の他との關係を明かにしないとハツキリした解答が出來ません。

其れは、先年足尾銅山で鑛山勞働者から入坑税とも稱すべきものを縣税取り立てゝ居た際、縣税徴收規則中に鑛山の雇主が、被納税鑛山勞働者に代つて一括徴收の出來る樣な規則を設けて居た事があります。

左樣した規則の有効無效は、相當議論の餘地のある事で、私は、假令徴税者が其の徴收方法の便宜の爲に、縣會其の他市町村會等、所謂、徴税者の徴税權能を作用する機

關參與の手續を經て、之れを實施した處で、全然被徴税者の意思を蹂躪し、且つ、徴税方法の徴税義務公の原則を蹂躪した規則は無効と信じて居ります。けれども、假令結局の解釋決定に於て無效なりとするも左樣した規則であつて之に應ずる爲め納税基本金組合が出來て、勞働者から毎月一圓乃至一圓四十錢積立をさせるのであれば、其の積立金と從前の納税關係を單なる代理關係だとは云はれ無い事に爲つて、別問題は聊か面倒になりますけれども、御申越の質問が、別に其れ程面倒な問題を伏在せざるものとし、只、單に、勞働者から納入すべき納税に就て、被徴税者の納税成績を良くする便宜の爲、一種の取扱機關として、納税基本金組合といふものが出來て居り、其處へ勞働者から月々一圓乃至一圓四十錢積立てゝ置く積立金は、納税組合が其の積立者である、被徴税者に代つて納税する迄は、之を預つて置く事になるのであります、だから、假りに、被徴税者に對する義務が縣令其の他の事由に依つて廢止せられた場合には（實例のあつた事です）取戻す事が出來ます。從つて・質問の事實通り勞働者からは、納税の爲に一年十二圓乃至十七圓の積立をさせて置き乍ら組合では年度七圓乃至八圓五十錢位の納税をするのみで、其の殘金が組合に保存せられて居るとすれば、其れは、當然積立者のものとして積立過剰金の返還を求めて宜しい譯です。それから、積立者が他へ轉居した爲に、徴税區域の變更があれば、矢張り、取り戻して宜しい譯です、最後に左樣した組合が組合員の便宜の爲に出來て居るのであるとすれば、之れを解散する事は組合員の意見次第で出來ます、と同時に、解散後の清算に依る積立金は組合員に分配せらるべきものです、但し組合員が途中で無斷退社した場合に、積立金の拂戻しをしないといふ規則があると其れが、罰則的な場合には無效ですが、組合事務遂行の爲に、必要な費用負擔として脫退の時迄にかゝつた費用を清算して負擔させられるといふ意味であれば、其の費用負擔の限度に於て有効です、つまりは無斷退社者に何んでもかんでも只積立金を返さぬといふ規則は無效です。以上の解答に依つて大體質問の問題に關する意見態度は決定せらるゝでせうから、シッカリやつて御覽なさい。

右回答迄

内妻の姦通問題

（問）私は、内縁の妻と同棲十年の苦勞を共にして、さゝやかな商賣を營んで來たものですが、今度或る男の爲めに妻は、私を捨てゝ家出しました、そして、その男と一緒に暮して居ります、私の家庭は全然破壞されて商賣も潰れて終ひました、是非姦通の告訴して、仇を打ちたいのですが——出來ますまいか、亦、損害計りでも取り度いのですが、取れませうか、「生命」懸けですから、どうか許して私の執る可き方針を敎へて下さい。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

（答）能く考へて見ると、現代社會の男女結合同棲生活に關する制度程不思議で不徹底なものはありません、不思議な緣で結ばれる、見ず知らずの男女……知つて居ると云ふても、洞査したと云ふても、所謂、媒介人見合か？豫備交際に過ぎない理解で、一生を具にする夫婦生活が出來て行くのが不思議です。

だから、其れが、時に、合せものは離れものの、離婚沙汰が幾多の悲劇を續出するのも寔に餘儀ない事ですが、其の悲劇をどう取扱つてどう救濟するかに關する法律制度も裁判手續もあるにはありますが、男女結合夫婦關係の（前述した樣に）不思議なものである丈け不徹底なものであります、私はあなたのお手紙の爲に斯うして前文を書いた譯ではありませんが、あなたが同棲生活十年の妻に對する今度の問題を契機として、苦い體驗から此の問題を直視し、延いては現行諸制度に對する直感の抗爭的な態度を進出して貰ひ度いと思つて、以上の數言を献するのです。

扨て、本問題の質疑に係る逃け出した女の不埒と、之を迎へた男の不都合とを責める刑事手續は許されません、其れは刑事手續で責める姦通罪の告訴にはあなたと逃けた女とは正式の結婚手續がある事を必要とします、結婚手續の屆出さへしてあれば、事實上同棲して、居なくとも、姦通の告訴が出來ますが、戸籍上の結婚手續を屆出て置かないと事實上何年何十年同棲して居ても、姦通の告訴は出せないといふ形式主義になつて居るからです、あなたは此の問答に就て何といふ不都合な非實際的な刑法であるかを彈劾せずには居られないでせうが、現代社會の、現行法律制度は、皆、斯うした、非實際的な形式一點張りで、總ての問題を取扱つて居る政治が――多いので、此處に私共實際生活に即した生活本位な無產階級運動があるのです。

が、然しながら、あなたの問題に就ては、近時、幾らか權力的な形式主義の刑事裁判よりは、社會的の實際生活に順應しやうとして居る民事裁判は、戸籍上の結婚手續が屆出でなくとも、事實上の結婚儀禮が整ふて居れば、其れが婚姻の豫約と認め、夫婦貞操義務の保護と、堅守とを規律する事に爲つて居る判例も出來て居ります、其れに依るとあなたの事件に就て、全然、あなたが十年同棲したの妻に、逃け出された不正も、不都合も無く、逃げ出した妻が悪いのであると云ふ事と、それを知り乍ら其の妻を新しく迎へた男が、あなたの苦痛とあなたの損害とを豫見して居る事實が立證せらるれば、內緣の夫として、夫權に基く慰藉料を請求する事が出來ます。之れは先年內緣の夫婦關係を結んだばかりの夫、即ち男が、入營して居る間に內緣の妻が再び他所に結婚した場合に、入營中なりし內緣の夫から損害賠償を請求して、容認せられた事例がある事に依つて心強く、あなたの慰藉料を請求し得ると信じます。

「生存權の主張」

星村龍

吾々は地上に生きる一個の人間である。人間は生きるためにその死へまでの過程に於ける生は、誰れに限らず等しく生きるべき權利をもつ。

然らば人間生活の、その生きるべき權利を、その完全を期するために、社會は當然、人間を生かすべき義務をもたなければならない事は必然である。そして當然である。

だが果して現在の社會が、地上に生きる、すべての人間にとつて果して、その完全なる義務を遂行してゐるであらうか。

此處に吾々は社會に對して、必然的に、あらゆる猜疑の眼をもつて見なければならなくされる。

諸種の主義運動の起る根本理由は、この猜疑の深まるにつれて動かすべからざる、現實力となつて、芽ばえてゆかなければならない。

社會が、吾々をして、完全なる生そのものを、肯定せしめて呉れない病理は、そのうちに育まれた、資本主義經濟組織の、膨大な發達に阻害されてゐる事に因する。

この病患こそは、社會の永年の個疾である。

この個疾を、徹底的に廢せんがために、全癒せしめるために起つた醫師こそ、プロレタリアートの團結である。

一人の醫師が、對象の病患に面した時、その徹底的全癒を期するためには、その及ぶ限り、如何なる手段を以てしても、その全治に力を致さなければならない。病患によつて、注射をし、或は又、切開し、或は切捨てなければならない部分があるかも知れない。假に是非共切取つて終はなければならない部分があつて、さうしなければならないとする。それは、肉體尊重の意味から、或は普通道義から見れば、見る眼によつて、甚だしく慘酷に見え、そして間違つたものに見える。切開したり、切取つたりする事は、舊式な田舍のおぢいさん、おばあさんから見れば、手もとに見られない事實である。大抵ならそんな事はしない樣にと云ふ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

しかし此の場合醫師は患者の全生命を尊重する爲めに、その人間の未來あらしむるためにむしろ、ヒロイックな氣持と、患者自身の全生命の責任感とによつて、何等の懸念なく、もつとも勇敢にメスを振ふであらう。

それは、最も賞讃すべき行爲であり、最も人道的意義あるものでなくてはならない。

吾々は現在のプロレタリアートの團結の、資本階級との對立は、恰度これと等しい意義を感ずる。生きんがためにそしてそれは全人類的完成の立場から最も有意義的なものである。

然るに、斯の全人類的有意義の立場をもつプロレタリアに極力反對し、極力彈壓するものは、斯る社會は、いかに資本主義組織に、碎かれたものが多いかを知る反證である。此れは又、いかに資本主義のもつ魅力が強いかを物語るものでなければならない。

プロレタリアの資本主義に反抗する力は強くなればなるだけ、そして、さうした團結が多くなればなるだけ、それだけ資本主義の禍は多きいと云はなければならない。止むなき必然に起りくるさうした事實は、どれだけ壓迫されようとも、どれだけ二葉のうちに、つみ取られようとも、之に降した根は深い。それは益々、その根を深く張らせる事にのみしか役立たない。植物の精髓は根にある。その根が地上に、すき間なく張りつめられた時、吾々は本當の生命を感じ、眞に生きるよろこびを感じるだらう。

吾々はすべて、等しく生きる權利をもつと云ふ提言の前に、今、資本階級とプロレタリアートを比較して見やう。

そこには又、あまりに懸隔の多い、あまりにもギヤップの榮へ生活の矛盾を發見する。生きるべき道の、あまりにも相違する事を見出す。

資本家は、懐手のまゝ、煙草をふかす數分のうちに、數百、もしくは數千の金を所有する。慘めなる勞働者は、一日中働いて、尚、現實の直面せるパンが、日々彼を虐げる。老いたる父母を、餓えたる妻子を、血と汗を出し切つて干からびた彼を。

人間は食はねば生きて行かれない。何よりも、食ふ事は人間生活の動かすべからざるレベルである。

遊んで食へる資本階級の權利を認めるなら、血と汗にまみれて働く勞働者には、尚それ以上の、食ふための權利がなくてはならない。

生きるために、食ふために、そしてそのために勞働者はどれ丈け、資本階級を羨望の眼で見る事か。

生きる權利は、そこに根強く感じられなければならないのはもつとも必然である。

されど資本家は云ふであらう。「目的の生産のために吾々はどれ丈け多くの資本の犧牲を拂つてゐる事か」と。

然し、一つの生產をなすためには、資本家のみによつては得られない。そのためには、資本家と勞働者とは、どちらも等しいだけの力によつて盡してゐるのである。勞働者

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

は、生産のために勞力を提供してゐる。然らば生産によつて得る利潤は、資本家も勞働者も同じく一致をもつものでなくてはならない。然るに、現實の矛盾は、生活の相違は、生きる權利の相違は、かく迄も、資本家と勞働者との差違のために、人間てふものに異れる何物もないのに、それだのにあまりに變らなければならないのであるか。だが、人間は正當に生きるためにその權利をもつものであるために、斯る階級的な生活相違は、何處にも認められない筈である。

正當な權利を主張するためには、どれ丈けそれに對する巧妙な阻害があらうとも、終に結局は歡喜すべき貫徹が期待されなければならない。

生きる權利の主張は、人道的なる正義の主張である。正義の主張は、正義を求むる意志である。

その正義を求むる意志が、何故に危險視され、何故に抑壓されなければならないのであるか。

吾々は、此處に資本主義の巧妙なる阻害を感じる。正しき人道的立場から批判すれば、阻害さるべき、若くは抑壓さるべき惡そのものはプロレタリアには無くてむしろ無形に暴力を逞ましくする彼等資本階級にあるのである彼等の無形な暴力とは何であるか、曰く搾取、曰く利潤の不當利得、曰く等々、彼等の暴力はあげて數ふるにいとまない。

吾々が資本階級への挑戰は、單に爭鬪的な、單に反抗的なそれではない。その裏面には苦悶と悲痛に虐げられ、打のめされたその血みどろの姿の尚生きんとする悲しい呼びであり、慘めな努力である事を知つてでなくてはならない。

生きる安心！ それは今、吾々がいかに渇仰し、いかに讃美をもつて、望んでゐる事であらうか。

然し現在の社會狀態は、未だ吾々に、その安心を少しでも與へては呉れない。換言すれば、現在尚資本主義跋扈の時代である。

正義人道の光は、どれ丈け黑雲に閉さるゝとも、いつかは必ず全人類に、その恩惠を施すに違ひない。だが、その黑雲を取拂ふべき責任をもつものは吾々以外の誰れでもない

だが、現在に於て未だ、資本家と勞働者との一個人的な對立としては、到底勞働者は資本家の敵でない。その個人的な對立は、あまりに勞働者が弱は過ぎる。

此處に於て、團結と同盟とは最もその弱きものにとつて必然でなければならない。一すじの絲は容易に切れても、一本の繩となつた時、容易にそれは切る事ができない。弱き正義の叢は、繩となる事によつてのみ、强き惡を束縛するを得る。

繩なるかな！ 繩なるかな！

弱き權利の主張者よ、弱き正義を求むるものよ。吾々はたゞ、繩となる事に於てのみ、確實に生命の實在となる喜びと、そして安心とを感ずる。

そして、そこに人間至上の幸福境を見出すだらう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

最後の手段を採れ

北野秋鳥

曰く農村振興、農村の改善、農村教育の改善、今日の農村を根本的に改めなければ日本の國は救へない、日本民族は助からぬ。斷乎たる小作制度の制定は目下の急務にして之に依りて雙方主張の論據を明に致さなければ農村の平和は永遠に齎らされない。農村振興の根本策は副業を措いて他になし、農村疲弊を救ふのには利益の多い養鶏・養魚牧畜・園藝、蔬菜の栽培等にあり、猶農具の改良又何に……

諸君如何に大きく叫んでも駄目です。都會に遠い交通の不便な山村に於ては、百羽養鶏五百羽養鶏と如何に大養鶏をやつても、鶏卵や肉用鶏の賣場に困難する。蔬菜を栽培して數十里遠方の都會に送らねば金に成らない。養魚牧畜亦然り。唯矢鱈に農具の改良と叫んでも大農式である米國の電動力機械農具を採用したり、亦之を勸誘したりする樣な農會は絶體に考究せなければならぬ。米國には米國獨特の農具が必要であり、日本には日本獨特の小農式の農具が必要である。日本の農業部落組織や地勢其他土地の狹小である關係上小農式で經營せなければならぬ自然の運命にある。改良さるゝ農具は絶對に小農式を基礎としたものであらねばならぬ。公正なる小作料と云つてもどの位が地主耕作者の何れにも偏せざる公正なる小作料であるか。誰が最大限度の理論的徹底的に萬人の妥當と認めらるべき小作料額の標準を算出して小作爭議の根本的解決をつける者があるか。次に日本の教育は何うか。其内容を調べれば全く形式に過ぎない。日本の教育は餘りに長過ぎる。其上近頃教育は馬鹿に金が掛る。農村には中等程度以上の學校はない。故に高い教育を受けんとする人は都會に行かなければならない。換言すれば農村の金が外へ出ると云ふことになる、即ち夫れは農村疲弊の原因の一つになるのである、夫して日本は試驗制度を採用して居る故か非常に頭が弱る、よく之等を考へて貰ひたい。人生の半ばを學校生活に費し、莫大な學費を使ひ、而かも頭の弱る程使ひ、出來た人間に碌な奴があるか。長い間學校で苦しめられた反動とも云ふか、多くのものは勞働を嫌ひ、眞に精神的に得るものが少く、徒らに物質的に流れ、享樂主義の奴が多く出來て來る。怎んな奴が幾ら出來ても日本の農村を救ふ事は出來ないのである。

諸君行詰つた耕地問題を講究したり、大農式の機械力を應用したり、農民に矢鱈に高い教育を奬勵したり、其麼事で到底農村の改善は出來得べきものではないと思ふ。もつと現實の力ある方法を考へなければならぬと信ずる。今や政府は農村振興費を三百二十萬圓を投ずる事になつた。而し唯無暗に莫大な金を投じたからとて根本的に農村の改善之を實現せなかつたならば日本の農村は救へない。丁抹の

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

農村が一時危くなつた時教育の改善で助かつた。日本の農村を救ふのには先づ教育の根本的改善から急務が必要であると思ふ。

今日日本の農村は誠に情けない現狀にある。

「農村を救へ」

我々に從へ行詰つた農村の安寧秩序を維持せんが爲に警察や村長等が幾多の危險を冒して叫んで來た。然し何等の効果も實現しない。

諸君如何に大きく叫ぶとも駄目です。時は徒らに過ぎ行くばかりです。

諸君此儘にして置かば我々農民は飢餓と困窮の線上に立つて、戰はなければならない運命が來るに相違無い。

諸君今や最後の手段を採るべき時機は來た。雨降つて地かたまるの譬へあり。平和は必ず戰の後に來る。今や行詰つた國家の現狀を打破して明るい幸福の國を造り上げねばならぬ時代だ。奮闘努力せよ。感奮興起の時代だ。縣會議員は何んだ。名譽職にして名譽職に有らざる國會議員、知事、大臣、等々、彼等は何んだ。彼等は農村の爲に怎麼仕事を成したか。彼等は日本に怎麼必要が有るのだ。農村を無視した彼等の行動に對しては、我々は飽までも反對せなければならぬ。言論で解らぬ奴は最後の手段を以つて、斷乎として彼等の無能を糺彈すべし。而して彼等に對抗せよ。

諸君口に云つても解らぬ奴は最後の手段として戰ふより外に道は無いのである。戰はずして平和は來らず。平和は必ず戰の後に來る。彼等と堂々と戰つて最後の勝利を得るか。彼等に服從して死を待つか。此二つより外に道は無いのである。人間として死を待つと云ふ程の情けない哀れさは無い。飽まで戰ふ、勝利を得よう。最期ゝ戰はう。是れ人間の本性の現である總ては或階級の人々と或階級の人々との爭ひ起るに相違無い。

政府が下層民の自由を認めなかつた佛蘭西國は遂に大革命を起した。

諸君此儘にして現在の農村を救はなかつたならば總ては×××××××××××××××××起ることは×××××××乍らも亦當然の歸趨であると云はねばならぬ。

宣傳雜誌提供

雜誌は、未組織大衆に、社會主義の何たるかを知らしむるに最も、至上の宣傳機關である。此の意味に於いて吾が社は既刊の『進め』を拾部以上一部一錢の割にて提供する。各支局及び組合、一般讀者諸君は至急申込まれたし。尚、『進め』合本も近日作るつもりである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

教訓歌の變遷

鈴木楯夫

一

先日貰つたふくさに「稼ぐ人貧之神に見はなされ」と歌が染め拔いてあるのを見てフトこうした教訓歌が時代の變遷とともに、その價値を失ふものであるといふことを感じて、そうして、時代の精神にあはぬときはその教訓がこ、つけいに感ぜらるゝばかりでなく、ときには人の幸福をきづゝけるものであると思ふた。

二

貧乏人の不平をおさえるために稼がぬから貧乏する、稼ぎさえすれば貧乏せぬ、稼げ稼げ！と敎へ訓すこうした歌や諺は昔からかなり澤山ある。いまこゝろみに二三を擧ぐると

稼ぐに追付く貧乏なし。

身のほどをしりからけして稼ぎなば、貧乏神のつくひまもなし。

身をつとめ精出す人は福の神、いのらずとても守りたまわん

貧は世界の福の神、前の三つは、いづれも、稼ぎさへすれば貧乏せぬといふことを敎へ、後の一つは、稼ぎさへすれば、留める身分になれるから現在貧乏して居ることは福の神を迎へる原因となるから、貧乏はむしろ幸福だといふ意味であるらしい。なるほど、稼げば貧乏せぬ時代もあつたであらうたとへば原始共産制の行はれたときのように、けれども、これらの敎訓歌なり諺は、もう、それよりずつと末の時代に作られたもので、貧之人の不平をおさへることをその目的として作られたものにちがいない。こういふ目的で、佛敎方面から作られたのに、

貧は菩提の種、富は輪廻の絆

といふのがある　貧乏人はこの世に執着がない、佛になり易いが、富貴の人はあるにまかせて酒よ女と日々に惡業を作つて佛になることはできぬ。だから、富める身分より貧乏人の方が幸福だといふのである。佛道の盛んな時代にはまことに貧乏人の不平をおさへるによい誇であるといはねばならぬ。ながいあいだ死後の極樂を夢みて、貧乏に堪へたわれらの先祖を思ふとたまらなく涙がでる。

三

こふした「稼ぎさへすれば貧乏せぬ、貧乏するのは精出して稼がぬからだ」と敎へる歌のあるときに、これとは正反對に

はたらけど

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

はたらけど猶わが生活楽にならざり
ぢつと手を見る

故石川啄木氏

といふのがある。これは稼いでも〳〵とても生活が楽にならぬといふので、これが前の教訓歌と同じような教訓的のものか、知らぬがこれが、時代の、生活苦をよくいゝ現はしたものとして、世間にひろく傳へられ、有名なものであることは、前の歌や諺に對照して、注意すべきことである稼げば食ふに困らぬか、稼いでも〳〵、食ふことに困難を感ずるか、事實は、いふまでもなく後者である。そうすれば、稼げば貧乏せぬといふ前の教訓歌は、いまの世の中では、事實に反するもので、これを信じて、なにほど稼いでも決めて富める身分になることのできぬものといはなければならぬ。したがつて、時代の變遷とゝもに教訓歌もだん〳〵變つて行きその價値がなくなるものであるから、昔からあるものだからといふてたゞちに信ずることはできぬ。といふことになる。

四

反對する人はいふかも知れぬ。今の世の中でも一生懸命に精出して働けば、大金持にはなれぬかも知れぬが、どうにかこうにか、食ふことは、できるものである。だから昔の教訓歌がまるつきり價値のないものといふことはできぬと。なるほど、なまけているよりは、せいだして働くに越したことはない、働かないでゐるよりは食ふ事がらくであるにちがいない、しかし、それは、たんに、人間らしくない生活をするといふにとどまつて、稼げば、貧乏せぬといふていどのものではない。だからなにほど稼いでも、たんに勞働するだけでは、現在の文化をかり入れた生活のできるものでない、かりに、反對者のいふことをよいとしても失業した場合はどうするか、こふいふ場合は、前の教訓歌はまるつきりその價値を失ふ者といはねばならぬ、稼ぐにも稼ぐ仕事がないときに、どうして前の教訓歌を適用することができるか、今日の日本には、少なくとも六七十萬人の失業者があるといふではないか、この失業者から見れば前の歌は全然價値を失つたものであるといふことは少しもまちがいのないことである。

五

全人口の九割五分を占むる貧乏人がその貧乏生活から免がれることは、たゞ、その原因をよく承知して、そこに改革の斧を下すことによりてのみ達せられることである。しかるに、もし昔のまゝの教訓歌や諺をそのまゝ信じていつまでもうつむいて汗をたらしてのみいるならば、得るものはひろうと死のみで、決して幸福はない、そうして、それはとりもなほさず、人類全體の不幸であるといはねばならぬ、教訓歌も諺も、時代とゝもにうつりかわるものであるから、よくぎんみして味はねばならぬと思ふ。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

左翼妄動者の流言に對する聲明書

中部日本農民組合

我が中部日本農民組合は昨年の三月五名の極右分子を除名し次いで同十二月四名の極左分子を除名して初めて組合の思想的立場と行動の中正を保持し得るやうになつた。然し被除名者の社會的立場を考慮して強いて之れが發表を謹んで居たが、其の爲め世上にはアヤマツタ宣傳が行はれ、眞相をヘダレた流言が飛んで居るらしいから左にその一般を知らせやう。

聲明書

近頃我が中部日本農民組合に對し、頻りに惡意の中傷を擅にし組合の動搖延いては分裂を策し全組合員をして其の去就に迷はしめ、其の間に乘じ一擧に組合を乘り取らんとする野望を抱懷せる輩が策動して一種の陰謀を企てゝ居つた。しかるに慧敏なる組合員はよく之れを事前に觀破して彼等に寸毫も策動の餘地を與へず正義と鐵石の如き結束力とを以て之れに對し、不正の矢は悉く、之れを中途にもぎ去り以て組合の本壘を堅めた　其の結果彼等一派の陰謀は徹頭徹尾大失敗に歸した。

其處で彼等は矢も盾も堪らず今まで隱し切つて居つた化面の正體を日本農民組合岐阜縣聯合會なる馬脚に依て暴露するに到つた。否な日本農民組合の一部左翼派に組合員を賣り付けて其の口を拭ふ口實を捏造するに到つた。性懲りもなく彼等が我が組合に對し藉のない所へ緒をスグて誣侮中傷を縱恣するのは主として此の理由に基くのである。我が組合本部は斯樣な朦朧閣、小兒病的陰謀團に對して相手となるのも大人氣ないと信じて居たから、今日まで何等應酬をなさず殆んど默殺して居つた。其の一面の理由には勿論彼等と雖も何時かは前非を悔いて謙悟反省する、日があらうと推定して居たからである。若しも彼等に此の兆候が見えるなら、此の際彼等自身の將來の爲めに寛容い大度を示してやらうとまでして居た。然るに彼等は親の心子知らずとでも言ふ可きか、本部の斯くの如き寛仁大度に附け入つて飽くまでも虛構の言辭を弄し農民の利害を裏切つてまで野望　遂行に狂奔し、目的の爲めに手段を擇ばぬ言動の繼續をなして居るから、此處に聊か事の眞相を廣く社會に發表しやう。事の起りとは極めて簡單である。

曩き頃我が中部日本農民組合から不都合の廉ありて辭職されたる二名の分子及び之れに加ふるにそれ以外の二名が既に再三警告を與へられて居るにも拘らず、我が組合の疎を食みながら我が組合を裏切つて我が組合の指導精神と相容れぬ某々團體の命を帶び其の密命に狂奔せるに依り斷然除名處分に附した。すると此の一派と個人的に腐れ緣を持ち、且つ思にも付かない理由で組合本部に一種の不平を有する一派とが野合し名を革新同盟に借り全然彼等の陰謀には與つて居ないと言明して居る法律顧問名までも利用して事を企んだが、大義名分なき斯樣な陰謀は如何でか成就しやう。（中略）殊に滑稽な感ずるのは支部員が少しも同意して居ないにも拘らず一二支部幹部の名を以て何々支部脱退の聲明が出されることである。斯る徒が如何に血迷ふて笛を吹いても一般組合員は踊り出さないから、軈がて本組合の威力の下に鎧袖一觸の憂き目を見るに到るであらう況んや彼等が演ずる猿芝居は結果に於ても意識的に地主と共同戰線を張るのヂレンマに陷つて居る以上、日ならずして賢明なる農民階級　蹶起に依り刄を下さずして自滅作用を起こすの日あるは期して待つ可きものがある。依つて本組合は掃き溜りに集つた斯くの如き不正分子の行動を暫く傍觀するものである

右聲明す　―昭和二年二月―

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大山郁夫氏の泣言

鈴川二郎

一

「改造」三月號に載せられた大山郁夫氏の

「早稲田の學徒に與ふ」

を讀む。それは十七頁に渉る一大長廣舌である。そして其れは、その末尾にもある如く、同氏の去る二月十日の早大に於ける告別演説の趣旨を書き改められたるものである。

吾々は茲にこの一文が如何に御目出度きものであるかを暴露して置かうと思ふ。

二

氏は先づ云ふ――「私が早稲田に容られなくなつたのは、私の日頃の理論のためであり、その理論に基礎づけられた私の主張のためであり、更に又、その主張の具現としての私の實践であると云ふより外に途のないものである」(一四頁)と。

吾々は云はふ――唯だ單に其れは、資本主義發展段階に於ける歴史的必要たるに過ぎない、と。

從つて「單純なる一片の感情問題から來てゐるものでない」(一四頁)と斷ること其自體が、返つて其れが感情であることの反證でさへあり得る。センチメンタルな大山氏、自稱「氣の弱い」大山氏は、學校の非常なる反動化(今更ら云ふまでもない。然るに氏は未だヒイキ目で見てゐる。即ち早稲田學園は自由主義の立場にあり、最も自由なる學園であると!)にも拘らず、「常に陰になり日向になつて、私を庇護してくれた人」たる「老高田總長」(老に注意せよ!)を向ふに廻して挑戰するが如きことは、私には情誼上なすに忍びない」(二八頁)ほどの感情の人であるのだ。感情家、大山氏、萬歳!

何たる明理論であることよ!

この筆法で行けば、吾々は資本家の工場で世話になつてゐるのだから、老資本家を向ふに廻してストライキすることは、なすに忍びない。(餓えて死ね! これが大山氏の而かも明快なる論理の歸結だ!)

如何にそれが小ブルジョア的であり、日和見主義であつたことよ!

三

所謂「兩立論」も、結局は御都合主義以外の何物でもない。勞農黨が中央委員長としての執務を多くさせないやうにするからとの下に交渉したからとて、それが兩立論の何んの理由にもならない。

またブルジョア大學で政治學の教授たるものが、その理論の實踐のためにプロ黨に行くと云ふことが、反對されて

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

はならないことだと云ふのか。何たる御坊ちやん的思考法であることよ。何たるあどなさよ！

四

吾々は氏の立場の根本的に小ブルジョア的であることを認める。それは『我が早稲田こそは』とのショービニスチツクな小ブルジョア的母校愛に基調を置く。それは正しくインタナシヨナルに於て同志を裏切つたカウツキイ式口吻である。今日の大學がブルジョアの支配下にあること（氏は尚ほ妥協さしか云つて居ない！）が、今更らわからないのか？　否な大山氏の小ブルジョア的意識と情誼とは、それを認め、それを發露するを欲しなかつたのであつたのだ！

ブルジョアの子弟、乃至は小ブルジョアの子弟にのみ門戸を開いてゐる今日の大學——それが、何んだ。

五

水鳥の羽音に驚いて辭表を提出したことは、そこにも此の氣の弱さを具現してゐる。然し其に怪俄の功名とでも云ふべき種類のものだ！　吾々は氏が、下手に『外部から支持應援の手を……さし延べん』とする如き小ブルジョア的感傷性を去つて、永遠の『早稲田よ！　さらば！』の下に直ちにプロレタリア學園の確立のためにこそ努力せんことを望む。泣言を止めよ！　くり言を止めよ!!　而して、まつしぐらに進め!!

「根を絶つて葉を枯らせ」

吉田源藏

『どうも世の中が不景氣で困る此の分で行つたら食へんやうになつて仕舞ふ、早く景氣が良くなつて貰い度いものだ』これは常に吾々が市井の貧乏に苦んで居る人達から聞くところであつて、又自からもお互に言ふところである。ところで不景氣と云ふものを斯んな工合に何處からか飛んでも來るように考へてよいものだらうか。

世の中とは一體何だッ！　世の中は社會ではないか。世の中が社會なら人間の共同生活をするところではないか、世の中が社會で、社會が人間の共同生活をするところなら、世の中が不景氣だと云ふのは、共同生活をして居る人間の不景氣だと云ふ譯だ。ところで不景氣と云ふことが、正月が來ても下駄も買へず盂蘭盆が來ても帽子も買ふ事が出來んと云ふ事である限り、世の中の不景氣と云ふ事は、結局人間の貧乏だと云ふ事である。

人間の貧乏が世の中の不景氣になるのだから、必ず一人や二人の人間の貧乏ではない、大多數の人間が貧乏して居るのに進ひない斯ふなつて來るど貧乏して居る大多數の人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

間と云ふのは一體誰々だと云ふ事になつて來る。

此處迄考へて來ると吃驚するではないか、世の中の不景氣と云ふ化物の正體が、お互吾々の貧乏と云ふ事なんだ。不景氣風と云ふ生臭い、氣味の惡い風は化物でもなければ又それの鼻息でも何でもないので、實は吾々勞働者や、俺達小作人等の貧乏と云ふ事が、不景氣の正體なのである。不景氣と云ふ化物が世の中へ現れて人間が貧乏するのでなく、人間の大多數人が貧乏して、それで此の貧乏したところの人間が大多數集つて居る世の中が不景氣と云ふ事になるのである。だから世の中の不景氣を無くしようとするには、大多數の人間を貧乏せしめないようにしたらよい譯である。そこで大多數の貧乏人は、吾々プロレタリアーなんだから、吾々プロレタリアーが貧乏をしないようになつたら、不景氣と云ふ厭な生臭い風は吹かんようになるのである。

ところが中には斯ふいふ事を云ふ人達がある。『成る程不景氣は大多數の勞働者や小作人の貧乏から來るものであるかも知れないが、それなら日常勞働者や小作人の消費するのだけが賣れない理屈だが、一度び不景氣になると平素勞働者や小作人の生活に關係のないピアノも賣れないし、ホテルも、待合も、カフエーも、三越も白木屋も打擊を受け、妾だつて失業するではないか、プロレタリアーが妾を置いたり、待合通いは出來ない筈ではないか、だからプロレタリアーの貧乏……卽ち勞働者や小作人等の消費力の無くなつたと云ふ事は、不景氣の原因の全部だと云事は出來ない』、と一應尤もな理屈だ、凭んな事を云ふ人達は、大方勞働者の貧乏は資本家の貧乏だ。資本家の利益は勞働者の利益だ、ブルジョアーと、プロレタリアーは持ちつ持たれつだ。などと云ふ所謂協調主義と云ふ過激思想に被ぶれた連中である。が然し、お氣の毒にも、資本家があつて勞働者は行つてゆけるのだと云ふブルジョアー擁護理屈は、資本家は勞働者を搾取……勞働者の上前へも刎ねなければ妾も圍へず、細君にも三越へ行れず、娘にピアノを買つてやる事も出來ず、待合通りも出來ないと云ふ事を雄辯に物語つて居るではないか。

彼等にプロレタリアーを搾取して貧困せしめ、そうして消費力を吾々から奪つて仕舞ふ、其の結果彼等は自分等の所有する生產機關を動かす事を止める。そうして勞働者を失業せしめるから上前を取る事が出來ない。

社會生活と云ふ往來の邪魔立てをするものは、搾取と云ふ大木から延びて居る貧乏と云ふ枝葉である。此の邪魔物を取り除くには、救濟だ、慈善だ、憐愍だ等云ふところの、只枝葉を切り取つて見たところで到底も駄目だ。又自然に延びて出て直ぐに邪魔になる、貧乏と云ふ枝葉の延びる搾取と云ふ大木にはブルジョアーと云ふ根が張つて居る、昔の人が言つて居る、『根を絕つて葉を枯らせ』と、そうだ此の根を打ち切つて仕舞ふことだ。

そうしたら幹も、枝葉も枯て仕舞ふ、不景氣なんて生臭い風も吹くまい。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ゴシップ

或幹部と一黨員

中村高一

「無産政黨が現在いくつあるか、其名を云つて見給へ」
「エー農民勞働……」
「それはとつくの昔に解散だ」
「ア、間違ひました、逆さでした」
「其の次は」
「日本勞働農民……」
「そんな長い名でない、日本がつく時は勞農黨と云ふのだ」
「民衆黨とか云ふのもありますね」
「頭に社會がつくんだ、まだ日本農民黨と云ふのもあるし、地方に行く、社會とか勞働とか農民とか民衆とか云ふのを上につけたり、下につけたりしたのがあるから、よく間違へないようにしろ」
「ヘイ」
「それではお前の屬して居る政黨は其の中のどれだね」
「元は……黨でしたが、今は………」
「元の事が、此の次の事ぢあない、今は何黨だと云ふのだ」
「…………」
「政黨の區別がつくかい」
「區別？と云ふと、ア、ダラ幹とか、日和見とか、小兒病とか云ふやつですかい」
「ウフ………」
「ドノ政黨にも此れを支持する組合があるが農民組合について聞く事にしやう、組合の名がわかるかね、ドノ組合がドノ政黨に屬するか云つて見給へ」
「エー日本農民組合、此の頃堅實なのと不堅實なのと割れたそうですれ、アレは勞働農民黨でしたね ソレカラ日本農民組合同盟、組合總同盟、組合聯盟、全日本……：ドレがドレだかわかりません」

革命家の卵

藤原政二

Kは動物園の檻と殆んど同じ感じをうける留置場の外圍の中みぢつと眺めてゐた。俺達の理想國に到達する迄は、貧乏と留置場はつきものだと、覺悟にしてゐるが、さていよいよほりこまれるとなると、妙に落ちつきを失つてしまつた。頑丈な扉や、大きい錠前などがいやに革命家の卵を威脅する。

Kがそこへ押し込まれるなり、背後で大きい鐵錠をしめる冷酷な音がした。それが頭天から足の爪先きまで、ぴりぴりと細い弦線をふるわす樣にひびいた。

と突然、警察の裏口あたりで、四五人のはげしくののしる聲と、亂れた足音とサーベルの音とがからみ合つて聞えてきた。

ああ確かにAの聲だ——あの連中も引つぱられてきたのか——

Kは急に強い反抗的な心持がむくれ上つてきて、生命にかへても入るのを爭つて見なかつたのが、悔まれてきた。

Kはどう考へても、此の中には呼吸の通ふ生物が棲めるとは思はれなかつた。これこそ生物が生物として取扱はれない、而も社會人の手で作られた一種の格納庫である。

中は洞窟の樣に眞暗であつた。そして嬰兒のオムツから放つ臭氣と同一の臭氣が、アンモニヤガスと共に彼の鼻を刺し貫く。

演說會、中止、解散、テーブル、コップ革命か。此れで俺も社會運動家としての、洗禮のスタンプを押されるのか。

全土戰報

目覺めた青年

農民運動や青年運動に就て理解乏しく悲觀しつゝあつた我が地方一帶も此處一兩年の間に頗る長足の進歩をなして來た。勿論都會方面の運動に比すれば遠く及ばないが最近になつて目覺た青年が出現して來た事を喜ぶ。今迄社會運動に從事した青年の多くは官憲の壓迫や地主及資本階級の横暴な迫害を受けつゝあつたが最近に至つて是等の青年が迫害や飢餓に打勝つ目醒しき運動をしつゝある事を見る。我が支局所在地の農民無產青年諸氏は社會運動に關する一つの武器として最近青年圖書館を設立し且つ毎月一回以上會合の辯論會の開催式を兼ね青年辯論會を擧行し大いに氣勢を擧げ今後は總ての運動に進展する意氣込みで活動して居る。【岡山縣 倉本晃甫】

渦卷く戰塵

我が島根縣小作聯合會は今度新たしく生れた全日本農民組合に參加する事に決して、去る一月三日大阪天王寺公會堂で開催された創立大會に十四名の代表を送つた。山崎豐定君を初めとして、山陰道の若き思想家たる山根積、安達巖君等が、當日盛んに活動した。島根縣小作聯合會は正に本組合の中堅組合たる勇氣に滿ちてゐた事は、當日集つた一般人士の等しく認める所であつた。

古い島根縣小作聯合會は殆んど全日本農民組合に所屬し、全國的共同戰線の一翼たる新しい島根縣小作聯合會は生れた。吾々は今後益々爭闘を續ける。來る四月上旬には、新しき我が組合の最初の大會を開き、大會日は大演說會を催して氣勢を上げる考へだ。又、萬國のプロレタリアの祝祭日たる五月一日は全農民總動員して、松江市を中心とする示威運動を試みブルジョアの出鼻を挫き、一般未組織プロレタリアの組織の爲めに奮闘する。全日本の「進め」讀者諸兄共に勇敢に戰はうではないか。

【島根縣 T・S 生】

反動思想を葬れ

近來我國民の中に帝國主義とか云ふものを唱へて、危險思想を排斥せよ、そして健全思想を持てよと云つてゐる者がある。併し乍ら危險思想とは一體何れを指して云つてゐるのか、社會主義か、さうとしてもどちらが危險思想なるかよく〳〵考へて見よ。

其の帝國主義の提唱する所はこうなのである。我帝國の將來は我帝國青年の雙肩に擔つてゐるにも係らず、其の青年が西洋より流れ込んだる新思想に心醉して、反動思想を葬れ」と云ふが如き勞働運動社會運動を起して國家の平和を攪亂するので困ると。

尚其の上に彼奴等は社會主義は實一種のユーモアに過ぎない等と實にひどい事を吹聽して居る。

併し乍ら彼奴等が如何程帝國主義を高唱する共、現資本主義經濟組織の下に社會主義運動が起るのは必然であるし、隨つて資本主義の崩壞も免れるものではないが、然し斯の如き反動思想が社會に存在するだけ社會の進化も阻害せられるし、それのみならず、吾等の幸福も、破壞せられるのであるから、斯の如き思想の撲滅に努力せられん事を諸君に訴へて止まないのである。【大阪　三木田好美】

斯かる輩を倒せ

二月號の青年教員に檄すを讀み我村の一教員を見る時俺の血潮は逆流するを覺える。

彼は廿歳の青年教員だそして昨日迄俺の友人であつた。然るに彼は昨日その教場に於て六年生に、社會主義は恐ろしいもの私の友に一人恐ろしい人がある。私共の今日生きてゐるのは××××××××××××××。それで皆さんは……等々約一時間にわたつて、社會主義の恐ろしさを繰り返し、此の俺をこき卸したさうだ。俺はさつそく絶交狀をたゝきつけてやつた。社會主義は恐ろしいと吐かす彼には、ブルが何でありプロが何でなるかさへわからないのだ。

勿論我等プロの悲壯なる叫びは彼には全然聞えないのだ、即ち彼の社會主義に關する智識は單にブルの經營下にある新聞紙を通じてのみである。社會主義と云へば爆彈を連想する低能の人間だ、然し俺は無智な奴と笑つてすませない事を痛感する。何んとなれば彼は天眞無垢の兒童を教育する人間だ。ブル教育の代辯者であるからだ。諸君、思ひ見よ、彼によつて流される害毒は實にブルにも劣らないものがある。吾等の周圍にはかゝる輩が、教員で候とすましてゐるのだ。そして天使の如き兒童を虛僞の世界に落し入れつゝある。おゝ！是が戰慄すべき事でなくて何んであらう。

諸君、我等はブルを滅亡さすと同時に斯ゝる輩を徹底的にやつつける必要がある。再び云ふ彼等は小學兒童を教育する人間であるからだ。【北海道　北村陽之助】

田吾作の辨（續）

山間僻地の我が農村へも都會同様に所謂名士なるもの丶講演が流行して居ます。

御愛嬌にもお寺の坊さんは唯心論をふりまき社會改造はお寺へお賽錢を多く投げ込むにありとか町の醫院ドクトル君は食物を選び着物は着かへ過勞をたしなめと所謂衛生のお話をやります。帝國農會とか云う處の技師さんは機械を使用せよ改良農法に依るワケはないと白いお手を振つて迷論をお吐になります。そのどれもが皆一樣に百姓の職は一番宜敷いと、例の十八番で私等をかつぎます。

肥料の一つも握つたことのない農會の技師さん生活苦を知らない別世界に死人相手にお經に生きて居る坊さん、病人の金を搾ることと丶婦女子に戯れることを人生の如く思つて居るお醫者様のお話を、村役場の歴々が多額の費用を使つて月に二回も三回もおやりになるのです。一家一名は必ず出席する様つておふれが村へ出ます。流石に迷士丈けあつて迷論卓絶ソノ云う處説く處搾取の手が餘りに露骨に見へすくのでお笑しくてなりません。

農村振興とは？都會商店から商品をドッサリ購買組合の手で卸すこと。お寺の釣鐘堂へ寄附すること、銀行へ貯金をすること。こんなにしか私等の耳朶へは響ません。お寺の和尚は金借しで銀行は何時でも「帳簿整理」の紙片をはります。お役人や村役場の歴々共は私等を丸で芝居の樂屋か、カフエーの隅の卓上の如く思つて居る相です。

殊に面白いのは警察の奉公です。思想善導は宗教の力を借りるにありと力で盛んにお寺や神社へお賽錢を投げ込むことを奬勵して居ます。最近派出所から　お越しになつて、君宗教を研究して呉れないかそしてそんな本は止めて村田の大平さんとか云う人の「使命」を讀んで呉れ給へ誌代は僕が拂ひ込む是非つて迷言を並べます。

滑稽にも「泳歌會」と云う奴をこさへて十七八歳の青年女子と婆さん爺さん迄中を集めて浪花節みたいな唄を教へて一善導一したかの如く思つて居ます。私共はこんな當局の愚策を嘲笑すると共に涙が湧きます。相手が餘りなのでやつつける心が鈍ります。それよりか私共は靜かに潜行運動を取つて青年の反省を求めて力を養つて奴等を嚴重に監視して居ます。全國の同志農村青年諸兄姉状況を知せて下さいませ今農村は新しい力に刺戟され傳統的因襲の殻を破らんと

して居ます土佐の山間に官憲の壓迫と間斷なき社會搾取に抗しつゝ

【高知縣　佐根泰郎】

鬪爭の戰線へ

曰く農村を救へ、曰く農村の改善、曰く農村教育の改善、曰く農具の改良等々。……親愛なる勞働農民諸君如何に大きく叫ぶとも之を實行せなかつたら駄目だ。

勞働農民諸君此儘にして置けば我々勞働農民は飢餓と困窮の線上に立つて生活に悪戰苦鬪せなければならない運命が來るに相違無い

勞働農民諸君今や最後の手段を採るべき時機だ。雨降つて地かたまるの譬へあり、平和は必ず戰の後に來る奮鬪努力せよ、感奮興起の時代だ。

勞働農民諸君斷乎たる最後の手段として耕作料不納同盟を起せ、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、。土は自然のものだ吾等全人類のものだ。野獸の如く使はれて働いて働いた汗と油の結晶を地主に吸はれる必要はない。耕作料は食つて餘つたら呉れて遣れ、小言を云ふ者が有つたら一粒も遣るべからずだ。

彼等の彈壓を見よ

【石川縣　北野　秋鳥】

土地を剝奪し、幾萬の人を殺し幾億の人の血と汗を搾り取つて作り上げた、公盜——大盜棒の張本吸血漢三井は有數の大工場と大生產機關を縱横に專有してゐる。

彼奴等一族は惡運強く益々其の魔手を延ばさんとしてゐる、今又玆に我農村に彼奴等の毒手が迫つて來た。眠れる村民は天下の三井さんの御光來だ、いや文明文化が訪づれて來たのだ。我村も愈々發展して來るのだ、などと盛んに有難がつてゐる、これ皆彼奴等の魔酔に掛つてゐるのだ。何と恐ろしい事だらう。

眠れる農民は數十町歩の命と頼む田畑を僅かの黄金の魔藥に依つて難なく剝奪されてしまつた。幾萬の朝鮮の兄弟は搾取會社の建設の奴隷となつて酷使されてゐるのだ。あゝ何たる矛盾だ、人間冒瀆だ、冒險だ、早く早く——農民も鮮民も目覺めよ。勞働者の血肉搾取場東洋レーヨン會社滋賀工場は斯して多くの土地を掠奪し、勞働者の肉を裂き血を流して、完成に近づいた。吸血鬼は内臓舌出し微笑んでゐるであらう。吾等は全たく彼奴等の肉を食つても飽きたらぬ程だ。

斯る事實を目撃し憤怒に燃えし同志伊藤誠藏君太田増夫君の二人は共產黨事件以來あらゆる迫害壓迫を受けて失業の悲境に落込んでゐる。活路如何せん。悲憤と忍從を持つて此の搾取會社に應募したのだ、所が失業者の多數に附け込み、官憲の擁護の下に勝手振舞な

職工の人選採用をしてやがるんだ。同志太田君は第一發に彼奴等の槍玉に上げられ體よく斷られたのだ。伊藤君は、辛じて入社出來た。勇敢　彼等二人は固く手を握つて奮鬪してゐるのだ、さすが進めの同志だ。

去る二月二十日吉田兄の主催で「彦根共産黨事件眞相發表官憲糺彈大演說會」が行はれた。同志伊藤誠一君は雙手を上げて參加して大熱血の叫びと頑迷なるブルジョア官憲の不法を糺彈したのだ。之が因？二月二十七日突如（豫告モナク）解雇されたのだ「外國人技師に氣が入らないから」との、こんな理由なんだ。入社したのが二月十九日だから僅に九日間働いたきりだ丸で大根でも切るようにたやすく行りやがつたのだ。此の裏面にも官憲の中傷的行動があつた事は確だ。

太田君も伊藤君も復職運動を行つて見たが全く駄目だつたそれで膳所支局同志一同は額を集めて前後策を考究してゐる。各方面から東洋レーヨン會社の職工採用行動に附いて相當の非難を受けてゐるから何れ官憲と會社の不法政策の確證を集めて近く大糺彈演說會を開く可く準備中である。

彼奴等の彈壓位に斷じて屈服するものか、吾等は常に覺悟してゐる。多くの行路は眞暗だ鬪ふ以外何物もないのだ。進め同志にへこたれる樣な弱虫は一人も居ないはずだ。

御蔭でブルジョア集團の江州に我々プロレタリアの勢力が日を追ふて進展して行くんだ八日市に第三支局同志（川副寅藏君）が生れたのも共の一端だ。進め！進め!!

【滋賀縣　木下正】

官憲糺彈の叫び

二月二十日吉田源藏兄司會の下に彦根町金龜會館に於て「彦根共産黨事件眞相發表官憲行動批判大演說會」を開催した。定刻午後六時迄には會場の內は早くも溢れる聽衆ばかりの大入滿員となつて、聽衆は場の外に溢れんばかりの大混雜を呈した。

後援の本部より山本、大路、神庭兄それに組合同盟の渡邊、吉田兄等何れも千軍萬馬を往來した粒撰りの勇士ばかりだ。

先づ吉田兄の司會者としての挨拶有り兄特有の大熱辯に入つて、ざわめき渡る無慮千餘の大聽衆は一時に靜まり返つて、愈々以つて資本主義牙城に肉迫した、白熱化した大雄辯、突、眞、熱血の叫び悲噴又悲噴、大熱血は溢れ、悲憤は絕した。突如「中止つ」兄何ぞ知らで眞に奔馬の如し「中止つ」「中止つ」連發益々強し『司會者吉田源藏君の、言論を一切中止します。』直ちに退場を命じます』熱血の士吉田兄は憤恨を殘して空しく降壇した。聽衆は盛んに「官憲橫

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

暴」「辯士續行」と連發する、玆に置いて吉田兄に代つて山本辰興兄司會者に任ぜらる。

續いて少壯勇者渡邊氏吉川氏勇を鼓して出で出るは出るは何れも特自の大雄辯唯聽衆は、醉ふのみ。聽衆より彥根町の町會議員うぢ虫、谷口某なる者飛出し愚論々と辯す生意氣にも吉田兄に對し駁論を試みたれど賢士山本兄に依いて、彼の駁論は見ん事殺ハされた、彼奴赤面の體にてコソコソと逃出したり。當夜の一餘興、實に痛快だつた。僕の番が來た、躊躇していたが思ひ切つて飛上つた。

斯して大演說會は大効を奏して十一時閉會した最後に無產者萬歲を提唱されたが小心者の官憲の泣事にめんじて止してやつた。おしい事には同志太田君が出席出來なかつた事は返す返すも殘念だ、それも官憲と家庭の壓迫に依つてである、もつと詳報したかつたが事情で出來ないのを御斷りする。最後に同志諸君に告ぐ僕が此の演說に臨んだので二月二十七日突然勤めてゐる、東洋レーヨン株式會社（三井系）滋賀工場から不法無理由で追出されてしまつた。何しろ彼奴等ブルジョアーの前には決して屈伏なんかするものか、目の黑い間は絕えずブルジョアーをギュウーと睨らんでやるんだのろつてやるんだ。進め！進め!!親愛なる兄弟姉妹よ、永久に手を繼ごうよ。

【滋賀縣　伊藤誠一】

戰線雜報

全土戰報の頁をかりて運動中の二三の感想研究資料を、久し振りで公開する。

（イ）わからず屋

せめて理的な反對の思想をでも持つてゐて吳れる反對者ならば張合があつて賴母しいけれど何が何やら譯の解らぬ地方の小作人、新聞を讀まぬこと雜誌を見ぬことを得々として自慢してゐる無智さ可減に先づあきれる。それでゐて何だか聞きかぢりの半可通な資本主義を振り廻す、よく吟味すれば社會連帶責任も何もない個人主義者だ、非科學的な利己主義者なのだ、團結の力を利用することを排擊する川岸が植え付けた親鸞主義淨土眞宗の誤信から來る傳統的な亡國的錯覺に甘んずる無自覺者諸君だ、遺憾ながら現代の國民は批判の力持つてゐませぬと云ふ政友會の牧野良三君の演說に抗議を申込む事の出來ぬ人、私の言ふわからずや。「進め」を買ふ可能性のない、特權者から見るとこれが良民だと云ふ（警官の中には彼等より物の解るのがゐます。）こんな人達に與へられた普選は泣くであらう。立憲政治の適用などは一場の夢だ。

（ロ）眞理？時代？

日本農民黨の連中は、無產階級の農民の政黨ではない、そうだが、

の擡頭は「時の力である時勢である」此機を外さず進め！行けだと道理で時が來ればその勢で政友會あたりへ須貝がいてんするだらう。他進の運動は眞理なるが故に不明暗愚の大衆、擧つて非をたゝと我往かん、進め！進んで××××〃〃〃〃．

（八）他山の石

他山の石は珍らしい。富山縣下の農民[illegible]、萩原正清君の有名なる珍說を全國三拾六萬の進め讀者諸君に紹介する。萩原君は當年七十三四歲の老人である眞面目にこれを讀んで次號の進めの戰報で何んとか批評をして欲しい。（敵か味方かは分けること）。

一 小作權ノ確認セシムル利益

小作權ヲ永久ニ確認セシムル時ハ小作ハ其業ニ安ンシ土地ヲ愛スル念感愈々深ク可及的土地ヲ改良スルカ故ニ生產ノ增加ヲ得ル其効果甚タ多シ之レ個人的ニモ國家的ニモ有益ニシテ最善ノ施設ナリ

二 小作權ヲ物權トシテ賣買シ得ルヲ以テ一種ノ財產トナリテ社會ノ信用ヲ得ルカ故ニ肥料代ノ借リ入レ其他農業經營ニ要スル資金ノ融通ヲ得ル便利ヲ有ス

三 小作權ヲ小作者ノ所有ト認メ相當ノ價格ニ見積リ其町村ニ於ケル縣稅村稅ヲ賦課セシメ以テ地主ノ負擔ノ輕減シ其賦課ヲ調節シ得ルヲ以テ地主ヲモ利益スルナリ

四 土地所有セサル小農小作者ニ金貸ス場合產業組合其他銀行ニテハ財界ノ變動ニ際シ往々貸倒レノ失敗ヲ招キ缺損ヲ生スルコトアリ然レ共小作權ヲ資產ニ認ムル爲メ其損害ヲ償フコトナシ但小作權ヲ擔保的ニ金融ヲ貸與スル時豫メ地主ノ承認ヲ必要トスル場合アリ

五 小作者ハ自己ノ耕作地ヲ永久ノモノト心得畦畔ノ屈曲ヲ直シ又ハ埋ミ田堀リ田等個人々々ノ耕地整理ヲ爲シ土地肥沃ナラシメ面積モ亦擴大ス其費用ハ勿論小作自身ニ支辨ス之レ素ヨリ生產ノ增加ヲ得ルカ故ナリ

六 小作農業者カ負債ノ爲メ債權者ヨリ到底不動產ノ差押ヘ等ノ運命ニ遭遇スル場合ト雖トモ小作權ハ相當價格ヲ有シナカラ其買ヲ免カルルコトヲ得ルヲ以テ一時ニ破產ノ境遇ニ陷ルコトナキカ故ニ生活安全ナリ

七 地主ハ、小作權ヲ確實ニ認ムルトモ、何等ノ損害ヲ受クルコトナシ却テ土地ノ生產能率ヲ增加スル丈ケ土地ノ價格ヲ向上セシメ凶作ノ年ト雖トモ年貢米ノ未納者ヲ生セサルカ如キ大ナル利益アリ

八 小作權賣買ノ時ハ價格ノ百分ノ五乃至十ヲ名義書換料トシテ地主ヘ納付スルコトトスルカ故ニ小作地ノ移動アル毎ニ地主ハ臨時ノ收入ヲ得ル利益アリ以上

【富山縣　村山銀次郎】

月給取の本懐

世の中に一番御目出度ものは、プロで有り乍らブル氣取になつてブルの肩を持つ人間位い御目出度い人間が有らうか。搾取されておつて搾取する人間に味方するなんて馬鹿げた事が有ろうか。

僕は營利會社の安月給取であるが古參の奴等は皆此、御目出度いブル黨ばかりだからいやになる。彼等は重役からはごんた扱をされても當然の樣な顏をして益々氣嫌を取り、まるで月給を只でゞも貰つて居る樣な態度だ。彼等は勞働を賣つて居る丈でたく心まで賣つて居るの。そのくせ下の者には意張る〳〵一寸した用事でも他人を使ひたがり自分に直接事をなすと體面にでも關すると思つて居るのだ。

こんな人間らしくも無い人間に使はれて居なければならない我々は何と云ふ苦界だらう。昔しの娼妓の境遇を苦界と云ふが僕等は娼妓以上の苦界だ。彼等には年期がある。僕等は終身だ彼等は客を振ることもあるが僕等が振つたら首が飛ぶ。

僕等はこんな生活してまでも生きて行かねばならんだろうか？餓死しても良いから現在の境遇から脱し樣か？世の中と云ふは皆こんな樣なものであらうか？然し此の煩悶に餘りに現在の社會を動かすべからざる絶對のものと見た爲であつた。太陽だつて變化する地球だつて絶えず變化して居る。まして人間の造つて人間社會の組織こんなものが絶對のものであつてたまるか變化するのは當然過ぎる程當然だ。

現在社會組織を以て滿足し現在地位にこべり付いて居たい人間は僕等の眞の友ではない。僕は諸君の熱有り血有り意氣有る戰鬪氣分に接しうれしくてたまらん。もうじつとしては居られない。どんな犧牲もいとはん。我等の主張は正義である。我等の目的は自由と平等であるこんなに男らしいこんなに希望に滿ちたこんなに愉快な事が他にあろうか死して後已む男子の本懷ならずや。

【名古屋　淺井正美】

電球の爆破

俺の工場には、資本沒落行程の道化役を、忠實に勇敢に努める樣な泡沫の樣な手淫的特權と、宗教的陶醉を催す待遇とを與へられて自己を忘却した社員といふ奴が、各部に六七名宛カガシの樣に監督されてゐる。

俺達の慘な生活を、慘な上にも慘にするものは、實にこの社員なる名稱を有する、ほんの少しばかりの特權を與へられて、惡組織のかけから優越面を覗かせて、さし迫つた生活に去勢されて抵抗力を

パンの爲めに押へつけられてゐるのをいゝ事にして、哀れむべき虚榮心を滿さんとする彼奴等の狂態にする事がどんなに多い事だらう

俺の仕事場の一部（煉瓦を傳つて）通りぬける事は、（創立以來通行路になつてゐた）各々の仕事場へ行くのに、路の利を得て、又寒い風や雨に晒される患ひもなし、第一手を延したら達きそうな所へ行くのに、遠い歩きにくい路を廻る、忌まいましい感情を、一日の仕事前に抱かないといふ事はほんとうによい事(?)の樣であつた。

その日、春立つてから一ケ月、氣候が氣狂になつたかと思はれる程寒い日であつた。

六時前になつて夜業の仲間達が肉を、血を、魂を、削り取られに仕事場へ、貧乏の二字に引張られて通りかけた、その時主任の奴は新任の敏腕(?)を示す爲か、或は彼の神經が凍りついてゐたのか、部下に命じて一方の入口に鍵をかけさせた。

俺はその時、電球のきれたのを取換へてゐたが、切れた電球をつかんで梯子の上から、奴をにらみつけてゐた。

――何故通行を止める必要があるのだ、よし通行を禁ずるにしても、もう一歩進めば通りぬけられる所までもわざわざ追ひこむ必要はない筈だ、もつと合理的な方法が俺の平凡な頭で考へてもありそうに思へる。まして彼は、高等工業出の新進氣鋭の技術家を以て自任してゐると、高言したではないか――

新任以來、末稍神經を興奮せしめて、せめて少しなりとも保つてゐた、俺達の人間的自由(?)をも自己を資本家により高價に賣り込まんが爲めの自家の廣告材料に奪ひ取らんとする監督振りに培はれてゐた俺の、憤怒と反抗の焰は一時にも上つた。そして奴が火消壺の樣な顏に微笑を浮べて、入口の方へ行くべく梯子の下を通りかゝつた時、手にした電球を力一ぱいなげつけてやつた。

【兵庫縣　秋葉一夫】

番犬征伐

全無産者の味方であり唯一の言論機關である『進め』は、創刊以來暴逆極りなき官憲の壓迫を受けながら日に月に發展し今、五周年紀念號を出す事の如何に喜ばしき事よ。

番犬の暴狀それは今さら事新しく云ふまでもないが、茨城縣久慈郡賀美村に最近起つた一つの大問題がある。それは去る一月下旬のある日東部電燈株式會社茨城營業所の集金人が貳百何圓とかを遺失したので、蒼くなり、賀美村巡査駐在所に屆け出でたのが事の起りである。之れよりさき同所に土工事をしてゐる某と云ふ土工が、右の金を見付たのでその金を持つ

て來た。後から集金屋が來て金を拾はなかつたであらうかと聞いたので正直な土工は俺が拾つてあるから返へさうと云つて返へしてゐる處へ、平野と云ふ……が來て無言のまゝ土工をなぐり付けた上、貴樣は本當にずるい奴であると、尚も十幾つかをなぐりつけ東電の集金員が金を拾つてもらつた禮金を出そうとするや、平野……はその金を自分が奪ひ取り此んな奴に金等やる必要がないと散々惡口をたゝいて右の金を持つて立ち去つたと云ふので同地方では今や……平野に對し、……りをたさんと地方は極度に激昂してゐる。

全國の兄弟よ我逹は今この暴逆極りたき……を葬る可く月下運動を……始しました。そしてそれを…………、……りとすべく、近く……りの、大演說會を開く筈である。その時は、本部から誰かに來ていたゞく考であります。終りに望み先輩諸氏並に同志諸君の健康を祈り愈々增々番犬征伐の爲めに戰ふことを諸君に告ぐ。

此の慘虐

【茨城縣　川田紅葉】

俺の村（太田古屋に）貪慾なる小地主がある。

第一に[illegible]にあげる奴は松影の石崎某である、此奴なか〳〵橫惡の奴だ。俺逹の村で一番田地の惡い所の「山二分」は一段一石一斗も強制的に取るのである（一段の取上高は二石乃至は一石八斗である）近年は耕地整理の爲に凸凹があり何十日となく無駄な勞働か穫されてゐるのである。（去年は近年にない不作であつた）少し年貢を減してくれとでも願ふものなら、田は內で作るからと云つて、忽ちに取上るのだ。現在五段も草で荒して其の日暮しの小作人を地獄の底に蹴落してゐるのだ。自分は（石崎）田植などに運動かた〳〵腰に酒をさげて來るのである。苗の植た跡などはまるで三尺、四尺ぐらい間があるのだ。夏になると稻草で茫々してゐる。秋になると來年の春まで刈らずに其のまゝ御丁寧に人間の命の親玉を田の中に曝させて置くのである。

現在奴（石崎）の爲に××村では一家破滅した者さへあるのだ、どれ程奴の爲に苦しめられてゐるか言葉に現はす事は出來ないのである。

次に紹介するのは町會議員であり村にも一、二を爭ふ水戸平七と云ふ、非人道の奴である。

俺逹の村より三丁程に福島潟と云ふ湖水がある。村の貧乏人は此の湖水より魚を取て生活をしてるのである。福島潟の魚獲の最も「月抜」なる上古居と云ふ所は今迄葛塚の山二と云ふブルの不動產であつたのであるが、贅澤三昧の末破財となり、やがて俺逹の命の網である上古居も賣り飛ばして了ふ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

になつたのである。これより先横暴非道なる水戸平七は山二と提携して上古居を俺達魚夫に何等の挨拶もせずに買取したのである。今迄俺達魚夫の生命の綱であつた。然るに水戸平七は、此の上古居を（道徑半里）金網でカクイ魚夫の命の綱を切斷したのである、魚夫一同は中村氏を代表として上古居を買てくれと願つたのであるが、然るに非道なる水戸は俺の金で買た物を俺が自由にするのに何んの不思議があるかと、一も二もなく願をはねつけたのである。嗚呼此の横暴、俺達は貧乏人であるばかりに彼に強く反抗する事は出來なかつたのである。

又、鬼水戸平七は元貴族院議員であつた越後の地主越島の「名代」をしてゐるのである。俺達小作人より搾り取つた年貢米を横領して今では何十萬の（不動産も入て）財産をつくつたと人に噂されてゐるのである。木崎村小作爭議の時などは一せいに起つて彼水戸の横暴を叫んだのである。

呪ひは、やがて反逆となりて爆發する。全國の無産者よ此の非人道横暴なる石崎、水戸を葬れ！

【新潟縣　島野國造】

小百姓に與ふ

全越中の農民――小作農よ！諸君は何故、商人と俗吏との爲にしぼられるに過ぎぬ米穀檢査制度の不合理を改廢しないのか、實際運動の緒はいくらでもあるではないか。

意氣地なしの百姓よ！君たちは何故電氣會社の横暴に對抗する事が、出來ないのか、攻撃の材料は山ほどあるではないか。

百姓よ！小作人諸君よ！礪波の新川の氷見の御百姓よ、何故農民組合を作つて健實なる自治の社會を作らないのだ。その爲の知識を備へることの、讀書を何故恐れてゐるのだ。

お前達はいつまでも下げつけた安い頭を、振り廻して、日稼人の群へ割り込む事を廢めないのだ。生活に難があるからか、お前達は、芝居を見たり、キネマをのぞいたりする同胞の××××××××××××。呪はれたる農民よお百姓よ。愚なる者は未組織地方のお百姓達である。

【越中　桝本國治】

地主を煮て食へ

資本家のお伴自動車が尻から臭い煙を吐いて走り廻る、或る日、勞働者の子供が轢き殺された。そんな事は何うでもいゝ、彼は妾のところへ行けばいゝ、のである。やれ夜會だトッカピンだと遊び廻つた偶には、落ち込む様なソファーに座つて葉卷を吹き乍らほこの上に何んな具合ひに儲けやうかと考へる。

その反面には工場を追ひ出されて妻や子供をかゝへあしたは何うして胃の腑を充たさうかと思ひ惱んでゐる失業勞働者の悲慘な家族があるのである。

農村でもそうである。堅實なる自作農は日に々々減んで耕地は凡て少數地主の手に集まり多くの農民は小作民となつてゐるのであるつまり今日の社會には人を搾つて遊んでゐる有産階級と働らいても〳〵食ふに困る樣な無産者階級の二つの分れがある。

若しも我々が眞面目に人生の事を考へてみるならば、そんな有樣が目につく筈であるそしてこういふことは確に社會の不正であることに氣が付く筈である。而してこの不正の根本を取り去つて住み心地のいゝ理想の社會を建設しやうとする熱情に燃ゆる筈である。時世の成り行きだ仕方がないなどと意氣地のない諦めをしてはならない。必ず成し得るのである、我等プロレタリアの大衆の團結の力がそれを成し得るのである。

我等は國家の公民であつて決して資本家の飼犬でもなければ地主の飼牛でもないのである。人は皆プルでなければプロである。味方でなければ敵である。我等の敵は資本家である地主である、彼等は我等の生きてゆくことをさへじゆうりんせんとしてゐる、我等は當然與へられてゐる權利を主張し自由を擁護して我等を苦しむる者にはむかはねばならぬ、今既にその時である、戰ひの時である。

【大分縣　伊藤己人】

鐵道從業員の活躍

無産階級戰鬪士諸君よ。聊か潜越の至りでありますが、此の貴重なる進めの紙面を拜借して國有鐵道從業員中にも有閑階級から虐使せられつゝ大いなる希望のもとに活躍せんとしつゝある有爲なる青年の有る事を御知らせします。

吾等の兄弟より鐵道從業員は眠れる豚だ目覺めざる無産者だと談じられてゐるのだ。如何にも、的中して居るけれども官吏と云ふ二字が深く腦中に浸み込んでゐる、現場の所屬長の横暴なる壓迫の爲に今日迄忍從不拔の精神にて轗軻困頓として過ごして來たのです、只一言たりともプロとかプルとか主義思想等を使つたならば、忽にして赤化してゐるとか不良分子とかに見られ此はなかなか都會へ二度と出ることの出來ない破目に落ち其の上物質的に精神的に迫害を加へられ幽閉同樣にされて轉勤を命ぜられてしまふのです。そして、最後には鐵道を退かねばならない樣に仕出かされてしまふのです。然し涙を飲んで隱忍してゐる時代は早や過ぎた。遲れ走せ乍らにも當鐵局官内に全國鐵道從業員組合が組織されました。

【京都　岡地雅孝】

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

隨筆

忘れられた日記

吉田金重

大正八年八月三十一日。岡山市の西口、三門の下宿を出た私は、妙傳寺裏の墓地を通り抜け、萬成坂に出た。焦げつくやうた暑熱、土埃の深い道路——しかし、私はなるべく、忘れられた過去の印象を辿るかのやう、人通りの少い畔路なぞ傳つた。私は咽喉が渇いた。私は西檜津の中程に、井戸のあることを思ひ浮かべた。果たして、私はその前に來た。私は向ふから來る、水田子に釣瓶を提げた女を待つた。女は親切にも、水を汲み上げてくれた。私は冷い泉を、ガブ／＼腹一ぱい呑んだ。

私は心から禮をいつた。

道路傍に、見馴れない家並がつゞく。まつたく、私がこゝを通るのは五年振りだもの。五年振りに歸郷——ではない、郷里の近くに友達を頼つて來た私は、今日はじめて郷里——ではない生家を訪れ、墓參する途すがらだ。家並を離れると、兩側は稻田だ。風のあたらない、日あたりの好い稻田を所有する百姓は幸福だ。

私は生家のある村——芳賀の入口まで來ると、にわかに臆せられた。なぜ？こんな身窄らしい身裝りで、しかも土産物一つもたないで。故郷に錦——なぞ疾くに失せた私の頭の中にも、傳統的な何物かを殘してゐる。いや、本能的なプライドともいふべきか？私はさうした煩ひを避けるため、友達を頼り、友達の兄が經營する工場に働きながら、機會を待つてゐたのだ。その機會も朝六時から夕の六時まで、そして五十錢の日給と十錢の手當とでは——いや、兄の選擧法違反に連累した？友達の姿をくらました今、永久に望むべくもなかつたのだ。窮迫の末、いつ故郷の近くをさへ去らなければならない私はせめ：今のうちに墓參して置かなければ、またと再び？なぞ、強いて志したのだ。

豐穰な野は、綠なす山に押しつゝまれてゐる。以前に田圃があつたところには、新しい家が建つて居り、以前に家のあつたところは、畑になつてゐる。それとゝもに、見る人ごとの顏も變つてゐる。私は生家へ辿り着く前に、私の父や次兄を葬

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つてある、田地の墓地に頻りと眼をやる。そこにはいつの間にか、見馴れない新しい墓碑が並んでゐる。右は父と異母の墓碑に違ひないが、それより一層新しさうな、白く大きな墓碑は誰のだらう？それ共嫂の墓碑か？それにしてももう一個の墓碑は？――しかし、私はそれを深く穿鑿する前に、その前あたりの田圃の畔を、鍬を擔いで彷徨する百姓を見た。紺の襯衣に股引といつたやうな身裝りといひ、麥藁帽の冠り工合といひ、すべてがまがふ方ない長兄そつくりだ。いや長兄に違ひない、なぜなら長兄そつくりな百姓の彷徨する田圃には、里芋を堀つてゐる私の姿があるもの。それかあらぬか、長兄そつくりな百姓は、いつしか私の方へチラ／＼眼をそゝぎだしたらしい。もつとも人通りのない田舍路に、見馴れない姿が現れると人眼を曳くものではあるが。だが、私は人眼にかゝることが怖ろしい、いや、色んな憶測をもつて見られるといふことが怖ろしいのだ。

　私・這入つた、それは大きな藁屋の棟に煙り出しをつけ、大瓦を伏せた懐しい家だ。入口脇の牛屋の中には、赤い大きな牛が一匹、輪のやうに横はつてねゝりを嚙んでゐる。

「今日は……」と、私は鳥打帽子をぬぎながらしよんぼり佇んだ。そこへ訝しさうに出て來たのは二十一二にもなる、赭ら顔、大きな女だ。姪だ、叔父である私が、あちらこちらと放浪生活をつゞけてゐる間に、二人の子供の母親となつてゐる姪は、著しく變つてゐるではないか。

「まア、久し振りぢやのう、好うお出でんさつた、まあお上んなさい。」

「ちよつと、墓參りをして來やうか……」

　私は閼伽を入れる土瓶と、線香をといつたが、姪はとにかく座敷へ上れと強いた。そこへ先刻、田の畔をうろ／＼してゐた長兄が、それと知つてかにこ／＼歸つて來た。私が子供の頃、炒つたそら豆を一升もカリ／＼喰つたといふ、さすが丈夫な長兄の前齒は二三枚も缺けて、ものいふ聲さへもれるやうだ。

　中の間には三四歳にもなる子供が、腕や足に繃帶されながら顰め面で、ぢつと私の方を見てゐたが、いつの程にかしくしく泣き出した。私は子供の土産物を買つて來なかつたことを、見得や誇りではなく痛切に感じた。

「この子は知らん人が來ると、ぢき自分の腫物をつぶしに來るやうに思ふて怖れるの……」と姪はいつた。この時私の頭には、小學校に出來た腫物の膿を長兄に押し絞られながら、キャー／＼と泣き叫びつゝあつた、姪の幼時が浮かんだ。長兄は公土場の前に腰を下しながら、

「ごうぢやつた、東京の方へ行つても思はしいこともなからうが……」と、私は五年間に踏んで來た經歴や、現在の生活な

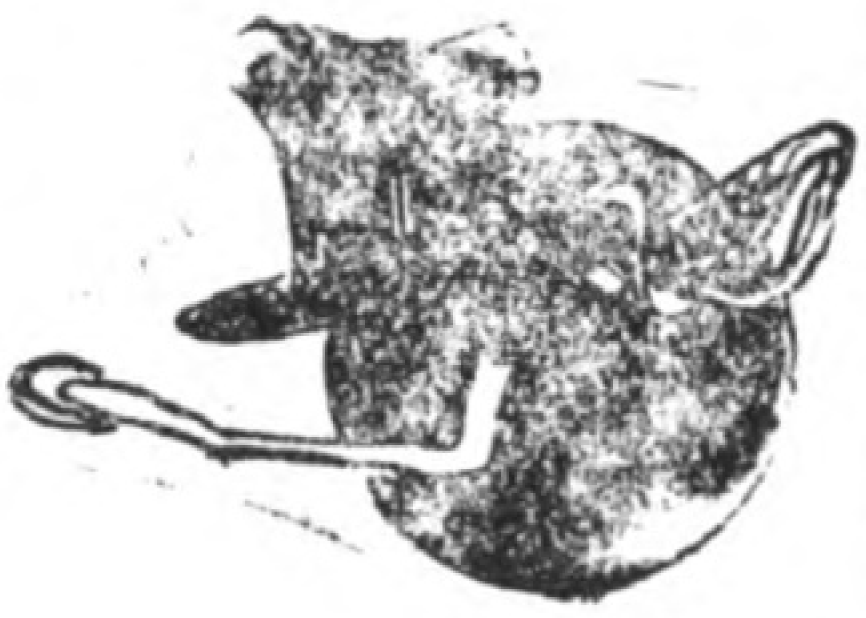
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ぞを訊いた。しかし、私はみづから進んで、それに答へるだけの勇氣がなかつた。さうだ過去の國家的日蓮主義者が、×××的△△主義者になるまでの經歷を、そしてそれによる現在の生活を、自分の田畑を自分で耕して食ひ、そしてそれを中心にすべてを考へる單純な生活者に故更說明して何になるか？

私は墓參りした。墓地は一たいに靜寂だ。苔蒸した墓碑、雨晒しになつた墓碑――赤や紫の斑點を帶びた幾つもの自然石は無興味に並んでゐる。觀月院妙諦信女、本覺院諦定居士と列んだ新しい墓碑は死んだ嫂と、現在の長兄の法名だ。その隣りにはやゝ黑づんだ、常照院淨悅信士と刻んだ父の墓碑がある。それからやゝ距たつた彼方に、平たい自然石をドッカリ据へ、その上にやゝ小さい墓碑形の自然石を載せ、顯孝院正道日心信士と書いた白木の位牌をもたせかけたのは、約三ケ月ばかり前に流行感冒にかゝり、心臟痲痺を起して死んだ次兄の墓標だ。私の今日の墓參も實は、この次兄の生前の悲しみ、懷しい追憶にほかならないのだ。少年時代に家出し、生家の財産なぞには眼もくれず、一石工として働きに、働き通して來た次兄は、長兄と嫂に虐待された父母、十二歲にして生家を放逐された私をかばひ、如何に眼をかけてくれたことであらう。自分の身につながる老幼をいたはる次兄は同時に、同業者の間にはなくてはならぬ人間であつたとか。墓地の背後の小松林も、いつしかすく〳〵と伸び上つてゐる。茅とか柴朶なぞの雜草は、樹木の間から洩れる日光と、そよ〳〵吹く微風とになまめかしい彩りを見せる。前の谷川にはダブ〳〵、シヤー〳〵と絕え間ない水の音がつゞく。蟬の斷末魔の聲はミーン〳〵、シヤン〳〵と懶さを加へ

墓參りから歸つて來た私は中の間に上り、姪の切つてくれた西瓜を旨く食つた。そこに姪の婿も歸つて來て挨拶をした。隣りのお松婆さんが遊びに來た。お松婆さんはその甥で、かねて臺灣巡査をしてゐた男が、久し振りにこちらへ歸り、新妻を迎へて再び赴任するや、ひよつくり死んだことを話した。お松婆さんはその甥と、私の次兄とを體質の上から較べながら、いづれも頑健らしいのにもかゝはらず、どうして若い者がかうも死ぬるのか？ひとり訝しがつた。妻が死んでから、すつかり氣が弱くなり、信仰の道さへ辿りだした長兄は、佛教經典の中の文句を引き出して唯心的、乃至は神祕的に解釋したが、それを信じるべく私はあまりひねくれ過ぎてゐた。まつたく長兄は日蓮主義者として、今は一村ばかりではなく、遠くの人達にまで知れ渡つてゐたから、そして尊敬さへされてゐたから。私は長兄の顏を冷やかに眺めながら、皮肉ともつかずに、「田舍の百姓はのん氣ですね。」といつた。「何がのん氣なものかの……」遮つたのは、お松婆さんだ。まつたくお松婆さんの家は、永い間の小作農であつたから。私は、私とあまり年が違ふべく思はれない姪の婿に、それとなく色んな問題を提出したが、通じるべくも思はれなかつた。私が亡兄の家に嫂や、母を訪ふべく生家を出たのは、その日も夕方である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



失業者の熟睡

吉田婦美

救世主が現れた、そして聲を限りに叫んだ。「生活難、過激思想、國際問題等々と、國の内外を問はず矛盾反對を以て滿たされて居るから、是等の矛盾反對を轉化し、反つて眞善美を發生さす資料とし、更に是等を以つて眞善美それ自身としなければならぬ。それには徒らに眼前の手近い事柄のみに拘泥沒頭しては居られない。常に一切の事項の背後に在りて是等を融合調和せしめて、是等に其の處を與へて是等を善美化するところの建國の大精神を反省して之を顯揚せなければならぬ。此の建國の大精神は國の肇りのときより彌々發揚せられつゝありしが、近くは明治天皇御踐祚の始めに臣民を率ひられて、天地神明に誓はせ給ひし、彼の五ヶ條の御誓文に明瞭に表はれてゐる。我々は此の五ヶ條の御誓文を奉誦することによつて壯麗なる氣分にうたれ、感奮措く能はざるものがある。

我々は此の御誓文を拜誦し、感銘することによつてのみ此の矛盾反對の社會から解放せられる。此の御誓文を奉錄した柱でも全國に建設して、そして國民追進の根本精神を實修しやう、斯くする事によつて生活難、過激思想、國際問題、其他何々等々の一切の矛盾反對は解決する。此の柱を建てる事によつて腹の空いて居るものも腹が滿たされる。社會主義者も、無政府主義者も消へてなくなる、寒い者も暖くなる、病んで居る者も忽ちにして癒ゆるであらう。此の柱を建てやう、此の柱を建てる事は、實に救世の只一つの道だ。」

斯ふ云つて、此の柱を東京灣に建設しやうとて國民警鐘を亂打した、理事官と云ふ偉い役人が神奈川縣と云所にあつた。

ところがこれに對する一般世人の態度はごんなであつたらうか、其は實に此の救世主に對しては氣の毒な程冷淡なものであつた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「なんだ、御祭文柱を建てる、そして何にするのだ、何！生活問題、過激思想、國際問題を解決する、フン、それは御苦労様なことだ。だが試みに石地藏を以つて、威嚇せんとして見給へ、それはまだ夜の明けないうちに於てのみ有効だよ。彼の御祭文は明治初年の當時のやうに、其の正體が未だ濃霧に包まれて居た時代には御利益は靈驗であつたかも知れないが、金と兵力に困り切つた時の明治政府の××××であつたことを知つて居る今日の大衆は……イヤ夜が明けて仕舞つては石地藏様では駄目だよ」と云ふやうな鹽梅で救世主の此の世界的大計畫には一顧だも與へるものがなかつた。

ところが、それから約二年程經つて突如江洲のある町に、此の結構な柱が建つ事になつた、それは日本の役人の内でも一番溫厚な、民衆に最も親切な警察官と云ふ人達によつて爲されたのであつた。彼の救世主は此の江洲と云ふ國でのサーベルの一番親方に其の時は成つて居たのである。そうして此の柱に寄進した民衆の内率先して浮財を寄附したのは、藝妓、娼妓、貸座敷業者、古物商、附物商、人力車夫、料理屋、宿屋、飲食店、理髪營業者、女髮結、賭博犯起訴猶豫者、新規營業許可願出人、各種興行營業者等であつて、是等の人達は平素特に警察官には親切に御世話になつて居る關係からであつたそうだ。

斯くして此の御柱と云ふ救世の權化は江洲の琵琶湖の多景島と云ふ所に建設せられたのである。そし愈々其の御柱の除幕式の當日となつた。此の御柱の建設地の多景島が其の地先であると云ふ關係から、舊德川幕府の大老様の三十五萬石の城下では、御柱の除幕式を祝福する爲め大騷ぎである。それで向ふ十日間も煙火を打ち揚げて、祝ふのだとかで全町に渉つて滿艦飾を施して踊れ、舞へ、飲めや、唄へと、宛然全町民が狂氣したかと疑はれる程の亂痴氣騷ぎである。

ところが、この歡樂境を他所にして今しも犬上郵便局の簡易保險係の窓口で、凝つと俯向て、係員から懇ろに何か諭されてる色蒼褪めた男がある、係員は尚詳しく説明す可く語り續ける。

「……で、貴方も將來の爲めに折角御加入なさつたので、然かも四十ケ月から掛金をお拂込みになつたのでありますし、今御解約なさつても還附金は御拂込み金の半額にも當りませぬ、政府もこれは何も金儲けにやつて居るのではなく、多くは農村振興等に此の金を當てますので、第一貴方も將來の御計畫の爲めになるのでありますから折角御繼續なさる事をお奬め致します」今迄默つて聞いて居た彼の男は、其の一の字に結んで居た赤黑い脣を神經的に震はせて、

「よく分つて居ります、簡易保險に加入する當初そうゆうお話を承りました、然し私は今將來どころか今日を如何に過ごす可きかゞ問題になつて居ります、私には今は明日がないのです、況んや地主の地價保全や、自作農創設の爲めの利益なんか考へて居れませぬ」。

彼は遂に保險解約書に署名捺印して係員の居る窓口に放り込んだ、係員は、これだけ言つて聞かせても分らん奴だ、とぶ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つく〳〵言ひながら受付けのスタムプをポン〳〵と押捺するときには、彼の姿は何處にも見へなかつた。

それから一週間ほど過ぎて彼の茅屋に一通の郵便……それは切手の貼つてない『通信事務』としてあるもの……が配達せられた彼はこれを披いて見て、アタフタと何處やらへ出掛て行つた、彼が出掛けてから三、四時間經つと彼の家に、米とか、炭とか云ふものが若干宛配達せられた、其の内彼は夕方燈の點く頃歸つて來た。そして妹のたつ子に何やら手渡しすると、たつ子は何處かへ使に行つた、軈てたつ子は、『家賃之通』と云ふものを持つて歸つて來た。彼は二人の妹と久方振りで風呂に行つた、湯から戻つた三人の兄妹は直ぐに食卓に着いた。一番末の妹のゆみ子が「兄さん明日もお天氣のやうですね、そら彼の御柱のお祝の煙火が揚りました」

アハ……俺達にも明日が話せるときがあるのだね、然し俺はあの煙火が揚る度びに折角膨れた腹が減るやうな氣がするよ」と云つて又大きな口を開いてアハ……と蒼白い盥のやうな相形を崩して笑つた、然かし彼の相形の崩れた笑顔も、直ぐ舊との蒼白い顔に戻つた、そして以前とは一層暗い顔になつた。

彼等兄妹三人はそれから暫くたつて寢床に這入つた、寢床に這入つてから色々と過ぎ越し方や、将來を語り合つた。一昨年の暮れに鯉の刺身を食べ度いと言ひながら、遂々食ふ事が貧乏である爲めに出來ないで死んだ母の事や、十八年此方行く方知れずの父親の事や、遠い亞米利加に出稼ぎに行つた弟の事等を夜の更けるも知らずに話し合つた。しばらく話が途切れたので、彼は枕元のパンフレットを讀み始めた、向側の活動の演題觸れに步く東西屋の柱時計が一時を打つた、其の時は彼の妹等は既に寢入つたものか、輕い、低い鼾で夜着の襟を靜かに上下させてゐた。彼はパンフレットを讀みさして妹等の寢入つたのを凝つと見つめてゐた、そして彼はこんな事を考へた。

『滿腹と熟睡』そうして彼の頰には何故か熱い涙がつたはつてゐた。それからもの一二時間もたつたと思ふ頃、何處かの寺の鐘がなつた、そして間なしに牛乳屋らしい車が通り過ぎた、その時彼の枕下でパタリと云ふ音がした、それは彼が讀んで居た『コンミュンマニフエスト』とか云ふパンフレットが、彼の手から離れて疊の上に落ちた音であつた。

彼にしてもやはり熟睡に必要なものは滿腹であつた。

「をはり」

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

戯曲

斷末魔（一幕）

行村義雄

人——

男A
男B
男C

舞臺——

闇い坑道に夥しい岩石が前後に崩壊してゐる。僅かに舞臺中央部に、數人を容れ得べき餘裕を保つてゐる。

天井から絶へず水が落ちてゐる。

男AとB、破れたシャツ一枚で、鶴嘴を持つたまゝ、左側の岩石の前へへたばつてゐる。男Cは、右側の石に力なくもたれてゐる。

彼等は、地下數百尺の闇黒の中に、百餘時間食をたゝれ、既に生命を奪はれんとしてゐる。肉はおち、皮は破れ、蒼白な顔面には絶望的な影が流れてゐる。だが、彼等は諦め切れないのだ。生への執着の哀しいあせり。

彼等は既に疲れ切つてゐる。彼等には、もうこれ以上自分で坑道を切りひらいて出て行く努力は望めなくなつてゐる。

Cの男の足元には、數個の男女の死體が重なつてゐる。

Cの男は堪えられない饑飢のために、ゴム足袋をかぢり出す。

その時、どこかで、大きい地鳴がする。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Aの男。（驚ろいて立ち上る）アーッ。水！どこかゞ破れたのだ！

Bの男。（鶴嘴を持ってあせり氣味で石を起しかける）此處だつていつ落ちてくるか判らないのだ！　俺達は死ぬる人だ！　へたばるんだ！

Cの男。（二人の男の方へ行かうとして立ち上るが、すぐ倒れる）　俺達は百時間もあせつたんだ！　だが、俺達はもう生きる望みを絶たれて了つた。

Aの男。（恐怖に戦き乍ら天井を眺める）　天井から落ちる水がだん〳〵ふえて來た。もう幾時間のうちに俺達はへたばるんだ。

Cの男。飢えてる事は死よりも苦しいのだ。ゴム足袋が腹へ入つたつてどうなるのだ！

Aの男。俺達はとう〳〵最後までパンをうばわれ通しにされたんだ！

Bの男。（段々、鶴嘴を持つ手が疲れてくる）　あゝ、俺になぜこれ以上の力が出てくれないのか！　俺だつて人間だ！　生きたいのだ！

Aの男。（鶴嘴を持ってBに力を貸そうとするあせつて倒れかゝる）　俺達には生きる權利があるんだ！　俺達はもぐらもち程のねうちもないと思つてゐやがるのか？　社長は俺達を見殺しにするのか？

Bの男。いまあいつが俺達を救ふのは義務ぢやないか？　社長は俺達を殺したんだ？　生き埋めにしてしまやがつたんだ！

Cの男。（立ち上ろうとしてあせるが、何度でも倒れる。やつきとなるが、彼にはすでに二人の男の側に行く氣力がないのだ）あいつは俺達を欺しやがつたんだ！　こんな破れた坑道へ追いこんで殺してしまふんだ！

Aの男。畜生！　俺達がストライキをやつたつて、あいつに殺される理窟はないのだ！　俺は人間だ！　同じい人間だ！　俺達にだつて生きる權利があるんだ！　俺達は人間じやないか！　どこに俺達を殺す權利があるのだ！

Bの男。俺達を救え！　俺達は死にかゝつてるんだ！　人間だ！　生きたいのだ！　生きたいのだ！

Cの男。俺達は、あいつに不當な要求はしないのだ！　俺達は、俺達の生きるための？　パンを要求したのだ！　あたりまえだ！　俺達は殺される理窟はないのだ！

Aの男。（遂ひにへたばりこむ）俺達をなぜ救はないのだ！　俺達のパンをどれ丈搾りとつたのだ！　俺達を救ひ出してくれる事は義務じやないか！　俺達はなぜ殺されるんだ。

Bの男。俺達を救え！　俺達は飢えてるんだ精力はからつぽになつたんだ！　俺はもう一度太陽が見たい！

——突然、右側の奥の一部（空洞の五分の一）崩壊する。Cの男、危ふく逃れる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Ｃの男。アーッ。崩れた！　死ぬるんだ！

Ｂの男。……。（恐怖のために言葉が出ない）

Ａの男。駄目だ。俺達はとう〳〵やられたんだ！

Ｃの男。（やっと、腹這ひで左手へ行く）諦めだ！　情けない！　俺達は一生涯、不幸な目に遭ふために生きて來たんだ！

Ａの男。（或る落ちつきを持って）もう俺達は再び人間として生れる機會を失ふのだ。

Ｂの男。（彼丈は諦め切れない樣に、亦、鶴嘴を揮る。然し、大きい岩石は、彼の疲れた腕に何ともこたえない彼は倚あせる）生きたい！　生きたい！もう一度太陽を見たい！

Ｃの男。（次第に落ちついて）駄目だもうすべての望みをうばわれたんだ！

――更に大きく崩壞する。今までの凡そ、半分位の空洞を殘す。死體は殆んど埋められてしまふ。

Ｂの男。アーッ！また破れた！俺達は逃げ場を奪われて了つた。もう最後なのか？情けない。情けない。何と言ふ俺達は、こんな不幸な目に遭ふんだろう……。（呆然と天井を眺める）

Ａの男。あと、五分だ！

Ｃの男。眼をつぶれ！俺達はめちや〳〵になるんだ！

Ｂの男。生きたい！生きたい！せめて、一時間丈でも、俺は生きてゐたい！

――更に天井が落ちる。殘つた空洞の半分を埋めるＡとＣの男、互に抱き合ふ。Ｂの男は、岩へしがみつく。そして恐怖に身震ひする。

Ｂの男。アッ……天井が動く……アッ……アッ……駄目だ！落ちるんだ！

Ｃの男。（なかば狂的に）地球が陷落するんだ……世界はめちやくちやになるんだ！あいつらの最後だ！

Ａの男。（兩手をさしのばして狂ひ出す）そうだ！地球はひつくりかえつたんだ！ビルディングも……工場も……機關車も。大都會は燒け出したんだ！占領だ！燒け！占領だ！

Ｃの男。地球は戰爭だ！正義の戰ひだ！倒せ！倒せ！倒せ！俺達はくたばつても、やがて眞上は、理想社會の新領土だ！戰え！倒せ！正義の戰爭だ！

Ａの男。占領しろ！　俺達の世界を占領しろ！

――急に、幕、おりる。――

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

戯曲

ストライキ（四幕九場）

下山利基智

時。　大正十四年秋。

場所。　東北の或る小さな村に起りしストライキ。

登場人物。　製絲工場重役。職工（男女工）。重役の娘お妙。警察署長。巡査。小使。其他。

第一幕　第一場

舞臺——村の警察署の巡査溜場、正面に小さな机、中央に大きな木製の火鉢、周圍の壁に日本地圖、衛生に關する統計ポスター數種を掲げてあり（すこぶる殺風景なるもの）。

巡査十人計りどや／＼と登場す。

巡査一「いや——寒いね……」

ポケットに兩手をつゝこみ乍ら同僚をかへり見る。

巡査二「ウム——（呻くが如く）全く寒いね。

同　三「やッ、火がない！火鉢に。

同　四「えッ——未だ火も——之の寒いのに。

同　五「小使は——小使はどうしたんだッ——小使は。

同　六「小使ッ——（堪りかねた樣に大きな聲を立てる）

返事なし、一同寒さに振へ乍ら室中を歩き廻る漸くして遠く靴の音す。

同　二「署長ぢやないか。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同一「そうかも知れんね、(首をかしげ乍ら)。

靴の音次第に近づき入口の近くで「えへん」とせき拂ひをし乍ら片手に火鉢をかゝへて小使登場す。

小使「(一同を見廻し乍ら)お早ふ御座います。

ペコリと頭を下げて火を移す。

巡査一「——(案外な面持にて)署長は未だかね——

小使「署長さん？未だお出でになりませんよ(扉の近くに行き首を左右に見廻し乍ら)昨晩ね——十一時頃あの製絲會社の浦杉社長さんが急に署長さんに面會したいつてねそれで何か話合つて十二時半頃歸へられたんですもの——署長さんもお眠いでせうや」

小使室を出んとす。

巡査一「爺さん——閣下と社長の話——ちよつとも聞かなかつたかえ。

小使(ためらい乍ら)ちつとも知りませんでしたよ。

小使退場す。室内一寸靜かになる一同火鉢の周圍に腰を掛けて暖を取る。

巡査二「(くつたく相な顔をして)何だらうね、今頃殊に夜おそく會社の重役が訪ねて來るなんて——おかしいね。

同三「——盜難でもあつたんだらうか。

同四「(考へ込み)——さればさ——それとも何か別な問題が起きたのぢやないかしら。

同六「——あツ それで思ひ付いたよ、——ね、此の間さ、僕の二階に居るあの工場の火夫君——今度の會計が新くなつてから賃銀の配當が不公平だつて話してゐたつけ。

同七「ウム——僕もそう云へば氣に當るよ——實はね内のお絹がさ——此の間四五日休んだんだよ——そして今も休んで居るんだね僕が何故休むかつて聞いても返事が要領を得ないんだよ——

同八「(一同を見比べ乍ら)ウム——ではあの——ストライキ？(一同緊張した面持にて異口同音に「ストライキ？」)

同九「只事ぢやないね。

同十「すると——昨晩の重役の來訪はストライキの警戒かね。(今まで默念として考へ込んで居つた智識の少しある巡査やをら聞き直って)

智識のある巡査「どうだね——諸君！我々も少し彼等のストライキに付いて研究して見たら——(微笑をもらし乍ら)隨分意外な事態を

發見するかも知らんぜ——

巡査一「面白い事に出會すかも知れんね。

同　二「一體ストライキとは何時頃の世紀より發したんだらうね。

智識のある巡査得意な顔をし語り出す。

「つまり僕が色々の雜誌や諸新聞等に依つて見るに彼等の行ふストライキとは資本家に對する挑戰的正統防衛なんだね、それが彼等には唯一の武器なんだね、又之れに反して資本家より考へれば之のストライキは毒刄に當るんだね資本家の最も恐れて居るのは之のストライキの樣だね、——それがパンの糧に消え失せるのだ（彼の顔は異樣に振へ眼は太陽をも射らんばかりにかゞやく）榮譽——そんなものは不必要である——彼等多くの職工達には病人も居よう—妻子もあらう——彼等は常に〳〵眞理に依つて居るのだ而して内的には夕のパンに追はれて居るのだ——正義は必ず彼等に味方するであらう但し天下の金は何時も彼等のサイフの中に止まつて居る事は出來ないのだ彼等の正義を求め乍ら貧乏して居るのは——諸君！氣の毒な樣だ——悲慘の極みだ（一同を見廻）我々が少くとも彼等を慰めてやる餘容が出來なからうか？それは出來ない我々は政府の御飯を載いて居るものである然し乍ら我々は假へ政府の命令署長の命令とは云へども正義に反逆の旗をひるがえす事は出來ない我々が官服を付け彼の街頭に立ちて公衆の前に民衆保護と云ふ看板——美名の下に正義を踏みにじり眞理の裏の歩道を歩まんとする人々は今の中に巡査なんと云ふ職業は止して了へ——諸君よ！我々の月末に載く月給袋の中に幾ら入つて居る——十圓紙幣三枚と半（靜かに一同を見廻して太息吐く一同靜かに日をつむる漸くにして一巡査ヒゲを一すナデ乍ら）

「どうだらう——諸君我々も此の際彼等に同情して彼等の爲めに有ゆる犧性を拂つて便宜を與へたら。

巡査二「我々もストライキを？

同　三「職も何もかも打捨てゝ——やらう〳〵。

やがて何か小さくサヽヤキ合つて一同うなづく。

時計丁度其の時八時を打つ一同時計を見上げて「もう八時だ——」一同事務室の方へ退場す。

第一幕　一場の幕下りる。

一場了り　二場大詰へ續く。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯室より

□茲に五周年紀念號として、體裁を菊判に改め、本文百拾二頁の堂々たる雄姿を以って諸君に見ゆる。前號に於いて四六倍判六拾四頁にする旨を豫告して置いたが、此の紀念號を機會として菊判に改め、今度引續き此の體裁を執ることにした。定價は依然、從來通りの拾錢である。元來、日本に於ける社會主義雜誌は、凡べて高價に失する。本誌は此の弊を破り而して、全無産階級誰一人として『進め』を讀まざる者なきを計り、今後も此の定價を以って、諸君に提供し、日本に於ける無産階級唯一の而も最も戰鬪的な無産階級の戰鬪雜誌たらんことを期する。

□吾等は出所不明の黄金に依つて雜誌を作つてゐるものではない。斯かる低廉な雜誌を讀者に提供し得るのは、實に吾社同人一同の懸命的努力の結果に外ならない。故に讀者諸君の中に、若し誌代の停滯してゐる者があつたなれば、今後發送を停止する。社會運動に忠實なる諸君は發送を停止されない前に誌代を拂込まれたい。

□吾が社の編輯室の壁に左の一軸、端然として掲げられてある。曰く

辛酸亦入佳境

降る雪よ
やみかたなくば
積もれかし
我は踏たて
蹴立行かなん

□之れ田中正造翁六十七才の時に執筆せしものである。翁は明治年間の農民運動者にして自由民權の爲め、投獄さるゝ事數回、議會に、街頭、鑛毒問題を絶叫した。吾が社編輯同人一同日夜之れを眺めて鞭韃さるゝこと大なるものがある。翁の如く、名を忘れ、財を棄て身命を賭して戰ふ眞に之れ革命男兒の本領たり全日本の同志諸君！特に山雨至らんとするの時、須らく健鬪せよ!!

社告

誌代十ヶ月分拂込讀者に、マルクス大寫眞を無代で贈呈する。

定價

一部	五部	拾部
拾錢	五拾錢	一圓
郵税 一錢	郵税 五錢	郵税 拾錢

無産階級戰鬪雜誌 **進め** 毎月一回一日發行

□誌代は總て前金拂込の事
□成る可く振替で送金の事
□郵券代用必ず一割増の事
□住所姓名は明瞭に書く事
□支局は十日迄に拂込む事

東京市外大井町鈴ケ森海岸一八九〇
發行所 **進め社本部** 振替東京六九八五三番
發行編輯印刷人 福田狂二
大阪市北區茶屋町四一 大阪營業所

廣告料

一等	二等	三等	四等
三百圓	二百圓	百五十圓	百圓

大賣捌

東京堂 東海堂 北隆館
大東館 參文社 [illegible]盛社

殖民地解放運動

月刊 新朝鮮

一部十錢
一年一圓

發行所
東京市麴町區麴町九ノ九
新朝鮮社
振替東京四五五九九番

農民自治會全國聯合機關誌

月刊 農民自治

一部五錢
送料二錢

發行所
東京市芝區三田四國町二ノ四
農民自治會全國聯合
振替東京七三四五一番

無產階級政治新聞

月刊 春秋新報

一部拾錢
一年一圓

發行所
愛知縣半田町荒古二〇五
春秋新報社
振替名古屋一二二二三番

島根縣小作聯合機關紙

月刊 島根大衆新聞

一部五錢
一年六拾錢

發行所
島根縣安來町
島根大衆新聞社
振替大阪七六九九二番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

慶大教授 向軍治先生著　定價壹圓

前編

ローマ字書き 國を亡ぼす教育

著者は多年漢字使用に依る誤れる教育は國を亡ぼす因として之れが廢止を叫び、ローマ字の普及宣傳に努力せらる。漢字制限の聲天下に滿つ今日、何人と雖、讀まざるべからざる書である。

後篇近刊

東京府下下澁谷一四五六
發行所 三土社
振替東京四八九五八番

社會問題パンフレットを備へよ！

マルクス 哲學の貧困

定價送料共 一部三十錢

マルクスの初期の名著「哲學の貧困」の要領よき抄譯。一讀その大要を知悉し得る便利なもの。

社會文献 何を讀むべきか

定價送料共 一部三十錢

社會問題に關する主要な日本の文献を網羅したもので、初心者にも學徒にも極めて必要なもの。

東京市麹町區麹町九ノ九
發行所 社會問題研究會

京都市烏丸三條

日本活動寫眞株式會社關西支店

支店長 杜重直輔

大阪市內直營館

芦邊劇場（千日前）

映畫俱樂部（千日前）

玉造座（玉造）

老松座（北區老松町）

いろは座（新世界）

帝國キネマ演藝株式會社

大阪市南區
塩町通四丁目

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大阪代表名物

有効金牌

大黒

粟おこし
福おこし

大黒

御贈答必適品

店主 小林林之助

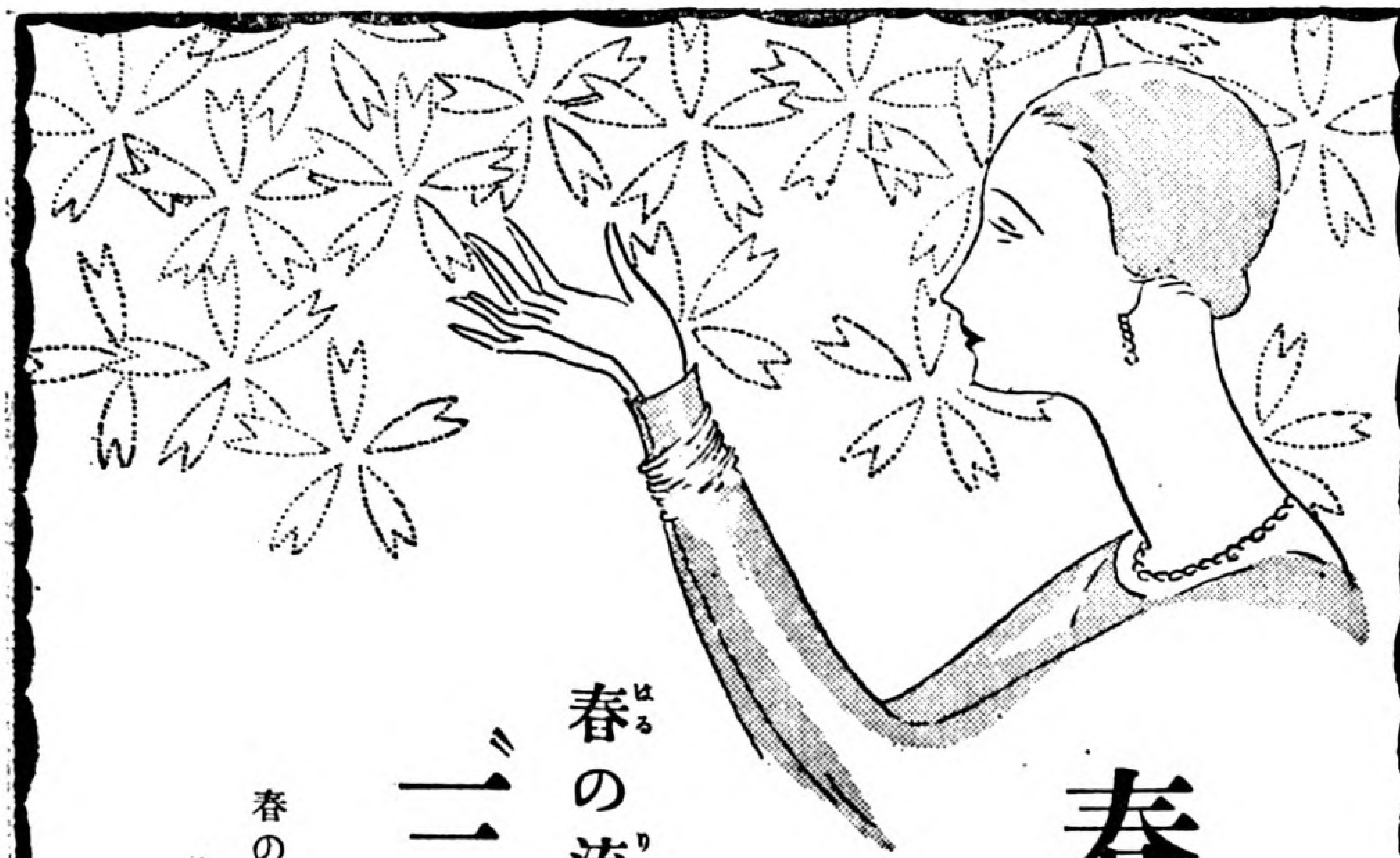
婦人良薬
喜谷實母散

産前、産後、血の道、引風、冷込等に特効有
▲全國到る處に販賣す

本舗
東京京橋區中橋大鋸町
喜谷市郎右衛門
電話京橋 五五番 五六番

商品券
受けて重寶！贈るに便利！
東京、大阪、神戸の本支店各出張店共通
安く賣る店 買ひよき店
大阪 白木屋 堺筋
本店 東京日本橋 出張店 神戸湊川

金銀
白金
東京市神田區松田町
徳力本店



春！春！春！

麗らかな春
花咲く春
流行の春

春の流行品は
〝三越へ〟

春の巷に…………
……氣持よいこの言葉

三越呉服店
◇大阪◇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

精工舎製腕時計

SEIKO

歐米各種時計
裝身具ヒスイ
サンゴ鼈甲類
貴金屬美術品
精工舎各種時計
金銀盃洋食器
ダイヤ寶石類
寫眞器双眼鏡
測量器製圖器

東京銀座二丁目

服部時計店

大阪博勞町
心齋橋筋角
大阪支店

天賞堂工場新製
ダイヤ指環と帯締
¥ 337.00
¥ 38.00
¥ 170.00
純潔の光り、清淨の輝き、品位を高むるダイヤモンドはどんなにか女性の美を增すことでありませう。新意匠と精妙の技巧とに依て成れる新品澤山取揃へてあります御用命をお待ち申上げます。
¥ 520.00
¥ 532.00
¥ 430.00
¥ 380.00
¥ 120.00
¥ 180.00
¥ 190.00
¥ 150.00
¥ 100.00
¥ 210.00
¥ 95.00
合名會社
東京 天賞堂本店 銀座
(電話銀座三三三•三三四•三一〇三•三一〇四•一二五四•三六三五)
天賞堂大阪支店•天賞堂日本橋支店

東株一般取引員

清算
實物
國債

御申込次第進呈
㊁週報
委托証據金表
營業案內

陸（クガ）井幸平

坂井屋株式會社

▲御注文は是非
坂井屋へ……
▲一度の取引で
當店の誠實さ
敏速さが御諒
解願へます

日本橋區坂本町十九

LICENSED STOCK BROKER

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Head office: Su-su-me-Sha
1890, Oimachi near Tokyo, Japan
The Su-su-me
Vol. V The Socialist
No. 4 Monthly

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）
昭和二年四月一日發行昭和二年三月二十五日印刷

第五年第四號・五周年記念

定價拾錢

定價十錢

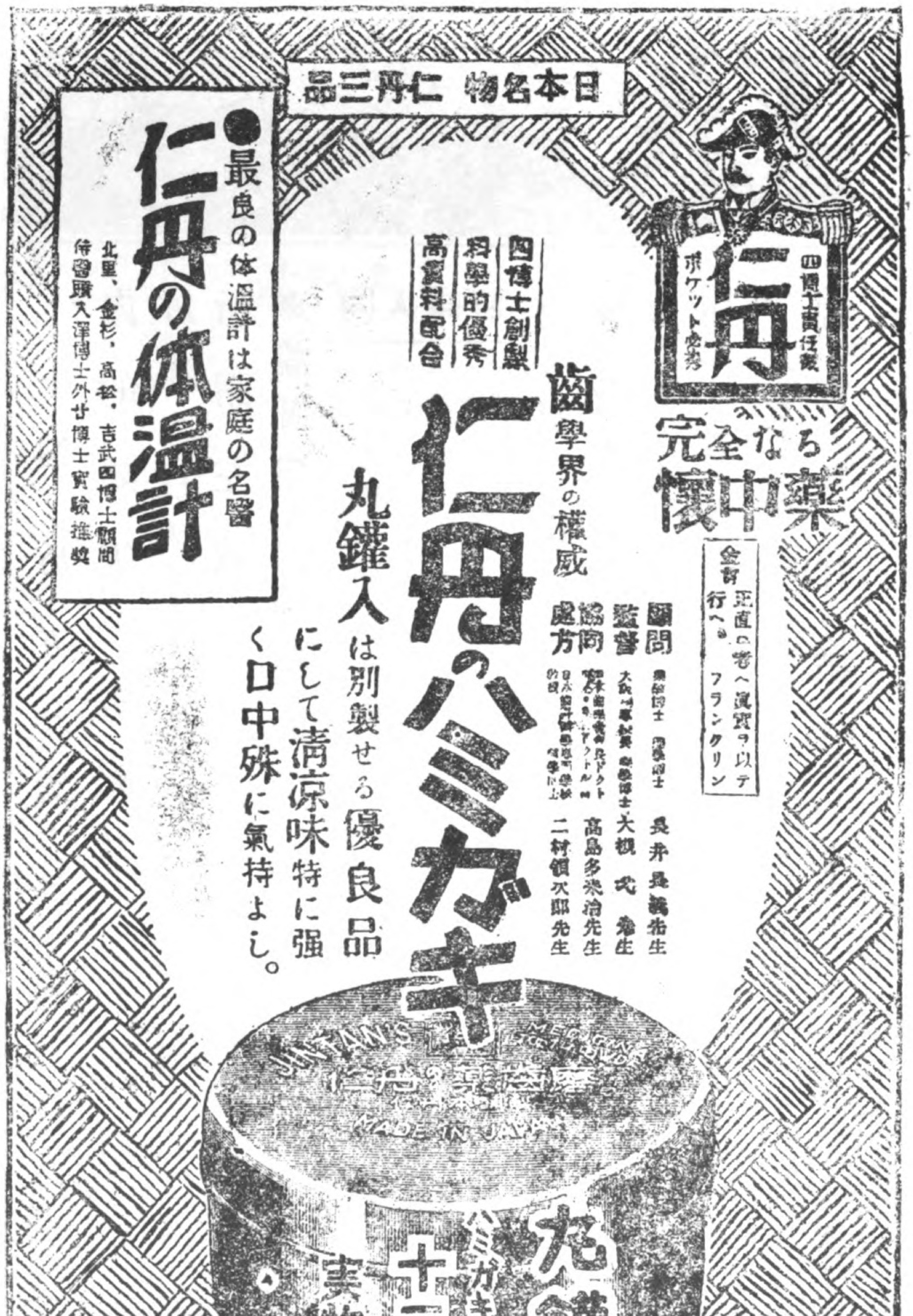
無産階級闘爭雜誌

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）
昭和二年五月一日發行 昭和二年四月二十七日納本

第五年 五月號 第五號

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

あれ、あれ！皐月の空に
鯉や、幟や、三越の旗！
さて、この月の店内はまた、菖蒲薫る五月人形の陳列に、恒例の夏物大賣出しも一日より―。こゝあらゆるものに初夏の爽やかさを湛えまゐります。
大阪
三越呉服店


日本名物 仁丹三品
●最良の体温計は家庭の名醫
仁丹の体温計
北里、金杉、高松、吉武四博士顧問
侍醫頭入澤博士外廿博士實驗推奬
四博士責任製
ポケット必携
仁丹
完全なる
懐中薬
正直の者へ誠實ヲ以テ行へ
フランクリン
四博士創製
科學的優秀
高貴料配合
齒學界の權威
仁丹のハミガキ
丸鑵入は別製せる優良品にして清涼味特に强く口中殊に氣持よし。
顧問 長井長義先生
監督 大槻 式 先生
協同 高島多米治先生
處方 二村領次郎先生
MADE IN JAPAN
丸鑵
ハミガキ充満
十二錢
実物大

進め・五月號・目次

□内的闘争と戰闘力……巻頭言（五）

□鮮血の日メーデー來たる……同人（六）

□所謂左翼の概念(一)……石川準十郎（八）

□理論闘争の抽象的遊離……本荘可宗（一三）

同人時評

△南京事件
△政友會の黨首公選論
△北伐軍の内紛
△戴天仇去る
△清瀬毆打事件
△メーデーをして意義あらしめよ
△磐城炭坑の坑夫虐殺
△再び目的意識に就いて
△反福本イズムの擡頭
△農民の進出
△白熱化する郵船争議
……（一四）

□高畠氏に質す……向軍治（二二）

□マルクスと剽竊問題……淺野研眞（二六）

□カール・マルクス(2)……カハン・コーテス（二九）

□植民政策裏面研究(六)……金熙明（三五）

□勞働運動講座 獨逸の勞働運動……淺野研眞（四二）

□現實を打破せよ……赤木龍（四九）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□メーデーは最後の目標を凝視て祝へ……吉田源藏（五〇）
□吾等の威力を示せ！……長濱說（五二）
□メーデーを祝へ！……鄭重（五三）
□臺灣二林騷擾事件と蔗作問題……布施辰治（五四）
□闘力赤沸問題……戸谷白羽（五六）
□勞働教育運動の轉化……小森善逸（五八）
□駁彈……（六一）
□無產青年運動の意義及目的……澤井龍之助（六二）
□メーデー（漫畫）……天野生（六六）

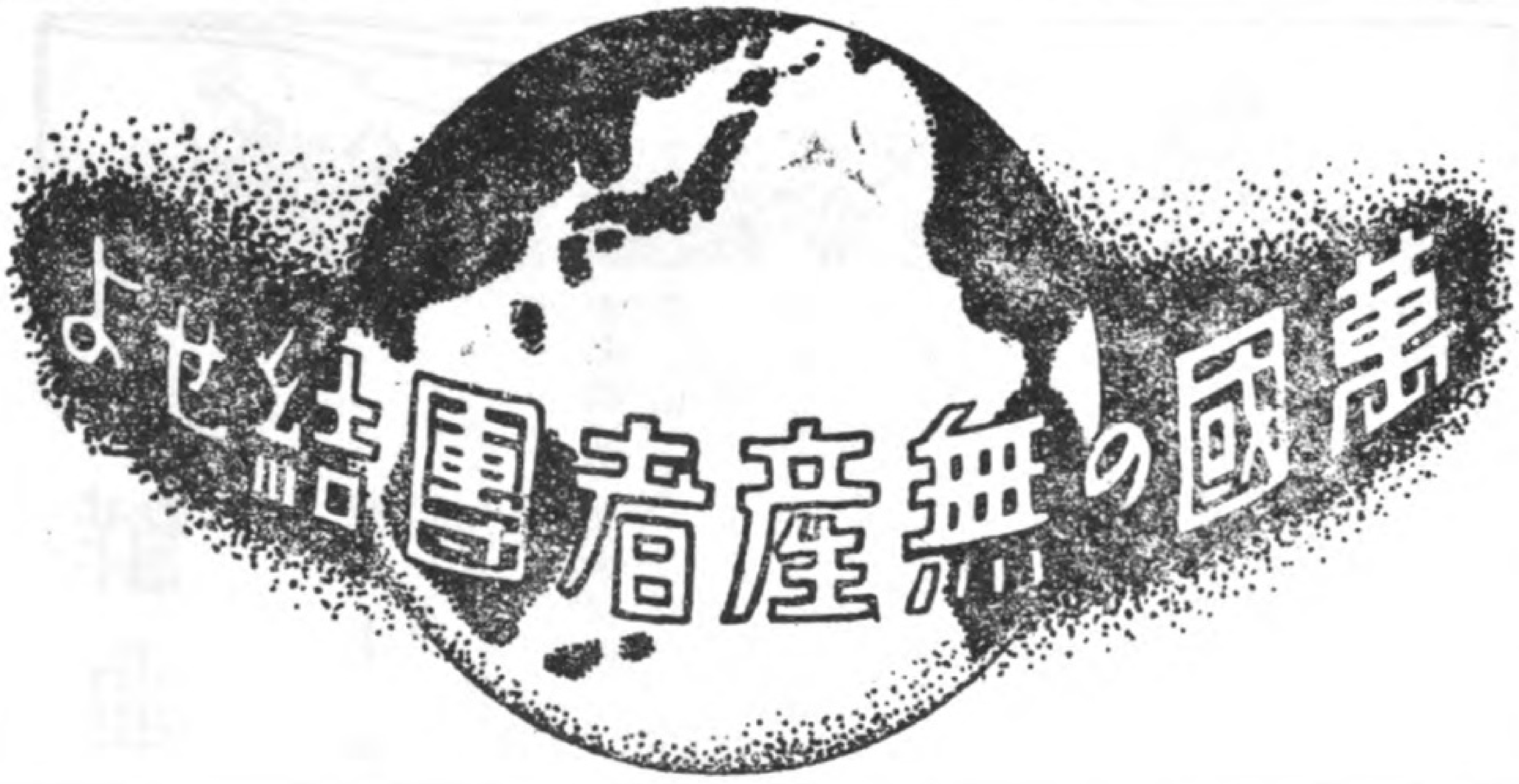
全土戰報

△正義の闘ひだ……木下正
△恐るべき搾取……岡村俊明
△共同戰線へ……小松道俊
△憎むべき專賣局……川田紅葉
△農村の現狀……佐根泰郎
△農民黨を撲滅せよ……吉田一郎
△闘ふ女工……田澤逸子
△搾取と支配……栗原潔
△罪人は惡徒か？……k・O生
△大衆の友社會主義……三木田善太郎
△山陰の戰陣……服部芳象
△殺人會社を屠れ……伊藤誠一
△鑛毒問題……北村陽之助
△タイムスに與ふ……中島安太郎
△農民は戰へ！……北野秋鳥
△市電值上反對……加藤一郎
（七六）

□我が國農民運動の考察……平野吉三郎（六七）
□「小作料の合理化」運動とは何か……神庭仲之介（六九）
□メーデー（詩）……田中政義（七二）
□組合同盟全國大會記……利根榮（七五）

日本麥酒鑛泉株式會社大阪支店

大阪市西區立賣堀



第五年 ■ 進め ■ 第五號

內的鬪爭と戰鬪力

■戰鬪的結合體は內的鬪爭に依りて戰鬪力を減殺する。小なる一部は大なる全體に全線に波及する。

■外的鬪爭の傷害は多大なりと雖も反つて攻擊精神を充實せしめ其の結合體自體の生命を延長せしむる。

■內的鬪爭は其れ自體を構成する細胞個々の傷害となり、其の細胞の結合に依る戰鬪機能を失つて了ふ。

■戰鬪的結合體は戰鬪を目的意識する個々の細胞の戰鬪的結合である。故に細胞の分離、傷害は其の社會性と戰鬪性を失つて了ふのである。

■われらは近時、戰鬪的集合體の內的鬪爭に依りて其の力の脆弱なるを見る。

■たとへば支那の革命軍の內的鬪爭は全線に渉りて志氣を沮喪せしめ、全體の結合統一を缺ぎ、これ迄百戰百勝の革命軍も甚だしく戰鬪力を減殺されて居る。世界の資本主義倒壞を目的意識する革命軍が事半ばにして早くも內的鬪爭を惹き起こしたのは悲しむ可き事である。

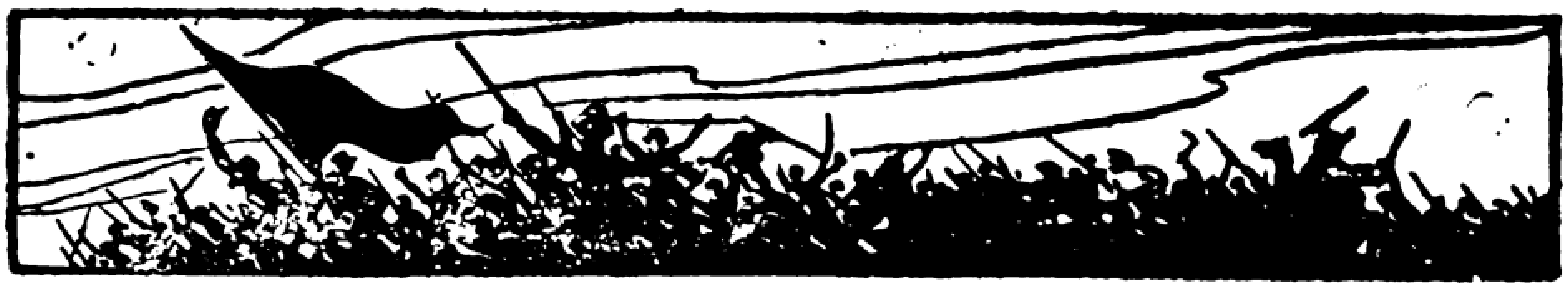
■吾等は××は大なる破壞と大なる建設を要すると思ふ。外部鬪爭は偉大なる破壞力を有する蔣介石に任して、內部建設はロシア派に任して支那革命を完成したいと思ふ。

■更らに吾等は日本に於て勞働諸團體の內的鬪爭を知る。而して其の傷害の多きを憂ふる。

■その何れも皆、戰鬪の目的を意識せず敵を前にして相爭ふ。

■われらはこれを嘆く。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



鮮血の日メーデー來たる

同人

メーデーの起原

一八八六年五月一日、全米國あらゆる部門の勞働者は、八時間勞働の即時實施を要求して一齊に街頭へ溢れ出し、ブルジョアジーに對する一大示威運動を斷行した。その結果、遂に勞働者の要求が貫徹され、八時間勞働制は、全米國に亙つて實施された。これ今日、全世界の勞働者が、資本家に對する定期の警告日として歡喜祝福せる、勞働祭の起源である。

其後一八九〇年、巴里に於ける第二インターナショナルの第一回大會は、毎年五月一日を以て、勞働者の國際的祭日となすべきことを決議した。斯くて同年五月一日、全世界の勞働者は、自らの團結の威力を示すべく、一齊に休業して、各都市においてデモンストレーションを行ひ、凱歌を揚げてメーデーを祝福した。爾來三十六年、全世界の勞働者は此の日を期して、階級戰への勢揃ひをなしてきた。

日本に於けるメーデーの歴史は淺い。大正九年初めてデモンストレーションを行ひ、今年を以て第八回を數ふに過ぎない。而も毎年々々官憲の暴壓に依つて散々に蹂躙されつゝある。

メーデーの意義

メーデーは、常に資本家の虐殺的搾取に苦しめられつゝある勞働者の祭日である。而して勞働者が資本の國際的團結に對する、勞働者の國際的總動員を以て階級戰へ驀進する勢揃ひの日である。萬國の勞働者は此の日を期して資本の××へ階級鬪爭の××を宣言するの日である。全世界のブルジョアジーは此の日を前にして戰慄し、全世界の勞働者は此の日を前にして其の隆々たる鐵腕を鳴らしてゐる。街頭に於ける勞働者の喊聲は、資本の根幹を搖がすであらう。此の日こそは、默々たる勞働者が、資本の搾取に對する積極的鬪爭宣言の日だ。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國際的勞働者の團結力の如何に偉大なものであるかを知らしむべく、より勇敢なる示威的行動と、より抗爭的たる積極的態度を以て吾等の日、メーデーを祝福しなければならぬ。

メーデーに參加せよ

勞働者の祭日である此の日は、あらゆる産業部門にある勞働者の國際的總動員日であらねばならぬ。組織勞働者の掲ぐるメーデー旗の下に、一切の勞働者を參集せしめなければならぬ。今や勞働者の國際的團結を以て資本の牙城へ肉迫しなければならぬ。此の日一日、あらゆる産業に從へる勞働者はハンマーを捨て、鶴嘴を捨て、鋼鐵を捨てゝメーデー旗の下へ參集せよ！資本の暴虐に抗爭すべく工場を捨て、田園を離れ、街頭に出てメーデーに參加せよ！此の日一日、如何なる仕事をもしてはならない。資本主義滅亡の弔鐘を打ち鳴らすべく彼等の牙城へ突撃せよ！勞働者の國際的團結の前には、恐るべき何者もない。メーデー旗の靡く所何者も近寄せるな。萬國の勞働者は資本の鐵鎖を斷ち切り、最後の勝利を獲得すべく街頭に出て、我等の旗、メーデー旗の下へ集れ！勞働者はメーデーに參加せよ。

メーデーの前に資本主義を倒滅せよ

春風駘蕩、碧天の下に我等の旗、メーデー旗は飜へろ。我等の勢揃日メーデーの前に敵資本主義を倒滅せよ。我等の祝祭日メーデーをして意義あらしめよ。此の日、萬國の勞働者は、敵資本主義を×××の××××××××ならぬ。勞働者の使命たる[illegible]としてのメーデーをして最も意義あらしめよ。世界の隅々にまで我々の叫びを傳へ、勞働階級の完全なる國際的共同戰線へ進出し、資本主義を一擧に××××××マルクスの『萬國の勞働者團結せよ』の語を實現して進むべきだ。異郷にある勞働者の叫びを、直ちに日本へ反響せしむべきだ。日本の勞働者の喊聲をも世界隅々の勞働者の耳へ反響せしめねばならぬ。全世界の資本家をしてメーデーの前に驚愕せしめずんば止まない氣慨を以て此のメーデーのデモンストレーションを擧行しなければならぬ。××××××××××。×××燃ゆる××××押し立てゝ勇敢に彼等の牙城をつくべきである。メーデーをして資本家の一大厄日たらしめよ。メーデーをして資本主義××××××たらしめよ。我等の旗、××をして××××××。勞働者は此の日を記念すべく、一切の勞働を休止し、メーデーを祝福せよ！

所謂左翼の概念（一）

石川準十郎

一

今日日本無産階級運動は所謂「左翼」「右翼」「中間」に分れたと言ふことになり、「左翼」「右翼」「中間」なる言葉は殆んど一般的通用語となつた觀がある。だがそれは一體どこから見た左であり、右であり、中であるのか？ 若しそれ所謂資本主義と無政府主義とを二つの府極にあるものと觀念し、無政府主義を以つて何か最も「進んだ思想」乃至最も「過激なもの」の如く考へ、かうした觀念から今日の所謂共産主義派を以つて比較的左とし、所謂現實主義派を以つて比較的右とし、その屬せざるものを以つて中間とするならば、それは低能的概念である。

資本主義と無政府主義とは所謂個人自由主義乃至分散主義を基調として居る點に於て共通して居るものであると共に所謂社會主義（今日の所謂共産主義をも含めて）と所謂國家主義とは集中主義を基調として居る點に於て共通して居るものである。科學的に嚴密に言つて、決してそれは對極的に觀念されるものではない。この樣な見方乃至言ひ表し方は――敢へてお念佛マルキシスト諸君の神聖犯すべからざるマルクス及び「マルクスを一つの聖典の如く取扱いて居た」エンゲルス及びディーツゲンの言ひ方を以つてするならば――「頗る便宜なものではあるが、決して事物の本質を表はすものではない。」のだ。

斯く言つたならば人或は言ふであらう。左、右、中間と云ふ言ひ表はしは、無産階級的度合を示すものであると。即ち、左はより無産階級的であり、右はより非無産階級的であると。だが私は言ふ。たわけたこと申すな。誰が一體そんなことに定めたのだ？ 何れが眞に無産階級的であり、何れがより無産階級的であるかは、主として全く今後の理論的實踐的立證に掛つて居るものだ。それはこれから來たさる可き結論である。假構の結論を以つて前提とすることは出來ない。我々は、その正しと信ずる所の見解を異にすればこそ、立場を異にして爭ふではないか。今日日本無産階級運動内部の俗論となつて居

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る所の所謂コンムユニズムの信奉者諸君乃至そのファン諸君からすれば、共産黨（勞農黨、評議會も含めて）がより、若しくは唯一眞に無産階級的なものであらうが、私から見れば今日の所謂日本共産主義運動なるものこそが、ペティ・ブルジョア的乃至現代的悧巧なインテリゲンチャ的觀念の現はれであり、實踐塗炭の生活苦の中にある、眞の日本無産階級とは關係のないものである。それは本來所謂「モダン・ボーイ」や「モダン・ガール」に相應しいものであり、福本和夫や關鑑子（性的インタナショナリストの樣に新聞に出て居た樣に記憶するが）に相應しいものである。

之を要するに、左だとか右だとかと言ふ言ひ表はしは、決して今日の分立諸勢力の本領を示すものではなく、嚴密にはそれは便宜上の意味しか有しないものである。所謂右翼は右翼と言はれて結構であらう。だが言ふ者も言はれる者も、一應は篤と事の意味を反省して見るが宜からう。

二

然らば先づ、今日の所謂左翼は何を以つてその特質とするのであるか

此處に左翼と云ふ時の左翼はアナキストを含まないことは勿論である。一體今日社會を改造せんとする（多かれ少かれ）主義は、社會政策（進歩的資本主義とも云ふ）と社會主義とに大分される。而して社會主義は更に無政府主義と社會主義（狹義に於ける）とに分たれる。而して我々の問題として居る所の左翼右翼、中間なるものは、共に無政府主義と區別されたる意味に於ての社會主義に屬するのである。

賀川豐彥氏に依ると、所謂左翼即ち共産主義者とは、「第一、無産者專制を主張する」ものであり（因に、無産者專制でなくて無産者專制の名に依る共産黨内部少數者の專制を主張するものであらう）、「第二に言論の自由を暴力に依つて拘束する」ものであり（因に、言論の自由を暴力に依つて拘束するものは何も共産主義に限つたことではあるまい。苟も權力を認める社會主義たる以上は、社會に有害と認める限り、當然暴力を以つて言論の自由を拘束しなければならない）、「第三に少數者の意見を重んじない」ものであり（因に、共産主義でなくても多數者のための政治を本位とする以上は當然少數者の意見を重んずる譯には行くまい）、「第四に議會政策を認めない」ものである（因に所謂議會利用策は議會政策と言ひ得ないか）。而してこれも一つの言ひ表はしではあらう。だがそれは、今日の所謂左翼の左翼たる所以、共産黨の共産黨たる所以を、總括的によく言ひ表はして居るものでなからう。今日に於ける日本の共産主義運動の特質乃至本質は何處にあるか？ それは如何に觀念さるべきであるか？

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

私は、それは次の如く觀念さるべきものであると考へる。即ちそれは先づ、第一に理論上、正教マルキシズムを奉ずるものであり、第二に實際運動上ロシヤ國家の援助（指令をも含めて）を受けて居るものであると。

共產主義派の諸君は、よく自分達以外の者に對して「墮落だ」とか「協調的」だとか「反動」だとか「日和見」だとかと云ふ特質を押し付けるが、敢へてそう云ふ言ひ方をするならば、私も尙共產黨の第三の本質乃至特質として附け加ふ可きものがある。それは、今日の共產主義運動少くとも日本の共產主義運動なるものは、民衆を踏臺にして新たなる支配階級を志す所の一群のお悧巧にして狡猾陰險辛辣なる知識人の共通意志の上に立つて居るものである、と云ふことである。

今日左翼即ち共產黨と總稱される所のものが、ロシヤ國家からその運動資金を仰いで居ると云ふことは、公然の秘密とされて居る所である。それが年に二十萬圓であるか三十萬圓であるか、而してそれが如何に使はれて居るかは、我々の知る所ではない。又日本の無產階級解放運動のためにロシヤ國家から金を貰ふことが宜いか惡いかと云ふことも、此處には別問題である。只此處に問題とする所は、今日の所謂左翼はその特色としてその背後にロシヤ國家を背負つて居ると云ふこと、そしてその點に於て殆んど無盡藏の運動資金力を有すると云ふことである。これが彼等の特色乃至特質の一つなのである。最近都下新聞の傳ふる所に依れば、評議會の東京北郊の二支部が聲明書を發して評議會を脫退した。その理由書に依ると評議會の幹部は「出所不明の黃金を撒化し」、「月給三十圓」のものが「王者の如き奢侈な生活」をして居り、その指導は「危險なる小兒病的指導」であるさうだ。

次に、私は先に今日の共產主義運動なるものは、先づ第一に理論上、正教マルキシズムを奉ずるものであると言つたが、その正教マルキシズムとは如何なる意味のものであるか。私は何が故に正統マルキシズムと言はないで敢へて正教マルキシズムと言ふのであるか？

それには先づ今日所謂共產主義運動が、特に他から區別されて共產主義と稱されるに至つた由來、否特に自ら他と區別して共產主義と稱するに至つた由來、並びにそのマルキシズムとの關係を一應顧みる必要がある。

一體コンムユニズム即ち共產主義と言ふ言葉は歷史的にその使用上種々の變遷を經て來て居り、從來必ずしも一定した意味に用ひられて來て居ない。今日經濟學では一般に、生產財の共有のみを主張するものを社會主義若しくは集產主義と言ひそれに對して生產財のみならず消費財の共有までも主張するものを稱して共產主義と呼んで居り、而してこの意味に於ては共產主義は今日無政府主義のみが（少く共第一次的には）採るものとされる。だが我々が此處に問題として

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

居る所の、而して今日特に問題とされて居る所の共産主義なるものはそれとも異る觀點より來れるものである。

三

始めマルクス―エンゲルスは自分達の社會主義を自分達以前の社會主義（主としてオーエン、サンシモン、フーリエ等の）と區別して自ら共産主義と稱した。（尤も、これより先既に共産主義と稱されるものが存在して居り、最も幼稚單純なる社會主義、即ちオーエンやサシシモンやフーリエのそれよりも幼稚單純なるトーマス・モーアのそれの如きを意味して居た。）然るにその後マルクス―エンゲルス以前の社會主義は殆んど消滅し、敢へて區別立てするの必要がなくなつたので、マルキシズム自らも社會主義と稱し、又一般にもさう稱せられるに至つた。而して歐洲戰爭前までは、マルクス―エンゲルスの最高弟であり、遺言執行者たるカウツキーの理論的に代表するドイツ社會民主主義が正統マルキシズムとして自他共に許し、一般に又それで通つて來た。然るにたま／＼歐洲戰爭が勃發し、社會民主黨が戰爭に賛成したことからして、レーニン一派は社會民主主義を以つてマルキシズムの僞造せるもの、骨拔きにせるものなりとして攻撃し初め、自らを稱して眞にマルキシズムの衣鉢を傳ふるものなりとした。これが即ちボルシエビズムであつて、このボルシエビズムは一九一七年のロシヤ革命の成功、一九一八年のドイツ革命に於けるごた／＼等と相俟つて、一時、全世界の所謂社會主義者を風靡し、モスコー禮讃の聲はアムステルダムに本部を置く第二インタナショナルに對する、モスコーに本部を置く第三インタナショナルの結成となつた。而してこのモスコー、インタナショナル大會は、彼等が從來の俗惡化されたる社會主義と絶縁し、眞正マルキシズムに復歸し社會民主主義流の僞造化されたるマルキシズムと自らを區別せんが爲にマルクス―エンゲルスの最初用ひた共産主義なる名稱に復歸することを宣言したのであつた。即ち復歸コンムユニズムなのである。

然らばこの兩者の差異點は何處にあつたか？即ち復歸コンムユニストが昔の名稱コンムユニズムに復歸せねばならぬと稱する所以のものは何處にあつたか？而して今日第三インタナショナルの雨後の竹の子の如く輩出されつゝあるマルキシスト連が、敢へて「マルキシズムを復興する」と稱する所の所以は那邊に在るのであるか？私は以號に於て（或は次號以下に於て）この點を明らかにし、更に進んでそれと本來のマルキシズムとの關係――果してそれは彼等の稱するが如く唯一無二の正統マルキシズムであるかどうか――を明らかにし、以つて今日の所謂左翼なるものゝ概念を一般に明らかにするに資する所ありたいと思ふ。それは所謂左翼の共産主義運動――正統マルキシズム運動――を超克して進まなければならない今後の無産階級運動のために、先づ必要な一前提事である。（未完）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

理論闘爭の抽象的遊離

―無產運動途上の一つの危險―

本莊可宗

一

唯物辯證法といふのは飽くまでもの、(現象)を具體的、關係的、變化的、歷史的に把握してゆく路でありますから、之れは社會の現實性と乖離しては意義を爲しません。從てその國の特殊事情に應じて、戰術的に政策的に自由自在に變豹して、(レーニン、唯物辯證法)その(唯物辯證的方法の精神であるところの)變革的行動的意志的思惟を徹底させなければならないのであります。社會現象を具體的に歷史的に把握するとは總て社會變革的の實行的意志の實現化に外ならないからであります。

若し夫れ、唯物辯證法がたゞ單なる理論のための理論闘爭の用具になるならば、それは「唯物辯證法」の精神を遠くに逸法して了つて、唯物辯證法といふ一つの觀念論的思辨の遊戯に陥ちたと言はなければなりません。勿論、理論闘爭といふものは、無產階級イデオロギイの本質を徹底的に闡明するの爲めに必要な一つの闘爭過程ではあります。であるから之れが無產階級運動の本質を宣揚して、(大同團結して有產階級的政治への抗拮の爲めに)一つの意志に集結する爲めの過程でなければなりません。この理論闘爭といふ一つの過程の內に含まれてゐる內在的意圖を忘却するならば、理論闘爭は、無產運動を生かし、生長してゆく爲めの道程ではなくして、反つて之れを殺し、之れを混亂せしめるものになり終へるのです。

二

私は、諸君と共に、理論闘爭が避くべからざる過程であつて、そのお影で吾々無產階級が一層にその觀念的基底を、目的內容を明確に把持してゆくことが出來てゆくのであることを承認したく思つてゐます。私達はそれによつて一層に深い變化した意識と覺悟とに立つことが出來るのを信じてゐます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ところで、その有難い筈の理論が、反つて行動的意志の透徹を邪魔するのは何ういふところから起きてくるのでせうか。

それはものを考へるのに抽象的、觀念的、非論理的になつて、唯物辯證法の本來の精神であるところの、具體的、現實的、社會的生活的である確實な把捉をしなくなるところから起きてくるのです。即ち一つの論理體系を相手にして（一つの社會的現實を相手にせずに）新しい論理體系が生れるときには爾うなるのです。現前に横はる一切の現實的具體を、一つの無産階級的意志で把へ來り、之れを解剖分折し、意志で思惟してゆくことから離れてゆくからです。知識で思惟してゆき、一つの論理を相手にして考へてゆくと、如何なる場合でも例へ之れが唯物辯證法の名を以てするにしても、之れは決して唯物辯證法ではなくして、一つの觀念論に墮ちてゐるのであります。一つの、オロギイ（學問）の興味に陷ちてゐるのであります。

知的抽象的な觀念論的態度で、「理論」の追求をやつては理論闘爭は死にます。それは飽くまで（唯物辯證法の精神が持つところの）行動的具體的な意志で、考へられたものでなければなりません。變革的な意志で現象を把捉し片附けてゆくのでなければなりません。理論闘爭とはその意志的思惟の淨化と、整理との爲めに行はれて、始めて無産階級的意義を有してくるものであります。

意志で考へる。意志で把捉し消化する。行動的具體的認識とは之れに外なりません。

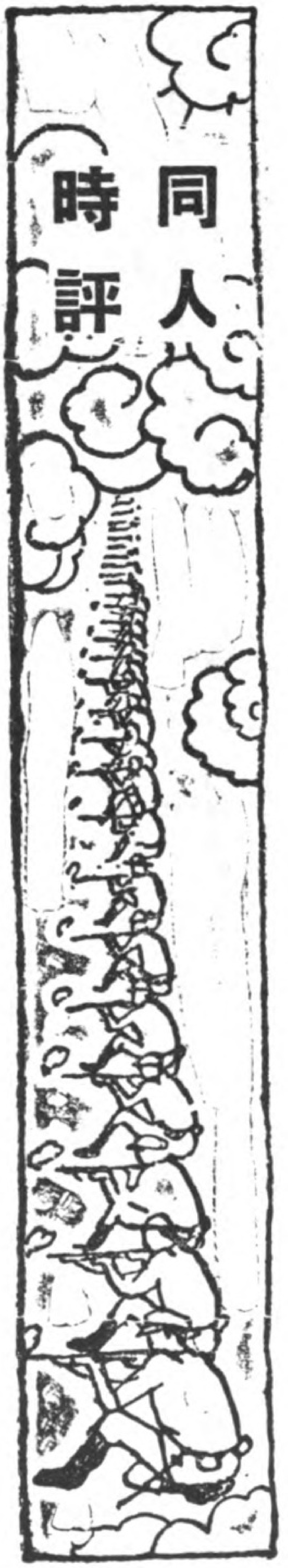
三

理論闘爭は、――福本君に感謝せねばならない――多くの中間的觀念の爽唯物を芟除する仕事をしてくれました。併しまた唯物史觀や、經濟的見地は一の（闘爭としては）無用に近い位の無駄も少し殘したやうに思はれます。それは闘爭といふよりか友誼的補正位で宜かつたらうやうに思はれます。

レーニンはプレハノフやボグダノフを難じました。併しそれは大衆的行動の邪魔にならない位に濟んだやうに考へられます。私は願はくは理論闘爭の理論の爲めに、――意志と生活とを離れて――社會と現實とから遊離した理論の徹底へ（といふやうな虚構的幻影）に惑溺せずに、飽くまで唯物辯證法といふ一つの方法が内包してゐる精神（具體的、變化的、歷史的、關係的に見てゆく精神）に遵つて、一般無産大衆は社會改變的意志の精洗をするやうに希望する者であります。

理論闘爭が、社會的現實から遊離して、それ自身ひとりでに發展してゆく墮落に今日、無産大衆が面逢してゐる危期のやうに思へます。無産大衆にとつて「プロレタリア啓蒙」以上の理論は珍糞カンプンで、大衆からは邪道―知識階級的閑葛藤―ではないでせうか。（四、八）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



南京事件

南京事件は一大センセーションを惹起した。吾々はいづれの場合に於いても味方を賞讃するものではない。今日の暴行、掠奪は勿論、北伐軍の幹部の命によつて行れたものではなく、單なる暴民の行動であつたが、しかし北伐軍の面目の爲めに、その成功を祈る上からして、悲しまざるを得ない出來事であつた。しかし、戰爭の如き非常時に於いては、人心も極度に狂的になつてくるのは止むを得ない事である。この事は、日淸日露の戰爭において我が國の軍隊が經驗してゐるところであらう。

殊に最近の支那にあつては、何十年來鬱積してゐた資本主義列强國に對する怨恨かほとばしり出でた結果であつて寧ろ吾人はその輕微なりしを幸なりとする者である。

吾人は數回支那に遊んで、支那人が奴隷の如くあつかはれ、例へば其の婢僕を使ふ時は鐵拳をもつてし、工場に於いては鞭をもつて勞役を强制し、商人から物を奪ふなど、强國の面をかざして無理無體な行動をしつゝある狀態を目擊し、弱小國民の悲しむべき事にひそかに暗淚にむせんだ事幾度ぞ。

日本人たる者、七十年の昔に歸つて、未だ我が國權の伸長せられざりし時を回顧せよ、かの生麥事件は如何。これ外國が兵力をもつて日本を威赫せしを憤つた勢の結果ではなかりしや。

國際的差別の結果はかくの如き悲劇を生む、史上に於いてもその例、乏しとせない。

我が社同人にして北伐軍前敵司令部附きのM氏に書を寄せて曰く、南京事件はロシヤ派が蔣介石派の功をねたみ彼を陷入れんとしてなせりと。もし、ロシヤ派がかくの如き陰謀を企てし事實ありとせば、飽くまで彼を內敵として葬

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

らざるべからず。かつて我が社もロシヤ帝國主義一派の爲めに、官憲に密告され投獄された同志あり。いやしくも、大衆の先驅者をもつて任づべき社會主義者の、爲すべからざる卑怯なる行動ではないか。同志を陷入れ、友を賣り、功を盜まんとするは、資本主義的精神に近づくものにあらずや、と。

政友會の黨首公選論

既成政黨に確たる黨員のない事は吾々の喋々を要しない所である。よし、黨員ありと稱するともその黨員たりや、黄金の力にて動いて來たる者であつて、一朝黄金の力他黨に比して劣る事ありとせんか、たゞちに雲散霧消して行く性質のものである。之に反して、新興無產政黨は一般大衆の間に確固たる黨員を有し、その黨員たりや亦强き信念の下に結合せる者であり、更に黨員は既成政黨と異り自ら黨費を負擔する。こゝに無產政黨の强味があり、亦それだけの苦惱もある譯である。

既成政黨は黄金の力によつて自らを維持するものであるから、選擧及び常時においても、彼の縣會議員より國會議員、進んで一黨の首領の黄金を要する事莫大なるものである。されば彼等の間に種々なる不正手段の行はれる事は當然であつた。或ひは侵略主義を利用し、或ひは政商と結託する。既成政黨の首領となる爲めには不正なる黄金を授受するの手段に優れ、奸智に長じてゐなければならない。その技に長ぜざる輩は直ちに葬り去られるのである。

こゝに殊勝にも黨首公選の主張を掲げる者に政友會がある。それは政界の廓淸を期する者であるといふ。然らば如何なる方法にて公選せんとするかと云へばたゞちに疑問湧かざるを得ない。何故なら既成政黨には臨時雇ひはあつても黨員なる者なければなり。强いて黨員ありとせば縣會議員級ぐらひの所ならん。もし、かゝるを黨員なりとして公選せしめんとしても結果は現在と同一なるべし。何故なればその黨員なる者は一選擧區においては選出代議士の取卷き連中に過ぎざればなり。今更殊勝らしく云ふに及ばず。不正なる黄金を授受するの智に長じたるもののみ黨首の適任者なれば、公選制になすとも結果において同一、亦その事實を離れて公選せんとせば既成政黨の本質に副はざるべし。

反之、無產黨の黨首は公選するの可能あり。亦爲さゞるべからず。無產黨にあつては、黨費は黨員全般の負擔する所であれば、黨首の人物の詮衡方法も既成政黨と異らざるを得ないのである。

之れを要するに、既成ブルジョア政黨と、プロレタリアの政黨が、其の黨首の詮衡に於いて、如何に甚だしき相違を有してゐるかと云ふ事を物語るものでなければならぬ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

北伐軍の內紛

何事を爲すに當つても、事業半にして內紛ある時は、著しく志氣を阻失し所期の目的を達する事能はざるに至る事がある。新聞紙の報ずる如きを眞なりとせば正に支那北伐軍の危險迫れりと云はねばならぬ。一朝この孕まれたる危險爆發せんか、幾多の人命を失ひ犧牲を忍びて、一途に支那の爲めに戰ひ來つた北伐軍の運命は風前の燈の如き狀態となり、民志空しく破れねばならぬ。さあらずとも、事あれかしと祈りつゝある各國資本主義の爪牙は再び支那を不幸に陷入らしめずにはおかないであらう。此を思ひ、彼を思へば支那革命軍の兩派は今は內紛の時代にあらざる事を考へるであらう。よし兩派に見解の相異はありとしても恐らく帝國主義と握手せんとするが如き分子はあり得ないであらう。支那革命軍の任務は民族運動であり、社會主義運動である。思ふに兩派の見解の相異は後者の實現に關するものであらう。されば、支那の時局の安定する迄は、兩者提携の可能性がある。何故ならば社會主義的實現は、支那にあつては民族的安定あつてのみ初めて可能なり得るであらうから。民族的解放とは各國帝國主義を打破する事である。今はこの敵に當るべき時であり、亦それが最も重大なる時期でもある。支那革命軍は先づ民族運動として進め。

それが支那に光をもたらす最初の一段であるからだ。現在北伐軍內にある思想上の爭ひは、即ち建設思想の問題である。しかし、その問題を問題とする事は、たゞに時宜に適せざるのみならず、一歩進んで分裂の恐怖を實現するものではないか。かゝる爭ひは早晩くるべきものではあらうが、今はその時期ではないと主張する者である。現在の支那革命軍は民族運動であつて、それ以外に出で、社會主義的建設に關する爭ひをする事は、反つて社會主義を亡ほす結果となる。革命軍の一の任務である民族運動の成功は二の使命である社會主義に成功する事である。現在に於いて、二の問題に狂奔する事は二を亡ほし、一も亡ほす事である。一に成功した後において、二の問題に爭ふ事は極めて順序正しき自然であつて、健實なる支那はその爭ひの中から生れ出づるであらう。

戴天仇去る

戴天仇來つて一月餘。彼は何を爲せしや。そもそも何の爲めに來たりしや。

日本の大官と反動主義者と會はんが爲めに來たりしや。果して日本の朝野を擧げてこれを歡迎した。彼は北伐軍の代表にあらずしてたゞこれを讚稱せるに過ぎないのである。こゝに奇怪なるは、彼が日本の紡績業者から、上海陷

落の際は罷工をなさずと稱して二百五十萬圓を握つた事であつた。かくの如きは多少の誤傳ならんも煙のある所必ず火あり。彼が反動主義者を秘書とした事實無しとせず。

大阪に於ける紡績業者の集合において講演したる所を見ると、彼にこの野心のあつた事がうかゞはれる。彼は昔日本大學商科に學び支那語よりも日本語の方がうまくなつた。歸國して孫文の秘書となつたのは彼が日本語に巧みなる爲めであつた。孫文在世中十數年つひに秘書以上に出でず、第二第三革命に於いて同志を裏切り、ブローカー的行爲多く、今尙國民黨內に於いて勢力無く冷飯食ひに過ぎないのである。この點日本の紡績業者安心して可なりだ。

日本の無產階級中にも、彼を誇大に考へてゐた者もあつたが、彼の正體や正にかくの如しである。吾人は數回支那に遊んで、彼の人格識見を知り拔き、且つ彼の身邊にある一同志よりの通信によつて彼の行動が北伐軍の精神とやゝもすれば離れんとしつゝあるを知つてゐる。吾人は戴天仇をもつて、偉大なる北伐軍の代表と尊敬しつゝあるが如き日本國民に向つて、彼が決して北伐軍の眞の代表者にあらざる事を報づる。

清瀬毆打事件

五十二議會正に終らんとする頃清瀬代議士が散々になぐりつけられた一場の亂闘騷ぎがあつた。政友會の代議士に云はしむれば、清瀬をなぐりつけたのは赤誠の發露の然らしむる所であつて、如何ともする能はざりしと云ふ。然るに政友會の赤誠や、反つて一般國民の嫌惡するところとなり、同情は一人清瀬のみ獨占する形となつたのは、政友會の爲めにおしまざるを得ない。彼等の云ふ赤誠とは、實に彼等の非を蔽はんとする行動に過ぎぬ。

清瀬代議士の爲したる演說の要旨は、即ち問題の金塊事件とは、我が陸軍のサガレン出兵當時大正七年九月十六日及び十月五日アレキセフスクにて占領せる金塊三十萬圓內外を、ひそかに私せる者あるらしきとの疑ひより進んで、大井成元麾下の者が保管し我が國に輸送した所の、カルムイコウ將軍がハバロウスク國立銀行より押收した市價百六萬圓の金塊を、大正十二年三月カルムイコウ將軍の委任狀を有する者から金塊の返却を求められた時、當時の陸相山梨半造は市價十四萬圓位の金塊を交附し、殘部の百萬圓が何處にあるやを公にせざりし事實を摘發し、次いで機密費事件に及んで二千六百萬圓中千七百萬圓が田中義一の陸相たりし時代において、その使途が極めて疑はしい點ありとしてそれを解剖せんとしたのであつた。

清瀬の言論が、誤謬に滿ちるものであるなら、何故に理をもつて說服せしめぬであらうか。議會は言論の府であつて、スペインの闘牛場ではない。理をもつて應酬せずして、暴力をもつて應酬せんとする事それ自身すでに自ら內部に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

やましき點を有してゐる證據であるまいか。軍機の秘密を漏洩すると云ふ。軍隊は國民の軍隊であつて、一部軍閥の奴隷ではない。國民の膏血よりなる軍事費の、使途極めて怪しきと爲す瀨氏の演説に國民の同情をひいたるは何等故なき事ではない。況んや、既成政黨と出所不明の怪しげなる黄金とは密接不可離の關係にあり、殊に政友會の黨首と黄金との風説が轟々たる物議をかもしつゝある時においてをや。砂田某は清瀨は赤化思想の持主なりと云ふ。一般國民はすでに目覺めつゝあり。何處までも腐敗せる既成政黨に信頼する者にあらず。否單に既成政黨に止まらず、資本主義社會に甚だしき嫌惡を感じつゝあり。清瀨の赤化や國民の信頼を得るに至らん。

メーデーをして意義あらしめよ

我等の日、メーデーは來た。此の日我等勞働者は一日勞働を休止して、××××なるブルジョア階級に我等の團結の威力を示さねばならぬ。日本に於ける第八回のメーデーは來た。我等は此の日の前に吾等の團結力と[illegible]、戰線に於ける×××××に依つて示さねばならぬ。

我等が榮ある×××の進軍ラッパ勇ましく、我等が唯一の誇りとする××の××を××して歩武堂々と、足音高く、資本の牙城へ肉迫しなければならぬ。

萬國の勞働者は此の日を記念すべくメーデー旗の下に參集して、彼等ブルジョア階級をして我等の××の前に戰慄せしめよ。行進の喊聲物凄く、天地を震撼せしめずんば止まざる堂々の足並を以て彼等を脅威せしめよ！

五月一日、我等の日メーデー來たる。我等は此の日を期して勞働者の國際團結へ進出するのだ。日本の勞働者も萬國の勞働者と共に、×××の[illegible]しく進軍するの日だ。資本の國際的團結の前に萬國の勞働者も國際的團結を以て共同戰線の陣を敷き、彼等と抗爭するの日だ。

我等の兄弟は、東京に於いて、大阪に於て、凱歌を揚げてゐる時は、米國の勞働者も、英國の勞働者も共に凱歌を揚げてゐるのだ。

吾等の日、メーデー、五月一日は來た。全國の勞働者は此の日をして意義あらしむべく、街頭に立つて、自らの權利を主張し、自らの勞働の誇りを天下に宣明せよ。

メーデーは來た。國際的總動員の前に全國の勞働者は團結せよ！メーデーをして意義あらしめよ！

磐城炭坑の坑夫虐殺

三月二十七日・磐城炭坑内に於ける坑夫百餘名の慘死事件が新聞に報ぜられた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

原因は警備小屋から發した火は毒瓦斯を呼んで、全坑内に充滿した爲めであると報ぜられてゐるが、茲に唯、一つ我等の默許すべからざる、坑夫を故意に惨死せしめた磐城炭坑會社の、人道を無視せる大事件がある。

それは毒瓦斯充滿して氣息奄々たる勞働者が地下何百尺の坑内より救を求めるベルを數回に亙つて鳴らした。而も此のベルの響きを目前に聞きつゝも何等救助の方法を講ぜざるのみでなく、却つて入坑者の逃るべき唯一の道たる堅坑を密閉して、遂に百餘名の勞働者を死に至らしめたる磐城炭坑會社の、殺人行爲である。

抑々地下何百尺の坑内に働ける勞働者の生命を預つてゐるものは實に地上にある番人であらねばならない。此の番人の意志の如何によつて坑内に働ける勞働者の生命は左右されるのである。然るに何ぞ。坑内よりは救を求める信號のベルは數回に亙つて鳴り響けるにも拘らず、恬然之れを看過した責任者は、當然、惨死坑夫を殺したものであると云はれても斷じて辯明の辭がないであらう。

而も茲に最も奇怪とすべきは、死坑夫の死體捜索に關する會社の態度である。坑夫の同僚は、必死となつて、而も未だ毒瓦斯消えやらず危險云はん方なき坑内へ死を以て入つて、同僚の死體を搬出しつゝあるのに對し、會社側は、積極的に之れが援助をしないと云ふ事は何處迄冷酷な者のみ揃つた會社であるかと、吾等は獨り、切齒扼腕せざるを得ないのである。

彼等にとつては勞働者の百人や二百人の命は問題視するに足らないであらう　然し吾等は、吾が兄弟の死に對しては、心から嘆かざるを得ない。しかも其の死に對して迄も尚冷酷氷の如き態度を持してゐる會社側の惨忍なる措置を憤慨せざるを得ない。全國の勞働階級は此の殺人會社、磐城炭坑を葬れ！

再び目的意識に就いて

前號に於て、文藝戰線一派の所謂「目的意識」に對して完膚なき迄に彼の無智と錯亂を剔抉して置いたが、其後彼等は、相變らず目的意識を高唱して恥ずる所がない模様であるから、再び茲に謂ふ所の「目的意識」を檢討して見る事にする。

抑々彼の目的意識論を高唱した張本人は青野季吉であるが、彼は今日迄、プロレタリア文士を以て自任し、而して文學運動を以て社會運動の一舞臺だと誤信して彼の目的意識論を執筆したのである。そして其の意識を基調とせる小說を作つて獨り悦に入つてゐるのである。又文藝戰線の山田清三郎、葉山嘉樹等の連中と共に、眞面目になつて此の原則論を振り廻してゐるのである。

勿論、社會主義作品のみに限らず、其他一切の作品には、目的意識が無ければ其の作の價値のゼロである事は確だ。

然しだ。文士如き者が社會主義を目的意識とした所で何の役立つ處がある。無産階級の實際生活と甚だしくかけ離れた文士が社會主義者がどうの、こうのと云ひ出すに至つては實に笑止、憤飯に堪へない次第である。

而かも彼の目的意識論たるや、極めて抽象的であり、恐ろしく杜撰なものであるに於て吾等は其れを讀む度に、思はず笑ひがコミ上げて來るのを知る。而して其後文藝戰線誌上に表はれた訂正文？の如きも、何れ劣らぬ下らない文士連中の弄さみである事を痛切に感じた。

要するに彼等は、自らの原稿料の高くならんが爲め、自らの名前が多く活字にならんが爲めに、威張つて發表した此の目的意識論は殆んど三文の價値もなく、寧ろ彼等の嘖々たる？名聲を下落せしめる以外の何ものでもなかつた。藝術に社會主義的要素を結び付けるとか、藝術を社會主義運動に迄進展させねばならぬとか、文戰的文藝鬪爭の意義だとかの兒戲に類するタワ言を並べて獨り喜んでゐるプチ・ブル心理の把持者よ！汝そも何處へ行かんとするか！杜撰、朦朧殆んど度すべからざる目的意識の概念論者！速に消えて無くなれ！

反福本イズムの擡頭

辯證法的唯物論を唯一の身上として、我が社會運動界を席捲しつゝある福本和夫は、爾來、凡ゆる團體、組合を乘取らんと虎視眈々たる有樣であつたが、最近漸くにして擡頭し出したアンチ福本イズム熱の爲め、早くも其の陰影を沒せんとしてゐる。彼の理論たるや、一面より見れば成程と首肯出來得るやうであるが、其の眞底を分析究明して見れば、何ぞ知らん。一片取るに足らざる捏ち上げんが爲のダンゴ理屈であらうとは！

そして社會運動をも辯證法的に發展せしめようとする彼等の戰術に對して、今や漸く全國にアンチ福本イズム熱が勃興してきた。

勿論彼等の出現は一時的の現象であつて、早晩消滅して了ふであらうと言ふことは、吾々は最初これを看破してゐた所である。今その現れが、目前の事實となつてきつゝあるのは、亦、當然の事であると思はれる。

農民の進出

今月全國各府縣に於ける町村農會の役員選擧が行はれた農會は、農民の副利増進を計り、農業の改良と共れが發達を期することを以て目的としてゐる。然るに今日迄の農會の成しつゝあつた事を省るに、一部の地主階級の利益を保護し、それが利益の積極的援助をするが如きことのみをなして來てゐる。勿論幾何かの例外はあるとしても大體

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に於て、全國各町村を通じて、農會は地主の機關となり、小作人が何等これに關心する所がなかつたのである。會の役員は凡て地主を以て充たされ、殆んど小作人には何の關係もないものゝ如くであつた。

然るに本年の選擧に於ては——目下の處では確乎たる統計は取れないが——新聞に報ずる所に依ると、小作人が之れに參與し、進んで自らの利益增進の爲めに、努めるべく役員となつたものが多數あると云ふ事である。

例へば新潟縣、山口縣の如き役員の三分の一以上は小作農民を以て占められてゐるが如き、無產農民の一意を强ふして可なる成績を示してゐる。其他の府縣町村に於ても、何れ、此れと大差ない程度の役員を小作人側から出し得たであらう事は信じて疑はない所である。

今日迄、小作人が此の農會を閑却して地主のみに任せて置いた事に對して地方の社會運動家は、極力之れを利用する樣奬勵した事は、今日漸にして實現された譯である。

此の新らしき現象は、最近の農民運動の進展と、無產政黨運動の展開とが、農民に與へた影響の具現化に外ならない。即ち今日迄、地主階級に服從することを美德とし、反逆することを村の平和を亂すものとして排斥してゐた農民は、今や新らしき社會現象に當面して、猛然、起つたことの反映でなければならない。

地主階級のみに利用され、小作農民を度外視してゐた農會の職分に初めて目覺めた小作人が、自らの利益の保護、獲得に向つて積極的進出を敢えてした事の、而して鬪爭へ進出しつゝある事の直接反映であると見ても斷じて誤りではない。

全國の農民は、農會を自らの階級の利益保護機關とせよ、農會より地主を放逐せよ、農會をして社會進化の途上に於ける吾等の陣營たらしめよ。

白熱化す郵船爭議

郵船司厨部員の爭議は今や白熱化し、爭議團員の結束、强固斷じて彼等に屈せざる威力を示しつゝあるのは、勞働階級の共に等しく喜びとせざるを得ない所である。

横暴なる郵船會社は、今尚要求を容れそうもなく、密かに裏切り的行爲を奬勵して一日も早く船を海外へ出帆せしめん事を焦つてゐるが、爭議團員の强固なる結束力の前には一溜りもなく、跳ね返されつゝある。

總同盟の鈴木文治氏はゼネバの勞働會議へ赴くべく、乘船した事は、除り感心した事ではないが、然し、勞働會議へ出席して勞働者の權利を主張する爲めに行くのであるから、必ずしも其れを非なりとして責めるべきでもない。要は一、二の船の動く事ではなく、萬國の勞働者の共通利害を考慮して、此の爭議をして意義あらしめなければならないのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

研究

高畠氏に質す

向軍治

前號にも既に陳べて置いた通り予は本年一月三十日の東京日々新聞第三面に「譯本第一卷二七一頁から三七八頁の處は毎頁皆違つてゐます。また六七九頁、六八三頁と手當り次第に開いて見ると皆間違つてゐます」と明瞭に誤譯の箇處を指摘して置いたのである。高畠氏は其の返事として二月五日の同新聞に

「小生もと／＼これを完全なものとしては吹聽してゐない。誤譯や不充分な處や拙劣な點もあるといふ事は小生自身くどいほど公言してゐるところで、誤譯があれば何時でも改める。いづれ向氏もア、いはれたからは立入つて誤植の點を指摘して下さることと思ふが、それが確められゝば喜んで御示に從ふつもりです。若しまたそれが單なる漫罵に過ぎなかつたとすれば、タダでは濟まされない」云々

と謂つて居られる。此高畠氏の言に答へる前に高畠氏に尋ねて見たい。

（一）「誤譯があれば」と云ふ日本語は誤譯が有るか無いか判然しない時に用ゐる言葉である。「何頁から何頁迄、毎頁違つてゐる。何々頁と手當り次第開いて見ると皆違つてゐる」と明言した後に高畠氏が此言葉を用ゐて居るのを見ると高畠氏には予が指摘したペイチの譯が何處が間違つてゐるか判然しないのであらう。ウッカリ誤譯すると云ふ事は誰にでもある。予も善くやる。研究した上で誤譯だか誤譯でないか判然しないとすると中學生以下だ。讀者は常に讀むに當つて筆者の心理狀態を推測しつゝ讀まなくては本當に本が讀めるものではない。高畠氏の心理を解剖すると、「小生自身くどいほど公言してゐる」と如何にも晴な度胸を示してゐる後に「誤譯があれば」はマサカ負惜の言葉ではあるまい。予がペイチも何も指摘しないで「漫然」誤譯があると謂つたのなら、「誤譯

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

はない積りだ然し誤譯があれば何時でも改める」が聞こえてゐる。何頁と判然指摘した上で「誤譯があれば」は態々エラ相に體裁を繕つた卑屈の言葉でなければ昂然と意張つた「誤譯がある」と謂ふなら指摘して見ろ、眼に物見せて呉れるから」と力んだ言葉でなければならない。高畠氏の確答が聽きたい。前の方か後の方か。書物の本當に讀める人なら指してある頁を一寸啓いて見さへすれば其誤譯が直に分明になる筈だ。から「誤譯があれば」と云ふ不得要領の言葉を遣へる理由がない。

（二）「立入つて誤植の點を指摘して下さることゝ思ふ」とは一體何の意だ。予は高畠氏の校正掛ではない。「誤植」の二字は新聞社で誤植したのか、高畠氏の原稿に此二字が確に用ゐてあつたのか伺いたい。此處は心理的に解剖すると、世人の愚昧なのに乘じて、一向の指摘して居るるのは誤植の指摘に過ぎない」と豪語する目的があつての事か新聞社の誤植かに違ない。何らだ。或は「あれは誤植であつた」と言拔する前觸とも讀める。マサカそんな卑しい根性でもあるまい。「誤植」と云ふ言拔が出來ない様に指摘して御眼に懸ける。

（三）何ペイヂと指した後に「それが單なる漫罵に過ぎなかつたとすれば、タダではすまされない」とは何たる暴言だらう。「漫罵」だか「漫罵」でないか自分で指摘してあるペイヂを開いて見たらよいではないか。

（四）本年　月三十日の予の投書には「殊にその誤譯が英譯の受賣であることも判明してゐます」の次に「併し英譯の正しい處も高畠譯には間違つたのがあります」と云ふ文句が挿まつてゐたのであるが、餘り長くなるから、新聞社でそれを略したのである。其種類の誤譯は高畠氏が英語も獨逸語も讀めない人と云ふことの確證である。

以上で擱筆すると高畠氏が漫罵と謂ふに違ないから、面倒ではあるが、稲川君の場合と同じ様に、例を掲げて漫罵でない事を證明して見せる。併し其前に一寸反問して見たい事がある。高畠氏譯第一五ペイヂ（前の四頁は表紙であるから、本來此頁が開卷第一の頁である）に高畠氏が原文の意味を眞實了解してゐるのでないと思はれる個處がある併し是れは口頭で聽糺さなければ言拔の出來る文句であるから其分は擧げて言はない事にする。第六頁即ち第二頁目に丸で意味の取れてゐない個處がある。第七頁即ち第三頁目には許すべからざる誤譯がある。全く中學程度である。右第六頁と第七頁との誤譯が何處に在るか高畠氏に質問して見たい。本當に本が讀めるのなら「成程あれは誤譯であつた。斯の如く訂正する」と訂正文を公表して貰ひたい。其誤譯が發見が出來ない、即ち自身が了解し得たのか了解し得ないのかが自分で判斷が出來ないと云ふ程度であるか否かを明示にして頂きたい。

日々新聞へ投書した時は嚴密に原書と譯書とを比較して見たのではない。唯先づ書を手當り次第開いて二三行讀んで見て、此んな處は屹度間違つて居るだらうと見當を付

けて其場處の飜譯を開いて見ると、果して間違つて居たのである。高畠氏や福田君が誤譯を明示しろと迫まられたから此度開卷第一から原文及び英譯と比較して見た。矢張手當り次第開いた處が皆間違つてゐると謂つて少しも差支ない。

手當り次第開いて誤譯を發見すると云ふ事を世人は不思議に思ふかも知れない。不思議でも何でもない。先年或る文學者が飜譯出版の見本としてドストイエウスキの飜譯を一部公にしたのを一寸讀んで見て「是れは誤譯である。原文を見ないから善くは判らないが多分原文に斯々の文句の使つてあつたのを此譯の通りに誤譯したのであらう」と思ふと謂つた事がある。此事はローマ字雜誌で發表した。すると何とか云ふ文學士が「向はヒドイ事を言ふ男だ。原文も見ないで誤譯呼ばわりをすると」批難した。其んな批評をする男が書物が讀めないのである。予等は飜譯を三四行讀んで見た丈で其人の學力を直に看破することが出來る。其譯も、後に獨逸譯と較べて見たら果して原文が予の推量通りで、全く誤譯であつた。其文學士は予等に其んな眼力のあることを知らなかつたのである。其後或場處で（予の方では殆んご忘れてゐた時に）顏も名も知らなかつた文學士の方から「あれは私でした。」今更先生に對して濟まない事を謂つたと思つてゐます」と詫の言葉を聽いた事がある。其文學士は何と云ふ方であつたか、今は或官立大學教授であるが、御名前を忘れた。此話の出た時慶應の先生方から「それでは某氏の哲學書の飜譯は如何ですか」と尋ねられた事がある。「其方の飜譯は見た事がありませんから御返事が出來ません」と答へると「此處に其飜譯書があります。一寸讀んで見て下さい」と云ふ事であつた。早速其飜譯の開卷第一頁を三行程讀んで「駄目です。此人は哲學書の讀める人ではありません」と答へると慶應の先生方が眼を圓くした。「それでは何か證據が擧げられるかも知れません。其本を今一度見せて下さい」と謂つて再び手に執つて見ると原著者から譯者へ送つた手紙が卷頭に全部飜譯して掲げてあつて、其手紙の一部が寫眞版にして原文の儘載せてあつた。是れは屈强な材料と其寫眞版の原文と飜譯とを比較して見た。果して直に誤譯が發見せられて、慶應の先生方が驚いた事がある。其誤譯は獨逸語のリヒトウングと云ふ字である。原文には「此書を著すに當つて著者は種々の學派の説を參照した」と書いてあつたのである。處が其飜譯には「此書を著すに當つて著者は種々の方向の説を參照した」と譯してあつた。成程此字は中學生なら「方向」と譯す字である。哲學書に此字が用ゐてあれば、それは「方向」ではなくて「學派」の事である。福田君の「影響」とソックリ同じだ。是れは字を一字譯し損ねたのではない。哲學書を讀みこなした頭でない事の確證である。大學教授だの博士だのと云ふのが其實皆テンプラ式である事の確證でなくて何だ。

レンシングの作にミス、セラ、サムスンと云ふ劇がある。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

其の飜譯が岩波書店から出てゐる事を新聞で知つた。廣告にミス、サラ、サンプソンと出てゐた。劇の主人公の名前さへ知らないのであるから、其筋の飲込めて居ない事判り切つてゐる。此譯者は博士級ではないと思ふが、帝大が如何にボンクラの揃であるかは此一事でも善く判る。

此稿を草するに當つて始て發見した事は高畠譯が高畠氏一人の手で出來たのでない事である。多分高畠氏が自分で出來ないので他人に頼んだのであらう。其他人が間違つた譯をしたのを高畠氏が其儘自分の誤譯の中へ挿入したのである。從て誤譯が更に増加してゐるのであることを斷言して憚らない。前の質問に加へて此點も返事が聽きたい。

（四月二日稿）

× × × × × × × × ×

兩極端

日本一の富豪と借金王を生んだのは土佐である。これが新聞紙御自慢、一ツ他國への誇りだ相だ。時代に順應し掠奪し搾取蓄積を全ふした岩崎家や悪辣の限を極め、胡魔化のヘタが剝げて、一躍借金王として石井定七ソコノケの鈴木の直である。此の兩端いづれも政府が援助し否政治家を自己の思惑通り操る手並又金力も大したものだ。國家と云ふ後盾を得て打つ芝居には國民だの輿論だのてものは寸毫もない。觀覧料を拂つた觀衆には自由はないのである鼻村先は紙幣の網だ。「通過させ樣と否と君等の知つたことぢやない。」

岩崎鈴木の懐も、國家の財政も皆奴等は一鍋だ。儲けも損も相見互だ。[illegible]國家が存續する限り岩崎、鈴木家又然りだ。これが半面には慘忍な悲劇が數限り無く重なる。彼等が儲けの手段として操業短縮、工場閉鎖、銀行休業等、々。依りてプロレタリアは失業、飢死に沈淪する。思へ、我等が借金には裁判所が冷酷な眼を向けるではないか。總べて多く盜む者程現社會は寛容であり、かへつて成功者として賞揚する。小細工に對しては刑務所が酷烈に制裁を加へる。何たる皮肉な逆の世の中だ。

—（佐根生）—

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

研究

マルクスと剽窃問題

淺野研眞

一

「私の著述は、私の周圍に居る馬鹿とか悧巧とか、老人とか青年とか、男子とか女子とかの合作に成るもので、それにゲーテといふ名前を附したに過ぎない。」（ゲーテ）

× × ×

「人間は一人も孤立して生存してゐる者はない。我々の身の周圍にある日用品を見よ。一物も自分で作つたものはないではないか。更に進んで我等の知識を見よ。一物として我等が作り出したものはないのだ。我々は之を母より、父より、兄弟より、朋友より、書物より、雜誌より、遂ひには外國の著者より得たものでないものは無いのだ」

（レオン・ブルジョア）

二

剽窃問題は泥仕合である。

而かも徒らに名をなさしむるものたるに過ぎない。

尚ほ其は力の動くところに起る。玆に吾々はマルクスに關聯する剽窃問題の二三を上げやう。

三

第一に擧ぐべきは、マルクスがマルサスの「人口論」に對して放つた剽窃呼はりである。

即ちマルクスは、マルサスの著作「人口論」（一七九八年刊）を評して、單なる一個の剽窃に外ならないとしてゐる。

彼れ曰く、

「此書（人口論）は、デ・フォーや、サー・ジェームス・ステュアートや、タウンセンドや、フランクリンや、ワレースなどからの――瀟灑なことは書生論のやうな、又その修辭は坊主の説教のやうな――一個の剽窃に外ならないものであつて、一つの獨創的命題をも含んでゐない。……」（「資本論」高畠氏譯、第一卷、八一九―八二〇頁）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

要するにマルクスも、「人口論」は多くの著者からの剽竊物であることを認めてゐるのだから、それをマルサスが、一つに纏めた所の力作(?)であることには變りはない。

四

次にはマルクス自身が剽竊呼はりをされた事件である。

その第一はロードベルッスからの抗辯である。云ふまでもなく、ロードベルッスは當時の獨逸に於いて、有力なる社會思想家であつて、そして彼は、彼の新學説をマルクスが剽竊したのだと主張した。即ちマルクスの徒らに名をなしてゐるのがシヤクに觸つた譯でもあつた。

これに對しては、マルクスの死後、エンゲルスが總決算を企てゝゐる。即ち「哲學の貧困」への一八八四年の序文中に於て、次の如く述べてゐる。

「ロオドベルッスがマルクスは私の説を剽竊したものであり、且つ其の「資本論」は何等の承認なくして私の著作「我等の國の經濟狀態の認識のために」を多く利用したものだと公言したとき、マルクスは損はれた一天才の必然に嫉妬によつて説明された中傷に過ぎないものとして默殺し、且つ彼が全くプロシア以外に於つて居たこと、並に社會主義及び經濟學的文獻の著名なるものに就ては何等知る所のなかつたことを述べてゐた……の「ロオドベルッスは、その一八四二年の發見(前出著作)が、果して眞に新發見であつたか如何かを確める機會が充分あつたのだ。所が其をせずに、彼は彼の新發見を比類なきものと信じ、マルクスも亦、その結論をロードベルッス自身と同様に、單獨にリカルドオから演繹し得た筈だと云ふことに曾つて思ひ及ばないのだ。そんな筈はない。マルクスは彼を「剽竊した」のだ。——即ち此の結論が、少くとも猶ほロオドベルッスに於て見る如き粗雜な形式に於て、彼等二人よりも遙かの以前に、既に國に於て發表されてゐる(リカルドオ派社會主義文獻を指す)と云ふことを確かめ得るために凡ゆる機會を彼に提供した(主としてマルクスの「哲學の貧困」を指す)所の其の同じマルクスを彼が剽竊したのだ!」

かくエンゲルスは逆説的にロオドベルッスの剽竊呼はりの意義なきを述べ、マルクスはロオドベルッスとは全く別に直接リカルドオから演繹したものであると説き、尚ほ進んではロオドベルッスの前掲著書の不備な點や、そのユトピアン式なる論理を攻撃してゐる。

五

ロオドベルッスの右の剽竊問題は、その後餘り問題にもされぬやうであるが、茲に述べんとする「共産宣言」の剽竊問題に至つては、ことが實際運動に直接關係を持つ點からしても、時々むし返しがある。

元來、この問題は、ロシアのアナーキストたるチェルケソフによつて提起され、一時は可なりの大問題となつたも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のである。即ち彼が、その一八九六年に公刊した著作「社會主義史研究」の第十章（此の部分は延島英一氏によつて「共産黨宣言の秘本」として邦譯された）に於て、マルクス及びエンゲルスの「共産黨宣言」は之に先立つヴィクトル・コンシデランの著作「社會主義の原理、第十九世紀民主主義宣言」（一八四三年初版、一八四七年再版）の換骨奪胎たるものであり、剽窃たるに過ぎないことを剔抉糺彈したのに初まつてゐる。

而して此に對しては、相當のマルクス主義者もアナーキストの前に降參したやうな狀勢になつたが、最後にカウツキイは「ノイエ・ツアイト」の誌上に「共産宣言は剽窃なりや」なる一文を掲げて、此の問題の總決算をした。即ちカウツキーは其の一文を「共産宣言はコンシデランの學説を剽窃したどころか、却つて反對にコンシデランの「社會主義の原理」に對する反駁者たるの感がある」と結んでゐる。然し其後とても此の問題は、時々アナーキスト側から、むし返しを試みられてゐる。（尙ほ此の問題に關する殆んど唯一のまとまつた邦文文獻として、平井新氏「共産黨宣言剽窃問題」――「三田學界雜誌」大正十四年六月號――がある）。

六

ラッサールが、マルクスを剽窃したと云ふ問題は、よく知られてゐることだから、玆には多言を用ゐない。

七

之を要するに、比較的名著には、多く難くせが附加される。好事魔多しの類があつて、剽窃問題も直ちにからませられる。

然しどんな著作からでも、雜誌からでも、思想なり、事實なり、辭句なりを引き來ることは、たとひ其が如何あらうとも、善用されて、且つ體系化されてゐるのであるならば、何んの剽窃であらうか。

これ以上に於ては、剽窃問題は泥仕合である。

また忽然然起が實證し得ない所のドグマである以上、ゲーテの前引の言葉こそは、眞に味ふべきものである。

吾々は玆にも生存鬪爭と相互扶助とのアンチノミーを見る。（完）

メーデー小景

蜿々長蛇の如き行列中より、突如××歌が歌ひ出された。警戒してゐた巡査數名早くも行列中に飛込んできて、歌つた者を檢束せんとした、此の時再び行列中より歌聲揚がる。曰く、

「巡査さす樣なヒラけた親は　■イ■イ
何故に乞食をさせなんだ　■ー■ーイ　デカンシ■

檢束せんとしてゐた巡査連中「?・?・?」
恰も瞥天に一撃を喰つたが如し。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

カール・マルクス（2）

——その生涯と學説——

カハン・コーテス

六、共産同盟

ブルッセルに於て、マルクスとエンゲルスとは「義人同盟」に加入した。この「義人同盟」は、各國に於て各種の形態を有してゐたが、遂に共産同盟にまで發展して、公然たる宣傳團體となつた。一八四七年十一月、彼等はその同盟の完全な、實際的な、且つ理論的な黨の綱領を起草することを委託された。かくて出來上つたのが「共産宣言」であつた。その當時の歴史的産物として、此の宣言は未だに近世の國際的社會民主主義の根本的著作をなしてゐる。共産宣言は、古典的な形態に於て、マルクス及びエンゲルスの理論的及び實際的業績の結果を展覽してゐる。其のブルジヨア社會の鋭き分析にも拘らず、それは其が現れたよりも少しでも早く現れると云ふ譯には行かなかつた。然し其の當時に書かれて暫くにして忘れられて行つた所の其他の無數の將來社會に關する組織及び綱領とは違つて、共産宣言のみは今日も尚ほ生き殘つて、實際に益々、全世界の勞働者の光りとなりつゝある。而して、マルクス及びエンゲルスによつて起草された此の綱領は、存續して居り、且つ其の出版七十年後に至つても尚ほ眞理であると云ふことは、當時未だその幼稚期にあつた所の制度の不可避的な結果を確實に把握してゐた所の著者たちの驚くべき直觀と理解とに負ふ所のものである。

此の小さな著作が吾々の運動に重要であればあるだけ、また其がマルクスの學説の精神を良く展覽して居れば居るだけ、其を分析するために茲で暫く止まることが、よりよく價値あることであるだらう。

七、共産宣言

「共産宣言」は史的唯物論に立脚してゐる。その根本觀念は、如何なる歴史的時期の政治的及び知識的發達も、その時代の經濟的生産及び交換の一般的様式、及び其によつて

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

結果づけられたる社會構成の上に立脚し、また其れからのみ說明され得るものであると云ふにある。土地を共有した原始的種族社會（此の人類社會の有史前の時代は、モルガンや、エンゲルスや、其他の人々によつて研究され、大いに唯物史觀に役立つてゐる）の崩壞以來の人類の全史は階級鬪爭、即ち社會發達の各時期の階段に於ける搾取者と被搾取者との、支配者と被支配者との間の鬪爭の歷史であるから、かうした鬪爭の歷史は、進化の一系列を成してゐる。而して今日到達した段階に於ては、被搾取階級にして被搾取階級である勞働階級は、搾取階級にして支配階級たる資本家階級から、社會全體を一度に且つ全部的に、凡ての搾取、階級分割、及び階級鬪爭から解放することによつて、その解放を遂行し得るのみである。

宣言の第一章は、ブルジョア階級（資本家階級）と、プロレタリア階級（勞働者階級）とを取扱つて、簡單に如何にして近世資本家階級がそれ以前の社會制度から發達し來つたかを述べ、又如何にして交換手段及び商品の增加や、新市場の開發及び新領土の發見が「商業に、航海に、及び產業に、決して今迄知られてゐなかつた刺戟を與へ、爲めに、その當時に崩壞しかけてゐた封建社會內の革命的要素により急激なる發達を起させた」かを說く。眞に革命的な役割を演じた所のブルジョア階級の發展に於ける各々の步みは、その階級の之に相應する政治的發達を伴つてゐた。

「ブルジョアジーが、政權を握つた所では、總ての封建的、主從的、牧歌的なる諸關係が破壞された。……之を一言にすれば、宗教的及び政治的の幻影を以て覆はれた搾取の代りは、公然たる恥ぢ知らずの直接な露骨な搾取を設定したのだ。ブルジョアジーは、從來、名譽と尊敬とを博してゐた總ての職業から、その後光を剝ぎ去つてしまつた、醫師も、法律家も、僧侶も、詩人も、學者も、皆な彼等に雇はれる賃金勞働者に變化されてしまつた。」そして彼等總ての尊い意見は入れられず、また總ての新しい意見は強固なものとならない内に反對せられてしまひ、その結果、人々は遂に現實に直面し、事物に對する明確なる觀察をなさしめられる樣になつた。

資本主義的生產方法は、それが一度び現はるゝに至るや「總ての國民に、若し滅亡を欲しないならば、ブルジョアジー自身の生產方法を採用することを餘儀なくする。」而して所謂文明なるものを國內に輸入すること、即ち自らブルジョアとなることを、餘儀なくさせる。之を一言にすれば、ブルジョアジーは自分の影像に從つて世界を作るものである。」資本主義制度は尨大なる人口を大都市に集中し、生產方法を集中的とし、財產を小數者の手に集積した。そして此の必然の結果として、政權の集中及び前の緩かに結合されてゐた地方制度からの近世國家の成立が起つて來た。それは地方を都會に從屬せしめたと同樣に、未開國及び半未開國を、より文明化された國に、農業國を資本家國に、東洋を西洋に、其れ〲從屬せしめた。（勿論、其後、東洋

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

は次第に醒めて來て、古いブルジョア的西洋の特色や、氣候や、民族や總ゆるものゝ相違のあるにも拘らず、非常な發達をなし、必然的にそれ自ら急速にブルジョアーとなりつゝある)。

『僅かに百年ばかりの支配の間に、ブルジョアジーは、過去一切の諸時代を合したよりも、一層多量な、一層巨大な生産力を作り出した。……一然るに資本主義的生産の餘地を與へんがために、封建制度の足枷を取除かなければならなくなるに從つて、ブルジョア社會は急速なる生産方法の發達とは兩立し難くなり、その結果として社會に於ける總ての社會的、政治的、及び知的關係とも兩立し難くなつて來た。資本主義が封建主義をたほした所の其の武器は、今や已れに向けられたのである。資本主義の勝利を持ち來つた所の生産の一大擴張も、矢張り今やその死滅の原因となるだらう。その一例として、宣言は『生産過剩の週期性を挑發せしむる所の商業危機』が屡々起ることを指摘してゐる。

然るにブルジョアジーは、已れにつきつけられた武器を忘れてゐるのみならず、その武器を振り廻す所の現代の勞働階級、即ちプロレタリア階級を産み出したのである。そこで宣言は、プロレタリア階級の發生、その資本家との關係、及び如何にしてプロレタリア階級が總ゆる階級より補充されて來るかと云ふことを取扱つてゐる。勞働階級はその發生の時から、意識的又は無意識的なる闘爭を、資本家階級に對して行つて來た。然しブルジョアジー自身も、斷へず闘爭を爲してゐる。即ち最初には貴族階級と戰ひ、後ちには産業のより以上の發展を阻害する利益を持つ所のブルジョアジーの他の部分と爭ひ、また外國のブルジョアジーと始終戰ふのである。總てかうした戰ひに於て、資本家階級は、自己の利益のために勞働階級の助力を乞はねばならなかつた。而して後ちには、無意識的に、その最も惡い敵と實際に戰つてゐるのである。資本家階級はその發展の行程に於て、決して共同的努力の價値なるものを知らない。かくして政治的戰場に引き入れられて行き、資本家自らによつて自分を傷けるであらう所の武器が供給されたのである。下級中等階級、小製造業者、小資商人、手工業者、及び農民等は、總てブルジョアジーと闘爭するが、プロレタリアートのみが眞實の革命的な階級である。プロレタリアートは近世産業の特殊にして重要なる産物であり、またプロレタリアを近代の産業發達に調和せしむるであらう所のかうした新しき社會關係及び政治狀態を持ち來すべく運命づけられてゐる。社會の糟・即ち獨逸語の所謂『ルムペン・プロレタリアート』なるものに就て云へば、それはプロレタリア革命に依つて運動の中に捲き込まれて來るであらうが、然しその全體としての生活狀態は、常に反動の買收の具になるべきものである。そこで宣言は進んで曰ふ『從來の總ての運動は、皆な小數者の運動か、若しくは小數者の利益のためにする運動であつた。プロレタリアの運動は

大多數の利益のためにする大多數の自覺的獨立運動である。(又は、其にならねばならぬ)。現在社會の最下層たる此のプロレタリアートは、外面の正式の社會を構成してゐる××××××××××××××××××××、自立し自營することが出來ないのだ。……』故に近世產業の發展は、(以上及び其他の理由によつて)、『ブルジョアジーが生產をなし、生產物を領有する所の×××××××、×××××××××××××××××××××。さればブルジョアジーが生產する所のものは、結局、自分自身の墓堀人なのだ。ブルジョアジーの沒落と、プロレタリアートの勝利とは、共に不可避なものである。』

宣言の第二章は、先づ共產主義者(今日では社會主義者と讀まれてゐる)と、プロレタリアートとの關係を摘出してゐる。前者は後者から離れては何の利害もなく、前者は總ての國に於て勞働階級運動の前衞たるに過ぎない。尙ほ、共產主義者の表明する觀念は、そこらあたりに有りふれてゐる改良家の發明したものでもなければ、發見したものでもない。「彼等は唯だ現存せる階級鬪爭の實際的諸關係、即ち吾々の眼前に起りつゝある歷史的運動の、一般的表現に過ぎない。從來の財產關係を廢絕することは、必ずしも共產主義の特徵ではない。あらゆる過去の財產關係は、絕えず歷史的の轉換を受け、また絕えず歷史的の變化を蒙つてゐる。」共產主義は一般財產の廢止を目的とするのでなく、ブルジョア的私有財產の廢止を目的とする。然して現に社會主義に對する一般的な多くの反對を取扱つてゐる。即ち宣言は曰ふ『諸君は我々が私有財產を廢止しやうとするのに驚いてゐる。然し諸君の此の現在の社會に於て、人口の十分の九は、既に私有財產を失つてゐるではないか。そして其が少數者のために存在してゐないからではないか。故に諸君が我々を非難する所の其の財產の廢止と云ふのは、社會全員の大多數の無財產を必要條件とする所のその財產の廢止なのである。要するに、諸君は我々が諸君の財產を廢絕しやうとするのを非難するのである。如何にも我々はそれを欲するのである。……共產主義は何人に對しても、社會的產物を獲得する力を奪ふものではない。只だ其の獲得に依つて他の勞働を屈服させる其の力を奪ふのである。』

共產主義者に對する哲學的論辯に就いて、宣言は云ふ『古來、思想の歷史が示してゐる所のものは、精神的生產が物質的生產と共に變質するといふ事より外に、無いではないか?或ひは時代を支配する思想はいつでも只だ其の支配階級の思想であつた。或る思想が全社會を革命化したと云ふことは、唯だ舊社會の內部に新社會の要素が發育したと云ふ事實、古い生活關係の解體と共に、古い思想の解體が同一の步調を取つたといふ事實を指すに過ぎないのだ。』

然るに自由とか正義とか云ふ總ゆる變化に生き殘つた所の永久不變の眞理があると云ふことが論ぜられ來たり、また現在に於ても繰返し論ぜられてゐる。これは全く事實である――何故であらうか。過去の凡ゆる社會の歷史は、階

級反目の發達であつた。而して斯る階級反目は其れ〲の時期に其れ〲の形體を取つた。然し乍ら、社會の一部が他の一部を搾取してゐたことは、總ての過去の時代に、共通のことであつた。故に社會意識又は社會觀念が失はれたとは云へ、共通の根底の流れが、凡ての階級反目の最終的消滅と共にのみ消滅し得る所の、彼等の總ての者の内に流れてゐたことは、疑ひのないことだ。「××××××××××××××、××××××××××××××××××××。從つて其の發展が、傳來の思想と根本的に分離するのは、必然的のことだ。」

第三章は單に改良主義的、反動主義的、及び空想的社會主義の各派の巧みな解説である。(むしろ批判である――譯註)。最後の章は共産主義者が勞働階級の直接の目的の達成のために、また一時的利益の強要のために戰つてゐた間にも決して彼等の眞の目的――即ち勞働階級の完全なる解放――の目標を見失はなかつたと云ふことを指示してゐる。そうして宣言は次の如き歴史的な數言を以て終つてゐる。曰く「共産主義者はその主義政見を隱蔽することを恥とする。彼等は公然と宣言する。×××。××。×××××××××××××××××××。プロレタリアは鎖以外に、失ふべき何物をも持たない。彼等の得べきものは全世界だ。萬國の勞働者、團結せよ!」

この宣言は七十年前に書かれたものだ。そして一小部分を除いては、その一言一句が、一八四八年以前に商工業が發達してゐたより以上に素晴らしく發達してゐる所の今日に於ても、多くの眞理を藏してゐる。勞働階級の發展は、加速度的であつた。確然たる階級的政黨への勞働階級の擴大と、その增加しつゝある意識的政治組織とは、資本家階級及び資本家制度に對する半ば意識的な闘爭をのみ行つてゐるかも知れないが、たとひ其の指導者の多くが口にはマルクスを攻撃してゐやうとも、本質的にはマルクス主義的であつたのだ。一方に於て、それの進歩の比較的遲延と誤謬とは、疑ひもなく大部分は一般社會の、特に勞働階級それ自身の發達の理論に無知なることに因るものとなされてゐる。それは又、勞働階級の必死的な敵、即ち全世界の資本家階級との現在の戰ひに、全世界の社會主義政黨の各派をして全力を注がしめた所の精神的錯亂にも因るのである。然し乍ら、マルクス自身は、社會の歴史的法則がその論理的結論にまで、容易に彼自身によつて發見されたものとは決して主張しなかつた。此に反して、如何なる社會の奴隷階級でも、幾世代もの間に滲み込ませられた所の支配階級のイデオロギイや、倫理や、思考樣式や、及び意見を、完全に一掃せしむることは幾多の困難と長い間の歳月とを費やさなければならなかつたのだ。然し乍ら、歴史的必然の法則は、たとひ其れが遲々として居やうとも、正確に進んで行く。そして早かれ遲かれ、總ては勞働者がその首の周りに掛けられてゐる資本主義の磨石から社會を自由にす

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

る所の日が來らなければならない。そして其と共に每日貧民窟や工場や、また時々は血生臭き戰場で起つた所の、一切の陰慘及び困窮、一切の淫蕩、罪なき者の殺戮などは消滅せしめられるであらう。かくて吾々は、財寶と戰爭との神へ科學を賣淫してゐたことの羞恥から免がれて、遂に大自然の美及び麗光に接し、一切の人類の共有たるべき科學や、文學や、藝術の驚歎すべき完成を爲すであらう。

八、一八四八年の叛亂

一八四八年二月二十二日、即ち「共產宣言」の發表され數週の後ち、革命が再び巴里で勃發した。そしてその影響は、全歐洲に及び、ブルッセルに於ても騷亂が起つた。以前にはベルギー政府はプロシア政府に賴まれてもマルクスの追放を拒絕してゐたが、今や追放を敢行した。そこでマルクスは巴里に赴き、そこで暫くの間運動に携はつた。それから獨逸に行つた。獨逸では革命が彼を待つてゐた。彼はケルンに行き、そこで『新ライン新聞』を發刊した。この新聞で非常に活躍した所のエンゲルスは曰つてゐる、『この新聞は無產階級の立場を擁護せる當時の民主主義運動の唯一の新聞だつた』と。この新聞は舊制度とその代表者等に對して、勇猛にして果斷なる行動によつて反對してゐたにも拘らず、反動政府の倒壞は革命的鬪爭の終りでなく最初であつたと云ふこと――即ち其れはプロレタリアートとブルジョアジーとの眞の階級鬪爭のための道を開くものであると云ふことを、明つきりとは示さなかつた。それは一八四八年の巴里の七月叛亂を明確に援助した。しかし「それは是くして其の株主を殆んど總て失つてしまつた。」數度の計畫の後ち、プロシア政府は、遂にライン新聞の發刊以來一ケ年の後ち（一八四八年五月十九日）、發行停止の命を下した。かくてマルクスは再び追放された。彼は民主主義革命中央委員會からの委任を受けて巴里に行つた。そして叛亂が、佛國及び獨逸の兩方に對して、民主黨によつて計畫された。然し此の叛亂は、主として急進的中等階級の仕事であつて、一八四九年六月十三日に行はれたが、失敗した。かくてマルクスは、フランスを去らねばならなくなつた。そこで彼は家族を伴つて倫敦に行き、そこで彼はその生涯の餘りの部分を止住した。（未完）。

失敗の自由大學

最近、粗製濫造の豫約出版が流行しつゝある折柄、東京に於て「無產者自由大學」なる講義式の豫約出版が計畫された。然るに其の計畫者たるや、曩に神戸で『社會智識講習錄』なるものを出し、僅か一二冊出したのみで中絕せしめた者共である事だ。而も自由大學へは申込者少なく、果して講義錄が出せるか出せないか目下の處は當も付かないと、計畫者自身が別懇の者に對して言明してゐる事を見ても、此の計畫の失敗であることは明かだ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

植民政策裏面研究（六）

—かくして弱少民族は滅びる—

金熙明

第四章 植民地の諸問題

一、序説

一民族の集團（國家）が、他の異る民族の集團（國家）を侵略し、之を征服するためには、惡戰苦鬪を必要とする。即ち、征服者ならびに、被征服者の間には、如何なる條件と、妥協があるにせよそこに恒久終熄せざる暗鬪があるのは、資本主義社會に於ける階級存立の理由と異るものでない。資本家の利潤追求に基く擴張的生産に對して植民地はその存續の不可決なる條件を爲すものである。（共産黨宣言）は、この關係を「彼等の生産物に對して絶へず益々擴張さるべき販路に向つての欲求は、地球全體に亘つて有産階級をかりたてる。彼等は到る處に巣喰ひ、到る處に植民し、到る處に連絡を作らねばならぬ」と述べてゐる。かくの如く植民地は、資本家階級にとつて極めて大なる價値を與へるものである。

そこで被征服民族即ち植民地原住民族は、征服者のために經濟的搾取の對象となり、植民地は、征服者の軍事的活動の根據となる。聯邦制度の確保せざる原始社會に於て、民族の自由移住ならびに、無人荒野の開拓の如きその根本精神に侵略と、征服の必要を有せざる自由植民（移住）は、これを問題外とし、聯邦確保による領土擴張の必要と、之が滿足のためにする侵略的植民は、斷へず被征服民族の反逆を高潮し、民族的團結をもつてそれに反抗を試みるのは理の當然で、已に前章に於て述べたるが如くである。こゝに植民地經營の諸問題がある。歐洲大戰亂の結果、トルコの反亂よりを始めて、アイルランド、印度、朝鮮、フイリツピン其他の諸弱少被壓迫民族が、その統治權を有する國家に對し反逆し、一九二七年の三月ブラツセルに於ける世界弱少民族反抗大會の如きは、植民地原住民族の、死活の運命を左右すべき重大な問題である。

一度強國の植民的侵略を蒙れば、あらゆる社會的現象は、

自民族にとつて極めて不利に、滅亡の途程に變化を來たすのである。そこには、自民族にとつて意義ある文化も、藝術も、教育も、宗教も、産業も、法律もなく無意味な制度に強制される。それは壞滅の挽歌である。農村は、荒廢し（原住民族の生活として）、都市に於ては追放が行はれる。土地は奪はれ、職業は奪はれて仕舞ふ。やがて彼等は、その國土を明渡して驅逐の破目に遭はねばならない。之が植民地の眞相である。之が人類の重大な問題でなくて何んであらう。その眞相に就て詳論するであらう。

二、産業と經濟

植民政策が、強者の弱者に對する支配と、搾取のそれである以上政治上に於て、本島民と、植民地原住民の間に差別制度の設けられるはもとより、産業と經濟上に於ても獨裁が行はれ、搾取が敢行される。即ち植民地は本國のための生産品原料採取の栽植地に利用せられ、なほ本國に於ける生産品販賣の販路として有意な役割りを演じる。それ故に植民地原住民は、征服者の資本のため企業、利權、商業權を剝奪せられ、植民地に於ける經濟界は總て之が征服者の掌中に集中し、企業は彼等の獨占となる。

植民地に於ては、銀行、會社其他の商事權が總て征服者側にあるもので、原住民の自給的生産は之か、本國生産品の販路に影響するを以て法權で之が禁止せられてゐる。即ち朝鮮の如き、往年國産品（朝鮮をいふ）奬勵を當局は之を阻止して、日本より移出する需用品を購入せしめるやう強制するのである。英國に於ても同じく印度に於て採取せるコーヒは、再び印度人に買搦くといふ工合になつて居り、印度人は全く彼等のために剩餘價値を搾取せられてゐる。往年印度に勃興したガンヂのスワラジ運動は、經濟上に於ても必然的に起らねばならぬ問題であつた即ち―英國と印度とは、その地理的風土的條件に於て遙に相違がある。故に印度には、印度の經濟が起らなければならないといふのである。かくして彼が印度のための經濟、眞に印度的なる經濟政策として立案の採用したのは、即ち農業と手紡ぎの奬勵とであつた。そして一方外貨のボイコットに依りスワデシ（國産綿布使用）を確立し、漸次に全くの物資の自給自足を計らんとするのである。その根本基調となるものは村落生活を讃美し、工業主義の排斥絶滅其者に外ならないのである（鹿子木員信氏、饒平名智太郎氏共著「ガンヂと眞理の把持」P一二六）これは、英國の印度にとつた搾取政策を客觀的に證明するものである。かくして植民地は、征服者側の海外市場となり、利權となる。從つて植民地原住民は、征服者側の資本に壓倒され一大階級制を確守することになるが、原住民族の無産化、奴隷化は、即ち征服者の利潤と、搾取に比例する。故に植民地に於ける經濟産業狀態は、凡て之が獨占され、被搾取側にとつては、常に恐慌であらねばならない。

朝鮮について見ても朝鮮民族は、その生活根據を農業に

求め、朝鮮は農業國である。朝鮮に於ける農民は、全人口の約八割を占め、農業生産品は全生産額の約八割に該當し、農産物ならびにその加工品の輸出高は、總額の約七割を算してゐる。而して農業上の組織は、主に耕作農業であつて、耕作面積は、約四百五十萬町歩ある、その中主なる作物は米作で、米の産額は、總督府の統計によると、一九二一年の産額が約一千四百萬石である。しかし事實上に於て、米作其他をするのは、鮮朝人であつて、利得を得るのは、東拓其他の日本人資本家階級で、いまや完全に朝鮮に於ける産業經濟ならびに諸利權は、日本人の掌中に把握されてゐると云つても好い。

三、開拓會社

植民地經營の經濟的搾取機關は、即ち開拓會社である。開拓會社は、己に前章近世植民史の項に於て述べた如く政府直營のものに係り、總督府と同一要務をなすものである、即ち開拓會社は、總督と內務大臣の命令に依り、植民地の産業及び經濟の主權を原住民族より奪ふべく活動する。

開拓會社は曾て英國が米國を開發せしとき始つたもので印度を領有にしたのもこの政策に基くものである。一時この制度は、世間より排斥せられたが最近三十年來この制度は、列國の競ふて採用するところとなり、目下は植民史上開拓會社復興期と云つても差支なからう。即ち一八八一年以來、左の如き植民會社があつてそれぞれ植民地の政權を享有した。

一八八一年―英國北部ボルネヲ會社
一八八六年―英領亞弗利加ロイヤル・ナイジャア會社
一八八八年―イムペリアル・ブリチッシュ・エイスト・アフリカ會社
一八八九年―英領南亞弗利加會社
一八八五年―白耳義ニウギンネヤ會社
一八八五年―白耳義東亞弗利加會社
一八九四年―ポルチギース・モサンビーク會社
一八七九年―萬國コンゴー植民協會

日本は、一八九六年―臺灣を支那より占領し、一九〇七年樺太を露西亞より讓り受け、一九一一年朝鮮を併合して、右の政策に基いて植民政策に活動してゐる。即ち朝鮮に於ける東洋拓殖會社は、一九一一年以降朝鮮及滿洲開拓に着手して、眼覺しき活動を爲しつゝある。現在朝鮮に於ける最大地主は、東洋拓殖會社であり、大金持ちは、朝鮮銀行並びに朝鮮殖産銀行である。之れは何れも總督府と結託して朝鮮に於ける殖産業經濟界を綾釣り、搾取に吸々としてゐる一種の開拓會社である。東拓は、創立後僅か十幾年間に於て完全に朝鮮を蹂躙することに成功した。即ち一九二二年の東拓の所有地は、その面積が約八萬五千町歩餘りであつたが、一九一〇年のその所有面積に比して約七倍の増加を見てゐる。この大面積を有してゐる東拓は、小作人の利害休戚を少しも顧みず、單に惡地主の模範となるべき計劃は

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

かりを企てゝゐる。移民計劃及び産業資金の貸付は最とも最惡的標本といふべきで、關係人に、實に移民のため年々耕地を奪はれなければならぬのである　またその産資金運轉方法に於てみても、東拓は大體に於て朝鮮地主階級に消費資本として貸付け、産業問題は以ての外で、只擔保品の多寡のみに熱中するところは、高利貸と何等選ぶ餘地がない。大正十三年九月現在の調査に依ると、その移民戸數は三、八六七戸で、その人口は、約一六、五〇〇人を算してゐる。東拓の移民案内を左に掲げて彼等のとつてゐる計畫の内容を窺ふことにする。

朝鮮統治の要諦は其文化の促進と内鮮人の融和同化に在り、而して文化の促進と内鮮同化の方策は多数の内地人を移住せしむるを捷徑とす、然るに朝鮮の産業は農業を本位とし、其土地は利用開發の餘地に富み、人口の密度は僅に現在人口の二、三割を増加し得る餘地あり、故に我が會社は拓地殖民の計を立て年々内地の堅實なる農業者を朝鮮に移植し以て内鮮人の融和接觸を保たしめ之によりて地方に農事改良の範を示し地方開發の指導に當らしめつゝあり其招致せる戸口は必ずしも多しとせざるも現在朝鮮に於ける内地營農者の四割を占め其地方文化の促進に貢献し内鮮人の同化融和に寄與する所鮮からざるを信ず更に從來の經驗に鑑み今後は二町自作農たる第一種移住者の募集を中止し成るべく五町歩地主農たる第二種移住者を招致し從前よりも一層素質を精選しより以上の資力と智識經驗とを具備せる堅實なる人物を移植せんとす內地人の移植に對しては往々鮮人間に多少の誤解なきにあらざりしも近時漸く我が社移民の趣旨の理解されて内心其來往を歡迎するものあるに至れるは朝鮮拓殖上寔に慶ぶべきなり我が社の移住者たらんとするものは必ずや移住地方の先覺者として鮮人の指導誘掖に努め地方の産業開發と文化の促進とに貢献し以て殖民事業の達成に寄與せんとするの覺悟なかるべからず

右の如き東植の移民誘導は、遂ひに朝鮮人勞働者を海外に驅逐せずにはおられなかつた。その結果日本内地に漂浪してゐる朝鮮人勞働者のみでも十萬何千を以て算じ、滿洲露領方面に逐はれたものが二十萬二千人位いある。之によつても東拓移民の結果が、如何に末恐しきものかを察するであらう。

マルクスは、英國東印度會社の巨利に就て左の如く記述してゐる。『英國東印度會社は人の知る如く東印度に於ける政治的權力の外に茶貿易並に支那貿易一般及び對歐羅巴貨物運送の獨占權を有した。然るに印度の沿岸及び島嶼間の航海ならびに內地貿易は會社の高級役員の獨占となつた。鹽、阿片、キレマ、其他の商品は掘れども盡きぬ富の鑛山であつた。役員自ら價格を定め好むがまゝに不幸なる土人の利益を害した。總督も亦この個人的商賣に加はつた。その氣に入りの部下の得たる契約の條件は彼等をして錬金術よりも巧みに無より金を生ぜしめた。大財産は菌の如く一日にして生え出で富の原始的蓄積は一志の支拂も要せず

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

して成就した。該會社及びその役員は、一七五七年より一七六六年に至る間に印度人より六百萬磅をたゞ取りにした」と。（Marx. K. Das Kapial. Bd. I.（Volksausgabe）S. 60. 註 41.）

右は正に植民地搾取の眞相を傳へたもので、日本の朝鮮に於けるそれと何等變るところを見ないのである。

四、マーカンテルシステム

マーカンテルシステム（Merchartile System）と、植民地の發達關係は密接にして、離すことの出來ない問題である。

アダムスミス（Adam Smith）その著、Wealth of Nations にマーカンテイルシステムと植民地を評して曰く、「ムンが（mun）その著書に題した一外國貿易に於ける英國の財貨」（England's Teeasure by foreign Terad.）なる語は、單に英國のみならず總ての商業國の經濟政策上重要なる格言である」と。當時の政策は、只外國商品を消費するよりも、內國品を外國に輸出することの多額であることを望んだもので、政治家の常に頭腦を痛めたのは、即ち如何にして輸出を超過させるべきかの問題であつた。而してこの目的を達せんがためには、工業家の利益に注意し工業家を以て國富の源泉であるが如く見做すと、同時に內國の消費者に對しては、何等の考慮を費さず全くその利害を無視したこれ蓋しアダムスミス等の反對を惹起し又現在に於て學者が之に反對する所以である。アダムスミスは、「植民地創設の動機、發達、原因及びその利益」を論じて曰く「輸出は、本國の商人及商品に對し特別なる待遇を與へ、もしくは專賣權を附與せる植民地の創設と、マーカンテルシステムとに於て增加せられる」と唱導した。實にマーカンテルシステムは、植民地創設の根本原因と、その經濟組織に直接關聯を持つものである。

ブハーリンは、その著「帝國主義經濟論」に於てマーカンテルシステムは、外國市場を侵略する民族的資本であることを唱へてゐる。

シユモラー（Schmoller）は、その著 The merc han'ile System に曰く「マーカンテルシステムの眼目は、貨幣を重んじ貿易の平衡を重ずることにあらず保護稅を課し、航海法を制定することにあらず、更に遙に深遠な所にある。乃ち社會と、その組織と、國家と、その制度を改革し地方的若くは國地的經濟政策に重きを置き國際競爭に對して國家的商業を基本として之を保護するには、むしろ自然的政策なりしが如し而かも當時に於て果して善良なる政策たりしや否やは攻究せざる所なり」と。

マーカンテイルシステムは、商業貿易の自由に次の如き制限を加ふるものである。即ち

一、貨物を植民地に輸入し、若くは植民地より輸出するには、只本國もしくは植民地に屬する船舶によるべきことと

二、植民地より本國の市場に對する輸出には制限を附す

ること。

三、本國の貨物は、植民地の市場に於て、專賣權を有すること（貨物により專賣權を附與して保護する上に於て厚薄あり）

四、植民地の生產物も、亦本國の市場に於て多少特別なる取扱を受くること。

五、植民地に於ては、本國の工業と競爭して、その發達を害する如き工業を興す可らざること。

右は主に英國に於ける制度であつたけれども、其他の國家に於ても之を實行したことは勿論、現在に於ても、日本（朝鮮に執れる產業經濟政策は、とりもなほさずこの主義に依るものである。

マーカンティルシステムは、經濟思想の幼稚な植民地に桎梏を與へたことは云ふまでもないが、その反面被搾取階級の反抗と、民族的團結心を助長する最大原因となる。即ち印度に於けるガンヂのスワデシ運動ならびに、朝鮮に於ける內國產奬勵運動は、正にその好例であらう。

五、勞働問題

西班牙人が、西印度諸島に植民したる昔よりヨネスプルグの金鑛に就て、騷亂のあつていまに至るまで絕へず植民地民族の頭腦を惱ましめたのは、勞働問題である。殊に現代の如く、階級鬪爭が旺盛となり、勞働階級の國際的團結が行はれる今日、植民地における勞働問題は更に複雜性を有するものである。

白人は、植民地富源開拓に必要なる勞働力を、奴隸制度に於て之を遂行して、即ち一、五〇三年頃西印度に於て奴隸制度の萌芽を見、奴隸の賣買がアフリカと、アメリカとの間に行はるゝに至つたのは、稍降つてラカサスの請願がチャールス五世に依て嘉納せられた頃にして、その制度を創設したのは西班牙人であつたけれども、それを完成に至らしめたのは葡萄牙人であつた。しかれども十六世紀十七世紀頃、白人の黑人に執りつゝある奴隸制度に反對思想が勃興し、これを人道問題上の最大罪惡であると罵るに至り、後遂に奴隸の解放を見るに至つた。これは、單に植民地問題のみにあらずして、眞に人類の問題として歷史的罪惡でなければならぬ。

ロードストーエルの云へし如く「奴隸は、實に商業上の利益の源泉にして、植民地の富力は全く奴隸使役の結果である」

亞細亞に於ては、勞働上に於て奴隸と同じき苦力階級を發生せしめるに至つた。即ち苦力は植民政策のため自國に棲住權を奪はれた勞働者階級で主に支那人及び印度人に多いのは、支那印度が歷史上古く植民政策に惱んでゐることを證明するものである。この意味に於て、朝鮮は稍々淺き歷史を有するものであるが、苦力階級と何等變りのない朝鮮人勞働者階級が、日本內地の到る處ならびに、滿洲支那諸方に漂浪してゐるのは、植民政策の必然的歸結とみて好

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

いのである。

更に近世資本主義の制度に基く國內的勞働問題即ち朝鮮の例に依つてみても、東洋拓殖會社移民は、朝鮮農民の生活に一大脅威を與へ、勞働者を農村より追放せしめるのは、已に前項に述べた通りで、都會工場勞働にしても、就職の優先權が日本人勞働者に賦與してある以上日本勞働者對朝鮮勞働者の（朝鮮內地に於て）間に葛藤の生じるのは必然的な結論としなければならぬ。假りに朝鮮に於て如何なる產業政策及び勞働者救護策が講ぜられたにしても之は、日本勞働者（移民）への便宜でありその擁護手段に過ぎぬ。何故なら若しその勞働者救護策が果して朝鮮人のための政策であり、救護であつたら、彼等の取りつゝある植民地政策の根本問題に違反する理由のものでなければならぬから

かくして植民地に於ける勞働階級は、搾取され、壓迫される。しかし我等は、その反面に於ける無產階級の階級的結成と、政治的反抗の助長を見、更に國際無產階級の責務を大成すべき前衛分子であることを植民地原住勞働者階級に認めるものである。

六、文化と思想問題

（イ）教育

教育は、植民政策中最とも重要なる位置を占むる要件で、同化主義に基ける場合に於ては、殊に之が前提的重要性を有するものである。即ち植民地に於ける教育は、植民地經營に妨げなきやう原住民を服從させる最大武器である。教育方針として、征服者は、被征服者に向て同一國語を强ひ原住民族の文化、思想、歷史を抹殺して、植民者のそれを强制する。即ち植民地に於ける教育の一般は、植民地原住民族の精神的侵略である。

いま朝鮮に於ける一例をもつてしても、朝鮮に於ける教育の現狀は、寒心せざるを得ないほど荒んでゐる。教育の本旨は、精神上の侵略であるといふモットーが、露骨に現はれてゐるのである。即ち朝鮮に於ける學生は、日本語を主とし、日本歷史、日本文化を主として授けられ、朝鮮民族としての傳統的文化、藝術、國文、歷史、風俗、習慣は、暫時姿を秘め日本の文化諸現象が、朝鮮の地上に築かれつゝあるのである。從つて言論集會の自由ならびに、政治、行政上の參與權は、更に拒否されてゐる。

「朝鮮歷史朝鮮地理を主とする教科目を存しないのである。私は朝鮮普通學校の授業を參觀し朝鮮人の兒童に對し日本語を以て日本歷史を教授するのを見、心中落淚を禁じ得なかつた」（矢內原忠雄氏「前揭書」P四〇二）

試みに朝鮮に於ける日本人及び朝鮮人の兩者間に於ける教育上の差別を、左に揭げて參考に供するであらう。（大正十三年現在）

日本人四十萬のためには、中學校の數が七校、學級が六九、教員數が一七二人で、高等女學校の數が十三校、學級數が八二、教員數が一八四人であり、（六十五頁へ續く）

獨逸の勞働運動

淺野研眞

第一節 序説

英國や佛蘭西に比しては、獨逸は比較的遲れて、近世的舞臺に現れた新參ものである。即ち思想的には、フランス革命の思想的影響、及びフランスの初期の社會思想に、多くの影響を受けた。また經濟的には、英國の產業革命の影響と、その植民政策とに多くの影響を與へられた。

然し此の後進國たりし獨逸も、その國民性の着實、謹勉なるのと、ビスマーク時代の極端なる帝國主義的富國策とによつて、次第に歐洲の一大强國となり、資本主義の飛躍的なる發展を來した。而して其の歸結は、歐洲大戰であつたことは云ふまでもなからう。

かく獨逸に於ける資本主義の發展は、必然的に其處に近世的プロレタリア運動を發生、發展せしめた。而して其間、多くの理論家、實際家を生み、以て世界のプロレタリア解放運動に向つて、多くの暗示と指導とを與へた。ラッサール、マルクス、エンゲルス、リープクネヒト父子、ベーベル、ベルンシュタイン、カウツキイ、等々は、多かれ少かれ、全世界のプロレタリア運動に向つて、影響を持つたものであつた。そして彼等の母國たる獨逸に於ける運動が、國外に相當の流れ、及ぼしたことも否定し得ない。然し大戰の終末に於ては、却つて逆輸入的に、ロシア革命の影響を受けて、甚だしく地味ではあつたが、一つの革命を成遂した。

以下、吾々は、簡單に此の國に於ける勞働運動の主流を眺めて行かう。

第二節 初期の勞働運動

獨逸に於ける初期の勞働運動は、他の諸國の其れと同じやうに、少數の社會思想家によつて行はれたものであつた。卽ちこの先驅者の運動は、主として一八四〇年代に初まる。卽ち當時は主として、ヴァイトリング（一八〇八——七一）による宣傳運動があり、又次いでヘッスや、グルュンなどの運動もあつた。然し此等の人々の宣傳運動は、主としてフランス流の「手工業者的社會主義」であつたと云はれてゐる。

また古くはフィヒテや、後にはロードベルッスの如き、優れたる理論家も輩出してゐる。然し此等の人々は、所謂「書齋派」の人々で、實際運動には殆んど交渉がなかつた。

第三節　歐洲大戰まで

一、ラッサールの運動

獨逸に於ける勞働運動は、具體的な事象としては、ラッサールの運動に初まると云はれてゐる。少くとも實際運動の上に、最初の大きな足跡を印したものは、彼れフェルジナンド・ラッサールであつた。卽ちラッサールは、一八六三年五月二十三日を以て、ライプチヒに大會を開き、全獨逸勞働者同盟（All-gemeiner deutscher Arbeiterverein）を創設した。この團體こそは、獨逸に於ける最初の有力なる勞働運動の主體であつた。然し此の同盟は、その「綱領」も極めて簡單で、普通選擧の實施の如きを目的とせるものであつた。卽ち曰く、

「全勞働者同盟の名の下に、獨逸聯邦内に於て、一つの同盟を創立する。そして平等、直接、普通選擧を通じてのみ、獨逸勞働者階級の社會的利益の充分なる代表と、社會に於ける階級對立の眞の撤廢とが實現され得るとの信仰から出發して、本同盟は平和的にして合法的なる方法によつて、殊に輿論を說服することによつて、平等、直接、普通選擧の確立に努力せんとする。」

然し此の同盟は、創立の次年、卽ち一八六四年に、不時の死によつて指導者ラッサール其人を失つた。此の時、會員は四、八一〇人の僅かな數であつた。次いで此の同盟に、困難で、不安な幾年かを經驗した。そして其の指導的人物は、ラッサール——ベルンハルド・ベッカー——フォン・シュバイツェルの傳承を辿つた。そして最後にゴータ大會（一八七五年五月）に於て、マルクス派と合同して、社會民主主義黨を形成したが、そのことは後に述べやう。

二、アイゼナハ大會

やがて獨逸の勞働運動には、新しき生命が吹き込まれて來た。それは故國を追はれて英京ロンドンに詫び住ひをして居たマルクスの思想的影響が、獨逸の勞働運動の實際の上に具現され初めたことであつた。そして其の結果として、アイゼナハに於ける一八六九年八月七日——九日の大會に於て、社會民主勞働黨が創立された。

此の黨は、勿論、マルクス主義を採用した。卽ち此のアイゼナハ大會に於て採擇されたる所謂「アイゼナハ綱領」

一八六九年）は、次の如きものであつた。

社會民主勞働黨綱領

一、社會民主勞働黨は自由民衆國家の建設を以て目的とする。

二、苟も本黨の黨員たるものは、全力を盡して以下の諸原則に對して責任を負はねばならぬ——

（一）今日の政治的及び社會的狀態は、不當極まるものなるが故に、全力を擧げて之と戰ふこと。

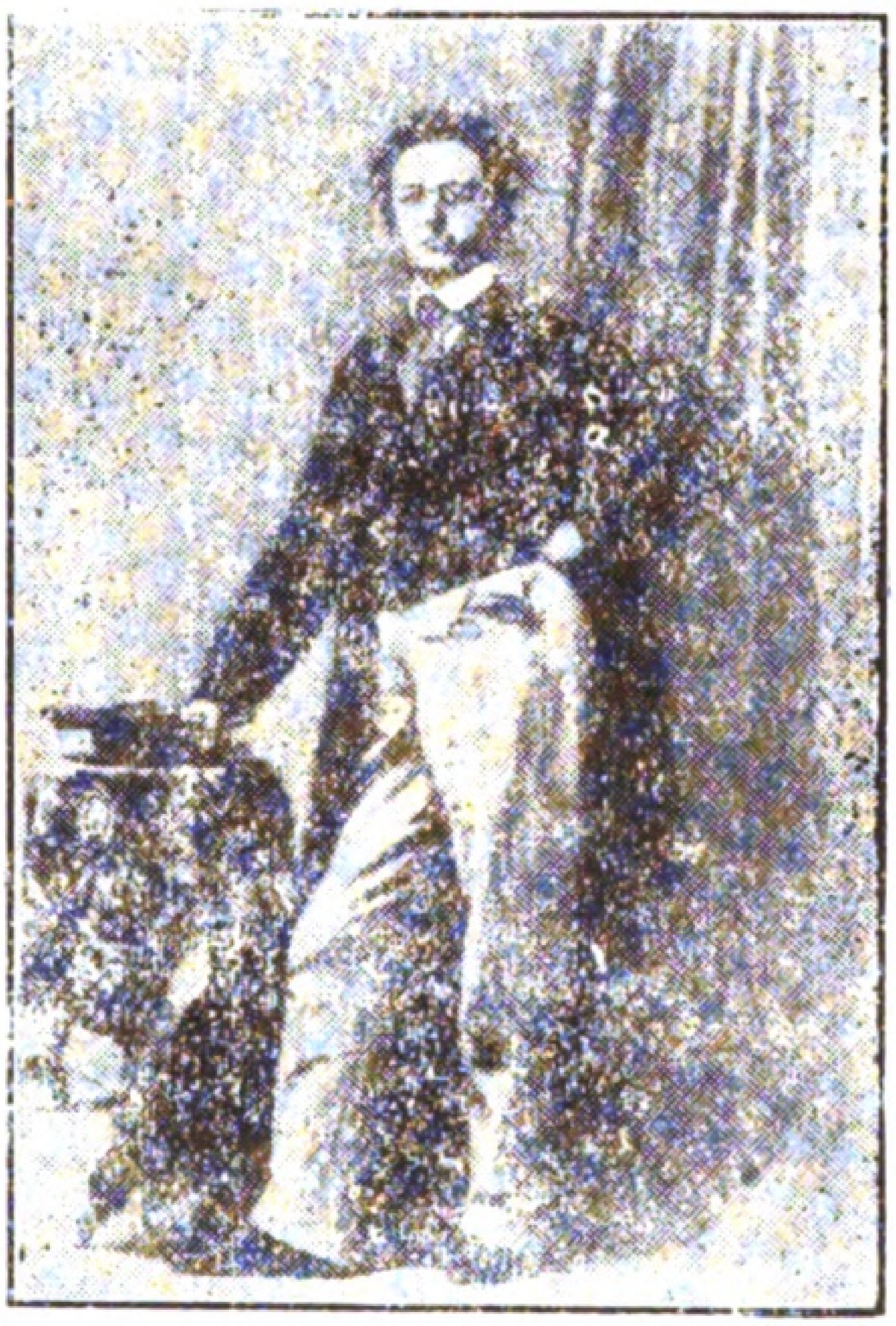
（二）勞働階級解放の戰は、階級的特權や優先權のための戰ではなく、平等なる權利と平等なる義務のための戰であり、一切の階級支配撤廢のための戰であること。

（三）勞働者が經濟上、資本家に賴つてゐることが、種々の形態に於ける隷屬の根本であるから、社會民主黨は相互協力して現今の生產方法（賃金勞働制）を撤廢し、以て勞働全收の目的を達すること。

（四）政治的自由は勞働階級を經濟的に解放するが爲には、到底缺くべからざる先行條件である。故に社會問題と政治問題とを切り離すことが出來ない。社會問題の解決は、此の問題の解決を條件とし、從つて民主的國家に於て始めて可能であること。

（五）惟ふに、勞働階級の政治的及び經濟的解放は、勞働階級が協力一致して戰つて始めて達せられるのであるから、社會民主勞働黨は、一の統一的組織に服すること。但しそれは又、各人をして全體の福祉のために銘々充分に貢獻する事を得しむるが如き組織であること。

（六）惟ふに、勞働の解放は、地方的問題でも、又國民的問題でもなく、それは全く凡ての近代文明國家を包括する一の社會的問題であるからして、社會民主勞働黨は、組合法の許す限り、國際勞働者協會に協力して、その一部門たることを承認すること。



ラッサール

三、以下の諸項は、社會民主勞働黨の運動に於て、最も緊急なる要求として主張すること。

（一）帝國議會、各部議會、州議會、市町村代表、その他一切の代表機關の選擧のために、二十歲以上の凡ての人に對して、普通、平等、直接、及び秘密の選擧權を賦與すること。

（二）人民による直接なる立法（卽ち提案及び否認の權利の創設）。

（三）身分、財產、門閥、及び宗派の一切の特權を撤廢すること。

（四）常備軍に代ふるに國民軍を以てすること。

（五）教會を國家から分離し、學校を教會から分離せしむること。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

（六）小學校に於ける義務教育及び一切の公立學校に於ける無償教育。

（七）裁判所の獨立、陪審裁判所及び特許産業裁判所の開設、公開にして口頭の裁判手續の制定、及び無料の司法。

（八）一切の新聞法結社法、及び集會法の廢止、標準勞働時間の創定、婦人勞働の制限及び幼年勞働の禁止。

（九）一切の間接税を廢止して、唯一つの直接にし、累進的なる所得税及び相續税を起すこと。

（十）消費組合制度の國家的奬勵及び民主的擔保の下に自由生産組合に對する國家的貸附け。

以上、アイゼナハ綱領の全文である。而して此の政黨運動の首唱者は、かのヴィルヘルム・リープクネヒト（一八二六―一九〇〇年）、及びアウグスト・ベーベル（一八四〇―一九一三年）の兩者であつた。そして此の黨は、今や獨逸に於ける中心的な勢力たらんとしつゝあつた。またインタナショナル（第一）にも加盟し、そのバーゼル會議（第四回大會）にも代表者を送つた。

× × ×

然るに此の間に於て、獨逸の資本主義は極度の發達を來し、英佛との資本戰に於て有力なる地位を得て來た。これ主としてビスマルク等の帝國主義政策によるものであつた。即ち彼は獨逸聯邦を結成し、産業政策と社會政策とを併用した。そして普通選擧も行はれた。然し初めの間は選擧に於ける社會黨の勢力は、甚だ微弱なものであつた。一八十四年の選擧に於ては、漸次的に强大な勢力を得つゝある事を示し、三十四萬の投票を得て、九名の議員を選出することを得た。

マルクス

三、ゴータ大會

此のマルクス派たるアイゼナハ派は、當時シュバイツェルを主盟とするラッサール派との間に、實際的な運動の差異が極めて僅かであつたのと、所謂共同戰線を張ることのより有利にして必要なるために、兩派の合同が劃策された。

そして、一八七五年五月廿二―廿七日のゴータ大會に於て、終に兩派は合併され、玆に新たに「獨逸社會主義勞働黨」なる名の下に結成された。これ後ちに「獨逸社會民主黨」となるものである。

而して此の時に採用された黨の綱領こそは、有名なる所

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

謂「ゴータ綱領」であつた。繁を厭はずその全文を玆に引かう。

獨逸社會主義勞働者黨綱領

ゴータ、一八七五年八月

一、勞働は總ての富、總ての文化の源である。そして一般に有益な勞働は、社會によつてのみ可能であるのだから、勞働の生産物は社會に、即ち社會の全員に屬し、その全員は、一般的勞働義務を負ひ、各自相當の慾求を充たすべき平等の權利を持つ。

今日の社會に於ては、勞働機關は資本家階級の獨占である。その結果として生じた勞働階級の從屬が、あらゆる形式に於ける貧困と屈從との原因である。

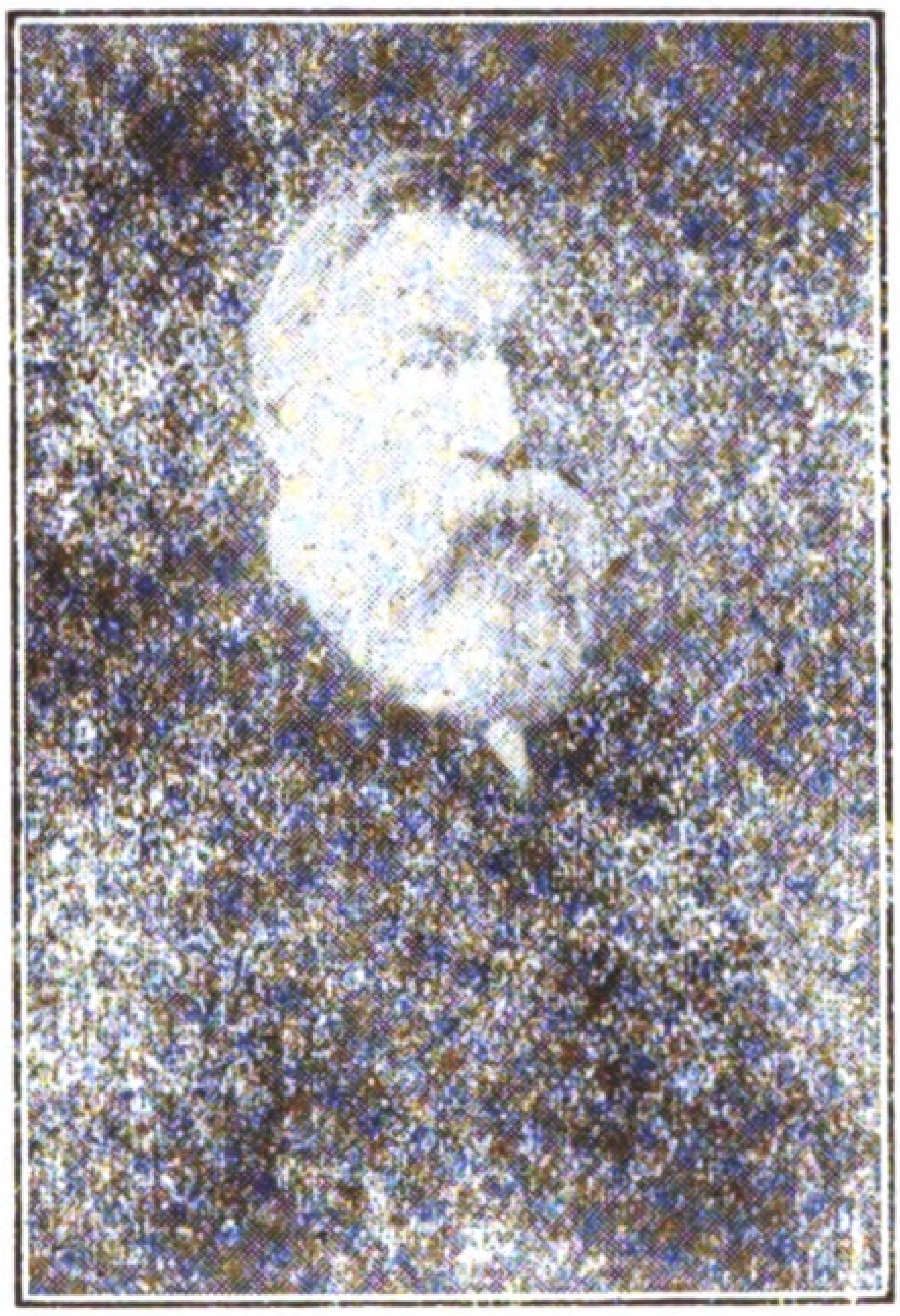
勞働階級の解放のためには、勞働機關を社會の共有財産に轉換すること、及び社會の全勞働を組合的に處理し、その勞働收得を共同の利益のために使用し、及び正當に分配することが肝要である。

勞働の解放は、勞働階級の事業でなければならぬ。之に對立する總ての他の諸階級は、只だ一個の反動群である。

二、これらの原理から出發して、獨逸社會主義勞働者黨は、あらゆる合法的手段によつて、自由國家及び社會主義社會の建設、賃金勞働制度の廢止による賃金鐵則の破壞、あらゆる社會的及び政治的不平等の禁絶に努力する。

獨逸社會主義勞働黨は、先づ國家の埒内に働くけれども、勞働運動の國際的性質に就ては、充分に自覺してゐる。そして其のために勞働者に課せられたる總ての任務を大膽に遂行して、人類同胞の實を擧げることを期する。

獨逸社會主義勞働黨は、社會問題の解決の道を開くため、國家の補助による、そして勞働民衆の民主的管理に屬する、生産組合の設立を要求する。この生産組合の中からして總合勞働の社會主義的組織が發生するほど、それほど盛んに此の組合を、工業及び農業の間に設立さすべきである。



エンゲルス

獨逸社會主義勞働黨は、國家の基礎として、次の如きものを要求する。

一、國家及び地方團體に於ける總ての選擧並に投票に對する二十歳以上の總ての國民の、無記名にして義務的なる投票をもつてする所の、一般的、平等的、直接的の選擧及び投票權。選擧又は投票日は、日曜又は休日たるべきこと。

二、國民による直接立法。國民による戰爭及び媾和の問題の決定。

三、一般的兵役義務。常備軍に代へるに國民軍を以てすること。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

四、あらゆる特別法、特に言論、結社、集會に關する法律、及び一般に思想と研究との自由を制限する總ての法律の廢止。

五、國民による裁判の監督。無料裁判。

六、國民による一般平等の國民教育。あらゆる公立學校に於ける無料教育。宗教は個人の私事たるべきこと。

獨逸社會主義勞働黨は、現存社會の埒内に於て、次のことを要求する。

一、前記の諸要求の意味に於て政治上の權利と自由とを最高限度に擴張すること。

二、國家及び地方團體の費用のためには、單一累進所得税を以てあらゆる現今の租税、殊に國民の重荷となる間接税に代へること。

三、無制限の團結權。

四、社會の需要に相應する標準勞働時間制。日曜日勞働の禁止。

五、幼年勞働及び健康と道德とに有害なる婦人勞働の禁止。

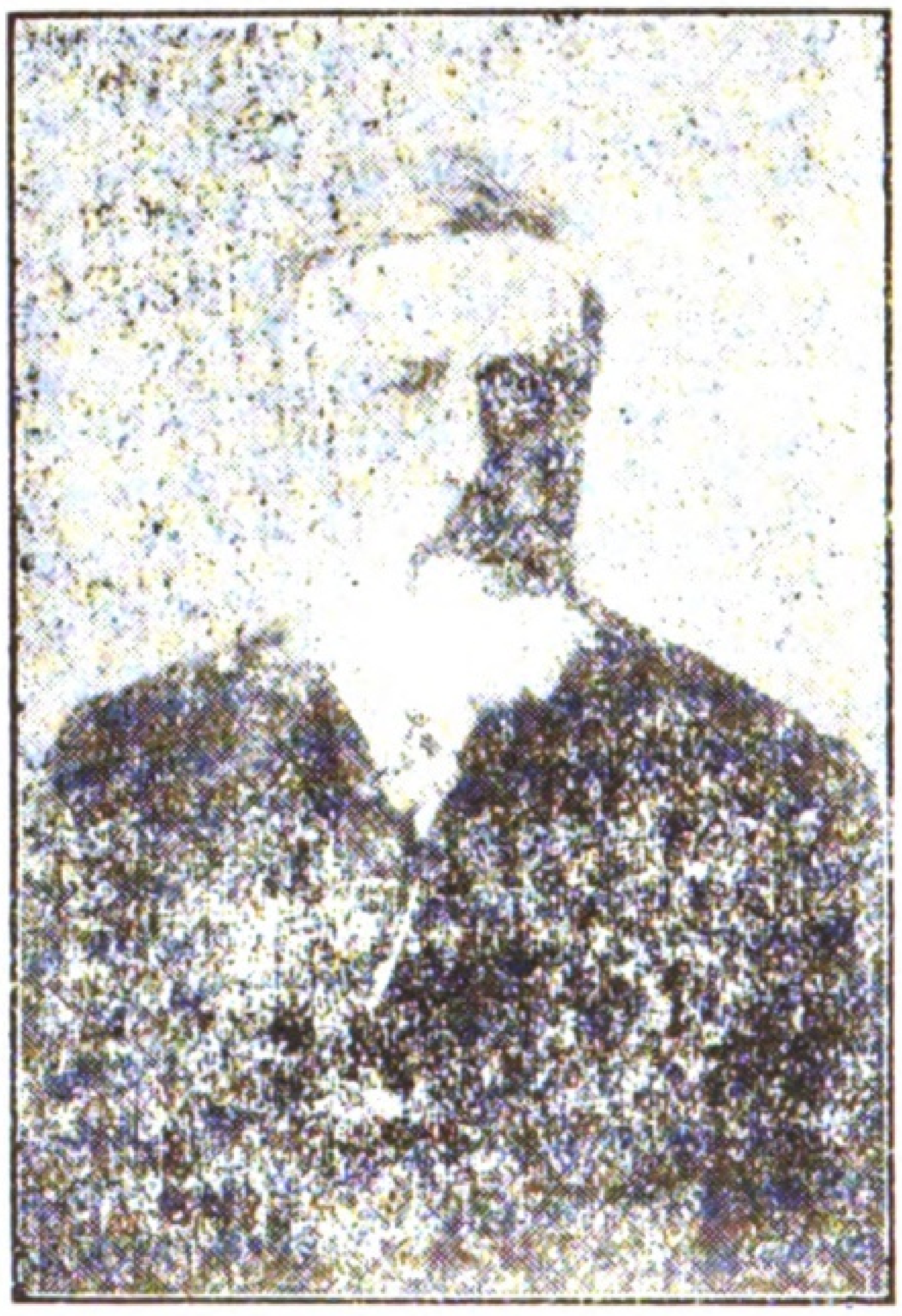
六、勞働者の生命と健康とを保護するための法律。勞働者住宅の衛生上の取締。勞働者が選擧したる官吏による鑛山、工場、職場及び家内工業の監督。有効なる雇傭者責任法。

七、監獄勞働の規定。

八、あらゆる勞働者扶助及び扶養基金の完全なる自治的管理。

以上がゴータ綱領の全文である。此の綱領の草案を見て當時、ロンドンに亡命してゐたマルクスは、彼の一派が、此の大會に於て甚だしくラッサール派に妥協したことを、痛く不快に思つた。そして之に對して手ひどき攻撃を加へた。その文書は數年の後ちに至るまで發表されないでゐた。と云ふのは、折角の合同を破るであらうことを恐れてであつた。即ち、かの「ゴータ綱領批判」が其れだ。當時ヴイルヘルム・リープクネヒトは、「マルクスも貴いが、黨は一層貴い」と云つて、その苦衷を物語つてゐる。

さて、一八七七年の總選擧には、この聯合黨の投票數は、實に五十萬に上つた。この成功は彼等に精力と大膽とを加へ、その宣傳を促進せしめ、全獨逸を振駭せしめた。



父リープクネヒト

次年、一八七八年には、カイゼルに危害を加へんとしたものが二名も出た。然し此等の者は何等社會黨には關係なきものではあつた。然し支配階級は之を絶好の口實として、ビスマルクをして所謂『社會黨鎭壓令』(Sozialistengesetz 1878－1880)なるものを通過せしめた。その内容の一班を示すならば、次の如きものであつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

社會主義者法（抄錄）

第一條　社會民主主義的、社會主義的、又は共產主義的計畫を以て、國家又は社會の現存秩序の破壞を目的とする結社は、之を禁ず。

斯る計畫の下に、平和、殊に階級間の調和を害する如き結社は又これに準ず。

第九條　社會民主主義的、社會主義的、又は共產主義的傾向を有し國家又は社會の現存秩序を破壞する所の集會は、解散せられる。

（中略）

祭禮並に行列にして、此の傾向あるものも亦之に準ずる。

第十一條　社會民主主義的、社會主義的、又は共產主義的傾向を有し、國家又は社會の現存秩序を破壞し、平和、殊に階級間の調和を害する所の印刷物の發行を禁す。

定期刊行物なる場合には、一度び此の法律の下に禁ぜられたる際には、その後の發行をも禁ずることを得。

第十六條　社會民主主義的、社會主義的、又は共產主義的計畫にして、國家又は社會の現存秩序を破壞せんとする計畫を更に進むるための金品給與、並に斯る金品給與を進んで一般に慫慂することは、當局によりて禁止せらる。

かくして此の惡法は、一八七八年から、一八九〇年までの十二年の間、獨逸のプロレタリア解放運動に、可なりな打擊を加へた。そして外見的には、少くとも一時は、勞働運動は不振であつた。然し其れは、文字通りに外見的なる不振であつたに過ぎなかつた。即ち僅かの間に投票數は再び增加した。一八九〇年の投票數の如きは、四十二萬七千に達した。而して此年、黨名は改稱せられて「獨逸社會民主黨」(Sozialdemokratischen Partei Deutschlands) となつた。そして黨は次第に發達し、歐洲大戰までの數字は、次表の如くに示されてゐる。（カーカツプ「社會主義史」三一〇頁より引用）。

年次	社會民主黨投票數（第一投票）	總投票數に對する百分率	社會民主黨選出議員數
一八七一	一二四、六五五	三・〇	二
一八七四	三五一、九五二	六・八	一〇
一八七七	四九三、二八八	九・一	一二
一八七八	四三七、一五八	七・六	九
一八八一	三一一、九六一	六・一	一二
一八八四	五四九、九九〇	九・七	二四
一八八七	七六三　一二八	一〇・一	一一
一八九〇	一、四二七、二九八	一九・七	三五
一八九三	一、七八六、七三八	二三・三	四四
一八九八	二、一〇七、〇七六	二七・二	五六
一九〇三	三、〇一〇、七七一	三一・七	八一
一九〇七	三、二五九、〇二〇	二八・九	四三
一九一二	四、二五〇、三二九	三四・八	(1) 一一〇

(1) 一九一三年七月の補缺選擧で今一人が選出されたから合計一一一名となつた。

尙ほ此の間、一八九一年には、エルフルトに於て大會を開き、明解なる綱領を發表してゐるが、其に就ては次に述べるであらう。（未完）。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

現實を打破せよ

赤木龍

現代社會は云はず共産黨の世で有り×××××有り難い天下である。又一方から言へば、初から終りまでが法律の法文にて作られて支配されてる恥ずべき社會の現狀である。故に、人間の個性を生かす事も出來なければ本能を發揮させる事も出來ない不可思議なる社會だ人間の生きんとする本能と及び個性は根本から彼等支配者とは到底一致し妥協し調和して行けるものでは無いのだ。かりに出來たとしたらそれは強制されて已む無く盲從したに過ぎぬ。如斯き社會に有りては如何程時代が變っても尊い政治（國民を瞞着して懐をこやす）が行はれても無産大衆の生活上や又は自由とか幸福と云ふものは少なくて大部分は奴等の犠牲に成るのみだ。

現今の俺達の自由は支配者の搾取と××とによくするの自由であり、又俺達の幸福は困苦と貧窮な現實の生活に當面する事の出來た幸福であるのみで過去三千年來續けられてゐる搾取は俺達兄弟を如何ばかり困苦に陷入れしことか。其の爲めに今までに幾多の犠牲者を此の世から葬り去りし事か又悲慘な幾多の慘劇と幾多の悲劇とを犯して種々の罪名のもとに罰せられて暗い牢獄に送られた事だらうか。景氣に成ればなる程、人々が增加すればする程、一般無産者の生活は困苦に犯罪は日增し增加する日々發行される新聞の記事よ之れらの犯罪に滿たされヒニクにも犯す者の大部分は貧困者である、又は現代社會の無情なる差別（前科者）とに合つて生存するにヤムなく再び犯す者等である。然し乍ら高位高官の輩の如く、ガスとかジヤリとか又は三十萬圓の百萬圓のと大それた國民の心血をそゝいだ公金を自働車に乘り廻して白晝公然と強奪する樣な者は一人も無い。

如斯く有りと有らゆる犯罪者に重刑をカセ人間の苦しむを酒香の肴りにする奴等は誰ぞ。又同胞の中に兄弟らしい顔して潛入して仲間が犯した罪を嗅ぎ出して社會に發表し所罪に落す犬は誰だ。又之等の種々の事件が特種だと色々に附け加へて社會に惡弊を宣傳し、犯罪の手段方法を密から密にへと教授するは何奴ぞ。右の奴等を一々と指名せず共誰でも能く解る事であるから諸君にまかす。又最近では種々雜多な雜誌が非常なる勢力で出版されてる當局としては頭痛の種として非常に警戒して居る。毎月數　册のものが配本や發行を禁止されて居る樣な有樣だ。俺達の個人の思想なり行動なり宣傳は、之れは萬人に有利な事だから一日も早く萬人に其の思想なり實行方法を傳へんと日夜考へ出され總べてのものは忽にして奴等の爲めに暗から暗へと葬られてしまふ。それも無理なからん爲めに最後まで鬪ひそして彼等の存在を否定し、又一切の俺達の生存上に不用なものは排擊して、無産大衆が自由に何の迫害服從命令や搾取と強制の下に貧困をしなくても好い社會各人が相互扶助の精神の下に何等の支配も無き幸福な、自由の天地を一刻も早く樹立せなければ成らぬ。そして各自が自由合意の上で萬善をつくして強固な意志を以て過去の歷史を再び地上に表現させぬ樣に實行なせれば成らぬ。

メーデーは最後の目標を凝視て祝へ

吉田源藏

メーデーが來た。資本制度に對する定期的抗議の日、ブルジョアージーの戰慄する日、プロレタリアートの祝福する日、[illegible]の××[illegible]日、反抗と××を撒き散らす日、正義の爲め、自由の爲めに骨を碎く日、[illegible]肉を裂く日、血汐の迸る日、世界の敵の咽喉首に喰ひ付く日、全國の勞働者、全國の小作人、萬國のプロレタリアートの日メーデーが來た。

萬國のプロレタリアート兄弟姉妹等今日だけはハツキリと最後の目標を凝視て呉れ。「八時間勞働制」「團結權の確立」「小作權の確立」「惡法の撤廢」「失業反對」そんなくど〱しい長たらしい布切なんか擔いで歩く事は止めようではないか。タツタ二十四時間だ。

鍬を持つもの、ハンマーを持つもの、ペンを持つもの、[illegible]を持つもの、ハンドルを持つもの、[illegible]を持つもの、[illegible]を持つもの[illegible]……[illegible]出すのでない、それを[illegible]すればよいのだ、それ一つ[illegible]ればよいのだ[illegible]最後の目標めがけて、[illegible]するものに、それがなんであらうと、どんな理由があらうと[illegible]、[illegible]取り、前進することだ。心配するな各自が後は味方だ、同志だ、敵は前方資本主義だ、此奴を狩り取る秘訣は只進む一途あるのみだ。

メーデーはブルジョアーの五月節句ではない、幟なんかどうでもよい、吾等には××がある筈だ。××はブルジョアジーの××式、メーデーは[illegible]所謂[illegible]ではない[illegible]だから。メーデーはプロレタリアート××の前進だ。そして此の[illegible]の目標を凝視する日なのだ。[illegible]を[illegible]する日だ。鍬も、[illegible]も、[illegible]も、筆も、[illegible]も。ハンマーも、[illegible]も[illegible]ふ日だ。布切なんか捻くり廻してヒヨロ〱して居ると、バーソン、スパイス、フイツシヤー、エンゲル、ブロンドー、ジロツドー等の先驅者が笑つて居るぞ……笑ふどころか泣くぞ。

メーデーを祝ふ俺達は、彼のデカンの言つた「神をやめよ、主人をやめよ、吾人の爲めに自由あれ」と、これで澤山だ、これだけを銘記してメーデーを祝ふんだ。

メーデーは吾等の闘ひの決算だ、總勘定だ、タツタ二十四時間で一年中の店卸しが出來るのだ。地の門で轉一回の其の間に吾々お互が胸三寸で、今川燒の飴コロ程の腦味噌の働きよう次

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

第で、綺麗薩つ張りと、大平洋で尻を洗つたような世界になるのではないか。

全世界のプロレタリアート兄弟姉妹よ、吾等の日、メーデーは來た、今日だけは最後の目標目掛けて進まうではないか。お互に腹も減つて居るだらう、疲勞困憊ても居るだらう、だがメーデーは國際的の階級戰だ。メーデーの當日だけは資本主義撤廢以下の運動は止めて呉れ、彼の米國の『四萬人の罷業』に於て、其の導火線に點火した大功勞者、トライアングル襯衣ウエースト製造會社の一女工であつた、クララレムリッチと云ふ少女が、其の大罷業の敢行される前夜、勞働者の大會に於てゼネラルストライキの動議を提出した其の時の言句こそ、實にメーデーを祝ふもの〻銘記す可き金言である。彼女は最も簡單にハツキリと言つた。

「私は先刻から皆樣のお話を伺ひました、然し皆樣の仰言る事なんかはモウ澤山です。私達は此の上凝つとして居られませぬ。私達は現に皆樣が仰言れた事柄の爲めに苦んで、そしてそれを感じて居りますのです。私は此の際私達が爲す可き唯一ツの手段、[illegible]の動議を提出致します」と、窮餘の女工等が此の會場に集つたのは實に此の爲めであつたのだ。

吾等は現實に饑へて居る、病んで居る、疲れ切つて居る、資本家の横暴を感じて居る、今始つた事ではない、誰もが先刻承知の助なのだ。メーデーは泣き事を繰り返す日ではない、苦しんで居ればこそ、感じて居ればこそメーデーを祝ふんだ。メーデーは萬國のプロレタリアートの力で行るんだ、メーデーはブルジョアーの罪業の審判さる〻日なのだ、搾取犯人を判決するの日だ、そして[illegible]する日だ。判官は吾等プロレタリアートで、法律は社會の正義の第一條だ、[illegible]に關す可きだ。

吾等はメーデーの當日を期して彼等ブルジョアーと倶に天を戴かざる事を宣言せねばならない、彼等と倶に天を戴くことはそれは平和を永遠に宇宙から驅逐することであるからだ。メーデーは亞米利加の勞働者が、ブルジョアーに御相談申上る事の馬鹿らしさを悟り、他力本願を排して專ら自力本願に依つて自己の目的を果たさうとした事が起元となつて居る。だからメーデーはプロレタリアート大衆の團結から、眞に迸り湧き出た力で行らねばならぬ。メーデーを祝ふのに、搾取委員等に十日も二十日も前から交渉したり、諒解を得たり、認可とか、許可とか云ふところの宛然娼妓や、酌婦の鑑札のようなものを頂戴してから、イヤ秩序だ、蜂の頭だと官製青年團が招魂祭に參列するような氣分で行つて居る内は駄目だ。

米國の吾等の先輩は、一八八六年五月一日に第一回のメーデーを行るに先き立つて、其の鼻息だけで多くのブルジョアーに兜を脱がせて居るではないか日本のメーデーが年中行事の餘興になつて居るのは歷史が新しいからではないのだ、メーデーにプロレタリアー魂が這入て居ないからだ。骨が碎けないからだ×××××からだ。觀よ歐米兩大陸のメーデーの歷史を、[illegible]が

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

[illegible]であつた[illegible]ほど大殺[illegible]があつたではないか。吾等の先輩であるメーデーの殊勲者、デカンは檢事から死刑を求刑せられたときに、「何ッ俺の首が欲しいのか、欲しけりやア呉れて遣らア！スッパリと取りやがれッ」と叫んだ。此の意氣だ、此の意氣でメーデーを行らう、まつしぐらに驀進するのだ。緊褌一番二十四時間の階級戰に眞實のプロレタリアー魂もて臨まうではないか。

”吾等の桎梏賃銀鐵鎖を打ち切る爲めに萬國の無産者階級よ團結せよ“

メーデーは來た！ 吾等の威力を示せ!!

長濱設

大都會の空を毒々しい煙を吐いて暗くする工場の煙突からも一筋の煙すら立昇らない、休業だ。パン屋も休業だ、食料品屋も休業だ。朝から水も飲まず、飯も食へず空腹を辛棒して元氣の無い顔で、夜になつたが電燈がつかない。電氣の從業員がメーデーを祝つてゐるのだ。眞暗闇の中で彼等ブルジョアジーは原始時代の民族のやうに蠢動してゐるのだ。美衣美食淫荒に何千圓？何十萬と云ふ莫大の金（我々勞働者より搾り取つた血の結晶ー）をオーピラに白晝公然とフリマキ、遊びまわるブルジョア階級は、日頃、吾等を猿のように鐵鎖につなぎ踊らせ、××××××××××××××××××。吾等はいつまでも彼等ブルジョアジーに搾取されてはならない。ブルジョアジーの打つ太鼓にいつまでも踊る猿ではない。吾等は三百六十五日搾取に搾取を重ねられて餓死の淵に落ちこんでゐるのである。吾等は斯くの如き××無道なる彼等を一撃のもとに挫じかんとするメーデーのデモンストレーションこそ吾等の×××××××××である。

その歩武の堂々たるを見よ！その行進歌の喊聲を聽け！汝が部署を放棄せよ！汝の價値に目覺むべし！全二十四時間の休業は社會の虚僞を擊つものぞ。これ吾等が資本の牙城へ肉薄する行進歌であり、未來社會の建設をメーデー旗の下に誓ふ二十四時間休業の行進曲である。

インターナショナルの前に全世界のブルジョアジーをして戰慄せしめよ。然し、メーデーは斷じて吾等無産階級の馬鹿騒をする祭ではなく嚴肅な祭でなければならぬ。この五月一日こそ××××なる資本家階級及特權階級に對する定期の警告であり吾等の威力を示す日である。勝利を迎へんとする者は敵を倒さねばならぬ。地主をして吾等

進め

が自由の土地の上に狂死せしめよ。全勞働者の二十四時間の生産停止こそ資本家をして戰慄せしめ、而して資本家利潤の黑ヴヱールをはぎ取つてこそ眞に吾等無産階級の團結した價値がある全無産階級よデモンストレーションこそ吾等の威力を示す武器である。吾等が行進歌を高らかに高樓朱閣の前を××××で進む時ブルジョアジーは吾等の威力の前に震へるであらう。五月一日二十四時間こそ吾等が、仇敵ブルジョアジーに宣戰を布告するの日である。全無産階級は團結して暴虐非道なるブルジョアジーの陣營に迫まつて、搾取と横暴に對し猛烈なる抗議をするの日である。

　メーデーは我々勞働者が一切の不合理を一切の惡を驅逐し吾等の社會建設の目的に猛進すべき日である。右傾も左傾も五月一日メーデーに同一行動をとつて勇敢に行進せよ。而して空中高く××××××××××××生産を奪還すべく資本の牙城に突進せよ。五月一日メーデーをして、仇敵ブルジョアジーに吾等の威力を充分に示せ！

地球上の總ての勞働者は一齊に休業せよ、都會に、農村に、鑛山に同じ標語を掲げ、資本の鐵鎖を打切るべく、突進する時、彼等は必らずや吾等の××の前に戰慄するであらう。農民は鋤鍬を棄てよ、勞働者は鐵槌を棄てよ、娘子軍も階級意識に目覺たる男性と共にメーデーのデモンストレーションを以て、全世界のブルジョアジーに吾等の威力を知らしめよ。メーデーは來た！

萬國の無産者よメーデー旗の下に集まれ！

メーデーを祝へ！

鄭　重

　メーデーが來た！勞働者の日が來た
メーデーが來た！勞働者の日が來た！
勞働者の世が來た！定期警告日たる五
月一日が來た！壓伏階級、搾取階級を
戰慄させる日が來た！勞働者よ！此の
日を祝賀せよ！此の日を祝へ！此の日
の大示威運動の威力にて彼の征服階級
と搾取階級を戰慄させると共に彼等の
横暴、彼等の殘虐、非人間的たるあら
ゆる行爲に對し×××××××を宣告
する時機が來たのだ。
　マルクスの絶叫した「萬國の勞働者
は團結せよ！」と云ふ標語は毎年此の
五月一日に、全世界無産階級の胸中に
尤も深刻に沁み込むのである。あらゆ
る無産階級は奮起してメーデーを祝福
せよ。新歴史を創造する新元氣を振作
せよ！
　此の日を祝賀せよ！横暴なる資本家
に警告せよ！

臺灣二林騷擾事件と蔗作問題

布施辰治

私は、去る三月十四日出發、四月二日歸着、二十日間の日程で臺灣へ行つて參りました。主要の任務は、臺灣の農民運動に、劃期的の刺激を與へた蔗農組合對林本源製糖會社の二林騷擾事件辯護の爲めでありました。

同事件の事實内容に關する批判は、しばらく別として、其の動機に就て云ふと、臺灣全島の蔗作農民が一樣に苦しめられて居る、所謂製糖王國への抗議的要求が、却て會社側の逆襲に引き掛けられた樣な事件であります。故に、同事件の有罪か無罪か、又假りに或る者は有罪だとしても、同事件發生の原因動機に關する裁判が、蔗農組合側の主張を認むるか、認めないか、所謂製糖王國從來の横暴を看過するか、看過しないか、と云ふ事は、臺灣に於ける農民運動今後の方針に至重至大な關係があるのであります。

事件記錄に依りて、二林騷擾事件發生の動機を要約すると、從來尤も會社側の横暴に苦しめられて居た、(1)肥料の強賣付け、(2)買上價格未協定甘蔗刈取收納、(3)收納甘蔗秤量立會拒絕に對する三ヶ條の抗議に其の原因を發して居るのであります。以上三點の抗議内容は、單に題目を見た丈けでは一寸想像の出來ない程非道いもので、(1)肥料の強制賣付けと云ふのは、未だ臺灣には肥料法の實施せられて居ないのを奇貨とした會社は、勝手な調合肥料を特製し、敢て其の效力があらうと無からうとを問題とせず、苟くも、會社所屬區域蔗作民には強制的に之を賣付けて置いて、最後の甘蔗收納買上代金と差引せられる爲に蔗作農民は、折角自作した甘蔗を事實上只取りせらるるのに對する抗議として、(1)肥料の自由購買を要求したのであります。(2)の買上價格未協定甘蔗刈取收納と云ふのは、蔗作農民の自作甘蔗は、何處から何處迄の分を何會社に買上げて貰ふと云ふ事に官憲からの指定があり、萬一之れに違反したる時は、罰金に處せらるる事に爲つて居るので、蔗作農民自作の甘蔗は、豫め何會社に買上げらるる事に定つて居ると云ふ理由の下に會社側では、未だ買上價格協定の無い中に、會社の都合次第で勝手に之を刈取收納し、然る後ち蔗作農民へ今年度の甘蔗はイクラと云ふ價格を發表し、(1)の強制的

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

に實付けた肥料代も差引けば、會社で勝手に刈取つた甘蔗刈取苦力賃までも、農民持ちに計算せらるゝ爲れ、之れ亦貸上けの計算は付けられても事實上蔗作農民の手に金が這入らない事に爲るのに對する抗議として、(2)の甘蔗刈取收納前價格協定を要求したのであります、(3)の甘蔗收納秤量立會拒絶と云ふのは、會社側と刈取收納した蔗作農民自作の甘蔗が、何萬何千斤あつたかを秤量する時に立會はして吳れと云ふても、會社側では、賣主たる蔗作農民に立會はしめず、買主たる會社側のみで勝手にごの畑からは何千斤此の畑からは何千斤と刈取つたと云ふ事を決定するのは、あまりに非道過ぎるのに對する抗議として、(3)の秤量立會を要求したのであります。

如何です、何人と云へども、只上三點蔗作農民組合から抗議した要求の、あまりにも當然にして、會社側從來の横暴さに驚かないものは無いでせう。にも拘らず、會社側から斯ふした蔗作農民側からの要求を一蹴拒絶せられた爲に起つた事件なのだから、二林騷擾事件被告同樣製糖王國の横暴に苦しめられて居る臺灣全島の蔗作農民は、當面の被告として法廷に拉致せられた蔗作農民のみが裁判を受けて居るのではなく、不島の蔗作農民一同は、今度の蔗作問題がどう爲るかといふ事を今度の二林騷擾事件で裁判せられるものゝ如き注目と、懸念、利害とを一致して居るのであります。

左樣した二林騷擾事件辯護の任務を帶びて渡臺した私は單に法廷に拉致せられた被告の爲に被告事件のみを辯護するばかりで無く、臺灣全島蔗作農民の爲めにも法廷外の辯護をする必要を痛感して居たので、私は渡臺を機會に、無產階級解放運動促進の講演會を開催すると云ふ議があり、私も勢力の續く限り時間の許す限り其の希望に應ずる考へで渡臺したのだから、滯在の日程は誠に短かつたけれども寸時の無駄も無い左記の如き日程で、

二十日	基隆市	聖公廟
	斗六街	新興宮
	斗南庄	順安宮
二十一日	土庫庄	媽祖廟
	斗南床	斗南青敎社
	北斗街	奠安宮
	二林庄	仁和宮
二十二日	彰化街	彰代座
	大肚庄	永和宮
	豐原街	慈濟宮
	臺中市	醉月樓
	臺中市	樂舞臺
二十三日	新竹街	公會堂
二十四日	臺北市	文協支部
	臺北市	機械工會
	臺北市	逢來閣
	汐止街	濟德宮

二十五日	臺北市	文化講座
	臺北市	文協支部
	桃園街	街役場
	桃園街	公會堂
二十六日	嘉義街	公會堂
二十七日	麻豆街	郭氏邸
	麻豆街	本部
	臺南市	靜仙閣
	臺南市	公會堂
二十八日	潮州庄	天主宮
	屏東街	武廟
	鳳山街	雙慈亭
	高雄市	高雄劇場

法廷辯論の三日間と共に二十一ヶ所三十回の講演をして歸りました。

此の間示された臺灣無產大衆の熱意は、實に凄じいもので到る所の講演會を埋めた大衆の氣勢は、夫れ自らなる無作で問題に關するデモンストレーションであつたと思ふ。

此處に眞の裁判と云ふものがあり得るとしたら、其の問題に最も直接の利害と感情とを共通する臺灣無產大衆は、二林騷擾事件を社會的に審くと共に、二林騷擾事件を裁判した裁判官の裁判をも社會的に審いて、甚だ公正且つ嚴肅なものであつた事を喜ばしめた。

歸京早々新潟にも行き極めて多忙故之れ丈で擱筆する。

技術的間隔に對する鬪力赤沸問題

共同理想への戒飭

戸谷白羽

組合運動の發達が終に政治運動への方向轉換期に到達した。此時に當つて殊に重視せなければならない事は、云ふ迄もなく他の無產大衆に對する「指導精神」の確立である。

勿論無產階級解放運動の根本基調は、無產階級專制時代を通過した後に於ける理想世界である事に異議を挾む者は居ないであらうけれども、斯く云ふ理想世界への道程に於ける技術に對する態度の如何が、理想世界に進出の豫想を幻滅する樣な危險を育んで居はしないかと云ふ事を考察する事が最も大切な問題である。

其考察の結果が、無產階級の諸相に對する知識の程度と傳統的因習から受けたイデオロギーを離脫してゐる程度との差から、或は左傾支持となり中間擁護となり右傾鼓吹となりつゝある。

元來無產階級解放運動の根本基調たる理想世界の欣求を同じうして居る者の間に、斯かる進出態度の距離を止揚する事が出來ないと云ふ事は、無產階級解放運動上に於ける

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

至大な損失である點から、之等の分裂を抑止せんとした戰一無産政黨の幻花を追想せざるを得ない。

けれども現在の事情を迫出したからには、斯かる縱線的進出に依る事は今の處全く其望みを絕たれて居るのであるから、如何なる曲折を經やうとも斷じて進まなければならない、無産階級運動が橫線的分裂の陣形に依りつゝありとは云へ、夫れが無産階級運動の現實であるからには、其何れかを支持する事に依る以外には、空想的談理は別として依據す可き何物も無いのである。唯茲に愼重な熟慮を要する事は、各自の執りつゝ有る態度が眞に無産階級解放運動の根本理想を實現するに最善の技術なるや否やに就て常に周到な顧慮を拂はねばならないと云ふ事を痛切に感ぜしめられつゝある。

左翼小兒病と嘲り、右翼老衰病と誹り、中間分裂を笑ふのは、勿論斯くならねばならなかつた複雜な事情が伏在したのに外ならなかつたであらうし、又世界各國の無産階級解放運動史が、常に分裂を繰り返して來て居た事などから考察しても止むを得ない事であつたであらうが、同一階級内の爭鬪の爲めに理想の實現を紛亂せしめる樣な事の無い樣にする事は、我國の初期の道程にある解放運動の上から、殊に注意す可き大切な問題である。

我國勞働者數、一千數百萬、内組織勞働者及組織可能勞働者總數約五百萬、又全國農家戸數五百五十萬、内純小作戸數百五十萬と稱せられ、組合參加者は僅かに卅萬人、而かも其内には協調的のものも混在して居ると云ふ狀態である。爾餘の無産大衆は、資本家又は地主と云ふ特權階級の周密な搾取の鐵鎖に繫縛せられつゝ而かも抗爭意識迄も麻痺せしめられつゝあるではないか。斯かる無限の曠野に突擊して、一城一寨を奪略せなければならない階級戰陣を張りつゝ而かも其共同陣營の内部に於て步武の整調を缺ぐ事に依つて、無産大衆進出の大勢を鈍ぶからしめてはならないではないか。要は現在の樣な橫線的分裂の陣形に依りつゝも、尙ほ共同理想への大道に進出する迄の止み難い技術的間隔なる事を互に相戒飾しなければならない事を力說せざるを得ないのである。

何故に斯くも此事を痛感しつゝあるかと云ふに、例へば吾々の日々當面しつゝある農村に於ける、特權專制の組織的陣形のみに就て云つて見ても、一日たりとも堪へ難い桎の欺瞞欺畧が縱橫に綯い合はせられ宣傳鼓吹せられ、其生活の上に『正義』が全く度外視せられて、而かも多くの無産大衆が、其欺瞞欺畧に陶醉し盡くして居る悲慘な現實を、マザ〱と見せ付けられて居なくてはならないと云ふ事のみからでも、無産階級解放運動の熱力が、更らに更らに赤沸せなければならないと云ふ事を極度に感銘せしめられつゝあるのである。

解放運動途上に於ける技術上の間隙は止むを得ない事とするも、其事が、現在及將來の戰蹟の上に幻滅を見なければならない樣な事の無い樣にしなければならない。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働教育運動の轉化

小森善逸

無産階級解放戰に於ける四大分野の一たる勞働教育運動は、今や轉化の道程に入らんとしつゝある。而して其は、今日までの勞働教育運動の目的、方針に行詰りを來したことを意味するものであり、ブルヂョアの手に依る第一期勞働教育運動の弔鐘を意味するものである。何故そうした結果に到來したか？

初期の勞働教育運動――勞働組合の教育機關に依らざる――は、多く公民教育的であり、成人教育的であり、ブルヂョアイデオロギーの濃厚なものであつた。勞働教育運動に何故ブルヂョアイデオロギーが侵透して來たのであらうか？其はブルヂョア社會組織の崩期に於ける必然的傾向である。如何なる生物と雖ども生に執着がある如く、最早や既に死の宣告を受けたブルヂョアも、彼等の若かりし日の淫逸の虚榮を思ふ時、其處に限りなき未戀を止めるは果たむべなる哉である。されば彼等は意識的に、無意識的に、實に本能的に最後のもがきの手に何物かを摑み、今生の生血を吸はんとする。こうして彼等は、一瞬のより長き生命の爲に、無産階級解放戰の凡ゆる分野にその魔手をさしのべて來る。

顧つて我が解放戰の戰野を眺むる時、其所には數年來の内に、實に目まぐるしい展開があつた。逐年[illegible]した組合數の増加、それに従がふ組織勞働者 増加、その結果經濟鬪爭の分野は著るしく擴大した。斯くてストライキは恐るべき脅威力を以て、益々増大しつゝある。第五十一議會に於ける普通選擧法の通過の結果、無産階級解放戰の政治戰線への展開は、亦實に眩惑的なものである。こうした無産階級解放戰の全面への展開は、從つて後陣の充實が急務である。勞働教育運動、消費組合運動はこの必要に應じて、愈々眞實の任務を意識して來なければならぬ。無産階級解放戰に於ける經濟鬪爭、政治鬪爭の前面的鬪爭に加ふるに、この後勞働教育運動、消費組合運動の裏面的鬪爭がある。消費組合者の戰線に於ける敵陣も要害堅固なものである。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

運動の戰線の分野の敵陣の偵察は、その方面の戰士の任務である。此所には主として、勞働教育運動の戰線の分野に於ける敵の爆發に努めやう。

窮鼠ハ狀態にあるブルヂョアは教育運動の分野に於ても最後の手段を盡して、解放戰に送られ行く戰士の意氣をそゝうせんとしてゐる。ブルヂョアは勞働教育運動を經濟的に援助することに依つて、その教育機關の管理權を手取して終つた。而して、勞働者教育の名に於て、成人教育、公民教育の欺瞞的なプチ・ブルヂョア教育を爲した。成人教育、公民教育がプチ・ブルヂョア意識鼓吹の教育であることとは事實であるが、其は如何なる內容を持つが故にそうであるか。

このブルヂョア勞働教育は、まづ宗教、哲學を課す。それを規定課目としないまでも、講師が宗教家、哲學者まがひの僞善者の徒輩であるが故に、彼等が如何なる他の課目の講義を爲すと雖ども、其の中には宗教的要素が多分に含まれてゐる。宗教が階級意識を麻痺する阿片であることは今更云ふを俟たない。この阿片に依つて如何に多くの今日の無產者が深い無智の眠に眠らしめられ、己れの××××ブルヂョアの搾取を知らざることか！

次に經濟學、法律、社會學、自然科學を課す。吾々にはこうした基礎科學が必要であるか、然り、絕對に必要である。併し乍ら、それはブルヂョアの經濟學、法律、社會學、自然科學であつてはならない。自然科學と雖ども吾々は、其處に階級性を認める。ブルヂョア主觀自然科學は、プロレタリア主觀自然科學――從つて之は自然科學の客觀性と一致するものである――とは、各々異なれる方法を持つのである。ブルヂョア勞働學校は、そうしたブルヂョア一般科學を課す。そして其の講師がとく／＼、意識的、無意識的に依らず御用學者である。彼等は總て勞働學校の講師たる資格は絕對にない。

要するに今日までの勞働學校の目的は、「人生の爲の教育」であり、「成人勞働者の求智心を充す」爲の成人教育であり、又「勞働者としての人格の修養と常識の養成」とを根本として必要なる科學を授け給ふ教育である。

吾々が斯樣なプチ・ブルヂョア教育を受けつゝある間は、永遠に、絕對に吾々の現在のこの無智と、貧困の窮地を脫却することは出來ないであらう。益々その深みに陷つて行くであらう。吾々にはブルヂョアの科學を學んでゐる暇は與へられてない。否學ぶ必要はない。吾々には吾々の科學がある。而して、吾々は吾々の學を創造する爲に、まづ其の爲の理論を把握しなければならない。

經濟的に、絕對的に利害關係の相反するブルヂョアとプロレタリアートとの兩階級は、マルクスの所謂上層建築に於ても、各々絕對的に相反する意識形態を持つのである。かくて吾々は意識形態の一つである科學の內にも反對要素を見る。併し乍ら資本主義の發展は必然的に、經濟的階級鬪爭を導いて來ると共に、科學に於ても無產階級は、自か

らの科學を創造すべく、支配階級と階級闘爭を開始するに至る。

而して、組合運動、政治運動、消費組合運動に於ける今日の一般狀勢を眺むる時、其所には教育運動の切實な要求を示してゐる。過去の煽動的な、暴動的な經濟闘爭は、今日は科學的な闘爭となり、そして舊式な經濟闘爭の指導者等は、その地位に耐へられなくなり、必然的に沒落して行き、そして新たな戰術家をそこに要求してゐる。無產階級解放戰が政治闘爭の分野にまで展開された時、一般勞働階級が政治知識に無智であつたならば、自分の選出せる代議士の行動を監視し得ず、その結果彼等を墮落せしめ、政治運動失敗へ斷崖を導びかれた先徹を徒らに踏むものであらう。消費組合運動はそれ自體、その組織內容を知るに多くの知識を必要とする。

如斯く、今日に於ける眞の無產階級教育の重要性は、最早や其は、單なる解放理論上の問題でなく、無產階級の必然的な發展段階が、今日に於て、その絕對的必要にまで到達して來たのである。而して之が、第一期勞働教育運動の轉化、即ちブルヂョア勞働教育の行詰りを餘儀なくせしめたのである。

勞働教育運動が轉化の段階に到達したことを、現實の社會の中に見極めることを得せしむるものは、唯物史觀の法則である。さればいやしくもマルキシズムを信奉する者にして、而して勞働教育運動に躍進せんとする者として、勞働教育運動の現勢を默視することは、其は明かに無產階級解放戰に於ける自己逃避であり、階級意識の存在を疑がはしむるものである。マルクスは「人類の意識が彼等の存在を決定するのでなくて、寧ろ之に反し、彼等の社會的存在が、彼等の意識を決定するのである」と云つた。斯様に吾々の社會的存在に依つて決定された意識は、其が積極的な、實踐的行動に現はれることに依つて、初めて辯證法的な進行を辿ることが出來るのである。

されば勞働教育運動者は、教育運動の必然的轉化を順調に進展せしむる爲に、プロレタリア科學の創造の爲に、勞働學校の管理權をブルヂョアの手より奪還し、自治確立の闘爭を開始すべきだ。其は勞働教育運動者に宣告せられた運命であり、歷史の進化の法則に順應するものであり、而してその勝利は、來るべき×××の前衛戰の勝利である。

感想

戴天仇氏が支那浪人や、官邊の人々とのみ會合してゐるのは少し絕望です。支那浪人や官人達は、之れまでの支那觀なるものから變へてかゝらなければ駄目であり、國民黨（支那人）の蔣君、蔡君等も政治觀念の基礎的變革をやつて行かなければ駄目です。

—本莊可宗—

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

駁彈

◇……『政治批判』の三月號に載つた林二郎クンの宗教法案批判は、全くナッチョラン。

何んと云ふ頭惱の混亂せることよ!!

彼れは云ふ、

『我々は、それ故に、（何故にだ！　あはれなる文章的氣どり屋よ）、理論的には、絶對的に無神論者であり、あらゆる宗教に對して決定的に敵對する徹底的な唯物論者である。……………』（三頁）

論理は飛躍する、否な混線する！

『かくて（いかにも、かくて）、我々は、××、、、、に對して、宗教の自由を、信仰の自由を敢然として要求する』（一二頁）。

アーメン！

ナムアミダブ！

何んとプロレタリアは善男善女であることよ！　信仰の自由だ、汝等、信ぜよ。

然し其は民衆のための阿片だ！

これでは吾々プロレタリアは迷惑千萬だ！

口吻的マルキシスト、林二郎君の本體はかくて暴露された。何々!!●●●●

◇……三月の『改造』で山田清三郎クンは『紙幣束』と云ふ小説を書いてゐる。

なんと云ふ愚作だらう。

正にプロレタリアをブ辱するものだ。こんなものを書いて原稿料をせしめてゐるプロ文士どもは、××のアカツキには、皆んな×殺してくれるぞ！

◇……と云へば、は山か樹クンは、渡邊賞とか貰つたそうだが、その金を何に使つたか白狀しろ！

それから、なんのかのと云つたつて、キサマ等のやることは皆んな賣名だ！　成り上りたいのだらう！　今に片づけてやるから用心しろ！

◇藤森クンにしたとこで、四の五の云つても、春秋に寄稿したり、キングにまで書ひて、ドエライ『馬の足』を出したでないか？

圖に乘ると×骨だ！

學生運動に於いても『文藝派』はコッピドクやられてゐる。御所、林房雄コト、後藤壽夫クン、以て如何となす！

げに此頃は元氣がなさそうだね！

失戀でもしたのかい？

◇……この頃、金融資本の集中は猛烈だ。中小銀行はバタバタ倒れる。東京渡邊、中井、中澤、八十四、村井、左右田などが其れだ。

左右田銀行と云へば、その當主は喜一郎サンだ。ベルンシュタイン式な日和見主義的社會問題研究者であり、經濟哲學の代表的學者だそうだが、自分の手近の銀行さへ運營し得ないやうでは心細い。學者迂愚のそしり、正に然りだ。

◇……左翼文藝家意識は如何にして飛ひとるべきかとか云ふ迷理論を吐いて、一籠の革命的氣取りに陶醉してゐる田口憲一クンは謂ふ。左翼文藝家意識を把握するには先づ第一に戰鬪的藝術理論を確立するにあるとノタマワれてゐる。

敢えて借問す。戰鬪的藝術理論とは如何なるものか。書齋に於て而も神經衰弱の青白い顏をしてセンチメンタルな××理論をデッチ上げることであるか。又は太いズボンを穿いて銀座の街をウロツキ、モダン・ガールを相手に無産階級の悲痛なる生活狀態を云爲することであるか。

由來、文士等と云ふ者は、少し甘く見せると、直ぐに増長する弊がある。吾が田口憲一クン、幸ひに其の仲間でなからんことを祈る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無産青年運動の意義及目的

澤井龍之助

一、無産青年の革命的意義

社會運動がそれ自身、現在の資本主義的諸制度に向つて徹底的の破壞運動であるとしたならば、必然に吾等は既成の上層建築たる所の總らゆる權力に其の力を集注しなければならぬ。何故なら、假令、下層建築たる所の生産關係が—即ち資本主義的經濟組識が—將に崩壞の過程を辿りつゝあるとしても、其の上部構造を爲す所の權力の支配が强固であるなれば如何に自然律的に×××の到來を待つともブルジョア權力下に於て吾々は呻吟しなければならないであらう。

故に社會運動は現在の資本主義制度を支持しつゝある既成の總らゆる××に對して戰ひ奪還しなければならない。而してそれに必須的條件たるは吾々の持つ「力」でなければならぬ。而して、此の力は吾々無産階級の組織的團結力に俟つものである事は云ふ迄もない。然れ共、最も此の組織的團結力を有する者は他ではない。即ち農村、都市無産階級陣營内に於ける無産青年であらねばならぬ。蓋し、青年は總て是れ情熱的であり、眞摯であり、正義觀念強く、加ふるに懐疑的であると共に眞理を探究する念固く、若し夫れ人生の眞理を發見して邁進する時に、何者をも燒き盡さんずの熱血の持主であるからである。

されば、無産階級戰線の陣頭に起つて先驅する所のものは是れ實に無産青年の他にはあり得ないのではないか。即ち云ふ。無産青年は現在ブルジョア階級に對する××の中堅要素である。

二、官製青年團の正體

吾々は此處に於て、既に、自覺せる無産青年から、眼を一轉せしめなければならぬ。即ちそれは既成の支配階級的ブルジョア的機構に據つて組織だてられた官製青年團である。此の青年團なるものは、概ね、農村、都市兩地方の無

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

產靑年から成り立つてゐる事は云ふ迄もないが、而かも、是れを統率する所のものは、其の地方の資本家、地主の小倅か又は多少土地位ある所のブルジョアジーの手先である。而して笑止なのは、是等の支配に委ねられつゝある憐れむべき無智な靑年は靑年訓練所擬ひ、と云ふよりは幼稚なる軍服擬ひの團服を着せられ（而かもそれは搾られた剩餘の金でだ）得々として、御上役人的光榮の愉悅に浸つて居る事だ。而して多少幹部的地位を得させられると、忽ち大臣にでもなつた樣な氣持ちで狂喜して居る事である。

而かして、彼等の信條は何であるかと云ふに、吾等の識れる範圍の靑年團に於ける「敎養の精神」なるものは、献身、相愛、誠實、奮勵、自重等の如きものであるが、何れを見てもブルジョア的臭味の香んばしからぬ、ものはない即ち、「献身」の如きは骨の髓迄シヤブられて資本家支配階級の腹を肥やす以外の何者でもないではないか。又「相愛」に於て然り、資本家の小倅と「相愛」の仲になれば定めて有難い御利厄があるであらう。「誠實」「奮勵」「自重」等、ブルジョア敎育一流の「希望の光」を餌にして飽く無き惡魔的搾取の囮にするものに非ずして何んぞや。

殊に近來、注目すべき現象は、一般都市靑年の左傾的傾向に鑑み、一方に靑年訓練的軍國主義精神を吹込むと同時に、他方に於ては務めて娛樂的享樂的是れを極端に云へば反動的デカタンチックな去勢的心理傾向に投ぜしめんとしつゝある事實である。例へば、全國各靑年團に於ける運動部の如き、毎一年一回の神宮競技を目當てに郷土の名譽を保持せんが爲と稱し、頻りに運動を奬勵して居る事である。かくて靑年特有の×××意識を抹殺しつゝあるのだ。況んや、靑年團に於ける野球熱に於ては驚ろくばかり猛烈を極めて居る。此の反動的デカタンは支配階級の「體育の奬勵」―實は靑年の×××精神の去勢―なる美名の下に暗に軍國主義的思想宣傳と相俟つて益々、都市、農村無產靑年をばブルジョア意識化せしめんとの魂膽に他ならないのである。

三、無產靑年の官製靑年團に對する作戰

是等、官製靑年團に於ける無自覺なる靑年を覺醒せしむる任務は、無產靑年の外に措いて無い。

從つて吾等は如何にして彼等を覺醒せしめ、奪還すべきかを考究しなければならぬ。

思ふに官製靑年團の一般靑年は烏合の集に等しいものであるが、中には眞摯なる靑年もないではない。而して其の中、最も進步的思想の抱持者は辯論部、文藝部等に多くある。辯論部員の中には都市地方新聞學校等に據る主催の雄辯論會に出場し、從つて新らしい空氣に觸れる機會が多い故必然に社會思想の問題にも關心をかける樣になるからである。又、文藝部員の如きは靑年團の機關雜誌等を編輯しつゝあるものであるが、從つて文學、藝術、宗教、科學等の多方面の書物を讀む中、自づと人生に關する考究、社會に對

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

する問題等、自然に哲學的社會科學的思想と信念が養なはれて來るのに據るものである。

それは、吾等の徒らに盲目滅法的に誰彼の容赦無く青年團員を赤化せしむる必要は無い。尤も總べての青年團員等を自覺せしむるに越した事はないが、然し斯くの如きは勞あつて益ない結果を招きはしないだらうか。

即ち最も進步的にして且人生、社會に眞摯なる態度を以つて臨む所の青年的熱情の溢る、辯論、文藝兩部員を獲得する事である、吾等が接する某青年團は日本に於ける最も保守的、反動的――彼等に依ればH本青年團の中堅、模範青年團――色彩の濃厚な青年團であるが、此の「模範青年團」の中に於いてもやはり辯論、文藝兩部員の如きは侮り難き新思想者を有して居る事である。勿論彼等の資本主義攻擊演說は大學教授流の至極御目出度い半可通な若しくはブルジョアリベラリストの如き徹底さを缺いだものである事は云ふ迄もない。けれ共、夫れは、最高幹部連――學校に於ては校長等――に對する遠慮の意味からであるかも知れない。然し乍ら、事實、青年團の權力を把握して居る者はやはり此の二部であると思つて宜い。何故なら眞に青年團を統轄する所のものは――他の青年團は果して然るや否やは知らないが――機關誌編輯、一般印刷、出版物の監修等々の諸權力を握つて居る此の二部に據るからである。故に吾々は彼等と接近する事は既成青年團乘取りの最捷徑であると信ずる。而して西も東も判らない樣な一般青年團員は度外視して宜い。何故なら彼等は事大主義にカブレたる士偶人形に等しいから。而して此の青年團中に於ける思想的分子即ち心中勢力を獲得せる是れ等の分子を吾々は既成青年團に向つて鬪ひ獲らねばならない。

四、無產青年の細胞組織を造れ

無產青年運動が將來の社會的勢力を獲得する事は云ふ迄もない事である。カール・リープクネヒトが「未來は青年のもの！」と呼んで獨逸革命の悲壯なる最後を遂げ死んだ事は普く世人の知る所でなければならぬ。從つて今後に於ける無產階級運動に於いても此の無產青年の行動に對して深甚の注意が拂はれなければならない。殊に政治運動の熾なる今日、徒らに政治運動――代議士選擧運動――の聲に飮まれて政治運動の尻馬に乘るが如きは最も禁物である。それよりも地方々々に於ける思想的自覺せる無產青年分子を叫合して團結を圖る事が肝要である。かくて地方の思想的分子を集約して一つの細胞となし、漸次、村、郡、府縣等に及ぼし、此處に尨大なる一大無產青年聯盟を建設する事が其の理想である。但し、這は理想案であつて事實上は困難を俱ふ場合が多くある。さり乍ら、地方々々に於て細胞を成立する事は大して困難でない。かくて、總らゆる無產階級戰線の陣頭に起つて先驅し、奮鬪し、號令して支配階級をば戰慄せしめなければならぬ。況んや××××××おいてをや。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

五、將來の無產青年運動の目的

從來の無產青年運動と云へば、等しく反軍國主義の合言葉に據つて爲されて來たものであるか、是れは今後に於いても其の基礎的要素たるを失はない。而かも現今の如き意識的反動化せる社會的事象の下に於ては尙更必要と云はなければならぬ。而して總らゆる反動的勢力に對抗して宣鬪する事は勿論、最も重心を置かねばならないのは政治的結成是れである。政治的結成と云へば直に政黨運動の手段の如き觀念を呼び起すがそうではない。即ち是れを換言せば「力の結合」を意味する。此の「力の結合」が據つて以つて將來か××××のキヤスティング・ヴオートを握るものでなければならない。現在に於けるブルジョア階級が其の斷末魔的最後の立場に慄へ乍ら、其の地位を支持しつゝあるものは畢竟ずるに現在の軍隊があるからである。此の軍隊の機能に據つて將來の運命は決する。故に「力の結合」は政治運動—選擧運動—も其の一部門ではあるが、最も關心を措かなければならないのは「力の組織的集團」たる所の軍隊であらねばならない。既に、軍隊其れ自身は國家の內外兩面を防禦し、而して時に據つて、他國に迄侵略する所の軍國的機關である。それは現在のブルジョアジーを擁護し、外に向つては殖民的搾取となり、內に於いては、勞働者、農民に對する階級的搾取維持の道具となつて居る。而かも其の構成分子を成す所の者は無產階級の子弟であり乍ら、同じ階級的利害の共通要素を持てる同胞に對して常に或は公然或は陰然の脅威を抱かしめて居るのだ。かるが故に吾等は先づ是等の同胞に向つて彼等の蒙を啓いてやらなければならぬ。

飜つて見よ！支那に於ける國民革命軍のあの潑剌たる意氣を！何者をも擊破せずには措かぬ所の熱と力を。

吾等は今や、往年の明治維新に於ける革命的志士を支那に於て觀る。此の意氣、此の熱、此の力こそは吾等今後荊辣の道を辿るものゝ精神であり、亦、それが吾等の目的を指示するものでなくて何であらう。

(第四十一頁よりの續き)朝鮮人二千萬のためには、高等普通學校(中學校)の數が十一校、學級數八三、教員數一八〇人であり、女子高等普通學校(女學校)二校、學級十六、教員數が四十人であり、專門學校、京城帝國大學等の如きも日本人學生の方がはるかに多く入學させてゐる方針を採つてゐる。右に依つても植民地に於ける教育の本質と、その狀態が窺はれるであらう。

(ロ)民族關係

植民地に於ける勞資對立は又往々同時に植民者及び原住者の民族的對立に競合する。若し原住者の中に資本家勞働者の兩階級が發達すれば、對勞働者の經濟的關係に於ては植民者及び原住者中の資本家は共同利害を有する。

メーデの景物
或場面、
天の生

我が國農民運動の考察

平野吉三郎

我が國に於ける農民運動の歴史を探ねるならば、遠く室町時代及び徳川時代に於ける土一揆、百姓一揆にまで、遡登り得、近世的な農民運動も既に、明治八九年はその濫觴を發見し得るのである。即ち・明治八年岐阜縣揖斐郡養基村大字衸井に、小作地の競爭防止を目的として小作組合の組織されたのは、我國の勞働運動の萌芽とも見らるゝ明治十六年に現れた「車界黨」の運動に先つこと、八年である。

然るに都市に於ける勞働運動が著しく目覺しい活動を露しつゝあるに、反し、斯く古い歴史を有し我國人口の七割を占める農民階級？運動の比較的振はないのは何に起因するであらう。もつとも最近に至つて農村問題が喧ましく論議せられ小作爭議調停法等農村關係法規の續々議會に提出せられ出したのは例へばそれが、ブルジョアジーの一時を糊塗する下心から出たものにせよ、農村プロレタリアの地主階級に對する鬪爭の反映と見ることが出來るのであるが此れを都市の勞働運動に比較する時は何は未だ遜色あるを否定する譯けには行かない様に思はれる。之は實際運動の方面にのみ限られては居らないその理論的方面に於いて尚ほ然りとするのである。

實際に於いて農村プロレタリアが都市の勞働者以上の苦難をなめつゝあるに拘らず、尚ほ斯く農民運動の意識的な目覺しい活動の見られぬ因は、種々あるであらう例へば、農村の多くが文化の中心地たる都市より離れて居る結果は、農村プロレタリアの智的向上を遲滯させ、又、地理的に、分散して居住して居ると云ふ事實は、農民の團結的活動を常に妨げる。然し作ら斯る地理的原因以外に農民階級の自覺即ち階級意識の把握を阻害するのは農業の性質そのものに負ふ所も相當多いではなからうか。

即ち、農業生産は工業生産に比較して、生産技術の進歩が迅速でなく殊に小作制度の下に有つては直接改良進歩を計るものは小作人階級である。明日の米價にも差し支え勝ちの小作人が莫大な費用を拂つて新機械・新器具の購入、又は土地そのもの、改良等は到底不可能の事と、言はねばならぬであらうし、又我國は水田を主として營み地勢

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が傾斜が多いと云ふ様な理由も亦生產技術上の進步を阻害する。而して斯如く生產方法の變化の少いと云ふことは、必然的に生產關係の進步を促し得ず又、斯る狀勢の下に置かれた農村プロレタリアの保守的であり、地主と小作人との關係を主從關係となす、封建的、思想を多分に持つと云ふことは、當然のことであらう。

然し乍ら此の樣な原因が常に農民運動の進步を阻害して居たにもしろ、農民運動が社會運動の指導的勢力たる都市のプロレタリア運動との提携に依つて開發さる可きであつたと、言ひ得るであらう、此の事は實際問題として、常に我々の遭遇するところであり又最近に於いては農民組合と都市の勞働組合の提携を見るに至つたが、過去に於いて、農民運動と都市のプロレタリア運動との圓滿な提携を見得なかつたのは、或る一つの迷信に囚れてゐた結果ではなかつたらうか。即ち農村のプロレタリアと、都市のプロレタリアは常に利害が一致せず、否寧ろ利害相反すると言ふ迷信であつた。例へば農民は米價の騰貴を喜ぶのに反し都市のプロレタリアは米價の下落を望で居る。斯る現象は明かに農民と都市勞働階級との利害の相反することを說明するものだと說くのである。此の說は一時は相當に目覺めた農民運動の指導者達さへをも迷はした。

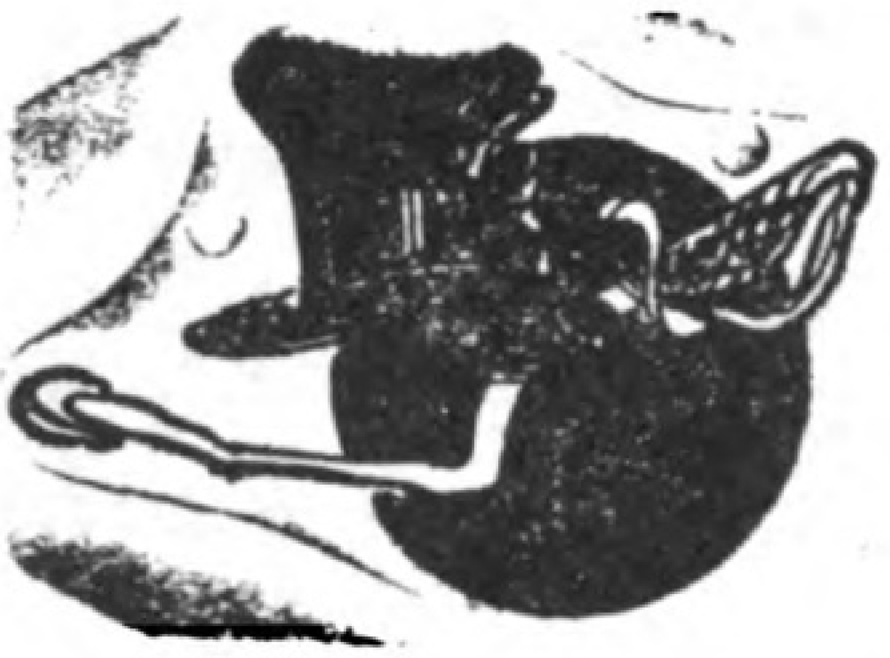
然しそれは農村プロレタリアも都市プロレタリアも何れも資本主義の搾取の下にあえぐ同胞だといふ觀念を忘れ、資本主義に依つてゆがめられた事物の外觀をのみ見、本質を把握することを得なかつた認識不足の愚論だつた。又、米價その他の農業產物の價格が昂騰はやがて、工業生產品たる農具、肥料、その他の生活必需品の昂騰を來すことをも忘れて居たのだ。前にも延べた如く、最近に至つて農民運動と都市のプロレタリア運動が追々提携さるるに至つて斯る迷信は一掃されるであらうが、それでも、未だ大多數の農民の頭に染め込み現に或る農民組合の指導原理の如きは斯る迷信に立脚しつゝある樣に見受けられる。社會主義が社會の體的改革を目的とする以上、農業工業の有機的關係が了解せられずその完全なる調和が遂げられなければ、經濟組織の[illegible]は不徹底に終らざるを得ないことは言ふを要しないことである此の意味に於いても農村プロレタリアと都市のプロレタリアとの徹底的共同戰線の必要があらうと思ふ。

以上甚だ粗雜ではあるが、過去に於ける我國農民運動の著しい進展を見得なかつた重なる原因を述べて來た。斯の如き種々なる農民運動特有の障害に加ふるに、ブルジョア階級の意識的彈壓政策は將來も尙農民運動に對し過去に於けるそれよりも更らに酷烈なる迫害と、種々なる壓迫干涉を加へて、其れが健全なる發達を益々困難に陷し入れるであらう。

然し乍ら過去に於いて斯る困難の下に鬪爭を續けて來た農民運動は益々勇敢に此の障害を突破し必ずやその歷史的使命を果すであらう。

（完）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



「小作料の合理化」運動とは何か

神庭仲之介

一

人力をもつて變更するを許されざる自然的不利益に支配されつゝある我が國農村は、……例へば土地の高低、天候に支配さるゝ事等々……必然的に資本主義の技術的方面に適應する事が出來ない。即ち、土地の高低甚しき爲め機械を使用する事がむづかしいとか、農業が天候に支配さるゝ事は不可避的であるから收穫の結果を豫想し確固たる對策を立てるなどの事が出來得ない狀態にある。思ふに、資本主義の最も利益ある方面は技術を進歩せしめ、生産の增加を圖つた事であつた。この事は現在の大工場生産と封建時代の手工業とを對比して見れば歷然たるものがある。かく、生産力を增進せしめ乍ら、現在の社會大衆は何故にその思想に與かる事が出來ないかと云へば、それは生産に必要なる生産機關が、一部ブルヂョアの所有する所となり、彼等の利己心によつてその生産の如何が左右されてゐるからである。資本主義が人類の共同生活を攪亂するといふ聲は、蓋し、前述の生産機關の私有から起つたものである。資本主義の庇護の下に發明改良されて來た技術的方面そのものは人類の福祉に絕對に必要なるものである。たゞ、それが現在においては搾取的社會組織の爲めに人類の福祉に貢獻し得られないのである。社會主義は搾取關係を撤廢し、技術的方面は完全に受けつぐものである。アナキストの人々は、大工場生産組織の如きを排斥せんとしつゝあるけれども恐らくこうした、主張は實現の可能性乏しいと云はざるを得ない。何故なら、生産力の發展は大量生産、大工場組織を、即ち秩序正しい分勞を前提とするであらうから。社會主義社會においては、需要は減少するものでない。物質に對する需要は文明の發展と共に增加するであらうから、

生産力を阻害する方法は極力阻止しなければならない。

私は論旨を本論へと引戻さねばならぬ。

農業が極めて自然的制限を餘儀なくされ、資本主義の利益ある方面に適應出來ぬ事はすでにして述べた通りである。我國農村が如何に機械の代用に人力を多く勞せしめてゐるかは、いやしくも農村を一目でも見た人なら感ずるに違ひない。勿論、農業機械でも、稻扱機であるとかもみすり機であるとかを人力で否一歩進んで電力や石油で運轉して、この方面においては人力の節減されたのか見え、可なり昔日の觀がなくなりかけたが、一般的に見て未だに農村の機械化は幼稚であると云はざるを得ない。こうした技術を受け入る事が出來ない事情こそ、農村を衰微せしめた最大原因の一であると云はねばならぬ。農村は技術的に資本主義化する事が出來なかつた。

二

農村は以上の如く資本主義の長所は受け入れる事なくして、その弊害をのみ受け入れた。即ち、搾取關係は農村組織に君臨した。勿論、搾取關係は資本主義發生と共に初めて農村に君臨したのでは無い。明治維新以前の封建制度の下においても農民は搾取されてゐたのであつた。しかし、その搾取關係の形式は封建時代と資本主義時代とは一變してゐる。明治維新と共に除々として封建制度の搾取形式は變化したけれども、尚封建制度の遺物が農村組織の内部に今でも執拗に殘存してゐる。この點は恐ろく農村がかの工業の方面の樣に革命的に生産力の飛躍がなかつたからでもあらうと思はれる。勿論農村においても、生産方面の進歩の跡は見えるけれども、それは極めて除々として漸進的であつた。到底、かの大工業への飛躍の様に花々しい目を驚かす様な狀態は見られなかつた。おそろく、工業の方面でも、もし現在の農業の様に手工業的に除々として進歩してゐたなら、今尚封建時代の遺物が多分に殘つてゐたと思はれる、かういふ風に別に假定して見る必要はない。花々しい飛躍を遂げたと思はれる現在の工業の方面にも、尚封建時代の遺臭紛々たる工業に從事してゐる人を見る事が出來る。大阪の關西勞働組合(外に總同盟の脫退組と合同した)などには、そうした仕事に從事してゐる組合員もある樣に聞いた。工業方面にてもかくの如くであるから、ずるずるべつたりと資本主義制度へ後れてペンキを塗代へた農村に封建的遺臭の紛々とあるは蓋し當然であると云はねばならぬ。

されば農村においては、如何なる方面に前記の封建的遺物が根を張つてゐるであらうか。吾人はこれを檢討して行かねばならぬ。蓋しこの小論において企圖する所は、この農村資本主義に混合する封建の流れを見究め、それと近時ほうはいたる農民運動との關係を見出す事である。

三

さて一瞥するに、吾々は農村内に多分に前記のおもかけがひそみ、それが今尚仲々の働きを爲して、その結果農民

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

は苦しみ引いては農業そのものゝ不振を生みつゝある事に氣づくのである。吾々はその城砦を小作料そのものに發見する。實に小作料制度こそは現下農村組織の中心根原を爲すものである。何故吾々がこの小作料をもつて封建制度時代から輸入したものであるかと云ふに、小作料の形式そのものが、封建時代のまゝに現在の資本主義的農村に受けつがれてゐるからである。封建時代において農民が負擔した額は、武士階級の納むべき年貢米と、地主の取得する小作料とを合計したものであつて非常に高率で、その爲め、如何に農民が苦心難澁したかは吾々のすでにして文書によつて知るところである。封建時代における年貢米は武斷的に決定されたものであつた。そして、その年貢米は耕作人の負擔する所であつた事は前記した通りである。勿論、それが一旦地主の手に入りてから上納さるゝ場合もあつたであらう。兎に角小作人は高率な上納米と小作料とを負擔せねばならなかつたからだ甚だ苦しい狀態であつた。彼等は全く武士階級の爲めに捨身になつて働く奴隷であつた。農地を捨てゝ逃亡する事は法の許さぬ所であつたから、彼等は米は武士や地主に納め、自らは屑米や麥を食べ、不作の場合には木の根や草の芽を食つてでも一生涯その土地に働かねばならなかつた。封建時代においては上納米が多額であつた爲めに地主はそう澤山の小作料を小作人から取得する事は出來なかつたのである。所が明治維新と共に事態は一變した。即ち武士階級は亡び、その結果當然年貢米も消滅した。そして、新しい租稅制度が樹立されて來た。それは前者に比して比較にならぬ程輕いものだつた。一擧取得した者は地主であつた。今迄、年貢米の陰に少しづゝしか小作人から搾取出來なかつたのが、武士の滅亡と共に、年貢米と、從前の小作料とか共になつて地主の懷にころがり込んで來た。即ちかつて刀のつばで元叩いて取立てた年貢米と、もう一つの地主への小作料とを合したものが、明治維新後の小作料となつた。大正十一年內務省の發表した統計を見れば、全國平均で地主は五割五步、小作人四割五步といふ風に分配されてゐる。吾々は六割以上も小作料として取立てられてゐる地方も知つてゐる。

されば、現在の小作料は小作人の意志など少しも省みられてゐない。頗る專制的な扁狹なものである。即ち自家の生活分の最小減だけ殘して、他を小作料として差出す式になつてゐる。

現在の民法上では、小作關係を自由契約といふ形式にしてゐるが、それは結局名のみで、實は封建時代のそれをそのまゝ受けついでゐるのである。元來、契約なるものは相互の意志の合致してのみ結ばれるのにかゝはらず現在の小作關係の如きは小作人の意志は省みられてゐない。

四

こうした封建的性質をもつた小作料を受けついだ事は、地主にとつては實に利益であつた。しかし、地主の如き不勞所得階級の利益の增加は決して農業の利益の增進ではな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

い事を吾々は知らねばならない。果して、前記の封建的性質のまゝの小作料を徴收する事によつて、農村の疲弊は防れて來た。勿論、農村の疲弊は決してそれのみにはとゞまらないけれども、その最大原因の一つである事は否定出來ない事であらう。

農民は搾取されて貧困化して行つた。現在都會の増大して行くのは、農民の村から離れて行く證據である。元來、資本主義的生産の基調を爲すものは、利潤の獲得と、その蓄積によつて生産の擴大改良を圖るにある。然るに、農村においては普通一般から企業者と見做されてる農民に果して利潤を獲得する事が出來るか。吾々はすぐ絶望して了ふ。現在の農民には利潤どころか自ら投じた勞働の報酬すら納收出來得ない狀態である。甚だ心細い「企業者」といはざるを得ない。それは何故であらうか。即ち、農業そのものが甚だその生産が振は

メ　ー

友よ！
今日はメーデーだ
俺達はメーデーの先頭に立つて
進軍ラツパを勇ましく吹く
俺達のラツパの音調が解つたなら
俺達の行列に飛込んで來い
俺達は眞赤な情熱で
おゝ友よ！
お前達の参加を待つてゐるのだ！

時は來た！
森　行方に夏が待つてゐる
俺達には夏　太陽のやうに
自由と正義と人類愛との情熱で
赫々と照り輝き
ブルジョア、イデオロギーを
雜草のやうに燒盡すのだ！
俺達の情熱の前には
ただ——
眞理の姿のみが殘るのだ！

友よ！
見よ今日のメーデーを
各國に行はれる示威運動な
フランスは北に向つての行列だ
ドイツは西に向つての行列だ

ない所へ、高率の小作料を強要され、その上尚都市資本主義から搾取されるからである。尚、ブルジョアは自らの代表者である政府を通じて農民を搾取するのである。

かく農民の貧困、引いては農業の不振は四方八方からの搾取によつて深められつゝある。小作人は地主やブルジョアに、單に經濟的に搾取さるゝのみならず、亦政治的に頗る薄弱な地位にある。即ち、屢々問題とされる耕作權すら未だ確立されておらない。地主の所有權は横行して農民は苦しむ。されば、農民は何時引上られるか分らぬ土地を改良する爲めに盡力しようとしない。亦そうするだけの經濟的餘悠を、前述の如き搾取づめに合つてはないだらう。こうした狀況が如何に農業の不振を何時までも續けしめ、我々の利益を阻害するであらうかは、少なくとも心ある人は感づるに違ひない。私は、小作人が經濟的餘悠のない爲めに、肥料すらロクにやらない例を知つてゐる。肥料をやらない所に米

の出來る試はない。しかし、之をもつて小作人を責めるは愚である。罪は小作人にあらずして地主にある事を知るべきである。地主の極度なる小作料の徴收は當然の結果として小作人をして肥料なくして稻を作らんと考へしめるであらう。農民が經濟的に壓迫されつゝあると同時に、政治的に壓迫されつゝある。政治はブルジョアや地主によつて掌握されてるのであるから、必然的に農民の搾取と否一般的には現在の狀態を維持せんとする努力を中心としてる。されば、農民は單に經濟的に鬪爭するのみに止まらず政治的に行動して自らの結成を企圖しブルジョア制度の牙城を突破らねばならない。農民運動が政治運動をせねばならぬ理由は蓋しこゝにある。

五

商工業の事業において、その事業が時勢に影響されて非常に不利になつた場合、株主やなどが盛んに景氣のいゝ時と變らぬ樣に高い配當を分配し、亦それを負つたなら、それはその事業そのものを滅亡せしめる結果を招來する。高橋龜吉氏であつたと思ふが、昨年か一昨年かの改造に「日本の資本主義は何故行詰つたかといふか」（もし間違つてゐたら許されない）とか云ふ題の下に、資本主義の行詰りは、産業に巢喰ふ不生産的寄生蟲が利をむさぼり、それが奢侈の爲めに使用される爲めに招來されたといふ風に書かれてあつた樣に記憶するが、洵に日本の農業はその通りで、農業は今日の發展の爲めに資金を求めてゐるに關らず、不生産者たる寄生蟲によつて、經營者が餘儀ないまでも搾取さるゝ爲めに、農業は不振の日を何時迄も續けねばならない。

いやしくも、資本主義的社會における經營者たるものは、多かれ少なかれ今日の農業の發展に必要な利益を獲得するを正當だと信ずる。こゝにおいて、封建的小作料によつて

デー

イギリスは東へ向つての行列だ
ロシアは南に向つての行列だ
イタリア、アメリカ、シナ等々は
おゝみんな異つた方向への行列だ！
が——
各國の示威運動が同じ方向に
頭と尾と、尾と頭と
鐵鎖のやうに連結して
地球を一週したその時
おゝ、そうだ！
俺達の望んだ時が來るのだ！

友よ！
俺達の進軍ラッパに歩調を揃へよ
勇々しく參加して戰へ
今日はメーデーだ！
俺達は死してもなほ
ラッパを吹く事を忘れないのだ！
萬國に散在する友よ
參加せよ、參加せよ
××××の彈丸も浴びて
勇敢に戰へ！
今日のメーデーに。

田中政義

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

苦しめられつゝある小作人の境遇を引上げ、引いては農業の振作する爲めに、農民に垂れ下る封建的遺物を一掃し、資本主義的生産治下における經營者たらしめんと、即ち資本主義的小作人たらしめんとする聲が起つた。それは「小作料の合理化」とかいふ樣な聲である、之こそ農民運動を現實的問題として取扱ふ問題である。農民運動は手近い所の封建的遺物に惱みつゝある小作人を救濟して、小作料を合理化して少なくとも資本主義社會における耕地の經營者たる小作人にまで引上げ樣とするのである。小作料の合理化とかいふ努力は、封建的狀態に支配さるゝ小作人をして、資本主義的小作人たらしめんとするものである。されば「小作料の合理化」などの際は、それ自身農民運動の終局の目的ではなく、たゞその一過程における一手段なるに過ぎないのである。農民運動の終局の理想は社會主義を建設する事でなくてはならぬ。その爲めには、農民運動は全プロレタリア運動にまで進まねばならぬ。即ちプロレタリア階級運動の一翼として鬪爭する事を必要とする。農民と勞働者は握手しなければならぬ。それなくして解放は夢想だ。

六

吾々は何故に農村から資本主義を排斥せねばならぬかは今更事新しく說きつくす必要はないが論旨の徹底を圖る上は記したいと思ふ。それには農村が何によつてかく疲弊してゐるかを再考すればいゝ。

農村の疲弊する根因を尋ねれば、一に、封建的臭味を多分に有する（それ故に非常に小作人が苦しむ）資本主義化した農村制度、二に技術的に農村が資本主義化し得ぬ爲め、三は都市資本主義よりの搾取、四に資本主義的政治による搾取等に、まあざつとこんなものであらう。資本主義の唯一の長所であつた科學の進步と、農村が適應しない限り農村は資本主義の爲めに常に苦しめられてゐたのである。

こうした疑問があるだらう。「君は技術の發展をもつて資本主義の長所であると云ふか、技術の進化は社會主義社會においてもあり得るのだらう。」と

この答へは明白だ。資本主義は技術の進步を促進した事は蔽ふ可からざる事實だ故に技術の進步をもつて資本主義の長所であるとするのだ。しかし、この長所は、當然資本主義の子供である社會主義が受けつぐに至る事は明白だ。社會主義社會においては恐ろく資本主義社會以上に技術は進步するだらう。

亦こうした疑問もある。

「農村は資本主義の利益ある方面に適應しないけれども、都會は完全に適應してゐる。されば都會においては資本主義は萬歳ではないか」と

この答へも明白である。もしこんな疑問をもつ人があるなら私は、その人に社會主義のＡＢＣからお初めなさいと云ふより外ない。都會は資本主義の利益ある方面に適應してゐるが、資本主義社會組織はその上にブルジョアの獨裁權を振はしめプロレタリアは貧困化して行くのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本勞働組合同盟全國大會の記

利根榮

日本勞働組合同盟創立後六ヶ月間の總決算は、何を組合同盟の上に印したであらうか、又何を今後の組合同盟の活動に約束したであらうか？

只そこには所謂中間派として立場を鮮然として固執し、將來にも現在及過去の運動方針を反映させやうとしての努力を、そしてそうさすべく自己の運動の上に約束したに過ぎない。

我々の期待は完全に裏切られてしまつた。將して我々の運動に、即ち勞働と資本の對立抗爭の過程に所謂中間派と稱し、中間的運動の存在を意識し得るであらうか。

我々は否と答へざるを得ない。最早階級的内的對立の效用性は、既に一應規定され、認識された筈である。認識されたと云ふ事は既にそれ等の對立の鬪爭が一段階の過程を經た事を意味し得るものではなからうか。

我々は斯く信ず。

斯くして認識された上に來る段階は如何にしてそれ等の對立を同一線上に結成すべきか？

尚結成される處に在る。

この意味に於て我々が日本勞働組合同盟の全國大會に現れた一切を批判し、觀察を下す時それは現在の日本勞働運動の飛躍點を意識的に否定し、意識的に矛盾の上にたたき着けやうとして居る事を識る。

先ず發表された宣言に於て然り。

宣言を一貫して流れる處の主張は、戰線の統一と、左右兩翼に對する鬪爭の必然性に在るが、然しその主張を前後して論及なさしめてゐる處の文字は、それは眞の統一のための統一にあるのでなく、又統一への段階としてその左右兩翼への鬪爭でなくその一切は、所謂組合主義的利己主義に依る欺瞞的なそれである。

尚議事日程二日間に於ける、議案の討議に於て見る中央の態度に於ても又然り。

最も重要視されたる全國勞農組合協議の提唱、日本勞農總聯合積極的擴充に關する決議案。これ等は何れを討議するも階級的共同戰線への、即ち統一を他にして論じ得る事は出來ない問題であり、殊に、組合同盟が、且つて總同盟から分裂する當つて揭げたるスローガンの『我等は階級的正道指導精神を確立する』のそれが組合同盟の一切であるとするならば、この問題は、現在の日本の運動の大勢から立論され討議されなければならない。

然るにこれ等に對しては組合主義的であり、又は政治的見解の異なるの名目に隱れて、自己の結成より一歩も出なかつた事を以つて組合同盟の運動方針並に指導精神をして意識的に日本の勞働運動の飛躍點を否定し得ると云ひ得るであらう。

又支那南方政府承認の件に至つては、全く言論封鎖に等しき態度を示し、太平洋勞働組合會議積極的支持の件が動議として提案されるや議案として成立を拒み更に建議案委員會に握りつぶし運動を畫策するに至り斯くして國際的運動も闇に葬り去られ一切は自己の矛盾を意識的に醸成しつゝあるこれ等が組合同盟第一回大會の大約である。

然し日本勞働組合同盟の構成の全部を擧げて斯くしたものであると云ふ事は出來ない。

全士戰報

正義の闘ひだ

眠れる我が町民を欺き、その生血を吸はんとする恐るべき毒牙は、四角八面より迫つてきた。吾が進め社膳所支局は、惡辣極まるブルジョアと××共の行動を監視し、時あらば天に代つて制裁の一撃を加えんと待ち構えてる。

一、彦根共産黨事件に對する警察の不法行動。一、東洋レーヨン會社（三井系）滋賀工場の不法極まる人員採用行動。一、旭絹織會社膳所工場の違反事件、一、膳所町長問題に關する野心家共の策動。一、滋賀縣代議士のからくり。等。

差當り此の數件を片付けて行く心算だ。一睨の下にやつつけて了はなければ駄目だ。正義の前には何者も無いのだ。吾等に勝利の與へらるゝ事は決定的だ。

勇敢なる我が兄弟姉妹よ！ 自己の居住せる所のブルジョアと、それを擁護する××共に速かに××せよ！ 正義の前に躊躇するな。正義は絶對だ。【滋賀縣 木下正】

恐るべき搾取

「進め」四月號見た。勇躍だ！ 躍進だ！ 潑溂たる内容は、物凄い風雲を捲き起こしそうだ。編輯の鮮やかなる事、正に一流雑誌の編輯者である。誇張する譯ではないが、實に「進め」發刊以來の名編輯である。殊に、素人に氣の付かない點に迄實に容易ならざる苦心の織り込まれてゐる事には、吾々敬服の外ない。僕は今日迄、社會主義雑誌で「進め」四月號程の、名編輯をした雑誌を見たことがない。全紙面を通じて一點の非の打ち所もないのには驚異せざるを得ません。極く最近まで東京で或る婦人雑誌の編輯をしてゐた經驗のある僕は、遙かに岸和田の一隅より「進め」編輯子の恐るべき手腕に對し、滿腔の敬意を表します。

我が岸和田に於ける岸和田紡績の横暴なる搾取振りは、既に今日迄凡ゆる方面から非難攻撃の刄を受けてゐますが、最近に至つては實に言語に絶する狀態であります

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

工場法の蹂躙、人道の無視今や殆んど其の極に達してゐます。

佐野、高石等の田舍から出てきて働いてゐる可憐な少女達の頭上には、如何に怖るべき搾取の手の延ばされてゐる事よ！

【岸和田　岡村俊明】

共同戰線へ

春光がキラ〳〵と照り初めるにつれて山々谷々の殘雪が消える。すると其の下から若草の芽が萌え出づる。

一度普選が通過すると森羅萬象の雜草が、我れ先きにと巧名を爭つて、恰も餓犬の屍を得た如く、無產者の爲め、無產者に同情するものなりと、喇叭を吹き鳴らして曰く何黨、曰く何々黨と無產階級を標榜する旗幟を煽風に翩へしてゐる。其の誠意の有無を問はず誠に結構であるが、既成政黨の樣に我黨の福利增進にのみ沒頭し、其の機關紙の全面が皆同志喧嘩の記事のみで埋められてゐる。資本家は喜んでゐるであらう。實に憫然の至りである。

雨後の筍の樣に生へ出づる無產政黨の幹部諸君よ、起つた時の目的たる資本家と戰ふと云ふ事に思ひ致して、鋒先を資本家に何故向けぬ。道草を喰ふ事を止めて早く目的の彼岸に達し、理想の社會を建設すると云ふ事を忘れてはならぬ。敵は大軍である。味方を整へよ。

【大牟田　小松道俊】

憎むべき專賣局

官憲の橫暴、資本家の冷酷それは今更ら事新らしく云ふ迄もないことだが、最近我が茨城縣に起つた一事件がある。

我が茨城縣は煙草の名產地として古くから世に知られてゐるが近年耕作者は、年一年と減少して行く。そして煙草耕作地は桑園と化して行く。一方水戸專賣局では、必死となつて喰止め策を講じてゐるが、農民は煙草耕作を省みない樣になつた。其の理由はこうである。

煙草を耕作するには、二月頃種まきをして苗床から畑に移植するのは、六月初旬であるが、此の間每日何回となく、手入れをしなければならないのである。而して移植してからは、より一層の手數を要するのである專賣局へ賣るのは翌年の一月頃になるのであるが、此の間、自ら耕作した葉煙草を一葉でも吸はふものなら、それこそ大變である。五十圓以上の罰金、三年間耕作禁止と云ふ事になるのである。

兄弟！少し考へて呉れ！農民で無くとも一年間、心魂を打ち込んで耕作した物が出來上がつた時は誰れでも、試食、否試吸したいのは人情の然らしむる所ではないか？それのみではない。此の葉煙草を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

納付する日は、彼等官憲の嚴重なる檢査の下に納付するのである。而して不良の物ありし際は、其場で燒却して了ふのである。農民が一年間血と汗を注いで漸く造り上げた煙草の、如何に多く燒却されるであらうか？其の結果、農民の取得する金は、極めて僅かなものである。諸君！此の葉煙草程、肥料に適したものはないのである。若し不良で買上げる事の出來無かつた時は、何故其れを肥料にさせないのであるか？其れを耕作者に返付するのが當然ではないか！何たる冷酷であらう何たる不經濟であらう。

諸君！未だそれのみに止まらない一般の農民は煙草を耕作するに當り肥料を求めねばならぬ。然るに肥料代を現金で拂へる樣な農民は殆んどない。此の弱點を知つてる專賣局では、肥料商と結托して、肥料代を納付日に支拂ふと云ふ契約を强制的にさす。納付日になつて、農民には假令明日食ふ米が無くとも、そんな事にはお構ひなく、專賣局の會計で差引いて商人に支拂ふのである。此の重なる横暴と冷酷に憤慨した農民は、煙草耕作の愚を知つて年一年と、耕作するのを止める者が增へるのである。【茨城縣 川田紅葉】

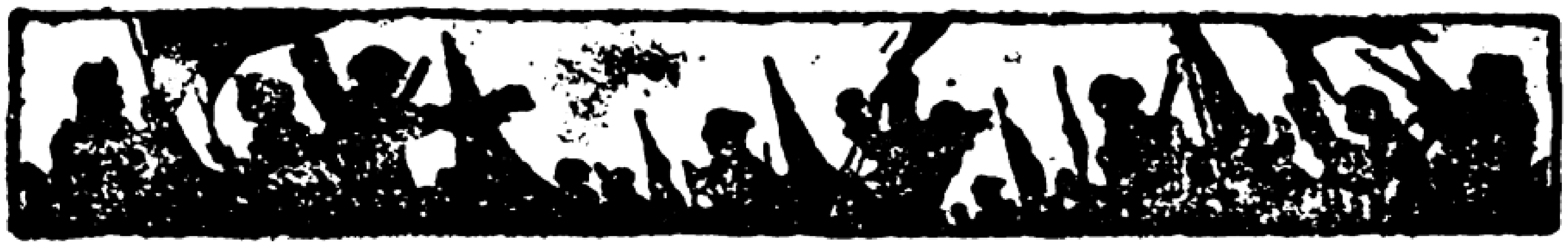
農村の現狀

食へなくなつちやいくら百姓樣でもボカンとして居られない。離村轉職する。農を卑んで忌避するものではない。共存共榮相互扶助に依つて立つ、農村は今や純然たる資本主義化し、二十世紀の文化都會中心の誘惑は、農村を破壞した。我等は如何なる勞力も惜しまない耕し、播き、刈る。全身のエネルギーを絞る。夫れに比例して都會は、農村を搾取する。もうチツトして居られなくなる。

山を漁り獸を捉へて木の實を食つたのは祖先人類の自然生活であつた。我等はそれを憧憬するものではない。否大いに憧れる。が現代では單唯に憧れに止まるのみ。

種の播殖の增大と共に二十世紀文明は、山間僻地の片田舍に製糸の煙突が一つ立ち、洋服、眼鏡が頻りと出入し、村役場はコンクリートに改築され、カーキ色の靑訓が跳ね返り、老人の口にも、若人の口にも憲政會とか政友會とか云ふ語が上せらるゝに至つた。彼等は云ふ。國家の發展と。我等は此の發展によつて苦痛を增すのである。租稅の高まり、負債が出來、祖先傳來の所謂美田も賣らなければならなくなるのである。此れが食へなくなつた果の處置である。勞働は神聖だが食へなくなつちや我等は出來ない。農は國の基だ、なんて氣取る餘裕はなくなる。都會へ、鑛山へと走るのである。況んや小作農民に於いては、一層その度合が激烈だ。地主の息子は藝

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



者買ひから縣會議員と出しやばる毎に地代加持子米は上る。我が子の義務教育處か、子守徒弟に追ひ遣つて一家の經濟を救はんとするのだ。

これ要するに資本主義は農村を疲弊さしたのだ。都會搾取が酷烈な爲だ。吉凶禍福を共に味つた村人達の美しい傳統は、今やその影すら見えない有樣だ、隣家はどうでもよいのだ。自分が食へなくなつた。

階級が生れ、權力がのさばり、生産の器械化、商業化の環境の中に獨り農村のみ平和な生活が續けられ樣筈がない。

帝國主義が行詰り崩壞せんとする秋、轉職して安身立命を求めんとする農村青年の頭腦は、思へば餘り幼稚だ。無自覺だ。この無自覺が又一層、農村を荒癈さす所以である。試みに農村に一度足を入れよ。熟視せよ。町には商店が簇出し、米を作くる百姓が食糧を買入れる事を。百姓では食へないから農村は疲弊するのだ。

二十世紀の腐爛せる都會文明よ汝は何處に行く。農村を置いて都會を中心とせる文明よ、而して資本主義よ。疲弊せる農村を汝は如何に解決せんとするか？

【高知縣　佐根泰郎】

農民黨を撲滅せよ

前號の「進め」全土戰報欄、村山銀次郎氏の記事は適切だ。俺も何日か無産者の敵、萩原正清をやッつけ樣と思つてゐたのだ。

昨年、俺は萩原を訪問した際の彼の話には驚いた。これが日本農民黨富山縣顧問かと思つて少々情けなくなつた。其後、仲間の一人である健名喜一郎なる低腦兒も農民黨に關係してゐるのを見て、成程、日本農民黨には、ドエライ者許り揃つてゐると思つた。

彼等は無産農民の味方であるらしく粧へるも其の實、資本の協力者であることを曝露してゐる――前號村山銀次郎氏の稿參照――彼等は富山縣には、我々がゐると云ふ事に氣付かないのであらう。

彼等の運動費の出所は我々には判つてゐる。それは無産者の血を搾取した資本家の金庫から出てゐるんだ。

低腦兒健名が常にスパイの家へ遊びに行つてゐる事は世間周知の事實だ。そして農民黨のやる事が凡べて、官憲公許の下にやつてゐる事も否定すべからざる事實だ。

俺は昨年、戸出の××（廣瀨）の爲めに、六ケ月の別莊生活をして來た。そして其の爲めに母親と一人の弟とを捨てた。出獄以來、及ばず乍ら奮戰してゐる。縣下の無産者を×××へ導くべく死を賭して戰つてゐる。そして無産者を僞はる日本農民黨撲滅の爲め身命を抛つつもりだ。

彼の吸血兒萩原や、低腦兒健名

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を我が富山縣下より放逐し、日本農民黨をして再び富山を語らしめない樣にしなければならぬ。【富山縣　吉田一郎】

闘ふ女工

私達女工は、牢獄に等しい宿舎に押し込まれ、犬猫にも劣る飲食物を供せられて毎日々々資本家の慘虐なる搾取振りに憤慨しない事はありません。

職工長、監督等の顔を見ると鬼の樣に見えます。朝早くから叩き起こされて、夜の十時迄夜業をさせられるのには、如何に無智な私達と雖、默つてゐる譯には參りません。私達女工二百餘名は、現支配人小倉の傲慢に憤然と起つて四月一日同盟罷業を敢行しました。私達の工場は碧海郡矢作町・合資會社丸一製糸場です。

處が會社の顧客先である加藤、中野の兩名は、調停すると云ふ美名に隱れて、私達を欺き、罷業女工の切崩しに狂奔してゐるのであります。然し、私達女工の結束は斷じて裏切り者は出ません。

警察の奴等も干渉してゐるが、決して其んな威嚇に脅える樣な者は一人もゐません。壓迫すれば、する程、より團結が强固になるばかりです。私達は飽迄も鬪ひます

支配人小倉排斥及び待遇改善を要求して。【愛知縣　田澤逸子】

搾取と支配

人間が人間を搾取し、人間が人間を支配し人間が人間を冒涜することは戰慄すべき罪惡である。それは個人的たると、社會的たると國家的たるとを問はず斷じて許容すべからざる罪惡である。

然らば此の罪惡を、此の社會から芟除するには如何にすれば良いか。それは現資本主義制度××××××××に依つて果される。即ちブルジョア本位の現社會を×××××するとに依つて解決される。

此れを説くのが社會主義である。然るに、我が無産階級中に、社會主義は國を滅ぼすものであるとか、社會主義は××××××××××××するものであるとか、日本をロシアに賣らんとするものであるとかの下らない事を、知つたか振りして、世を警めてゐる者がある。社會主義は××××××××××して其の目的を達したものとするものではない。實に、××××××にある。今日の民衆は前記の樣な分沒漢の言を輕卒に信じて、日本の社會主義は恐るべきものだ、日本の敵である等と實に笑止に値する觀念を抱いてゐるのには些か悲觀せざるを得ない。

然し、どうした處で、先覺者の言は、初めは嘲笑されたり、排斥されたりするものであるから、根强く、氣長く、而も大地を踏みし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

めて運動をしなければならぬ。そして人間が人間を支配し、人間が人間を搾取する様な不合理な社會を×××××××すべく勇敢に突進しなければならぬ。

【佐賀縣　栗原洣】

罪人は惡徒か？

三月號の全土戰報で中山學堂君の「咄！罪人製造」を讀んで、痛切に感じたことは、日本全土に此の種の事件が、どれ程多いか知れたものでないと思ふことだ。早い話が、昨年、金澤九師團管下に起つた一兵卒の共産主義の軍隊宣傳事件の軍法會議にしたつて、矢張りその通りの罪人製造であつた。高岡市に於ける流星社の事件にしても矢張りそれである。その他此の種の犯罪製造は至る處の新興思想青年の上へ加へられて來てゐる。

俺達は當局の誤裁を正し、飽迄賠償の道を講じ得るやうに運動しなければならぬ。そして前科者となるのは良いとしても、一生を通じて受刑者の受ける損害は恐らく當人以外の者に分るまい。あの人達は皆正當な人達なのだ。弱肉強食の世の中には相違ないとしても國民の血税や租税で生意氣に、ふんぞり返つてゐる連中には解るまいと思ふのだ。弱肉強食が本當なら、その様に最初から教育したらいゝではないか。南市長の様に金の力で地位を得、學位をとつて、妾の七八人も飯米と小遣錢で養つてゐる力がある人で、始めて法律の保護も受けることが出來るなれば世の中は真暗だ。私は恐ろしい裁判の現實を曝露した中西伊之助著の「人生記錄」と云ふ本を進め讀者諸君に讀んで頂きたいと思ふ滿更嘘は本に書けぬものだ。發賣禁止と云ふ奥の手も官憲にはあるのだから。俺は世の中からこうした不合理を全く無くしたいと思ふ。市長などゝ云ふ様な者もいゝ加減なもので前の上野市長にした處で、政界へ這入つて此の方、錄くな事はしない。南市長だつて色々な風評がある。【高岡市　K・O生】

大衆の友社會主義

近來、社會と云ふ文字は新聞雜誌其の他各方面において、非常に多く使用されてゐる。而して其の社會と云ふ二字には危險性を帶びてゐるかの如く解せられてゐる。然しそれが如何なる意味で危險視されてゐるのか判らないが、多分社會主義なる文字より來る先入的危險觀が其の因をなすのであるらしい。然らば何故、社會主義は危險視さるゝのであらうか？世人の多くは社會主義を危險思想とし、危險思想と云へば直ちに社會主義を連想する様な誤まつた觀念を持つてゐる。誤解も亦甚だしい。而して社會主義を危險思想なりと說いてゐる者の凡べては、果して社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

會主義の眞の目的とする所を知悉してゐるであらうか？否！其の意義すら判つてゐない。

然し又一面より云へば社會主義の危險視さるゝのも無理ではない何となれば社會主義は、現社會を××して新らしき社會を創造せんとするものであるからである。現社會の支配者にとつては實に危險なものであるに相違ない。然し資本家と其れに附隨する權力階級とを除いた以外の國民即ち、無產階級にとつては、此の社會主義以上の良いものはないのである。資本家には危險思想であるが、無產者には歡迎すべき良いものである。

諸君！考へてみよ。人間は生まれ落ちる時、お前は支配者たれ、お前は被支配者たれと宣言されてゐる譯ではない。即ち、平等に生れてきたのである。然るに生長するに從つて段々と人間と人間との間に階級づけられて、吾々プロレタリアはブルジョアに支配され、搾取され、××されてゐるではないか。人間は凡べて平等に生きねばならないにも係はらず、非道なる支配と壓迫とを受けてゐるのである。平等の生存を蹂躙され、人間としての權利を剝奪されてゐるのである。

人間は地上に生きてゐる間は、社會の文化、文明の開發を企圖しなければならぬ。社會主義は實に社會の文明を、より向上せしめんとするものに外ならない。凡べての人間に自由を與へ、平等に生活せしめんとするものである。貧富の懸隔は人間を階級づけるものであるから其の貧富の懸隔を排除しようとするものである。斯くの如く社會を平和に、人類を平等に仕様とする社會主義の何處が危險であるか？何人と雖、熟思三考すれば判る所である。

然るに日本魂とか、建國の精神とかを有してゐると云ふ自稱國士連中は社會主義を撲滅せよの、社會主義者を國外へ追放せよのと盛んに迷論を並べてゐる。彼等はゴロツキである。資本家より金を貰つて社會主義を敵とするものである。若し社會主義者が彼等に金をやれば、彼等は直ちに社會主義の味方をするであらう事は確實である。彼等は要するに、生活せんが爲め、社會主義反對を口にしてゐるのである。

亦、政府も、資本家の味方をして國民を度外視し、治安維持法とか、勞働組合法とか、健康保險法とかを作つて無產者を壓迫し、無產者の生活をして、より逼迫せしめつゝあるのである。

彼等と我々は敵である。彼等と我等の鬪ひは實に戰爭である。國民は、政府、資本家の樣に國民の利害を無視するものと、社會主義の何れが是であるかを遂に悟らざるを得ないであらう。勝利は我等にある。社會主義の掲ぐる×××に集れ！

【大阪 三木田善太郎】

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

山陰の戰陣

■吾等は山陰の中心地米子に支局を維持する事茲に五年、同志手をつなぐ僅か六百、少數なれども自ら無産階級の精鋭を以て任じてゐる。裏山陰の農民勞働者を覺醒せしむるにいさゝか力を致せしものである。

■政治運動は少しも振はない。吾等は政治運動は都會において無産階級の團結を破つて了つたを遺憾とし何れの政黨にも參加しない事を宣明してゐるので、從つて組合員中にも政治運動には熱がない。勞農黨は山陰に確固たる地盤を有してゐると無産者新聞などが書き立てゝゐたが、あれは例の通りの誇張で、たつた十人計りの代議士病にかゝつてゐる者の宣傳に過ぎない。去る三月下旬大山勞農黨總裁珍しく山陰に巡閲され講演會を開かれしも多數の傍聽者たる組合員は大山氏の演説半にして堂々と退場して了つた。

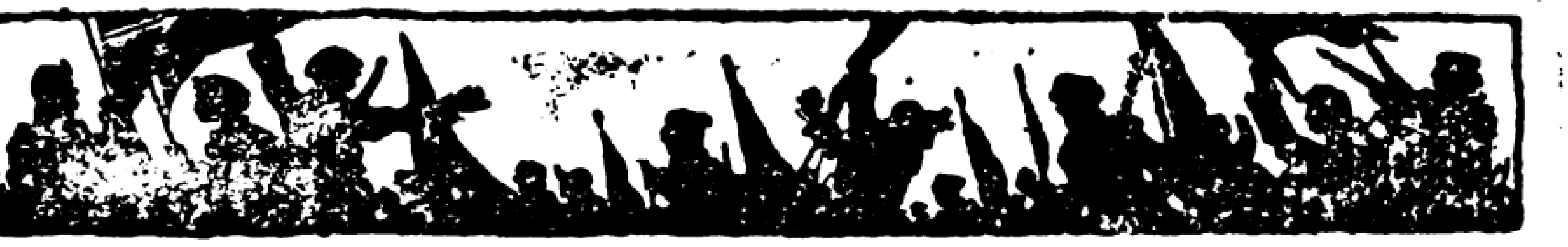
■しかし眞の無産政黨が生れた時は、山陰に於いて優に十萬の黨員を集める事は決して難事ではあるまい。勞農黨は獨よがりの排他的既製政黨であるから批判力に富んだ山陰の無産者は受入れる事が出來ない。實に山陰人は聰明である。政黨でなくとも政治運動は出來る事は知つてゐる。内部運動は政治運動を避けて戰線を强固にすべく努力してゐる。都會から來た某氏は云つた。「山陰は政治運動が分らぬ程幼稚である」と、私は答へた。「決して都會の野心家の御先棒はしない喰物にはならない、山陰を攪拌に來る奴は命を取る」と云つてやつた。實に山陰は山間僻地であるが健實性を多分に有してゐる。

■農民運動は實に盛である。恐らく全國で最大最强の所であらう。去月元の山陰聯合會の創立者であつて、一年の入獄中に泥幹一派の爲めに乘取られ、敢て騒かず去つた湯原彦三君は組合員の懇請によつて歸郷した。日本農民組合を脱して集まる者一萬人、島根縣の山崎、安達、山根の諸君全員を擧げて參加す。實に總數二萬人、他に未組織農民の馳せ加らんとする者又多し。半歳の後、三萬有餘人とならん。實に前途洋々たるものである。同組合は杉山氏等の全日本農民組合に屬してゐる。

■藥本和夫の郷里、東伯郡北條村も全員殘らず全日本農民組合に加盟した。泥幹の哲學製造者も大衆の聰明なる限り一蹴されて了ふのである。

■松江市に平民新聞社と稱する男あり。桑原半次郎なる地主の後援によつて島根縣聯合會を攻撃してゐるが何等勢ひが無い。大衆の笑ひ者である。元政治研究會支部の會員をごまかした男である。これが勞農黨島根支部長であるから、各地の勞農黨も大低うなづかれて

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



了ふ。米子に於いては安田刑事の情婦を母にもつ坂本一郎あり。京都府議會にて國領吾一郎に妻を奪れ煩悶の結果自殺せんとしたところを、湯原氏に救はれて山陰に來たりしも湯原の入獄中湯原の追出策を企でし佐々木隆太郎も例にもれず泥幹である。その爲めにかゝる輩を山陰に存在せしむる事は百害あつて一利なしと云ふ聲が山陰の農民勞働者の中に叫ばれてゐる。

殺人會社を屠れ

【鳥取縣　服部芳象】

彦根共產黨以來、暴壓と失業とが一度に襲つてきた私は、一日も無駄にせず運動してゐる。

此處に、ブルジョアが露骨に、平然と、大規模に殺人を行つてゐるのを目擊した太田兄と私の全身の血はほとばしつた。私は太田兄と共に食はんが爲め、殺人會社の職工募集に應じたのだ。殺人會社それは旭人絹である。

工場の外は近江八景で名高い粟津ケ原、名ある所丈けにブルジョアの群が酒汲み交はし談笑してゐる。片方、工場の內では幾百の同胞が貴重なる自己の身體を傷けながら食はんが爲め、死の淵へ一歩〳〵と陷りつゝあるのだ。何と云ふ對照だ。私も太田兄も共に此の紡糸科と云ふ處へ入つた。強烈な硫酸を使用する關係上、手ははれ上がり、眼は針で突く樣に病む、實に焦熱地獄だ。

文明は人を殺す。之れ皆ブルジョアに依つて露骨に行はれてゐるんだ。文明は直接に人を殺さないが、その文明を利用せるブルジョアが吾々プロレタリアを殺してゐるのは確だ。

排氣設備不完全な爲め、毒瓦斯は室內に充滿し、中途退出者續出し、殘りの者は晝食を取る暇もない位にこき使はれるのだ。初日給八拾錢、八時間勞働は一片の紙屑に書いたホグに過ぎない。十二時間程の勞働をさゝれてゐる。會社側では八時間勞働八十錢では生活出來ぬであらうから十二時間働かしてゐると涼しい顏をしてゐる、八時間でなければ衞生上惡いと云ふから八時間制度になつたが食へないと云ふ事を知つたから十二時間働かしてゐるのだ。衞生上惡いと知りながらも食ふことの出來ない爲めに職工も十二時間働いて、漸く其の日〳〵の口を糊してゐるのだ。而して死の淵へ陷づて行きつゝあるのだ。

壓迫と屈辱に忍從してゐた職工も遂に起つた。が堀井寅次郎なる裏切者の爲め見事失敗した。そして二人の犧牲者を獄屋へ送らねばならなくなつた。吸血鬼は凱歌をあげた。殘念だ！畜生！生きる權利を主張すれば失業し、戰へばに入れらる。何たる慘虐だ！暴虐だ！畜生！覺えてろッ！

私は病氣の爲退社した。太田兄

も解雇された。汝ツ！屈服するものか。我々は何處々々迄も戰ふんだ。正義を騙して生きる權利を主張するんだ。

旭人絹のみではない。全國に散在する幾多の人造絹糸製造職工は皆、斯くの如くにして殺されつゝあるのだ。人造絹糸製造職工ばかりではない。凡ゆる生產に從つてゐる吾々の兄弟無產者は、ブルジョアの爲めに全部殺されかけてゐるんだ。

全國の無產の兄弟姉妹よ！起てそして旭人絹の如き橫暴極まりなき殺人會社を階級戰の××として槍玉に上げよ。無暗に彼等に殺されるな。【滋賀縣　伊藤誠一】

鑛毒問題

北見の一角に住友の弗箱たる鴻ノ舞鑛山がある。そこからはブルジ・閥を富るとも何惜しからずとなす黃金が掘り出されつゝある。

然り！幾百の我等の兄弟は彼等の虐使に色青ざめつゝ鶴嘴を朝夕振りつゝあるのだ。

それのみならず、鑛毒の爲め極度の生活に脅かされつゝあるのは鑛山より俺の村を通つて流れる紋別川の下流にある漁民である。鑛山より流出する鑛毒は、美しき河水を泥色に染め、而して一匹の魚だに棲むことを許さない程猛烈だ。故にその下流に漁業を以つて生活の資料となす紋別の漁民は必然的に食を奪はれる。鑛毒の猛烈さは從來の何回にも亙る分析試驗によつて決定されてゐる。

此の鑛毒問題は新聞紙上に報導されるや、狡猾なる住友は、十二萬圓を以つて漁業區の一、二を買收し、そして責任を免れんとした。然し問題は一、二漁業區の買收に依つて解決される樣な簡單なものではない。何となれば、食を奪はれたのは買收された一、二の漁業區の漁民だけではないのだ。附近一帶の漁民全部は食を絕たれてゐるのだ。而して彼れ住友は此等の漁民に一言の挨拶もないのは冷酷と云はずして何である。

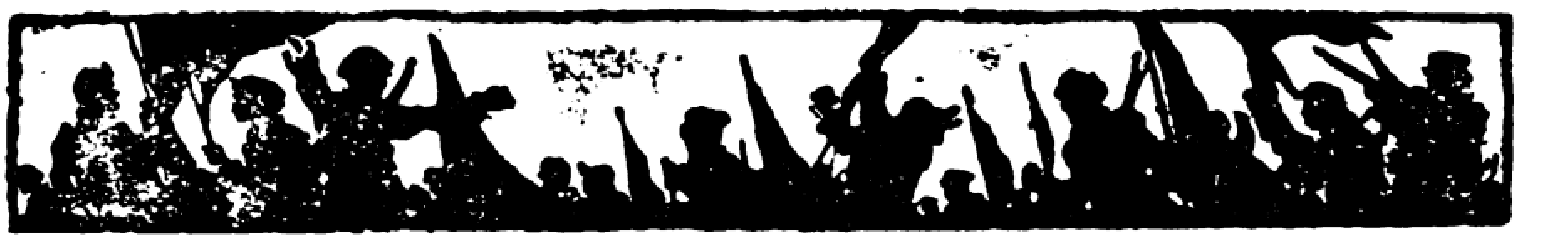
住友は殺人行爲をやつてゐるんだ。而かも此の殺人行爲を默許してゐる紋別警察署の御用振りには驚くの外ない。吾々は貴樣達の手に依つて救はれたくはない。吾々には日本全國の無產階級があるんだ。【北海道　北村陽之助】

タイムスに與ふ

北陸タイムス紙は第六千五百七十九號の第三面へ二段抜き見出しを以つて

赤く危險な奴等
縣下各地に分布（以上初號）
縣外から流れ〳〵て入り込む（二號）
浮草の如く居所定らず（二號）

なる題下に十五字詰二十行の記事を載せてある。それに依ると近時學生、靑年などの思想が惡化に傾かんとするの風ありとて當局は憂へてゐるそうである。そして富山



縣下に於ける危險人物、要視察人等を調べて見ると云々。滑川、高岡、東礪波の福野町附近の某村には赤い奴がゐる云々の俗に云ふ惡口記事が書かれてある。

由來、北陸タイムスは本縣下に於て他の如何なる新聞よりも多數の讀者を有し、主筆內藤隆氏の健筆よく時事を論じ、公正中平なる國家民人の木鐸として一般人士から貴ばれてゐる社會の公器である。故に新聞と云へば縣下では小兒と雖も、直ちに北陸タイムスを想像し得る程の勢力を有するのである。

敢えて論ずる迄もなく、批判なき衝動記事を掲げて他を中傷するは、公人の恥とするところ、罪惡でもあり、タイムス紙が常に云ふ惡德でもあるのである。

然るに何ぞや、北陸タイムス紙は、赤く危險な奴輩とは何ぞ、浮草とは何ぞ、福野町附近の某村とは何ぞ、赤のやつとは如何なるやつぞ。吾人は敢えて主筆內藤隆氏の釋明を必要とす。而して近時の公人及び其の機關が、口を開けば惡化、筆をとれば危險、進んでは北陸一帶に拔く可からざる宗教的勢力を有する本願寺の布教師諸君までも是に雷同さるに於いては吾人亦、禿筆を呵してその依つて來たる處を明かにしなければならぬ。赤、危險、奴輩、思想、惡化、やつ、浮草、斯うした活字は一般人に如何なる印象を與ふるか、批判力なき多數の國民が、その信賴する言論機關及び指導者の、嫌惡すべき文字文句の羅列を如何に聞き如何なる事を思惟するか。これ等の文句は論理なき決定であり、憎惡觀念徴發の意識的暗示である。斯くの如の日常の宣傳は無意識的に或ひは意識的に對者の頭腦に注入蓄積されて潜在意識化し、一朝事變の際に於て、人間社會のソリダリテーの上に大打撃を與へるものであることを忘れてはならぬ。十二年九月一日の關東大震災が如實にこれを立證したではないか。

北陸タイムス紙よ、礪波は否、富山は未だ封建の夢の溫もり全く去れる所ではなく、プチ・ブル今や漸く普選に乘じて擡頭せんとする傾向しか持つてゐない。大資本と全勞働、そうしたもの、具體的對立は構成されてはゐない。

如是言をなすが故に早計にも吾人を赤と危險と奴輩と思想惡化と浮草とやつで葬らんとするか、パイブルの言葉を引用する迄もなく他人の眼の上にある塵よりも自己の梁、先づその立場に自覺せられたい。批判力なき國民を誤れる方向に指導することを愼まれたい。貴紙の謂ふ「お目出度い程度の」記事は避けられたい。三面記事に要視察人の惡口を書いて兒戲に類する快味を味ふことを捨てられたい。思想と現實の理論鬪爭ならば吾人は何時でも論戰に應ずる。また縣廳の要視察人のことに就いても吾人は多く書く可きことを略す。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

る。憶病なる危險呼ばゝり、女々しい惡口を愼まれたい。而して貴紙の日電攻撃をして意義あらしめたい。

北陸タイムス紙の名譽の爲めに吾人はこれ以上多くを書くを欲しない。只事實報導ならば正確に、論説ならば公平に、奇激な論調を止めて當局の惡化とは內容を解剖せらるゝことをこそ、吾人は希望する。そして此の問題に對する第一回の筆を擱く。（三、三一）

【富山縣　中島安太郎】

農民は戰へ！

金澤市會は水道敷設案を容易に纏める事は出來ず、最後の手段として、相良市長は、市民大多數の意見を無視して、而も斯くの如き重大問題を投票法により、僅か一票の差にて無理矢理に水道案を通過さした。而して其の水源地を經濟の關係上、犀川に求むることに決議した。其處で犀川附近の農民は犀川の水は毎年渇水期に於て、灌漑水の不足を生ずることは毎年の例によつて明かな處で、一滴も市民に分與する事は出來ないと云ふ所から、水道水源地反對期成同盟會を結び、今尚、金澤市と戰つてゐる。

同志――農民諸君！堂々と戰へ!!農民の生活を飽迄蹂躙した彼等の不法!!行爲に對し、飽迄反對せよ。

金澤市の經濟關係上、農民の田畑が枯死しても犀川の水を取らねばならぬと云ふ理屈はない。彼等と戰つて最後の勝利を得るか。彼等に服從して死を待つか。此の二ツに一ツの道しか無いのである。農民は倒れる迄戰へ！最後迄戰へ勝利の聲を聽く迄斷じて戰の手を止めるな。【石川縣　北野秋鳥】

市電値上反對

名古屋では近く市電の値上げが豫想されてゐるが、この値上げに由つて直接間接に甚大な影響を見るのは無産階級であつて、いづれも昨年來各處に演說會及び署名賛助を募るなどして、大々的に反對の氣勢を揚げてゐる。四錢均一制を七錢均一制にして暴利をムサボらんとする市電の値上げはイカなる理由があるにせよ、徹頭徹尾反對しなければならぬのだ。田坂市長は最近東上して、政府筋ではすべて同情ある了解を得たから市電値上げも安心とコッソリ會心の笑みを側近者に洩らしたサウだが、ドッコイさうは問屋が卸さないぞである。川崎内務次官の子分である田坂市長が今後ドンナ腹藝をするかミモノであるが、既に各勞働團體及び新聞聯盟では昨年以來引續いて市電値上の反對演說會を連日連夜開催を目論でゐるから、市民は大々的に之れを應援して最後の勝利を期すべきである。

【名古屋　加藤一郎】

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯室より

□　□　□

全世界無產階級の熱き擱日であり、ブルジョアジーに對する、定期の警告日であるメーデーは來た。我等は此の日を、資本主義×××××たらしむべく、偉大なる團結の力を示さなければならぬ。此の日、日本全國の無產階級は、街頭に於ける××××たるメーデーの示威行列を最も盛大に、且つ、最も有意義に行はねばならぬ。

□　□　□

破天荒の勢を以て、敵、資本主義を×××××、×××××××、×××行進　よ！彼等をしてメーデーの前に×××××せしむべく、更らに全世界のブルジョアジーをしてメーデーの前に××××××××、プロレタリアインターナショナルによる牢固、斷じて動かざる鐵石の團結力を以て彼等と鬪爭せよ！我等の喊聲をして全日本を震撼せしむべく、我等の行進曲をして全世界のブルジョアジーの耳を聾すべく、××××××××擾騒して勇敢に進せよ！

□　□　□

世は春日、長閑なる太陽を受けつゝある時各地に銀行の取付騒ぎが頻々と演じられてゐる。其の結果、遂ひに全國の銀行は一齊に休業した爲め、金融は停止されたのでブルジョアは國を擧げて之れが安定策に腐心しつゝある。これ即ち、資本主義が、最後の沒落に臨まんとせる、過渡期に於ける苦悶焦燥の具現化でなければならぬ。

□　□　□

帝國主義下にある資本主義の、沒落に瀕せる苦悶の現はれは、今や明かに我々の眼前に曝露された。マルクスの言つた「資本主義は自ら有してゐる内部的矛盾に依つて自滅の道を急ぐであらう」の言は、正に此の場合に適用され得る。斯くて資本主義は、歩一歩と自滅の道を辿りつゝある。

社告

誌代十ヶ月分拂込讀者に、マルクス大寫眞を無代で贈呈する。

定價

一部	五部	拾部
拾錢	五拾錢	一圓
郵稅一錢	郵稅五錢	郵稅拾錢

無產階級戰鬪雜誌　進め　毎月一回一日發行

□誌代は總て前金拂込の事
□成る可く振替で送金の事
□郵券代用必ず一割增の事
□住所姓名は明瞭に書く事
□支局は十日迄に拂込む事

東京市外大井町鈴ケ森海岸一八九〇
發行所　進め社本部　振替東京六九八五三番

發行編輯印刷人　福田狂二

大阪營業所　大阪市北區茶屋町四一

廣告料

一等 三百圓	二等 二百圓
三等 百五十圓	四等 百圓

大賣捌

東京堂　東海堂　北隆館　大東館　參文社　大盛社

館林まで電車が開通しました

四月一日より、四十分毎發車、二時間にて達す。

本線は兩毛地方への近道、東上線は秩父への近道。

佐野、足利、桐生、伊勢崎、足尾、川越、秩父長瀞へ。

西新井大師
太田金山
唐澤山
秩父長瀞

淺草驛―墨田三一〇―三一四

東武鐵道

池袋驛―大塚四四〇―四四一

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

諸君の書齋・組合の壁間を飾れ！

本社編纂　第二十版

社會思想家寫眞集

内容

サンシモン、フーリエ、オーエン、プルードン、マルクス、バクーニン、エンゲルス、ウキルヘルム・リープクネヒト、カール・リープクネヒト、クロポトキン、ラツサール、レーニン、トロツキーの拾三枚。四六倍版アート紙印刷鮮明、極めて美麗たり、無產階級の永久に記念すべきものである。

拾三枚　一組五拾錢　送料四錢

本社編纂　第二十版

マルクス寫眞集

内容

マルクスの生家、マルクス夫人、マルクスの原稿、マルクスの博士免狀、マルクスの署名、マルクスの旅行免狀、ロンドン亡命中のマルクス、ロンドンに於けるマルクスの住宅、資本論執筆時代のマルクス、晩年のマルクス、マルクスの墓の十一枚。四六倍版アート紙、印刷鮮明、極めて美麗たり。

拾一枚　一組五拾錢　送料四錢

本社藏版　第三十版

マルクス大寫眞

飾れ！

カール・マルクスは科學的社會主義の鼻祖にして、無產階級永遠の大恩人である。我社は之れを永遠に記念すべく、獨逸より原版を取り寄せ複寫して廣く頒布してゐる。丈一尺五寸、巾九寸、コロタイプ版にて實に美麗た大寫眞である。苟も無產階級たる者は、此れを揭げてマルクスに親め！

コロタイプ版　一枚三拾錢　送料二錢

東京市外大井町鈴ヶ森一八九〇　**進め社本部**　振替東京六九八五三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

見よ！社會主義入門のパンフレット

淺野研眞述

第拾版

日本勞働運動小史

讀め！

明治大正を通じての日本に於ける勞働者解放運動の全分野に渉つて、細大洩らさず僅か百三十餘頁の內に收めた手頃なパンフレットである。尙ほ卷末に附せられたる統計、文獻、年表は用意周到な貴重なものだ。苟も日本プロレタリア運動の史的背景を知らんとする者は必ず一本を備ふべきだ！

百三十頁　定價五拾錢　送料四錢

吉田源藏著

再版

生きる權利と儲ける權利

讀め！

生は權利だ、人間として生を享けた以上は何人と雖生きる權利がある、然るに資本主義は平等に與へられたる無產階級の權利を剝奪してゐる、本書は不合理なる現制度を解剖して、人間權の奪還を叫び、無產者の進路を示せる絕好の社會主義入門書である、眞理を摑まんとする無產青年は讀め！

四十二頁　定價拾錢　送料二錢

神庭仲之介著

再版

農民諸君に與ふ

讀め！

橫暴例ふるにものなき地主の虐殺的搾取に、憤激置く所を知らざる農民諸君！農村の疲弊、田地の荒廢、青年の離村、而して諸君の經濟的窮迫等々の、所謂農村問題に對し、鬱然擡頭せる近代社會思想は何を以つて之を解決せんとするか？　農民諸君は擧つて、本書の示す社會主義陣營へ來たれ！

三十三頁　定價拾錢　送料二錢

東京市外大井町　鈴ヶ森一八九〇

進め社本部

振替東京　六九八五三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

借家人同盟機關紙

月刊 **生活運動**

一部 五錢
一年六拾錢

發行所
東京市外雜司ケ谷八一五
生活運動社
振替東京三六四五五番

植民地解放運動

月刊 **新朝鮮**

一部 拾錢
一年 一圓

發行所
東京市麴町區麴町九ノ九
新朝鮮社
振替東京四五五九九番

島根縣小作聯合機關紙

月刊 全山陰 **大衆新聞**

一部 五錢
一年六拾錢

發行所
島根縣安來町
全山陰大衆新聞社
振替大阪七六九九二番

中國無産階級言論機關

週刊 **中國評論**

一部 五錢
一ケ月二拾錢

發行所
吳市外天應
中國評論社

プロレタリア文藝雜誌

月刊 **人間苦**

一部 拾錢
一年 一圓

發行所
大阪市東淀川區十三南之町七四七
社會問題研究所
振替大阪七九三九四番

左翼文藝思想雜誌

月刊 **文藝闘爭**

一部二十錢
送料 二錢

發行所
東京市麹町區麹町九ノ九
文藝闘爭社

水平運動前衛機關紙

月刊 **水平月報**

一部 五錢
一年六拾錢

發行所
福岡縣嘉穗郡二瀬村
水平月報社
振替福岡二〇四三七番

無產階級政治新聞

月刊 **春秋新報**

一部 十錢
一年 一圓

發行所
愛知縣半田町荒古二〇五
春秋新報社
振替名古屋一二二二三番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

慶大教授 向軍治先生著 定價壹圓

前編

ローマ字書き **國を亡ぼす教育**

著者は多年漢字使用に依る誤れる教育は國を亡ぼす因なりとして之れが廢止を叫び、ローマ字の普及宣傳に努力せらる。漢字制限の聲漸く天下に滿つ今日、何人と雖、一讀せざるべからざる書である。

慶大教授 向軍治先生著 近刊

後編

ローマ字書き **國を亡ぼす教育**

東京府下下澁谷一四五六
發行所 三土社
振替東京四八九五八番

社會問題パンフレットを備へよ!

マルクス **哲學の貧困** 定價送料共 一部三拾錢

マルクスの初期の名著「哲學の貧困」の要領よき抄譯。一讀その大要を知悉し得る便利なもの。

社會文獻 **何を讀むべきか** 定價送料共 一部三拾錢

社會問題に關する主要な日本の文獻を網羅したもので、初學者に極めて必要なもの。

東京市麹町九ノ九
發行所 社會問題研究會

大阪日本橋……實用百貨……名古屋

松坂屋呉服店

東京銀座……良品廉賣……上野

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人良薬

喜谷實母散

產前、產後、血の道、引風、冷込等に特効有

▲全國到る處に販賣す

本舗

東京京橋區中橋大鋸町

喜谷市郎右衛門

電話京橋五五番五六番

蝙蝠印

揮發油

日本石油株式會社

金銀

白金

東京市神田區松田町

德力本店

レインコート

品質、体裁共に優秀な
あらゆる精品を網羅致
して御座います。

和製ゴム引	九圓五〇錢より卅圓迄
アイデアル	十五圓より卅七圓迄
舶來	四十五圓より八十五圓迄

松屋呉服店
東京銀座

Head office: Su-su-me-Sha The Su-su-me Vol.V No. 5
1890, Oimachi near Tokyo, Japan (The Socialist Monthly) May 1927

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）
昭和二年五月一日發行 昭和二年四月二十七日印刷納本

第五年第五號

定價拾錢

精工舍製腕時計

SEIKO

歐米各種時計
裝身具ヒスイ
サンゴ鼈甲類
貴金屬美術品
精工舍各種時計
金銀盃洋食器
ダイヤ寶石類
寫眞器双眼鏡
測量器製圖器

東京銀座二丁目

服部時計店

大阪博労町
心斎橋筋角

大阪支店

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

復刻版　進　め　第2回配本〔第5巻〜第8巻〕
1989年12月20日　発行
本体揃価格　72,000円

発行者　船橋　治
発行所　不二出版(株)
東京都文京区向丘1-2-12
〒113 ☎03(812)4433
印刷所　三　進　社
製本所　青木製本
乱丁・落丁はお取り替えいたします。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN